

# 授業科目の概要

(2022年度以降入学者に適用)

東京女子大学  
現代教養学部

# — 目 次 —

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	2
ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	3
<b>教育課程</b>	
教育課程	5
<b>授業科目の概要</b>	
全学共通カリキュラム	
リベラル・スタディーズ	
(1) 総合教養科目	36
(2) 挑戦する知性科目	76
(3) キリスト教学科目	84
アカデミック・スキル科目	
(4) 外国語科目	
第一外国語	88
第二外国語	97
ギリシア語・ラテン語	107
(5) 日本語科目	109
(6) 情報処理科目	110
(7) 学科科目	
国際英語学科	116
国際英語専攻	116
人文学科	155
哲学専攻	160
日本文学専攻	179
歴史文化専攻	218
国際社会学科	246
国際関係専攻	250
経済学専攻	275
社会学専攻	296
コミュニティ構想専攻	308
心理・コミュニケーション学科	325
心理学専攻	327
コミュニケーション専攻	348
数理科学科	377
数学専攻	383
情報理学専攻	402
(8) 教職課程科目	419
(9) 学芸員課程科目	434

## カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

東京女子大学では、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に掲げる能力を身につけるために、以下の方針に基づいて、全学共通カリキュラムと学科科目を2つの柱とするリベラル・アーツ教育を行います。

### 【教育課程の編成】

1. 広範で多様な基礎的知識と基本的な学習能力の獲得のために、「リベラル・スタディーズ」と「アカデミック・スキル科目」の2つの科目群からなる全学共通カリキュラムを編成する。
2. 専門的な方法論と知識を学ぶために、学科科目を体系的かつ順次的に編成する。
3. 授業科目の到達目標・内容に応じた多様な形態の授業科目(講義科目、演習科目、実習科目)を配置する。

### 【教育内容・方法】

4. 実践的な議論を通じて、知識の活用能力、論理的思考力、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力、他者を尊重し協働できる力を養うために、全学年を対象に、参加型の少人数教育を行う。
5. 本学における学修の基盤となる基礎学力及び学習方法を習得し、主体的な学びの姿勢を養うために、アクティブ・ラーニングによる初年次教育を行う。
6. 女性の自己確立とキャリア探求の基礎をつくるために、女性学・ジェンダー的視点に立つ教育を行う。
7. 自分の専攻分野以外の学問領域への関心を広げ、学際的視点を養う全学共通の教育プログラムとして、日本語教員養成課程、キャリア・イングリッシュ課程、副専攻を設置する。
8. 教育成果の段階的な測定とそれに基づく適切な学習指導を行うため、4年次学生を、卒業研究を行うことが可能な者と位置づけ、全学科で3年次から4年次への進級条件を設ける。

### 【学修成果の評価】

9. 学士課程の集大成としての卒業研究(卒業論文、Final Presentation、講究)を全学科必修とし、目標とする能力を身につけることができたかを、ルーブリックを用いて評価する。
10. 本学のリベラル・アーツ教育の学修成果について、直接的指標と間接的指標を用いて、多角的視点から評価を行う。

## ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

東京女子大学は、建学の精神であるキリスト教精神に基づくリベラル・アーツ教育により、「専門性をもつ教養人」として人類・社会の問題解決に貢献し得る女性を育てるために、以下の能力を身につけ、かつ、学則に定める所定の単位を修得した学生に、卒業を認定し、学位（学士）を授与します。

1. 人間・社会・自然に対する理解を深め、広範で多様な知識を身につけている。
2. 自分の専攻分野に関する方法論と専門知識を身につけ、さらに自分の専攻分野に隣接する分野について基本的な内容を理解している。
3. 知識を活用し、論理的思考力に基づいて、問題を発見し、解決する能力を身につけている。
4. 他者の表現を適切に理解し、自らの考えを論理的に表現し、建設的な議論を行うことができるコミュニケーション能力を身につけている。
5. 異なる考えや意見を受け入れる力を身につけ、多文化共生社会への理解を深め、他者を尊重し協働できる力を身につけている。
6. 主体的に学び続け、自己を確立し、自らのキャリアを構築する姿勢を身につけている。



# 教 育 課 程

〔2022 年度以降入学者に適用〕

表示の説明	
授業科目 コード	<p>授業科目ごとに付された6桁のコード（「2」+5桁の英数字）</p> <p>授業時間割には、授業ごとに付された「時間割番号」が記載されている。</p>
授 業 科 目	<p>正式な授業科目名が教育課程に示されている。 （授業時間割その他では省略した名称を用いる場合がある。）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">授業科目名の記号・番号の見方</p> <p>○○○○A、○○○○B：内容の区別を示す。（履修の順序は定めない。）</p> <p>○○○○、○○○○：ゆるやかな段階履修を示す。 （ が前期、 が後期に開講されている場合には、 続けて履修することが望ましい。）</p> <p>○○○○1、○○○○2：段階履修を示す。 （2を履修するには、1の単位修得が前提条件）</p> </div>
授 業 期 間 (15週単位)	<p>「1」……前期または後期の1学期間の授業を示す。</p> <p>「2」……通年の授業を示す。</p>
毎週授業時間	「2」(2時間)は、毎週1コマ(90分)の授業を示す。（「4」は毎週2コマ）
単 位 数	その授業科目を履修し試験に合格した場合、与えられる単位数 （「東京女子大学学則」第11条参照）
必修・ 選択必修・ 選択の別	<p>「必修」……卒業までに必ず単位を修得しなければならない必修科目</p> <p>「選択必修」……決められた範囲の授業科目の中から選択して必ず単位修得しなければならない科目</p> <p>「選択」……各自の学習計画により選択履修する科目。卒業に必要な130単位の中に含まれる。</p> <p>学科科目については、その学科に所属する学生にとっての必修科目、選択必修科目、選択科目の別を示す。 教職課程、学芸員課程については、資格を取得するための必修科目、選択必修科目の別を示す。</p>
学 科 共 通 / 専 攻 の 区 分	その科目を設置している学科・専攻を示す。
専 攻 指 定	指定された専攻の学生のみが履修できることを示す。他専攻の学生は履修できない。
履 修 年 次	<p>必修科目、選択必修科目……履修しなければならない年次を示す。</p> <p>選択科目……履修することが望ましい年次を示す。</p> <p>いずれも指定年次以上の学生は履修することができる。</p>
コ ー ス ナンバリング	<p>以下のように授業科目の難易度を示す。</p> <p>【100番台】1年次から履修できるレベルの科目</p> <p>【200番台】2年次以上で学ぶレベルの科目 （100番台の科目を履修した後に履修することが望ましい科目）</p> <p>【300番台】3年次以上で学ぶレベル科目 （200番台までの科目を履修した後に履修することが望ましい科目）</p> <p>【400番台】4年次で学ぶレベルの科目 （300番台までの科目を履修した後に履修する科目）</p> <p>【490番】卒業研究（卒業論文、Final Presentation、数学講究、情報理学講究）</p> <p>50番の付いた科目は、同じ100番台の科目の中で、より難易度が高い科目。</p>
備 考	クラス数、通年科目、開講計画(隔年開講等)等（開講計画は変更される場合がある。）

(1)総合教養科目 (2018年度以降入学者に適用)

注1 総合教養科目は、以下の の10科目計18単位を必修とする。

国際英語学科、人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科  
8科目計16単位

「女性の生きる力」、「人間自身を知る」、「人間の知的生産」、「人間社会の仕組みと問題」の4領域から必ず各1科目2単位、「人間と自然科学」領域から必ず2科目計4単位を含め8科目計16単位(「女性のウェルネス」はこの16単位には含まない)。

ただし、哲学専攻、日本文学専攻、社会学専攻、心理学専攻、コミュニケーション専攻の学生については、下表に示す授業科目の単位を、 の必修16単位に含めることはできるが、当該領域の必修2単位に充当することはできない。

学科・専攻		授業科目	領域
人文学科	哲学専攻	現代人の哲学	人間自身を知る
	日本文学専攻	日本の文学	人間の知的生産
国際社会学科	社会学専攻	社会学と現代社会	人間社会の仕組みと問題
心理・コミュニケーション学科	心理学専攻	こころの科学 こころと社会 こどものこころ	人間自身を知る
	コミュニケーション専攻	統計のしくみ 統計分析を学ぶ	人間社会の仕組みと問題

「女性のウェルネス」領域の「女性のウェルネス・身体運動」及び「女性のウェルネス・身体運動」の2科目計2単位

数理科学科  
8科目計16単位

「女性の生きる力」、「人間と自然科学」、「人間自身を知る」、「人間の知的生産」、「人間社会の仕組みと問題」の5領域から必ず各1科目2単位を含め8科目計16単位(この16単位に含むことのできる「人間と自然科学」領域の科目は、2科目計4単位までとする。また、「女性のウェルネス」はこの16単位には含まない。)

ただし、下表に示す授業科目の単位を、 の必修16単位に含めることはできない。

学科・専攻		授業科目	領域
数理科学科	数学専攻	代数と幾何の基礎	人間と自然科学
	情報理学専攻	代数と幾何の考え方とその応用 微分と積分の基礎 微分と積分の考え方とその応用 確率統計の基礎	

「女性のウェルネス」領域の「女性のウェルネス・身体運動」及び「女性のウェルネス・身体運動」の2科目計2単位

2 外国人正規課程留学生は、挑戦する知性科目のうち次の科目の単位を、下記のとおり総合教養科目の各領域の単位に代えることができる。

「日本事情A」2単位 「人間社会の仕組みと問題」領域の2単位  
 「日本事情B」2単位 「人間の知的生産」領域の2単位  
 「日本事情C」2単位 「人間自身を知る」領域の2単位  
 「日本事情D」2単位 「人間の知的生産」領域の2単位

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コースナン バリング	備考
	<b>女性の生きる力</b>							
2SK101	女性学・ジェンダーを学ぶ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	2クラス
2SK102	女性とジェンダーの歴史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK103	キャリアデザインを描く	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK104	政治とジェンダー	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK105	国際協力とジェンダー	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK106	国際社会と女性の人権	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK107	現代の家族とジェンダー	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK108	女性のウェルビーイング	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK109	女性と福祉	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK110	女性と表現	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK111	総合教養演習(女性の生きる力)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
	<b>人間と自然科学</b>							
2SK201	自然科学のあゆみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	2単位必修
2SK202	現代の科学と技術	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK203	くらしの中の物質	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK204	エネルギーと人類	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK205	宇宙の科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK206	地球の科学	1	2	2	選択必修	国際英語学科、人文学科、1・2・3・4	100	
2SK207	地球環境の科学	1	2	2	選択必修	国際社会学科、1・2・3・4	100	
2SK208	自然環境と人間社会	1	2	2	選択必修	心理・コミュニケーション学科、1・2・3・4	100	
2SK209	生物と環境	1	2	2	選択必修	の学生は4単位必修、1・2・3・4	100	
2SK210	生命と医療の科学	1	2	2	選択必修	数理科学科の学生は1・2・3・4	100	
2SK211	人類の誕生と進化	1	2	2	選択必修	2単位を必修としこの領域の1・2・3・4	100	
2SK212	脳の科学	1	2	2	選択必修	必修単位として数えること1・2・3・4	100	
2SK213	遺伝の科学	1	2	2	選択必修	のできる単位数は4単位1・2・3・4	100	
2SK214	数学の世界	1	2	2	選択必修	までとする、1・2・3・4	100	
2SK215	情報の数学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK216	代数と幾何の基礎	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK217	代数と幾何の考え方とその応用	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	150	
2SK218	微分と積分の基礎	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK219	微分と積分の考え方とその応用	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	150	
2SK220	確率統計の基礎	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK221	総合教養演習(人間と自然科学)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
	<b>人間自身を知る</b>							
2SK301	こころの科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	3クラス
2SK302	こころと社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK303	こどものこころ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK304	こころの健康	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK305	こころの進化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK306	思考と論理	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK307	科学技術と倫理	1	2	2	選択必修	2単位必修 1・2・3・4	100	
2SK308	現代人の哲学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK309	西洋の哲学のあゆみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK310	東洋の哲学のあゆみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK311	比較思想	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK312	宗教学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK313	日本宗教史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK314	宗教と現代社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK315	総合教養演習(人間自身を知る)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	



授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コースナン バリング	備考
	<b>人間の知的生産</b>							
2SK401	ことばの世界	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	2クラス
2SK402	日本の文学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK403	児童文学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK404	比較文学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK405	比較文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	チェンレクチャー
2SK406	宗教音楽	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	2クラス
2SK407	音楽芸術	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	2クラス
2SK408	音楽史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	2クラス
2SK409	美術論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	とを交互に開講 「美術論」「映像論」 「舞台芸術論」
2SK410	映像論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK411	舞台芸術論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK412	日本文化史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK413	日本の伝統芸能	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK414	世界の地域と民族	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK415	ヨーロッパの歴史と文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK416	アメリカの歴史と文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK417	ラテンアメリカの歴史と文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK418	アジアの歴史と文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK419	民俗学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK420	歴史の見方	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK421	現代史の諸相	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK422	アーカイブの世界	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK423	総合教養演習(人間の知的生産)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
	<b>人間社会の仕組みと問題</b>							
2SK501	日本国憲法	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	3クラス
2SK502	公共政策と法	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK503	市民社会と法	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK504	国際社会と人権	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK505	自治と行政	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK506	社会学と現代社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK507	地域社会論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK508	社会保障と社会福祉	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK509	情報と社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK510	現代社会と教育	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK511	近現代日本の政治史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	2単位必修
2SK512	国際社会と日本	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK513	平和学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK514	ヨーロッパの比較政治	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	交互に開講
2SK515	アジアの比較政治	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK516	日本の産業と企業	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK517	日本経済のしくみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK518	グローバル経済のしくみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	交互に開講
2SK519	アジアの経済事情	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK520	国際金融と貿易	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK521	統計のしくみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK522	統計分析を学ぶ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	150	
2SK523	エネルギー産業と国民生活	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	100	
2SK524	総合教養演習(人間社会の仕組みと問題)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コースナン バリング	備 考
	女性のウェルネス							
2SK601	女性のウェルネス・身体運動	1	2	1	必修	1	100	27クラス
2SK602	女性のウェルネス・身体運動	1	2	1	必修	1	100	27クラス
	講義							
2SK611	からだの科学	1	2	2	選択	1・2・3・4	100	
2SK612	発育と発達	1	2	2	選択	1・2・3・4	100	
2SK613	栄養と健康	1	2	2	選択	1・2・3・4	100	
2SK614	現代社会と身体	1	2	2	選択	1・2・3・4	100	
2SK615	女性の健康科学	1	2	2	選択	1・2・3・4	100	
2SK616	性と生命(セクソロジー)	1	2	2	選択	1・2・3・4	100	
2SK617	女性の心身コンディショニング	1	2	2	選択	2・3・4	200	
	実習							
2SK621	スポーツA	1	2	1	選択	2・3・4	200	
2SK622	スポーツB	1	2	1	選択	2・3・4	200	
2SK623	スポーツC	1	2	1	選択	2・3・4	200	
2SK624	スポーツD	1	2	1	選択	2・3・4	200	
2SK625	フィジカルエクササイズA	1	2	1	選択	2・3・4	200	2クラス
2SK626	フィジカルエクササイズB	1	2	1	選択	2・3・4	200	2クラス
2SK627	フィジカルエクササイズC	1	2	1	選択	2・3・4	200	
2SK628	身体表現A	1	2	1	選択	2・3・4	200	「身体表現C」と交互に開講
2SK629	身体表現B	1	2	1	選択	2・3・4	200	
2SK630	身体表現C	1	2	1	選択	2・3・4	200	「身体表現A」と交互に開講

(2) 挑戦する知性科目 (2021年度以降入学者に適用)

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コース ナンバ リング	備考
2CC101	女性の起業	1	2	2	選択	1・2・3・4	100	
2CC102	PBLキャリア構築講座	1	2	2	選択	2・3・4	200	
2CC103	ニューヨーク国連研修	1	2	2	選択	2・3・4	200	
2CC104	ケンブリッジ教養講座	2	2	2	選択	2・3・4	250	本学の実施する海外研修の成果により単位認定 通年科目
2CC105	英語特別プログラム	2	2	2	選択	2・3・4	250	通年科目 2クラス
< 以下の4科目は外国人留学生のみ履修できる >								
2CC121	日本事情A*	1	2	2	選択	1	100	総合教養科目の「人間社会の仕組みと問題」2単位に代替 外国人正規課程留学生は必修
2CC122	日本事情B*	1	2	2	選択	1	100	総合教養科目の「人間の知的生産」2単位に代替 外国人正規課程留学生は必修
2CC123	日本事情C*	1	2	2	選択	2	100	総合教養科目の「人間自身を知る」2単位に代替 外国人正規課程留学生は必修
2CC124	日本事情D*	1	2	2	選択	2	100	総合教養科目の「人間の知的生産」2単位に代替 外国人正規課程留学生は必修
< 以下の演習6科目はキャリア・イングリッシュ課程登録者のみ履修できる >								
2CC201	Critical Thinking演習**	1	2	2	選択	2	200	2クラス
2CC202	発話・パフォーマンス演習**	1	2	2	選択	2	200	2クラス
2CC203	討論演習 **	1	2	2	選択	3	300	2クラス
2CC204	討論演習 **	1	2	2	選択	3	350	2クラス
2CC205	Total Presentation演習1**	1	2	2	選択	4	400	3クラス
2CC206	Total Presentation演習2**	1	2	2	選択	4	450	3クラス
< 以下の講義3科目はデータサイエンス副専攻課程登録者のみ履修できる >								
2CC301	文理融合データサイエンス ***	1	2	2	選択	2・3・4	200	
2CC302	文理融合データサイエンス A***	1	2	2	選択	2・3・4	250	
2CC303	文理融合データサイエンス B***	1	2	2	選択	3・4	300	

注 1 \*印の科目は外国人留学生のみ履修できる。

2 \*印の科目は外国人正規課程留学生は必修。

「日本事情A」、「日本事情B」、「日本事情C」、「日本事情D」各2単位は、総合教養科目の下記領域の各2単位に代えることができる。

「日本事情A」 「人間社会の仕組みと問題」領域の2単位

「日本事情B」 「人間の知的生産」領域の2単位

「日本事情C」 「人間自身を知る」領域の2単位

「日本事情D」 「人間の知的生産」領域の2単位

3 \*\*印の科目を履修するには、所定のキャリア・イングリッシュ課程登録を行っていないといけない。

4 \*\*\*印の科目を履修するには、所定のデータサイエンス副専攻課程登録を行っていないといけない。

(3) キリスト教学科目 (2018年度以降入学者に適用)

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コースナンバリング	備考
2XX101	キリスト教学 (入門)	1	2	2	必修	1	100	10クラス
2XX102	キリスト教学 (入門)	1	2	2	必修	1	100	10クラス
2XX201	キリスト教学 (旧約聖書の世界)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX202	キリスト教学 (新約聖書の世界)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX203	キリスト教学 (キリスト教と女性)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX204	キリスト教学 (キリスト教の歴史)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX205	キリスト教学 (日本のキリスト教)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX206	キリスト教学 (世界のキリスト教)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX207	キリスト教学 (キリスト教と社会)	1	2	2	選択必修	2単位必修 2・3・4	200	
2XX208	キリスト教学 (キリスト教と現代の宗教事情)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX209	キリスト教学 (キリスト教と倫理)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX210	キリスト教学 (キリスト教の思想)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX211	キリスト教学 (キリスト教と芸術)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX212	キリスト教学 (キリスト教と文学)	1	2	2	選択必修	2・3・4	200	
2XX301	キリスト教学 (聖書と文化)	1	2	2	選択	2・3・4	250	1クラス
2XX302	キリスト教学 (キリスト教の歴史と文化)	1	2	2	選択	2・3・4	250	
2XX303	キリスト教学 (キリスト教の思想と文化)	1	2	2	選択	2・3・4	250	

注1 「キリスト教学」の各科目は、「キリスト教学 (入門)」、「キリスト教学 (入門)」及び「キリスト教学」を履修した者が履修することができる。

2 必修単位を超えて修得した「キリスト教学」の単位は、自由選択科目の単位となる。

## (4) 外国語科目 (2018年度以降入学者に適用)

## ア. 第一外国語

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コース ナンバ リング	備考
2FF101	Communication Skills A	1	2	1	必修	1	100	40クラス
2FF102	Communication Skills B	1	2	1	必修	1	150	40クラス
2FF103	Reading A	1	2	1	必修	1	100	40クラス
2FF104	Reading B	1	2	1	必修	1	150	40クラス
2FF105	Discussion Skills A	1	2	1	必修	2	200	40クラス
2FF106	Discussion Skills B	1	2	1	必修*	2	250	33クラス
2FF107	Reading A	1	2	1	必修	2	200	40クラス
2FF108	Reading B	1	2	1	必修*	2	250	33クラス
2FF111	Speaking Skills A	1	2	1	選択必修	2・3・4	200	5クラス
2FF112	Speaking Skills B	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	5クラス
2FF113	Listening and Presentation A	1	2	1	選択必修	2・3・4	200	5クラス
2FF114	Listening and Presentation B	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	5クラス
2FF115	Critical Reading and Discussion A	1	2	1	選択必修	2・3・4	200	5クラス
2FF116	Critical Reading and Discussion B	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	5クラス
2FF117	Journalistic English A	1	2	1	選択必修	2・3・4	200	4クラス
2FF118	Journalistic English B	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	4クラス
2FF119	Academic Writing A	1	2	1	選択必修	2・3・4	200	3クラス
2FF120	Academic Writing B	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	3クラス
2FF121	English through Drama A	1	2	1	選択必修	2・3・4	200	
2FF122	English through Drama B	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	
English for Specific Purposes								
2FF131	Business English A	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	
2FF132	Business English B	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	
2FF133	Translation A	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	3クラス
2FF134	Translation B	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	3クラス
2FF135	Tour Guide Interpreting A	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	
2FF136	Tour Guide Interpreting B	1	2	1	選択必修	2・3・4	250	
English Proficiency Test Classes								
2FF141	TOEIC講座	1	2	1	選択必修	1・2・3・4	150	6クラス
2FF142	TOEFL講座	1	2	1	選択必修	1・2・3・4	150	4クラス
2FF143	IELTS講座	1	2	1	選択必修	1・2・3・4	150	4クラス
2FF151	Basic Communicative English	1	4	2	選択	1	100	週2コマ 2クラス
2FF152	Intensive English	2	2	2	選択	1・2・3・4	200	本学の実施する海外語学研修(英語)及び本学があらかじめ認めた外国の大学が実施する語学研修(英語)の成果により単位認定 通年科目
<以下の2科目は外国人留学生のみ履修できる>								
2FF161	日本語 (入門)**	1	8	4	必修	1	100	週4コマ 外国人正規課程留学生は必修
2FF162	日本語 (応用)**	1	8	4	必修	1	150	週4コマ 外国人正規課程留学生は必修

- 注1 2年次、3年次に「Reading A」を履修するには、「Reading A」又は「Reading B」を1単位修得していなければならない。
- 2 2年次、3年次に「Reading B」を履修するには、「Reading A」又は「Reading B」を1単位修得していなければならない。
- 3 国際英語学科の学生は、「\*」印の「Discussion Skills B」「Reading B」の2科目計2単位の履修を免除する。
- 4 「Basic Communicative English」は、入学時に実施するプレイスメントテストの結果に基づき、指示のあった者を履修対象とする。
- 5 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により、又は大学以外の教育施設等における知識及び技能審査(実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS)の成果に係る学修により第一外国語の1年次必修4単位をすべて認定された者は、「Discussion Skills A」、「Discussion Skills B」、「Reading A」及び「Reading B」の4科目計4単位を1年次に履修することができる。
- 6 大学以外の教育施設等における知識及び技能審査(実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS)の成果に係る学修により第一外国語の必修8単位をすべて認定された者は、履修年次が2年次以上の選択必修科目を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 7 \*\*印の科目は外国人留学生のみ履修できる。
- 8 外国人正規課程留学生は、\*\*印の「日本語 (入門)」及び「日本語 (応用)」の2科目計8単位を第一外国語の必修8単位とする。

イ. 第二外国語

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コース ナンバ リング	備考
2FF201	ドイツ語初級	2	4	4	選択必修	1	100	週2コマ 6クラス 通年科目
2FF202	フランス語初級	2	4	4	選択必修	1	100	週2コマ 7クラス 通年科目
2FF203	スペイン語初級	2	4	4	選択必修	1	100	週2コマ 11クラス 通年科目
2FF204	中国語初級	2	4	4	選択必修	1	100	週2コマ 12クラス 通年科目
2FF205	韓国語初級	2	4	4	選択必修	1	100	週2コマ 8クラス 通年科目
2FF211	ドイツ語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF212	ドイツ語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	250	前期・後期
2FF213	ドイツ語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF214	ドイツ語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF221	フランス語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF222	フランス語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	250	前期又は後期
2FF223	フランス語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF224	フランス語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF231	スペイン語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF232	スペイン語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	250	前期・後期
2FF233	スペイン語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF234	スペイン語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF241	中国語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF242	中国語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	250	前期・後期
2FF243	中国語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF244	中国語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF251	韓国語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期又は後期
2FF252	韓国語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	250	前期又は後期
2FF253	韓国語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期
2FF254	韓国語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	200	前期・後期

- 注1 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解A、読解B、作文と文法、会話を履修するには、同じ言語の初級4単位を修得していなければならない。
- 2 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解A、読解B、作文と文法、会話は、同一授業科目を重ねて履修することができる。
- 3 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各初級は、第二外国語の必修科目として履修する以外に、第三、第四、第五、第六の外国語として2年次から履修することができる。ただし、本学入学時に第二外国語の必修4単位を認定された者は、1年次から履修することができる。
- 4 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により第二外国語の必修4単位を認定された者は、認定された言語の読解A、読解B、作文と文法、会話を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 5 大学以外の教育施設等における知識及び技能審査(ドイツ語技能検定試験、実用フランス語技能検定試験、スペイン語技能検定試験、中国語検定試験、韓国語能力試験、「ハングル」能力検定試験)の成果に係る学修により第二外国語の初級4単位を認定された者は、認定された言語の読解A、読解B、作文と文法、会話を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 6 第二外国語の必修科目として履修する以外の言語について一定の条件を満たすと認められた者は、注1に定める読解A、読解B、作文と文法、会話の履修条件及び在籍する年次にかかわらず、当該言語の読解A、読解B、作文と文法、会話を履修することができる。
- 7 外国人正規課程留学生は、上記の定めによらず、次の科目から指定するいずれか5単位を第二外国語の必修とする。  
第一外国語(英語)の1年次必修4科目4単位および選択必修科目から1科目1単位

ウ. ギリシア語・ラテン語

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コース ナンバ リング	備 考
2FF301	ギリシア語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4	100	
2FF302	ギリシア語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4	150	
2FF303	ラテン語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4	100	
2FF304	ラテン語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4	150	
2FF305	ギリシア語中級	1	2	1	選択	2・3・4	200	隔年開講
2FF306	ラテン語中級	1	2	1	選択	2・3・4	200	隔年開講

- 注1 「ギリシア語初級2」を履修するには、「ギリシア語初級1」1単位を修得していなければならない。  
 2 「ラテン語初級2」を履修するには、「ラテン語初級1」1単位を修得していなければならない。  
 3 ギリシア語、ラテン語の各中級は、同一授業科目を重ねて履修することができる。

(5) 日本語科目 (2018年度以降入学者に適用)

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コース ナンバ リング	備 考
2NN101	日本語表現法	1	2	2	選択	1・2限定	100	10クラス

(6) 情報処理科目 (2018年度以降入学者に適用)

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コース ナンバ リング	備 考
2JJ101	情報処理技法(リテラシ)	1	2	2	必修	1	100	27クラス
2JJ102	情報処理技法(リテラシ)	1	2	2	必修	1	150	27クラス
2JJ201	情報処理技法(Cプログラミング)	1	2	2	選択	1・2・3・4	150	2クラス
2JJ202	情報処理技法(Cプログラミング)	1	2	2	選択	2・3・4	200	
2JJ203	情報処理技法(Javaプログラミング)	1	2	2	選択	1・2・3・4	150	2クラス
2JJ204	情報処理技法(Javaプログラミング)	1	2	2	選択	2・3・4	200	
2JJ205	情報処理技法(マルチメディアと表現)	1	2	2	選択	1・2・3・4	150	3クラス
2JJ206	情報処理技法(マルチメディアと表現)	1	2	2	選択	2・3・4	200	2クラス
2JJ207	情報処理技法(UNIXリテラシ)	1	2	2	選択	1・2・3・4	150	
2JJ208	情報処理技法(統計解析)	1	2	2	選択	2・3・4	200	3クラス
2JJ209	情報処理技法(ネットワークとセキュリティ)	1	2	2	選択	2・3・4	200	
2JJ210	情報処理技法(Webでの情報表現)	1	2	2	選択	2・3・4	200	
2JJ301	コンピュータ・サイエンス	1	2	2	選択	1・2・3・4	100	
2JJ302	コンピュータ・サイエンス	1	2	2	選択	1・2・3・4	150	

- 注1 情報処理科目の選択科目を履修するには、「情報処理技法(リテラシ)」を履修していなければならない。ただし、「コンピュータ・サイエンス」及び「コンピュータ・サイエンス」は、当該履修条件にかかわらず履修することができる。
- 2 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により「情報処理技法(リテラシ)」2単位を認定された者は、情報処理科目の選択科目を在籍する年次にかかわらず履修することができる。

## (7) 学 科 科 目 (ア) 国際英語学科

\* 国際英語学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目合わせて64単位を修得しなければならない。  
\* 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバリング	備考
<b>基礎講義</b>										
211001	国際英語と女性の生き方	1	2	2	選択	国際英語		1	100	
211002	異文化理解 A	1	2	2	選択	国際英語		2・3	200	
211003	異文化理解 B	1	2	2	選択	国際英語		2・3	200	
211004	Japanese Culture & Literature	1	2	2	選択	国際英語		2・3	200	日本文学専攻と共有
211005	英語グローバル人材論	1	2	2	必修	国際英語		2	200	3クラス
211006	English Studies 基礎論 (文学研究)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211007	English Studies 基礎論 (批評研究)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211008	English Studies 基礎論 (文化研究)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211009	English Studies 基礎論 (言語と社会)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211010	English Studies 基礎論 (言語の構造)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211011	英語教育基礎論 A	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211012	英語教育基礎論 B	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211013	第二言語習得基礎論 A	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	200	コミュニケーション専攻と共有
211014	第二言語習得基礎論 B	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	200	コミュニケーション専攻と共有
211015	言語の多様性と普遍性 A	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	200	コミュニケーション専攻と共有
211016	言語の多様性と普遍性 B	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	200	コミュニケーション専攻と共有
211017	翻訳基礎論	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211018	通訳基礎論	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211019	Professional English 基礎論	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
<b>特殊講義</b>										
211101	英語文化リソース論	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
211102	テーマ研究 (ジェンダー研究)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
211103	テーマ研究 (英米文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
211104	テーマ研究 (英語と世界文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
211105	テーマ研究 (英語教育と第二言語習得)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
211106	テーマ研究 (Professional English)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
211107	比較文化 A	1	2	2	選択	国際英語		2・3・4	250	「比較文化 A、B」と「表象文化 A、B」を交互に開講
211108	比較文化 B	1	2	2	選択	国際英語		2・3・4	250	「比較文化 A、B」と「表象文化 A、B」を交互に開講
211109	表象文化 A	1	2	2	選択	国際英語		2・3・4	250	「比較文化 A、B」と「表象文化 A、B」を交互に開講
211110	表象文化 B	1	2	2	選択	国際英語		2・3・4	250	「比較文化 A、B」と「表象文化 A、B」を交互に開講
211111	英語文学 (演劇)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学演習 (演劇)」と交互に開講
211112	英語文学 (小説)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学演習 (小説)」と交互に開講
211113	英語文学 (詩)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学演習 (詩)」と交互に開講
211114	英語文学 (児童文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学演習 (児童文学)」と交互に開講
211115	英語文学 (比較文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学演習 (比較文学)」と交互に開講
211116	英語文学 (映像と言語表現)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学演習 (映像と言語表現)」と交互に開講
211117	イギリス文学史	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	
211118	イギリス文学史	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	350	
211119	アメリカ文学史	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	
211120	アメリカ文学史	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	350	
211121	英語文化研究特論 A	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
211122	英語文化研究特論 B	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
211123	英語学 (意味論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学演習 (意味論)」と交互に開講
211124	英語学 (語用論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学演習 (語用論)」と交互に開講
211125	英語学 (音韻論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学演習 (音韻論)」と交互に開講
211126	英語学 (形態・統語論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学演習 (形態・統語論)」と交互に開講
211127	英語学 (社会言語学)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学演習 (社会言語学)」と交互に開講
211128	英語学 (英語史)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	
211129	英語指導法	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	250	
211130	児童英語指導法	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	250	
211131	第二言語習得研究法	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	250	
211132	翻訳学特論	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
211133	通訳学特論	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	250	
<b>基礎演習</b>										
211201	1年次演習 (国際英語)	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	1	100	7クラス
211202	Study Abroad 基礎演習	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	1	100	7クラス
211203	First-Year English Seminar	1	4	4	必修	国際英語	国際英語	1	100	週2コマ 7クラス
211204	First-Year English Seminar	1	4	4	必修	国際英語	国際英語	1	150	週2コマ 7クラス
211205	Second-Year English Seminar	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	2	200	7クラス
211206	Research Project for Study Abroad	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	2	200	7クラス
211207	英語音声学	1	2	2	選択必修	国際英語		1	100	
211208	英文法	1	2	2	選択必修	国際英語		1	100	
211209	English Studies 入門演習	1	2	2	選択必修	国際英語		1	100	3クラス
211210	English Studies 入門演習 (文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		1	150	
211211	English Studies 入門演習 (文化)	1	2	2	選択必修	国際英語		1	150	
211212	English Studies 入門演習 (言語)	1	2	2	選択必修	国際英語		1	150	



授業科目 コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
211213	英語教育入門演習	1	2	2	選択必修	国際英語		1	100	
211214	児童英語教育入門演習	1	2	2	選択必修	国際英語		1	100	
211215	第二言語習得入門演習	1	2	2	選択必修	国際英語		1	100	
211216	Classroom English 入門演習	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211217	Professional English 入門演習A	1	2	2	選択必修	国際英語		1	100	
211218	Professional English 入門演習B	1	2	2	選択必修	国際英語		1	100	
211219	Public Speaking	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211220	翻訳入門演習	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211221	通訳入門演習	1	2	2	選択必修	国際英語		2	200	
211222	Study Abroad English			2~10	選択必修	国際英語	国際英語	2・3	200	
211223	Study Abroad Academics			2~16	選択必修	国際英語	国際英語	2・3	250	
211224	Study Abroad English(Integrated Skills)A	1	2	1	選択	国際英語	国際英語	2	200	最大7クラス
211225	Study Abroad English(Integrated Skills)B	1	2	1	選択	国際英語	国際英語	2	200	最大7クラス
211226	Study Abroad Academics(Advanced Academic English)	1	2	2	選択	国際英語	国際英語	2	250	最大3クラス
<b>発展演習</b>										
211301	時事英語	1	2	2	選択	国際英語		2・3・4	200	
211302	Critical Thinking	1	2	2	選択	国際英語	国際英語	2・3・4	200	
211303	3年次演習(国際英語)	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	3	300	7クラス
211304	3年次演習(国際英語)	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	3	350	7クラス
211305	Third-Year Research Writing	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	3	300	7クラス
211306	Third-Year Research Writing	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	3	350	7クラス
211307	英語文学演習(演劇)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学(演劇)」と交互に開講
211308	英語文学演習(小説)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学(小説)」と交互に開講
211309	英語文学演習(詩)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学(詩)」と交互に開講
211310	英語文学演習(児童文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学(児童文学)」と交互に開講
211311	英語文学演習(比較文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学(比較文学)」と交互に開講
211312	英語文学演習(映像と言語表現)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語文学(映像と言語表現)」と交互に開講
211313	英語学演習(意味論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学(意味論)」と交互に開講
211314	英語学演習(語用論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学(語用論)」と交互に開講
211315	英語学演習(音韻論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学(音韻論)」と交互に開講
211316	英語学演習(形態・統語論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学(形態・統語論)」と交互に開講
211317	英語学演習(社会言語学)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	300	「英語学(社会言語学)」と交互に開講
211318	児童英語教育演習	1	2	2	選択必修	国際英語		3	300	
211319	第二言語習得演習	1	2	2	選択必修	国際英語		3	300	
211320	Classroom English 演習	1	2	2	選択必修	国際英語		3	300	
211321	翻訳演習A	1	2	2	選択必修	国際英語		3	300	
211322	翻訳演習B	1	2	2	選択必修	国際英語		3	300	
211323	通訳演習A	1	2	2	選択必修	国際英語		3	300	
211324	通訳演習B	1	2	2	選択必修	国際英語		3	300	
211325	Professional English 演習A	1	2	2	選択必修	国際英語		3	300	
211326	Professional English 演習B	1	2	2	選択必修	国際英語		3	300	
211327	4年次演習(国際英語)	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	4	400	13クラス
211328	4年次演習(国際英語)	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	4	450	13クラス
<b>卒業論文</b>										
211401	卒業論文	2		8	選択必修	国際英語	国際英語	4	490	通年科目
211402	Final Presentation	2		8	選択必修	国際英語	国際英語	4	490	通年科目

注 1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

- 「\*」印の選択必修4単位は特別の理由によりStudy Abroadを免除することを学科が認めた場合は、学科の指定する科目の単位に代えることができる。
- 国際英語学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目合わせて64単位を修得しなければならない。
- 国際英語学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数130単位のうち所定の科目の単位を含む86単位を修得しなければならない。
- 「Critical Thinking」は、キャリア・イングリッシュ課程に登録している人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科、数理科学科の学生が必要が認められた場合は、専攻指定にかかわらず履修することができる。

## (イ)人文学科

\* 人文学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。

\* 自学科科目64単位には、以下の 科目の計56単位を含めなければならない。  
「人文学入門」2単位、「人文学総合講義」2単位、「人文学基礎演習」2単位、「卒業論文」8単位の4科目計14単位  
自専攻科目 計42単位

\* 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
<b>基礎講義</b>										
220001	人文学入門	1	2	2	必修	(人文学科)	哲・日・歴	1	100	3クラス
221001	哲学の基本問題	1	2	2	選択	哲学	哲学専攻は必修	1	100	
221002	哲学の歴史的展開	1	2	2	選択			1	100	
221003	哲学概論	1	2	2	選択			2	200	
221004	倫理学概論	1	2	2	選択	哲学	哲学専攻は2単位必修	2・3	200	
221005	美学概論	1	2	2	選択			2・3	200	
221006	キリスト教概論	1	2	2	選択			2・3	200	
221007	古代ギリシア哲学史	1	2	2	選択	哲学	哲学専攻は6単位必修	2・3	200	
221008	中世ヨーロッパ哲学史	1	2	2	選択			2・3	200	
221009	西洋近代哲学史	1	2	2	選択			2・3	200	
221010	西洋現代哲学史	1	2	2	選択	哲学	哲学専攻は6単位必修	2・3	200	
221011	東洋思想史	1	2	2	選択			2・3	200	
221012	美学史	1	2	2	選択			2・3	200	
221013	キリスト教史	1	2	2	選択	哲学		2・3	200	
222001	日本語学入門	1	2	2	選択	日本文学	日本文学専攻は必修	1	100	
222002	日本古典文学入門	1	2	2	選択			1	100	
222003	日本近現代文学入門	1	2	2	選択			1	100	
222004	漢文学入門	1	2	2	選択			1	100	
222005	日本語学概論	1	2	2	選択	日本文学		1・2・3	100	
222006	日本語学概論	1	2	2	選択	日本文学		1・2・3	150	
222007	日本語史概論	1	2	2	選択	日本文学		1・2・3	100	
222008	日本語史概論	1	2	2	選択	日本文学		1・2・3	150	
222009	日本文学概論(古典)A	1	2	2	選択	日本文学	日本文学専攻は12単位必修	1・2・3	100	「日本文学概論(古典)A・A」と 「日本文学概論(古典)B・B」を 交互に開講
222010	日本文学概論(古典)A	1	2	2	選択			1・2・3	150	
222011	日本文学概論(古典)B	1	2	2	選択			1・2・3	100	
222012	日本文学概論(古典)B	1	2	2	選択			1・2・3	150	
222013	日本文学概論(近現代)	1	2	2	選択	日本文学		1・2・3	100	
222014	日本文学概論(近現代)	1	2	2	選択	日本文学		1・2・3	150	
222015	日本の文化(芸能)	1	2	2	選択	日本文学	日本の文化(芸能)・・と 「日本の文化(古典文化)・・」を 交互に開講	1・2・3	100	
222016	日本の文化(芸能)	1	2	2	選択			1・2・3	150	
222017	日本の文化(古典文化)	1	2	2	選択			1・2・3	100	
222018	日本の文化(古典文化)	1	2	2	選択			1・2・3	150	
222019	漢文学概論	1	2	2	選択	日本文学		1・2・3	100	
222020	漢文学概論	1	2	2	選択	日本文学		1・2・3	150	
222021	Japanese Culture & Literature	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	国際英語専攻と共有
223001	日本史概論	1	2	2	選択	歴史文化	歴史文化専攻は必修	1・2	100	
223002	日本史概論	1	2	2	選択			1・2	100	
223003	アジア史概論	1	2	2	選択			1・2	100	
223004	アジア史概論	1	2	2	選択	歴史文化		1・2	100	
223005	西洋史概論	1	2	2	選択	歴史文化		1・2	100	
223006	西洋史概論	1	2	2	選択	歴史文化		1・2	100	
223007	日本史の理論と方法	1	2	2	選択	歴史文化	歴史文化専攻は2単位必修	2・3	200	
223008	アジア史の理論と方法	1	2	2	選択			2・3	200	
223009	西洋史の理論と方法	1	2	2	選択			2・3	200	
220002	宗教史	1	2	2	選択	(人文学科)		1・2・3	100	
220003	法学概論	1	2	2	選択	(人文学科)		1・2・3	100	国際関係専攻と共有
220004	政治学概論	1	2	2	選択	(人文学科)		1・2・3	100	国際関係専攻と共有
220005	ミクロ経済学入門	1	2	2	選択	(人文学科)		1・2・3	100	経済学専攻と共有
220006	マクロ経済学入門	1	2	2	選択	(人文学科)		1・2・3	100	経済学専攻と共有
220007	社会学概論	1	2	2	選択	(人文学科)	哲・歴	2・3	200	社会学専攻と共有
220008	社会学概論	1	2	2	選択	(人文学科)	哲・歴	2・3	250	社会学専攻と共有
<b>特殊講義</b>										
220101	人文学総合講義	1	2	2	必修	(人文学科)	哲・日・歴	3	300	3クラス
221101	現代哲学の課題と方法	1	2	2	選択	哲学	哲学専攻は10単位必修	2・3・4	200	
221102	現代科学とテクノロジーの哲学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
221103	応用倫理学の展望	1	2	2	選択			2・3・4	200	
221104	女性と生命倫理	1	2	2	選択	哲学		2・3・4	200	
221105	西洋の美学	1	2	2	選択	哲学		2・3・4	200	
221106	日本と東洋の美学	1	2	2	選択	哲学		2・3・4	200	
221107	芸術と社会	1	2	2	選択	哲学		2・3・4	200	
221108	キリスト教の思想・文化	1	2	2	選択	哲学		2・3・4	200	
221109	日本思想史	1	2	2	選択	哲学		2・3・4	200	

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15講単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
222101	日本語学(表記・語彙)A	1	2	2	選択			2・3・4	200	コミュニケーション専攻と共有
222102	日本語学(表記・語彙)B	1	2	2	選択			2・3・4	200	コミュニケーション専攻と共有
222103	日本語学(文法・談話)A	1	2	2	選択			2・3・4	200	コミュニケーション専攻と共有
222104	日本語学(文法・談話)B	1	2	2	選択			2・3・4	200	コミュニケーション専攻と共有
222105	日本語史(古代・中世語)A	1	2	2	選択			2・3・4	200	「日本語史(古代・中世語)A・B」と 「日本語史(中世・近世語)A・B」を 交互に開講
222106	日本語史(古代・中世語)B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222107	日本語史(中世・近世語)A	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222108	日本語史(中世・近世語)B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222109	社会言語学A	1	2	2	選択			2・3・4	200	コミュニケーション専攻と共有
222110	社会言語学B	1	2	2	選択			2・3・4	200	コミュニケーション専攻と共有
222111	比較文化A	1	2	2	選択			2・3・4	200	国際英語専攻と共有
222112	比較文化B	1	2	2	選択			2・3・4	200	国際英語専攻と共有
222113	表象文化A	1	2	2	選択			2・3・4	200	「比較文化A・B」と 「表象文化A・B」を 交互に開講
222114	表象文化B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222115	日本古代文学A	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講
222116	日本古代文学B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222117	日本中古文学A	1	2	2	選択	日本文学専攻は4単位必修		2・3・4	200	交互に開講
222118	日本中古文学B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222119	日本中世文学A	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講
222120	日本中世文学B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222121	日本近世文学A	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講
222122	日本近世文学B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222123	日本近代文学A	1	2	2	選択			2・3・4	200	「日本近代文学A・B」と 「日本近代文学C・D」を 交互に開講
222124	日本近代文学B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222125	日本近代文学C	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講
222126	日本近代文学D	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222127	日本現代文学A	1	2	2	選択			2・3・4	200	「日本現代文学A・B」と 「日本現代文学C・D」を 交互に開講
222128	日本現代文学B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222129	日本現代文学C	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講
222130	日本現代文学D	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222131	日本文化学A	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講
222132	日本文化学B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
222133	中国の文学と文化A	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講
222134	中国の文学と文化B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
220102	書道	1	2	2	選択	(人文学科)	日	3	300	2クラス
223101	日本古代史料論	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は8単位必修
223102	日本中世史料論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223103	日本近世史料論	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223104	日本近現代史料論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223105	日本古代史	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223106	日本中世史	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223107	日本近世史	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223108	日本近現代史	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223109	オリエント史	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223110	中国史	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223111	インド史	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223112	イスラーム史	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223113	ギリシア・ローマ史	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223114	イギリス史	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223115	ドイツ史	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223116	フランス史	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223117	西洋前近代史A	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223118	西洋前近代史B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223119	西洋近現代史A	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223120	西洋近現代史B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223121	考古学(日本)	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
223122	考古学(アジア)	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223123	考古学(西洋)	1	2	2	選択			2・3・4	200	「考古学(日本)」「考古学(アジア)」、 「考古学(西洋)」
223124	美術史(日本)	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223125	美術史(アジア)	1	2	2	選択			2・3・4	200	「美術史(日本)」「美術史(アジア)」、 「美術史(西洋)」
223126	美術史(西洋)	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223127	グローバル・ヒストリーA	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223128	グローバル・ヒストリーB	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223129	カルチュラル・ヒストリーA	1	2	2	選択			2・3・4	200	歴史文化専攻は4単位必修
223130	カルチュラル・ヒストリーB	1	2	2	選択			2・3・4	200	
223131	世界遺産学A	1	2	2	選択			2・3・4	200	コミュニティ構想専攻と共有
223132	世界遺産学B	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講 コミュニティ構想専攻と共有

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15講単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
220103	人文地理学	1	2	2	選択	(人文学科)		2・3	200	国際社会学科と共有
220104	自然地理学	1	2	2	選択	(人文学科)		2・3	200	国際社会学科と共有
220105	地誌学	1	2	2	選択	(人文学科)		2・3	200	国際社会学科と共有
	<b>基礎演習</b>									
220201	人文学基礎演習	1	2	2	必修	(人文学科)	哲・日・歴	1	100	7クラス
221201	哲学2年次演習	1	2	2	選択	哲学	哲	2	200	哲学専攻は必修
221202	哲学2年次演習	1	2	2	選択	哲学	哲	2	250	
221203	キリスト教学演習A	1	2	2	選択	哲学		2・3	200	
221204	キリスト教学演習B	1	2	2	選択	哲学		2・3	200	交互に開講
222201	古典文学基礎演習(くずし字)	1	2	2	選択	日本文学		1・2	100	
222202	古典文学基礎演習(解釈)	1	2	2	選択	日本文学		1・2	100	
222203	日本古典文学演習(講読)A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222204	日本古典文学演習(講読)B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	交互に開講
222205	現代日本語演習	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222206	現代日本語演習	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	
222207	日本語史演習	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222208	日本語史演習	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	
222209	社会言語学演習	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222210	社会言語学演習	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	
222211	日本古代文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222212	日本古代文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	「日本古代文学演習A・A」と
222213	日本古代文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	「日本古代文学演習B・B」を
222214	日本古代文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	交互に開講
222215	日本中古文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222216	日本中古文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	「日本中古文学演習A・A」と
222217	日本中古文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	「日本中古文学演習B・B」を
222218	日本中古文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	交互に開講
222219	日本中世文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222220	日本中世文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	「日本中世文学演習A・A」と
222221	日本中世文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	「日本中世文学演習B・B」を
222222	日本中世文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	交互に開講
222223	日本近世文学演習A	1	2	2	選択	日本文学専攻は10単位必修 日本文学		2・3	200	
222224	日本近世文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	「日本近世文学演習A・A」と
222225	日本近世文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	「日本近世文学演習B・B」を
222226	日本近世文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	交互に開講
222227	日本文化演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222228	日本文化演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	「日本文化演習A・A」と
222229	日本文化演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	「日本文化演習B・B」を
222230	日本文化演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	交互に開講
222231	日本近現代文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222232	日本近現代文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	「日本近現代文学演習A・A」と
222233	日本近現代文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	「日本近現代文学演習B・B」を
222234	日本近現代文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	交互に開講
222235	日本近現代文学演習C	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222236	日本近現代文学演習C	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	「日本近現代文学演習C・C」と
222237	日本近現代文学演習D	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	「日本近現代文学演習D・D」を
222238	日本近現代文学演習D	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	交互に開講
222239	漢文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222240	漢文学演習A	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	「漢文学演習A・A」と
222241	漢文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	「漢文学演習B・B」を
222242	漢文学演習B	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	交互に開講
222243	古典籍調査	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222244	言語調査	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222245	言語調査	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	
222246	言語情報処理	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	コミュニケーション専攻と共有
222247	言語情報処理	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	コミュニケーション専攻と共有
222248	創作と批評(創作)	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222249	創作と批評(創作)	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	
222250	創作と批評(批評)	1	2	2	選択	日本文学		2・3	200	
222251	創作と批評(批評)	1	2	2	選択	日本文学		2・3	250	
223201	文献・資料演習(日本古代)A	1	2	2	選択	歴史文化		2・3	200	「文献・資料演習(日本古代)A・A」と
223202	文献・資料演習(日本古代)A	1	2	2	選択	歴史文化		2・3	250	「文献・資料演習(日本古代)B・B」を
223203	文献・資料演習(日本古代)B	1	2	2	選択	歴史文化		2・3	200	交互に開講
223204	文献・資料演習(日本古代)B	1	2	2	選択	歴史文化		2・3	250	
223205	文献・資料演習(日本中世)A	1	2	2	選択	歴史文化		2・3	200	「文献・資料演習(日本中世)A・A」と
223206	文献・資料演習(日本中世)A	1	2	2	選択	歴史文化		2・3	250	「文献・資料演習(日本中世)B・B」を
223207	文献・資料演習(日本中世)B	1	2	2	選択	歴史文化専攻は8単位必修 歴史文化		2・3	200	交互に開講
223208	文献・資料演習(日本中世)B	1	2	2	選択	歴史文化		2・3	250	



## (ウ)国際社会学科

\* 国際社会学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。  
 \* 自学科科目64単位には、以下の 科目の計54単位を含めなければならない。  
 「国際社会学論」2単位、「国際社会学基礎演習」2単位、「卒業論文」8単位の3科目 計12単位  
 自専攻科目 計42単位  
 \* 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

授業科目コード	授業科目	授業期間 (16週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
	<b>入門</b>									
230001	国際社会学論	1	2	2	必修	(国際社会学科)	国・経・社・構	1	100	
231001	国際関係論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	
231002	国際関係論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	150	} 国際関係専攻は必修
231003	文化人類学	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	
231004	文化人類学	1	2	2	選択	国際関係		1・2	150	
232001	ミクロ経済学入門	1	2	2	選択	経済学		1	100	人文学科と共有
232002	マクロ経済学入門	1	2	2	選択	経済学		1	100	人文学科と共有
232003	初級ミクロ経済学	1	2	2	選択	経済学		1	100	} 経済学専攻は必修
232004	初級マクロ経済学	1	2	2	選択	経済学		1	100	
232005	経営学入門	1	2	2	選択	経済学		1	100	
233001	社会学概論	1	2	2	選択	社会学	国・経・社・構	1	100	人文学科と共有
233002	社会学概論	1	2	2	選択	社会学	国・経・社・構	1	150	人文学科と共有
234001	コミュニティ構想論	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2	100	} 交互に開講
234002	コミュニティ政策論	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2	100	
234003	コミュニティとジェンダー	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2	100	} 交互に開講
234004	グローバル共生とコミュニティ	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2	100	
	<b>基礎講義</b>									
231101	政治学概論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	人文学科と共有
231102	法学概論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	人文学科と共有
231103	日本史概論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	
231104	東洋史概論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	
231105	西洋史概論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	} 国際関係専攻は6単位必修
231106	東アジア社会基礎論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	
231107	東南アジア社会基礎論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	
231108	アメリカ社会基礎論	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	} 交互に開講
231109	国際関係史	1	2	2	選択	国際関係		1・2	100	
232101	統計学	1	2	2	選択	経済学		1・2	100	
232102	経済史	1	2	2	選択	経済学		2	200	
232103	経済学史	1	2	2	選択	経済学		2	200	
232104	経済数学	1	2	2	選択	経済学		2	200	数理科学科と共有
232105	中級ミクロ経済学	1	2	2	選択	経済学		2	200	} 経済学専攻は10単位必修
232106	中級マクロ経済学	1	2	2	選択	経済学		2	200	
232107	公共経済学	1	2	2	選択	経済学		2	200	
232108	経済政策	1	2	2	選択	経済学		2	200	
232109	経営管理論	1	2	2	選択	経済学		2	200	
232110	経営組織論	1	2	2	選択	経済学		2	200	
233101	社会学史	1	2	2	選択	社会学		2	200	
233102	社会学史	1	2	2	選択	社会学		2	250	} 社会学専攻は必修
233103	社会調査法A	1	2	2	選択	社会学		2	200	
234101	コミュニティと文化	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2・3	100	} 交互に開講
234102	コミュニティと情報メディア	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2・3	100	
234103	ジェンダーと法	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2・3	100	} 交互に開講
234104	市民参加と法	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2・3	100	
234105	余暇ツーリズム論	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2・3	100	} 交互に開講
234106	ツーリズムとジェンダー	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2・3	100	
234107	コミュニティ計測法基礎	1	2	2	選択	コミュニティ構想		1・2	100	都市フィールドワークと交互に開講
234108	実践的研究計画法(研究計画)	1	2	2	選択	コミュニティ構想	国・経・社・構	1・2・3・4	100	
234109	実践的研究計画法(研究構想)	1	2	2	選択	コミュニティ構想	国・経・社・構	1・2・3・4	100	

授業科目 コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
	<b>応用講義</b>									
231201	ジェンダー国際関係論A	1	2	2	選択	国際関係		2・3	200	交互に開講
231202	ジェンダー国際関係論B	1	2	2	選択	国際関係		2・3	200	
231203	人間の安全保障	1	2	2	選択	国際関係		2・3	200	
231204	日本政治外交史A	1	2	2	選択	国際関係		2・3	200	
231205	日本政治外交史B	1	2	2	選択	国際関係		2・3	200	
231206	朝鮮政治外交史	1	2	2	選択	国際関係		2・3	200	
231207	朝鮮政治外交史	1	2	2	選択	国際関係		2・3	250	
231208	中国政治外交史	1	2	2	選択	国際関係		2・3	200	
231209	中国政治外交史	1	2	2	選択	国際関係		2・3	250	
231210	アメリカ史	1	2	2	選択	国際関係		2・3	200	
231211	アメリカ史	1	2	2	選択	国際関係		2・3	250	
231212	国際関係法A	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231213	国際関係法B	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231214	国際機構論	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231215	国際関係(日米)	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	交互に開講
231216	国際関係(日朝)	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231217	国際関係(日中)	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	交互に開講
231218	日本政治思想史	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231219	現代韓国論	1	2	2	選択	国際関係専攻は8単位必修	国際関係	2・3・4	200	交互に開講
231220	韓国政治・経済論	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231221	現代中国論	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	交互に開講
231222	香港・台湾論	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231223	現代アメリカ政治論	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231224	現代アメリカの動態	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231225	南アジア社会特論	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	交互に開講
231226	イスラム社会特論	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231227	民族誌特論A	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	交互に開講
231228	民族誌特論B	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231229	宗教人類学	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	交互に開講
231230	政治人類学	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231231	人種・民族・国民	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	交互に開講
231232	人権・人道の人類学	1	2	2	選択	国際関係		2・3・4	200	
231233	国際政治経済	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231234	国際政治経済	1	2	2	選択	国際関係		3・4	350	
231235	比較政治学	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231236	比較政治学	1	2	2	選択	国際関係		3・4	350	
231237	アジア国際関係論	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231238	アジア国際関係論	1	2	2	選択	国際関係		3・4	350	
231239	近現代日本研究(政治・外交)A	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231240	近現代日本研究(政治・外交)B	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231241	朝鮮研究	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231242	朝鮮研究	1	2	2	選択	国際関係		3・4	350	
231243	中国研究	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231244	中国研究	1	2	2	選択	国際関係専攻は6単位必修	国際関係	3・4	350	
231245	アメリカ研究(政治・外交)	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231246	アメリカ研究(政治・外交)	1	2	2	選択	国際関係		3・4	350	
231247	アメリカ研究(社会史)	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231248	アメリカ研究(社会史)	1	2	2	選択	国際関係		3・4	350	
231249	日米比較研究	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231250	日米比較研究	1	2	2	選択	国際関係		3・4	350	
231251	周縁世界とグローバル化	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231252	周縁世界とグローバル化	1	2	2	選択	国際関係		3・4	350	
231253	東アジアの文化と社会	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	
231254	民族と世界	1	2	2	選択	国際関係		3・4	300	

授業科目 コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
232201	国際経済学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232202	開発経済学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232203	計量経済学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232204	環境経済学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232205	労働経済学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232206	金融論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232207	財政学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232208	日本経済論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232209	ゲームの理論	1	2	2	選択			2・3・4	200	数理科学科と共有
232210	産業組織論	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
232211	都市・地域経済学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232212	ジェンダーの経済学	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
232213	女性起業論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232214	福祉の経済学	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
232215	現代経済論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232216	アメリカ経済論	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
232217	EU経済論	1	2	2	選択	経済学専攻は4単位必修		2・3・4	200	
232218	アジア経済論	1	2	2	選択		*1	2・3・4	200	とを交互に開講
232219	中国経済論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232220	日本経済史	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
232221	経営史	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232222	保険論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232223	証券論	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
232224	中小企業論	1	2	2	選択			2・3・4	200	「保険論」,「中小企業論」,
232225	経済法	1	2	2	選択			2・3・4	200	「企業法」,
232226	企業法	1	2	2	選択			2・3・4	200	「証券論」,「経済法」,
232227	労働法	1	2	2	選択			2・3・4	200	「労働法」,
232228	経営戦略論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232229	マーケティング	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232230	簿記論	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232231	財務会計	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
232232	管理会計	1	2	2	選択			2・3・4	200	
232233	ロジスティクス論	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
232234	経営ファイナンス論	1	2	2	選択			2・3・4	200	数理科学科と共有
233201	社会調査法B	1	2	2	選択			2・3・4	200	
233202	社会調査法C	1	2	2	選択			2・3・4	200	隔年開講
233203	社会統計学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
233204	社会統計学	1	2	2	選択			2・3・4	250	
233205	家族社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
233206	家族社会学	1	2	2	選択			2・3・4	250	「家族社会学」,
233207	地域社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	「地域社会学」,「都市社会学」,
233208	都市社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
233209	現代社会論	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
233210	日本社会論	1	2	2	選択			2・3・4	200	「現代社会論」,「日本社会論」,
233211	政治社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	「政治社会学」,「公共社会学」,
233212	公共社会学	1	2	2	選択	社会学専攻は14単位必修		2・3・4	200	
233213	労働社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
233214	労働社会学	1	2	2	選択			2・3・4	250	「労働社会学」,
233215	産業社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	「産業社会学」,「組織社会学」,
233216	組織社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
233217	ライフコースの社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
233218	福祉社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	「ライフコースの社会学」,「福祉社会学」,
233219	臨床社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	「臨床社会学」,「文化社会学」,
233220	文化社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	
233221	比較社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	とを交互に開講
233222	多文化の社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	「比較社会学」,「多文化の社会学」,
233223	国際社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	「国際社会学」,「グローバル化の社会学」,
233224	グローバル化の社会学	1	2	2	選択			2・3・4	200	



授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考	
234201	コミュニティと心理学	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講	
234202	コミュニティとリーダーシップ	1	2	2	選択			2・3・4	200		
234203	ソーシャル・キャピタル論	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講	
234204	ソーシャル・サポート	1	2	2	選択			2・3・4	200		
234205	公共生活と法	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講	
234206	まちづくりと法	1	2	2	選択			2・3・4	200		
234207	地域共生とツーリズム	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講	
234208	地域共生とイノベーション	1	2	2	選択			2・3・4	200		
234209	コミュニティとリスク	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講	
234210	ホスピタリティ論	1	2	2	選択			2・3・4	200		
234211	コミュニティ・デザイン論	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は12単位選択必修		2・3・4	200	交互に開講	
234212	グローバル化とまちづくり	1	2	2	選択			2・3・4	200		
234213	世界遺産学A	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講 歴史文化専攻と共有	
234214	世界遺産学B	1	2	2	選択			2・3・4	200		
234215	コミュニティ調査法A	1	2	2	選択			2・3	200	交互に開講	
234216	コミュニティ調査法B	1	2	2	選択			2・3	200		
234217	コミュニティ計測法A	1	2	2	選択			2・3・4	200	交互に開講	
234218	コミュニティ計測法B	1	2	2	選択			2・3・4	200		
234219	都市フィールドワーク	1	2	2	選択			2・3・4	200	「コミュニティ計測法基礎」と交互に開講	
230201	人文地理学	1	2	2	選択	(国際社会学科)		2・3	200	人文学科と共有	
230202	自然地理学	1	2	2	選択	(国際社会学科)		2・3	200	人文学科と共有	
230203	地誌学	1	2	2	選択	(国際社会学科)		2・3	200	人文学科と共有	
<b>基礎演習</b>											
230301	国際社会基礎演習	1	2	2	必修	(国際社会学科)	国・経・社・構	1	100	13クラス	
231301	基礎演習(国際関係)	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	国際関係	国	1	100	6クラス
232301	基礎演習(経済学)	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	経済学	経	1	100	3クラス
233301	基礎演習(社会学)	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	社会学	社	1	100	2クラス
234301	基礎演習(コミュニティ構想)	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は必修	コミュニティ構想	構	1	100	2クラス
231302	2年次演習(国際関係)	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	国際関係	国	2	200	7クラス
231303	2年次演習(国際関係)	1	2	2	選択		国際関係	国	2	250	7クラス
232302	2年次演習(経済学)	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	経済学	経	2	200	6クラス
232303	2年次演習(経済学)	1	2	2	選択		経済学	経	2	250	6クラス
233302	2年次演習(社会学)	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	社会学	社	2	200	4クラス
233303	2年次演習(社会学)	1	2	2	選択		社会学	社	2	250	4クラス
234302	2年次演習(コミュニティ構想)	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は必修	コミュニティ構想	構	2	200	4クラス
234303	2年次演習(コミュニティ構想)	1	2	2	選択		コミュニティ構想	構	2	250	4クラス
<b>発展演習</b>											
231401	社会調査実習	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	国際関係	国・経・社・構	3	300	6クラス
232401							経済学				
233401							社会学				
234401							コミュニティ構想				
231402	社会調査実習	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	国際関係	国・経・社・構	3	350	6クラス
232402							経済学				
233402							社会学				
234402							コミュニティ構想				
234403	コミュニティ拠点実習(キャリア構想)	1	2	2	選択		コミュニティ構想		2	200	2クラス
234404	コミュニティ拠点実習(キャリア実践)	1	2	2	選択		コミュニティ構想		3	300	2クラス
234405	コミュニティ拠点実習(地域構想)	1	2	2	選択		コミュニティ構想		2	200	2クラス
234406	コミュニティ拠点実習(地域実践)	1	2	2	選択		コミュニティ構想		3	300	2クラス
234407	コミュニティ調査実習(企画・立案・設計)	1	2	2	選択		コミュニティ構想		3・4	300	
234408	コミュニティ調査実習(実査と分析)	1	2	2	選択		コミュニティ構想		3・4	300	
231403	3年次演習(国際関係)Ⅰ	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	国際関係	国	3	300	11クラス
231404	3年次演習(国際関係)	1	2	2	選択		国際関係	国	3	350	11クラス
232403	3年次演習(経済学)Ⅰ	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	経済学	経	3	300	7クラス
232404	3年次演習(経済学)	1	2	2	選択		経済学	経	3	350	7クラス
233403	3年次演習(社会学)Ⅰ	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	社会学	社	3	300	5クラス
233404	3年次演習(社会学)	1	2	2	選択		社会学	社	3	350	5クラス
234409	3年次演習(コミュニティ構想)Ⅰ	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は必修	コミュニティ構想	構	3	300	5クラス
234410	3年次演習(コミュニティ構想)	1	2	2	選択		コミュニティ構想	構	3	350	5クラス
231405	4年次演習(国際関係)Ⅰ	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	国際関係	国	4	400	11クラス
231406	4年次演習(国際関係)	1	2	2	選択		国際関係	国	4	450	11クラス
232405	4年次演習(経済学)Ⅰ	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	経済学	経	4	400	7クラス
232406	4年次演習(経済学)	1	2	2	選択		経済学	経	4	450	7クラス
233405	4年次演習(社会学)Ⅰ	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	社会学	社	4	400	5クラス
233406	4年次演習(社会学)	1	2	2	選択		社会学	社	4	450	5クラス
234411	4年次演習(コミュニティ構想)Ⅰ	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は必修	コミュニティ構想	構	4	400	5クラス
234412	4年次演習(コミュニティ構想)	1	2	2	選択		コミュニティ構想	構	4	450	5クラス

授業科目 コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
	<b>卒業論文</b>									
230501	卒業論文	2		8	必修	(国際社会学科)	国・経・ 社・構	4	490	通年科目

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

- 2 経済学専攻の学生は、基礎講義、応用講義及び発展演習の「\*1」印の範囲において4単位を修得しなければならない。ただし、選択必修科目の単位として修得した単位を除く。
- 3 コミュニティ構想専攻の学生は、発展演習の「\*2」印の範囲において4単位を修得しなければならない。
- 4 国際社会学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。
- 5 国際社会学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数130単位のうち所定の科目の単位を含む86単位を修得しなければならない。

(工)心理・コミュニケーション学科(2022年度以降入学者に適用)

\* 心理・コミュニケーション学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。  
 \* 自学科科目64単位には、以下の 科目の計56単位を含めなければならない。  
 「心理・コミュニケーション概論」2単位、「心理学概論」2単位、「コミュニケーション概論」2単位、「卒業論文」8単位の4科目計14単位  
 自専攻科目 計42単位 (ただし、心理・コミュニケーション学科の「心理演習」、「心理実習」の単位は含まない。)  
 \* 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考	
	入門										
240001	心理・コミュニケーション概論	1	2	2	必修	(心理・コミュニケーション学科)	心コ	1	100		
240002	心理学概論	1	2	2	必修	(心理・コミュニケーション学科)	心コ	1	100		
240003	コミュニケーション概論I	1	2	2	必修	(心理・コミュニケーション学科)	心コ	1	100		
242001	コミュニケーション概論II(メディア)	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	1	150	}	
242002	コミュニケーション概論II(情報デザイン)	1	2	2	選択						コミュニケーション専攻は必修
242003	コミュニケーション概論II(多文化)	1	2	2	選択						コミュニケーション
	基盤講義										
341101	知覚・認知心理学概論	1	2	2	選択	心理学	心コ	1	150	}	
241102	社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	1	2	2	選択	心理学	心コ	1	150		
241103	発達心理学概論	1	2	2	選択	心理学	心コ	2	200	}	
241104	臨床心理学概論	1	2	2	選択						心理学専攻は必修
241105	心理学統計法1	1	2	2	選択	心理学	心コ	1	150	}	
241106	心理学統計法2	1	2	2	選択	心理学	心コ	2	200		
242101	コミュニケーション統計法1	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2	200	}	
242102	コミュニケーション統計法2	1	2	2	選択						コミュニケーション専攻は必修
242103	先端トピック概論(コミュニケーション)A	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	1	100	}	
242104	先端トピック概論(コミュニケーション)B	1	2	2	選択						コミュニケーション専攻は2単位必修
	特殊講義										
241201	思考心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	250	}	
341202	知覚心理学	1	2	2	選択						心理学専攻は2単位必修
241203	神経・生理心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	250	}	
341204	認知心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	250		
241205	学習・言語心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241206	感情・人格心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200		
241207	社会心理学(個人内過程)	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241208	社会心理学(対人過程)	1	2	2	選択						心理学専攻は2単位必修
241209	社会心理学(マクロ・集団)	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241210	社会心理学(応用)	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200		
241211	発達心理学(情動発達)	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241212	発達心理学(社会発達)	1	2	2	選択						心理学専攻は2単位必修
241213	発達心理学(認知発達)	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241214	教育心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200		
241215	心理学的支援法	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241216	教育・学校心理学	1	2	2	選択						心理学専攻は2単位必修
241217	家族心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241218	産業・組織心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200		
241219	健康・医療心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241220	障害者・障害児心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200		
241221	精神保健学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241222	精神疾患とその治療	1	2	2	選択						心理学専攻は2単位必修
241223	福祉心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200	}	
241224	司法・犯罪心理学	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200		
241225	心理学特論	1	2	2	選択	心理学	心コ	2・3・4	200		
242201	メディア心理学	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242202	コミュニケーション心理学A	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242203	コミュニケーション心理学B	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242204	メディアとことば	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242205	メディア社会論	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200	}	
242206	メディア文化論	1	2	2	選択						コミュニケーション専攻は
242207	メディア産業論	1	2	2	選択						2単位必修
242208	メディア史	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242209	ジャーナリズムと現代社会	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242210	広告と消費者心理	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242211	ジェンダーとメディア	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242212	グローバルメディア	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242213	デザイン思考	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200	}	
242214	デザイン思考	1	2	2	選択						次頁及び注4参照
242215	ユニバーサルデザイン(人間中心設計)	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		
242216	ユニバーサルデザイン(心理物理)	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200	
242217	デザイン心理(視覚)	1	2	2	選択	2単位必修	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200	
242218	デザイン心理(聴覚)	1	2	2	選択	コミュニケーション	心コ	2・3・4	200		

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別		学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
242219	ICTリテラシー	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242220	ICTリテラシー	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	250	
242221	インターネット・バイ・デザインI	1	2	2	選択	選択必修 前頁参照	コミュニケーション		2・3・4	200	
242222	インターネット・バイ・デザインII	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	250	
242223	Webデザイン	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242224	SNSコミュニティデザイン	1	2	2	選択		* コミュニケーション		2・3・4	200	
242225	ユーザニーズ分析	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242226	コミュニケーションと女性のキャリア	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242227	多文化コミュニケーション	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242228	対人コミュニケーション(家族)	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242229	対人コミュニケーション(社会)	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242230	対人コミュニケーション(ジェンダー)	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242231	ダイバーシティとコミュニケーション	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242232	文化心理学(文化と自己)	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242233	文化心理学(文化と認知)	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242234	文化心理学(グローバル社会)	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242235	多文化教育	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は 2単位必修	コミュニケーション		2・3・4	200	
242236	日本語教育研究概論	1	2	2	選択		コミュニケーション	2	200		
242237	日本語教育研究概論	1	2	2	選択		コミュニケーション	2	250		
242238	日本語教育研究	1	2	2	選択		コミュニケーション	3	300		
242239	日本語教育研究	1	2	2	選択		コミュニケーション	3	350		
242240	多文化コミュニケーション・デザイン	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242241	ことばと文化	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242242	言語コミュニケーション能力の発達	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	
242243	言語の多様性と普遍性A	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	国際英語専攻と共有
242244	言語の多様性と普遍性B	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	国際英語専攻と共有
242245	第二言語習得基礎論A	1	2	2	選択		コミュニケーション	2	200	国際英語専攻と共有	
242246	第二言語習得基礎論B	1	2	2	選択		コミュニケーション	2	200	国際英語専攻と共有	
242247	社会言語学A	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	日本文学専攻と共有
242248	社会言語学B	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	日本文学専攻と共有
242249	日本語学(表記・語彙)A	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	日本文学専攻と共有
242250	日本語学(表記・語彙)B	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	日本文学専攻と共有
242251	日本語学(文法・談話)A	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	日本文学専攻と共有
242252	日本語学(文法・談話)B	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3・4	200	日本文学専攻と共有
	基礎演習										
241301	1年次演習(心理学)	1	2	2	選択	心理学専攻は必修	心理学	心	1	100	6クラス
241302	2年次演習(心理学)A	1	2	2	選択		心理学	心	2	200	6クラス
241303	2年次演習(心理学)B	1	2	2	選択		心理学	心	2	250	6クラス
341304	心理学実験入門(心理学研究法)	1	2	2	選択		心理学	心	1	100	
242301	1年次演習(コミュニケーション)	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は必修	コミュニケーション	コ	1	100	5クラス
242302	2年次演習(コミュニケーション)	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	2	200	6クラス
242303	コミュニケーション研究法入門	1	4	4	選択		コミュニケーション	コ	2	200	週2コマ 5クラス
242304	アプリ作成入門	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	1	150	
242305	Webプログラミング	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	2	200	
242306	Webプログラミング	1	2	2	選択	*	コミュニケーション	コ	2	250	
242307	オーラルコミュニケーションスキルズ	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3	200	
242308	言語情報処理	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3	200	日本文学専攻と共有
242309	言語情報処理	1	2	2	選択		コミュニケーション		2・3	250	日本文学専攻と共有
	発展演習										
241401	3年次演習(心理学)	1	2	2	選択	心理学専攻は必修	心理学	心	3	300	9クラス
241402	4年次演習(心理学)A	1	2	2	選択		心理学	心	4	400	9クラス
241403	4年次演習(心理学)B	1	2	2	選択		心理学	心	4	450	9クラス
241404	心理学特殊演習(先端)	1	2	2	選択		心理学	心	3・4	350	
341405	心理学特殊演習(応用)	1	2	2	選択		心理学	心	3・4	350	
242401	3年次演習(コミュニケーション)	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は必修	コミュニケーション	コ	3	300	13クラス
242402	3年次演習(コミュニケーション)	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	3	350	13クラス
242403	4年次演習(コミュニケーション)	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	4	400	13クラス
242404	4年次演習(コミュニケーション)	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	4	450	13クラス
242405	コミュニケーション研究法実習(実験法)	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は2単位必修	コミュニケーション	コ	3	300	
242406	コミュニケーション研究法実習(内容分析)	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	3	300	
242407	コミュニケーション研究法実習(質的研究)	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	3	300	
242408	社会調査法実習(質問紙調査)	1	2	2	選択	コミュニケーション専攻は2単位必修	コミュニケーション	コ	3	300	
242409	社会調査法実習(質問紙調査)II	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	3	350	
242410	多変量解析	1	2	2	選択		コミュニケーション	コ	3	350	2クラス

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考	
	実験・実習										
341501	発達臨床基礎実習(心理学研究法)	1	2	1	選択	心理学	心	1	150		
341502	心理的アセスメント	1	2	1	選択	心理学	心	2	200	2クラス	
241503	心理学実験演習 A	1	2	1	選択	心理学専攻は必修	心理学	心	2	200	2クラス
241504	心理学実験演習 B	1	4	2	選択		心理学	心	2	250	週2コマ 2クラス
241505	心理学実験演習 (実験法)	1	2	1	選択	心理学専攻は1単位必修	心理学	心	3	300	
241506	心理学実験演習 (調査法)	1	2	1	選択		心理学	心	3	300	
241507	心理学実験演習 (質的アプローチ)	1	2	1	選択		心理学	心	3	300	
241508	心理学実験演習 (実験法)	1	2	1	選択	心理学専攻は必修	心理学	心	3・4	350	
241509	心理学特殊実験演習	1	4	2	選択	心理学専攻は必修	心理学	心	3	350	週2コマ 9クラス
242501	日本語教育実習	2	2	4	選択	コミュニケーション		4	400	通年科目	
	卒業論文										
240601	卒業論文	2		8	必修	(心理・コミュニケーション学科)	心コ	4	490	通年科目	
	公認心理師特設科目										
241701	公認心理師の職責**	1	2	2	選択	心理学	心	2	250		
241702	人体の構造と機能及び疾病**	1	2	2	選択	心理学	心	2・3・4	250	交互に開講	
241703	関係行政論**	1	2	2	選択	心理学	心	2・3・4	250		
241704	心理演習***	1	2	2	選択	心理学	心	4	400	2クラス	
241705	心理実習***	2	4	4	選択	心理学	心	4	400	週2コマ 通年科目 2クラス	

注 1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

2 「心理学統計法2」を履修するには、「心理学統計法1」2単位を修得していなければならない。

3 「コミュニケーション統計法2」を履修するには、「コミュニケーション統計法1」2単位を修得していなければならない。

4 コミュニケーション専攻の学生は、特殊講義及び基盤演習の「\*」印の範囲において10単位を修得しなければならない。  
ただし、必ず特殊講義の選択必修3科目計6単位を含めなければならない。

5 「日本語教育研究」及び「日本語教育研究」を履修するには、次の2科目計4単位を修得していなければならない。  
「第二言語習得基礎論A」又は「第二言語習得基礎論B」のうち1科目2単位  
「日本語教育研究概論」又は「日本語教育研究概論」のうち1科目2単位

6 「日本語教育実習」を履修するには、次の5科目計10単位を修得していなければならない。  
「第二言語習得基礎論A」「第二言語習得基礎論B」「日本語教育研究概論」「日本語教育研究概論」の4科目計8単位  
「日本語教育研究」又は「日本語教育研究」のうち1科目2単位

7 「公認心理師特設科目」(\* \* 印及び\* \* \* 印の科目)を履修するには、所定の公認心理師課程登録を行っていないといけない。

8 \* \* \* 印の「心理演習」、「心理実習」の単位は、卒業に必要な単位(心理・コミュニケーション学科科目及び自由選択科目)として数えられない。

9 心理・コミュニケーション学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。

10 心理・コミュニケーション学科の学生が4年次に進級するには、前年度未までに、卒業に必要な単位数130単位のうち所定の科目の単位を含む86単位を修得しなければならない。

## (才)数理科学科

\* 数理科学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて72単位を修得しなければならない。  
 \* 自学科科目72単位には、以下の 科目の計40単位を含めなければならない。  
 「微分積分学」2単位、「微分積分学」2単位、「微分積分学演習」1単位、「微分積分学演習」1単位、  
 「線形代数学」2単位、「線形代数学」2単位、「線形代数学演習」1単位、「線形代数学演習」1単位の8科目 計12単位  
 自専攻科目 計28単位  
 \* 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

授業科目 コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
<b>数学基礎</b>										
250001	微分積分学	1	2	2	必修	(数理科学科)	数・情	1	100	
250002	微分積分学	1	2	2	必修	(数理科学科)	数・情	1	150	
250003	微分積分学演習	1	2	1	必修	(数理科学科)	数・情	1	100	
250004	微分積分学演習	1	2	1	必修	(数理科学科)	数・情	1	150	
250005	線形代数学	1	2	2	必修	(数理科学科)	数・情	1	100	
250006	線形代数学	1	2	2	必修	(数理科学科)	数・情	1	150	
250007	線形代数学演習	1	2	1	必修	(数理科学科)	数・情	1	100	
250008	線形代数学演習	1	2	1	必修	(数理科学科)	数・情	1	150	
<b>解析学</b>										
251101	解析学概論	1	2	2	選択	数学		2	200	
251102	解析学概論	1	2	2	選択					
251103	解析学の応用	1	2	2	選択	数学		2	200	
252103										
251104	連続と極限	1	2	2	選択	数学		2	200	
251105	複素関数論	1	2	2	選択	数学	数・情	3	300	
251106	複素関数論	1	2	2	選択	数学	数・情	3	350	
251107	関数解析学	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	300	
251108	数理モデルと微分方程式	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	300	
251109	数理解析学	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	300	
251110	情報解析学	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	300	
252110										情報理学
<b>代数学</b>										
251201	線形代数学	1	2	2	選択	数学	数・情	2	200	
251202	代数学A	1	2	2	選択	数学	数・情	2	200	
251203	代数学B	1	2	2	選択	数学	数・情	2	200	
252203										情報理学
251204	情報代数学	1	2	2	選択	数学		2	200	
252204										情報理学
251205	代数学C	1	2	2	選択	数学	数・情	3	300	
251206	代数学C	1	2	2	選択	数学	数・情	3	350	
251207	代数学特論A	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	300	
251208	代数学特論A	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	350	
251209	代数学特論B	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	300	
251210	代数学特論B	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	350	
<b>幾何学</b>										
251301	位相数学	1	2	2	選択	数学		2	200	
251302	位相数学	1	2	2	選択	数学		2	250	
251303	グラフ理論	1	2	2	選択	数学		2	200	
252303										情報理学
251304	幾何学A	1	2	2	選択	数学		2	200	
252304										情報理学
251305	幾何学B	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	300	
251306	幾何学B	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	350	
251307	結び目理論	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	300	
251308	結び目理論	1	2	2	選択	数学	数・情	3・4	350	
251309	幾何学特論A	1	2	2	選択	数学	数・情	4	400	
251310	幾何学特論A	1	2	2	選択	数学	数・情	4	450	
251311	幾何学特論B	1	2	2	選択	数学	数・情	4	400	
251312	幾何学特論B	1	2	2	選択	数学	数・情	4	450	

授業科目 コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考				
<b>確率論・統計学</b>														
251401	確率統計	1	2	2	選択	}		2	200	}				
251402	確率統計	1	2	2	選択						数学	2	250	
251403	数理モデルと確率論	1	2	2	選択	数学	数・情	3	300					
251404	数理モデルと確率論	1	2	2	選択	数学	数・情	3	350					
251405	確率統計特論A	1	2	2	選択	}		3・4	300	}				
251406	確率統計特論A	1	2	2	選択						数学	数・情	3・4	350
251407	確率統計特論B	1	2	2	選択						数学	数・情	3・4	300
251408	確率統計特論B	1	2	2	選択						数学	数・情	3・4	350
<b>情報科学</b>														
251501	情報学概論	1	2	2	選択 *1 *5 *6	数学		1	100					
252501						情報理学								
252502	アルゴリズムとデータ構造	1	2	2	選択 情報理学専攻は必修	情報理学		2	200					
252503	ネットワーク	1	2	2	選択	}	}	2	200					
251504	プログラミング	1	2	2	選択						数学	}	2	200
252504						情報理学								
251505	数値計算	1	2	2	選択	}	}	2	200					
252505											情報理学			
252506	マルチメディア概論	1	2	2	選択	情報理学	数・情	2・3・4	200					
252507	ソフトウェア工学	1	2	2	選択	情報理学	数・情	2・3・4	200					
251508	情報と職業	1	2	2	選択 *1	}	}	2・3・4	200					
252508											情報理学			
252509	ネットワーク	1	2	2	選択	情報理学	数・情	3・4	300					
252510	オペレーティングシステム	1	2	2	選択	情報理学	数・情	3・4	300					
252511	データベースA	1	2	2	選択	情報理学	数・情	3・4	300	}				
252512	データベースB	1	2	2	選択	情報理学	数・情	3・4	300					
252513	オートマトン	1	2	2	選択	情報理学		3・4	300	}				
251514	計算幾何学	1	2	2	選択 *1	}	}	3・4	300					
252514											情報理学			
252515	情報学特論	1	2	2	選択	情報理学		3・4	300					
<b>応用数理学</b>														
252601	物理学概論	1	2	2	選択	}	}	1	100					
252602	化学概論	1	2	2	選択						情報理学			
252603	生物学概論	1	2	2	選択						情報理学			
252604	力学	1	2	2	選択						情報理学			
252605	電磁気学	1	2	2	選択						情報理学			
252606	物理化学	1	2	2	選択						情報理学			
252607	相対性理論	1	2	2	選択	}	}	2・3	200	}				
252608	量子力学	1	2	2	選択						情報理学			
252609	数理化学	1	2	2	選択	情報理学		2・3	200					
252610	生物学特論A	1	2	2	選択	}	}	2・3	200	}				
252611	生物学特論B	1	2	2	選択						情報理学			
252612	現代化学A	1	2	2	選択	情報理学		2・3・4	200	}				
252613	現代化学B	1	2	2	選択	情報理学		2・3・4	200					
252614	現代生物学A	1	2	2	選択	情報理学		2・3・4	200	}				
252615	現代生物学B	1	2	2	選択	情報理学		2・3・4	200					
251616	現代物理学A	1	2	2	選択	}	}	3・4	300	}				
252616											情報理学			
251617	現代物理学B	1	2	2	選択	}	}	3・4	300					
252617											情報理学			
252618	数理生物学	1	2	2	選択	情報理学		3・4	300					
<b>数理科学シミュレーション</b>														
251701	シミュレーションA	1	2	2	選択	}	}	3	300					
252701											情報理学			
251702	シミュレーションA	1	2	2	選択	}	}	3	350					
252702											情報理学			
251703	シミュレーションB	1	2	2	選択	}	}	3	300					
252703											情報理学			
251704	シミュレーションB	1	2	2	選択	}	}	3	350					
252704											情報理学			
252705	シミュレーションC	1	2	2	選択	}	}	3	300					
252706	シミュレーションD	1	2	2	選択						情報理学	数・情	3	300

授業科目 コード	授業科目	授業期間 (15選単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通 / 専攻の区分	専攻指定	履修年次	コース ナンバ リング	備考
	<b>基盤演習</b>									
251801	1年次演習(数学)	1	2	2	選択 数学専攻は必修	数学	数	1	100	
252801	1年次演習(情報理学)	1	2	2	選択 情報理学専攻は必修	情報理学	情	1	100	
	<b>数理科学演習</b>									
252802	2年次演習(情報理学)	1	2	2	選択 情報理学専攻は必修	情報理学	情	2	200	
251803	3年次演習(数学)	1	2	2	選択 数学専攻は必修	数学	数	3	350	7クラス
252803	3年次演習(情報理学)	1	2	2	選択 情報理学専攻は必修	情報理学	情	3	350	7クラス
	<b>講究</b>									
251804	数学講究	2	2	4	選択 数学専攻は必修	数学	数	4	490	通年科目 7クラス
252804	情報理学講究	2	2	4	選択 情報理学専攻は必修	情報理学	情	4	490	通年科目 7クラス
	<b>関連科目</b>									
250901	経済数学	1	2	2	選択	(数理科学科)		2	200	経済学専攻と共有
250902	ゲームの理論	1	2	2	選択	(数理科学科)		2・3・4	200	経済学専攻と共有
250903	経営ファイナンス論	1	2	2	選択	(数理科学科)		2・3・4	200	隔年開講 経済学専攻と共有
250904	文理融合演習A	1	2	2	選択	(数理科学科)		2・3・4	200	哲学専攻と共有
250905	文理融合演習B	1	2	2	選択	(数理科学科)		2・3・4	200	交互に開講 哲学専攻と共有

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

2 数学専攻の学生は、以下の の合計12単位を修得しなければならない。

解析学の「\*2」印の4科目のうち4単位

代数学の「\*3」印の4科目のうち4単位

幾何学及び確率論・統計学の「\*4」印の6科目のうち4単位

3 数学専攻の学生は、「\*1」印の範囲において8単位を修得しなければならない。ただし、注2の選択必修科目の単位として修得する科目は除く。

4 情報理学専攻の学生は、以下の の合計14単位を修得しなければならない。

情報科学及び応用数理学の「\*6」印の4科目のうち4単位

情報科学及び応用数理学の「\*7」印の10科目のうち8単位

数理科学シミュレーションの「\*8」印の4科目のうち2単位

5 情報理学専攻の学生は、解析学、代数学、幾何学、情報科学、応用数理学及び数理科学シミュレーションの「\*5」印の範囲において2単位を修得しなければならない。

ただし、注4の選択必修の単位として修得する単位を除く。

6 数理科学科の学生は、自学科科目の必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて72単位修得しなければならない。

7 数理科学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数130単位のうち所定の科目の単位を含む86単位を修得しなければならない。



## (8) 教職課程科目〔2022年度以降入学者に適用〕

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	専攻指定	履修年次	コース ナンバリング	備考
<b>各教科の指導法</b>									
3WW101	英語科教育法 A *	1	2	2	選択必修 (中・高 英語必修)	英	2	250	
3WW102	英語科教育法 B *	1	2	2	選択必修 (中・高 英語必修)	英	3	250	
3WW103	英語科教育法 A *	1	2	2	選択必修 (中 英語必修)	英	3	300	
3WW104	英語科教育法 B *	1	2	2	選択必修 (中 英語必修)	英	3	300	
3WW111	宗教科教育法 A *	1	2	2	選択必修 (中 宗教必修)	哲	2・3	250	
3WW112	宗教科教育法 B *	1	2	2	選択必修 (高 宗教2単位必修)	哲	2・3	250	
3WW113	宗教科教育法 A *	1	2	2	選択必修 (中 宗教必修)	哲	2・3	300	
3WW114	宗教科教育法 B *	1	2	2	選択必修 (中・高 宗教必修)	哲	2・3	300	
3WW121	国語科教育法 A *	1	2	2	選択必修 (中・高 国語必修)	日	2・3	250	
3WW122	国語科教育法 B *	1	2	2	選択必修 (中・高 国語必修)	日	2・3	250	
3WW123	国語科教育法 A *	1	2	2	選択必修 (中 国語必修)	日	2・3	300	
3WW124	国語科教育法 B *	1	2	2	選択必修 (中 国語必修)	日	2・3	300	
3WW131	社会・地理歴史科教育法 *	1	2	2	選択必修 (中社会・高地歴必修)	哲・歴・国・ 経・社	2・3	250	
3WW132	社会・地理歴史科教育法 *	1	2	2	選択必修 (中社会・高地歴必修)	哲・歴・国・ 経・社	2・3	250	
3WW133	社会・公民科教育法 *	1	2	2	選択必修 (中社会・高公民必修)	哲・歴・国・ 経・社	2・3	300	
3WW134	社会・公民科教育法 *	1	2	2	選択必修 (中社会・高公民必修)	哲・歴・国・ 経・社	2・3	300	
3WW141	情報科教育法 *	1	2	2	選択必修 (高 情報必修)	数・情	2・3	250	
3WW142	情報科教育法 *	1	2	2	選択必修 (高 情報必修)	数・情	2・3	300	
3WW151	数学科教育法 A *	1	2	2	選択必修 (中 数学必修)	数・情	2・3	250	
3WW152	数学科教育法 B *	1	2	2	選択必修 (中・高 数学必修)	数・情	2・3	250	
3WW153	数学科教育法 A *	1	2	2	選択必修 (中 数学必修)	数・情	2・3	300	
3WW154	数学科教育法 B *	1	2	2	選択必修 (高 数学2単位必修)	数・情	2・3	300	
<b>教育の基礎的理解に関する科目</b>									
3WW201	教育原論	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3・4	200	2クラス
3WW202	教職論	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	1・2・3	100	3クラス
3WW203	教育社会学	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3・4	200	2クラス
3WW204	教育心理学	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3・4	200	2クラス
3WW205	特別支援教育	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	1・2・3	100	3クラス
3WW206	教育課程論 *	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3	250	2クラス
<b>道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目</b>									
3WW302	道徳教育の理論と方法 *	1	2	2	必修 (中学 必修)	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3・4	250	2クラス
3WW303	総合的な学習の時間の指導法 *	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3・4	250	2クラス
3WW304	特別活動論 *	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3・4	250	2クラス
3WW305	生徒・進路指導論 *	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3・4	250	2クラス
3WW306	教育相談 *	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3	250	3クラス
3WW307	教育方法論 (ICTの活用を含む) *	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	2・3	250	3クラス
<b>教育実践に関する科目</b>									
3WW401	教育実習事前事後指導 *	1	1	1	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	3	300	隔週授業
3WW402	教育実習 *	1	4	4	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	4	400	実習期間3又は4週間
3WW403	教職実践演習 (中・高) *	1	2	2	必修	英・哲・日・ 歴・国・経・ 社・数・情	4	450	3クラス

注1 2年次以上で教職課程科目(「教職論」を除く。)を履修するには、所定の教職課程登録を行っていないといけない。

2 「教育実習」を履修するには、以下の科目を含む上記教職課程科目27単位を3年次修了までに修得していないといけない。

各教科の指導法6単位、「教職論」2単位、「特別支援教育」2単位、「教育課程論」2単位、「教育相談」2単位、「教育方法論(ICTの活用を含む)」2単位、「教育実習事前事後指導」1単位

3 \*印の授業科目の単位は、自由選択科目の単位として数えることはできない。

4 介護等の体験を行うためには、「特別支援教育」2単位を介護等の体験を行う年度の前年度末までに修得していないといけない。

## (9) 学芸員課程科目 (2018年度以降入学者に適用)

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	コース ナンバ リング	備 考
2VV101	博物館概論	1	2	2	必修	2	200	2クラス
2VV102	博物館資料論	1	2	2	必修	2	200	2クラス
2VV103	博物館経営論	1	2	2	必修	2・3	250	2クラス
2VV104	博物館資料保存論	1	2	2	必修	2・3	250	2クラス
2VV105	博物館展示論	1	2	2	必修	2・3	250	2クラス
2VV106	博物館教育論	1	2	2	必修	2・3	250	2クラス
2VV107	生涯学習論	1	2	2	必修	2・3・4	250	2クラス
2VV108	博物館情報・メディア論	1	2	2	必修	2・3・4	250	2クラス
2VV201	博物館実習1*	1	2	1	必修	3	300	4クラス
2VV202	博物館実習2**	1	2	1	必修	3	350	4クラス
2VV203	博物館実習3***	2		1	必修	4	400	通年科目

- 注1 学芸員課程科目を履修するには、2年次始めに所定の学芸員課程登録を行っていないといけない。
- 2 \*印の「博物館実習1」を履修するには、上記必修科目のうち、次の4科目計8単位を修得していないといけない。  
「博物館概論」及び「博物館資料論」の2科目計4単位  
「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」のうち2科目計4単位
- 3 \*\*印の「博物館実習2」を履修するには、上記必修科目のうち、次の5科目計9単位を修得していないといけない。  
「博物館概論」及び「博物館資料論」の2科目計4単位  
「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」のうち2科目計4単位  
「博物館実習1」1単位
- 4 \*\*\*印の「博物館実習3」を履修するには、上記必修科目のうち、次の8科目計14単位並びに東京女子大学学芸員資格取得に関する内規に定める選択科目4単位を修得していないといけない。  
「博物館概論」、「博物館資料論」、「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、  
「博物館実習1」、「博物館実習2」
- 5 \*印の「博物館実習1」、「\*\*印の「博物館実習2」及び\*\*\*印の「博物館実習3」の単位は、自由選択科目の単位として数えることはできない。

## 授 業 科 目 の 概 要

現代教養学部において開設するすべての授業科目の到達目標および概要が、教育課程順に掲載されています。

年度によって開講されない授業科目があります。

その年度に開講される授業科目の具体的な内容、到達目標、スケジュール、テキスト等は、シラバスで確認してください。

# 全学共通カリキュラム

## (教育目標)

- ・建学の理念・キリスト教について学ぶ。
- ・「女性の生きる力」を養う。
- ・共生社会の推進への理解を深める。
- ・専門領域を超えて学ぶ姿勢を養う。
- ・学びの基礎的スキルを養う。

# リベラル・スタディーズ

## (教育目標)

- ・専門領域を超えた学習により、幅広い視野と深い識見を養い、現代の諸問題に向き合う判断力を身につける。

## (1) 総合教養科目

### (教育目標)

- ・専門領域を超えて問題を探求する力を養う。
- ・女性の自己確立の基盤となる知識・能力を身につける。

### 女性の生きる力

#### (教育目標)

- ・女性学の知識やジェンダー的視点から、社会・文化・歴史の諸相を理解する。
- ・女性が直面する現代社会の諸問題をジェンダー的視点から分析する力を養う。
- ・男女共同参画社会における女性の自立的社会参加の基盤となる知見を身につける。

2SK101 女性学・ジェンダーを学ぶ

#### 【到達目標】

- ・女性学を構成する基本概念を体系的に習得する。
- ・ジェンダー(社会的・文化的性差)に関する総合的な理解を深め、それに基づいて男女共参画社会のあり方を主体的に考える視点を養う。

・女性学の知識とジェンダー的視点を持つことの重要性を理解する。

【概要】近代化を推進してきた男性中心のパラダイムや価値観を、ジェンダーの視点から問い直した「女性学」。その成立の過程や基本概念について学びながら、体系的な理論構造を明らかにする。またそのなかで、女性学が提示した「ジェンダー」(社会的・文化的性差)の概念を軸として、性別を問わず個人としての尊厳が重んじられる男女共同参画社会のあり方について、男性学にも留意しながら考察していく。

## 2SK102 女性とジェンダーの歴史

### 【到達目標】

- ・女性が、過去の社会においてどのような役割や位置づけを有していたのか、またどのような歴史的变化を遂げてきたのかに関する知識を得る。
- ・ジェンダーの視点から、あらためて日本や世界の歴史全体をとらえ直し、女性をめぐる諸問題を考察する力、解決していく力をつける。
- ・日本と海外の女性・ジェンダーの歴史とを比較理解し、相対的な理解を深める。

【概要】女性とジェンダーの歴史をとおして、これまで女性社会の中でどのような位置を占めていたかを、日本を含む世界的な視野から把握する。とりわけ、現在までの歴史を通じた女性の変化を、教育・労働・政治・生活・文化等の側面から考察していく。また、女性表象を考える意味で、ヴィジュアルな資料も積極的に利用する。さらに「ジェンダー」の視点を導入しながら、既存の歴史全体をとらえ直し、女性をめぐるさまざまな問題事象について考えていく。

## 2SK103 キャリアデザインを描く

### 【到達目標】

- ・女性労働の現状と問題点を多面的に理解する。
- ・女性労働の課題をジェンダーの視点から捉えることができるようにする。
- ・キャリア理論の学習を通して、自己のキャリア計画・キャリア展望を行うための知識と方法を習得する。

【概要】人生においてどのようなキャリアを築くかは、ライフコースの選択と密接にかかわり、またライフコースの選択はジェンダーと直結している。個人のなかでキャリアとジェンダーは不可分であり、いずれかだけを考えて生きていくことはできない。この授業では、改正男女雇用機会均等法施行後の女性労働の現状、高学歴女性の職業意識やキャリアパターン、企業における女性のキャリア形成、仕事と家庭の両立支援などの問題を取りあげ、女性が生涯にわたって発展的なキャリアをたどるためのシナリオを考える。

## 2SK104 政治とジェンダー

### 【到達目標】

- ・グローバル化する現代社会の政治的諸問題についてジェンダーの視点から考えることができる。
- ・グローバル化する現代社会における望ましい地域政治についてジェンダーの視点から総合的に考察できる。

【概要】 少子高齢社会における子育て支援、高齢者介護、障害者の自立支援をはじめとして、人々の共同性や共生にかかわる問題がクローズアップされるなか、女性の政治参加は重要な問題となっている。地域政治、国内政治、国際政治の各レベルにおいて、社会貢献をめざす NPO や市民グループといったテーマ・コミュニティが活性化するなど、政治コミュニティのあり方も多様化しつつある。人間性を回復し、自律型の社会をつくる政治参加の基盤形成を念頭におき、従来の固定的な性別役割分担を超えた市民の役割、ガバナンスやアドボカシーなどについてジェンダーの視点から多角的に考察していく。

## 2SK105 国際協力とジェンダー

### 【到達目標】

- ・経済開発や紛争及び平和構築の過程で発生しているジェンダー問題を明らかにする分析力を養う。
- ・国際協力の現状を問い直し、女性や不利な立場にある人々のエンパワメントを支援する方策を構想する力をつける。

【概要】 国際協力とはさまざまなアクターが交錯する試行錯誤のプロセスである。例えば、初期の開発援助は現地の社会構造（階級・階層、ジェンダー、エスニシティ）に踏み込もうとしなかった。この授業では、経済開発や紛争及び紛争後の平和構築・復興開発の過程で発生するジェンダーによる差別、格差、暴力の実態を明らかにしながら、それら「直接的暴力」及び「構造的暴力」と格闘する人々の存在を知り、そうした人々と共に歩む国際協力のあり方を考える。

## 2SK106 国際社会と女性の人権

### 【到達目標】

- ・世界では女性の直面する問題が、どのように女性の人権とかわかっているかについて理解する。
- ・国際社会および国際法は、女性が抱える問題にどのように対処してきたのか（あるいはこなかったか）について理解する。
- ・女性やジェンダーの視点から社会的な問題を見るというアプローチを身につける。

【概要】 世界の女性を取り巻く問題とそれに対する国際社会および国際法による取組みについて学ぶ。また、それらをジェンダーの視点から分析することにより、私たちの目から見えにくくなっている問題の根源を探る。具体的には国家主権、人権、開発、環境などの争点において、国内社会ほどには制度化が進んでいない国際社会の実情を理解し、国際社会における法の役割を学ぶと同時に、世界では女性の直面する問題が、どのように女性の人権とかわかっているかについて理解する。

## 2SK107 現代の家族とジェンダー

### 【到達目標】

- ・家族のあり方は時代や社会・文化によって異なることを多面的に理解する。
- ・家族生活・職業生活がジェンダーと深く関わっていることを総合的に理解する。

【概要】家族という人間の営み、家族関係にまつわる心理は社会・文化的に規定されるものである。夫婦関係や親子関係など、現代家族の人間関係の中で人が何を感じながら生きているのか、ジェンダーを切り口として概観することによって、人間にとって家族とはどのような意味をもつのか、現代の社会に適応的な家族の姿とはどのようなものかを考えていく。授業の内容を自分自身の経験や将来展望に照らしながら、自らの家族体験を相対化する視点を獲得してほしい。

## 2SK108 女性のウェルビーイング

### 【到達目標】

- ・現代における精神疾患の基礎知識を総合的に把握する。
- ・現代社会において女性が抱える問題を精神医学の視点から捉え理解する。

【概要】現代社会の急激な変化によって、人々は生涯にわたって様々なストレスに晒される。この講義では、女性がストレスにどう対処し、それをどう成長の糧にするかについて、精神保健学の観点から学習する。人の誕生から死に至るまでのライフサイクルにおいて、節目節目で遭遇する精神医学的・心理的・社会的課題についてジェンダーの視点から概観し、それら乗り越える知恵や経験やスキルを精神保健学から学び、この学習がその人らしいライフサイクルを送るための契機になるような講義を行う。

## 2SK109 女性と福祉

### 【到達目標】

- ・現代女性がライフステージの各段階で直面する福祉関連の問題を抽出し、その解決のために必要となる制度や支援のありようを考える。これまでの「福祉の女性化」をジェンダーの視点から批判的に問い直し、ケアや仕事をめぐる諸個人の幸福追求にとって、ジェンダーの主流化(ないし男女協業)が重要であることを理解する。

【概要】現代女性がライフステージの各段階で直面する福祉関連の問題を抽出し、その解決のために必要となる制度や支援のありようを考える。児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、あるいは失業や生活保護といった主要な福祉の問題に対峙するときには現在どのような解決の経路があるのか。どのような困難や制約と女性は向かい合うことになるのか。あるいは支援者の立場から、福祉の問題と関わる時、どのような知識が必要なのか。これらについて具体的な問題を例として取り上げ、考察する。これまでの「福祉の女性化」をジェンダーの視点から批判的に問い直し、ケアや仕事をめぐる諸個人の幸福追求にとって、ジェンダーの主流化(ないし男女協業)が重要であることを理解する。



## 2SK110 女性と表現

### 【到達目標】

- ・男女に二分化されたジェンダーがどのように形成されてきたのか、文学を含む芸術を通して社会的・文化的・歴史的に広く考察し、総合的な理解を深める。
- ・女性/男性表象の差異をめぐる社会的・文化的・歴史的背景や、その基盤としての思想、宗教、深層心理などを多面的に理解する。

【概要】文芸や音楽、絵画、映像、舞踊、演劇さらに服飾、建築、空間デザインなどさまざまな分野において女性の進出が拡大し、表現者として活躍している。しかし、いまだ職名に女流・女性という文言が付されることも珍しくなく、芸術表現の歴史に女性の名を見ることはごくまれであるように、芸術表現にもジェンダーの問題が潜んでいる。現代の社会・文化を生きる者としての問いやメッセージをさまざまな形で表現する女性たちの活動に着目し、芸術表現生成の社会的・心理的背景など多様な表現に織り込まれた「ジェンダー」の諸相について、考察していく。

## 2SK111 総合教養演習（女性の生きる力）

### 【到達目標】

- ・「女性の生きる力」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】総合教養科目「女性の生きる力」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「女性の生きる力」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。

## 人間と自然科学

### （教育目標）

- ・人間と人間をとりまく自然界の様々な現象と生命の多様な姿を科学的に理解する。
- ・科学や技術がもたらす社会的役割や影響を正しく判断できる素養を身につける。
- ・現代の数学が果たす役割を理解し、論理的思考力を養う。

## 2SK201 自然科学のあゆみ

### 【到達目標】

- ・自然界を理解しようとする人間の古代から近代までの歴史を省みる。
- ・自然科学の発展をたどり、様々な視点からの議論と自然現象の捉え方を学ぶ。
- ・独自の自然観を育む素養を身につける。

【概要】古代から近代に至るまでの自然科学の歩みを辿る。古代ギリシャの科学者や哲学者の自然界の捉え方から始まり、中世に於ける神秘的な科学や、西洋と東洋の自然観の比較などをとりあげる。近代に入り、ルネッサンス時代に育成された自然現象と科学と芸術の調和的な考え方に注目する。また、19世紀に活躍した女性科学者達の生涯について、その苦悩と功績や、人生観を紹介する。全体を通じて、科学者達の間像を浮き彫りにしながら、自然現象とそれを理解しようとする人間の姿勢について解き明かしてゆく。

## 2SK202 現代の科学と技術

### 【到達目標】

- ・人間の生活を支えてきた20世紀の科学と技術の発展の歴史を学び理解する。
- ・21世紀の科学・技術が進むべき方向について多様な視点から議論できる。
- ・人間社会の将来に関して、科学・技術の在り方はどうあるべきか、独自の考えをしっかりと持てる素養を身につける。

【概要】20世紀の科学と技術の発展を顧みて、21世紀に人類が進むべき方向について考える。科学と技術を土台とする経済・社会システムの姿を見つめ直し、真に心ゆたかな人間生活と、健全な自然環境の持続について議論する。人間による科学の追究とは何か、技術がもたらす効用とは何かを問う。また、医薬品や化粧品などに代表される人工的物質、利便性を追求するハードウェア、そして地球環境問題の原因と対策などについて、それらに関する最新の科学的発見や新技術を紹介しながら、人類社会と自然界の将来を展望する。

## 2SK203 暮らしの中の物質

### 【到達目標】

- ・日常生活において身近に存在し日々使用している"もの"を、化学の目でとらえ、その物質や現象の本質を理解する。
- ・今後予想される科学技術の進歩に対し、興味を持って対応できる素養を身につける。

【概要】人間生活の全てに関係するさまざまな物質の正体と、それらの意義や影響について理解を深め、これからの物質社会を考える。文明の歴史は新物質の発見、発明とその利用である。次々と新しい機能をもつ物質から造られる製品が開発されて、経済と社会を動かす状況や、日常生活への影響を把握する。食料、衛生、医療、自動車、航空、建物、家電品、パソコン、携帯電話、服飾、化粧品などに使われている物質について科学的に理解する。また、環境・エネルギー問題と物質リサイクル、天然物や再生可能な物質の利用などの新しい流れも視野に入れながら、21世紀の人類社会の姿を考える。

## 2SK204 エネルギーと人類

### 【到達目標】

- ・エネルギーについて総合的に考えることにより、歴史・人間・社会についてのしっかりとした現状認識を培う。
- ・自然科学に関する十分な知識と感性を持ち、人間と社会のあるべき姿を模索し、自分が生きる社会を自分で選ぶための力を養う。

【概要】エネルギーに関する諸問題を解決することは、人類につぎつけられた最も重要な課題のひとつである。この問題の本質的解決は、技術革新や政策よりも、人類としての価値観の問題・生き方の選択の問題が鍵を握っていると言える。エネルギー資源に関する各論のみならず、地球史、人類史を辿る中で、人間社会のあるべき姿を模索することを目指す。更には、余裕があれば宇宙における暗黒エネルギーといった壮大な話題にも目を向けたい。

## 2SK205 宇宙の科学

### 【到達目標】

- ・身近な太陽が輝く理由を理解し、地球の属する太陽系の概観とこれを支配する法則、その形成のシナリオについて学ぶ。
- ・星（恒星）の持つ様々な属性について学び、星の進化と、その最期に起きる超新星爆発やブラックホールの形成について理解する。
- ・最新の宇宙論であるビッグバン宇宙論に関する基礎事項を習得する。

【概要】太陽は中心部の核融合反応によって輝き、それが地上のエネルギーの起源であることを紹介する。また、我々の属する太陽系の概観と、その形成のシナリオ、太陽の様な恒星（星）の進化とその最期に起きる超新星爆発やその結果生まれるブラックホール、等について解説する。更に、最新の宇宙論であるビッグバン宇宙論とそれを支持する観測事実、余裕があれば宇宙論において素粒子理論のはたす重要な役割についても解説する。

## 2SK206 地球の科学

### 【到達目標】

- ・地球を構成する大気圏・水圏・地圏・生物圏についてその概要を理解する。
- ・地球惑星と生命の共進化についてその概要を理解する。
- ・地球環境問題の基本について科学的知見の上に議論できる。

【概要】太陽系の一惑星である地球を大気圏・水圏・地圏・生物圏からなる地球システムとして捉え、その概要を解説する。また、地球惑星と生命の共進化を中心に地球の自然環境を統合的な観点から概観し、人間活動に伴う地球環境を巡る諸問題について自ら考えるための基礎を講述する。

## 2SK207 地球環境の科学

### 【到達目標】

- ・身近な生活環境から地球規模の環境に至る様々な問題の現状を理解する。
- ・環境問題に対する様々な科学的視点を学ぶ。
- ・環境に関する21世紀の課題について、自らの問題意識を持ち、考えることができるようになる。

【概要】生活環境から地球環境に至る問題の多くは化学的現象が背景にあることから、環境問題を化学的視点から理解し、21世紀に人類がとるべき行動を考える。環境問題は、地域公害の時代から、地球規模に拡大した。その対策は、様々な分野の視点から議論がなされ、一人ひとりが問題意識をもって行動することを必要としている。この授業では、環境問題を幅広くとりあげ、例えば二酸化炭素増加による温暖化、オゾン層破壊による紫外線被害、酸性雨、大都市大気汚染などの現象の因果関係を科学的にわかりやすく説明し、対応策や規制について検討する。そして、持続性と発展性のある経済と社会を、健全な環境を維持しながら実現するにはどうしたらよいかを議論し、人類が進むべき方向について考える。

## 2SK208 自然環境と人間社会

### 【到達目標】

- ・日本国内および地球規模で起きている様々な環境問題の現状を理解する。
- ・環境問題が生じる社会経済的背景と問題解決のための対策について、生態学的視点から学び理解する。
- ・環境問題について自分なりの意見を持ち、自らの関わり方を考える力を養う。

【概要】さまざまな地球規模の環境問題の現状、それらが生じる社会経済的背景、問題解決のための対策や課題について、生態学的視点から学び理解することを目標とする。地球環境の概要、人口増加、食糧問題、資源利用量やエネルギー消費量の増加、地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、海洋とその汚染、熱帯林の減少、生物多様性の減少、砂漠化、水資源の枯渇、これらの問題を解決するための国内的・国際的取り組み、今後に向けての課題などについて概要を解説する。

## 2SK209 生物と環境

### 【到達目標】

- ・地球上にみられる多様な動植物と環境とのかかわりを知ることを通じて、生態学の基礎を学ぶ。
- ・動植物全般について関心を深め、身近な生き物とのふれあいの重要性や保全の意義について理解できるようになる。

【概要】動植物の分類、分布、生態、それらにみられる特徴と環境との関係について概要を学び理解することを目標とする。動植物の分類と類縁関係、日本および世界の動植物相や植生の分布の特徴、分布を決める要因や成立プロセス、動植物の生活にみられる多様性と規則性、それらにかかわる生態学的要因や進化的な背景などについて解説する。

## 2SK210 生命と医療の科学

### 【到達目標】

- ・生命科学の基本を理解した上で、「ヒトとは何か」という視点から、身体のしくみや病気と医療の一端を学ぶ。
- ・日常生活の中で接する生命科学に関する情報を正しく理解する方法を学ぶ。
- ・避けては通れない病気や医療の問題について、自ら考察し柔軟な対応ができる力を身につける。

【概要】生命体を構成する物質である原子や分子によって起こる生命現象の仕組みを、私達の日常生活に結びつけながら理解する。特に、人間の生命を維持するために必要な遺伝子やエネルギー源となる化学物質とはどのようなもので、人体内でどのように機能しているか、脳の機能との関わりはどうなっているかなどについて、わかり易く説明する。更に、病気や不健康状態について、人体内で起こる現象を分子レベルで理解を深めながら、それらの対策としての医療と医薬品がもたらす役割について学ぶ。全体を通じて、最新の生命科学と医療科学を紹介しながら授業を展開する。

## 2SK211 人類の誕生と進化

### 【到達目標】

- ・ヒトの進化の概要を学び、ヒトと他の動物の進化に見られる共通の原理を理解する。
- ・ヒトの顕著な特徴である文化について、自然科学的な視点から考察する。
- ・進化の産物としてのヒトについて理解を深める。

【概要】進化の産物としての自分を知ること为目标とする。自然人類学は、生物としてのヒトがたどってきた進化の道程を明らかにし、ヒトが進化の産物であるために有する特徴を理解することを目的としている。ヒトの形成には、遺伝的な変化による「遺伝」進化のほかに、文化的な変化による「文化」進化が大きく寄与している。これらの進化の原理について、具体的な事例を踏まえながら解説する。あわせて、われわれが日常的に行っている社会行動についても進化の観点からとりあげる。

## 2SK212 脳の科学

### 【到達目標】

- ・ヒトを中心に、脳神経系のしくみとはたらきについて、神経生物学の観点から基礎を学び理解する。
- ・日常生活にも関わりの深い脳に関する情報を正しく評価し利用できる力を身につける。

【概要】ヒトを中心に、脳神経系のしくみとはたらきの基礎について、神経生物学の観点から理解することを目標とする。脳神経系の構成（中枢神経と末梢神経）、脳神経系の細胞の種類や情報伝達のしくみ、脳神経系の機能（感覚、とくに視覚、運動、体内環境の維持、記憶と学習、情動、思考と意識など）、左右脳の機能差と言語、脳神経系の生涯発達と進化、脳神経系に対する薬物の作用、神経生物学の研究方法与歴史、神経生物学の関連分野などについて解説する。

## 2SK213 遺伝の科学

### 【到達目標】

- ・ 遺伝現象のしくみやはたらきについて基礎を学び、遺伝現象に関する日常的な疑問が理解できる。
- ・ 食生活や医療におけるゲノムサイエンスの成果がもたらす恩恵や危険性など、社会との関わりについて考える力を身につける。

【概要】 遺伝のしくみの基本を学び、なぜ女性と男性が半数ずついるのか、結婚したら遺伝病の子どもが生まれることはないのか、自分のクローン人間は自分と同じかなど、遺伝現象に関して日常的な疑問が理解できるようになることを目標とする。遺伝の基本（メンデル遺伝と非メンデル性遺伝）細胞と染色体（細胞、細胞分裂と染色体の動き、染色体における遺伝子の配列）、ヒトの遺伝（通常形質の遺伝、遺伝病の遺伝、集団遺伝学からみた遺伝病の可能性）などについて解説する。

## 2SK214 数学の世界

### 【到達目標】

- ・ いろいろな物事や現象に積極的に疑問を持つ習慣をつけ、それを解明しようという態度を培う。
- ・ 日常生活において何気なく目に触れるものの背後に、数学があることを発見する。
- ・ 数学的現象を明らかにするうえで、現代の数学が果たす役割を理解し、豊かな数理的感覚と厳密な論理的思考力を養う。

【概要】 この授業では、数学の様々な姿にふれることが目標である。算数、数学は、小学校、中学、高校、大学で、多くの人が学ぶ最も重要で基本的な科目のひとつである。数学は自然現象や社会現象を科学的に考察し、理解する上で基本的な役割を担っている。数学の持つ論理の美しさは一度経験するとけっして忘れられるものではないのだが、数学は忌み嫌われることも多い。数学の一面のみを見ている結果と考えられる。今までに習った計算主体の数学ではなく、論理など数学の持つ様々な面に着目し、いろいろな方面から数学の姿を紹介していく。

## 2SK215 情報の数学

### 【到達目標】

- ・ 現代教養としての情報科学を学び、問題を論理的に解く力を身につける。
- ・ 日常生活に非常に役立つ論理学、離散数学などの基本的な概念を身につける。
- ・ 手順を踏んで物事を考え、問題を解く力を養う。

【概要】 普段何気なく使っているコンピュータにはいろいろな数学の理論が使われている。メールやインターネットを使うだけでなく、背景にある理論や仕組みを知ることにより、より深くコンピュータを理解し、数学およびコンピュータの面白さを知ってもらうことがこの授業の目標である。コンピュータを使って情報を送ったり、画像処理をしたりといった操作にはどんな数学の理論が使われているのか、論理、回路、暗号、符号、ネットワーク、フラクタル、CG などの中からいくつか話題を取り上げ、文系の学生にも分かり易く紹介する。

## 2SK216 代数と幾何の基礎

### 【到達目標】

- ・「ベクトル空間」と「行列」という概念について実例を通じて理解する。
- ・「行列」に関する基本的計算技術を習得する。

【概要】高校で学んだ、平面や空間のベクトルを用いた図形の取り扱い方を発展させた考え方が「線形代数学」であり、この思考法は関連する計算技術とともに、自然科学および社会科学において広く用いられている。この思考法の具体的な表現形式である「数ベクトル空間」や「行列」を中心に、線形代数学の基本的な概念と計算技術について、予備知識を仮定せず、文系の学生にもわかりやすく平易に解説する。

## 2SK217 代数と幾何の考え方とその応用

### 【到達目標】

- ・「線形代数学」が、自然・社会科学的現象の分析に有効に利用されることを理解する。
- ・距離を備えた「ベクトル空間」に対する具体的な計算技術を習得する。

【概要】高校で学んだ、平面や空間のベクトルを用いた図形の取り扱い方を発展させた考え方が「線形代数学」であり、この思考法に基づく計算技術は、様々なデータの取り扱いや全体的傾向の分析をはじめ、自然・社会科学的現象の分析に広く活用されている。この「線形代数学」の計算的側面について、様々な応用例に触れつつ、距離を備えた「ベクトル空間」における基本的な計算技術の習得を中心に学ぶ。

## 2SK218 微分と積分の基礎

### 【到達目標】

- ・微分と積分の意味、特に微分と積分の関係について理解すること。
- ・微分と積分の計算法に習熟すること。
- ・微分と積分を物体の運動や図形などの具体的な問題に適用できるようになること。

【概要】微分と積分は、物体の運動と接線や面積などの図形問題を統一的に扱うために 17 世紀に体系化された数学の手法であり、当初から科学技術の基礎としての役割を担ってきた。この講義では、微分と積分の意味を理解して基本的な計算法に習熟し、具体的な問題に適用できるようになることを目標として、微分と積分の基本事項について解説する。特に、その発見が微分積分学成立の契機となった微分と積分の関係(微分積分学の基本定理)を理解することに重点を置く。予備知識を仮定せず、文系の学生にもわかりやすく平易に解説する。

## 2SK219 微分と積分の考え方とその応用

### 【到達目標】

- ・微分と積分が具体的な自然現象や社会現象分析に有効に利用されることを理解する。
- ・1変数関数のテイラー展開の理論や多変数関数の微分と積分の理論の意味を理解し、簡単な技法を利用できるようになる。

【概要】自然や社会の現象に現れる平衡状態の記述や様々の最大最小問題などが、微分と積分の概念を用いて表現できることを学ぶ。1変数と多変数の微分と積分の基本的な計算法を修得し、具体的な問題に適用できるようになる。微分や積分を含む方程式の意味と簡単な場合の解法を理解する。

## 2SK220 確率統計の基礎

### 【到達目標】

- ・自然科学、人文社会科学を問わず広くツールとして用いられている統計学について、その基礎となる確率の概念を理解する。
- ・確率概念に基づく統計的手法がどのように自然現象や社会現象の理解に利用され、役立っているかを理解する。

【概要】自然や社会における様々な現象から抽出されたデータを分析する際に必要不可欠なのが統計の考え方である。まず、統計学の基礎となる確率の概念を理解することから始め、確率分布、条件付き確率、独立確率変数の和の分布、大数の法則、中心極限定理などの確率の理論の概要を学ぶ。次に、推定や仮説検定などの統計学の基本的な手法と、それらの応用について学ぶ。予備知識を仮定せず、文系の学生にもわかりやすく平易に解説する。

## 2SK221 総合教養演習（人間と自然科学）

### 【到達目標】

- ・「人間と自然科学」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】総合教養科目「人間と自然科学」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「人間と自然科学」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。



## 人間自身を知る

### (教育目標)

- ・人間とは何かという問いかけに対して、さまざまな切り口から考える力を養う。
- ・これまでの思索の歴史から現代に生きる知恵を学び、自分自身で思索する力を身につける。
- ・科学や文化などの人間の営みをさまざまな視点から分析し、これからの人間や社会の在り方を探る感性を育てる。
- ・人間について実証的研究を行う方法論の基礎を理解し、人間や社会について考える新しい視点を身につける。

## 2SK301 こころの科学

### 【到達目標】

- ・実証科学としての心理学の基礎的知識を身につける。
- ・現代心理学が扱う幅広い領域を学び、日常経験する様々な体験、観察する事象について心理学の知見による説明を理解する。
- ・自ら体験した事柄や、観察した事象について授業で取り上げた心理学の知見を当てはめて理解することができる。

【概要】大学に入り、初めて学ぶことになる心理学という学問への道案内をする。心理学ではどのように人の心を研究しているのかを理解するため、さまざまな心理学の領域における重要な研究を紹介しつつ、心理学の実証的研究の方法、こころに対する科学的なアプローチについても解説する。幅広い心理学の領域を網羅し、その知見を学習することよりも、心理学という学問の特徴の理解に重点をおいた講義を展開する。できるだけ身近な現象の理解に役立つようなテーマを取り上げる。

## 2SK302 こころと社会

### 【到達目標】

- ・社会的動物としての人のこころの基礎的仕組みや特徴を理解する。
- ・自己、他者の理解、対人関係、社会的影響、さらには集団間関係、集合現象など、社会における人の心理過程に関する基礎的な知識を習得する。
- ・現実に体験する事柄や社会現象を社会心理学の基礎的な知見に基づき理解することができる。

【概要】「社会的動物」と言われる人のこころを社会心理学の観点から解説する。人と人が関わる場面での人のこころの働きや、他者から受けるさまざまな形での影響、またさらには個々人の行動の帰結として生じるマクロな現象まで幅広い領域を取り上げる。網羅的に基礎的知見を学習することよりも、いくつかのテーマに絞って人のこころと社会との相互構成的な関係を探る。また、経済学、政治学、社会学などとの関連領域、応用的テーマについてとりあげることもある。

## 2SK303 こどものこころ

### 【到達目標】

- ・ こどものこころの発達に関する基礎的な知識を習得する。
- ・ こどものこころについて社会性の発達と認知的発達の両側面から理解する。
- ・ こどものこころの発達を、そのプロセスだけでなく発達を支える社会・文化的要因も含めて理解する。

【概要】人のこころの発達を扱う発達心理学の中でも、特に乳幼児・児童期・青年期を中心に、人のこころの発達過程をとりあげる。発達のメカニズムおよび発達を支える社会・文化的要因も含めて検討する。対人関係の発達、自己の発達、情動発達などの社会性の発達の側面と知覚の発達、言語発達、コミュニケーションの発達などの認知発達の側面の両方を扱う。こころの発達過程に関わる基礎的知識を取り上げるだけでなく、できるだけ新たな知見を取り入れて紹介する。

## 2SK304 こころの健康

### 【到達目標】

- ・ 精神医学の基礎的知識を身につける。
- ・ 授業で学んだ知識をもとに、自らのこころの健康について考えることができる。
- ・ 人間のこころの健康と病に関する正しい知識を身につけ、人間のこころのあり方の多様性を理解する。

【概要】本講義では、こころの健康を理解するために、こころの健康に対立するこころの病理を取り上げて解説する。具体的には主な精神疾患をとりあげ、症状、診断、治療に関する基礎的理解を目指す。こころの病理について学ぶことで、健康なこころが持つ特性、あるいはこころの健康を維持する上での問題などを探る。

## 2SK305 こころの進化

### 【到達目標】

- ・ 進化のプロセスに関する基礎的知識を獲得する。
- ・ ヒトと他の動物の認知機能の共通項および特異性について学ぶ。
- ・ 進化という視点から、ヒトのこころの働きを理解する。

【概要】人間や動物の行動をより良く理解するためには、進化と適応という観点から他の動物とヒトの行動の特性を比較することが有用である。この授業では、人間を「ヒト」という生物の一種として位置づけ、その特徴を進化的枠組みの中で理解することを目的とし、人間のこころを進化と適応の観点から考える。また、比較心理学や進化心理学、あるいは比較認知科学といった関連領域の知見も交えて講義を行う。

## 2SK306 思考と論理

### 【到達目標】

- ・考え方の道筋としての論理学の基礎を習得する。
- ・論理学の方法の意味を具体的内容にそって理解する。
- ・合理的な思考法を身につける。

【概要】論理学の本質と基礎的テクニックについて平易に説明する。論理を人間の思考に課せられた普遍的・絶対的な枠組みとして捉えるのではなく、世界標準となったヨーロッパの推理作法として捉え、その意味と具体的内容を概観する。証明のテクニックの説明は最小限に抑え、論理的な考え方の初歩のマスターを目指す。合理的思考法とは、どのようなものであるかを理解できるようにする。

## 2SK307 科学技術と倫理

### 【到達目標】

- ・科学技術が現代にとってもつ意味を、具体的な場面に即しつつ理解する。
- ・将来の科学技術のあり方についてさまざまな角度から考える力を養う。

【概要】科学技術の発達によって、人間の生活は大きく変わりつつある。一方では生活の利便さが追求され、その恩恵は十分に受けてきたが、同時にそこからもたらされるさまざまな不都合をも引き受けざるを得なくなっている。こうした科学技術の功罪両面について、現代の状況を冷静に見つめ、このような事態に至った歴史的思想的背景を掘り下げ、個別分野における実態を参照しながら、今後どのような方向性を探ることが可能かを多角的に考える。

## 2SK308 現代人の哲学

### 【到達目標】

- ・哲学的な考え方の基本を理解する。
- ・時代の問いかけに対し根本から考える力を養う。

【概要】哲学は、ものごとを徹底的に問いただす学問である。ふだん当たり前と思っていることを、その根拠へ向けて深く問い直すとき、自明だと思っていた知識は崩れ、不思議さが思いがけず現れてくる。そこからさらに問い続ける姿勢が哲学の基本となる。これまでの哲学の歴史を振り返りながら、現代においてどのような思索が求められているのか、いくつかのトピックを題材にしながら考える。大切なのは、知識を単に学ぶことではなくて、自ら考えることで問いかける姿勢を身につけることである。

## 2SK309 西洋の哲学のあゆみ

### 【到達目標】

- ・西洋の哲学・思想の展開を理解する。
- ・西洋の哲学者・思想家の思索の根底にあるものを理解する。

【概要】古代ギリシア時代から現代に至るまでの西洋の哲学・思想のあゆみを学ぶ。西洋の哲学は、科学や宗教との関わりの中でさまざまな変貌を遂げてきた。そして時には緩やかに時には劇的に変化しながら、時代の特徴を表してもいる。この流れを大づかみに理解しながら、何人かの哲学者あるいは学派の考え方に分け入って、その思考法の特徴を理解する。これを通じて、現在のわれわれにとってどのような思考法が大切かを考える機会にする。

#### 2SK310 東洋の哲学のあゆみ

##### 【到達目標】

- ・日本を含む東洋の哲学・思想の展開を理解する。
- ・東洋の哲学者・思想家の思索の根底にあるものを理解する。

【概要】日本を含めた東洋の思想の流れを理解する。インド、中国、日本は、それぞれ、仏教、儒教・道教、神道などの思想を源流に持ちつつも互いの影響や外来の思想との交流を通じて、歴史の中でさまざまな姿をとってきた。その大きな流れを概括的に捉えつつ、その中からいくつかのトピックを取り上げて、東洋的思考法の特徴を明らかにし、それを通して、われわれの日常生活への活かし方や現代人の心のあり方についても考えるきっかけを提供する。

#### 2SK311 比較思想

##### 【到達目標】

- ・人間の思想と文化的・歴史的背景との間の相互の関係について知識を習得し、分析・考察する力を養う。
- ・人間の思想と文化的・歴史的背景との関係において、個人と集団とのそれぞれのレベルを認識・考察していく力を身につける。
- ・人間の思想の種々の側面を、他者との比較の中で追究する姿勢を養う。

【概要】人間の思想は、さまざまな文化的・歴史的背景を持ちつつ、相互に影響しあっている。それは個人のレベルにおいても、人間の多様な集団のレベルにおいても、共通しているといえる。その人間の思想の種々の側面を、他者との比較のなかで追究していくことを課題とする。

#### 2SK312 宗教学

##### 【到達目標】

- ・宗教および宗教学についての視点と方法を学ぶことを通じ、「宗教とは何か」という問題に向き合う基礎を培う。
- ・現代社会における宗教を学問的に理解することによって、宗教と私たちとの関わりについて考える力を養う。

【概要】宗教学の視点と方法、および宗教に対する思索の歴史など、宗教学の基礎的知識を学び、さらに現代の宗教を学問的に理解する方法と視点を修得することを目的とする。「宗教とは何か」という問題を考えるために、まず対象となる「宗教」をめぐる過去にどのような思索が試みられてきたのか検討し、「宗教」を捉えるための諸々の方法を紹介し、その上で"今"・"ここ"にいる私たちに「宗教」がどのように関わっているのかを考えるための具体的な材料を提供する。

## 2SK313 日本宗教史

### 【到達目標】

- ・日本の主要な宗教の歴史について概括的に把握・理解する。
- ・日本社会における宗教観および世界観は、歴史的にどのように形成されてきたかを理解する。

【概要】日本社会において、宗教観および世界観は、どのように展開して現在に至っているのかを  
通観する。主に神道と仏教とを軸として、「伝統」や「習俗」が形成される過程をたどることを目  
標とする。人々が何を畏れ、敬い、祀り、信じ、生や死とどのように向きあってきたのか、自らや  
周囲をどのようにとらえてきたのかについて、遺された史資料を基に分析し、最新の研究成果を  
紹介することにより、それらが現代に生きるわれわれに投げかけているものは何か、ということ  
を考える手がかりとする。

## 2SK314 宗教と現代社会

### 【到達目標】

- ・社会生活の中で宗教が果たす役割を、歴史的に理解する。
- ・現代社会の中での宗教のあるべき姿について考える姿勢を養う。

【概要】宗教は古来さまざま姿かたちをとりながら、社会のあり方と密接に関係してきた。政治の  
中枢に入り込むこともあったし、戦争や虐殺を引き起こすことさえまれではなかった。しかしそ  
の一方で多くの人々の魂の救済の役割を果たし人生の希望となることも少なくなかった。また大  
きな社会運動と結びつくこともあった。こうした歴史的文化的な営みとしての宗教を、特定の宗  
教に偏ることなく、広い角度から検討することによって、現代社会にとって宗教が果たす役割を  
考える。

## 2SK315 総合教養演習（人間自身を知る）

### 【到達目標】

- ・「人間自身を知る」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】総合教養科目「人間自身を知る」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「人間自身を知る」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。

## 人間の知的生産

### (教育目標)

- ・人間の長い知の営みの中で築かれてきた歴史や文化を様々な角度から捉える力を養う。
- ・世界諸地域の文化や芸術にまで視野を広げ、豊かな知性を養い感性を磨く。
- ・人間の思想、意志、感情や知の営みを表現する手段について理解する。

### 2SK401 ことばの世界

#### 【到達目標】

- ・言語の構造や言語表現のメカニズムを、社会や文化とのかかわりの中で理解することによって、「ことば」の特質や機能を科学的、客観的に捉える力を養う。
- ・言語学的な捉え方の基礎を身につけることによって、日常生活における「ことば」の実態や変容に対する探究心を身につける。

【概要】 ことばが人間にとってどのような意味を持つのか、社会や文化との関わりの中でことばの役割とは何かという問題意識のもと、私達の身近にありながら、ふだん意識することの少ない「ことば」の機能や特質を客観的にとらえることを目指す。他言語との違いも視野に入れながら、日本語の構造的な特性を明らかにした上で、身近な具体事例を言語学的に分析していく。実際の社会における「生きた」ことばの実態や変容を探ることによって、自然に言語学的な考え方が身につくようにする。

### 2SK402 日本の文学

#### 【到達目標】

- ・日本の文学について、代表的作品を時代別に取り上げ、それらの芸術的特質や文学的意義をその背景となる歴史と文化の関連において理解する。
- ・文学者たちが自己の人生といかに切り結びながら作品を創出したのかを見ることを通じて、自身の文学との関わりを主体的に考えることができる。

【概要】 文学作品には、それが書かれた時代それぞれの文化的状況が色濃く投影されている。一方、伝統的に書き継がれていくことによって地域的な特徴を形作ってもいる。この授業では、日本の文学について、代表的作品を時代別に取り上げる。それらの芸術的特質や文学的意義をその背景となる歴史と文化の関連において理解すること、文学者たちが自己の人生といかに切り結びながら作品を創作したのかを見ることを通じて、学生自身が文学との関わりを主体的に考えることを目標とする。

### 2SK403 児童文学

#### 【到達目標】

- ・児童文学の誕生から現代まで、様々なジャンルの代表的作品を考察することによって、その歴史的な流れを理解する。

- ・児童文学の歴史的概観と、異なるジャンルとの比較対象を通じて、児童文学の特質を理解する。
- ・児童文学をジェンダー的視点で読み解く力を培う。

【概要】 児童文学の誕生から現代までの発展への過程を各時代の代表的な作品にふれながら概観する。絵本からファンタジーまで、さまざまなジャンルの児童文学作品を読み、その多様性にふれながら多角的な視点から考察することによって、児童文学の特質について考える。児童文学の中のフェミニズムや絵本におけるジェンダー的視点も解明する。

#### 2SK404 比較文学

##### 【到達目標】

- ・比較文学研究における主要な方法論を習得する。
- ・国内外の文学テキストを比較しながら分析する力を養う。
- ・多様な異文化を理解し、自らの文化のあり方を問い直していく姿勢を身につける。

【概要】 比較文学は、非言語で表現されたものも含めた広い意味での文学テキストに、複数の文化要素の接触、交錯を見ようとする試みである。日本および海外でなされた代表的な比較文学研究の例を見ることで、研究の主要な方法を学びつつ、国内外の文学テキストを比較しながら分析することを通じて、多様な異文化を理解し、同時に自らの文化のあり方を問い直していくという視座を養う。

#### 2SK405 比較文化

##### 【到達目標】

- ・世界に存在するさまざまな文化や種別(男女やジャンル) について学び、その多様性を理解する。
- ・多様な「文化」の接触から生ずる社会や文化の変容に関する理解を深め、「違い」という境界の意識そのものを多角的に捉えるための基礎を身につける。
- ・チェーン・レクチャーによる超領域的で学際的な視座から文化を捉えることによって、比較文化的な研究を実践する際に基礎となる研究方法を習得する。

【概要】 文化間や種別間(男女やジャンル)の違い、さらには「違い」という境界の意識そのものに関して、交流や衝突、受容や影響、越境などの多様な視座から多角的に照射する。一つのテーマに関して、超領域的で学際的な講述を展開することによって、「文化」に関する学生の理解と意識をたかめるとともに、東西文化・異文化理解・異文化受容をキーワードとして、研究方法としての「比較文化」のありかたと可能性を示す。(チェーン・レクチャー方式)

#### 2SK406 宗教音楽

##### 【到達目標】

- ・音楽史全体の流れの中で、ヨーロッパの宗教音楽がどのような変遷を辿ったのかを把握する。
- ・各時代の宗教音楽の特徴的な様式、技法、演奏形態を理解する。
- ・様々な鑑賞方法を通して、音楽を聴く力を養う。

【概要】 ユダヤ教から大きな影響を受けた初代教会の時代から、現代に至るキリスト教音楽の歩みを解説する。音楽史全般にわたる基本的な流れをふまえながら、中世から現代までの各時代の特徴的な様式、音楽上の技法、演奏形態等を把握しつつ、主にキリスト教的題材に基づく代表的な作品をDVDやCD等の鑑賞を中心に紹介し、教会音楽のもつ魅力を探る。教会音楽を支えてきたパイプオルガンを使用してチャペルで授業を行う場合もある。

#### 2SK407 音楽芸術

##### 【到達目標】

- ・取り上げられた西洋音楽の作品の特質を理解する。
- ・作品における音楽的手法、またその様式・形式を理解する。
- ・様々な鑑賞方法を通し音楽を聴く力を養う。

【概要】 音楽(music)という言葉は、音芸術を意味する「ミュージック」(ムーサ)に由来するギリシャ語「ムシケ」に遡る。後の西洋音楽の理論等に多大な影響を及ぼした古代ギリシャの音楽等について文書資料や絵画資料等から情報は得られるものの、当時の音楽的な実態は明らかではない。この授業では、最古の楽譜が現存する単旋律の音楽の後約1千年かけて様々な発展を遂げてきた西洋音楽の中から、個々の時代や作曲家、或いはジャンル別に器楽・声楽作品を取り上げて、それぞれの特質に注目し、作品における音楽的手法の理解を深めながら、その音楽の持つ芸術性を探る。

#### 2SK408 音楽史

##### 【到達目標】

- ・西洋音楽の歴史的流れを理解し時代・地域ごとの特徴を把握する。
- ・各時代の個々の作品、個々の楽器やジャンル等においてその様式や形式、及び特徴を理解する。
- ・各時代の作曲家と作品の関わりを学びながら、鑑賞する力を養う。

【概要】 中世から現代に至るまでの西洋音楽の歴史を辿りながら、その中でも特に重要な位置を占める器楽・声楽の作品、及び各時代の作品を生み出すために深く関わりを持ってきた様々な楽器や作品のジャンル等に焦点をあてつつ、それぞれの時代における様式上の特徴や作曲上の手法・形式を説明し、代表的な作品を取り上げ、DVD、CD等の鑑賞を中心に解説する。

#### 2SK409 美術論

##### 【到達目標】

- ・個々の美術作品を、各時代の文化と関係づけて適切に理解する。
- ・美術の長い歴史を、連続する流れとして把握できる力を培う。
- ・美術を鑑賞するために必要な基礎的知識を獲得することによって、美術に対する理解を深める。

【概要】 美術を広く文化のなかにあるものとして捉え、美術の意味を明らかにすると同時に、講義を通して美術を見る眼を養い、多様な美術に関心を向けさせることによって、学生の知的生活



を豊かにすることを目的とする。授業では、さまざまな地域・時代の美術を対象に重要なトピックを取り上げ、図版や映像を使用しながらその発展を追う。また、それらがどのような文化状況のなかから生じ、どのような文化的意味をもったかを、文献資料をも併用することによって掘り下げ、美術に対する深い理解を図る。

#### 2SK410 映像論

##### 【到達目標】

- ・個々の映像表現とその歴史的文化的背景を学ぶことによって、映像という媒体の歴史的機能を理解する。
- ・映像芸術の、他の様々な芸術分野と異なる特殊性、表現と受容の多様性に関する理解を深める。
- ・シーン、シークエンスを正確に辿り、その含意するところを考える訓練を通して、映像表現を主体的に理解する力を培う。

【概要】 映像は見れば理解できるのだろうか。自分が見たという「実感」は、はたして自分が「見た」のか、「見せられた」のか。報道映像でさえ、編集や修正次第で、いかようにも異なった事実を伝播する危険性も持っている。この授業では実際に映像作品に触れてその魅力を体験すると同時に、撮影・編集技法、およびそれぞれのフィルムの歴史的・文化的背景を学び、様々な角度から「異文化」として観察することで、映像表現の歴史と可能性、表現と受容の多様性を考察することを目的とする。

#### 2SK411 舞台芸術論

##### 【到達目標】

- ・舞台芸術の歴史について基本的な知識を身につけ、その大きな流れを理解する。
- ・個々の作品を考察することによって、他の様々な芸術分野と異なる特殊性、表現と受容の多様性に関する理解を深める。
- ・演劇・舞踊など舞台芸術を判断する基準を理解する。
- ・舞台芸術の背景となる歴史、文化一般についての基礎的知識を身につける。

【概要】 演劇や舞踊など、さまざまな表現形態をもつ舞台芸術の流れを、実際の作品を鑑賞しながらたどり、その特質を考えることを目標とする。舞台芸術の源流は、祭りに際して、集団を束ねる重要な場として、有史以前から存在していたものと考えられる。その後、舞台芸術は、社会体制、政治体制に応じ、またはそれらの変化に伴い発達していく。この授業では、舞台芸術の歴史や鑑賞法について基本的知識を獲得するとともに、芸術と社会の関連もふくめた全般的な認識を深め、舞台芸術と主体的にかかわる態度を涵養する。

## 2SK412 日本文化史

### 【到達目標】

- ・行事・風習・信仰などの日本文化を、歴史的展開を踏まえながら、具体的なイメージを持って理解する。
- ・伝統文化との関連、外国文化との比較などの多角的なアプローチを通じて、日本文化を理解しようとする姿勢を養う。

【概要】 行事・風習・信仰などの日本文化について、歴史的展開を踏まえながら、その特徴を解説する。ビジュアルな調査資料を使用しつつ、有形・無形を問わず我々の身の回りに存在する、多様な文化現象を具体的なイメージを持って把握できるようになることを目標とする。現代の日本文化は伝統文化とどのように連続し、あるいは断絶したのか。そして、外国文化から過去どのような影響を受け、またどのように異なる点が日本の独自性といえるのか、多角的なアプローチも試みながら、日本文化の歩みについて考えていく。

## 2SK413 日本の伝統芸能

### 【到達目標】

- ・日本の伝統芸能（能・狂言、歌舞伎、文楽、落語など）に関する基礎的知識を身につける。
- ・日本の伝統芸能をその背景となる歴史と文化の関連において理解する。
- ・次世代へ継承すべき無形文化財である日本の伝統芸能を通じて、日本文化および日本人の思想や価値観について理解を深める。

【概要】 日本の伝統文化として継承されてきた芸能の歴史や特質について、観賞するための基礎となる時代状況や文化的背景を取り上げつつ、具体的な演目を通して学ぶ。また、伝統芸能を観賞するための基礎となる時代状況や文化的背景についても取り上げる。伝統芸能が生活に密着したものであり、現代に通じる部分も多いという点に着目し、演者の巧みな話芸や動きが伝えるメッセージについて、演ずる側の視点も盛り込みながら考えていく。

## 2SK414 世界の地域と民族

### 【到達目標】

- ・現代世界の各地域や民族に見られる社会や文化について、その多様性を理解する。
- ・それらの社会や文化を産み出してきた背景を、生態的、歴史的などの諸条件から考察する基礎力を養う。
- ・それらを人類史の中に位置づけて理解する基礎を身につける。

【概要】 世界の諸地域・民族は変動をくり返しながらも、相対的に異なる多様な社会や文化を築いてきた。本授業では、そうした変動のなかにある個々の地域・民族を取り上げ、それらの社会や文化の特徴が産み出されてきた過程を、政治や経済などを含む、生態的条件や歴史的な変動を通して考察し、当該地域・民族への理解を深める。それらの地域・民族の固有の諸問題が中心に論じられるが、ただ単にそれらを孤立した存在として見るのではなく、それらを取り巻く他地域・民族との比較や関係をも視野に入れる。そうしたアプローチを通して、それら諸地域・民族の歴史を、広く人類史の中に位置づけて考察し、理解することを目指す。

## 2SK415 ヨーロッパの歴史と文化

### 【到達目標】

- ・ヨーロッパ地域の歴史とその文化的背景に関する基本的な知識を身につけることによって、その多様性と共通性を理解する。
- ・ヨーロッパの文化がどのように形成され、変化してきたかを学ぶことによって、その歴史と現状に関する理解を深める。
- ・ヨーロッパ地域の歴史と文化に関する理解を深めることによって、異文化と主体的に関わる力を培う。

【概要】 ヨーロッパの文化はダイナミックに変化しながら世界に広がり、時に各地の文化と軋轢を引き起こしながら、一方でモデルとしても機能してきた。この授業では、ヨーロッパ地域に現れた歴史上の様々な現象を取り上げ、それがいかなる歴史的、文化的背景から生じてきたか、またそれらの現象が既存の社会や文化をいかに変化させてきたかを探る。それを通し、ヨーロッパの社会や文化がどのように形成されてきたか、そしてそれがいかにして多様性と共通性を産み出し、現状に至ったかを歴史的に理解できるようにする。さらに、この理解の上に、異文化と主体的に関わることの意義を考える。

## 2SK416 アメリカの歴史と文化

### 【到達目標】

- ・アメリカ地域の歴史とその文化的背景に関する基本的な知識を身につけることによって、その多様性と共通性を理解する。
- ・アメリカの文化がどのように形成され、変化してきたかを学ぶことによって、その歴史と現状に関する理解を深める。
- ・アメリカ地域の歴史と文化に関する理解を深めることによって、異文化と主体的に関わる力を培う。

【概要】 「アメリカ」と呼ばれている地域は、ひとつの共通性を有する一方、極めて多様な自然・社会・文化を内在させた地域でもある。この共通性と差異性がどのように形成され、その表現方法が転換していったか等を歴史的に考察する。この授業ではこうした観点からアメリカの人々と「私たち」の視点の差異、またそれぞれの関わりを考慮しながら、アメリカの文化・自然の歴史と現状に関する理解を深める。重要なテーマをいくつか抽出し、テキストや映像資料などを用いて解説すると共に、異文化と主体的に関わる態度を涵養する。

## 2SK417 ラテンアメリカの歴史と文化

### 【到達目標】

- ・ラテン・アメリカ地域の歴史とその文化的背景に関する基本的な知識を身につけることによって、その多様性と共通性を理解する。
- ・ラテン・アメリカの文化がどのように形成され、変化してきたかを学ぶことによって、その歴

史と現状に関する理解を深める。

- ・ラテン・アメリカ地域の歴史と文化に関する理解を深めることによって、異文化と主体的に関わる力を培う。

【概要】 現在「ラテンアメリカ」と呼ばれている地域は、極めて多様な自然・社会・文化を有する地域である。この授業ではラテンアメリカの人々と「私たち」の視点の差異、またラテンアメリカ諸地域に存在する共通性と多様性を意識しながら、人々の行動の背景にある「文化」がいかなる歴史の中で生まれ、それが現在どのような現象となって現れているかについて理解を深める。この地域の文化的特長を理解する手がかりとなるいくつかの事項について、テキストや映像資料などを用いて解説すると共に、異文化と主体的に関わる態度を涵養する。

## 2SK418 アジアの歴史と文化

### 【到達目標】

- ・アジア地域の歴史とその文化的背景に関する基本的な知識を身につけることによって、その多様性と共通性を理解する。
- ・アジアの文化がどのように形成され、変化してきたかを学ぶことによって、その歴史と現状に関する理解を深める。
- ・アジア地域の歴史と文化に関する理解を深めることによって、異文化と主体的に関わる力を培う。

【概要】 アジア各国は文化面をはじめ種々の側面において、多くの共通性を有する一方、地域や歴史による差異性をも有している。この授業では、アジア地域に現れた歴史上の様々な現象を取り上げ、それがいかなる歴史的、文化的背景から生じてきたか、またそれらの現象が既存の社会や文化をいかに変化させてきたかを探る。それを通しアジアの社会や文化がどのように形成されてきたか、そしてそれがいかにして多様性と共通性を産み出し、現状に至ったかを歴史的に理解できるようにする。さらに、この理解の上に、異文化と主体的に関わることの意義を考える。

## 2SK419 民俗学

### 【到達目標】

- ・日本民俗学の形成・展開と成果について、基礎的な知識を得る。
- ・「民俗」とは何か、それはどのように資料化され、いかなる理論・方法に基づいて分析・解釈されるかなど、民俗学の学術的方法と特徴について、基礎的理解を身につける。

【概要】 日本民俗学の対象、課題、方法の概要を、それらの変遷・展開や成果の具体例を提示しながら講じる。この学問が対象とする「民俗」とは何か、どこにどのように存在しているのか。それはどのような手続きによって資料化され、どのような理論・方法に基づいて分析や解釈が行われるのか。それらは学史としてどのように変遷・展開を遂げているのか。さらには、伝統社会の変容や、現代の地域・集団の中で人々が育む暮らしや仕事をめぐる文化の動態について、民俗学がいかに肉迫し、どのような成果を挙げてきているか。こういった諸問題を解説する。

## 2SK420 歴史の見方

### 【到達目標】

- ・歴史の中に見られる種々の社会集団、民族や地域の関係の在り方を理解する。
- ・社会集団相互の関係性の背後にある歴史的諸条件を探る方法や説明する理論について理解し、問題探究の基礎的方法を身につける。
- ・歴史に対する見方は、地域によって異なること、時代によって変化することを理解し、様々な歴史観を相対化できる力を養う。

【概要】 歴史の中で、人間は種々の社会集団を、階級や人種、性や年齢、国家や地域、民族や言語などにより形成し、それらの間には、支配・被支配、同盟・非同盟、中心・周辺といった様々な関係を取り結んできた。これまでの歴史研究において、それらの諸関係の実態やその形成の歴史的・空間的な諸条件の究明とともに、その研究法、さらにその歴史的意味や解釈などについても種々の理論提起がなされてきた。本授業ではこうした諸関係のうちから一つあるいは複数の問題に光をあてて、歴史的な観点から迫るとともに、それらに関する意味づけや解釈の変化にも言及することで、歴史観の相対化の意義を理解する。

## 2SK421 現代史の諸相

### 【到達目標】

- ・現代史を動かしてきたイデオロギー、即ちナショナリズム、社会主義ないし共産主義、ファシズムが、どのように展開したかを理解し、その今日に残る問題への探究心を培う。
- ・現在も絶えない民族対立、人種主義、階級社会と大衆社会が抱える諸問題などを探り、そのメカニズムを理解する基礎的方法を身につける。

【概要】 20世紀以降の世界の歴史を概観し、世界現代史を考察していくうえで必要となる基礎知識の体系的な修得をめざす。具体的には、現代史を動かしてきたイデオロギー、即ちナショナリズム、社会主義ないし共産主義、ファシズムが、どのように展開したかを理解し、その今日に残る問題を考える。また、現在も絶えない民族対立、人種主義、階級社会と大衆社会が抱える諸問題などを探り、そのメカニズムを理解する。同時に、現代史資料の検索方法および代表的な史料の内容紹介、読解・分析と密接にかかわる史料批判の方法等を講述する。現代史を考究していく際に不可欠の基本的技法も、新聞や映像メディア等の素材で補完しながら具体的な理解・修得をはかる。

## 2SK422 アーカイブの世界

### 【到達目標】

- ・アーカイブ(記録史料・文書館)に関し、その社会的役割と意義について、基本的な知識を習得する。
- ・記録史料を取り扱う専門職であるアーキビストに関し、その社会的役割と意義について、基本的な知識を習得する。

【概要】 情報化社会が進む現代社会において、氾濫する膨大な情報を取捨選択した上で、記録と

して管理・保存し、活用可能な形に整えるアーカイブ（記録史料・文書館）にまつわる仕事の必要性は高まっている。近年の「公文書管理法」施行にともない、日本で定着化が進むと目されるアーカイブに関する基本的な知識の習得を目標に、授業を進める。

また、記録史料を取り扱う専門職であるアーキビスト、記録史料にまつわる専門的な保管機関である文書館の社会的役割と意義についても理解を深められるよう、様々な具体的事例を紹介しながら、講義を行う。

#### 2SK423 総合教養演習（人間の知的生産）

##### 【到達目標】

- ・「人間の知的生産」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】 総合教養科目「人間の知的生産」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「人間の知的生産」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。

#### 人間社会の仕組みと問題

##### （教育目標）

- ・法律、政治、経済等の人間社会の仕組みの基本概念と基本原理を理解する。
- ・社会生活の中で合理的な意思決定ができる力を養う。
- ・グローバルな視点から家族・地域・仕事などといった社会の基本となる枠組みを理解し、問題点を探求する力を養う。
- ・国際社会の諸問題を様々な切り口から考える力を養う。

#### 2SK501 日本国憲法

##### 【到達目標】

- ・日本国憲法の基礎概念と憲法学の基本的な考え方を養う。
- ・法的思考の基礎を身につける。

【概要】 この授業では、国の統治機構、基本的人権を中心に、代表的な判例を紹介しながら論点を整理し考察していく。日本国憲法制定の歴史、基本的人権の歴史、プライバシーの権利、法の下での平等、自由権的基本権、社会権的基本権、統治機構としての立法権、行政権、司法権などを取上

げて日本国憲法の基本原理を学び、憲法改正問題についても触れる。

#### 2SK502 公共政策と法

##### 【到達目標】

- ・行政組織（国家行政と地方行政）と法に関する基本的な概念を理解する。
- ・国家行政とそれを支える行政法の総論と行為形式（計画・立法・行為・指導・契約）や行政活動について学び、国家行政と国民のかかわりについて基本的な概念を理解する。
- ・地方行政組織とそれを支える地方自治法の基本的な概念を学び、地方行政と市民のかかわりを理解する。
- ・我々に身近な住民基本台帳、都市計画法、市町村合併、地方交付税などを分析する基礎力を養う。

【概要】 行政法は、国家の基幹に関わると同時に、私たちの身近な生活にも関わる法分野である。この授業では、実際の事例を取り上げながら、行政法の総論部分についての基礎的な内容を紹介する。具体的には、法分野全体における行政法の位置づけを明らかにし、行政組織（地方行政と国家行政）について解説する。つぎに、行政と国民の関わりを考察するとともに、行政の行為形式（計画・立法・行為・指導・契約）についてもふれる。参加・調査および情報収集・政策立案・政策評価・文書管理を概観する。最後に、情報公開や個人情報の保護など、最近の問題に触れながら、行政と国民のかかわりを考察する。

#### 2SK503 市民社会と法

##### 【到達目標】

- ・市民生活を広く規律の対象とする民法のしくみを学ぶ。
- ・法による紛争解決の方法や法的なものを見方を身につける。

【概要】 民法は、日本の法体系の中にあって、財産・取引・結婚と離婚、相続といった私たちの市民生活を広く規律の対象とする重要な法律です。この授業では、こうした民法のしくみを学ぶとともに、調停・和解・裁判という法による紛争解決の方法や法的なものを見方を身に付けることを目指します。身近な話題を織り込みながら、主として、民法の「総則」規定を解説していきます。

#### 2SK504 国際社会と人権

##### 【到達目標】

- ・20世紀における国際的人権概念の展開について理解する。
- ・今日世界的な問題となっている難民やジェノサイドなどの難問を理解する。
- ・基礎力を養うとともに、国際人権法の発達についての理解を深める。

【概要】 20世紀の国際人権概念の拡大をふまえた世界の人権発達の歴史を概観し、欧米社会を軸に広まり、世界各国の憲法に基本的人権の保障として謳われるようになった人権思想の流れについての基礎知識の修得をめざす。人権概念の拡大、国際人権法、人権尊重などに関わる重要なト

ピックに焦点をあてながら、戦争やジェノサイドの原因ともなってきた、人権侵害の歴史と現在の問題も取り上げる。

#### 2SK505 自治と行政

##### 【到達目標】

- ・自治体の行政や地方自治に関する基礎的な知識を身につける。
- ・自治体の行政や地方自治に関する問題や課題に接するなかで、その解決の一助となるような考え方の基盤をつくる。

【概要】 行政組織や行政活動に関する理解を深めることを目的とする。官僚制組織一般の構造と機能、日本の中央官庁システムの特徴とその歴史の変遷、日本における政治と行政のかかわりと官僚の民主的統制、行政改革の意義と限界、日本における中央と地方政府間の関係、自治体行政の特色、新たな行政課題に対する自治体の挑戦などに関して講義を行う。公務員志望の学生諸君のためにも役立つ講義を目指す。

#### 2SK506 社会学と現代社会

##### 【到達目標】

- ・グローバル化という趨勢の理解に立ち、自己、仕事、家族、地域、教育、文化、メディア、福祉などの社会諸領域の概要を社会的に考察できる。
- ・公務員試験、資格試験などの社会学関連出題への対応するための基礎知識を修得する。

【概要】 グローバル化、自由化という現代社会の構造的変動のなかで、さまざまな社会問題が顕現し、その解決や人間の幸福づくりのための枠組（産業主義、民主主義、合理主義、個人主義など）は問い直され、新しい枠組づくりが模索されている。社会学は枠組の模索という課題の一翼を担い、家族、地域、会社、行政、政治、教育、メディア、文化、科学技術、宗教、エスニシティ、国際関係など広い範囲の問題と関わっている。この授業では、社会的なもののかかわりとはどのような特徴を持つものなのか、具体的な問題を例としながら、社会学というものの考え方の核となるものについて解説する。

#### 2SK507 地域社会論

##### 【到達目標】

- ・グローバル化する地域社会の現況をめぐる社会的な基本概念を身につける。
- ・地域社会での政治参加、経済活動、ボランティアネットワークの形成などについての事例分析などを通し、身近な社会問題の解決の手がかりになるような基礎知識を身につける。

【概要】 日本の社会学は、日本の伝統的な地域社会構造、現代日本の地方都市や中山間地域社会のかかえる問題を明らかにし、他方で高度経済成長以降の日本の地域社会の変動、現代の大都市のかかえる諸問題などを考察してきた。さらに、現代社会のグローバル化をふまえた、新しい研究が展開され始めている。すなわち、地域の衰退（限界集落、離村、廃村など）、都市貧困層（若



年末就労者、高齢者、エスニックマイノリティなど)の増大などが問題となり、解決のために自立支援と共生社会開発の方法が模索されている。こうした地域社会研究、地域文化研究などの成果を紹介しながら、グローバル化する地域社会の問題を考察してゆく。

## 2SK508 社会保障と社会福祉

### 【到達目標】

- ・福祉の概念を理解し、その根幹となる社会保障と社会福祉の考え方、共生思想の概要を身につける。
- ・日本の社会保障制度について、公的扶助(生活保護)と社会保険(年金と医療)などの基礎知識を身につける。
- ・高齢者の問題、ジェンダーの問題、医療の問題、障害者の問題などをめぐり、少子高齢社会における社会保障と社会福祉の歴史、現状、将来の課題について概説的な知識を得る。

【概要】 福祉の概念を理解し、その根幹となる社会保障と社会福祉を考える。社会保障は人間の生活にかかわる生活保障の一部である。誕生前の胎児期から死亡までに生じる就職、結婚、出産、傷病、老齢、死亡といったライフサイクルに沿って生じる人生のリスクに対応して社会保障制度が体系化されている。日本の社会保障について、公的扶助(生活保護)と社会保険(年金と医療)の制度を中心に学ぶ。高齢者の問題、ジェンダーの問題、医療の問題などをめぐり、少子高齢社会における社会保障と社会福祉の歴史、現状、将来の課題について学ぶ。

## 2SK509 情報と社会

### 【到達目標】

- ・情報技術の発展とそれが社会・文化にもたらす変化について理解する。
- ・情報コンテンツの著作権などをめぐる情報倫理の問題について理解する。

【概要】 コンピュータを中心とする情報技術の発達が今日の社会・文化に与えている変化について、歴史的経緯とその意味を考える。コンピュータ技術そのものではなく、そのようなコンピュータのあり方を形成してきた文化的背景を取り上げる。この授業では、現在、インターネットを中心とする情報技術がどのように発展しつつあるのか、またそれがどのような社会・文化の変化をもたらしつつあるのかについて考える。また、その中で、情報コンテンツの著作権などをめぐり、情報倫理の問題がどのように提起され、どのように論じられているのかについても理解する。

## 2SK510 現代社会と教育

### 【到達目標】

現代社会における教育をめぐる問題状況の理解を通して、現代社会の仕組みと機能及び課題について探求する視点と方法を身につける。

【概要】 現代社会における子ども・青年の生活と教育をめぐる問題、たとえば、貧困と就職難の問題、学校や教育産業を介して加速される学力競争がもたらす弊害などを、現代社会の仕組みや機

能などとの関連で扱います。現代社会の特徴として経済的競争のグローバル化や高度情報化の進行、それにともなう政治化の浸透を挙げることができますが、人類が追い求めてきた、一人ひとりが自由かつ平等であるという理念を実現するためにはどのような条件が現代社会と教育に求められるか、考察を進めます。

#### 2SK511 近現代日本の政治史

##### 【到達目標】

- ・近現代日本の諸問題を、政治史と連関させて理解する。
- ・近現代日本の歴史に対する理解を深め、日本政治を視る基礎力を養う。

【概要】 鎖国という独自の外交体制をとっていた日本は、西洋諸国のアジア進出の脅威にさらされた。それは独立の危機であり、植民地化の危険性を孕んでいたが、日本の指導者は近代国家を形成し、富国強兵をめざすことで乗り切ろうとした。それは日本の「文明国」化と帝国主義化であり、他方では東アジアでの優越的な地位につながった。日本はやがて大国となったが、昭和期になると既存の国際関係に挑戦し、新たな国家体制の構築に向かい、戦争と敗戦、そして戦後の新たな歩みが始まることになる。本講義は日本の近現代史を、政治・理念・認識を中心に考察する。

#### 2SK512 国際社会と日本

##### 【到達目標】

- ・現在の日本が直面している諸問題（外交、安全保障など）を国際社会との関係で考える力を身につける。
- ・時事的なトピックスだけでなく、国際政治学の基本的な概念も理解する能力を養う。

【概要】 日本と国際社会との関係を多面的に分析し、将来の日本の針路を考えることを講義の目的とする。現在の日本が抱えている外交、安全保障に密接な関係をもつ諸問題について時事的な問題も盛り込みながら講義する。グローバル化によってボーダレス化が進む一方、主権国家体制が存続している現代世界における日本の位置づけについて理解を深める。

#### 2SK513 平和学

##### 【到達目標】

- ・「平和」とは何かについて理解する。
- ・国際関係のあり方と「平和」との関係について理解する。
- ・「平和」・戦争・紛争と人間との係わりを考察しうる基礎力を養う。

【概要】 我々はこれまで「平和」について真剣に考えたことがあったであろうか。「平和」を追求すべきだとの価値観にたつ学問が「平和学」である。この授業では各種の「平和」概念の整理をしてから、「構造的暴力」や「積極的平和」、「中心と周辺」などの論争的な概念を学び、次いで紛争の原因分析、紛争予防の試み、平和構築などを考察する。

## 2SK514 ヨーロッパの比較政治

### 【到達目標】

- ・ヨーロッパ諸国の政治体制と政治ゲームを学ぶことにより、現在のEUの政治外交を理解する力を身につける。
- ・EUの統合の歴史を学ぶ。

【概要】 EUを中心としたヨーロッパ諸国の政治体制、外交政策の比較を行い、ヨーロッパの政治を理解させることを目標とする。統合されたヨーロッパ、多様なヨーロッパの両面を論じることによって、理解を深める。EUの誕生から発展、EUの現状、ユーロの導入、トルコなど非EU諸国の加盟問題、NATOの現代的な位置付け、欧州地域内の民族問題、ヨーロッパ諸国と国連・米国・日本との関係などについて講義を行う。

## 2SK515 アジアの比較政治

### 【到達目標】

- ・ASEANを中心としたアジア諸国の政治体制と外交政策を比較研究することで、民族や宗教など複雑なアジア諸国の政治を理解する基礎力を身につける。
- ・権力構造や政党、対外政策など異なる争点を比較する。

【概要】 ASEANを中心としたアジア諸国の政治体制、外交政策の比較を行い、アジアの政治を理解させることを目標とする。アジア諸国は、民族や宗教が多様である半面、稲作文化や港市国家の文化等、多くの共通性も有している。こうした特徴を説明する中で、アジアに対する理解を深めたい。ASEANの設立と現状、ASEAN内における後発諸国の問題、APEC・ARFなどアジアの地域機構の役割、アジアNIE Sの経済発展、東アジア共同体の可能性などについても触れる。

## 2SK516 日本の産業と企業

### 【到達目標】

- ・特定の産業の現状について理解する。
- ・日本経済の動向の中に産業事情を位置づけて理解する。
- ・実際の企業活動、企業戦略について知識を得る。

【概要】 日本のさまざまな産業の現状や特徴、さらには課題について具体的に学ぶことを目的とする。この授業を通して、広く日本経済の動向と日本企業の経営動向・手法等について理解を深めるとともに、日本の産業の展望を探っていく。また産業界の動向に応じて新しいトピックスを取り入れることで、最新の情報にも触れることが出来るよう、講義を進めていくものとする。

## 2SK517 日本経済のしくみ

### 【到達目標】

- ・経済学の専門用語を理解する。

- ・経済学的な考え方を身につける。
- ・戦後の日本経済の変遷、またその現状について知識を得る。

**【概要】** 日本経済は高度経済成長、オイルショック、バブル経済とその崩壊、さらに「失われた20年」を経て、新たな展開を迎えている。また東日本大震災を経た日本経済は新たな対応を迫られることとなった。このような様々な経済の局面、その時々課題と対応を理解するために必要な専門用語や経済的な思考を学び、日本経済をより専門的な視点からとらえる能力を身につけることを目的とする。

#### 2SK518 グローバル経済のしくみ

##### 【到達目標】

- ・経済学の専門用語を理解する。
- ・経済学的な考え方を身につける。
- ・先進国、発展途上国、また新興国の現状と課題について知識を得る。

**【概要】** 「グローバル経済」は複雑かつ動的である。アメリカ、EU、アジアに代表される経済圏は内的に発展を続け、外的に相互の関係を深めつつある。本講義では先進国、開発途上国、さらには新興国それぞれの現状と課題を概観する。また、経済の専門用語の理解、貿易や為替などの仕組みについても学ぶことで、グローバル経済を論理的にとらえる能力を身につけることを目的とする。

#### 2SK519 アジアの経済事情

##### 【到達目標】

- ・アジアの国々の現状と課題について知識を得る。
- ・各国の課題解決のための基礎を身につける。

**【概要】** アジア経済圏はアメリカ、EUに並ぶ巨大経済圏に成長した。これは成長著しい中国、東南アジア諸国の経済発展、また先進国である日本の存在によるところが大きいものと思われる。その一方で、発展から取り残された地域の存在も無視できない。本講義では世界経済をけん引する力強い成長と開発途上国の開発の双方の視座より、アジア経済の現状や課題について理解を深めることを目的とする。

#### 2SK520 国際金融と貿易

##### 【到達目標】

- ・国際金融と国際貿易の基礎を理解する。
- ・経済のグローバル化の現状について知識を得る。

**【概要】** 現在の日本経済の状態を知るためには、他国の経済や国際的な貿易、金融、労働移動のシステムを理解することが不可欠である。本講義では国際金融と国際貿易に関する基礎的な概念、制度、理論を学ぶことを目的とする。また、現在世界で進行している経済のグローバル化が金融や

経済及び国民の労働や生活にもたらす影響や、グローバルな政治経済の中で今後の日本経済の展望について考える。

#### 2SK521 統計のしくみ

##### 【到達目標】

- ・統計的なものの見方を身につける。
- ・統計学の基礎を学ぶ。

【概要】 人間科学や社会科学における実証研究を行う上で必要不可欠になってくる統計的な世界観、その基本的な概念、すなわち、一定の誤差や変動を内包した事象への接近法、基本統計量と統計的推定の考え方、検定の方法などについて、数学が苦手な受講者を想定しつつ一通りの理解をめざす。具体的な項目としては、変数・尺度と適用可能な操作、度数分布表、統計グラフ、代表値、散布度、相関、クロス集計、検定の理論の基礎、 $2$ 乗検定などについて扱う。

#### 2SK522 統計分析を学ぶ

##### 【到達目標】

- ・推測統計を中心とした統計学の概念を理解し、統計的知識を活用してデータを分析できる力を身につける。
- ・データを分析した結果を、正しく解釈する力を身につける。
- ・ある目的のためには、どのようなデータを集め、どのような分析をすることが望ましいか、自らが正しく判断できる力を身につける。

【概要】 統計的知識を活用してデータを分析できる力をつけることを目標とする。具体的には、度数分布、基本統計量、正規分布、変数の標準化、相関と散布図、クロス表などの記述統計という基礎をベースに、確率論の基礎、母集団と標本・標本抽出法のサンプリングの概念、検定・推定の理論とその応用(平均と比率の差の検定、相関係数の検定、クロス表の独立性の検定など)に加え、分散分析、回帰分析、重回帰分析などの一般的なリニアモデルを使った検定や分析方法などを扱う。

#### 2SK523 エネルギー産業と国民生活

##### 【到達目標】

- ・エネルギー産業の特性について理解する。
- ・エネルギー生産、消費の現状について知識を得る。
- ・エネルギーセキュリティとは何かを理解する。

【概要】 本講義は、エネルギー産業の特性を経済学的視点から理解し、電力自由化の理論とその実際について学ぶことを目的とする。東日本大震災後のエネルギー産業の変化、さらには原子力発電とエネルギーセキュリティをめぐる論点など、包括的に扱う。この授業を通じ、今後の電力自

由化後の日本のエネルギー供給体制、インフラ投資の必要性などの新たな課題など、最新の情報にも触れることが出来るよう、講義を進めていくものとする。

#### 2SK524 総合教養演習（人間社会の仕組みと問題）

##### 【到達目標】

- ・「人間社会の仕組みと問題」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】 総合教養科目「人間社会の仕組みと問題」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「人間社会の仕組みと問題」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。

### 女性のウェルネス

#### （教育目標）

- ・女性の生涯の健康を支える基礎知識・手法を習得し、自己管理能力を養う。
- ・身体運動についての理解を深め、実践を通して身体能力の向上をはかる。

#### 2SK601 女性のウェルネス・身体運動

##### 【到達目標】

- ・女性の健康を支える基礎的な知識を習得する。
- ・理論と実践から身体運動についての理解を深め、健康における運動の重要性を習得する。
- ・心身のコンディションを自己管理する重要性と基礎的手法を理解し、身につける。

【概要】 身体的にも精神的にも社会的にも良好で生き生きとした状態を積極的に得る為に、女性のライフステージからみた健康と身体運動についての基礎的な知識を学ぶ。そして心身のコンディションを自己管理する重要性と基礎的手法を学び、各種トレーニングを通して自己の身体を認識し、将来起こり得る健康上の様々な状況に適宜対応できる知識と身体能力を養う。また、様々なスポーツによるグループ活動を通してコミュニケーション能力を高める。

#### 2SK602 女性のウェルネス・身体運動

##### 【到達目標】

- ・女性の健康を支える基礎的な方法論を習得する。

- ・各種エクササイズやスポーツの実践を通して、生涯にわたって健康を維持、増進するための正しい運動法を身につけるとともに、身体能力の向上をはかる。
- ・生涯を視野に入れて自分に適した健康法、運動法のプランを立て、主体的に実践していく力をつける。

【概要】 女性が生き生きとした社会生活を営むために必要な健康を支える方法論について学ぶ。自己の身体を各種測定で把握し、望ましい生活習慣と運動による正しい健康増進法を理解する。また、各種エクササイズやスポーツなど、グループ活動を通して他者と共に楽しみながら自己の身体能力やコミュニケーション能力を高め、心身の融合及び健康の維持・増進を図るための正しい運動法を身につける。さらに生涯を視野に入れ、自分に適した健康法、運動法のプランを立て、主体的に実践していく力を養う。

## 講義

### 2SK611 からだの科学

#### 【到達目標】

- ・健康に生きるために必要なからだについての知識や知論を理解する。
- ・効果的な健康法や運動法を習得する。

【概要】 からだや健康に関連することがらについて、日々の生活で身近な話題や日常生活で役立つ内容も多く取り上げながら、からだの機能やメカニズムを科学的に捉え、運動に対する適応の仕組みを学び、積極的に健康を育てていく姿勢を養う。女性のからだに着目し、妊娠・分娩・婦人科疾患についても学び、健康で自分らしく生きていくためにはどうすれば良いかを考える。

### 2SK612 発育と発達

#### 【到達目標】

- ・身体の発育と運動の発達について、生物学的原理原則に基づいた基礎的な知識を習得する。
- ・発育・発達には、遺伝的要因や環境要因に大きく影響され個別性が存在することを理解する。

【概要】 子どもは自発的に遊び、子どもなりの方法でその動きを身につけながら育っていくことが理想であるが、現代社会においては必ずしもそのとおりにはいかない数々の事情がある。本講義では、子どものからだの発育・発達の原理・原則を学び、さらに、体力・運動能力に影響する要因や正しい測定・評価方法などの知識を身につける。「育った」結果としての自分を考察するとともに、次世代を「育てる」自分を見据え、子どもの好ましい発育・発達を考える。

### 2SK613 栄養と健康

#### 【到達目標】

- ・健康に生きるための「食」についての知識・理論・実践法を習得する。

・エネルギーのバランスおよびその内容の重要性について理解する。

【概要】 健康に生きるための「食」についての知識、理論、実践法を学ぶ。栄養と運動は健康に直結している。摂取する食のエネルギーと生きているからだを使うエネルギーのバランス及びその内容の重要性について学ぶ。また、現代社会ならではの食の問題について考え、自らの食生活をチェックすることなどを通じて、健康に過ごすための食生活について理解を深める。

#### 2SK614 現代社会と身体

##### 【到達目標】

- ・現代社会における身体を取り巻く諸問題を理解する。
- ・身体を取り巻く諸問題の歴史的変遷を理解する。
- ・健康・差別・メディアの視点から取り上げ、問題点を解決する力を養う。

【概要】 身体を取り巻く様々な問題を取り上げる。急激な情報化がもたらされた現在「自己の存在の希薄化」と「他者との身体的コミュニケーションの困難さ」という身体問題がクローズアップされてきた。ここでは、現代社会の身体を取り巻く諸問題について歴史的変遷を学び、健康と身体・日本人の身体・差別と身体・メディアとしての身体等の事象を取り上げ考える。ジェンダー的視点も取り入れ解決の糸口を探る。

#### 2SK615 女性の健康科学

##### 【到達目標】

- ・性の科学的な認識のもとに、性や生命の問題について理解する。
- ・性や生命の問題について学び直し、解決していく力を養う。

【概要】 女性の基礎的教養として、生涯を通して必要な女性の身体とその機能、それに付随する事柄を科学的に理解することを目標とする。身体の解剖・機能・妊娠・分娩・婦人科疾患などについて基礎的な事柄を理解する。また性の問題や不妊治療、出生前診断などの、生理的知識のみならず、倫理的問題、またジェンダーの視点も加味して、性や生命の問題について考えを深める。

#### 2SK616 性と生命（セクソロジー）

##### 【到達目標】

- ・性の科学的な認識のもとに、性や生命の問題について理解する。
- ・性や生命の問題について学び直し、解決していく力を養う。

【概要】 本講義では生理学、性科学、ジェンダー、性の多様性、人間の性愛とは、性と社会など多面的に考察する。時代の大きな変化の中で「性」のあり方もまた大きく変わりつつある。かつて女性の性は自らの意思や希望によって選ぶことなど許されなかった。結婚する、しない、産む、産まない等、自己決定や選択の余地はなかったのである。今、それらは選択の対象となった。それは結果について自ら責任を負うことである。自分自身納得できる生き方を貫くためにはどうしたらよいか。性への偏見や思い込みを捨て一から学び直す。



## 2SK617 女性の心身コンディショニング

### 【到達目標】

- ・女性特有の不快症状解消および心身のコンディションを整えるための理論を理解する
- ・心身のコンディションを整えるための方法論を習得する。
- ・生涯を健康的で豊かに過ごす力を養う。

【概要】 現代社会は様々なストレスにより心と身体の不調を訴える人々が増加している。この講義では、女性が健やかに一生を送ることができるよう心身のコンディションを整えるための理論と方法論を学ぶ。はじめに身体の構造を学び、不快症状の原因を探る。さらにその解消方法を様々な健康法から学び、実習することにより心身の自己管理能力を養い、生涯を健康的で豊かに過ごす能力を養う。

## 実習

## 2SK621 スポーツA

### 【到達目標】

- ・屋外でできるスポーツ（テニス・サッカー・ソフトボール等）の技術を習得する。
- ・身体能力の増進をはかり、スポーツを通してコミュニケーション能力を養う。

【概要】 スポーツは、私たちの生活を豊かにすることができる「地球規模の共通文化」である。ここでは様々なスポーツの中から、屋外で出来るスポーツ（テニス、サッカー、ソフトボール等）を取り上げ、基礎技術を習得し、身体能力の増進をはかり、スポーツを通じてコミュニケーション能力を養う。さらに生涯の健康増進も視野に入れ、スポーツを主体的に日常生活に取り入れていくための素養・能力を養う。

## 2SK622 スポーツB

### 【到達目標】

- ・屋内でできるスポーツ（バドミントン・卓球・バスケットボール等）の技術を習得する。
- ・身体能力の増進をはかり、スポーツを通してコミュニケーション能力を養う。

【概要】 スポーツは、私たちの生活を豊かにすることができる「地球規模の共通文化」である。ここでは様々なスポーツの中から、屋内で出来るスポーツ（バドミントン、卓球、バスケットボール等）を取り上げ、基礎技術を習得し、身体能力の増進をはかり、スポーツを通じてコミュニケーション能力を養う。さらに生涯の健康増進も視野に入れ、スポーツを主体的に日常生活に取り入れていくための素養・能力を養う。

## 2SK623 スポーツC

### 【到達目標】

- ・チャレンジスポーツ（クライミング・ジョギング等）を通し身体能力の増進をはかる。

- ・運動技能の獲得と習熟過程を理解する。

【概要】 様々なスポーツを通して自分に合ったもの及び方法を探り、生き生きとした生活の一部として組み入れることができるよう、実践的に学ぶ。ルールを守り、安全に実施できることも重要な課題である。そのスポーツ特有の面白さを理解し、できないと思っていたことができるようになっていくプロセスを体験することにより、その魅力を第三者にも伝えられるようになることを目指す。

#### 2SK624 スポーツD

##### 【到達目標】

- ・生涯スポーツ（ゴルフ・ニュースポーツ・障害者スポーツ等）を実践していくための基本技術を習得する。
- ・楽しむための素養を身につけることができる。

【概要】 スポーツに関わる形は多様化しており、環境やルールや用具などを選択することにより、幼児から高齢者、体力の低い人や障害のある人でも生涯にわたり楽しむことが可能である。健康の維持・増進だけでなく、趣味や生きがい、社交の場ともなる生涯スポーツの意義や価値を知り、様々な活動の形に興味・関心を持って主体的に関わる態度を養う。基本技術を習得し、「できる」ことを増やすことで生涯スポーツの可能性を広げる。

#### 2SK625 フィジカルエクササイズA

##### 【到達目標】

- ・太極拳の理論を理解する。
- ・基礎的な一連の動きを習得する。
- ・伝統的身体技法を身につける。

【概要】 本授業では伝統的中国養生法、身体技法をとりあげ、現代に生かす身体観、健康観の基礎を築き、身体技法を身につけることを目標とする。心を動かし、そして、身体を動かす。太極拳、練功十八法等を通して、動くことを外から見える身体の運動だけでなく、心の内面の充実、ゆっくり、心と対話しながら、身体の内面を磨くために伝統的身体技法を身につける。

#### 2SK626 フィジカルエクササイズB

##### 【到達目標】

- ・ヨガとピラティスの理論を理解する。
- ・健康に良い姿勢や身体の動かし方を習得する。

- ・生涯の健康を支える自己管理能力を養う。

【概要】 代表的な健康法として知られているインド発祥のヨガは、特有のポーズと呼吸法で身体全体の免疫力の向上、ストレス緩和効果など、健康の維持や増進に役立つ効果がある。また、ピラ

ティスはリハビリテーション・プログラムとして開発された経緯を持っているため様々な年代においての健康増進や筋力強化に効果がある。ここでは、ヨガやピラティスについての正しい基本的な知識や方法・効果について学び、実習を通してその技法を習得し、生涯の健康を支える自己管理能力を養う。

#### 2SK627 フィジカルエクササイズC

##### 【到達目標】

- ・レジスタンスおよび持久性のトレーニングについて、基礎的な理論を理解する。
- ・目的に応じたトレーニング・プログラムを作成し、実践できる能力を身につける。

【概要】 痩せたい、筋肉をつけたい、スポーツがうまくなりたいなど、目的によって様々なトレーニング方法があり、メディアには多くの情報が氾濫している。しかし、運動(トレーニング)と身体の変化には原理・原則がある。その基礎理論を学ぶことにより、それらの情報の持つ正しい内容を理解できるようになる。目的に応じた適切なトレーニング・プログラムを自ら作成する力をつけ、継続的に実践することにより、自分の身体が変わっていくことを知る。

#### 2SK628 身体表現 A

##### 【到達目標】

- ・芸術性を重視したダンス(バレエ等)の歴史の変遷を理解する。
- ・基本技術を習得し、身体を通して表現することができる。
- ・豊かな感性の獲得を目指すことができる。

【概要】 人類の誕生と共に発生したダンスは、歴史・民族・風土・社会と深く関わりながら舞踊文化・身体文化を作り上げてきた。ここでは芸術性を重視したダンス(バレエ等)を取り上げ、その歴史の変遷を学び、各ダンスの特徴を学習していく。同時に基本技術を習得し、身体を通して表現する楽しさや洗練された身のこなし、豊かな感性の獲得を目指す。

#### 2SK629 身体表現 B

##### 【到達目標】

- ・現代的なリズムに合わせたダンス(ジャズダンス・ヒップホップ等)の歴史の変遷を理解する。
- ・基本技術を習得し、身体を通して表現することができる。
- ・表現力と感性を高め、身体表現の可能性を高めることができる。

【概要】 身体を通して表現する楽しさや洗練された身のこなし、豊かな感性の獲得を目指す。ここでは現代的なリズムに合わせたダンス(ジャズダンス・ヒップホップ等)の歴史の変遷を学び、基本技術を習得し、身体を通して表現する。音楽にあわせて踊るジャズダンスやヒップホップといったダンスを通して身体に意識を向け、ダンステクニクの基礎を習得しながら、表現力と感性を高め、身体表現の可能性を広げる。

2SK630 身体表現 C

**【到達目標】**

- ・和の立ち居振る舞いを理解する。
- ・日本の踊りを習得し、身体を通して表現することができる。
- ・伝統に培われた自然な身体技法を身につけることができる。

**【概要】** 日本人の身体文化に注目する。日本人の立ち居振る舞い、その特徴、日本の舞踊文化の歴史的変遷を学ぶ。踊りを習得し衣装を付け、身体を通して表現する。授業を通して、日本の伝統文化を発信できる知識も養う。伝統に培われた自然な身体技法を身に付けながら日本文化の真髄をからだで味わい、表現する。

## (2) 挑戦する知性科目

### (教育目標)

- ・現代社会の問題解決を目指すさまざまな取り組みについて体験的な学びを重ね、われわれをとりまく世界と能動的に関わろうとする姿勢を養う。
- ・目まぐるしく移り変わる現代社会のなかで絶えず更新を迫られる知識とスキルを自律的に学び続け、生涯にわたって自らのキャリアを主体的に構築し続ける力を養う。
- ・国際的な視野をひろげて多文化共生への理解を深めるとともに、外国語の運用能力を駆使して説得的に自己発信する力を養う。

### 2CC101 女性の起業

#### 【到達目標】

- ・女性による起業をめぐる現状と今後の展望について基礎的な知識を習得する。
- ・起業するまでのプロセスで求められる手続的・技術的な知識を習得する。
- ・商品開発という具体的なタスク達成を通じて、他者を説得するプレゼンテーション力および他者と協働するチームワーク力を高めつつ、課題に挑戦してやり遂げようとする姿勢を身につける。

【概要】女性が社会で活躍し貢献するための一つのキ・ルートが起業である。本授業では、日本での起業をめぐる問題点や可能性、女性起業家の具体例や資金計画等に関する基礎的な知識を講述したうえで、ディスカッションやプレゼンテーションなどのグループワーク、個別のカウンセリングを通じて、商品企画を起業につなげるための実践的スキルを習得する訓練をおこなう。これにより、女性が実際に起業するまでの道筋を可視化して、起業へと一歩踏み出せるようにする。

### 2CC102 PBL キャリア構築講座

#### 【到達目標】

- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。
- ・現実社会における課題にチームで取り組むことにより、一人ひとりが問題解決力、行動力、リーダーシップをとる能力を高める。

【概要】本演習は、2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討

に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。この授業はPBL方式で行い、現実社会における課題にチームで取り組む。一人ひとりが問題解決力、行動力、リーダーシップをとる能力を高めることを目的とする。

#### 200103 ニューヨーク国連研修

##### 【到達目標】

- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。
- ・国際連合の役割や課題を理解することを通じて、国際的視野を広げ、国際理解を深める。

【概要】 2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。この授業は、将来、国際社会に貢献したいと考える学生を対象に、国際的視野を広げ、国際理解を深めることを目的とする。本演習は、夏期休暇期間中のニューヨーク国連本部における海外研修を伴う。

#### 200104 ケンブリッジ教養講座

##### 【到達目標】

本学で身につけた外国語の運用能力を用いた社会・経済・文化に関するテーマの講義・討論・発表等を通じて、個々のテーマに関する知識を拡充し、グローバルな視点で捉える。

【概要】 この科目は、学生の学習機会の多様化を促進し、国際人としての広い社会的視野と深い見識を身につけることを目的とする。本学の夏期休暇中の約4週間、海外の大学で実施する教養講座に参加し、所定の成績を修めた場合の単位認定の科目として設置する。

本学で身につけた外国語の運用能力を用いて、講義・討論・発表等を行なうことで、個々のテーマに関する知識を拡充し、その理解を深めると同時に社会・経済・文化をグローバルな視点で捉える能力の育成をめざす。

#### 200105 英語特別プログラム

##### 【到達目標】

- ・ビジネスで必要とされる英語能力をつける。

【概要】 British Council からの派遣講師による、本学学生のために特別に開発されたプログラムを用いた講座。ビジネスなどさまざまな分野で使用する実践的な英語力を養い、職場などで必要となる高度なディスカッション、プレゼンテーション、スピーキング、ライティングのスキルの習得を目指す。特に、履歴書の

作成、願書・申請書などの作成、グラフの作成、プレゼンテーション、電話による応対、ビジネス・ミーティングなどの項目を含む。

#### 200121 日本事情A

##### 【到達目標】

外国人留学生在が日本語で日本の社会について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。

【概要】 「人間社会の仕組みと問題」をテーマとし、外国人留学生在が日本語で日本の社会について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。日本以外の国や地域との比較、現代と過去との比較の視点を織り込む。授業は双方向的な演習の要素を取り入れて行う。総合教養科目の「人間社会の仕組みと問題」領域の2単位に代えることができる。

#### 200122 日本事情B

##### 【到達目標】

外国人留学生在が日本語で日本の歴史について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。

【概要】 「人間の知的生産」をテーマとし、外国人留学生在が日本語で日本の歴史について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。日本以外の国や地域との比較、現代と過去との比較の視点を織り込む。授業は双方向的な演習の要素を取り入れて行う。総合教養科目の「人間の知的生産」領域の2単位に代えることができる。

#### 200123 日本事情C

##### 【到達目標】

外国人留学生在が日本語で日本の思想、宗教、日本人のこころ等について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。

【概要】 「人間自身を知る」をテーマとし、外国人留学生在が日本語で日本の思想、宗教、日本人のこころ等について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。日本以外の国や地域との比較、現代と過去との比較の視点を織り込む。授業は双方向的な演習の要素を取り入れて行う。

総合教養科目の「人間自身を知る」領域の2単位に代えることができる。

#### 200124 日本事情D

##### 【到達目標】

外国人留学生在が日本語で日本の文化について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。

【概要】 「人間の知的生産」をテーマとし、外国人留学生が日本語で日本の文化について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。日本以外の国や地域との比較、現代と過去との比較の視点を織り込む。授業は双方向的な演習の要素を取り入れて行う。総合教養科目の「人間の知的生産」領域の2単位に代えることができる。

#### 2CC201 Critical Thinking 演習

##### 【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- identify their assumptions about how the world is, to develop critical thinking skills, and to recognize logical fallacies.
- use the skills learned in critical thinking to analyze texts from a variety of sources, acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

【概要】 Students in this course will learn to solve problems through the use of critical thinking techniques and strategies. Students will learn to identify their values and prejudices, and compare alternative ways of solving problems in order to make well-reasoned decisions. A major focus of this course will be analyzing arguments and possible logical fallacies in public discourse.

この授業では critical thinking の技法や方略を用いて種々の問題を解決することを学ぶ。自分の議論のなかに存在するさまざまな価値基準や先入観を見極め、問題解決のための多様な代替案を比較検討することで、実生活において、より理路整然とした結論を導きだすことを目指す。この授業では、公共の議論の場における言説を対象に、そこにおけるさまざまな議論、そして考えられる数々の論理の間違いや論理のすり替えを分析することに、特に焦点をあてて学習する。

#### 2CC202 発話・パフォーマンス演習

##### 【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- nurture their ability for composing logical presentations as well as their skills for delivering the content effectively.
- improve their ability to use a wide variety of sentence patterns by enhancing their vocabulary and expressions.
- acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

【概要】 Students will learn not only how to organize presentations through a practical, step by step framework, but also how to deliver presentations effectively with appropriate eye-contact, pronunciation, voice control, etc. Students will practice oral presentations in class



and, with the benefit of video feedback and mutual evaluation, become more proficient at expressing their ideas. Activities such as e-learning will be assigned as out-of-class work in order to help improve general English skills.

英語プレゼンテーションの実践的な枠組みを段階的に学びながら、その内容の作文方法や論の組み立て方を学ぶ。そして、その内容を、適切なアイコンタクト、発音、声の抑揚などを伴って、効果的に伝達する方法を身につける。授業内で実際にプレゼンテーションを実施し、ビデオによるフィードバックや相互評価をもとに、より流暢に英語で考えを表現できるようにする。英語の4つのスキルを総合的に向上させるために授業外の e-Learning の課題を学習することを課す。

#### 2CC203 討論演習

##### 【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- develop proficiency in elements of public speaking.
- improve oral and written paraphrasing skills with both written and oral materials and to expand vocabulary.
- acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

**【概要】** This class is a public speaking course which builds upon and extends the skills acquired in the first year of the Career English program. Students will be required to research and analyze the information about their presentation topics, and participate in pair and group dialogues, discussions, and presentations. Students will also be required to complete self and peer assessments. Out-of-class activities will be assigned.

この授業はキャリア・イングリッシュ課程の前年度の授業で習得したさまざまなスキルをふまえ、さらに発展させるパブリック・スピーキングの授業である。学生は、プレゼンテーションのテーマに必要なリサーチを行い、そこで収集した情報を分析する。授業ではペアワーク、グループワーク、ディスカッションに参加し、各自がプレゼンテーションを実施する。また、それらに対する学生による自己評価および相互評価も行われる。授業外での学習が課される。

#### 2CC204 討論演習

##### 【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- develop proficiency in elements of public speaking.
- develop oral and written paraphrasing skills with both written and oral materials and to expand their vocabulary.
- express their opinions on complex issues readily in discussions.

- acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

**【概要】** This class is a public speaking course which builds on and extends the skills learned in 討論演習 . Students will develop their ability to exchange ideas and express their opinions in discussions and speeches on more challenging and complex issues than in 討論演習 . Students will be required to think critically about the topics brought up by themselves and others and to express their opinions about them logically. Out-of-class activities will be assigned.

この授業は「討論演習」で習得したさまざまなスキルをふまえ、さらに発展させるパブリック・スピーキングの授業である。「討論演習」で扱った問題よりもより難しく複雑な内容の問題についてディスカッションやスピーチを実施するなかで、英語で意見を交わし考えを述べる力を向上させる。自分あるいは他の学生が提示するテーマに関して批判的に思考し、それに対して論理的に意見を述べることを求められる。授業外での学習も課される。

#### 2CC205 Total Presentation 演習 1

##### **【到達目標】**

The goals of this course are for students to:

- develop proficiency in elements of public speaking.
- research, present, and lead discussions on complex issues.
- develop critical and analytical skills about the topics.
- acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

**【概要】** This seminar is a public speaking course which builds upon and extends the skills learned in the last two years of in the Career English program. Students will develop their English speaking and listening skills through discussions and presentations on a range of challenging issues. Students will study a variety of topics in order to deepen their knowledge and understanding of the topic, enhance their vocabulary and think more critically.

この演習はキャリア・イングリッシュ課程の過去2年間で習得したさまざまなスキルをふまえ、さらに発展させるパブリック・スピーキングの授業である。広範囲にわたる分野の難しい問題についてのディスカッションとプレゼンテーションを行うことで、英語のスピーキングとリスニング能力を向上させる。さまざまなテーマについて学ぶことによって、そのテーマについての知識と理解を深め、関連する語彙を増やし、より批判的に思考することを学ぶ。

#### 2CC206 Total Presentation 演習 2

##### **【到達目標】**

The goals of this course are for students to:

- ・ develop further proficiency in elements of public speaking.
- ・ research, present, and lead discussions on thought-provoking and complex issues.
- ・ develop critical and analytical skills about the topics.
- ・ acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

**【概要】** This seminar is the final public speaking course in the three-year Career English program and builds upon and extends the skills learned in Total Presentation 演習 1.

Students will develop their English speaking and listening skills further through in-depth discussions and presentations on a range of challenging issues. Students will study a variety of topics extensively in order to deepen their knowledge and understanding of the topic, enhance their vocabulary and think more critically.

この演習はキャリア・イングリッシュ課程3年間の最後のパブリック・スピーキングの授業であり、「Total Presentation 演習1」で習得したさまざまなスキルをふまえ、さらに発展させる。広範囲にわたる分野の難解な問題についての徹底的なディスカッションとプレゼンテーションを行うことで、英語のスピーキングとリスニング能力をさらに向上させる。広範囲のさまざまなテーマについて学ぶことによって、そのテーマについての知識や理解を深め、テーマに関連した語彙を増やし、より批判的に思考する。

#### 2CC301 文理融合データサイエンス

##### 【到達目標】

- ・ データサイエンスの基礎を理解する。
- ・ 統計の基礎を身につける。

##### 【概要】

データサイエンスの手法を学ぶことに加え、文化現象を対象にデータサイエンスの手法を用いた事例を通し、文理融合型の研究におけるデータ分析の有効性と重要性を学ぶ。生活に必要なデータサイエンスの基礎と統計の基礎を身につける。

#### 2CC302 文理融合データサイエンス A

##### 【到達目標】

- ・ データサイエンスの分析手法をどのように応用するのかを理解する。
- ・ データ分析の有効性と重要性を理解し、基礎的な分析手法を身につける。

##### 【概要】

「文理融合データサイエンス」での学びを発展させ、多変量解析を学び、データサイエンスの思考方法を学ぶ。より専門的な応用事例を取り上げ、文理融合型の研究におけるデータサイエンスの有効性と重要性を理解する。

## 2CC303 文理融合データサイエンス B

### 【到達目標】

- ・文理融合型の研究におけるデータサイエンスの分析手法を習得する。
- ・機械学習の基礎を身につける。

### 【概要】

「文理融合データサイエンス」での学びを発展させ、機械学習の手法を学ぶ。文化現象を対象としてデータサイエンスの手法を用いた研究事例を概観することで、文理融合型の研究におけるデータサイエンスの有効性と重要性を理解する。

## (3) キリスト教学科目

### (教育目標)

- ・聖書を通してキリスト教を学び、建学の精神を理解する。
- ・キリスト教の歴史や思想、さらにキリスト教と芸術や社会との関わりを理解する。

### 必修科目

#### 2XX101 キリスト教学 (入門)

##### 【到達目標】

東京女子大学の建学の精神であるキリスト教とその土台としての聖書(入門 では旧約聖書)の内容を理解する。

【概要】 東京女子大学とキリスト教の関係を学ぶことによって、本学の「建学の精神」を理解する。さらにキリスト教の全体像を学び、そのキリスト教の土台である聖書を学ぶ。入門 では、「旧約聖書」の主たる内容を理解し、これらの学びを通して、現代世界に生きる自らの人生について考える。

#### 2XX102 キリスト教学 (入門)

##### 【到達目標】

東京女子大学の建学の精神であるキリスト教とその土台としての聖書(入門 では新約聖書)の内容を理解する。

【概要】 入門 では「新約聖書」を通してキリスト教の基礎を学ぶ。イエス・キリストの生涯とその教えを学び、とりわけキリストの十字架と復活の出来事の意味を理解し、さらにパウロらによる初代教会の歩みを学ぶ。これらの学びを通して、現代世界に生きる自らの人生について考える。

### 選択必修科目

#### 2XX201 キリスト教学 (旧約聖書の世界)

##### 【到達目標】

旧約聖書の精読を通してその思想を理解する。

【概要】 キリスト教の正典の前半を構成している旧約聖書には、複雑な歴史と多様な文化、中近東特有の自然風土のなかで培われてきた豊かで奥深い思想(価値観、世界観、人間理解への洞察を含む)が観られる。それらは新約聖書にも流れ込み、キリスト教の重要な思想的基盤ともなってい

る。本講義ではいくつかの主要テーマを取り上げ、聖書テキストの精読とともに、歴史と文化、及び自然風土等の背景理解の手助けを借りながら、キリスト教の基本的理解を確かにする。

#### 2XX202 キリスト教学（新約聖書の世界）

##### 【到達目標】

新約聖書の精読を通してその思想を理解する。

【概要】 キリスト教の正典の後半を構成している新約聖書には、旧約聖書から受け継ぎ、複雑な歴史と多様な文化との関わりの中で展開した思想（価値観、世界観、人間理解への洞察を含む）が観られる。本講義ではいくつかの主要テーマを取り上げ、聖書テキストの精読とともに、歴史と文化、及び自然風土等の背景理解の手助けを借りながら、キリスト教の基本的理解を確かにする。

#### 2XX203 キリスト教学（キリスト教と女性）

##### 【到達目標】

現代に生きる女性の自己確立の課題に向き合う力を養い、キリスト教の女性観を理解する。

【概要】 旧約聖書の創世記における男女の創造から始まり、聖書に記された女性に関する物語や教えを検証しながら聖書の女性観を理解する。また、キリスト教の歴史において重要な貢献をした女性たちの思想や活動を学びながら、現代に生きる女性の生き方を考える力を養う。

#### 2XX204 キリスト教学（キリスト教の歴史）

##### 【到達目標】

キリスト教の歴史を理解する。

【概要】 二千年前のキリスト教の成立から始まり、古代、中世、近代を経て今日に至るまでのキリスト教の歴史を概観する。その際、時代を特徴づける人物や出来事に触れ、現代を生きる我々にどのような関連を持つのかを考える力を修得する。

#### 2XX205 キリスト教学（日本のキリスト教）

##### 【到達目標】

日本におけるキリスト教の歴史・思想・文化を理解する。

【概要】 16世紀のキリスト教伝来から今日に至るまでの、日本におけるキリスト教の歴史を概観し、キリスト教が日本の文化・教育・社会に与えた影響を広く理解する。さらに、重要な貢献をなしたキリスト者や運動を取り上げ、その思想と活動を考察し日本人とキリスト教の関係をの理解を深める。

#### 2XX206 キリスト教学（世界のキリスト教）

**【到達目標】**

世界の諸地域に広がるキリスト教を理解する。

**【概要】** キリスト教は全世界に広がっているが、時代により地域によりそれぞれ独自の発展をしてきた。本講義では、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、アフリカの諸地域のキリスト教を取り上げ、世界の諸地域のキリスト教の歴史や実情を理解する。

2XX207 キリスト教学 (キリスト教と社会)

**【到達目標】**

キリスト教と社会、とりわけ現代社会との関係を理解する。

**【概要】** キリスト教が社会の形成にどのような役割を果たしてきたのか、さらに現代社会のかかえる諸問題とキリスト教がどのように関わり、実践活動を繰り広げているかを理解する。

2XX208 キリスト教学 (キリスト教と現代の宗教事情)

**【到達目標】**

世界の様々なキリスト教の立場と諸宗教を理解する。

**【概要】** キリスト教はローマ・カトリック教会、東方正教会、プロテスタントの諸教会の3つの流れに分かれて展開してきた。この三者の思想、組織のあり方等を比較し、それらの特徴を理解する。また、世界に存在する諸宗教の中から主だったもの(ユダヤ教、イスラム教、仏教等)を取り上げ、キリスト教と比較しながら諸宗教を学ぶことにより、現代の宗教事情を読み解く力を養う。

2XX209 キリスト教学 (キリスト教と倫理)

**【到達目標】**

現代社会の諸問題を考えつつ、キリスト教の倫理を理解する。

**【概要】** グローバル化し多元化する現代社会において、人はいかに生きるべきか(生の哲学)という問いをはじめとして、様々な今日的問い(性、環境、戦争等)にいかに応え得るのか。近代以降の倫理学の展開、その前提と枠組みを意識しつつ、キリスト教独自の倫理を、聖書テキストの精読を中心に、考える力を養う。

2XX210 キリスト教学 (キリスト教の思想)

**【到達目標】**

キリスト教の教理の基本思想を理解する。

**【概要】** 約二千年前イスラエルの地に誕生した教会は、その後ギリシア・ローマ世界に拡大した。することとなる。神について、イエス・キリストについて、人間について、世界について、キリスト教はどのように考えてきたのか。こうした、その後の欧米文化の土台となったキリスト教独自の思想を理解する。

2XX211 キリスト教学 (キリスト教と芸術)

**【到達目標】**

キリスト教と芸術・文化との関わりを理解する。

【概要】 キリスト教が芸術・文化に与えてきた影響や、キリスト教が生み出してきた芸術・文化について学び、芸術や文化形成におけるキリスト教の役割について理解を深める。

2XX212 キリスト教学（キリスト教と文学）

【到達目標】

キリスト教と文学作品との関わりを理解する。

【概要】 文学作品には作者の生き方や思想が反映されているが、それらは多くの場合、意識的あるいは無意識的に宗教や伝統から大きな影響を受けている。キリスト教の影響を大きく受けている欧米の文学作品を初めとして、日本及び諸外国の様々な作品を題材に、文学とキリスト教との関係を理解する。

## 選択科目

2XX301 キリスト教学（聖書と文化）

【到達目標】

聖書の精読を通して、その歴史や思想を理解する。

【概要】 キリスト教をより深く理解するためには、聖書そのものの包括的、多角的理解が欠かせない。本講義では、特に聖書と文化との関わりに光を当て、キリスト教の中心思想及び諸文書の文学形式が、当時の文化を背景にしてどのように形成され展開していったのか、理解を深める。

2XX302 キリスト教学（キリスト教の歴史と文化）

【到達目標】

キリスト教の歴史と文化を理解する。

【概要】 キリスト教の歴史における重要な出来事や人物、運動、制度などを取り上げ、その意義を理解する。世界宗教としてのキリスト教が歴史、文化形成にどのように寄与したのかを深く掘り下げ、現代の諸問題とも関連づけて考える力を養う。

2XX303 キリスト教学（キリスト教の思想と文化）

【到達目標】

キリスト教が生み出した思想や関連する文化を理解する。

【概要】 キリスト教の思想が、いかに西洋の思想や文化の基盤となっているかを理解する。さらに現代では、キリスト教思想がアジアやアフリカを含む世界の諸地域に広がり、新しい文化世界を生み出しているかを理解する。



# アカデミック・スキル科目

## (教育目標)

- ・本学での勉学を完成する上で必要とされる基礎学力・学習方法を習得する。

## (4) 外国語科目

### 第一外国語

## (教育目標)

- ・国際的に共通語として使われることの多い英語を用いたコミュニケーション能力を伸ばす。
- ・読む、聞く、話す、書くの4技能のいずれに於いても運用能力を伸ばし、英語の受信・発信ができる力を養う。
- ・使用される状況に応じた英語を使い分ける能力を育てる。
- ・専門分野の学習につながる英語力の基礎を培うとともに、社会における活動に役立つ応用力を身につける。

## 必修科目

2FF101 Communication Skills A

### 【到達目標】

日常のコミュニケーションにおいて必要とされる英語表現を学んで、聞き話す力を養い、会話のスキルを伸ばす。

【概要】 英語によるコミュニケーションに必要なリスニングおよびスピーキング能力を養うこと、的英語の運用能力を育成する。特に、日常会話の中で頻出する語彙、連語、決まり文句、丁寧表現等に焦点を当てる。ロールプレイやグループワーク等の教室活動を通して、会話能力を高め、効果的なコミュニケーションのテクニックの習得を目指す。

2FF102 Communication Skills B

### 【到達目標】

日常のコミュニケーションにおいて必要とされる英語表現を学んで、聞き話す力を養い、筋道立てて会話するスキルをつける。

【概要】 英語によるコミュニケーションに必要なリスニングおよびスピーキング能力を養うことを目標とする。日常生活のコミュニケーションにおいて必要とされる英語表現を学ぶことで、実

践的な英語の運用能力を育成する。特に、日常会話の中で頻出する語彙、連語、決まり文句、丁寧表現等に焦点を当てる。ロールプレイやグループワーク等の教室活動を通して、会話能力を高め、効果的なコミュニケーションのテクニックの習熟を目指すとともに、ストーリーテリングの力も養うことを目指す。

#### 2FF103 Reading A

##### 【到達目標】

個々の文を正確に理解した上で、パラグラフの構成を理解し、パラグラフの繋がり、さらには文章の大意を把握する力を養う。

【概要】 高等学校卒業までに学んだことを土台に、大学で学ぶ専門領域の文献を英語で読む上で必要とされる基礎的な言語技能の習得を目標とする。特に、個々の文の正確な理解、パラグラフの理解、パラグラフ間のつながりの把握、文章の大意の把握等に重点を置きながら、基本的な読解力を養う。授業のほかに、CALL 教室を使用しての自習プログラム(e-learning)を義務付けている。

#### 2FF104 Reading B

##### 【到達目標】

個々の文、パラグラフの繋がり、さらには文章の大意を把握する力を養い、文章の論理的整合性や論理的帰結を考える力を身に着ける。

【概要】 大学で学ぶ専門領域の文献を英語で読む上で必要とされる基礎的な言語技能の習得を目標とする。特に、個々の文の正確な理解、パラグラフの理解、パラグラフ間のつながりの把握、文章の大意の把握等に重点を置きながら、基本的な読解力を養うとともに、文章の論理的整合性や論理的帰結を考える力を伸ばす。授業のほかに、CALL 教室を使用しての自習プログラム(e-learning)を義務付けている。

#### 2FF105 Discussion Skills A

##### 【到達目標】

グループでの議論を理解し、積極的に参加する力を養う。

【概要】 英語のスピーキング能力をペアワーク、グループワークを通して高めることを目指す。社会問題などさまざまなトピックに関する意見交換、グループ・ディスカッションにより、英語力のみならず、クリティカル・シンキング能力を養成する。ディスカッションに必要な語彙、文法、言語の機能を学ぶことに重点を置く。

#### 2FF106 Discussion Skills B

##### 【到達目標】

グループでの議論を理解し、積極的に参加する力を伸ばす。

【概要】 英語のスピーキング能力をペアワーク、グループワークを通して高めることを目指す。

「Discussion Skills A」より難易度の高い論説文などを読み、社会問題などさまざまなトピックに関する意見交換、グループ・ディスカッションにより英語力のみならず、クリティカル・シンキング能力を養成する。3、4年次の専門につながる、高いレベルのディスカッションに必要な語彙、文法、言語の機能を学ぶことに重点を置く。

#### 2FF107 Reading A

##### 【到達目標】

様々なタイプの文章の読解を通し、情報を集め判断し、英語による論理構築を把握する力を向上させる。

【概要】 1年次の「Reading IA, IB」で習得した基礎的な英語を読む言語技能を土台に、より高度な教材を用い、更なる読解力の向上を目指す。大学で学ぶ専門領域の文献を読むための、英文読解のコツを学ぶことが第一の目的であるが、論理的に構成された英語の長文を読むことで、学術研究に不可欠な思考力を養うことも重要な目的である。扱う英文のジャンルは論説文、時事問題、エッセイ、短編小説など多岐にわたる。

#### 2FF108 Reading B

##### 【到達目標】

様々なタイプの文章の読解を通し、情報を集め判断し、英語による論理構築を把握する力を向上させる。

【概要】 1年次の「Reading IA, IB」で習得した基礎的な英語を読む言語技能を土台に、より高度な教材を用い、更なる読解力の向上を目指す。大学で学ぶ専門領域の文献を読むための、英文読解のコツを学ぶことが第一の目的であるが、論理的に構成された英語の長文を読むことで、学術研究に不可欠な思考力を養うことも重要な目的である。扱う英文のジャンルは論説文、時事問題、エッセイ、短編小説など多岐にわたる。「Reading IIA」よりも難易度の高い題材を用いる。

### 選択必修科目

#### 2FF111 Speaking Skills A

##### 【到達目標】

聞き、語り、議論するなど、会話に関わる能力を総合的に強化する。

【概要】 必修科目である Communication Skills A, B で学んだことを踏まえ、さらに口頭でのコミュニケーション能力を高めることを目標とする。相互交渉を行いながら進めるさまざまな会話の型を学び、語用論上のスキルや異文化間コミュニケーションに関するスキルの向上を目指し、効果的にコミュニケーションを行う力を養う。文法よりも言語の機能に焦点を当て、トピックには、アドバイス、旅行、休暇、健康、大学生活などを含む。教室活動は、グループワークが中心である。

#### 2FF112 Speaking Skills B

**【到達目標】**

聞き、語り、議論するなど、会話に関わる能力を総合的に強化する。

**【概要】** 口頭での英語コミュニケーション能力を高め、英語で話す自信を深めることを目標とする。相互交渉を行いながら進める高いレベルの会話の型を学ぶと同時に、語用論上のスキルや異文化間コミュニケーションに関するスキルの向上を目指し、効果的にコミュニケーションを行う力を養う。トピックとしては、日常的な事柄に始まり、世界情勢、経済、意見の対比、意思決定など多岐にわたる。教室活動は、グループワークが中心である。

## 2FF113 Listening and Presentation A

**【到達目標】**

聞き取る力を伸ばし、様々なタイプの理解しやすいプレゼンテーションの仕方を学ぶ。

**【概要】** 英語の聴解能力を高め、実際に各自が選んだトピックについてプレゼンテーションを行うことによってプレゼンテーション能力を身につけることを目標とする。視覚的にプレゼンテーションをすることも目指す。

## 2FF114 Listening and Presentation B

**【到達目標】**

聞き取る力を伸ばし、様々なタイプの理解しやすいプレゼンテーションの仕方を学ぶ。

**【概要】** 英語の聴解能力を高め、実際に各自が選んだトピックについてプレゼンテーションを行うことによってプレゼンテーション能力を身につけることを目標とする。授業の進め方は、「Listening and Presentation A」と同様であるが、より多様で高度なプレゼンテーション能力の養成を目指す。

## 2FF115 Critical Reading and Discussion A

**【到達目標】**

多様な読解によって表現力を伸ばし、流暢に議論できる力を養う。

**【概要】** 「Discussion Skills A,B」および「Reading A, B」で学んだスキルをふまえた科目である。さまざまなテーマに関して英語で書かれたものを批判的に読み、議論をするスキルを養うことを主な目標とする。各自が集めた英文で書かれた雑誌、新聞記事などの内容を要約し、更にその記事のテーマに沿って意見交換をし、説得に導く議論をするという教室活動を通してそのスキルを養うことを試みる。更に、英語で書かれたものを数多く読むことによって語彙を増やすと共に、速読のスキルを養うことも目指す。

## 2FF116 Critical Reading and Discussion B

**【到達目標】**

多様な読解によって表現力を伸ばし、流暢に議論できる力を養う。

**【概要】** 幅広いテーマに関して英語の長文を速読し、議論する力を身に付けることを目標とする。各自が集めた記事の内容を要約し、更にその記事のテーマに沿って議論をするという教室活動を通してそのスキルを養うことを試みる。雑誌、新聞記事のほかに評論も読む。教室活動では、特に相手を論理的に説得するための方略に焦点を当てる。「Critical Reading and Discussion A」と同様に、英語で書かれたものを数多く読むことによって語彙を更に増やすことも目指す。

## 2FF117 Journalistic English A

**【到達目標】**

マスメディアで用いる英語を理解し駆使する力を養う。

**【概要】** ジャーナリズムの世界で用いられる英語の特徴を習得することを目標とする。新聞記事に焦点を当て、その中で使われる語彙、文法や見出しの構造を学んだ上で、各自新聞記事の書き方によって記事を書くことを試みる。周辺のニュースになり得る題材を見つけ、それについて英語で新聞記事を書くというプロジェクトを完成させる。さらに、各自が選んださまざまな新聞記事等を読んで分析し、それについてディスカッションを展開する能力を養う。

## 2FF118 Journalistic English B

**【到達目標】**

マスメディアで用いる英語を理解し駆使する力を養う。

**【概要】** ジャーナリズムの世界で用いられる英語の特徴を習得することを目標とする。新聞記事に用いられる英語だけでなく、ラジオ、テレビ、インターネットなど他のメディアの英語にも焦点を当てる。それらに用いられる英語表現を学ぶと共に、内容についてもディスカッションを行う力を養う。プロジェクトとしては、誰かにインタビューをし、それについて英語で記事を書くことを試みる。

## 2FF119 Academic Writing A

**【到達目標】**

英文の特徴を理解し、正確かつ自然な英語を書く力を養う。

**【概要】** 必修科目で学んだ総合的な英語力を土台に、多岐にわたる英文を批判的に読み、豊富な語彙や英語表現を身につけるだけでなく、思考する能力を養うこと、エッセイ・ライティングのスキルを習得することに重点を置きながら、さらにライティングの力を高めることを目標とする。各自が選んだトピックに関するエッセイを英文で書き、数回の修正を重ね、最終的に洗練されたエッセイとすることを旨とする。

## 2FF120 Academic Writing B

**【到達目標】**

英文の特徴を理解し、正確かつ自然な英語を書く力を養う。

**【概要】** 「Academic Writing A」と同様に、必修科目で学んだ総合的な英語力を土台に、「Academic Writing A」より高度な英文を批判的に読み、豊富な語彙や英語表現を身につけるだけでなく、思考する能力を養うこと、エッセイ・ライティングのスキルを習得することに重点を置きながら、さらにライティングの力を高めることを目標とする。各自が選んだトピックに関する英文をピア・エディティングなどのグループ・ワークも取り入れて、修正を重ね、最終的に洗練されたエッセイを英文で書くことを目指す。

## 2FF121 English through Drama A

**【到達目標】**

様々な創造的な活動を通し、自信を持って口頭でコミュニケーションができる力を伸ばす。

**【概要】** 英語で書かれたドラマを読むだけでなく、実際に演じることで英語の発音を体得し、英語のリズム、表現方法を学ぶ。パフォーマンスを通して、公の場で英語によるプレゼンテーションを自信をもって、また楽しみながら行うことを目的とする。また言語による表現のみならず、身体を使っての表現を伴うドラマのパフォーマンスにより創造性を養う。「English through Drama B」とは異なるジャンルのドラマを扱う。

## 2FF122 English through Drama B

**【到達目標】**

様々な創造的な活動を通し、自信を持って口頭でコミュニケーションができる力を伸ばす。

**【概要】** 英語で書かれたドラマを読むだけでなく、実際に演じることで英語の発音を体得し、英語のリズム、表現方法を学ぶ。パフォーマンスを通して、公の場で英語によるプレゼンテーションを自信をもって、また楽しみながら行うことを目的とする。また言語による表現のみならず、身体を使っての表現を伴うドラマのパフォーマンスにより創造性を養う。「English through Drama A」とは異なるジャンルのドラマを扱う。

## 2FF131 Business English A

**【到達目標】**

ビジネスで必要とされる英語能力をつける。

**【概要】** 一般的なビジネスの分野で使用する実践的な英語力を養い、職場などで必要となるスピーキング、ライティング、ディスカッション、プレゼンテーションのスキルの習得を目指す。特に、ビジネスで用いられる基本的な語彙・表現の習得、ビジネスメールや履歴書、願書、申請書などの作成、プレゼンテーション、電話による応対などの項目を含む。

## 2FF132 Business English B

**【到達目標】**

ビジネスで必要とされる英語能力をつける。

**【概要】** ビジネスの様々な分野で使用する実践的な英語力を養い、職場などで必要となる、より高度なスピーキング、ライティング、ディスカッション、プレゼンテーションのスキルの習得を目指す。特に、依頼や交渉の実践、ビジネス・ミーティング、企業のリサーチ、企業文化や習慣についてのディスカッションなどの項目を含む。

## 2FF133 Translation A

**【到達目標】**

文体や設定の違う英文 / 和文のテキストを、ジャンルや読者層に合った日本語 / 英語に訳せるようになることを目標とする。

**【概要】** 日本語と英語の双方の感覚を研ぎ澄まして、言語の背景にある文化も考慮に入れ、ジャンルや読者層に合った英語 / 日本語に翻訳する能力を養う。各自が提出した訳文を、担当教員が添削し、その後、グループワークを通して推敲し、完成原稿を提出することで、日本語 / 英語の原文が表現する世界をこなれた英語 / 日本語で表現する力を体得する。「Translation A」は主に英語から日本語への翻訳を取り扱う。

## 2FF134 Translation B

**【到達目標】**

文体や設定の違う英文 / 和文のテキストを、ジャンルや読者層に合った日本語 / 英語に訳せるようになることを目標とする。

**【概要】** 日本語と英語の双方の感覚を研ぎ澄まして、言語の背景にある文化も考慮に入れ、ジャンルや読者層に合った英語 / 日本語に翻訳する能力を養う。各自が提出した訳文を、担当教員が添削し、その後、グループワークを通して推敲し、完成原稿を提出することで、日本語 / 英語の原文が表現する世界をこなれた英語 / 日本語で表現する力を体得する。「Translation B」は主に日本語から英語への翻訳を取り扱う。

## 2FF135 Tour Guide Interpreting A

**【到達目標】**

外国人に日本を紹介する通訳ガイドとして必要な知識と英語力を身につける。

**【概要】** 外国人に日本の歴史・文化を英語で説明するためには、高度な語学力と日本事情全般に関する広範囲の知識が問われる。この授業では、そのための基礎となる英語力を養うとともに、日本について改めて学び、日本の歴史や文化を説明できる力を養成する。国際交流の場では日本について説明を求められる機会が多いため、日本のことを英語で発信する力を身に付けることは、通訳者を目指さない一般の学習者にとっても有効である。

## 2FF136 Tour Guide Interpreting B

**【到達目標】**

外国人に日本を紹介する通訳ガイドとして必要な知識と英語力を身につける。

**【概要】** 外国人に日本の歴史・文化を英語で説明するためには、高度な語学力と日本事情全般に関する広範囲の知識が問われる。この授業では、多様な英語変種に対応できる聴解力を含む、より高度な英語力と、日本的な事象について専門的に説明ができる力を養成する。資格取得を見据えた授業ではあるが、日本語と英語を磨き、その語学力を将来のキャリアにつなげたいと考える一般の学習者にとっても有効である。

## 2FF141 TOEIC 講座

**【到達目標】**

TOEIC の概要を知り、実際の受験に向けた準備ができた状態に至る。

**【概要】** 国際的な英語力測定試験において期待される成果が収められるような実力を形成することを第一の目的としつつ、TOEIC の試験対策に終わらず、社会でも役立つ実践的な英語力を養成することを目指す。TOEIC の内容・目的の説明とそれに備えた準備訓練を行い、授業内で TOEIC 模擬試験を体験する。

## 2FF142 TOEFL 講座

**【到達目標】**

TOEFL iBT の概要を知り、実際の受験に向けた準備ができた状態に至る。

**【概要】** 国際的な英語力測定試験において期待される成果を収められるような実力を形成することを第一の目的としつつ、TOEFL iBT の試験対策に終わらず、留学や社会などで役立つ実践的な英語力を養成することを目指す。TOEFL iBT 試験の内容・目的の説明とそれに備えた準備訓練を行い、授業内で TOEFL iBT 模擬試験を体験する。

## 2FF143 IELTS 講座

**【到達目標】**

IELTS の概要を知り、実際の受験に向けた準備ができた状態に至る。

**【概要】** 国際的な英語力測定試験において期待される成果を収められるような実力を形成することを第一の目的としつつ、IELTS の試験対策に終わらず、留学や社会などで役立つ実践的な英語力を養成することを目指す。IELTS 試験の内容・目的の説明とそれに備えた準備訓練を行い、授業内で IELTS 模擬試験を体験する。

**選択科目**

## 2FF151 Basic Communicative English

**【到達目標】**



語彙を増やし、聞き、話す基礎的な会話の能力を養う。

【概要】 英語能力が充分ではないと感じている学生のために設けられた科目である。1年次の必修科目である Communication Skills A, B の授業を自信をもって受けることができるように、十分な聴解力と話す力を身につけ、英語でのコミュニケーション能力を養う。特に文法や発音に加えて、自然なコミュニケーションを行う上で必要な英語表現を学び、基本的な日常の事柄を口頭で述べるような力を養う。週2コマの授業。

#### 2FF152 Intensive English

##### 【到達目標】

聞き、話し、読み、書く4技能を伸ばす。

【概要】 この科目は、本学が企画し外国の大学が提供する語学研修(英語)および本学があらかじめ認められた外国の大学が実施する語学研修(英語)に参加した学生が、所定の成績を修めた場合の単位認定科目である。語学研修は、聞き、話し、読み、書く4技能にわたる語学力の向上と異文化体験による自己研鑽をはかることを目的に実施され、参加学生のレベルを考慮したクラス編成により授業が行われる。学生には、事前学習会等への出席が義務付けられている他、準備段階から積極的に自己の語学力を高めていく努力が望まれる。

#### 2FF161 日本語Ⅰ(入門)

##### 【到達目標】

外国人留学生在が大学での学習に必要な基礎的な日本語スキルを習得する。

【概要】 外国人留学生在が大学での学習に必要な基礎的な日本語スキルを習得することを目標とする。「日本語(入門)」は、入門として受講者の日本語能力を考慮し、運用能力の向上を目指す。受講者個々の理解度を確認しつつ、2名の担当者が相互に連絡・調整を行いながら進める。

「日本語(応用)」とともに第一外国語の必修単位である。週4コマの授業。

#### 2FF162 日本語Ⅱ(応用)

##### 【到達目標】

外国人留学生在が大学での学習に必要な日本語運用能力を高める。

【概要】 外国人留学生在が大学での学習に必要な基礎的な日本語スキルを習得することを目標とする。「日本語(入門)」で学んだことを応用して、さらに日本語の運用能力の向上を目指す。専門科目等で必要な発表、プレゼンテーションの技術も修得する。受講生個々の理解度を確認しつつ、担当者相互に連絡・調整を行いながら進める。

「日本語(入門)」とともに第一外国語の必修単位である。週4コマの授業。

## 第二外国語

### (教育目標)

#### 選択必修科目(初級)

- ・読み、書き、聞き、話すための基礎を、文法と発音を中心として習得する。

#### 選択科目

- ・初級で習得した基礎を踏まえ、大学における学習、社会における活動に役立てられる応用力を身につける。
- ・それぞれの言語が用いられる地域の社会・文化への理解を深め、国際的な視野を広げる。

### 選択必修科目

#### 2FF201 ドイツ語初級

##### 【到達目標】

ドイツ語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

ドイツ語は、英語やオランダ語などとともに西ゲルマン語に属し、語彙や文法など様々な面で英語との共通点が多い。それゆえ、ドイツ語を学ぶことによって英語を客観的に見る視点を養い、類縁言語比較の面白さを感じ得できるようになることも視野に入れる。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

#### 2FF202 フランス語初級

##### 【到達目標】

フランス語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

論理的な明晰性と洗練を特徴とし、18世紀以降国際外交語としての地位を保ってきたフランス語は、ラテン語をもとにできた言語である。英語の語彙はラテン語やフランス語の影響を強く受けて発展してきたので、相互に学習を助け合える英仏2言語の学習が、国際人へと成長する第一歩となるよう、学力の向上を図る。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

#### 2FF203 スペイン語初級

##### 【到達目標】

スペイン語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

スペイン語は、母語人口で世界第3位、国際連合の公用語の一つであり、公用語としている国も20カ国にのぼる。また、現代のアメリカ社会を学ぼうとするにはスペイン語は欠かせない。世界の人々と交流し、国際的にも通用し得る学力の習得に至るよう向上を図る。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

#### 2FF204 中国語初級

##### 【到達目標】

中国語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、正確な発音、音の表記に最も広く用いられているピンイン（ローマ字を用いる）、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

中国語は、東アジア歴史、文化について学び、これへの理解を深めようとする者にとって、欠かせない言語の一つである。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

#### 2FF205 韓国語初級

##### 【到達目標】

韓国語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、ハングルを覚え、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

日本語に最も近い外国語である韓国語は日本人にとって習得し易く、合理的に工夫された表音文字ハングルを覚えるのは容易である。しかし「似ている」と思われている隣り合う日韓の文化には大きく異なる面もある。韓国語の学習を通して、異なった文化や考え方に触れる貴重な機会と

もさせる。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

## 選択科目

### 2FF211 ドイツ語（読解）A

#### 【到達目標】

- ・比較的平易なドイツ語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

### 2FF212 ドイツ語（読解）B

#### 【到達目標】

- ・実際にドイツ語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、ドイツ語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすドイツ語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

### 2FF213 ドイツ語（作文と文法）

#### 【到達目標】

- ・既習の知識を発展させ、正しいドイツ語の文章を作るために必要な文法を習得する。

- ・ドイツ語で表現するための基本的語彙・表現を習得する。
- ・ドイツ語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、ドイツ語の応用力を高める。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF214 ドイツ語（会話）

##### 【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、ドイツ語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF221 フランス語（読解）A

##### 【到達目標】

- ・比較的平易なフランス語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF222 フランス語（読解）B

##### 【到達目標】

- ・実際にフランス語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持つ

た長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。

- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、フランス語圏文化への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすフランス語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF223 フランス語（作文と文法）

##### 【到達目標】

- ・既習の知識を発展させ、正しいフランス語の文章を作るために必要な文法を習得する。
- ・フランス語で表現するための基本的語彙・表現を習得する。
- ・フランス語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、フランス語の応用力を高める。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF224 フランス語（会話）

##### 【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、フランス語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

## 2FF231 スペイン語（読解）A

### 【到達目標】

- ・ 比較的平易なスペイン語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・ 初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・ 使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

## 2FF232 スペイン語（読解）B

### 【到達目標】

- ・ 実際にスペイン語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・ 既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・ 使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・ 読解力の向上を通して、スペイン語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすスペイン語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

## 2FF233 スペイン語（作文と文法）

### 【到達目標】

- ・ 既習の知識を発展させ、正しいスペイン語の文章を作るために必要な文法を習得する。
- ・ スペイン語で表現するための基本的語彙・表現を習得する。
- ・ スペイン語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・ 「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、スペイン語の応用力を高める。  
この科目は同じ言語の初級 4 単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF234 スペイン語（会話）

##### 【到達目標】

- ・ 日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・ 実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・ 会話を軸として、スペイン語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・ 「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。  
この科目は同じ言語の初級 4 単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF241 中国語（読解）A

##### 【到達目標】

- ・ 比較的平易な中国語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・ 初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・ 使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。

この科目は同じ言語の初級 4 単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF242 中国語（読解）B

##### 【到達目標】

- ・ 実際に中国語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・ 既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・ 使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・ 読解力の向上を通して中国語文化圏への理解を深める。



【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなす中国語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF243 中国語（作文と文法）

##### 【到達目標】

- ・既習の知識を発展させ、正しい中国語の文章を作るために必要な文法を習得する。
- ・中国語で表現するための基本的語彙・表現を習得する。
- ・中国語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、中国語の応用力を高める。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF244 中国語（会話）

##### 【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、中国語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF251 韓国語（読解）A

##### 【到達目標】

- ・比較的平易な韓国語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。

この科目は同じ言語の初級 4 単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF252 韓国語（読解）B

##### 【到達目標】

- ・実際に韓国語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立つ実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、韓国語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなす韓国語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級 4 単位を既に修得したものが履修できる。

#### 2FF253 韓国語（作文と文法）

##### 【到達目標】

- ・既習の知識を発展させ、正しい韓国語の文章を作るために必要な文法を習得する。
- ・韓国語で表現するための基本的語彙を習得する。
- ・韓国語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、韓国語の応用力を高める。

この科目は同じ言語の初級 4 単位を既に修得したものが履修できる。

2FF254 韓国語（会話）

【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、韓国語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

## ギリシア語・ラテン語

### (教育目標)

・西洋古典語の基礎文法を習得し、原典を読み解く力の基礎を身につけるとともに、西洋の思想・文化への理解を深める。

### 選択科目

#### 2FF301 ギリシア語初級1

##### 【到達目標】

- ・古典ギリシア語の音読の方法を習得する。
- ・古典ギリシア語の基礎文法のうち、基本的な項目について理解する。

【概要】 西洋思想の源流であるギリシア哲学や新約聖書をより深く理解するためには、古典ギリシア語の単語や文法について一定の知識が必要となる。この授業では、音読の方法や名詞・動詞・形容詞の基礎的な変化を理解することを通じて、古典ギリシア語が持つ基本的な性格を概観することを目指す。

#### 2FF302 ギリシア語初級2

##### 【到達目標】

- ・古典ギリシア語の基礎文法のうち、応用的な項目について理解する。
- ・古典ギリシア語で書かれた原典を読み解く力の基礎を身につける。

【概要】 この授業では、「ギリシア語初級1」に引き続き古典ギリシア語の基礎文法の習得を進める。

名詞・形容詞の第三変化や動詞の中動・受動相、接続法などを理解することを通じて、古典ギリシア語で書かれた原典を読み解く力の基礎を養う。

#### 2FF303 ラテン語初級1

##### 【到達目標】

- ・古典ラテン語の音読の方法を習得する。
- ・古典ラテン語の基礎文法のうち、基本的な項目について理解する。

【概要】 古代から中世を経て近代に至る長い歴史をもつラテン語の規範である古典ラテン語は、人文諸科学を学ぶ者に必須の基本的教養である。この授業では、音読の方法や名詞・動詞・形容詞の基礎的な変化を理解することを通じて、古典ラテン語が持つ基本的な性格を概観することを目指す。

#### 2FF304 ラテン語初級 2

##### 【到達目標】

- ・古典ラテン語の基礎文法のうち、応用的な項目について理解する。
- ・古典ラテン語で書かれた原典を読み解く力の基礎を身につける。

【概要】 この授業では、「ラテン語初級 1」に引き続き古典ラテン語の基礎文法の習得を進める。動詞の直説法受動相各時制の人称変化、命令法、不定法、分詞の形などを理解することを通じて、古典ラテン語で書かれた原典を読み解く力の基礎を養う。

#### 2FF305 ギリシア語中級

##### 【到達目標】

- ・古典ギリシア語で書かれた原典を読み解くことができる。
- ・古代ギリシアの思想・文化への理解を深める。

【概要】 この授業では、文法事項を確認したうえで、古典ギリシア語で書かれた原典を受講者とともに読み進めていくことにより、古典ギリシア語の時代的・文化的背景への理解を深めていく。

#### 2FF306 ラテン語中級

##### 【到達目標】

- ・古典ラテン語で書かれた原典を読み解くことができる。
- ・古代ローマの思想・文化への理解を深める。

【概要】 この授業では、文法事項を確認したうえで、古典ラテン語で書かれた原典を受講者とともに読み進めていくことにより、古典ラテン語の時代的・文化的背景への理解を深めていく。

## (5) 日本語科目

### (教育目標)

- ・自己の考えを論理的に構築し、日本語で明確に表現できる力を身につける。
- ・日本語で表現された情報を吟味し、ポイントを的確に把握する力を養う。

### 2NN101 日本語表現法

#### 【到達目標】

- ・2000字前後の論述文が作成できる。
- ・文章を読んでポイントをつかみ要約できる。
- ・主張の論理性・妥当性を吟味することができる。
- ・書きことばと話しことばの違いを踏まえて適切な表現ができる。
- ・論理的な文章表現・口頭表現ができる。

【概要】 「日本語表現法」は、大学で学ぶ上で必要な日本語表現力として、論理的な文章表現・口頭表現の力を養うことを目的とする。その土台として、論理的文章を読み解き、ポイントを把握し的確に要約する力を身につける。その上で、自己の考えを論理的に構築する技法を習得する。これに加えて、書きことばと話しことばの違いを踏まえた適切な表現の仕方を学び、最終的に2000字前後の論述文を作成することを課して成果とする。グループワークを適宜取り入れながら、論理的表現力のみならず、批判的思考力も強化していく。

## (6) 情報処理科目

### (教育目標)

- ・情報通信化社会で必要な、コンピュータやネットワークの基礎的なスキルや知識を習得する。
- ・アカデミックライティングやアカデミックなプレゼンテーションのためのコンピュータ活用スキルを身につける。
- ・情報収集や問題分析、解決、発信をするために、コンピュータやネットワークを効果的に利用する能力を養う。
- ・安全にコンピュータやネットワークを利用していくために、セキュリティやルールおよびマナーについて学ぶ。

### 必修科目

#### 2JJ101 情報処理技法 (リテラシ)

##### 【到達目標】

- ・情報分野の基本的なスキルであるコンピュータの操作、電子メール、Webによる情報検索や文献検索ができる。
- ・情報倫理、著作権と正しい引用の知識が身についている。
- ・セキュリティ、ファイルシステムの知識が身についている。
- ・Officeソフトの基礎、またそれらを安全に利用していくための知識が身についている。

【概要】 インターネットをはじめとした今日の情報通信化社会で必要とされる基礎的な技能と概念を習得し、問題分析能力や問題解決能力を養うことを目的とする。コンピュータの基本操作、インターネット・WWW・電子メールの概念や仕組み、情報の検索と利用、著作権と引用、ファイルシステム、情報倫理、安全対策、ワープロ・表計算・プレゼンテーションの利用、などを学ぶ。

#### 2JJ102 情報処理技法 (リテラシ)

##### 【到達目標】

- ・インターネットを利用して学術的な情報検索や文献検索ができる。
- ・Wordを利用してレポートや論文の内容を論理的に組み立て、文章化できる。
- ・得られたデータをExcelを利用して集計し、的確に表やグラフで表現できる。
- ・文章化した内容を、PowerPointを利用してアカデミックなプレゼンテーション資料として構成し、実際に発表を行うための技法が身についている。

【概要】 情報処理技法(リテラシ)Iをもう1段階強化して実践的にアカデミックライティ

ング技術とアカデミックなプレゼンテーション技術を習得する。そのために、Office ソフトを効果的に利用するためのスキルを身につける。また、アカデミックライティングやアカデミックなプレゼンテーション資料の作成を通して、論理的思考力を養う。すなわち文献検索の方法やインターネットの利用方法を学び、情報を効率良く検索し批判的に取捨選択し、それらを用いて生産的に自らのレポートや論文、発表資料として構成しなおす作業を、情報技術を用いて効率良く行える力を身に付ける。

## 選択科目

### 2JJ201 情報処理技法 (C プログラミング)

#### 【到達目標】

- ・ C 言語を通じて、プログラミングの基本的な概念を身に付ける。
- ・ データ型、制御構造などのプログラミングの基本を理解する。
- ・ C 言語の簡単なプログラムの作成ができるようになる。

【概要】 コンピュータに対する命令を順に書いたものがプログラムである。プログラムは、オペレーティングシステムやアプリケーションプログラムなど既存のもの以外に、利用者が作成(プログラミング)することもできる。プログラムの仕組みを学んだ後、C 言語を用いてプログラミングの基本を学ぶ。基本データ型(整数型、浮動小数点型)、式と演算子、プログラムの制御構造(順次・選択・反復)、関数を理解し、これらを用いたプログラムの作成を行う。

### 2JJ202 情報処理技法 (C プログラミング)

#### 【到達目標】

- ・ C 言語を通じて、プログラミングの応用的な概念を身に付ける。
- ・ C 言語の配列やポインタ、文字列、構造体、ファイルの入出力を理解する。
- ・ C 言語を用いて実践的なプログラムを作成できるようになる。

【概要】 「情報処理技法(C プログラミング)」に引き続き、C 言語を用いてプログラミングの基本を学ぶ。配列、文字列、ポインタ、構造体、ファイル入出力などを理解する。配列は複数の同じ型のデータを扱うもので、プログラミングにおける重要なデータ構造の一つである。配列の利用例として整列を取り上げる。文字列にも配列が使われる。構造体は複数の異なるデータを扱うもので、応用上重要である。ポインタは C 言語に特徴的な機能で、高度なプログラミングには必須である。ポインタは配列とも密接な関係にあり、ファイル入出力もポインタを利用する。



## 2JJ203 情報処理技法 (Java プログラミング)

### 【到達目標】

- ・データ型と変数の扱い方を習得する
- ・入出力の基本や制御構造を理解し、適切に利用することができる
- ・簡単なプログラムの作成ができる

【概要】 プログラムを記述することで人がコンピュータに命令をし、コンピュータが動作する際の基礎原理を、プログラミング言語 Java を用いて学習する。その後、変数やデータ型、標準入出力、条件分岐、配列、繰り返しなどのプログラミングの基本概念を理解する。これらの制御構造に関しては、各回において演習問題を用いて実習を行うことにより、より深い理解をし、学習したことを組み合わせて簡単なプログラムを作成することができる技術を身につける。

## 2JJ204 情報処理技法 (Java プログラミング)

### 【到達目標】

- ・普段使っているソフトウェア仕組みを理解する
- ・オブジェクト指向やアルゴリズムの基本を理解する
- ・小規模で実用的なソフトウェアの作成ができる

【概要】 「情報処理技法(Java プログラミング)」の発展として、Java の特徴の1つである「オブジェクト指向」について、クラス概念や継承、集約等のオブジェクト指向技術の概要を理解し、その基礎的なプログラミング方法を学ぶ。あわせて、アルゴリズムにも触れる。これにより、ソフトウェアの内部構造にも触れ、ソフトウェアの動作の仕組みを学ぶ。また、これらの学習はプログラミングの実習を通して行う。ごく小規模なソフトウェアを作成する技術を習得する。

## 2JJ205 情報処理技法 (マルチメディアと表現)

### 【到達目標】

- ・コンピュータで取り扱う静止画を題材に作成や加工を行う過程を通して、デジタル形式の画像に関する知識を習得する。
- ・画像を Web コンテンツとして公開する技術を身につける
- ・公開に関して注意すべき点を理解する。

【概要】 情報を表現するための手段として静止画を取り上げ、静止画像のフォーマットやコンピュータでの色の表現の概念、スキャナ・デジタルスチルカメラの利用方法、写真のデジタル編集(Photo Retouch)、描画ソフトを利用した画像の作成と加工、GIF アニメーションなど、静止画表現に必要な知識や技術を実習を通して学ぶ。静止画作品を発表する媒体としては Web を利用するため、HTML や Web 公開の基礎から、ユニバーサルな Web デザイン、Web コンテンツ公開時の著作権や肖像権についても触れる。

## 2JJ206 情報処理技法（マルチメディアと表現）

### 【到達目標】

- ・ 動画編集のための計画策定を行う力を養う
- ・ デジタル動画編集の基礎的な知識を理解し、技術を習得する。
- ・ 多様なメディアでの動画の表現について理解する

【概要】 情報を表現するための手段として動画を取り上げ、時間とともに変化するビデオ・コンテンツの表現手法について、着想・絵コンテの作成、撮影時のノウハウ、ノンリニア編集、圧縮・保存・公開する一連の DTV の過程を学ぶ。これらの過程は、デジタルビデオカメラを利用してビデオ素材を撮影し、作品を作成するという実習を通して実践的に学んでいく。作品は、YouTube など Web による公開の他に CD や DVD、DV テープなどの多様なメディアでの表現についても学び、ビデオ・コンテンツ作成に関する知識と技術を習得する。

## 2JJ207 情報処理技法（UNIX リテラシ）

### 【到達目標】

- ・ UNIX の仕組みと特性を理解する。
- ・ 目的に応じて UNIX のコマンドを使いこなすことができる。
- ・ 簡単な操作を実行するためにシェルスクリプトを作成できる。

【概要】 Mac OS X や Linux 等、UNIX (Unix 系オペレーティングシステム) を端末 (ターミナルソフト) から使いこなす技術を身に付ける。コンピュータは、入力された情報を目的に応じて処理し、その結果を出力する装置である。UNIX の仕組みと特性を学ぶことにより、コンピュータのこのような仕組みを深く理解することができるようになる。この講義では、端末において様々なコマンドを組み合わせることで処理を行う実習を通して、コンピュータを自由に活用できる力を身につける。

## 2JJ208 情報処理技法（統計解析）

### 【到達目標】

- ・ 確率の概念や統計的推定など、統計解析の基本を理解する。
- ・ 表計算ソフトを用いた、基本的な統計解析ができる。

【概要】 取得した情報の分析のために、統計的データ解析の入門から応用までの講義を行う。観測データからどのようなことが推論付けられるか、また如何にして真に有効な、あるいは有益な情報を抽出することができるかを中心に解説する。統計解析ソフトとしては、普及率の高い Excel を用いる予定である。Excel を用いて、データ解析の方法 (データの集計、グラフ化、統計的方法による分析) について実習を行う。

## 2JJ209 情報処理技法（ネットワークとセキュリティ）

### 【到達目標】

- ・ネットワークやセキュリティの基礎知識を習得する。
- ・ネットワークを構築するために必要となる、各種機器の特徴や用途を理解する。
- ・自宅で小規模なネットワークを構築するために必要な、機器の設定技術や簡単なトラブルシューティングの手法を習得する。

【概要】 インターネットをはじめとするコンピュータネットワークについて、基本的な仕組みを理解し、実習を通じてネットワークの基本的な設定の技術を身につける。ネットワーク利用時のセキュリティについてもあわせて学習する。これらの学習は、ネットワークケーブルの作成や PC へのネットワークの設定等の実習を行うことで、より理解が深まる。自宅等でのごく小規模なネットワークの構築をできるような技術を身につける。

## 2JJ210 情報処理技法（Web での情報表現）

### 【到達目標】

- ・誰もが使いやすく楽しい、Web 標準に準拠したサイトを制作することができる。
- ・サイトの設計・制作・評価の基本を理解する。
- ・変化の激しい ICT 社会に対応した Web での情報表現を考えることができる。

【概要】 受講者に前提知識を必要とせず、誰もが使いやすい Web サイトを実際に製作して発表する科目である。変化の激しい ICT 社会の中心となっている Web の重要性を理解し、高齢者や初心者や障害者などの誰もが使いやすい Web を、Web 標準に準拠して制作するスキルを、設計・制作・評価のプロセスに分けて、実例やサイト制作実習で学ぶ。数ページで構成されるサイトの制作を最終課題とする。モバイル社会の対応も紹介する。

## 2JJ301 コンピュータ・サイエンス

### 【到達目標】

- ・ハードウェアに関する基本的な仕組みを理解する
- ・コンピュータで扱う情報の数値変換を習得する
- ・文字の符号化と、画像や音声のデジタル化と圧縮の仕組みを理解する

【概要】 「コンピュータ・サイエンス II」と併せて受講することにより、コンピュータの基本的な仕組みを理解し、自在に使いこなすための基礎的な素養を身につける。情報処理技術の知識面の基礎を重点的に扱う。この授業では、主に、ハードウェア構成や、コンピュータ上での情報の表現方法に関する知識を学ぶ。これらの内容を、適宜実習を交えることで理解を深める。情報処理技術者試験などの情報処理関連の資格試験の基盤となる内容を広く含む。

## 2JJ302 コンピュータ・サイエンス

### 【到達目標】

- ・OSの基本的な仕組みを理解する
- ・ネットワークの仕組みとセキュリティの基礎について理解する
- ・ソフトウェアの基本的な動作の仕組みについて理解する

【概要】 「コンピュータ・サイエンスⅠ」と併せて受講することにより、コンピュータの基本的な仕組みを理解し、自在に使いこなすための基礎的な素養を身につける。情報処理技術の知識面の基礎を重点的に扱う。この授業では、主にソフトウェアに着目し、OSの仕組みや役割、プログラムの言語処理方式、アルゴリズムやネットワーク等について学ぶ。適宜実習を通して、これらの内容の理解を深める。情報処理技術者試験などの情報処理関連の資格試験の基盤となる内容を広く含む。

# (7) 学 科 科 目

## 国 際 英 語 学 科

### 国 際 英 語 専 攻

#### 基盤講義

211001 国際英語と女性の生き方

##### 【到達目標】

- ・英語圏のみならず非英語圏における英語の使用と社会的役割の諸相を多角的に理解する。
- ・英語の使用という観点から、女性のキャリア形成に関する諸事例を多角的に理解する。
- ・国際社会における英語の使用を通じて、女性のキャリア形成に関するさまざまな将来的可能性を構想することができる。

【概要】 国際英語は、英語圏のみならず非英語圏においても、さまざまなコミュニケーションの手段としての役割が期待される。本講義は、そうした国際英語の機能と広がりについて、その基本的な特徴や活用方法、効果的な運用事例をグローバル化する国際情勢を念頭に置いて学ぶ。併せて、このような国際英語を活用した女性のさまざまなキャリア形成のあり方について、世界各地におけるこれまでの歴史的経緯や特徴、各種の事例や現況を検討しつつ、その将来的な可能性と留意すべき諸点を多面的に考察する。

211002 異文化理解 A

##### 【到達目標】

- ・主に英語圏を対象に、文化的表象（視覚、聴覚、身体、思想など）の多様性を理解し、その特質を分析するための方法論を理解する。
- ・主に英語圏を対象とした、文化的表象の多様性と異文化間コミュニケーションの可能性について理解する。
- ・主に英語圏の生活習慣等の日常的な異文化理解の諸問題への視野を広げる。

【概要】 世界の多様な文化を「異文化」として認識し、その異文化を相互に理解し合い、コミュニケーションが可能となることを目標とし、特に英語圏を対象として考察する。異文化理解は生活の諸側面に及ぶが、この授業では、特に英語圏の生活習慣、感性表象、社会的制度等にみられる文化的表象の特質に注目し、その特徴を文化的、歴史的、地理的角度から学ぶ。あわせて、文化によって醸成されるアイデンティティ理解のための基礎的方法論についても学習する。

#### 211003 異文化理解 B

##### 【到達目標】

- ・文化の諸様態を把握するための言語的方法論(特に英語圏文化を対象とする)を理解する。
- ・言語(特に英語)による異文化間コミュニケーションのあり方とそれぞれの特徴を実際の場面において理解する。
- ・言語と文化、言語と社会の諸種の関係とその広がりについて具体的に理解する。

【概要】 本講義では特に英語圏の言語文化の諸相に注目し、英語を媒介とする言語文化の視点から異文化理解の特徴と方法論を学ぶ。言語文化的視点からみた異文化理解には、まず英語コミュニケーションの諸特徴やそこで生じるコミュニケーション・ギャップの問題を理解することが肝要であるが、こうした基本的問題とともに、言語を基盤として形成された思想や文学、各文化に固有の日常的な文書様式、感性の表現などにも視野を広げ、それらの特徴を把握することで英語圏を対象とする異文化理解に資する方法を考察することも含まれる。

#### 211004 Japanese Culture & Literature

##### 【到達目標】

- ・世界から見た日本の文学や文化の特徴を理解する。
- ・英語で日本の文学について説明し、発信する力を養う。
- ・英語で日本の文化について説明し、発信する力を養う。

【概要】 英語に翻訳された日本の文学作品、あるいは英語で書かれた日本文学論や文化論を読みながら、世界から、日本の文学や文化のどのような点に興味をもたれ、どのような特徴があると捉えられているのかを理解する。こうした文献をふまえたうえで、外国人の興味や関心のありかを理解しそれに応える形で、あるいは逆にどのような形で「日本」の特質を発信してゆくべきであるかを自ら考えて、日本の文学や文化を、英語で発信してゆく力を身につける。

#### 211005 英語グローバル人材論

##### 【到達目標】

- ・各種の職業において、英語がどのように活用されているのか、その現状を具体的に理解する。
- ・英語の運用能力を生かした自らのキャリア形成について、その将来像を実践的に構築することができる。
- ・グローバル化の進む国際社会において、英語のさまざまな活用のあり方に関する可能性を具体的に考察できる力を養う。

【概要】 本講義はまず、日本および海外諸地域におけるさまざまな職業や社会的活動を念

頭に、現在、英語がどのように活用されているのかについて、その状況を的確に理解する。その上で、そうした現況を参照しつつ、自らの資質を生かせる実践的なキャリア形成を具体的に構想できる知識を習得する。あわせて、グローバル化の進む国際社会にあって、英語を活用した新たな社会貢献の可能性を考察し、そうした可能性の実現へ向けた営みを自立的に進めることのできる知見を養う。

#### 211006 English Studies 基礎論（文学研究）

##### 【到達目標】

- ・英米の文学テクストを読み解く際に必要となる概念を理解する。
- ・英米の文学作品に示された言語表現の諸特徴、象徴、暗示を読解する力を養う。
- ・時代的、文化的コンテキストが英米の文学作品に表象される場合の基本的な解釈方法やその表象形式を理解する力を習得する。

【概要】 本講義では英語文化圏の文学を、イギリスとアメリカを中心に概観する。文学史的概論の後、具体的な文学テクストを取り上げ、文学を読み解く際に必要となる様々な概念を学習させ、言語表現の諸特徴や象徴、暗示を読み解く方法を学ばせる。また、時代状況や文化的コンテキストがテクストに与える影響を論じ、時代的・文化的コンテキストに基づき読み解く力を身につけさせる。

#### 211007 English Studies 基礎論（批評研究）

##### 【到達目標】

- ・主要な批評の理論や方法論を理解する。
- ・批評を読み解く力を身につける。
- ・上記の理解に基づきテクストを議論する力を養う。

【概要】 英語圏文学・文化を分析する際に必要な、英語で書かれた主要な批評理論を習得させる。本講義では、さまざまな文化の様相を分析し、その社会的意味を探究するカルチュラル・スタディーズとの関わりをも考慮に入れる。具体的には、英語圏の主要な文学・文化批評理論を取り上げて英語で読み、内容を考察した後、具体的にその理論を英語圏の文学作品や文化現象といったテクストに適応させてみることで、文学・文化の表象が視点の変化によりいかに異なる意味をもち得るかを認識させる。

#### 211008 English Studies 基礎論（文化研究）

##### 【到達目標】

- ・英語圏の文化の特質を理解する。
- ・文学を始め、文化を表象するテクストがはらむ問題を把握する力を養う。
- ・文化を表象するテクストを理解するための基本的な批評理論を習得する。

【概要】 本講義においては、英語圏の文化をテクストとして、色々なテーマに即して「読

む」ことにより、それらがさまざまな時代の多様なコンテキストにおいてどのような意味をもっているかを深く学ばせることを目標とする。具体的には、英語圏の文化を表象する媒体（映画、新聞、広告、写真など）をいくつか取り上げて読み解き、それらの文化的・社会的意味を考察させる。必要に応じて基本的な批評理論を学び、作品および文化へのより深い理解を目指す。

#### 211009 English Studies 基礎論（言語と社会）

##### 【到達目標】

- ・英語と社会との相互関係を理解し、多様な視点から英語を見ることが出来る力を養成する。
- ・英語と日本語の社会的変異の多様性を理解する。
- ・上記2点を通じて、3年次以降の英語学研究の見通しを得るとともに、自身の英語力の向上のために何が必要かについても、筋道を立てて振り返ることが出来るようになる。

【概要】 言語は単なる記号体系として存在するのではなく、それをを用いる人がいて、その人たちによって構成される社会がある。言語は人間にとってもっとも身近な存在であり、そこには私たちの住む社会のあり方が直接的、あるいは間接的に反映されている。この講義では、言語としての英語について、特に社会との関連に焦点をあてて、英語圏と日本との比較対照も加えながら概観する。英語の社会言語学的研究への導入を意図した授業である。

#### 211010 English Studies 基礎論（言語の構造）

##### 【到達目標】

- ・英語の構造の研究に必要な基本用語とその概念を理解する。
- ・英語の構造に関する規則性を論理的に記述する手法を身につける。
- ・上記2点を通じて、3年次以降の英語学研究の見通しを得るとともに、自身の英語力の向上のために何が必要かについても、筋道を立てて振り返ることが出来るようになる。

【概要】 英語の単語・文における構造的な特質について理解するために、英語を、日本語をはじめとする様々な言語（英語のバラエティも含む）と比較することによって、その構造上の共通点、相違点を体系的に分析し、考察を加える。授業では文法的・非文法的な英文を、最小対等を用いることによって丁寧に観察し、記述する訓練をする。またそれと同時に、先行研究においてそれらにどのような説明が与えられているかについても概観し、理解する。

#### 211011 英語教育基礎論A

##### 【到達目標】

- ・英語教育の理論に関する基本的な知識を習得する
- ・英語教育の理論をもとに英語教育の現状を分析することができる
- ・英語教育の理論をもとに英語教育の展望を考察する力を養う

【概要】 英語教育の理論的な側面に関する基本的な知識として、英語教授法や英語教育の



変遷，英語教育政策，第二言語習得研究等の関連分野等を包括的に説明し，英語教育に関する理解を深める。この知識をもとに，日本やアジア諸国のみでなく，ヨーロッパ等の諸外国の英語教育と比較したり，英語教授法や第二言語習得研究の観点から英語教育の様々な現状を分析したりする。さらに，将来を見据えて英語教育の現状をどのように改善すべきかを考察する。

#### 211012 英語教育基礎論 B

##### 【到達目標】

- ・ 英語教育の実践に関する基本的な知識を習得する
- ・ 英語教育の実践の現状を分析することができる
- ・ 英語教育の実践の展望を考察する力を養う

【概要】 英語教育の実践的な側面に関する基本的な知識として，英語教授法や英語の各技能の指導法，指導技術等を包括的に概説して英語教育の実践に関する理解を深める。その理解をもとに，授業ビデオの視聴や公開授業の参観を通して，英語教育の実践の現状を比較・分析したり，授業の指導案や教材，評価方法や年間カリキュラム等の作成や開発に取り組むことで英語教育を実体得する。これらの活動をもとに，英語教育の実践の将来像を展望する。

#### 211013 第二言語習得基礎論 A

##### 【到達目標】

- ・ 第二言語習得の一般的なメカニズムに関する基本的な知識を習得する
- ・ 第二言語習得の一般的なメカニズムを踏まえて、日本における英語教育や英語学習などに関して分析する力を養う
- ・ 第二言語習得の一般的なメカニズムを踏まえて、日本における英語教育や英語学習などに関して考察する力を養う

【概要】 本講義では第二言語習得に関する主要な理論や仮説を概観しながら、学習者に共通した第二言語習得の一般的なメカニズムについて理論的に解説する。これらの基礎的な知識の理解をもとに、日本における英語教育や英語学習などの現状を分析する能力を高める活動を実施する。さらに、この分析能力を活用して、第二言語習得の一般的なメカニズムの観点から、日本における英語教育の改善方法や履修者自身の英語学習の効率化などに関した考察ができるようになることを目指す。

#### 211014 第二言語習得基礎論 B

##### 【到達目標】

- ・ 第二言語習得の個人差を生じさせる様々な要因に関する基本的な知識を習得する
- ・ 第二言語習得の個人差を生じさせる様々な要因を踏まえて第二言語の学習や教育について分析する力を養う

- ・第二言語の習得の個人差を生じさせる様々な要因を踏まえて第二言語の学習や教育について考察する力を養う

【概要】 本講義では、第二言語習得のプロセスで学習者ごとに異なる個人差を引き起こすメカニズムを扱い、それに関連するさまざまな要因を概観しながら、第二言語習得に見られる個人差について理論的に詳説する。これらの知識の理解を踏まえ、各種の事例を使って第二言語学習や第二言語教育の現状を分析する能力を養う。最終的には、第二言語習得の個人差を引き起こすメカニズムの観点から、第二言語学習の効率化や第二言語教育の改善のための方法が提案できるようになることを目指す。

#### 211015 言語の多様性と普遍性 A

##### 【到達目標】

- ・言語データを分析し、背後にある構造や言語能力のしくみを考える基礎と分析能力を身につける。
- ・日本語、英語とは異なるタイプの言語に触れ、言語間の共通性や相違点に注目し、言語を相対化して見る視点を身につける。
- ・人間の言語能力の普遍的特徴が、どのように個別言語の言語現象に反映されているかを理解する。

【概要】 日本語・英語・その他の音声言語や手話言語には、非常に異なって見える現象の背後に共通のシステムを見出すことがある。そのような発見を通して、自然言語において基本要素を組み合わせて複雑な表現を作るしくみ、こどもが周囲の会話を手がかりに母語を獲得する上で必要となる生物学的な基盤と環境との関わりを考える思考法を身につける。履修者の多くにとって、自覚する間もなく習得した日本語、学ぶべき外国語とされている英語を、他の言語と並べて分析する体験を通して、自分が持つ枠組みを相対化して見る姿勢を身につける。

#### 211016 言語の多様性と普遍性 B

##### 【到達目標】

- ・言語の多様性が、人間という種の特性を考える上で、他の認知能力の研究では得がたい手がかりを与えてくれることを理解する。
- ・言語知識の中で、経験を通して学習されるとは考えられない部分について、(1) 仮説を立てて検証し、(2) その仮説が帰結として得られるようなさらに深い仮説を考え、検証するというプロセスにより、演繹的な深さを求める考え方を身につける。

【概要】 世界の言語には、語や形態素の組合せ方、格表示や一致現象の有無、語順やアクセント、省略の可否など様々な違いが見られる一方、全く親族関係のない言語間に同じ規則性が観察されることもある。20世紀後半以降の言語研究は、個別言語の記述的妥当性を超え、世界の言語の多様性と普遍性に注目してその原因を追求している。このような言語

研究の例に出会い、科学的思考を支える考え方を学ぶとともに、言語を通して人間を理解しようとする人間の営みを体験する。

#### 211017 翻訳基礎論

##### 【到達目標】

- ・ 翻訳学の理論と翻訳実践の基礎を知る。
- ・ 日英語間の翻訳において、題材とする作品や事象が、もう一方の言語文化に翻訳・移入された時の実態と問題を知る。
- ・ 日英語間の翻訳において、翻訳移入により、その題材が移入先の言語文化に与える影響や生じる摩擦の諸相について知る。

【概要】 広い意味での異文化交流・異言語間コミュニケーションを考え理解するうえで、「翻訳」が果たす役割に着目した翻訳入門科目である。翻訳学（旧称「翻訳研究」）は比較的 新しい学際的な学問領域であり、様々なアプローチが可能である。その中から、本科目では、「受容」と「影響関係」を軸に、この学問領域に導入する。合わせて、「日英語対照」によるテキスト分析方法も紹介しつつ、翻訳実践の基盤も作る。

#### 211018 通訳基礎論

##### 【到達目標】

- ・ 通訳に必要な高度な外国語能力（英語）について、その基本的な内容を理解し、習得のための基礎力を養う。
- ・ 通訳に必要な高度な母語運用能力について、その基本的な内容を理解し、習得のための基礎力を養う。
- ・ 通訳に必要な言語の文化的背景知識や時事的問題への理解について、その基本的な内容を理解し、習得のための基礎力を養う。

【概要】 通訳は、高度な母語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本講座では、通訳に必要なこれらの能力や教養を身につけるための基礎的段階として、その性質や運用方法に関する基本的な知見を習得することを目標とする。あわせて、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割、社会的貢献、新たなニーズなどについて、実践的な場面の事例研究を通じて考察し、通訳に関する学問的基礎とその広がりを理解する。

#### 211019 Professional English 基礎論

##### 【到達目標】

- ・ Professional English の社会的有効性について、その概要を理解する。
- ・ Professional English が活用される将来的可能性について、国内外のグローバル化の状況とともに理解する。

・ Professional English の運用能力を高めるための方法と課題を理解する。

【概要】 本講義は、国際英語にかかわる言語文化的理解によって支えられた英語の高度な運用能力が、グローバル化の進む国内外の各種の産業や公的・社会的活動の諸側面において有効に機能し、大きな社会貢献を果たすものであることを理解するとともに、そうした幅広い知見と英語の運用能力を身につけるための基本的な方法と課題を考察することを目的とする。社会の諸種の場面で英語が機能し活用される状況を、実践的な事例研究を中心に理解する。

## 特殊講義

### 211101 英語文化リソース論

#### 【到達目標】

- ・ 英語圏における、各種の産業や社会的活動のための文化的リソースの基本的な特徴とその広がりを理解する。
- ・ 英語圏の文化リソースと日本の各種産業や社会的活動との影響関係に見られる基本的な特徴を理解する。
- ・ 英語を用いた各種の表現や文化的表象と各種の産業や社会的活動との相互的な影響関係を具体的に理解する。

【概要】 本講義では、英語を基盤とするさまざまな文化的リソースが、各種の産業をはじめ、社会の諸活動に与えるさまざまな影響と、逆に、社会的諸状況がそうした文化的リソースの形成にもたらす影響関係とを具体的実践的に考察し、英語を基盤とする文化的リソースが果たす社会的役割を学ぶ。各種歴史的文書の蓄積、出版文化の推移、映像や映画、広告・広報、その他、各種のポピュラー・カルチャなどが考察の対象となる。あわせて、英語文化リソースの日本への影響についても学ぶ。

### 211102 テーマ研究（ジェンダー研究）

#### 【到達目標】

- ・ ジェンダー研究のキーワードと概念を理解する。
- ・ ジェンダー研究の歴史を理解する。
- ・ ジェンダー研究に基づいてテキスト分析をする手法を習得する。

【概要】 本講義においては、ジェンダーという概念を学ぶところから出発し、関連するキーワードを概観する。その上で、英語圏、特に英米を中心に、ジェンダー研究に関する概念が発達してきた歴史的、文化的コンテキストを学習させる。以上の概観を踏まえ、ジェンダー研究の代表的なテキストや、ジェンダー研究の観点から読まれるべきテキストを紹介し、理論を学ぶと共に、理論を用いた分析方法を習得させることを目標とする。

### 211103 テーマ研究（英米文学）

**【到達目標】**

- ・英米の作品の主要なテーマや、作品を読み解く際に鍵となる概念を理解する。
- ・作品のテーマと時代的、文化的コンテクストの関係を理解する。
- ・英語で書かれたテキストを読み解く力を習得する。

**【概要】** 本講義においては、英米を代表する作品をいくつか取り上げ、作品のテーマを解説し、作品を読み解くための様々な概念を概説する。時代背景や文化的背景の異なるテキストを取り上げることになる。その上で、テキストが書かれ、発表された時代的、文化的コンテクストと、テーマや記述の仕方との関連を学ばせる。受講者自身がそれぞれのテキストに向き合うよう導き、テキストを読み解く力を養うための方法も身につけさせる。

## 211104 テーマ研究（英語と世界文学）

**【到達目標】**

- ・英語で書かれた世界文学を学ぶ際のキーワードを習得する。
- ・作品のテーマと時代的、文化的コンテクストの関係を理解する。
- ・英語で書かれたテキストを読み解く力を習得する。

**【概要】** 英米文学の授業では扱わなかった英語圏の文学、および英語で書かれた文学、さらには英語に翻訳された文学など、英語という言語で文学を読むことの意義を考えることを本講義の目標とする。「多文化主義」、「植民地主義」、「グローバリズム」、「越境・移動」、「翻訳」といった観点から、世界のさまざまな地域の文学を読解し、その作業を通して価値観を相対化する視野を獲得させることを目指す。

## 211105 テーマ研究（英語教育と第二言語習得）

**【到達目標】**

- ・英語教育と第二言語習得の関係を理解する
- ・英語教育と第二言語習得の現在の現状を分析することができる
- ・第二言語習得をもとにした英語教育を考察する力を養う

**【概要】** 英語教育は英語の指導法を、第二言語習得は英語を含む第二言語の学習のプロセスを研究主題としており、それぞれの研究対象は指導者と学習者であるが、両分野は密接不可分な相関関係にある。本講義では、英語教育の実践や英語教育政策、英語の学習法等の身近な話題を取り上げて、英語教育と第二言語習得の両観点から、その現状を包括的に分析・把握した上で、これらの英語教育や英語学習に関連する諸問題への解決策を提示することができる力を養う。

## 211106 テーマ研究（Professional English）

**【到達目標】**

- ・本学における Professional English 3 領域（翻訳・通訳・実務英語）の概要を知る。
- ・3 領域（翻訳・通訳・実務英語）それぞれの学びの特徴を捉える。
- ・3 領域（翻訳・通訳・実務英語）に対する自らの興味と問題意識を明確にする。

**【概要】** 履修者が、3 領域（翻訳・通訳・実務英語）それぞれの学びの特徴を捉え、問題意識を明確にできるようにするために、各領域の担当者が交代で講じるオムニバス形式で行う。その構成と内容は次の通り。(1) プロフェッショナル・イングリッシュのためのイントロダクション (2) 実践英語の諸形態 (3) 翻訳の機能と効用 (4) 通訳の機能と効用 (5) まとめ。履修者の実習・実作やコメントを求めながら進める双方向型の授業とする。

## 211107 比較文化 A

**【到達目標】**

- ・比較文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・自己の文化圏とは異なる文化的価値を理解する。
- ・異文化を鏡として自己を見つめ直す力を養う。

**【概要】** 日本語を媒介として、他の国やエリアに関わる文化受容の諸問題を考察する。近現代の日本人が異文化と向き合うことで、どのような他者像を形成し、どのように自己のアイデンティティを考えたのかを明らかにしてゆく。また異文化との交流によって、複数の文化が混ざり合い、新たな文化が形成される過程を分析する。

## 211108 比較文化 B

**【到達目標】**

- ・国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解する。
- ・国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を比較文化研究全般に応用できる力を身につける。
- ・国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、比較文化研究を自律的に遂行できる課題探究力を身につける。

**【概要】** 本講義は、国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た比較文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら比較文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏に及んだ文化的影響関係を扱う。

## 211109 表象文化 A

**【到達目標】**

- ・表象文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・表象文化の歴史的变化を理解する。
- ・文化領域相互の影響関係について分析する力を養う。

**【概要】** 日本語を媒介として、日本で形成されてきた表象文化と、海外から発信され日本に紹介された表象文化を考察する。明治・大正・昭和の時代に、西欧文化と向き合うことで、日本の都市空間や文化は大きく変容した。文学を含む言語表現や、写真や美術などのヴィジュアルな表現を通して、モダニズムの姿を明らかにする。

## 211110 表象文化 B

**【到達目標】**

- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴と文化的社会的影響を理解する。
- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を表象文化研究全般に応用できる力を身につける。
- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、表象文化研究を自律的に遂行できる課題探究力を身につける。

**【概要】** 本講義は、国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た表象文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら表象文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏へ広がりをみせたものを扱う。

## 211111 英語文学（演劇）

**【到達目標】**

- ・演劇という表象ジャンルの特徴についての基礎的知識を獲得する。
- ・演劇がその時代の文化において持つ意味を理解する。
- ・個別作品について英語で書かれたテキストの読解に基づき、基本的な解読・分析方法を理解する。
- ・批評理論を作品解釈に援用する方法を習得する。

**【概要】** 演劇という英語表現ジャンルの特徴及び演劇が、さまざまな時代の多様な領域の英語圏文化において、どのような意味をもっているかを本講義では講じる。具体的には、イギリス・アメリカを中心とした英語圏文化が生み出してきた代表的な戯曲をいくつか取り上げ、英語によって解読・分析を行う。実際の上演を考慮に入れながら、それら演劇作品の文学的・文化的・社会的意味を考察させる。現代批評理論を用いた分析方法についても解説する。

## 211112 英語文学（小説）

**【到達目標】**

- ・英語圏の小説を個別のテーマに沿って深く理解するとともに多角的に分析できる力を身につける。
- ・英語圏小説の歴史的・文化的背景についての知識を獲得する。
- ・小説を論じるための各種の実践的・応用的な方法論の学習を通して文学・文化の多面的な理解力を身につける。

**【概要】** この授業は英語圏の国々で書かれた小説を、種々の問題意識（人種、階級、ジェンダーなど）に沿って読解し理解を深めるとともに、各種の方法論を用いて分析することを目標とする授業である。個々のテキストの精読をさらに発展させ、ある個別の文化現象をテーマに設定し、国境を越えた幅広い文学作品群を歴史・文化の側面から多面的に扱う可能性も視野に入れて授業を進める。

211113 英語文学（詩）

**【到達目標】**

- ・詩的言語の特徴としての韻律、修辞、形式、表現方法についての詳細な知識を獲得する。
- ・詩人や作品について、その歴史的・文化的背景を理解する。
- ・個別作品についての深いレベルでの読解・分析ができるようになる。
- ・批評理論を作品解釈に援用する方法を習得する。

**【概要】** 英米のみならず、その他の英語文化圏における英語で書かれた詩作品を通して、詩的言語の特徴とその世界認識のあり方を理解するための講義である。英語詩をよりよく理解するために、形式や技法についての知識を深めるとともに、詩人やその作品の背景となる歴史的状況、たとえば社会や文化の変遷などについても学習し、具体的な作品を複眼的な視野によって深いレベルで分析する。現代批評理論の詩作品分析への応用についても解説する。

211114 英語文学（児童文学）

**【到達目標】**

- ・児童文学の本質について理解する。
- ・英米の「子ども」観についての知識を得る。
- ・児童文学作品をめぐる文化的背景を多角的に理解する。
- ・作品を自分の力で読解・分析する能力を涵養する。

**【概要】** 人間・社会・世界に目を開かせ、自己確認と自己確立を促し、楽しませつつ深く考えさせるという児童文学の本質を論じる。英語圏児童文学を主たる題材とし、リアリズムやファンタジー等の種々のサブジャンルにわたる作品の原書を講読することにより、このような本質についての理解を深める。このジャンルの多層性を読み取るために個別の作家の時代背景を、とくにその文化的側面を中心に考察する。英米文化における「子ども観」の変遷



にも目を配る。児童文学が一般小説と共有する基本的要素の分析と理解を通じて、比較的易しい表現に隠れた作品の主題を解読する。

#### 211115 英語文学（比較文学）

##### 【到達目標】

- ・比較文学の理論や方法を理解する。
- ・比較されるテキストを読み解く力を身につける。
- ・比較すべきトピックを見いだす力を習得する。
- ・比較をトピックに文学テキストを論じることができるようになる。

【概要】 比較文学の理論や方法を概観するところから始めるが、特に英語圏、および英語圏の文学テキストとの関係で、いくつかの理論や方法にスポットを当て、実際のテキストを題材に比較する方法を学ぶことが本講義の目標である。あるテキストと別のテキストの影響関係を実証的に研究する方法や、国や地域といった文化的コンテキストの異なるテキストを対比する方法、文化的コンテキストの異なる文学の受容を研究する方法、さらには様々な理論を相互参照する方法などから特定のトピックに焦点をあて講じる。

#### 211116 英語文学（映像と言語表現）

##### 【到達目標】

- ・英語圏で作成された映像による表現の歴史や特徴を理解する。
- ・英語圏で作成された映像における言語表現のさまざまな役割を理解する。
- ・英語圏で作成された映像と言語表現をテキストとして読解する手法を習得する。

【概要】 映像とは映画、テレビ、写真などの画像であるが、映像は映像のみで完結することは少なく、言語表現を伴うものが大半である。本講義では、一つには英語圏で作成された映像と言語表現の結びつきを歴史的な文脈や媒体の特徴と併せて考察することを目標とする。映像が言語表現と併せて用いられる点に着目し、言語表現との関係で映像を理解する仕組みを考えさせる。もう一つには、映像が言語表現としていわば翻訳され、見るものに理解される仕組みを、様々な例の考察を通して理解することを目標とする。

#### 211117 イギリス文学史

##### 【到達目標】

- ・イギリス文学が歴史や文化の展開と密接に関連していることを理解する。
- ・イギリス文学が歴史とともに変容していく文化的メカニズムを把握する。
- ・社会や文化の歴史の展望の中でイギリス文学を捉えるという意識と能力を獲得する。

【概要】 中世から王政復古期までのイギリス文学の諸相を概観する。初期近代、テューダー朝、エリザベス朝、ジェームズ朝、内乱期、王政復古期の詩、散文、演劇を取り扱う。それぞれの時代背景を把握し、文学との関係において社会の重要な出来事や思潮について考察

した後、個々の詩人、劇作家などの文学史における役割を検討し、各時代の文学的トピックを概説しつつ、重要な文学作品の具体的な読解、鑑賞も行う。

#### 211118 イギリス文学史

##### 【到達目標】

- ・近・現代イギリス文学に見られる歴史的・思想的枠組みを理解する。
- ・その歴史的・思想的枠組の理解に基づき、個々の作品の特質を広く文化史的観点から自律的に考察できる力を身につける。
- ・作品分析をめぐる基本的な文学的手法を理解し、それを実践できる実力を涵養する。

【概要】 18世紀から20世紀前半までのイギリス文学の諸相を概観する。18世紀の詩、イギリス小説の誕生とその発展、ロマン派の文学、19世紀の小説と散文、19世紀後半の詩と演劇、20世紀前半の小説と演劇を扱う。それぞれの時代背景や社会の重要な出来事、思潮について考察した後、個々の詩人、劇作家、小説家などの文学史における役割を検討し、各時代の文学的トピックを概説しつつ、重要な文学作品の具体的な読解、鑑賞も行う。

#### 211119 アメリカ文学史

##### 【到達目標】

- ・初期アメリカ文学の歴史的・社会的背景を理解する。
- ・その歴史的・思想的枠組の理解に基づき、個々の作品の特質を広く文化史的観点から自律的に考察できる力を身につける。
- ・作品分析をめぐる基本的な文学的手法を理解し、それを実践できる実力を涵養する。

【概要】 17世紀から南北戦争の終わる1865年あたりまでに書かれた、アメリカ文学の歴史的展開を概観する。この授業ではまず、興味深く重要なテキストをいくつか取り上げ、精読することも求められる。文学上の展開だけでなく、文学作品を検証するために必要な、歴史的、文化的な背景にも触れていく。この授業の目的は、初期アメリカ文学の主な流れをしっかりと理解することができるようになることである。

#### 211120 アメリカ文学史

##### 【到達目標】

- ・19世紀後半以降のアメリカ文学の歴史的・社会的背景を理解する。
- ・その歴史的・思想的枠組の理解に基づき、個々の作品の特質を広く文化史的観点から自律的に考察できる力を身につける。
- ・作品分析をめぐる基本的な文学的手法を理解し、それを実践できる実力を涵養する。

【概要】 南北戦争の終わる1865年頃から現在までに書かれたアメリカ文学の歴史的展開を

概観する。この授業ではまず、興味深く重要なテキストをいくつか取り上げ、精読することも求められる。文学上の展開だけでなく、文学作品を検証するために必要な、歴史的、文化的な背景にも触れていく。この授業の目的は、後期アメリカ文学の主な流れをしっかりと理解することができるようになることである。

#### 211121 英語文化研究特論 A

##### 【到達目標】

- ・英語圏の文化の特質を理解する。
- ・文学を始め、文化を表象するテキストがはらむ問題を把握する力を養う。
- ・文化を表象するテキストを理解するための応用的な批評理論を学ぶとともに、多様な分析方法を実践する力を養う。

【概要】 本講義においては、イギリスおよびイギリスと結びつきの深い英語圏文学・文化を色々なテーマに即して読むことで、それらがさまざまな時代の多様な領域の英語圏文化においてどのような意味をもっているかを深く学ぶことを目標とする。具体的には、英語圏文化における文学作品、および文化を表象する媒体（映画、新聞、広告など）をいくつか取り上げて読み解き、それらの文化的・社会的意味を考察する。必要に応じて批評理論を用い、作品および文化へのより深い理解を目指す。

#### 211122 英語文化研究特論 B

##### 【到達目標】

- ・英語圏の文化の特質を理解する。
- ・文学を始め、文化を表象するテキストがはらむ問題を把握する力を養う。
- ・文化を表象するテキストを理解するための応用的な批評理論を学ぶとともに、多様な分析方法を実践する力を養う。

【概要】 本講義においては、アメリカおよびアメリカと結びつきの深い英語圏文学・文化を色々なテーマに即して読むことで、それらがさまざまな時代の多様な領域の英語圏文化においてどのような意味をもっているかを深く学ぶことを目標とする。具体的には、英語圏文化における文学作品、および文化を表象する媒体（映画、新聞、広告など）をいくつか取り上げて読み解き、それらの文化的・社会的意味を考察する。必要に応じて批評理論を用い、作品および文化へのより深い理解を目指す。

#### 211123 英語学（意味論）

##### 【到達目標】

- ・意味論の基本的な概念を理解する。
- ・英語の「意味」を分析できる力を養成する。

【概要】 「意味する」ことの意味を問うための授業である。日常的に使われる英語の持つ

「意味」はどのように構成されているか、具体的用例の分析を通して、英語の「意味」の成り立ちへの理解を深め、意味論への導入を行うことを目的とする。単語レベルの意味と文レベルの意味、同意・反意・矛盾などの論理的意义、含意・ニュアンスなどのプラスアルファの意味、修辞学的意义、意味変化のメカニズムなど、意味の諸相を論じる。

#### 211124 英語学（語用論）

##### 【到達目標】

- ・語用論の基本的な概念を理解する。
- ・英語を発話のレベルで分析できる力を養成する。

【概要】 言葉は単なる論理体系としてではなく、「人によって使用されるもの」として存在する。「意味」も固定したものではなく、話し手と聞き手の間の相互作用を通してダイナミックに生成されるものである。実際の英語使用の場面で用いられる英語表現は、文字通りの意味とは別に、様々なコミュニケーション上の役割を担っている。英語使用の様々な場面におけるコミュニケーションのメカニズムについて理解を深め、語用論への導入を行うことを目的とする。

#### 211125 英語学（音韻論）

##### 【到達目標】

- ・「音声学」との違い、および「音韻論」の研究対象と研究方法を理解する。
- ・「音素」という概念について理解する。
- ・「母音」「子音」「半母音」などの音声的特質と機能について理解する。
- ・英語の音構成（音素システム）や音節構造を理解する。
- ・英語の強勢パターンやイントネーションの働きについて理解する。

【概要】 母音や子音の音声的特質と役割の違い、言語ごとの音の種類や音節構造の違い、言語使用者による音声の認知や識別などの問題を探ることによって、言語における「音声の働き」について、英語の音声を中心に学ぶ。「音素」という概念を理解することが基本となるが、個別音だけでなく、「超分節音素」と言われる強勢やイントネーションの特徴や働きについても、英語を中心に考察する。音韻論には、これまでさまざまな理論や学説が提唱されてきたが、それらの理論的な側面にも一部触れる。

#### 211126 英語学（形態・統語論）

##### 【到達目標】

- ・形態論・統語論に関する基本的な知識を習得する。
- ・主に英語の形態論・統語論に関わる現象に対する先行研究における分析方法や、それらの特徴を理解する。
- ・上記2点を通じて、英語の構造の特徴を理解する。

【概要】 主に英語の資料をもとに、単語レベルでの音と意味の結びつき、文レベルでの音と意味の結びつきに関する規則の体系を概観する。主に 1980 年代以降の先行研究を参照しながら具体的な資料を客観的に分析する手法を学び、考察を加える。英語、日本語、その他の言語の多様な形態・統語現象の中に規則性を発見し、人間の脳に内在する認知能力の一部を成す文生成のメカニズムを探る。

211127 英語学（社会言語学）

【到達目標】

- ・言語使用者の属性および言語使用の状況などと言語の変異の多様な関係を理解する。
- ・現実の社会、特に英語圏において存在している言語の諸問題を分析する力を養成する。

【概要】 言語と社会の関わりを多角的に考察し、私たちが今日直面する言語問題が何かを理解するとともに、日常生活における言語行動の意味を自覚的に捉える態度を養うことを目的とする。具体的には、英語について、言語使用者（出身地・社会階層・年齢・性別・民族的バックグラウンドなど）と言語使用（レジスターなど）がどのような言語変異を生み出しているかを考察する。社会言語学の基本的な概念を論じ、その観点から英語の諸相を概観するための授業である。

211128 英語学（英語史）

【到達目標】

- ・古英語から現代英語に至る英語の発達史の歴史を学ぶことによって、英語における言語変化とその時代の社会・文化的背景を理解する。
- ・英語の特質を歴史的な観点から考察し、分析する力を養成する。

【概要】 アングロサクソン人のブリテン島渡来を契機とする英語の発祥（古英語）から、その後の変遷（中英語～初期近代英語～現代の英語）と国際語への広がりに至る過程を辿り、内的・外的要因による様々な変化を概観して、人間言語のひとつとしての英語の通時的な姿を学ぶ。その上で現代英語との関連を考えながら過去の英語の姿を観察し、英語に起きた変化と各時代の社会的・文化的背景との関係を考えることによって、現代英語および言語と社会の関係についての知見を深める。

211129 英語指導法

【到達目標】

- ・英語の指導法を理解する
- ・英語の指導法を適切に選択して授業を立案することができる
- ・適切な指導法を用いた英語指導の実践力を養う

【概要】 本講義では、英語教授法等をもとに、理論的、かつ、体系的に英語の指導法を整理した上で、多様な指導環境に応じた、より適切な指導法について詳説する。また、技能別

の指導法のみでなく、技能を統合した指導法も扱う。さらに、英語授業の DVD の視聴や授業参観を通して、どのような英語の指導法がどのように実践されているかを分析する。これらの学習を踏まえて、目的に応じた英語の指導法を選択して指導案を作成し、模擬授業を実施する等して実践的な英語指導力を養う。

#### 211130 児童英語指導法

##### 【到達目標】

- ・ 児童に向けた英語の基本的な指導法を理解する
- ・ 児童に向けた英語の基本的な指導法を適切に選択して授業を立案することができる
- ・ 適切な基本的な指導法を用いた児童に向けた英語の指導力を養う

【概要】 本講義では、英語教授法等をもとに、理論的、かつ、体系的に児童英語の指導法を整理した上で、多様な指導環境に応じた、より適切な指導法について詳説する。また、技能別の指導法のみでなく、技能を統合した指導法も扱う。さらに、児童英語授業の DVD の視聴や授業参観を通して、どのような児童英語の指導法がどのように実践されているかを分析する。これらの学習を踏まえて、目的に応じた児童英語の指導法を選択して指導案を作成し、模擬授業を実施する等して実践的な児童英語指導力を養う。

#### 211131 第二言語習得研究法

##### 【到達目標】

- ・ 第二言語習得の研究法を理解する
- ・ 第二言語習得の研究法を適切に選択して研究を立案することができる
- ・ 第二言語習得に関する調査・実験をすることができる。
- ・ 第二言語習得に関する研究の報告書を作成することができる

【概要】 第二言語習得は学際的な研究分野であり、それに伴い、研究手法も関連する学問分野により多岐・多様に渡っている。本講義では、まず、そのような第二言語習得のさまざまなデータ収集・分析方法等の研究手法を整理しながら概観する。そこで得た知識をもとに、履修者各自が関心のある研究テーマを選び、研究計画を立て、実際に実験や調査を実施する。さらに、収集したデータを分析したものを研究報告書としてまとめた上で、口頭による研究報告ができる力を養う。

#### 211132 翻訳学特論

##### 【到達目標】

- ・ 翻訳基礎論で学んだ基礎を土台に、翻訳学の理論と分析方法の理解をさらに深める。
- ・ 日英語間の翻訳において、題材とする作品や事象が、もう一方の言語文化に翻訳・移入された時の実態と問題を分析・考察する。
- ・ 翻訳学の方法論を用いて、摩擦の諸相を分析し、「翻訳」をめぐる問題をより深く考察す

る。

**【概要】** 「翻訳基礎論」を土台に、より詳しく翻訳を分析するさまざまな方法論について確認する。そのうえで、主として「日英語対照研究」を行う。プロの翻訳者により翻訳された文と原文との比較対照と分析が中心になる。たとえば、言葉がより複層的な意味をもって用いられる文学作品を素材とし、現代日本文学の英語訳や、現代英米文学の日本語訳などを、各原文と比較検討する。翻訳の理論と実践についての本格的な理解と能力を涵養する。

#### 211133 通訳学特論

##### **【到達目標】**

- ・通訳に必要な外国語能力(英語)について、その基礎的な内容の理解と語学力に基づく、より実践的応用的な運用能力を養う。
- ・通訳に必要な母国語能力について、その基礎的な内容の理解と語学力に基づく、より実践的応用的な運用能力を養う。
- ・通訳に必要な言語の文化的背景知識や時事的問題について、その基礎的な内容に関する把握をもとに、より発展的な理解をするとともに、知見や教養を実践的に運用できる力を養う。

**【概要】** 通訳は、高度な母国語能力と外国語能力(英語)、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本講座では、通訳に必要なこれらの能力や教養を身につけるための発展的専門的段階として、その性質や運用方法に関するより実践的な知見と運用方法を習得することを目標とする。また、通訳についての学問的基礎とその広がりに関する基礎的理解をもとに、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割や新たな社会的貢献のあり方について、自律的かつ実践的に考察できる力を養う。

#### 基盤演習

#### 211201 1年次演習(国際英語)

##### **【到達目標】**

- ・国際英語にかかわるさまざまな文献や資料について、これを十分に読解し吸収する情報収集能力を身につける。
- ・国際英語にかかわるさまざまな文献や資料について、論点を見きわめ、その論点について主体的に考察し、考察の結果を的確に発信できる論理的思考力と表現力を身につける。
- ・国際英語にかかわる情報を積極的に探索・収集し、これを学問的研究に活用する主体的なアカデミック・スキルを身につける。

**【概要】** 国際英語にかかわるイングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野に共通する学問的研究方法について基礎的な知識やスキルを培い、それぞれの学問分野に取り組むための基盤を養う。具体的には、第一に、文献や資料を正確に理解するととも

に、そこから可能な限りの情報を引き出す方法を学ぶこと。第二に、文献や資料を能動的に扱い、その論点を見きわめた上で、自らの見解を適切に構築する力を培うこと。そして第三に、国際英語にかかわる情報への関心を高め、その収集を主体的に行えるようにすること、である。

#### 211202 Study Abroad 基礎演習

##### 【到達目標】

- ・スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる主体的な研究課題(英語文学、英語学、英語教育学、Professional English Skillsに関わるもの)の設定について、その基礎となる知識とスキルを身につける。
- ・スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる研究課題の基礎的探究能力を身につける。
- ・スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる表現能力および適切な語学力運用方法を身につける。

【概要】 本演習は、スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる国際英語に関連した研究課題(英語文学、英語学、英語教育学、Professional English Skillsに関わるもの)の設定のための基礎的な知識とスキルを習得するとともに、その課題を学問的に探究するための方法を実践的に身につけ、あわせて、スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で不可欠な英語による表現能力や語学力の運用方法を養うことを目的とする。また、これらの目的を達成するために、研究課題探究のための主体的積極的な学習姿勢を涵養する。

#### 211203 First-Year English Seminar

##### 【到達目標】

The goal of First-Year English Seminar is for students to be able to:

- write grammatically correct sentences
- write well-constructed paragraphs in English
- write carefully organized 1 page essays consisting of a series of paragraphs
- understand what plagiarism is and how to avoid it
- acquire basic communicative skills in English through classroom activities

【概要】 この演習は国際英語学科が提供する英語によるコミュニケーション能力の養成プログラムの最初の授業である。リーディングに基づくライティングを基礎に、ネイティブ教員の説明を聞き、プレゼンテーションと質疑応答のインタラクションを通してリスニングとスピーキングの力を涵養し、四技能の統合を目指す。授業はすべて英語で行われる。学生は学術論文における多様なパラグラフについて学び、自分でも作成する。その際に、レイアウトや構成を学び、適切な語彙、文法、そして本論にある文章間のつなぎの言葉を用いることを習得し、最終的には2～3つのパラグラフで構成されたエッセイを完成させる。また、自分の作文を自分で編集し、修正する方法を学ぶ。作成したエッセイに基づき、プレゼンター



ションおよび質疑応答を行う。プレゼンテーションは、発表者とオーディエンスのインタラクションから成り立つことを知り、発表者としての説得的な話し方とオーディエンスとしての情報の正確な聞き取り方や積極的なレスポンスの仕方を学ぶ。

#### 211204 First-Year English Seminar

##### 【到達目標】

The goal of First-Year English Seminar II is for students to be able to:

- write grammatically correct sentences
- write good outlines for short academic essays
- write effective introductions that include a coherent thesis statement
- write 2-page academic essays developing a central thesis
- acquire advanced communicative skills in English through classroom activities

【概要】 この授業では前期の「First-Year English Seminar I」でパラグラフ・ライティングについて学んだことに長文読解の要素を加えることで、エッセイ・ライティングを軸に四技能を統合した英語コミュニケーション力のさらなる増強を目指す。授業はすべて英語で行われる。テキスト読解力をつけること、論文の主旨を発展させ補強すること、アウトラインを構成すること、効果的な序論と結論を書くことを身につける。文法的にも間違いのないエッセイ作成を特に心がける。最終的には、「序論、複数のパラグラフで成り立つ本論、結論」で構成されたアカデミック・エッセイを作成することを目指す。書く過程でのピアエディティング、書いたものを基にしたプレゼンテーションと質疑応答（オーディエンス側の聞き取りおよびレスポンスの仕方の習得を含む）などのインタラクティブな活動を通して、より高度なコミュニケーション能力を養成する。

#### 211205 Second-Year English Seminar

##### 【到達目標】

The goal of Second-Year English Seminar is for students to be able to:

- write grammatically correct sentences
- improve reading skills directly related to academic writing
- build on their ability to write academic essays consisting of an introduction, body, and conclusion
- understand the importance of quotations and evidence in writing academic essays
- recognize and avoid plagiarism

【概要】 この授業は1年次の「First-Year English Seminar I・II」で得たスキルをふまえ、3年次の「Third-Year Research Writing I・II」に繋げるための授業である。国際英語学科の各専門分野のテキストを読んで理解し、論じ、それについて英語で書く力を学生が身につけることができるよう構成されている。テキストを理解し分析する能力を高め、理解した内容について、短い学術的なエッセイ（その際、MLAやAPAの形式に従った引用、主題文を補強する証拠、文献目録を含む）を書く能力を向上させることがこの授業の目標である。

#### 211206 Research Project for Study Abroad

#### 【到達目標】

- ・スタディ・アプロードによる勉学を遂行する上で必要となる研究課題(英語文学、英語学、英語教育学、Professional English Skillsに関わるもの)について、その内容と研究方法を具体的に理解する。
- ・スタディ・アプロードによる勉学を遂行する上で必要となる研究課題についての発展的探究能力を身につける。
- ・スタディ・アプロードによる勉学を遂行する上で必要となる表現能力および語学力運用手法について実践的に習得する。

【概要】 本演習は、スタディ・アプロードによる勉学を遂行する上で必要となる国際英語に関連した研究課題(英語文学、英語学、英語教育学、Professional English Skillsに関わるもの)を明確に理解するとともに、その課題にあわせてこれを探究する本格的な学問的手法を身につけ、あわせて、スタディ・アプロードによる勉学を遂行する上で不可欠な英語による表現能力や語学力の運用方法を、海外の大学での実践的状况を想定して養うことを目的とする。各研究課題について、研究の現況や先行研究についても、主体的積極的に情報を収集する力を養う。

#### 211207 英語音声学

#### 【到達目標】

- ・英語の音声的特徴および発音の仕方に関する基本的概念を理解する。
- ・英語独特の強勢パターン、イントネーション、リズム感を含む英語らしい発音を習得する。

【概要】 英語独特の音声的特徴の基本的知識を学ぶとともに、英語の発音の仕方を身につけることを目的とする。母音の構成、子音の種類、音節の成り立ち、音のつながり(linking)、語・句・文の各レベルにおける強勢パターン、イントネーション、リズムなどについて、日本語との違いを念頭に置きながら学習する。同時に、CD教材やCALL教室のインタラクティブなトレーニングソフトなどを用いて、英語の発音の実践練習を行い、英語らしい発音の仕方を体得する。

#### 211208 英文法

#### 【到達目標】

- ・英語の文法に関する基礎的知識を確認・徹底し、説明できるようになる。
- ・英文法の知識を文法的に正しい英文を作成することに活用できるようになる。
- ・英文法の知識を実際の英語使用の文脈で活用できるようになる。

【概要】 英語の文法について、品詞・用法などについての基礎知識を確認・徹底し、その知識を実践の中で活用できるようになることを目的とする。この目的のために、まず英語の運用には不可欠である文の基本構造や品詞の分類の徹底をはかった上で、使用領域による語法や構文の多様性などを考察し、生きた英語の知識の一部としての英文法を体得する。

授業は演習形式で、学生による説明や練習問題訓練を中心に行う。

#### 211209 English Studies 入門演習

##### 【到達目標】

- ・英語で書かれた文学、文化、英語学のテキストを読む力を養う。
- ・それぞれの学問分野の基礎的な知識、方法論を習得する。
- ・複眼的なものの見方を習得し、みずから思考する態度を養成する。
- ・議論の組み立て方を学び、それを伝える能力を養う。
- ・以上を踏まえてレポートを書く基礎を身につける。

【概要】 English Studies を英語で発信される文学や文化の研究、および英語という言葉  
を研究する英語学と位置付け、研究方法について基礎的な知識やスキルを養成し、かつ学問  
に誠実に向かい合う心構えを、演習形式によって各学生に身につけさせることを目標とする。  
具体的には、以下の三点に集約される。第一に、テキストを正確に読み解く力を養うこと。  
第二に、先行研究を調べ、先行研究に対してどのように自己の見解を作り上げてゆくべきか  
を考えること。そして第三に、他者を説得する論理を、組み立て、表現する方法である。

#### 211210 English Studies 入門演習（文学）

##### 【到達目標】

- ・英語で書かれた文学テキストを読解する力を養う。
- ・英語で書かれた文学テキストを読解するのに必要なりサーチ方法を習得する。
- ・英語で書かれた文学テキストを論じる方法を理解する。
- ・英語で書かれた文学テキストを英語で論じる基礎を身につける。

【概要】 English Studies の1つの柱である英語で書かれた文学について、「English  
Studies 入門演習Ⅰ」で学んだ基礎を発展させ、様々な文学テキストにおける読解力を身に  
つけ、問題を発見し、論じる力を育成することを目標とする。演習形式によって受講生は、  
文学テキストから問題点を発見し、論じるために必要なりサーチを行い、議論の組み立てを  
学習し、レポートに仕上げる方法を実践する。

#### 211211 English Studies 入門演習（文化）

##### 【到達目標】

- ・英語による文化テキストを読解する力を養う。
- ・英語による文化テキストを読解するのに必要なりサーチ方法を習得する。
- ・英語による文化テキストを論じる方法を理解する。
- ・英語による文化テキストを英語で論じる基礎を身につける。

【概要】 English Studies の1つの柱である英語を用いて作られた様々な文化テキストに  
ついて、「English Studies 入門演習Ⅰ」で学んだ基礎を発展させ、文化テキストを読解す

る力を身につけ、問題を発見し、論じる力を育成することを目標とする。そのためにカルチュラル・スタディーズの理論の基礎も学習する。演習形式によって受講生は、文化テキストから問題点を発見し、論じるために必要なリサーチを行い、議論の組み立てを学習し、レポートに仕上げる方法を実践する。

#### 211212 English Studies 入門演習 (言語)

##### 【到達目標】

- ・英語の歴史、音声や文法の特徴、社会との関係などについての基本的知識を身につける。
- ・英語を言語学的に洞察する態度を養う。

【概要】 本演習は、「English Studies 入門演習Ⅰ」で学んだ基礎を発展させ、英語という言葉の姿と言語学的な研究方法についての基礎知識を得ることをねらいとする。「世界語」と言われるまでになった英語の現状とその発展の経緯を把握するとともに、音声、語彙、文法、歴史、方言、社会との関係などのテーマごとに学ぶことを通して、英語を多面的に理解すると同時に、それぞれの分野ごとに、どのような問題や研究テーマがあるかを探る。英語概論と英語学入門を兼ねた授業である。

#### 211213 英語教育入門演習

##### 【到達目標】

- ・英語教育の実践の現状を把握する
- ・英語教育の実践に必要な基礎的な知識技能を身につける
- ・英語教育の実践に必要な基礎的な知識技能をもとに英語教育の実践を考察する力を養う

【概要】 本演習では、英語教育に関連する身近な話題を取り上げながら、英語教育の基礎的な知識を習得することを主な目的とする。そのために、学習指導要領や英語教育史、英語教育政策等を通して英語教育の概観を把握する。加えて、英語教授法や英語指導法、第二言語習得等の関連分野の理解を深めることで、英語教育を多角・多面的に捉える。さらに英語教育の実践の現状を体感するために、授業実践のビデオの視聴や授業観察等もする。最後に英語教育のあるべき姿を考察する。

#### 211214 児童英語教育入門演習

##### 【到達目標】

- ・児童英語教育の実践の現状を把握する
- ・児童英語教育の実践に必要な基礎的な知識技能を身につける
- ・児童英語教育の実践に必要な基礎的な知識技能をもとに英語教育の実践を考察する力を養う

【概要】 本演習では、児童英語教育に関連する身近な話題を取り上げながら、児童英語教育の基礎的な知識を習得することを主な目的とする。そのために、さまざまな文献や資料を

もとに、児童英語教育の概観を把握する。加えて、英語教授法や児童英語指導法、第二言語習得等の関連分野の理解を深めることで、児童英語教育を多角・多面的に捉える。さらに児童英語教育の実践の現状を体感するために、授業実践のビデオの視聴や授業観察等もする。最後に児童英語教育のあるべき姿を考察する。

#### 211215 第二言語習得入門演習

##### 【到達目標】

- ・第二言語習得の一般的なメカニズムや個人差の現状を把握する
- ・第二言語習得の一般的なメカニズムや個人差の理解に必要な基礎的な知識技能を身につける
- ・第二言語習得の一般的なメカニズムや個人差の理解に必要な基礎的な知識技能をもとに第二言語習得を考察する力を養う

【概要】 本演習では、第二言語習得に関連する身近な話題を取り上げながら、第二言語習得の基礎的な知識を習得することを主な目的とする。まず、履修者の外国語学習経験や世間に広まっている俗説を整理して身近にある第二言語習得に関連する事項についての意識を高める。さらに、それらの事項にどのような規則性が見られるか等、第二言語習得の現状を整理、分析、考察した上で、今日に至る第二言語習得の一般的なメカニズムや個人差についての研究成果を詳説する。最後に、第二言語習得の効率化や第二言語教育の改善の方法を理論的に模索する。

#### 211216 Classroom English 入門演習

##### 【到達目標】

- ・英語と日本語を使い分けながら実施する英語の指導法を理解する
- ・英語と日本語を使い分けながら実施する英語の授業を立案することができる
- ・英語と日本語を使い分けながら実施する英語の授業を実施する力を養う

【概要】 本演習では、場面に応じて英語と日本語を使い分けながら英語の授業を実施する力を養うことを目的とする。そのために、まず教室内での英語のインプットや英語でのコミュニケーションの意義を概説し、英語と日本語をどのように使い分けるかについて理論的に詳説する。これらの知識技能を身につけるため、英語と日本語を使い分けながら実施する英語の授業案を作成して、模擬授業等を実施した後、振り返りとして教室での英語と日本語の使い方についての考察を深める。

#### 211217 Professional English 入門演習 A

##### 【到達目標】

- ・本学における Professional English 3 領域 ( 翻訳・通訳・実務英語 ) の中から、活字や文字で伝達・発表するタイプのものの概要を知る。
- ・活字や文字を媒体とする英文の種類と文体的特徴を知る。
- ・実践的な学びを通して、多様な英語表現に触れる。

【概要】 さまざまな英語表現の基礎を実践的に学ぶ演習である。本演習では、出版翻訳、英語広報、ニュース、映画字幕など、活字や文字を媒体として表現される英文の種類とそれぞれの文体的特徴を学ぶとともに、丁寧表現、婉曲表現、慣用句など多様な英語表現にも触れる。教師が一方的に指摘するのではなく、履修者同士によるディスカッションを軸にした相互学習の場とする。

#### 211218 Professional English 入門演習 B

##### 【到達目標】

- ・本学における Professional English 3 領域 ( 翻訳・通訳・実務英語 ) の中から、口頭で伝達・発表するタイプのものの概要を知る。
- ・口頭伝達で発信される英語の多様性と特徴を知る。
- ・実践的な学びを通して、多様な英語表現に触れる。

【概要】 さまざまな英語表現の基礎を実践的に学ぶ演習である。本演習では、各種通訳、観光ガイド、商品説明など、口頭で表現されるタイプの英文の種類と文体的特徴を学ぶとともに、丁寧表現、婉曲表現、慣用句など多様な英語表現にも触れる。教師が一方的に指摘するのではなく、履修者同士によるディスカッションを軸にした相互学習の場とする。

#### 211219 Public Speaking

##### 【到達目標】

- ・public speaking において求められる総合的な英語力 ( Listening や Writing、Reading などを含む ) の特徴を理解し、その実践的な運用能力を養う。
- ・public speaking における論理的で説得力のある構成方法や、発話内容に関する資料収集や分析方法を、総合的な英語運用能力を向上させつつ、習得する。
- ・public speaking の社会的な役割と機能の諸相について、総合的な英語運用能力を向上させつつ、習得する。

【概要】 本科目は、英語によるプレゼンテーションを十分におこなうことのできる知識と総合的な英語運用能力を身につけることを目的とする。英語によるプレゼンテーションには、スピーキングの基礎力が必要となることは言うまでもないが、それとともに、総合的な英語運用能力、特に、聴衆の言語的特徴を知り、スピーキングの内容について英語の諸情報を的確に収集しつつ、それを論理的で説得力のある形で発話するといった総合的な知識とスキルが求められる。本科目ではこれらの知識とスキルについて、実践的な演習を通じて習得する。

#### 211220 翻訳入門演習

##### 【到達目標】

- ・多種多様な英文にできるだけ多く触れて慣れる。
- ・様々なタイプの英文テキストを正確に読み取る力を養う。
- ・読み取った英文の意味を適確な日本語で再現する方法を実践的に知る。

【概要】 日英語間の翻訳実習を中心とした演習である。翻訳力の基礎を養うために、多種多様な英文にできるだけ多く触れ、原文が伝達しようとしている内容を正確に読み取る力を養うとともに、読み取った原文の意味を適確な日本語で再現するために、日本語の表現力を養成する。そのためには、相当量の練習を重ねることが基本になる。教師が一方向的に添削指導するだけでなく、履修者同士の訳文の比較対照や互いの訳文批正なども行ない、相互学習の場とする。中心となるのは、英語 日本語であるが、時に日本語 英語の翻訳も取り入れる。

#### 211221 通訳入門演習

##### 【到達目標】

- ・通訳に必要な高度な外国語能力（英語）について、その基本的な内容を理解し、基礎的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な高度な母国語能力について、その基本的な内容を理解し、基礎的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な言語の文化的背景知識や時事的問題への理解について、その基本的な内容を理解し、実践的に運用するための基礎力を養う。

【概要】 通訳は、高度な母国語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本演習は、通訳に必要なこれらの能力や教養を身につけるための入門演習として、その性質や運用方法にかかわる基本的な力を初歩的な実践演習を通じて習得することを目標とする。あわせて、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割やニーズ、社会的貢献のあり方について、初歩的な実践演習を通じて理解し、その知見を運用するための基礎を養う。

#### 211222 Study Abroad English

##### 【到達目標】

- ・Study Abroadにおいて、英語力育成にかかわる本学が認めた授業科目を履修し、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングなど英語の四技能について、所定の学修成果をおさめ、実践的な語学運用能力を身につける。

【概要】 本科目は、国際英語学科の必修である海外の教育機関における Study Abroad において、英語力養成にかかわる授業科目を履修し、十分な学修成果をおさめた者に対して、その学修時間に応じて上限 10 単位を認めるものである。留学先での成績評価や学習報告など

により、十分な成果が認められない場合には、単位を認定しない。Study Abroad を通じて十分な英語力を身につけることにより、国際英語学科での勉学をより実質的なものとし、国内外を問わず、英語を実践的に運用できる力を養成する。

211223 Study Abroad Academics

**【到達目標】**

- ・ Study Abroad において、本学が認めた学科科目を履修し、国際英語学科の学問領域に関連した研究分野において所定の学修成果をおさめ、国際英語学科での勉学に有効に活用することができる力を養う。

**【概要】** 本科目は、国際英語学科の必修である海外の教育機関における Study Abroad において、国際英語学科の学問領域にかかわる授業科目を履修し、十分な学修成果をおさめた者に、その学修時間に応じて、上限 16 単位を認めるものである。留学先での成績評価や学習報告などにより、成果が認められない場合には単位を認定しない。Study Abroad を通じて学問研究に資する十分な学力を身につけることにより、国際英語学科での勉学をより実質的なものし、かつ、英語によって培われた専門的知見を国内外において活用する能力が求められる。

## 発展演習

211301 時事英語

**【到達目標】**

- ・ 英文記事を読むのに必要な語彙、文法や文体の基本的ルール、パラグラフの構成を把握し、時事英語を正確に読みこなす英語力を身につける
- ・ 国内外の最新時事について関心を持ち、関連した情報について知識を深める
- ・ 記事を読んで学んだ語彙や文章構成方法を活用し、最新時事について英語で意見を発信する

**【概要】** この演習では、日本国内外の最新のニュースを扱ったさまざまな形式の英文記事を読み、時事英語に特徴的な語彙、文法や文体の基本ルール、段落構成を把握し、習得する。記事で扱われる最新の時事については、そこで用いられる専門用語やその背景に関して自分で調べ理解を深め、さらに、記事にある書き手の価値観や意見を識別することを学ぶ。そして、習得した時事英語の語彙や表現、文章構成方法を実際に用いて、最新時事について自分の意見を英語で発信する。

211302 Critical Thinking

**【到達目標】**



The goal of this course is for students to be able to:

--identify their assumptions about how the world is, to develop critical thinking skills, and to recognize logical fallacies

--acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically

**【概要】** この授業では、まず、議論の構造を持つさまざまな文章の構成部分や他の多様な伝達情報の傾向を見極める。また、critical thinkingを通して種々の問題を解決することを学ぶ。その際、議論のなかにあるさまざまな価値基準や先入観を見極め、問題解決のための多様な代替案を比較検討することで、現実的かつより理路整然とした結論を導き出す。この授業では、公共の議論の場の言説におけるさまざまな議論を分析することに、特に焦点をあてる。

211303 3年次演習（国際英語）

**【到達目標】**

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究するために必要となる学問的枠組みと研究手法について、その基本的な知識とスキルを身につける。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究するために必要となる基本的な情報収集能力、分析力、および論理的思考力を身につける。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究し、学術論文をまとめるために必要となる表現力を身につける。

**【概要】** 本演習は、卒業論文研究へ向けた演習の第一段階であり、イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野に分かれ、各分野の学問的考究の枠組みを理解し、研究課題の基本的な設定方法や研究課題に応じた資料や情報の収集の仕方を習得し、卒業論文執筆のための基本的な論理構成力や表現力を養うことを目的とする。あわせて、各分野の研究動向や先行研究の概要についても理解し、卒業研究のための勉学を主体的に進めるための学習態度を涵養する。

211304 3年次演習（国際英語）

**【到達目標】**

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究するために必要となる学問的枠組みと研究手法について理解を深め、自らの研究内容の概要についての確に理解する。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究するために必要となる情報収集能力、分析力、および論理的思考力を高め、自らの研究課題に応用できる力を身につける。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究し、学

術論文をまとめるために必要となる表現力を高め、短めの論文にまとめる力を身につける。

**【概要】** 本演習は、卒業論文研究へ向けた演習の第二段階であり、イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野に分かれ、各分野の学問的考究の枠組みへの理解を深め、研究課題を具体的に設定し、その研究課題に応じた資料や情報の収集力、卒業論文執筆のための論理構成力や表現力を高めることを目的とする。あわせて、各分野の研究動向や先行研究についても、自らの研究課題にあわせて的確に理解し、卒業研究のための勉学を自律的に進めることができる力を涵養する。

#### 211305 Third-Year Research Writing

##### **【到達目標】**

The goal of Third-Year Research Writing I is for students to be able to:

- edit and successfully revise their own essays
- use a wide variety of sources such as books, periodicals, films, and reliable Internet sites in their research and writing
- further develop their critical analysis skills directly related to academic writing

**【概要】** この授業は、2年次に学んだエッセイ・ライティングのスキルをふまえ、さらに発展させた内容になっている。学術的なエッセイを書く能力をさらに向上させることが到達目標であり、従って授業の多くはエッセイのテーマについてのリサーチ方法の習得や、各専門分野から選んだテーマについてより長文のエッセイを書き、それを自分で編集し修正することに費やされる。数回課せられる長文エッセイも、授業内でのアクティビティも、より高度な内容を求められている。

#### 211306 Third-Year Research Writing

##### **【到達目標】**

The goal of Third-Year Research Writing II is for students to be able to:

- use the skills previously learned in the TWCU writing program to produce well-crafted 4-5 page academic essays
- collect sources and prepare correctly an extensive works consulted
- prepare students to write a successful Graduation Essay in their senior year

**【概要】** この授業は「Third-Year Research Writing I」の内容をふまえ、さらに発展させた内容になっている。4年次の卒業論文執筆に備えて、研究論文を書く力をさらに伸ばすことが到達目標となっている。従って授業時間の多くはエッセイのテーマについてのリサーチ方法の習熟や、各専門分野から選んだテーマについてより長文かつ洗練されたエッセイを書き、それを自分で編集し修正することに費やされる。数回課せられる長文エッセイも、授業内でのアクティビティも、より高度な内容を求められている。

#### 211307 英語文学演習（演劇）

##### **【到達目標】**

- ・演劇作品のさまざまな様式を理解し、文学作品としての演劇を読解する力を身につける。
- ・演劇という表現ジャンルの特質を理解する。
- ・演劇作品の持つ文化的社会的影響力の特質についての理解を深め、実証的な研究への応用力を身につける。

**【概要】** 英語表現の一ジャンルとしての演劇の特徴を理解した上で、本演習では、イギリス、アメリカおよびイギリスやアメリカと関係の深い英語圏文化を中心に、代表的な戯曲をいくつか取り上げ、英語で精読する。戯曲と実際の上演の関係を考慮しながら、科白やト書きの解釈の仕方や、ポーズのとり方の考察なども含め、演劇作品の読解に必要な知識を習得させる。さらに、できるだけ舞台上演のビデオも見せながら、英語で書かれた演劇の文学的・文化的・社会的意味を考察させる。

#### 211308 英語文学演習（小説）

##### 【到達目標】

- ・近代・現代小説の narrative を正確に読解し、その正確な読解を通じて、作品解釈のための確かな素地を養う。
- ・言語表現に際して生じる諸問題について理解し、それぞれについて作家たちが取る立場を把握できるようになる。
- ・正確な読解をもとに、批評のための論点を的確に整理して表現できるようにする。

**【概要】** この授業では英語圏の国々において書かれた小説作品の読解を対象とする、演習形式の授業である。テキストを綿密に読み進めつつ、学生からのアクティブな参加と教師からのフィードバックに基づく活発な議論を前提として、人間社会の歴史的推移、人種、階級、ジェンダー、セクシュアリティなど種々の視点から作品の分析と解釈を試み、個々の作品のみならず、その作品を成立させた大きな文化的・歴史的コンテキストのより深い理解を得ることを目的とする。

#### 211309 英語文学演習（詩）

##### 【到達目標】

- ・英詩の韻律とリズムについての基礎を理解し、具体的な作品読解に応用できる力を身につける。
- ・英詩表現が有するさまざまな表象的特質（シンボリズム、メタファー、作品の構造など）の基礎を理解し、具体的な作品読解に応用できる力を身につける。

**【概要】** 英米のみならずその他の国も含め、英語で書かれた詩の作品をとりあげて、その

緻密な分析と読解を試みる演習形式の授業である。詩的言語で表現される詩人の発見ともいべき新鮮な認識を読み取るために、詩の構成要素である主題、イメージや象徴などの比

喩、構造、リズムや詩の調子などに注意を払いながら詩の解読を試み、発表することが求められる。その後発表にもとづく討論があり、詩人が追求している詩的言語の可能性を、追体験することにより詩の本質を学ぶ。

#### 211310 英語文学演習（児童文学）

##### 【到達目標】

- ・ 児童文学の本質についての理解を深める。
- ・ 英米の「子ども」観について考察を深める。
- ・ 児童文学作品をめぐる文化的背景を多角的に理解する。
- ・ 作品の「ことば」を手がかりに、自分の力で読解・分析する能力をさらに涵養する。

【概要】 人間・社会・世界に目を開かせ、自己確認と自己確立を促し、楽しませつつ深く考えさせるという児童文学の本質を、具体的な作品の原書を講読することで理解を深める演習である。英語圏児童文学を主たる題材とし、リアリズムやファンタジー等の種々のサブジャンル、幼年向けからヤングアダルトまでの読者対象など、できるだけ多様な作品を選んで読み解く。作品や作家の背景についても合わせて学ぶ。各自が原書を読み進めるだけでなく、グループでのディスカッションやレジュメを作ったの口頭発表など、ピアラーニングも取り入れる。

#### 211311 英語文学演習（比較文学）

##### 【到達目標】

- ・ 比較されるテキストの読解力を身につける。
- ・ 比較すべきトピックを見いだす力を習得する。
- ・ 比較文学の理論や方法に基づいてテキストを分析することができるようになる。
- ・ 比較をトピックに文学テキストを論じることができるようになる。

【概要】 比較文学の理論や方法に関するテキストを読み、理解することが本演習でまず求められる。その上で、英語圏、および英語圏の文学テキストとの関係で、その中のいくつかの理論や方法にスポットを当て、実際のテキストを題材に議論を通して比較する方法を学んでいく。あるテキストと別のテキストの影響関係を実証的に研究する方法や、国や地域といった文化的コンテキストの異なるテキストを対比する方法、文化的コンテキストの異なる文学の受容を研究する方法などを実際のテキストを題材に、議論を通して実践していく。

#### 211312 英語文学演習（映像と言語表現）

##### 【到達目標】

- ・ 英語圏で作成された映像による表現の歴史や特徴を理解する。
- ・ 英語圏で作成された映像における言語表現のさまざまな役割を理解する。
- ・ 英語圏で作成された映像と言語表現をテキストとして読解する手法を理解する。

・上記の点を、議論を通して論じることができるようになる。

**【概要】** 映像とは映画、テレビ、写真などの画像であるが、映像は映像のみで完結することは少なく、言語表現を伴うものが大半である。本演習では、一つには英語圏で作成された映像と言語表現の結びつきを歴史的な文脈や媒体の特徴と併せて考察し、議論することを目標とする。また、映像が言語表現と併せて用いられる点に着目し、言語表現との関係で映像を理解するだけでなく、映像が言語表現として翻訳され、見るものに理解される仕組みを、様々な例に関して議論し、理解を深めることを目標とする。

#### 211313 英語学演習（意味論）

##### 【到達目標】

- ・意味論の諸理論の基本を理解する。
- ・それらを多様な英文に適用し、英語の「意味」を総合的に分析する力を養成する。

**【概要】** 本演習は、意味論の諸理論からのアプローチにより、具体的な英語使用の場で、どのように「意味」が成り立っているかを考察し、理解を深めることを目的とする。実際の英語使用における「意味」の諸相を観察し、分析する。さらに、例えば、文学、意味論の応用としての辞書、言語間で意味をやり取りする通訳・翻訳などを含めた様々なジャンルにおける「意味」を多角的に論じる。各自の発表形式で授業を進め、資料収集、文献検索、データ分析の方法などを習得させる。

#### 211314 英語学演習（語用論）

##### 【到達目標】

- ・語用論の諸理論の基本を理解する。
- ・それらを多様な英文に適用し、英語を発話のレベルで総合的に分析する力を養成する。

**【概要】** 本演習は、発話行為論、ポライトネス理論、含意のメカニズムに関する理論、会話分析、談話分析、二言語間の語用論など、語用論の諸理論からのアプローチにより、具体的な英語使用の場で、どのように英語が発話されているかを多角的に考察し、理解を深めることを目的とする。あわせて英語教育への応用の仕方についても論じる。各自の発表形式で授業を進め、資料収集、文献検索、データ分析の方法などを習得させる。

#### 211315 英語学演習（音韻論）

##### 【到達目標】

- ・「音素」という概念について理解を深める。
- ・言語間の音構成（音素システム）や音節構造の違いを理解する。
- ・様々な言語に見られる強勢パターンやイントネーションの働きについて理解する。

**【概要】** 母音や子音の音声的特質と役割の違い、言語ごとの音の種類や音節構造の違い、言語使用者による音声の認知や識別などの問題を探ることによって、言語における「音声の

働き」について学ぶ。「音素」という概念の理解を深めることが中心となるが、個別音だけでなく、「超分節音素」と言われる強勢やイントネーションの特徴や働きについても考察する。音韻論には、これまでさまざまな理論や学説が提唱されてきたが、それらの理論的な側面にも触れる。

#### 211316 英語学演習（形態・統語論）

##### 【到達目標】

- ・英語を中心とする様々な言語における単語・文構造に関連する現象について、客観的に分析する手法を習得する。
- ・形態・統語論に関わる先行研究における分析方法や、それらの特徴を理解する。
- ・上記2点を通じて、英語、ひいては人間の言語の構造に対する理解を深める。

【概要】 主に1980年代以降の英語で書かれた先行研究を参照しながら、形態・統語論に関わる具体的な資料を客観的に分析し、考察を加える。英語、日本語、その他の言語の多様な形態・統語現象の中に規則性を発見し、人間の脳に内在する認知能力の一部を成す文生成のメカニズムを探る。一見互いに異なる構造の間に見られる一般性、および言語間の共通性と差異についての手がかりを確かめていく過程を経験することによって、言語を見る眼を養うとともに、資料を分析する能力、議論を組み立てる能力を強化し、自然界の一部であり自らのこころの一部でもある「人間の言語能力」に迫ろうとする人間の知的営みを体験する。

#### 211317 英語学演習（社会言語学）

##### 【到達目標】

- ・社会言語学の諸理論の基本を理解する。
- ・それらを英語と社会の関係の分析に応用する力を養成する。

【概要】 本演習は、英語の言語使用者（出身地・社会階層・年齢・性別・民族的バックグラウンドなど）と言語使用（レジスターなど）に関わる社会的変異の諸相を、多角的かつ具体的に考察することを目的とする。一次資料および代表的論文を読み、社会言語学の諸理論を用いて、自らが選んだ英語にかかわる社会的変異を観察し、分析する。各自の発表形式で授業を進め、資料収集、文献検索、データ分析の方法などを習得させる。

#### 211318 児童英語教育演習

##### 【到達目標】

- ・児童への英語の高度な指導法を理解する
- ・児童への英語の高度な指導法を適切に選択して授業を立案することができる
- ・適切な指導法を用いた児童への英語の高度な指導力を養う

【概要】 さまざまな場面での児童英語の指導法についての理解を高めて、技能別の指導法のみでなく、技能を統合した児童向けの指導法を理解する。また、英語授業のDVDの視聴や

授業参観をして、批判的に英語の指導法を分析する。さらに、目的に応じた英語の指導法を選択した上で授業案を作成する。それをもとに模擬授業を実施する等して実践的な英語指導力を向上させるのみでなく、自分の授業を振り返り、内省して、改善策を提示する等して自律した教師を目指す。

#### 211319 第二言語習得演習

##### 【到達目標】

- ・第二言語習得の特定のメカニズムに関する専門知識を習得する
- ・第二言語習得の研究を立案して実施することができる
- ・第二言語習得の研究結果を発表する力を養う

【概要】 本演習では、第二言語習得研究の中の特定の分野をひとつ、もしくは、複数取り上げて、その分野の研究論文を学術的に作成・発表する力を養うことを主な目的とする。そのために、まず、取り上げられた分野のデータ収集・分析方法等の研究手法を整理しながらまとめて、その研究手法を用いた研究計画案を立て、その案に沿って実際に実験や調査を実施してもらう。そこで収集されたデータを分析し、分析結果を考察して研究報告書を作成し、さらに、その報告書の内容を口頭で発表する力を育成する。

#### 211320 Classroom English 演習

##### 【到達目標】

- ・英語での英語の授業の指導法を理解する
- ・英語での英語の授業を立案することができる
- ・英語での英語の授業をする英語力および指導力を養う

【概要】 本演習は英語の授業を英語のみで実施する力を養うことを主な目的とする。そのために、まず内容重視教授法や内容言語統合型学習等のように、英語のみで授業をする教授法の意義やその指導法、教室で使用する英語表現等について理論的かつ実践的に詳説する。また、授業のビデオの視聴や公開授業の参観等を通して、このような手法での英語の授業の理解を深める。さらに、実際に指導案を作成して模擬授業を実施した後、その内容についてグループでディスカッションする等して、英語のみで実施する英語の授業について考察を深める。

#### 211321 翻訳演習 A

##### 【到達目標】

- ・多種多様な英文の中から、文芸作品の英文テキストを正確に読み取る力を養う。
- ・文芸作品の英文の多様な特徴を適確に掴む。
- ・読み取った英文の意味を適確な日本語で再現する方法を実践的に学ぶ。

【概要】 日本語と英語の間の翻訳実習を中心とした演習である。「翻訳入門演習」を土台と

して、Aでは文芸作品の翻訳実習を行なう。一般・児童など読者対象を限定せず、文芸作品（ノンフィクションも含む）の表現形式の多様性とその意味を明確に理解し、それを訳出する練習を行なう。教師が一方的に添削指導するだけでなく、履修者同士の訳文の比較対照や互いの訳文批正なども行い、相互学習の場とする。中心となるのは、英語 日本語であるが、時に日本語 英語の翻訳も取り入れる。

#### 211322 翻訳演習 B

##### 【到達目標】

- ・多種多様な英文の中から、実務文書の英文テキストを正確に読み取る力を養う。
- ・実務文書の英文の多様な特徴を適確に掴む。
- ・読み取った英文の意味を適確な日本語で再現する方法を実践的に学ぶ。

【概要】 日英語間の翻訳実習を中心とした演習である。「翻訳入門演習」を土台として、Bでは実務文書の翻訳実習を行なう。様々な分野にわたる実務文書に用いられる英文のヴァリエティを知り、それを訳出する練習を行なう。教師が一方的に添削指導するだけでなく、履修者同士の訳文の比較対照や互いの訳文批正なども行い、相互学習の場とする。中心となるのは、英語 日本語であるが、時に日本語 英語の翻訳も取り入れる。

#### 211323 通訳演習 A

##### 【到達目標】

- ・通訳に必要な高度な外国語能力（英語）について、その実践的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な高度な母国語能力について、その実践的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な言語の文化的背景知識や時事的問題への理解を深め、その知見を実践的に応用できる運用能力を養う。

【概要】 通訳は、高度な母国語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本演習は、通訳に必要なこれらの能力や教養を身につけることを目的とする発展的実践的演習である。あわせて、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割やニーズ、社会的貢献のあり方についても理解を深め、その知見を通訳に生かすための運用能力を養う。「通訳演習 A」では、主に、英語の聞き取り訓練や英日・日英の逐次通訳を中心に扱う。

#### 211324 通訳演習 B

##### 【到達目標】

- ・通訳に必要な高度な外国語能力（英語）について、その実践的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な高度な母国語能力について、その実践的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な言語の文化的背景知識や時事的問題への理解を深め、その知見を実践的に応用できる運用能力を養う。



【概要】 通訳は、高度な母国語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本演習は、通訳に必要なこれらの能力や教養を身につけることを目的とする発展的実践的演習である。あわせて、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割やニーズ、社会的貢献のあり方についても理解を深め、その知見を通訳に生かすための運用能力を養う。「通訳演習 B」では、主に、異文化間コミュニケーションやアイデンティティの問題について実践的に対応できる力を養う。

#### 211325 Professional English 演習 A

##### 【到達目標】

- ・本学における Professional English 3 領域（翻訳・通訳・実務英語）の中から、活字や文字で伝達・発表するタイプのものの概要を知る。
- ・活字や文字を媒体とする英文の種類と文体的特徴を知る。
- ・実践的な学びを通して、多様な英語表現に触れる。

【概要】 さまざまな英語表現の基礎を実践的に学ぶ演習である。「Professional English 演習 A」では、出版翻訳、英語広報、ニュース、映画字幕など、活字や文字を媒体として表現される英文の種類とそれぞれの文体的特徴を学ぶとともに、丁寧表現、婉曲表現、慣用句など多様な英語表現にも触れる。教師が一方向的に指摘するのではなく、履修者同士によるディスカッションを軸にした相互学習の場とする。

#### 211326 Professional English 演習 B

##### 【到達目標】

- ・本学における Professional English 3 領域（翻訳・通訳・実務英語）の中から、口頭で伝達・発表するタイプのものの概要を知る。
- ・口頭伝達で発信される英語の多様性と特徴を知る。
- ・実践的な学びを通して、多様な英語表現に触れる。

【概要】 さまざまな英語表現の基礎を実践的に学ぶ演習である。「Professional English 演習 B」では、各種通訳、観光ガイド、商品説明など、口頭で表現されるタイプの英文の種類と文体的特徴を学ぶとともに、丁寧表現、婉曲表現、慣用句など多様な英語表現にも触れる。教師が一方向的に指摘するのではなく、履修者同士によるディスカッションを軸にした相互学習の場とする。

#### 211327 4 年次演習（国際英語）

##### 【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各学問分野の特質と広がりを理解し、学生自らの卒業研究の研究課題について、その研究内容とオリジナリティを理解する。

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各学問分野の先行研究への理解を深め、研究手法についても十分に習熟することができる。
- ・学生自らの研究課題に関する問題意識と論証を論理的で説得力のある論文にまとめるための表現力を身につける。
- ・学術論文執筆のための具体的手法に習熟するとともに、学生自らの研究成果の学問的・社会的意義を明確に理解する。

【概要】 本演習は、卒業研究を進めるための発展的・実践的能力を習得するための4年次生必修の演習であり、3年次演習で身につけた知見と能力を伸ばし、卒業研究の成果をまとめるにふさわしい実力を涵養することを目的とする。演習は、イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野に分かれ、それぞれの専門分野における重要な文献資料等を綿密に考察するとともに研究成果を適切にまとめるための論理構成力や表現力を養い、卒業研究を自律的に進めるための力を養う。

211328 4年次演習(国際英語)

【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各学問分野の特質と広がり習熟し、学生自らの卒業研究の研究課題について、その研究内容とオリジナリティを正確に理解する。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各学問分野の先行研究への十分な理解をもとに、各分野の研究手法を実践的に運用できる力を身につける。
- ・学生自らの研究課題に関する問題意識と論証を論理的で説得力のある学術論文にまとめるための十分な表現力を身につける。
- ・学術論文執筆のための具体的手法への習熟をもとに、学生自らの研究成果の学問的・社会的意義を的確に表現できる力を養う。

【概要】 本演習は、卒業研究を進めるための実践的能力を伸ばし、学生自らの卒業研究を十分な学問的成果としてまとめるための力を養う4年次生必修の最も発展的な演習である。演習は、イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野に分かれ、それぞれの専門分野における重要な文献資料等の綿密な考察や、これまでに培った研究成果を適切にまとめるための論理構成力や表現力をもち、学問的社会的に意味のある卒業研究を仕上げるために必要な能力を養う。

卒業論文

#### 211401 卒業論文

##### 【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野の学問的特質を理解した上で、学生自ら、オリジナリティのある研究テーマを設定することができる。
- ・学生自らの設定した研究テーマにそって先行研究や各種資料などを収集・分析する力を養う。
- ・学生自らの問題意識や設定した仮説を、論理的・批判的考察により実証する力を養う。
- ・論理的で説得力のある表現により、研究成果を学問的社会的に意義のある論文にまとめる力を養う。

【概要】 学生が自らの知的関心に沿って研究テーマを設定し、先行研究や各種資料を収集・分析して仮説をたて、論理的・批判的考察を積み重ねることによって仮説を実証し、得られた結論を説得的に表現する、という一連の学問的営みを通じて、学士課程での集大成として論文を英語で執筆する。3年次演習や4年次演習を通じて得られた、各学問分野で必要となる知見や方法論を十分に生かしつつ、各担当教員が個別に指導をおこなう。提出された卒業論文は、複数の教員から成る主査・副査体制により、口述試問を実施した上で審査をする。

#### 211402 Final Presentation

##### 【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野の学問的特質を理解した上で、学生自ら、オリジナリティのある研究テーマを設定することができる。
- ・学生自らの設定した研究テーマにそって先行研究や各種資料などを収集・分析する力を養う。
- ・学生自らの問題意識や設定した仮説を、論理的・批判的考察により実証する力を養う。
- ・論理的で説得力のある表現により、研究成果を学問的社会的に意義のある形で公表する力を養う。

【概要】 学生が自らの知的関心に沿って研究テーマを設定し、先行研究や各種資料を収集・分析して仮説をたて、論理的・批判的考察を積み重ねることによって仮説を実証し、得られた結論を説得的に表現する、という一連の学問的営みを通じて、学士課程の集大成として成果をまとめる。3年次演習や4年次演習を通じ、各担当教員による個別の指導を得て研究成果を、英語による主論文および副論文（研究内容に即した成果物）としてまとめ、この主論文と副論文をもとに英語による Final Presentation を実施し、複数の教員から成る主査・副査体制で審査をする。

# 人文学科

## ■ 基盤講義

### 220001 人文学入門

#### 【到達目標】

- ・ 人文学の基本的な内容を理解する。
- ・ 各分野の学問の基礎を学ぶとともに、人文学全体を見渡す広い視野を身につける。
- ・ 授業中に触れた参考文献を軸に、書物を読む基本的な姿勢を身につける。

**【概要】** 人文学は人間の知的・文化的な営みと成果を探究することを目指す学問である。この講義では、人文学科の3つの専攻、哲学・日本文学・歴史文化の探究の一端をそれぞれ紹介する。これによって人文学の課題や研究方法の基礎を学ぶ。それと同時に、他の専攻とのつながりや共通点についても学ぶことにより、人文学の知の全体を広く眺め、大きな視野から人間の文化を探究する基本姿勢を身につける。授業は3つの専攻の教員によるチェーン・レクチャー方式で進める。

### 220002 宗教史

#### 【到達目標】

- ・ 宗教の基本的特質を十分に理解できる力を養う。
- ・ 宗教について通時的な把握が十分にできる力を養う。

**【概要】** キリスト教、仏教をはじめとする世界の諸宗教の成立と発展の歴史を概観する。このような個別の宗教の具体的な成立とその歴史の知識を基本にしなが、宗教とはそもそも何であるかについて、基本的視野を獲得する。

### 220003 法学概論

#### 【到達目標】

- ・ 政治学の基礎概念についての知識を習得する。
- ・ 政治の現状を政治学の基礎概念を用いて操作可能な形で批判的に理解する能力を養う。

**【概要】** 公の空間においてはすべての問題が政治的問題化となる。したがって環境問題や食品偽装問題も政治学の対象になる。また時代が変わっても政治的なるものの本質は変化しない。そのようなスタンダードな政治学を国際政治学まで含みながら講義する。政治思想、政治意識、政治指導者と大衆、官僚制、政党、マスメディアの政治的機能、政治体制論、更に、国際政治に関しても講義する。

## 220004 政治学概論

### 【到達目標】

- ・法律・法制度に関する基本的な知識を習得する。
- ・ものごとに対する法的な考え方を理解する。
- ・現代社会の諸問題を法的観点から分析する能力を獲得する。

**【概要】** 法律学の基礎を学ぶ。法とは何か、また社会と個人との関係を構築する法的な思考を養う。現代社会において法律の果たす役割を学び、法的な考え方を理解させる。個人の人権や権利が侵害されたときに、いかにして法律を利用してその擁護を図るかが課題である。日本国憲法と民法の基礎部分、さらに社会との関連で行政法などにふれた後で、国際法の基礎的な要素も考察する。

## 220005 ミクロ経済学入門

### 【到達目標】

- ・経済学的思考法を身につける。
- ・ミクロ経済学の基礎的な概念と理論を正確に理解する。
- ・市場メカニズムの機能と限界を理解する。
- ・概念や理論と現実の経済の動きを比較対照する姿勢を身につける。
- ・概念や理論を現実に応用しようとする姿勢を身につけ、経済に対する問題意識を持つ。

**【概要】** 経済全体の動きを大きく捉えようとするマクロ経済学に対して、ミクロ経済学は、消費者や企業による消費や生産という身近な経済活動を出発点として、希少な資源の有効活用という問題に対して市場がどのような働きをしているのかを分析するものである。「ミクロ経済学入門」では、経済学を専門としない学生も対象として、経済学的な考え方に慣れ親しむことから始める。その上で、基本的なミクロ経済学の知識を身に付け、現実の経済についての理解を深めることができるようにしてゆきたい。

## 220006 マクロ経済学入門

### 【到達目標】

- ・複雑な現象を「抽象化」して理解する方法に慣れていく。
- ・身近な経済現象をシステムとして捉えることができるようになる。
- ・マクロ経済学の基本的な用語、概念、理論を習得する。
- ・国境を越えて連関する日米の経済問題を理解する。

**【概要】** 経済がグローバル化した今日では、一国で発生したマクロ経済問題が、瞬時に他国に影響を及ぼすことになる。そうしたマクロショックは金融システムや景気や雇用を通じて私たちの生活に影響を及ぼす。この授業の主軸は、マクロ経済学の基礎的な概念と理論を学ぶことであるが、金融政策と財政政策の観点から日本経済が直面する諸問題と課題を理解することをも目指す。

## 220007 社会学概論Ⅰ

### 【到達目標】

- ・社会学の対象と方法を理解する。
- ・社会学のキーテーマを把握する。
- ・社会的なものを見方の特徴をつかむ。

【概要】 社会学の対象と方法を明確化し、社会学とはどういう学問かをしっかりと理解することを目標とする。人々のあいだから生み出されるさまざまな事象、たとえば行為、集団、組織、規範、儀礼、役割、自我、支配／服従、「個人と社会」など、多種多様なものごとを社会学の観点から見ていくために必要な基礎的手続きや方法を学ぶ。

## 220008 社会学概論Ⅱ

### 【到達目標】

- ・社会学の主要な研究領域を把握する。
- ・各研究領域における代表的な社会学知を理解する。

【概要】 社会学の代表的な研究領域、たとえば生産と消費、監視、リスク、国民国家、共同体、ネットワーク、世論、メディア、近代家族、親密性、ジェンダー、学校、医療、労働、文化、階層などについて、何が問題とされ、何が発見されてきたのかを理解することを目標とする。社会学という道具を用いて今ある「社会」を、またその「社会」とかかわり合って暮らす自分自身を捉えなおす作業を通じて、具体的な研究領域に分け入り学習を進めていくための基礎を固める。

## ■特殊講義

## 220101 人文学総合講義

### 【到達目標】

- ・共通の問題に対する哲学・文学・史学それぞれのアプローチの相違や接点を理解する。
- ・専攻する領域の方法を相対化した上で、自覚的な「読み方」「論じ方」を身につける。
- ・人文学の可能性を、現代社会を生きる「わたし」という観点から探究する姿勢を身につける。

【概要】 専攻での専門的な修学を一定ていど進めた段階にある3年生を対象に、あらためて、自身の専攻領域が、同じ人文学として接し合う近隣領域とどのようにつながり、また、学問手法がどのように異なるかを認識させることで、人文学の広がりや豊かさを深く考えさせ、人文学の意義を再確認することを目指す。3専攻からの担当者が共通の問題を設定し、具体的なテキストを素材に、各専攻の学問領域に基づく視点や方法に即した読み方の可能性を提示してみせる。授業は3専攻の教員によるチェーン・レクチャー方式を進める。

## 220102 書道

### 【到達目標】

- ・指導者としてふさわしい漢字・仮名の基本的な筆使いを習得する。
- ・書道の歴史、古典作品を理解し、臨書ができるようにする。
- ・書道の芸術性を理解し、自分なりの作品を作成する力量を身につける。

**【概要】** 国語科指導者としての書道（書写）を養うと共に、書道の芸術性についても理解を深めることを目標とする。毛筆に親しむことから始め、基礎的な書写技能の向上と定着を図る。漢字・仮名の基本的用筆法、古典の鑑賞、臨書など書道芸術の多様性について理解を深める。

## 220103 人文地理学

### 【到達目標】

- ・人文地理学の研究対象を理解し、その研究方法を習得する。
- ・地図の活用法を習得する。
- ・将来、地理教育の現場に立った際、調べ学習などの教材になりうるテーマを習得する。

**【概要】** 人文地理学の主要分野である地理教育史・歴史地理学・社会文化地理学を取り上げる。まずは、地理教育と地理教科書の歴史を学ぶ。続いて、歴史地理学・社会文化地理学の視点から、日本ならびに世界各地の事例を用いて、都市・宗教・ジェンダー・エスニシティなどの問題を考察する。

## 220104 自然地理学

### 【到達目標】

- ・自然環境および自然災害を地理学的に捉え理解する。
- ・地球環境変動および地震災害の原因と実態について理解する。
- ・地形図と空中写真を用いた地形判読をする知識と技術を身につける。

**【概要】** 自然環境および自然災害を地理学的に解析することを目標とする。地球環境変動および地震・地震災害の原因と実態について理解するために、地球温暖化、ヒートアイランド現象、エルニーニョ現象とラニーニャ現象、プレート境界型地震、活断層型地震などのテーマを取り上げる。地形図と空中写真を用いた地形判読の実習を行う。

## 220105 地誌学

### 【到達目標】

- ・地理を担当する教師として、多様な地域の地誌を教えるための基礎的な理論と方法を身につける。
- ・目的に応じて統計データを選択、加工する方法を取得する。
- ・変化する世界情勢に関心を持ち、既存の社会認識に対する新たな視点を獲得する。

**【概要】** 地理学・人類学・民俗学・経済学・歴史学などの学問分野と複層的に関連する地誌を学ぶ。なじみの薄いと思われる地域も積極的に取り上げ、多角的な視野から日本と世界の地誌を理解する力を身につける。講義では、地誌学を学ぶために統計データを取得する方法や、必要な資料をデータから抽出・作成する方法、地図の読み方なども習得する。

## ■ 基盤演習

### 220201 人文学基礎演習

#### 【到達目標】

- ・自身の考えを明瞭に表現し、また、相手の説明・主張を正確に理解し応答する力量を養う。
- ・人文学領域の課題に関する文献や資料の情報を収集する手法を、習得する。
- ・参照した人文学関係の文献・資料を踏まえて、複眼的に考察する力を身につける。
- ・自身の考察を、筋道立てて構成・記述する力を身につける。

**【概要】** 各クラスにおいて、人文学の各専門領域に応じて設定された課題にグループ・ワークで取り組み、演習形式の授業のなかで、わかりやすい説明や提示（参照用プリントの作成など）の仕方、相手への意見の述べ方や討議の仕方を学び、人文学の知のあり方を理解する。人文学領域の文献・資料の内容に即して、他者の意見もふまえながら複眼的に考察し、根拠をもとに自らの意見を表現することを学ぶ。また、人文学の文献や資料に関する情報の収集法、レポート作成に際して求められる引用の作法などについても、実践的に習得する。

## ■ 卒業論文

### 220501 卒業論文

#### 【到達目標】

- ・自分の設定した研究テーマにそって資料を収集・分析する力を養う。
- ・自分の設定した仮説を、論理的・批判的考察により実証する力を養う。...
- ・想定される読者に伝わる言葉で論文を書く力を養う。
- ・創造的な発見・付加を目指して粘り強く取り組み、完遂する姿勢を確立する。

**【概要】** 学生が自らの知的関心に沿って研究テーマを設定し、資料を収集・分析して仮説をたて、論理的・批判的考察を積み重ねることによって仮説を実証し、得られた結論を説得的に表現する、という一連の学問的営みを通じて、学士課程での集大成として論文を作成する。主に特殊演習においてそれらの論法を学ばせながら、各担当教員が個別に指導を行っていく。卒業論文提出後には、複数の教員から成る主査・副査体制を基本に口述試験を実施し、論文の審査を行う。



## 哲学専攻

### ■ 基盤講義

#### 221001 哲学の基本問題

##### 【到達目標】

- ・ 自分自身で物事を正確に考える力を身につける。
- ・ 哲学とはなにか、の基礎知識を身につける。

【概要】 哲学とはなにか、をゼロから学ぶ。哲学することのトレーニングの授業であり、常に、受講生との応答や議論のなかで講義は進められる。日常的で常識的なものの見方のあいまいさや不確かさを確認し、常識に囚われずクリアにものごとを深く考え抜く力を身につける。ここでは、哲学的テキストに触れる前に、自分自身でものをじっくり考える訓練に重きを置いて授業を進める。

#### 221002 哲学の歴史的展開

##### 【到達目標】

- ・ 哲学が歴史的にどのように展開してきたかを理解する。
- ・ 哲学の思想家たちのテキストを読む力を身につける。

【概要】 哲学とはなにか、を歴史的展開の視点から学ぶ。日常的で常識的なものの見方のあいまいさや不確かさを確認し、常識に囚われずクリアにものごとを深く考え抜く力を身につける。ここでは、先達の思想家たちのテキストに接しながら、哲学が歴史的にどう展開してきたかを考えていく。思想の古典的テキストを読む基礎的な力も身につける。

#### 221003 哲学概論

##### 【到達目標】

- ・ 哲学とはどのような学問であるか、その基本的な特徴を理解する。
- ・ 哲学が扱う主要な問題について、基本的な知識を習得する。
- ・ これを通じて、哲学的に考えることの意味、面白さ、難しさを実感し、自分で根本的に考える習慣を身に付ける。

【概要】 哲学とはどのような学問かということについて、基本的な姿勢を学ぶことを目標とする。内容としては、人間と文化のかかわりを中心にして、人間が言語や知識を通じて周囲のものとのように関わりながら、世界を築いていくかを考える。そのために、古今のさまざまな哲学・思想を手がかりにし、また隣接するいろいろな学問も参考にして、多面的に検討する。ただし、学説の紹介よりは、問題の立て方とそれに対する自分自身の考え方を養うことに力点をおく。

## 221004 倫理学概論

### 【到達目標】

- ・倫理学の基本を具体的な問題を通して理解し、考えながら、自分なりの考え方を探る姿勢を身につける。
- ・具体的な問題への敏感な態度を養う。

**【概要】** 倫理学とはどのような学問かということについて、基本的な姿勢を学ぶことを目標とする。内容としては、社会生活を営む人間同士のかかわり方を中心に、「私」の存在、善と悪の判断、法や道徳が成立する根拠などを考え、価値観の多様化の中でこれからあるべき社会のルールについて模索する。そのために、古今のさまざまな思想を手がかりにして、多面的に検討する。ただし、学説の紹介よりは、問題の立て方とそれに対する自分自身の考え方を養うことに力点をおく。

## 221005 美学概論

### 【到達目標】

- ・美学の概観的知識を習得することによって、今後の美学の学習の基礎を獲得する。
- ・その上で、個別芸術と個々の美的現象にどのように美的方法論・見方が適用されるかについての基本的理解を習得する。

**【概要】** 「感性的認識についての学」として「美学」は18世紀西洋で誕生した。その意味で「美学」を現代の流動的で多様な状況の中で更に活用させるためには、この独自の歴史・地理性をまず踏まえることが重要となる。その上で、芸術学という狭い枠組みに単純に収まらない「美学」の基礎的な概念と考え方について概観しその可能性を探る。また授業では、文学、美術、上演芸術などの個別芸術を美的問題群についてもできるかぎり紹介していく。

## 221006 キリスト教学概論

### 【到達目標】

- ・ヨーロッパ文化・哲学のふたつの源泉であるギリシアの伝統とユダヤ・キリスト教の伝統が会うことによって、いかなる事態が起こったのか、その具体的状況を理解する。
- ・その上で、ギリシア哲学、キリスト教双方の理解をより深める。
- ・キリスト教の提起する人間観により、現代世界が直面している深刻な危機を見抜く洞察力を培う。

**【概要】** ヨーロッパ思想史の必須の素養としてのキリスト教思想を考察する。神の愛と隣人愛、信仰と希望、原罪と贖罪、三位一体論など、キリスト教思想の基本を解説し、ペテロ、パウロ以来のキリスト教会史の流れを概観する。天使とも動物とも異なる被造物としての人間の位置を明らかにすることは、「人間とは何か」という哲学的考察にも関連するものであり、その理解を目指す。また、キリスト教の提起する人間観は、現代世界が直面している深刻な危機を見抜く洞察力を培うと考え、視野を広げて考察する。

## 221007 古代ギリシア哲学史

### 【到達目標】

- ・単なる年代の羅列とは異なる「哲学史」の具体的なイメージを理解する。
- ・翻訳を通じて、いくつか古代の重要な思想家の文章にふれ、その本質を理解する。
- ・科学、宗教、文学を横断する古代の様々な思考の型を理解する。

**【概要】** 紀元前6世紀以来の、哲学の端緒をめぐる、ソクラテス以前の思想家の多彩な思索の跡を辿ることから始まり、紀元前5～4世紀のアテナイで活躍したプラトン、アリストテレスを中心に、西洋哲学史の礎石を据えた哲学的思考の原型を取り出す。科学、神話、文学、宗教などと対比しながら、自然と人間をめぐる雄大で豊饒な古代世界の遺産を堪能したい。現代哲学の諸問題と交錯する最新の研究状況の一端も併せて紹介する。単なる年代の羅列とは異なる「哲学史」の具体的なイメージをつかむ。

## 221008 中世ヨーロッパ哲学史

### 【到達目標】

- ・単なる年代の羅列とは異なる「哲学史」の具体的なイメージを理解する。
- ・翻訳を通じて、いくつか中世の重要な思想家の文章にふれ、その本質を理解する。
- ・科学、宗教、文学を横断する中世の様々な思考の型を理解する。

**【概要】** 古代哲学を継承し、キリスト教と深く結びつきながら、カロリング・ルネサンスを経たヨーロッパ世界の形成期に展開した中世哲学の多様性を学ぶ。また、イスラーム世界を経由したアリストテレス主義の導入や、普遍論争の中で培われたスコラ哲学の意義と重要性を、近世・近代哲学の源流という観点も含めながら考察する。

## 221009 西洋近代哲学史

### 【到達目標】

- ・西洋哲学史を学ぶのに必要な基礎的素養を身につける。
- ・近代哲学史とくにその成立事情を、その本質を見極めて理解する。
- ・哲学的な根本問題をじっくり自分で考える態度を身につける。

**【概要】** 十七世紀に本格的に始動する近代哲学の源流を中世後期に求め、その歴史的展開を当時の社会情勢などにも目を配りながら考察し、さらに十八世紀において一つの頂点に達するその全容を理解することを目指す。そして、近代がどのような意味で現代の我々自身の思考を規定しているかということを議論しながら、哲学史を学ぶことの意味について考える。

## 221010 西洋現代哲学史

### 【到達目標】

- ・西洋哲学史を学ぶのに必要な基礎的素養をいっそう身につける。

- ・現代哲学の成立事情を、その本質を見極めて理解する。
- ・現代哲学の基礎概念をその発生現場において押さえ、その意義について理解する。

**【概要】** 十八世紀に一つの頂点に達した近代哲学のどのような点が批判され、現代哲学が誕生したのかということ、十九世紀、二十世紀、そして現在の様々な哲学者たちの思考を丹念に分析することを通じて理解する。そして、現代哲学が、現在を生きる我々にとって持つ意義を理解することを目指す。

## 221011 東洋思想史

### 【到達目標】

- ・東洋を代表する思想家の考えを通して、東洋思想の大きな流れを理解する。
- ・伝統と近代の関係についての多様なあり方を学び、理解する。
- ・諸言説を比較対照し、批判的に考察する力を身につける。

**【概要】** 東洋を代表する思想家たちの思考を丹念に分析することを通して、東洋思想の大きな流れを理解し、それが近代・現代とどのような関係をもっているのかを学び、理解することを目指す。その過程において各諸派の言説を比較対照し、批判的に考察する力を身につける。

## 221012 美学史

### 【到達目標】

- ・代表的な美学的思索の古代から現代への大きな流れを理解する。
- ・これらの美学的思索がそれぞれおかれていた時代と社会の状況との深い関りを理解する。
- ・近代西洋美学を立体的・相対的に俯瞰する視点を培う。

**【概要】** 西洋で「感性的認識についての学」として成立した18世紀西洋「美学」を中心的な軸としつつも、古代から現代に至る「美的なもの」を巡る思索の大きな流れを、その思索と不可分な同時代の社会・宗教・政治状況そして美的・芸術現象に具体的に触れつつ概観する。

## 221013 キリスト教史

### 【到達目標】

- ・ユダヤ・キリスト教の誕生から、それが古代ギリシア世界の哲学およびイスラム世界との接触により、どのように変容していったのかを理解する。
- ・キリスト教の歴史的展開と変容を学ぶことを通じて、それらの問題の現代性を理解する。

**【概要】** イエス・キリストの死と復活を説き、普遍宗教への道を開いた使徒パウロ。古代ギリシア哲学を摂取し、教義の確定に与った教父アウグスティヌス。アリストテレス哲学を用いて神学を集大成した、スコラ哲学の高峰トマス・アクィナス。原点としての聖書に立ち返り、カトリック教会支配からの脱皮を図った改革者ルターなどを核に、キリスト教思想史を辿り、それがいかにヨーロッパ精神の源泉となっているかを明らかにする。

## ■ 特殊講義

### 221101 現代哲学の課題と方法

#### 【到達目標】

- ・現代哲学の基本的特徴を理解する。
- ・現代哲学の諸相を、古典的哲学との対比のうえでしっかり理解する。

【概要】 現代哲学は、二十世紀の分析哲学、現象学、実存主義や構造主義などを基本としながら、科学哲学、心の哲学、AIの哲学、現象学的解釈学、ポスト構造主義、ポストモダニズム、カルチュラル・スタディーズ、ポストコロニアリズムなど多様な形をとって発展してきている。これら全体像を概観し基本的特徴を学ぶとともに、伝統的な哲学との思想のあり方の差異について学ぶ。

### 221102 現代科学とテクノロジーの哲学

#### 【到達目標】

- ・現代科学・テクノロジーと近代哲学との深い関係を理解する。
- ・新たなテクノロジーの出現によって、時代がどのように変化したのかを哲学的視点から理解する。

【概要】 デジタルテクノロジーの出現や医療技術の飛躍的進展によって、時代は大きく変化した。哲学や思想はこのような変化とどのような関わりを持っているのだろうか。哲学の古典的テキストを読み解くことによって、現代という時代特有の問題にどのような光をあてることができるかを示し、問題をそれぞれが自分自身で考えられることを目指す。

### 221103 応用倫理学の展望

#### 【到達目標】

- ・倫理学の基本をもとに応用倫理学の課題を具体的な場面に即した形で理解する。
- ・応用倫理学のいくつかの場面の中でどのような原理、歴史的背景が関るかということについての理論的思考法を身につける。
- ・具体的な場面での関り方について議論する力を養う。

【概要】 1970年代以降に展開された応用倫理学について、なぜこの分野がこの時代に登場してきたのか、原理的な倫理学とどのような関係にあるのか、「応用」とされることの意味など、応用倫理学の基本的な理解を深めた上で、応用倫理学の各分野、例えば、環境倫理学、科学技術倫理学、情報倫理学などについて、その個別分野における特徴と多分野との関連について考察する。あわせて、今後の日本を含む国際社会の中で、応用倫理学が果たす役割の可能性を探る。なお、応用倫理学の中の重要な分野である生命倫理学については、別の科目において主題的に扱う。

## 221104 女性と生命倫理

### 【到達目標】

- ・生命倫理学の諸問題を取りわけ女性という視点から考えるための基礎知識を身につける。
- ・生命倫理の問題を、医学、法律、倫理のそれぞれの視点から考える力を養う。
- ・女性のライフサイクルを築く議論の仕方に習熟し、自ら考えていくような姿勢を培う。

**【概要】** 生命倫理学の諸問題を、女性という視点から考える。その場合にとりわけ重要になるのが生殖に関する問題である。具体的な問題としては、不妊治療、人工授精、体外受精、代理出産、出生前診断、選択中絶などについてであり、これらについて、基本的な理解を踏まえつつ、その実態を明らかにした上で、外国との比較を交えながら、法的、社会的問題の所在を示す。さらに、今後の生命倫理のあり方について考えるために、デザイナーズベイビーの問題などを検討する。

## 221105 西洋の美学

### 【到達目標】

- ・西洋美学を学ぶのに必要な基礎的素養をいっそう身につける。
- ・現代の美学のその西洋的起源についての理解する。
- ・具体的な美的芸術現象に即した美学的知識を身につける。

**【概要】** 芸術および美的なものを巡る思想の現在と未来を正確に見定めることも視野に入れつつ、その思想の直接の起源でもある 18 世紀西欧美学について、当時の絵画・音楽・文学等の芸術作品にも具体的に触れながら、理解を深める。

## 221106 日本と東洋の美学

### 【到達目標】

- ・日本と東洋の美学についての基礎的な素養をいっそう身につける。
- ・19 世紀以後の西洋近代化の日本と東洋の美学への影響および「東洋」という枠組みの人為性の美学的問題について理解する。
- ・日本と東洋の具体的な美的芸術現象についての美学的理解を深める。

**【概要】** 西洋美学・哲学の影響下に始まる近代以後の日本の美学思想のその独自な位相かつまた「非西洋」としての「東洋」という概念の問題性にも注意を払いつつ、日本と中国を中心とする非西洋世界の美学について、これと関る美的・芸術現象にも具体的に触れつつ、理解を深める。

## 221107 芸術と社会

### 【到達目標】

- ・芸術の社会との必然的な繋がりについての基礎的な理解を得る。
- ・芸術現象の「脱規範的」本質と社会の「規範性」との複雑な関係についての柔軟な視点をえる。
- ・芸術現象が社会のうちで演ずべき独自の役割を具体的な事例を通して理解する。

**【概要】** 芸術現象が例外的個性と不可分である以上に、表現手段それ自体の共同性や共同制作もしくは（非常にしばしば伝統文化的な）共同体といった社会性に深く根ざすことを基本的な前提として理解する。その上で、芸術が社会のうちで独自に演ずる歴史的意義と可能性について、具体的な事例に触れつつ、思索を展開するための知識と方法を修得する。

## 221108 キリスト教の思想・文化

### 【到達目標】

- ・キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の伝統的な聖典理解や解釈学的アプローチを比較しながら、それぞれの共通点と相違点を理解する。
- ・キリスト教が文化や社会に与えた影響を、具体的な事象を元に理解する。

**【概要】** キリスト教の思想と文化がどのような本質を有し、そして歴史の流れの中でどのように変容していったのかを学びながら、現代社会の死生観、性、ジェンダー、経済、社会倫理、環境問題といった現代的な課題について、聖書あるいはキリスト教はどのような視点・視座を提供できるかを考察する。

## 221109 日本思想史

### 【到達目標】

- ・日本思想の独自性を具体的なテキストや言葉に触れながら理解する。
- ・仏教や神道が日本の社会、文化に与えた影響を理解する・明治以降に流入した西洋文明が日本の伝統的な思考に与えた影響を探り、それが現在の我々自身の思考をどのように規定しているかを理解する。

**【概要】** 日本思想の問題を深く理解するためには、歴史的な由来の知識が必須である。この講義においては狭義の哲学だけではなく、広く芸術論、倫理学、宗教などの思想文化の歴史における重要な主題を選び、それについて学ぶことによって、学生の多面的な関心に答えるとともに、視野を拡大することを目的とする。また同時に、学生の知識に歴史的深みを与え、歴史的研究の方法に習熟することを図る。

## ■ 基盤演習

### 221201 哲学2年次演習Ⅰ

#### 【到達目標】

- ・哲学書を読むうえで必要な構えを身につける。
- ・哲学的著作にふれ、哲学的に考えることに習熟する。
- ・疑問点や重要点をみなで議論する仕方をいっそう学ぶ。
- ・他の人の前で発表し、質疑応答をリードする。

【概要】 我々に身近な主題（「食」「感性」「知覚」）を巡る思索が展開される哲学的テキストを最後まで読通しながら、その思索が孕むより深い哲学的文化的諸問題（「意味」「知性」「神」「因果性」「美的なもの」など）との連関についての関心を培う。授業ではレジュメ作成・質問担当者を決め、授業参加者同士でディスカッションを行う。

### 221202 哲学2年次演習Ⅱ

#### 【到達目標】

- ・英文テキストを正確に理解する。
- ・英語で自分の考えをまとめ、論理的に表現する技法を習得する。
- ・他の参加者たちと英語で討論する技法を身につける。
- ・英語で考え、討論することを通じ、日常的に用いている日本語の論理的構造に敏感になる姿勢を獲得する。

【概要】 英語で書かれた論理学およびクリティカル・シンキングのテキストを題材として、英語での討論を行い、自身の考えを明確に英語で表現することを目指す。その過程の中で、論理的思考力や表現力、主体的な参加の姿勢などの能力をよりいっそう身につける。

### 221203 キリスト教学演習A

#### 【到達目標】

- ・教父時代から中世半ばまでのキリスト教の中心的な教義をめぐる議論の概要を理解する。
- ・具体的な個別テキストを、方法論的にコントロールされた仕方と解釈する作法を身につける。
- ・古典的なテキストが指し示しているものを、現代的な視点から問い直す姿勢を養う。

【概要】 教父時代から中世半ばまでのキリスト教の広大な伝統の中から、古典的文献を選び、そのテキストを精読することを通じて、キリスト教思想の精髓を深く理解する。そのためには、テキストの背景となる、著者の時代と生涯についても学ぶ必要があり、また近年の国内外の研究にも目を向けたい。邦訳を参照するが、可能な範囲で原典を大事にしたい。担当者は、事前にレジュメを用意したうえで独自の解釈を提示することが求められる。その後、参加者全員で討議を行なう。



## 221204 キリスト教学演習B

### 【到達目標】

- ・中世後半から近世・近代にかけてのキリスト教の中心的な教義をめぐる議論の概要を理解する。
- ・具体的な個別テキストを、方法論的にコントロールされた仕方で解釈する作法を身につける。
- ・古典的なテキストが指し示しているものを、現代的な視点から問い直す姿勢を養う。

**【概要】** 中世後半から近世・近代にかけてのキリスト教の広大な伝統の中から、古典的文献を選び、そのテキストを精読することを通じて、キリスト教思想の精髓を深く理解する。そのためには、テキストの背景となる、著者の時代と生涯についても学ぶ必要がある。近年の国内外の研究にも目を向けたい。邦訳を参照するが、可能な範囲で原典を大事にしたい。担当者は、事前にレジュメを用意したうえで独自の解釈を提示することが求められる。その後、参加者全員で討議を行なう。

## ■発展演習

### 221301 西洋古代・中世哲学演習A I

#### 【到達目標】

- ・ギリシア哲学・倫理学の基本概念を習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力を養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現する力を身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につける。

**【概要】** 西洋古典語（ギリシア語）で書かれた哲学文献を扱う、3年次以降対象の原書講読の中級ゼミ。プラトンやアリストテレスなど、初期から古代ギリシア哲学盛期までの代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学の基本問題を多面的に考える。ギリシア語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。古代哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

### 221302 西洋古代・中世哲学演習A II

#### 【到達目標】

- ・ギリシア哲学・倫理学の基本概念をよりいっそう自分のものとするべく習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力をさらに養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現する力をいっそう身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につけ、それを表現する力を養う。

**【概要】** 前期の同演習で培った力をさらに伸ばすことを目指す。プラトンやアリストテレスなど、初期から古代ギリシア哲学盛期までの代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学

の基本問題を多面的に考える。ギリシア語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。古代哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

### 221303 西洋古代・中世哲学演習B I

#### 【到達目標】

- ・ギリシア哲学・倫理学とヨーロッパ中世哲学（スコラ哲学並びにキリスト教神学）の基本概念を習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力を養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現する力を身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につける。

**【概要】** 西洋古典語（ギリシア語、ラテン語）で書かれた哲学文献を扱う、3年次以降対象の原書講読の中級ゼミ。ヘレニズム期から中世にかけての、古代・中世哲学の代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学の基本問題を多面的に考える。ギリシア語・ラテン語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。古代・中世哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

### 221304 西洋古代・中世哲学演習B II

#### 【到達目標】

- ・ギリシア哲学・倫理学とヨーロッパ中世哲学（スコラ哲学並びにキリスト教神学）の基本概念をよりいっそう自分のものとするべく習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力をさらに養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現する力をいっそう身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につけ、それを表現する力を養う。

**【概要】** 前期の同演習で培った力をさらに伸ばすことを目指す。ヘレニズム期から中世にかけての、古代・中世哲学の代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学の基本問題を多面的に考える。ギリシア語・ラテン語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。古代・中世哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

### 221305 西洋近代哲学演習A I

#### 【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に前期）の古典にふれ、近代哲学の根本的な考え方を身につける。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術を身につける。

**【概要】** 西洋近世・近代哲学の古典であるデカルト、ロック、ライプニッツ、カントなど

の著作を講読する。難解なテキストを読み解く訓練を通じて、読解力や洞察力を深めることも目的とする。適宜、日本語訳も使用し、また種々の研究書も参考にする。二、三回のイントロダクションの後、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

#### 221306 西洋近代哲学演習 A II

##### 【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に前期）の基本的な考え方を身につけた上でそこに通底する発想の根幹を把握する。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読む技術を身につけた上で、原典そのものを自ら読み解く能力をつける。

**【概要】** 前期の同演習で培った能力をさらに伸ばすことをめざす。デカルト、ロック、ライプニッツ、カントなどの著作に通底している基本的発想を把握することを目的とし、読解力や洞察力をさらに深めることを目的とする。

進行は前期と同様、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

#### 221307 西洋近代哲学演習 B I

##### 【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に後期）の基本的な考え方を身につけた上でそこに通底する発想の根幹を把握する。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読む技術を身につけた上で、原典そのものを自ら読み解く能力をつける。

**【概要】** 西洋近世・近代哲学の古典であるカント、ヘーゲル、パース、ベルクソンなどの著作を講読する。難解なテキストを読み解く訓練を通じて、読解力や洞察力を深めることも目的とする。適宜、日本語訳も使用し、また種々の研究書も参考にする。二、三回のイントロダクションの後、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

#### 221308 西洋近代哲学演習 B II

##### 【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に後期）の基本的な考え方を身につけた上でそこに通底する発想の根幹を把握する。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読む技術を身につけた上で、原典そのものを自ら読み解く能力をつける。

**【概要】** 前期の同演習で培った能力をさらに伸ばすことをめざす。カント、ヘーゲル、パ

ース、ベルクソンなどの著作に通底している基本的発想を把握することを目的とし、読解力や洞察力をさらに深めることを目的とする。進行は前期と同様、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジユメを作りながら進行する。

### 221309 現代哲学演習 A I

#### 【到達目標】

- ・十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術を身につける。
- ・現代哲学の古典的著作にふれ、十九世紀後半から二十世紀前半にかけての思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力を養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方を身につける。

**【概要】** 「ヨーロッパの哲学」が西洋という枠組みを離れ、全世界的に展開し始める十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。

### 221310 現代哲学演習 A II

#### 【到達目標】

- ・十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術をよりいっそう身につける。
- ・現代哲学の古典的著作にふれ、十九世紀後半から二十世紀前半にかけての思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力をより深く養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方をより深く身につける。

**【概要】** 前期の本演習での議論を踏まえ、十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力をより深く培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、現代哲学の豊穡さと可能性を理解する。

### 221311 現代哲学演習 B I

#### 【到達目標】

- ・二十世紀後半から二十一世紀初頭、すなわち現在における現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術を身につける。

- ・現代哲学の古典的著作にふれ、二十世紀後半から二十一世紀初頭における思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力を養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方を身につける。

**【概要】** 世界中で展開されている現代哲学の基本的文献を読み解きながら、その現代性を理解することを目指す。二十世紀後半から二十一世紀初頭、すなわち現在における古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。

## 221312 現代哲学演習 B II

### 【到達目標】

- ・二十世紀後半から二十一世紀初頭における現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術をよりいっそう身につける。
- ・現代哲学の古典的著作にふれ、二十世紀後半から二十一世紀初頭における思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力をより深く養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方をより深く身につける。

**【概要】** 前期の本演習での議論を踏まえ、二十世紀後半から二十一世紀初頭における現代哲学の基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力をより深く培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、現代哲学の豊穡さと可能性を理解する。

## 221313 倫理学演習 A I

### 【到達目標】

- ・倫理学に関する西洋のテキストを正確に読むことができる力を身につける。
- ・時代背景を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢を習得する。

**【概要】** 倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、西洋近代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

## 221314 倫理学演習 A II

### 【到達目標】

- ・前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込むことができる力を身につける。
- ・時代背景や関連する諸学問を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢をよりいっそう習得し、自分自身の問いを立て、答を見つける態度を養う。

**【概要】** 「倫理学演習 A I」に引き続き、倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、西洋近代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

## 221315 倫理学演習 B I

### 【到達目標】

- ・倫理学に関する現代のテキストを正確に読むことができる力を身につける。
- ・時代背景を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢を習得する。

**【概要】** 倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、日本、東洋、西洋を問わず、現代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

## 221316 倫理学演習 B II

### 【到達目標】

- ・前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込むことができるようになる。
- ・時代背景や関連する諸学問を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢をよりいっそう習得し、自分自身の問いを立て、答を見つける態度を養う。

**【概要】** 「倫理学演習 B I」に引き続き、倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える

力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、日本、東洋、西洋を問わず、現代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

#### 221317 東洋・日本思想史演習 A I

##### 【到達目標】

- ・東洋思想史における古典的文献を精読し、その意義を理解する。
- ・東洋の思想の基本的な概念を理解する。
- ・東洋の思想と西洋思想との共通性や相違点について理解を深める。

**【概要】** 東洋の思想史における基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題をみなで議論することを通じて、問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。

#### 221318 東洋・日本思想史演習 A II

##### 【到達目標】

- ・前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込むことができるようになる。
- ・東洋の思想の基本的な概念をさらに深く理解する。
- ・東洋の思想と西洋思想との共通性や相違点について理解をさらに深める。

**【概要】** 前期の本演習での議論を踏まえ、東洋の思想史における基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題をみなで議論することを通じて、問題と課題を自分自身で考えていく力をさらに伸ばしていくことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、東洋の思想の豊かさをより深く理解することを目指す。

#### 221319 東洋・日本思想史演習 B I

##### 【到達目標】

- ・日本思想史における古典的文献を精読し、その意義を理解する。
- ・日本の思想の基本的な概念を理解する。
- ・日本の思想と西洋思想との共通性や相違点について理解を深める。

**【概要】** 日本思想史における基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題をみなで議論することを通じて、問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。

## 221320 東洋・日本思想史演習BⅡ

### 【到達目標】

- ・前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込むことができるようになる。
- ・日本の思想の基本的な概念をさらに深く理解する。
- ・日本の思想と西洋思想との共通性や相違点について理解をさらに深める。

**【概要】** 前期の本演習での議論を踏まえ、日本思想史における基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題をみなで議論することを通じて、問題と課題を自分自身で考えていく力をさらに伸ばしていくことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、日本思想の豊かさをより深く理解することを目指す。

## 221321 美学演習AⅠ

### 【到達目標】

- ・美学の過去の代表的諸議論についての見通しをまず獲得する。
- ・美学的議論の前提となる東西の芸術作品や美的現象の鑑賞法について具体的に理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

**【概要】** 美学が感性の学であることに着目したのは18世紀西洋であった。しかし、「感性」とは我々の現実の「生」（五官の働き、食、存在不安など）に深く根ざすものでもあり同時に、いわゆる「芸術」現象においてもある種の重要な役割を与えられた。この演習では、まずは古代の古典的テキスト（アリストテレスやホラティウス等）の幾つかに具体的に触れつつ、古代から現代に至る美学上の重要な思想家の美学・芸術論そして前提になる実際の芸術作品の幾つかについてレジュメ作成と発表を行う。精読及び発表と討議を行うことで、美的なものや芸術についてのまずは基礎的な理解を獲得する。

## 221322 美学演習AⅡ

### 【到達目標】

- ・近代美学確立期である18世紀以降の代表的な美学・芸術論そしてそれ以後の現代の美学・



芸術論を精読することで、美学という学問の歴史性について理解を深める。

- ・(特に近現代の) 芸術作品や美的現象の鑑賞法について理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

**【概要】** 感性から芸術を繋ぐものとしての近代美学の位置付けを見定めるためのテキスト(ディドロ、カント、バークなど)を精読するとともに前提となる芸術作品(近代から現代)の具体例についても触れていく。特に精読は18世紀から現代の美学上の原典を邦訳を中心に進める。この精読と個々の芸術作品の検討同時に、参加者の美的現象・芸術現象を巡る自由発表と討議を行い、美的なものや芸術についての理解を深める。

### 221323 美学演習B I

#### 【到達目標】

- ・美学の過去の代表的諸議論についての見通しをまず獲得する。
- ・美学的議論の前提となる芸術作品や美的現象の鑑賞法について具体的に理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

**【概要】** 美学とは、「感性」の学であると同時に「芸術」現象にまつわる学でもある。とは言え、「芸術」における「感性」の役割は必ずしも歴史的(例えば古代と現代)・地理的(例えば西洋と日本)に一定のものであったのではない。特に現代において、従来の西洋近代にモデルを持つ芸術と感性の理想的関係は大きく変容した。この演習では、まずは古代から近世の古典的理論(プラトンやデカルト等)そして具体的作品(ホメロス、ラシーヌらの文学・演劇作品やオペラそして美術造形作品等)の幾つかに具体的に触れ、そこで示されていた従来の西洋的な芸術と感性の関りを、作者、鑑賞者そして作品の位相でそれぞれ確認して行く。授業では以上についての学生によるレジュメ作成と発表が中心となる。精読及び発表と討議を行うことで、美的なものや芸術についてのまずは基礎的な理解を獲得する。

### 221324 美学演習B II

#### 【到達目標】

- ・近代美学確立期である18世紀以降の代表的な芸術論そしてそれ以後の現代の芸術論を精読することで、美学という学問の歴史性について理解を深める。
- ・(特に近現代の) 芸術作品や美的現象の鑑賞法について理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

**【概要】** 現代における西洋的な従来の芸術と感性の理想的関係の変容を多層的に理解するために、近現代の西洋と日本のテキスト(ルソー、ヘルダーからハイデガー、九鬼周造や佐々木健一等)そして芸術作品(ルソーやプルーヴラの近代文学、ロココやロマン派から印象

派そして現代アート、18世紀バロックから後の現代音楽等)を具体的に読解・分析する。特に現代において「芸術・アート」が大きく変貌することに連動する形で、これに関する「感性」がどのような新たな局面に立ち至ったかについて具体的な展望をもってもらいたい。前期と同じく、理論的テキストと美的・芸術現象についての学生によるレジュメ作成と発表が中心となる。精読及び発表と討議を行うことで、近現代における美的なものや芸術についての基礎的な理解を獲得する。

## 221325 文理融合演習 A

### 【到達目標】

- ・人文学、哲学、社会科学と数学の融合領域の文献を精確に読解する力を身につける。
- ・自分の専門領域とは異なる方法論がどのようなものであるかを理解し、それによって自身の専門領域の方法論を相対化した上で、自身の方法論の意義をより深く理解する。
- ・共通の問題を異なる学問領域からの視点で考察することを通じて、その問題の多様性を理解する。
- ・異なる学問領域を学ぶ他の参加者に、自身の専門領域での議論の仕方とその成果を明確かつ論理的に説明する能力を養う。
- ・異なる学問領域での方法論や成果を自分の専門領域で活かす力を身につける。

**【概要】** 人文学、哲学、社会科学と数学という異なる学問の融合領域での文献を読み、異なる専門の学生同士での討論を通じ、そこで論じられている問題の多角的かつ重層的な理解を目指す演習である。具体的には、「数学史」、「数学の哲学」(確率論や、近代数学と近代哲学との関係など)、「意思決定の哲学」(ゲーム理論を考察するもので、哲学、数学専攻、情報理学専攻の学生の他、経済学、社会学専攻の学生も参加可能)などを論じた文献を読み、異なる学問領域の方法論を学びながら、自身の専門領域での議論にそれを活かすことを試みる。その過程で、異なる専門の学生に、自分の専門領域での方法論や成果を明確に説明する能力を身につけると同時に、自身の方法論のより深い理解につなげることを目指す。

## 221326 文理融合演習 B

### 【到達目標】

- ・人文学、哲学、社会科学と自然科学、特に物理学、生物学の融合領域の文献を精確に読解する力を身につける。
- ・自分の専門領域とは異なる方法論がどのようなものであるかを理解し、それによって自身の専門領域の方法論を相対化した上で、自身の方法論の意義をより深く理解する。
- ・共通の問題を異なる学問領域からの視点で考察することを通じて、その問題の多様性を理解する。
- ・異なる学問領域を学ぶ他の参加者に、自身の専門領域での議論の仕方とその成果を明確かつ論理的に説明する能力を養う。

- ・異なる学問領域での方法論や成果を自分の専門領域で活かす力を身につける。

**【概要】** 人文学、哲学、社会科学と自然科学、特に物理学と生物学という異なる学問の融合領域での文献を読み、異なる専門の学生同士での討論を通じ、そこで論じられている問題の多角的かつ重層的な理解を目指す演習である。具体的には、「科学史」、「物理学の哲学」（相対性理論や量子論、多宇宙理論についての哲学的考察）、「生物学の哲学」（進化論などについての哲学的ならびに社会学的考察）などを論じた文献を読み、異なる学問領域の方法論を学びながら、自身の専門領域での議論にそれを活かすことを試みる。その過程で、異なる専門の学生に、自分の専門領域での方法論や成果を明確に説明する能力を身につけると同時に、自身の方法論のより深い理解につなげることを目指す。

## ■特殊演習

### 221401 人文学特殊演習（哲学）Ⅰ

#### 【到達目標】

- ・自分固有のテーマを選び、適切な論文題目をつけた上で、そのテーマをさらに掘り下げていく姿勢を身につける。
- ・テーマにふさわしい文献を探し、読み解いていく姿勢と力を身につける。
- ・哲学的な研究論文を作成する技術を習得する。
- ・スケジュールに応じて課題を設定し、着実に卒業論文の作成へと結実させる。

**【概要】** 4年間の学習の成果の結実が卒業論文となる。そこで、卒業論文の作成を前提に、各自の問題意識に応じた問題をいかに選び、思考をどのように進め、論の展開をいかに展開するかを実地に指導するとともに、随時、各自の研究結果を報告し、相互に批判検討しながら作業を進めて行く。また、たんに内容的な事柄ばかりではなく、論文の書き方、資料の調査方法とその取り扱い方など研究を進める上での基礎的な手続きに学生が習熟することを目指す。

### 221402 人文学特殊演習（哲学）Ⅱ

#### 【到達目標】

- ・テーマにふさわしい文献を探し、読み解いていく力をよりいっそう養う。
- ・哲学的な研究論文を作成する技術を習得する。
- ・スケジュールに応じて課題を設定し、着実にこなし、論文作成を行う。
- ・中間段階での論文内容を他の人の前で発表し、質疑応答を行なう。

**【概要】** 前期に引き続き、各自の問題意識に応じた問題をいかに選び、思考をどのように進め、論の展開をいかに展開するかを実地に指導するとともに、随時、各自の研究結果を報告し、相互に批判検討しながら作業を進めて行く。個別指導を折り込みながら、最終的な完成を目指す。

## 日本文学専攻

### ■ 基盤講義

#### 222001 日本語学入門

##### 【到達目標】

- ・日本語学に関する基本的な知見を身につける。
- ・日本語の史的変遷の実態を知り、言語を変化させた要因を理解する。
- ・言語事象を観察して、ことばの特徴を見出す力を身につける。

【概要】 日本語学について、日本語史研究・現代語研究の両方の観点を理解することができるよう、基本的な考え方の習得をはかる。一つの分野を取り上げ、具体的な言語現象について、その史的展開を学びつつ、日本語が歴史的にどう変化し、又、それを変化させた要因は何かを学んで行く。また、言語事象について、自ら問題を発見し解決する態度を養う。高校までの学校教育における国語教育、非母語話者への日本語教育、コンピュータによる日本語処理等の応用分野も視野に入れつつ考察する。

#### 222002 日本古典文学入門

##### 【到達目標】

- ・日本古典文学のさまざまな作品、ジャンルを網羅的に取り上げ、その根底を流れる文学的特徴について理解する。
- ・日本古典文学を理解する上で絶対の前提となる、古典文法の重要性、宮中貴族社会の基本原則、歴史と文学の関係等について、基本的なことを理解する。

【概要】 日本古典文学のさまざまな分野について、基本的な学習をする。高等学校までで学習したことと、大学での専門的な文学研究との架橋となすべく、高等学校の授業で扱われることの多い作品を中心に取り上げ、それらを専門的な知見から再解釈する。それによって、古典文学を学ぶにあたって最低限必要となる知識、文法等の基本的な読解力を身につけさせるとともに、諸本間の異同の存在等、高校までには触れることのなかった専門的な研究の世界へと導くことを目指す。

#### 222003 日本近現代文学入門

##### 【到達目標】

- ・近現代文学についての基礎知識と読解力、基礎的方法論を身につける。
- ・近現代文学特有のテーマや表現を学びながら、その流れを大まかに理解する。
- ・自ら問いを立て自ら考えることで、近現代文学を批評的に読む力を養う。

【概要】 導入教育を含みつつ、近現代文学研究に不可欠な基礎知識と基礎的研究方法を学ぶ。具体的には、主要なテーマを一つ選定し、それを軸に時系列に作品を取り上げて精読し、

そのテーマの生成・変容・解消、複雑化などの歴史、及び内容と表現との関係などを考究する。必要に応じて、作品外の諸要因である「法制度や経済システム、共同体のありよう」などとの相関関係も明らかにしながら、作品を多角的に理解する。

## 222004 漢文学入門

### 【到達目標】

- ・漢文学のさまざまな分野の特徴について、基本的に理解する。
- ・訓読法を中心に、漢文の基礎知識を身につける。
- ・中国古典の分類法、辞典・関係資料等の利用法の基礎を理解する。

**【概要】** 漢文学のさまざまな分野について、基礎的な学習をする。まず漢文訓読法の知識を復習しながら、平易な文章を読解する。その上で、中国古典文学・思想・歴史の各分野の代表的な文献を読み、中国古典の発想や論理・美意識について理解する。文学・思想・言語・文化に関わる基本的な中国古典の中から分かりやすい部分を選び、独特な発想・論理展開・修辞法等に触れ、多読することを基本としながら、辞書・注釈・索引・関係資料の調査をふまえての精読をまじえ、中国古典を読解する力を養う。

## 222005 日本語学概論 I

### 【到達目標】

- ・現代日本語について、主に、音声・音韻、文字・表記、語彙、文法上の基本的な性質を知る。
- ・日本語学という分野について、主に、音声・音韻論、文字・表記論、語彙論、文法論という分野の基本的な考え方を身につける。

**【概要】** 我々が日常用いている言語である日本語を、様々な角度から考究する。日本語学という学問分野を紹介するという側面と、日本語についての最低限の知識を習得してもらうという側面の、(だいたい方向性の異なる)二つの側面を有する。日本語学を専門的に学んでいく者にとっては、基盤となる知識の習得を目指し、他の分野を専門的に学んでいく者にとっては、日本語についてより深く考えるきっかけをつくる。本講義では、現代語を中心に、音声・音韻論、文字・表記論、語彙論、文法論について講ずる。

## 222006 日本語学概論 II

### 【到達目標】

- ・現代日本語について、主に、文法、意味、運用(敬語・方言等)上の基本的な性質を知る。
- ・日本語学という分野について、主に、文法論、意味論、運用論、及び応用分野の基本的な考え方を身につける。

**【概要】** 我々が日常用いている言語である日本語を、様々な角度から考究する。日本語学という学問分野を紹介するという側面と、日本語についての最低限の知識を習得してもらう

という側面の、(だいたい方向性の異なる)二つの側面を有する。日本語学を専門的に学んでいく者にとっては、基盤となる知識の習得の場となり、他の分野を専門的に学んでいく者にとっては、日本語についてより深く考えるきっかけとなるであろう。本講義では、現代語を中心に、文法論、意味論、運用論及び応用分野について講ずる。

## 222007 日本語史概論 I

### 【到達目標】

- ・日本語史の基本的な知識を身につける。
- ・各時代の言語の特徴を理解する。
- ・古代語・中世語の変化の様相を理解する。

**【概要】** 時の流れと共に様々に変化して来た日本語の各時代の実態を明らかにするのが日本語史研究である。言語はどのように変化するのか、どうして変化するのかを、各時代の代表的な文学作品等の文献を分析しながら探っていく。日本語は従来、古代語と近代語とに二大区分がされるが、それに過渡期中世語の様相も興味あるものである。言語変化が文字・音韻・文法・待遇表現・語彙・文章表現の各部門でどのように表れるかを記述し講述する。

## 222008 日本語史概論 II

### 【到達目標】

- ・日本語史の基本的な知識を身につける。
- ・各時代の言語の特徴を理解する。
- ・中世語・近世語の変化の様相を理解する。
- ・言語変化の要因を理解する。

**【概要】** 日本語の歴史の流れは、時代別、そして各分野別の通史だけでは捉えきれない。言語の史的な展開の実態を捉えて、そこに働く変化の要因を解明して初めて、言語の歴史の記述になる。また地域・性別・年齢・職業・階層などの位相語の歴史も注目される。日本語史研究に主に取り上げられてきた文学作品のみならず、関連する分野の日本史や宗教史の史料や遺文なども積極的に扱って多様な言語変化の様相を講述する。

## 222009 日本文学概論(古典) A I

### 【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として古代(奈良～十一世紀)の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。
- ・この時代の文学が後世にいかなる影響を与えたかについて理解する。

**【概要】** 日本古典文学のうち、主として古代(奈良～十一世紀)の文学や文化についての

基礎的な知識を学ぶことを目標とする。中国大陸の影響を初めとして、いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、後世にいかなる影響を与えたかなどについて、文学作品に即して考える。

## 222010 日本文学概論（古典）AⅡ

### 【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として古代から中世（十世紀～鎌倉・室町）の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。
- ・この時代の文学が近世（江戸）の文学とどうつながり、また大きく転換しているかについて理解する。

**【概要】** 日本古典文学のうち、主として古代から中世（十世紀～鎌倉・室町）の文学や文化についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、近世（江戸）の文学にいかにつながり、いかなる影響を与えたかなどについて、歴史的視点をもち、文学作品に即して考える。

## 222011 日本文学概論（古典）BⅠ

### 【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として中世（鎌倉・室町）の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・この時代の文学が、古代（平安）の文学からどうつながり、どのように転換しているかについて理解する。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。

**【概要】** 日本古典文学のうち、古代（平安）の文学を振り返りながら、主として中世（鎌倉・室町）の文学についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、後世にいかなる影響を与えたかなどについて、歴史的視点をもち、文学作品に即しつつ論じていく。

## 222012 日本文学概論（古典）BⅡ

### 【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として近世（江戸）の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。

**【概要】** 日本古典文学のうち、主として近世（江戸）の文学についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、後世にいかなる影響を与えたかなどについて、歴史的視点を持ち、文学作品に即しつつ論じていく。

## 222013 日本文学概論（近現代）Ⅰ

### 【到達目標】

- ・個別作品の解釈を重ねることで、明治・大正から昭和に至る近代文学史を構築し理解する。
- ・複数の作品分析を通して、近代文学研究の多様な方法を身につける。

**【概要】** 日本の近代文学について、広く基礎的な知見を身につける。明治・大正から昭和に至る代表的作家の文学作品を時代順に取り上げ、一つ一つ具体的に分析し、それらの芸術的特質や文学的意義を明らかにする。また、該当期の文学が全体としてどのような歴史を形作ってきたかを解明する。特に、明治期については独自の文学的世界の創造と多様化、大正期についてはその文学的成熟度の高さを、作品分析と考察によって跡付けてゆく。

## 222014 日本文学概論（近現代）Ⅱ

### 【到達目標】

- ・個別作品の解釈を重ねることで、昭和から現代に至る近現代文学史を構築し理解する。
- ・複数の作品分析を通して、近現代文学研究の多様な方法を身につけ、応用力を養う。

**【概要】** 日本の近現代文学について、広く基礎的な知見を身につける。昭和から現代に至る代表的作家の文学作品を時代順に取り上げ、一つ一つ具体的に分析し、それらの芸術的特質や文学的意義を明らかにする。また、該当期の文学が全体としてどのような歴史を形作ってきたかを解明する。昭和期については戦前を「解体」、戦後から現代を「模索と再生」という枠組みで捉え、それらを作品によって跡付けてゆく。

## 222015 日本の文化（芸能）Ⅰ

### 【到達目標】

- ・演劇・舞踊・話芸・歌謡といった日本の芸能についての基礎的な知識を学ぶとともに、そ



ここに表れる日本文化の特性について理解する。

- ・芸能における身体表現がジャンルによっていかなる特徴を持っているかについての理解を深める。

**【概要】** 雅楽、能・狂言、歌舞伎、文楽、落語・講談といった、いわゆる日本の古典芸能が、国際的な視野から見ても、日本文化を代表するものの一角を担っていることは疑う余地がない。本授業では、演劇・舞踊・話芸・歌謡といった芸能のなかから、適宜特定のジャンルを取り上げ、その基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について考究することを目的とする。これらはパフォーマンス・アーツである以上、身体表現であることが第一義である。授業では写真や映像を適宜用いて、そうした表現がジャンルによっていかなる特徴を持っているかについての理解も深めていく。

## 222016 日本の文化（芸能）Ⅱ

### 【到達目標】

- ・演劇・舞踊・話芸・歌謡といった日本の芸能についての基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について理解する。
- ・文学が、芸能における身体表現をどのような形で言語化してきたかについての理解を深める。

**【概要】** 雅楽、能・狂言、歌舞伎、文楽、落語・講談といった、いわゆる日本の古典芸能が、国際的な視野から見ても、日本文化を代表するものの一角を担っていることは疑う余地がない。本授業では、演劇・舞踊・話芸・歌謡といった芸能のなかから、適宜特定のジャンルを取り上げ、その基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について考究することを目的とする。これらはパフォーマンス・アーツである以上、身体表現であることが第一義である。そうした表現を、文学がどのような形で言語化してきたかについての理解も深めていく。

## 222017 日本の文化（古典文化）Ⅰ

### 【到達目標】

- ・「古典」として、長く日本の文学や文化に大きな影響を与えた王朝貴族の文学、文化、感性の様相を、文学作品などをもとに理解する。
- ・中国の文学や文化などの影響を受けながら、日本の古典文化がどのような特質を育んできたかを理解する。
- ・現代に残存する古典文化を見だし、日本文化の特質と古典文化との関わりについて考える力を養う。

**【概要】** 「源氏物語」などを生み出した平安時代の貴族文化およびその文学は、鎌倉時代に入ると抛るべき規範、「古典」として権威化し、以後王朝貴族社会が衰退しても、長く日本の文学や文化に影響を与え続けた。本授業では、そうした「古典文化」の様相を、主とし

て平安・鎌倉時代の文学作品の叙述などをもとに考える。日本の古典文化が、中国の文学や文化の影響を受けながら、どのように独自の美意識、思想、感性を育んだのか、その結果、どのような人間の姿を見つめる文学作品が生み出されたのかを明らかにする。また現代に残る古典文化の影響について考える。

## 222018 日本の文化（古典文化）Ⅱ

### 【到達目標】

- ・「古典」として、長く日本の文学や文化に大きな影響を与えた王朝貴族の文学、文化、感性の様相を、文学作品などをもとに理解する。
- ・「古典」として権威化された王朝貴族の文学や文化が、後の日本の文化にどのような影響を与えたかを理解する。
- ・現代に残存する古典文化を見だし、日本文化の特質と古典文化との関わりについて考える力を養う。

**【概要】** 「日本の文化（古典文化）Ⅰ」に引き続き、「古典文化」の様相を、主として平安・鎌倉時代の文学作品の叙述などをもとに考え、その特質の理解を深める。そして、中国の文学や文化の影響を受けて形成された「古典文化」のなかで育まれた美意識、思想、感性が、後世にどのように影響を与え、現代にまで残存して、「日本の文化」の一端を形成しているかを考える。

## 222019 漢文学概論Ⅰ

### 【到達目標】

- ・中国文学、特に古代から中世にかけての歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。
- ・中国文学・思想等の原典を読解する基礎力を身につける。
- ・中国文学の全体像を概観し日本文学に与えた影響を理解する。

**【概要】** 中国文学の歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。主として古代・中世の文学を中心に学び、上代以来の古典詩、諸子百家以来の散文、『春秋左氏伝』『史記』等の歴史文学その他をとりあげる。それぞれの文学作品・文献の特徴を原文に即して読解し、その成立の文化的背景、社会情勢、慣習等にも立ち入って考察する。また、それぞれの作品が同時代や後世、日本文学に与えた影響について分析する。中国古典文学の全体像をつかみ、その豊かさと価値を、作品に即しながら、多角的な視点からとらえる。

## 222020 漢文学概論Ⅱ

### 【到達目標】

- ・中国文学、特に中世から近世にかけての歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。
- ・中国文学・思想等の原典を読解する基礎力を身につける。
- ・中国文学の全体像を概観し日本文学に与えた影響を理解する。

**【概要】** 中国文学の歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。主として中世・近世の文学を中心に学び、古典文語小説と白話小説、宋词や元曲等の歌曲などをとりあげる。それぞれの文学作品・文献の特徴を原文に即して読解し、その成立の文化的背景、社会情勢、慣習等に立ち入って考察する。また、それぞれの作品が同時代や後世、日本文学に与えた影響について分析する。中国古典文学の全体像をつかみ、その豊かさと価値を、作品に即しながら、多元的な視点からとらえる。

## 222021 Japanese Culture & Literature

### 【到達目標】

- ・世界から見た日本の文学や文化の特徴を理解する。
- ・英語で日本の文学について説明し、発信する力を養う。
- ・英語で日本の文化について説明し、発信する力を養う。

**【概要】** 英語に翻訳された日本の文学作品、あるいは英語で書かれた日本文学論や文化論を読みながら、世界から、日本の文学や文化のどのような点に興味をもたれ、どのような特徴があると捉えられているのかを理解する。こうした文献をふまえたうえで、外国人の興味や関心のありかを理解しそれに応える形で、あるいは逆にどのような形で「日本」の特質を発信してゆくべきであるかを自ら考えて、日本の文学や文学を、英語で発信してゆく力を身につける。

## ■特殊講義

### 222101 日本語学（表記・語彙）A

#### 【到達目標】

- ・普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を養う。
- ・表記・語彙の分野について、共時的通時的観点から捉える力を身につける。

**【概要】** 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。特に現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるように導く。本講義では、表記・語彙の分野のトピックを中心に扱う。共時的観点のみならず通時的観点からの考察も重視し、研究史を踏まえた見方ができるようにする。

### 222102 日本語学（表記・語彙）B

#### 【到達目標】

- ・普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を身につける。

・表記・語彙の分野について、応用分野も視野に入れながら、自ら考察する力を身につける。

**【概要】** 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。本講義では、表記・語彙の分野のトピックを中心に扱う。対照言語学的視点や、国語教育・日本語教育・コンピュータによる日本語処理等への応用も視野に入れた分析を行う。

#### 222103 日本語学（文法・談話）A

##### 【到達目標】

- ・普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を養う。
- ・文法・談話の分野について、共時的通時的観点から捉える力を身につける。

**【概要】** 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。本講義では、主に文法・談話の分野のトピックを扱う。文-文法のみでなく、談話・文章の文法も視野に入れて考察する。共時的観点のみならず通時的観点からの考察も重視し、研究史を踏まえた見方ができるようにする。

#### 222104 日本語学（文法・談話）B

##### 【到達目標】

- ・普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を身につける。
- ・文法・談話の分野について、応用分野も視野に入れながら、自ら考察する力を身につける。

**【概要】** 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。本講義では、主に文法・談話の分野のトピックを扱う。文-文法のみでなく、談話・文章の文法も視野に入れて考察する。対照言語学的視点や、国語教育・日本語教育・コンピュータによる日本語処理等への応用も視野に入れた分析を行う。

#### 222105 日本語史（古代・中世語）A

##### 【到達目標】

- ・上代語が持つ特徴を理解する。
- ・中古語の実態と特徴とを理解する。
- ・文献の解読に努め、上代・中古の言語的特徴を理解する。

・古代語の変化を捉え、その史的特徴を位置づけ理解する。

**【概要】** 上代から中世までの日本語の変遷を、諸種の文学作品や、古文書や仏教者遺文等にも資料の視野を広げて見て行く。変化の実態と特徴は、直接に文献に触れることが重要であり、複製本の資料等を読解しながら分析していく。併せて、各時代語の特徴を的確に論述している先行研究を取り上げて、資料の調査方法、分析の視点、記述の仕方、論述のまとめ方等を学んで行く。扱う時代は上代から中世までで、特に上代、中古を中心とする。

#### 222106 日本語史（古代・中世語）B

##### 【到達目標】

- ・中古語の実態と特徴とを理解する。
- ・文献の解読に努め、中古・中世の言語的特徴を理解する。
- ・古代語と近代語の過渡期中の中世語の変化を捉え、その史的特徴を位置づけ理解する。

**【概要】** 上代から中世までの日本語の変遷を、諸種の文学作品や、古文書や仏教者遺文等にも資料の視野を広げて見て行く。変化の実態と特徴は、直接に文献に触れることが重要であり、複製本の資料等を読解しながら分析していく。併せて、各時代語の特徴を的確に論述している先行研究を取り上げて、資料の調査方法、分析の視点、記述の仕方、論述のまとめ方等を学んで行く。扱う時代は上代から中世までで、特に中古から鎌倉時代を中心とする。

#### 222107 日本語史（中世・近世語）A

##### 【到達目標】

- ・中世語や、近世語が持つ特徴を理解する。
- ・近世語への過渡期である中世語の変化の過程を捉え、その史的位置づけを理解する。
- ・文学作品、宗教者遺文、芸能文書等の解読に努め、その言語的特徴を把握する。

**【概要】** 中世から近世までの日本語の変遷を、諸種の文学作品のみならず、古文書や仏教者やキリシタン等の遺文にも資料の視野を広げて、その実態と特徴とを講述する。この時期は、識字層や地域の拡大、人間が活発に交流した時期である。又、芸能文学の隆盛、欧米文化の摂取など、多彩な分野の文献が生み出された時期でもある。それらの文献を直接に触れて読解しながら日本語の近代語へと移って行く様子を捉える。扱う時代は中世から近世までで、特に中世に重点をおく。

#### 222108 日本語史（中世・近世語）B

##### 【到達目標】

- ・中世語や、近世語が持つ特徴を理解する。
- ・近世語への過渡期である中世語の変化の過程を捉え、その史的位置づけを理解する。
- ・文学作品、宗教者遺文、芸能文書、キリシタン文書等の解読に努め、その言語的特徴を把

握する。

**【概要】** 中世から近世までの日本語の変遷を、諸種の文学作品のみならず、古文書や仏教者やキリシタン等の遺文にも資料の視野を広げて、その実態と特徴とを講述する。この時期は、識字層や地域の拡大、人間が活発に交流した時期である。又、芸能文学の隆盛、欧米文化の摂取など、多彩な分野の文献が生み出された時期でもある。それらの文献を直接に触れて読解しながら日本語の近代語へと移って行く様子を捉える。扱う時代は中世から近世までで、特に近世に重点をおく。

#### 222109 社会言語学A

##### 【到達目標】

- ・ 日常なにげなく使っている「ことば」に対する問題意識を持つ姿勢を身につける。
- ・ 「ことば」の多様性を客観的に捉え、探究する力を培う。

**【概要】** 社会生活の中での言語の諸相とそのとらえ方について、主に日本語の具体事例を取り上げながら学ばせる。日本語の地理的変異に着目し、貴重な言語資料である全国に広がる様々な語の分布から、ことばの生成・発展・衰滅のプロセスをたどっていく。小方言から中核方言への統合現象や衰退する伝統方言に代わる新しい方言の発生・浸透などの実態もふまえ、共通語との接触による方言の変容、それに伴う方言の運用や意識の問題についても考えていく。

#### 222110 社会言語学B

##### 【到達目標】

- ・ 日常生活における「ことば」の実態や変容を理解する。
- ・ 社会や文化とのかかわりの中で、「ことば」が運用される様子を客観的に捉える力を養う。

**【概要】** 社会生活の中での言語の諸相とそのとらえ方について、主に日本語の具体事例を取り上げながら学ばせる。日本語の変種を年齢差、性差、場面差などの多角的な視点からとらえ、表現形式や談話構造のバラエティを探っていく。ことばの規範、アイデンティティとことばとの関係を言語意識の側面からとらえ、コードスイッチング、コミュニケーションストラテジー、敬語選択などの言語運用に具現されていく状況を、背後で作用している様々な社会文化的要因を視野に入れながら考えていく。

#### 222111 比較文化A

##### 【到達目標】

- ・ 比較文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・ 自己の文化圏とは異なる文化的価値を理解する。
- ・ 異文化を鏡として自己を見つめ直す力を養う。

**【概要】** 日本語を媒介として、他の国やエリアに関わる文化受容の諸問題を考察する。近現代の日本人が異文化と向き合うことで、どのような他者像を形成し、どのように自己のアイデンティティを考えたのかを明らかにしてゆく。また異文化との交流によって、複数の文化が混ざり合い、新たな文化が形成される過程を分析する。

## 222112 比較文化B

### 【到達目標】

- ・国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解する。
- ・国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を比較文化研究全般に応用できる力を身につける。
- ・国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、比較文化研究を自律的に遂行できる課題探究力を身につける。

**【概要】** 本講義は、国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た比較文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら比較文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏に及んだ文化的影響関係を扱う。

## 222113 表象文化A

### 【到達目標】

- ・表象文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・表象文化の歴史的変化を理解する。
- ・文化領域相互の影響関係について分析する力を養う。

**【概要】** 日本語を媒介として、日本で形成されてきた表象文化と、海外から発信され日本に紹介された表象文化を考察する。明治・大正・昭和の時代に、西欧文化と向き合うことで、日本の都市空間や文化は大きく変容した。文学を含む言語表現や、写真や美術などのヴィジュアルな表現を通して、モダニズムの姿を明らかにする。

## 222114 表象文化B

### 【到達目標】

- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴と文化的社会的影響を理解する。
- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を

表象文化研究全般に応用できる力を身につける。

- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、表象文化研究を自律的に遂行できる課題探究力を身につける。

**【概要】** 本講義は、国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た表象文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら表象文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏へ広がりを見せたものを扱う。

## 222115 日本古代文学 A

### 【到達目標】

- ・日本の古代文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の古代文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の古代文学を批評的に読み味わう力を養う。

**【概要】** 日本の古代文学（七世紀ごろ～十世紀ごろ）について、基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、古代文学の世界にふれる。それぞれの古代文学は、古代社会のどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかから生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。古代文学の作品に即して、漢文学や史実、民俗学その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら古代文学の特徴と達成について、考えていく。

## 222116 日本古代文学 B

### 【到達目標】

- ・日本の古代文学の有様や、その背景となる文学的土壌、社会体制などについて理解する。
- ・日本の古代文学を解釈するのに必要な、知識や見解を習得する。
- ・日本の古代文学を批評的に読み、説明する力を養う。

**【概要】** 日本の古代文学（七世紀ごろ～十世紀ごろ）について、「日本文学（古代）A」とは異なる角度から取り上げて基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、古代文学の世界にふれる。それぞれの古代文学は、古代社会のどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかから生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。古代文学の作品に即して、漢文学や史実、民俗学その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら古代文学の特徴と達成について、考えていく。

## 222117 日本中古文学 A

### 【到達目標】



- ・日本の中古文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の中古文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の中古文学を批評的に読み味わう力を養う。

**【概要】** 日本の中古文学（九世紀ごろ～十一世紀ごろ）をとりあげて、基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、中古文学の世界にふれる。それぞれの中古文学は、平安時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。中古文学の作品に即して、漢文学や史実その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら中古文学の特徴と達成について、考える。

## 222118 日本中古文学B

### 【到達目標】

- ・日本の中古文学の有様や、その背景となる文学的土壌、社会体制などについて理解する。
- ・日本の中古文学を解釈するのに必要な、知識や見解を習得する。
- ・日本の中古文学を批評的に読み、説明する力を養う。

**【概要】** 日本の中古文学（九世紀～十一世紀ごろ）について、日本文学（中古）Aとは異なる角度からとりあげて、基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、中古文学の世界にふれる。それぞれの中古文学は、平安時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。中古文学の作品に即して、漢文学や史実その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら中古文学の特徴と達成について、考える。

## 222119 日本中世文学A

### 【到達目標】

- ・日本の中世文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の中世文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の中世文学を批評的に読み味わう力を養う。

**【概要】** 日本の中世文学（十二世紀～十六世紀ごろ）について、基本的な知識を学び、作品を実際に読むことを通じて、中世の文学や文化・芸能の世界に触れる。それぞれの中世文学は、劇的な転換期である院政期・鎌倉・室町といった時代に、どのような文学的土壌や社会情勢、文学史的動態の中から生まれたのか。また、故にどのような特徴を有しているのか。個々の作品に即し、漢文学や歴史学等周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈を基にしながら、中世文学の特徴と達成について考えていく。

## 222120 日本中世文学B

### 【到達目標】

- ・日本の中世文学の有様や、その背景となる文学的土壌、社会体制などについて理解する。
- ・日本の中世文学を解釈するのに必要な、知識や見解を習得する。
- ・日本の中世文学を批評的に読み、説明する力を養う。

**【概要】** 前期に引き続き、日本の中世文学（十二世紀～十六世紀ごろ）について、日本中世文学 A とは異なる視点から作品を実際に読むことを通じて、中世の文学や文化・芸能の世界に触れる。中世文学は劇的な転換期であった院政期・鎌倉・室町といった時代に、どのような文学的土壌や社会情勢、文学史的動態の中から生まれたのか。また、故にどのような特徴を有しているのか。個々の作品に即し、漢文学や歴史学等周辺知識も援用しながら読み解き、中世文学の特徴と達成について考えていく。

## 222121 日本近世文学 A

### 【到達目標】

- ・日本の近世文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の近世文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の近世文学を批評的に読み味わう力を養う。

**【概要】** 日本の近世文学（十七世紀ごろ～十九世紀ごろ）をとりあげて、基本的な知識を学び、作品を実際に読むことを通じて、近世の文学や芸能の世界にふれる。それぞれの近世文学は、江戸時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。作品に即して、中国文学、歴史その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとに、近世文学の特徴と達成、それを育んだ文化について、考えていく。

## 222122 日本近世文学 B

### 【到達目標】

- ・日本の近世文学の有様や、その背景となる文学的土壌、社会体制などについて理解する。
- ・日本の近世文学を解釈するのに必要な、知識や見解を習得する。
- ・日本の近世文学を批評的に読み、説明する力を養う。

**【概要】** 日本の近世文学（十七世紀ごろ～十九世紀ごろ）について、「日本近世文学 A」とは異なる角度からとりあげて、基本的な知識を学び、作品を実際に読むことを通じて、近世の文学や芸能の世界にふれる。それぞれの近世文学は、江戸時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。作品に即して、中国文学、歴史その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとに、近世文学の特徴と達成、それを育んだ文化について、考えていく。

## 222123 日本近代文学 A

### 【到達目標】

- ・都市がもつ固有の文化的特性について理解する。
- ・都市の近代化の歴史と文化遺産の関わりについて習得する。
- ・都市の文化的特性が文学作品で果たす役割について説明できる。

**【概要】** 文学の舞台となる都市は東京だけではない。古代への通路の役割を担う奈良や、王朝文化の気配を漂わせる京都、中世の武士の足跡を残す鎌倉など、都市によって成立する物語は異なっている。またそれらの都市が近代文学の舞台となるためには、近代的交通網の発達や、文化遺産の整備、近代的都市機能の設置などが不可欠だった。都市というトポスが、文学作品の生成とどのように関わっているのかを考える。

#### 222124 日本近代文学B

##### 【到達目標】

- ・アヴァンギャルドの各流派の基本的な知識を身につける。
- ・アヴァンギャルドを理解する文化的条件が日本でどのように成立したのかを理解する。
- ・日本の近代文学の規範性をアヴァンギャルドがどのように破壊したかを説明できる。

**【概要】** 日本近代文学を対象にアヴァンギャルドの研究を行う。二〇世紀前半にヨーロッパの未来派・立体派・アナーキズム・構成主義・ダダイズムなどの流派が、日本に紹介され、文学の新しいステージを作り出していった。それは単に流入したのではない。それを理解する地盤が日本で形成されたときに、初めて日本の流派として成立するのである。歴史的社会的文化的な事象と連動させながら、アヴァンギャルドと文学の関係を考察する。

#### 222125 日本近代文学C

##### 【到達目標】

- ・近代文学に関わる多様な問題系の歴史について理解する。
- ・近代文学が伝統を継承しながら、どのように切断していくのかを理解する。
- ・多様な問題系が作品形成とどう関わっているのかを説明できる。

**【概要】** 作品を文学者個人の場所に還元して読むのではなく、同時代の他の文学者の作品と横並びにして読むとき、各時代に尖鋭化してくる問題系が浮かび上がってくる。伝統の継承と切断、作品形式への問い、キリスト教や仏教との葛藤、浪漫主義・象徴主義・社会主義などのイデオロギイとの出会い、都市への人口集中と田園の発見、文語体と口語体など、問題系は多岐にわたっている。問題系の歴史を追いながら、そのなかで作品の姿を浮かび上がらせる。

#### 222126 日本近代文学D

##### 【到達目標】

- ・文学者個人の歴史と、文学の歴史が、どのように交差しているのかを理解する。
- ・文学者個人の行程が、文化圏や時代性にどのように規定されているのかを理解する。
- ・文学において「作者」がどのような装置なのかを説明できる。

**【概要】** 文学者の行程を追いかけていくと、そこには個人が直面するさまざまな問題が現れる。故郷と異郷、家と家族、青年期に出会う文学と宗教、時代思潮との積極的な関わり、同時代文学者との距離、恋愛と結婚、文学上の挫折と方法の模索、戦争による死意識など。文化圏と時代性に規定されながら、自らの文学を形成していこうとする軌跡が浮き彫りになる。「作者」とはどのような装置なのかを、読者や読書行為の現場も含めて明らかにする。

## 222127 日本現代文学A

### 【到達目標】

- ・現代文学に描かれた〈私〉の特質を明らかにするとともに、その変容と新たな表現模索のプロセスを理解する。
- ・現代文学が、社会的文化的事象から影響を受けつつも、それらを批評的に乗り越えようとしてきた歴史を理解する。
- ・現代文学研究に必要な知識と特有の分析方法を学び深め、それを応用する力を養う。

**【概要】** 主として80年代以降の現代文学(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を取り上げ、そこに描かれた〈私〉の特質と表現のありようを明らかにする。〈私〉は、リアリズム小説では時代や社会と深いかかわりを持ち、制度や既成の価値観との戦い、自我形成と自意識のゆらぎ、告白やリアリズム文体といった問題系と結びつく。また、幻想文学では、分身や変身、夢やイメージと想像力、無意識、幻想的表現といった問題系と結びつく。これらを総合的に捉えて、近代文学における〈私〉の表現史を編み上げてゆく。

## 222128 日本現代文学B

### 【到達目標】

- ・現代文学における、ジェンダー・セクシュアリティ規制のありようと、脱構築に向かうプロセスを学び、現代文学が社会的文化的事象から影響を受けつつも、それらを批評的・創造的に乗り越えようとしてきた歴史を理解する。
- ・ジェンダー研究、クイア批評の発想と方法を学び、それを応用する力を養う。

**【概要】** 主として80年代以降の現代文学(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を取り上げ、ジェンダー規制や男女二分法のセクシュアリティ観が、どのように文学に捉えられ組み換えられてきたかを明らかにする。特にジェンダー規制が語り手の意識の深部にまで浸透していることに着目し、語りやイメージの分析によってそれをあぶりだしてゆく。また、現代文学における新たなセクシュアリティ・イメージの提示とその表現についても考える。

## 222129 日本現代文学C

### 【到達目標】

- ・現代文学における想像力と言語表現との関係や物語の構造を理解し、該当期の表現史の構築を試みる。
- ・作品(またはテキスト)の表現分析方法を学び、応用力を涵養する。
- ・複数の文学理論を学び研究の視座を開くと共に、研究対象にふさわしい理論を選び、それを用いて分析・考察する実践力を養う。

**【概要】** 現代文学(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を時系列に取り上げ、「想像力・物語構造・表現」という観点から分析し、その芸術的特性と文学的意義を明らかにする。また、それらの相互関係を考えながら、該当期の表現史の編み上げを試みる。分析と考察にあたっては、海外文学や文化の影響も考え併せながら、語り論、イメージ論、表象文化論、精神分析学、言語学、レトリック論など、さまざまな理論と方法を必要に応じて有効に取り入れ、その援用をはかる。

## 222130 日本現代文学 D

### 【到達目標】

- ・現代文学における主要テーマを他のテーマと関連付けつつ学ぶことで、その展開と表現創造の過程を多層的なものとして理解する。
- ・現代文学が、社会・文化的事象に影響を受けながらも、それらを批評的・創造的に乗り越え組み換えてきた歴史を理解する。
- ・現代文学・サブカルチャー研究特有の方法論を身につけ、応用する力を培う。

**【概要】** 現代文学(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を対象としたテーマ研究を行う。現代を考えるに重要なテーマ、例えば「生命」「情報」「病理」「家族」「幻想」といったものの中から一つを選定し、それを軸に複数の作品の分析と解釈を行う。それらを積み重ねることによって、そのテーマの生成と変容、複雑化などの歴史を辿ってゆく。考察に際しては、作品の背後に広がる法制度や経済構造などの変化、メディアからの影響などにも目を向け、対象との相関関係を探る。必要に応じてさまざまな文学理論や研究方法を学びとりつつ、その援用をはかる。

## 222131 日本文化学 A

### 【到達目標】

- ・ヨーロッパのモダニズムの各流派について理解する。
- ・文化諸領域に渉るモダニズムの広がりについて習得する。
- ・日本のモダニズム文化の特徴を説明できる。

**【概要】** 第一次世界大戦前後のヨーロッパのモダニズムは、日本のモダニズムを支えるバックボーンになった。フランスで始まるシュールレアリスムや、ロシアでスタートするフォルマリズム、ドイツで流行するノイエ・ザハリヒカイトなどは、日本の映画・演劇・写真・美術・文学など、文化諸領域に幅広い影響を与えている。さらにそれらは東アジアの新しい

文化のステージも創出する。西洋文化との比較のなかで、日本のモダニズム文化の展開と特質を明らかにする。

#### 222132 日本文化学B

##### 【到達目標】

- ・視覚的な文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・聴覚的な文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・多様な隣接領域との交流によって、文学がどのように変容したかを説明できる。

**【概要】** 文学というジャンルは単独で存在するのではない。映画のモンタージュという方法や、シナリオの形式は、文学表現の世界を大きく変えた。美術と文学の関係は、装幀や挿絵からも読み取れるし、詩画集という形式を取ることもある。ラジオ放送は文学者に講演や朗読の機会を提供し、言語の聴覚性という問題を鮮明にした。映画や写真、美術やラジオ放送など、隣接するジャンルとの相互関係のなかで、文学に新しい光を当てていく。

#### 222133 中国の文学と文化A

##### 【到達目標】

- ・中国文学の多様なジャンルについて理解する。
- ・中国文学における作家または作品と社会との関係について理解する。
- ・中国文学の作品を精密に読解するとともに、その社会的背景等を調べ、分析する力を身につける。

**【概要】** 中国文学の多様な側面を、おもに小説・詩等を通して考える。小説の分析を中心とするが、補足的に他のジャンルの作品などを交え、立体的に作家と中国社会との関連・葛藤の様相を考える。作品を各自がきちんと読んでおくことを前提とし、積極的な意見発表・問題提起を重視し、さまざまな角度から分析したい。中国文学の作家の中から代表的な作家をとりあげ、作家の生涯を多様な作品を通して、読み解く。伝記的事実についても、多角的に検討する。

#### 222134 中国の文学と文化B

##### 【到達目標】

- ・さまざまなジャンルにわたる中国文学の多様性について理解する。
- ・中国文学における作家あるいは作品と社会背景との関わりについて理解する。
- ・中国文学の作品をていねいに読解するとともに、その社会的背景等を通じて、分析する力を身につける。

**【概要】** 中国文学の多様な側面を、おもに各種の散文作品を通して考える。詩、その他の韻文などを交え、立体的に作家と中国社会との関連・葛藤の様相を考える。作品を各自がきちんと読んでおくことを前提とし、積極的な意見発表・問題提起を重視し、さまざまな角度

から分析したい。中国文学の中から、数名の作家をとりあげ、文学の変革を彼らがどのように試み、さまざまな文学ジャンルをどう受けとめたかを、時代背景・文学理論にも触れて考える。

## ■ 基盤演習

### 222201 古典文学基礎演習（くずし字）

#### 【到達目標】

- ・「くずし字」を読みこなすための基礎的な能力を身につける。
- ・文学作品およびその関連資料の、翻刻・活字化される以前の諸形態にも注目できるような姿勢を養う。

**【概要】** 古典文学を研究するために、自ら作品の原本を確認、分析する必要があるのは言うまでも無いが、書かれている文字（いわゆる「くずし字」）が読めなければ、それは不可能である。本授業では、古典文学の原本はもちろん、近代文学の作家の草稿や書簡のうち、「くずし字」が使われている自筆資料を、自分で解読するために必要不可欠な技能、すなわち「くずし字」を読みこなすための能力の基礎を養う。

### 222202 古典文学基礎演習（解釈）

#### 【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

**【概要】** 日本の古典文学作品を丁寧に精読し、語釈等を通じて適切な解釈（現代語訳）を施し、あわせてそれらに対する私見を提示することで、個々の文学作品をより深く味わい、理解することを目指す。発表者は自らの担当範囲を上述の立場から丁寧に予習・解説（その過程で、古典文学解釈の基礎を学ぶこととなる）し、一方発表者以外の学生は、こちらも作品と丁寧に向き合いながら発表者の意見を汲み取り、その上でなお残る問題を指摘し、相互のやりとりの中で問題の解決を目指す。

### 222203 日本古典文学演習（講読）A

#### 【到達目標】

- ・日本古典文学の解釈に必須な知見を身につける。
- ・辞書・索引・注釈書などの文献を利用して、自分自身の読みを構築する力を養う。
- ・作品の構成、文脈等をわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養

う。

**【概要】** 教員の講義や代表的な注釈書をもとに、まとまった分量の日本の古典文学作品を読み、語釈等による適切な解釈を前提としつつ、構造、構成、文化といった大きな視野で理解することを目指す。発表者は講義を聴いた上で、自らの担当範囲を上述の立場から再度読み解き、場合によっては担当範囲以外の内容もふまえて、私見を示す。一方発表者以外の学生は、同様に自身も熟読したうえで発表者の意見を汲み取り、その上でなお残る問題を指摘し、相互のやりとりの中で問題の解決を目指す。

#### 222204 日本古典文学演習（講読）B

##### 【到達目標】

- ・日本古典文学の解釈に必要な不可欠な知見を身につける。
- ・辞書・索引・注釈書などの文献を利用しながら、自分自身の読みを作り上げる力を養う。
- ・作品の構成、文脈等を明確に提示して、他者との対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

**【概要】** 教員の講義や代表的な注釈書をもとに、まとまった分量の「日本古典文学演習（講読）A」とは異なる日本の古典文学作品を読み、語釈等による適切な解釈を前提としつつ、構造、構成、文化といった大きな視野で理解することを目指す。発表者は講義を聴いた上で、自らの担当範囲を上述の立場から再度読み解き、場合によっては担当範囲以外の内容もふまえて、私見を示す。一方発表者以外の学生は、同様に自身も熟読したうえで発表者の意見を汲み取り、その上でなお残る問題を指摘し、相互のやりとりの中で問題の解決を目指す。

#### 222205 現代日本語演習 I

##### 【到達目標】

- ・日本語学のさまざまな問題について考究する力を養う。
- ・既存のデータやツールの使用法を学ぶ。
- ・口頭発表の力と文章表現の力を向上させる。

**【概要】** 現代語を対象に、日本語学のいろいろな問題について広く考究する。自分でデータを集め、分析することが基本となる。既存のデータやツールの使用法も学んでゆく。本演習では、書き言葉を対象とする。複数回の報告および討論を踏まえたレポートの提出を義務づけ、口頭発表の力と文章表現の力の双方の向上をも目標とする。

#### 222206 現代日本語演習 II

##### 【到達目標】

- ・日本語学のさまざまな問題について考究する力を身につける。
- ・既存のデータやツールの使用法を身につける。
- ・口頭発表の力と文章表現の力を向上させる。



**【概要】** 現代語を対象に、日本語学のいろいろな問題について広く考究する。自分でデータを集め、分析することが基本となる。既存のデータやツールの使用法も学んでゆく。本演習では、書き言葉に加え話し言葉についても対象とし、話し言葉と書き言葉の対照や、同じ話し言葉（書き言葉）でも種類が異なる場合に、どのような違いが現れるかなどにも目を配りながら分析する。複数回の報告および討論を踏まえたレポートの提出を義務づけ、口頭発表の力と文章表現の力の双方の向上をも目標とする。

#### 222207 日本語史演習 I

##### 【到達目標】

- ・ 文献を解読することによって、資料研究の調査方法を習得する。
- ・ 文献の言語を分析することによって、日本語史研究の分析手法を習得する。
- ・ 諸本・異本を比較することによって、言語特徴を把握し、言語の史的特徴を理解する。
- ・ 報告や討論を通して、自己の分析を再検討する。

**【概要】** 日本語史の史料となる文献を扱う方法を学び取ることを目標とする。上代から近世に至るまでの日本語の変遷を、時代別に資料となる文献に直接触れて学んでいく。それぞれの時代の日本語を体系的に記述、分析するためには、言語資料をどう扱うかという方法の訓練である。文献の解読と基礎的な記述を行う。分析文献は各時代の代表的なものを扱う。

#### 222208 日本語史演習 II

##### 【到達目標】

- ・ 文献を解読することによって、資料研究の調査方法を習得する。
- ・ 文献の言語を分析することによって、日本語史研究の分析手法を習得する。
- ・ 諸本・異本を比較することによって、言語特徴を把握し、言語の史的特徴を理解する。
- ・ 発表や討論を通して、自己の分析を再検討し、言語分析の方法を習得する。
- ・ 自己の分析を論文化する方法を学ぶ。

**【概要】** 日本語史の史料となる文献を扱う方法を学び取ることを目標とする。上代から近世に至るまでの日本語の変遷を、時代別に資料となる文献に直接触れて学んでいく。それぞれの時代の日本語を体系的に記述、分析するためには、言語資料をどう扱うかという方法の訓練である。分析文献中に設定したテーマをより発展・進化させるために先行研究や関連資料等を積極的に引用して、問題の史的な位置づけを行っていく。分析文献は各時代の代表的なものを扱う。

#### 222209 社会言語学演習 I

##### 【到達目標】

- ・ 研究目的に応じたデータを収集できる力を身につける。
- ・ 収集データを適切に処理する能力を培う。

- ・研究成果を明解に発表する力を向上させる。

**【概要】** 文献資料やコーパス、場合によってはアンケート調査等により、地域差も含めた現代日本語のバラエティの実態をその背景となる社会状況と関連させながら検討していく。本演習では様々な言語データの収集方法についても学んでいく。

## 222210 社会言語学演習Ⅱ

### 【到達目標】

- ・研究目的に応じたデータを収集できる力を身につける。
- ・収集データを適切に処理する能力を培う。
- ・研究成果を明解に発表する力を向上させる。

**【概要】** 文献資料やコーパス、場合によってはアンケート調査等により、地域差も含めた現代日本語のバラエティの実態を捉えた上で、言語変化の過程とその要因について考察を深めていく。本演習では、研究成果を発信し、その効果測定も行っていく。

## 222211 日本古代文学演習 A I

### 【到達目標】

- ・日本の古代文学を解釈するに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古代文学、和歌文学を解釈するに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築してわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を構築する力を養う。

**【概要】** 日本の古代文学、特に和歌や歌謡に着目し、精読し、その歌の世界を可能な限り深く探求することを目標とする。また散文部分と関わることで歌や作品世界がいかに深まっているかを考える。本文批判に始まり、語法や語彙について検討し、また歴史的な背景を知ることによって、総合的にその意味や価値について考えてゆく。かつ注釈書や研究書を読解し、索引によって用例を調査する方法についても、実際に触れることによって学ぶ。各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

## 222212 日本古代文学演習 A II

### 【到達目標】

- ・日本の古代文学を解釈するに必須な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に古代文学を、辞書・索引・注釈書などの文献を利用して解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに構築した自らの意見をわかりやすく提示し、議論のなかで自らの意見を再構築する力を養う。

**【概要】** 前期に引き続き、日本の古代文学、特に和歌や歌謡に着目し、精読し、その歌の

世界を可能な限り深く探求することを目標とする。また散文部分と関わることで歌や作品世界がいかにかに深まっているかを考える。本文批判に始まり、語法や語彙について検討し、また歴史的な背景を知ることによって、総合的にその意味や価値について考えてゆく。かつ注釈書や研究書を読解し、索引によって用例を調査する方法についても、実際に触れることによって学ぶ。各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

## 222213 日本古代文学演習 B I

### 【到達目標】

- ・日本の古代文学を解釈するために必要不可欠な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古代文学、和歌文学を解釈するのに必ず必要となる、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を身につける。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を組み立てて、他人にわかりやすいことばで提示し、他人との対話を通じて自らの意見を作り上げる力を養う。

**【概要】** 日本の古代文学、特に和歌や歌謡について、「日本文学（古代）A」と異なる角度からとりあげ、その歌の世界を深く探求することを目標とする。また散文部分と関わることで歌や作品世界がいかにかに深まっているかを考える。本文批判に始まり、語法や語彙について検討し、また歴史的な背景を知ることによって、総合的にその意味や価値について考えてゆく。かつ注釈書や研究書を読解し、索引によって用例を調査する方法についても、実際に触れることによって学ぶ。各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

## 222214 日本古代文学演習 B II

### 【到達目標】

- ・日本の古代文学を解釈するに必要な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に古代文学について、辞書・索引・注釈書などの内容を咀嚼して自分のものとし、解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに作り上げた自らの意見を他者にわかりやすい形で提示し、対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

**【概要】** 前期に引き続き、日本の古代文学、特に和歌や歌謡について、「日本文学（古代）A」と異なる角度からとりあげ、その歌の世界を深く探求することを目標とする。また散文部分と関わることで歌や作品世界がいかにかに深まっているかを考える。本文批判に始まり、語法や語彙について検討し、また歴史的な背景を知ることにより、総合的にその意味や価値について考える。かつ注釈書や研究書を読解し、索引によって用例を調査する方法についても、実際に触れることによって学ぶ。各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

## 222215 日本中古文学演習 A I

### 【到達目標】

- ・日本の中古文学を解釈するに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の中古文学、和歌文学を解釈するに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築してわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を構築する力を養う。

**【概要】** 日本の中古文学の作品を精読し、あわせて平安時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、中古文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

## 222216 日本中古文学演習 A II

### 【到達目標】

- ・日本の中古文学を解釈するに必須な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に中古文学を、辞書・索引・注釈書などの文献を利用して解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに構築した自らの意見をわかりやすく提示し、議論のなかで自らの意見を再構築する力を養う。

**【概要】** 前期に引き続き、日本の中古文学の作品を精読し、あわせて平安時代についての理解を深めさせる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、中古文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解

説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

## 222217 日本中古文学演習 B I

### 【到達目標】

- ・日本の中古文学を解釈するために必要不可欠な、基本的知見を身につける。
- ・日本の中古文学、和歌文学を解釈するのに必ず必要となる、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を身につける。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を組み立てて、他人にわかりやすいことばで提示し、他人

との対話を通じて自らの意見を作り上げる力を養う。

**【概要】** 日本の中古文学について、「日本文学演習（中古）A」とは違う角度から取り上げて精読し、あわせて平安時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、中古文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

## 222218 日本中古文学演習BⅡ

### 【到達目標】

- ・日本の古代文学を解釈するに必要な不可欠な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に中古文学について、辞書・索引・注釈書などの内容を咀嚼して自分のものとし、解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに作り上げた自らの意見を他者にわかりやすい形で提示し、対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

**【概要】** 前期に引き続き日本の中古文学について、「日本文学演習（中古）A」とは違う角度から取り上げて精読し、あわせて平安時代についての理解を深める。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、中古文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

## 222219 日本中世文学演習AⅠ

### 【到達目標】

- ・日本の中世文学を解釈するに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の中世文学、和歌文学を解釈するに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築してわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を構築する力を養う。

**【概要】** 日本の中世文学の作品を精読し、あわせて院政期・鎌倉・室町時代の文化・歴史について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化・歴史代背景に注意させつつ、各ジャンルに固有の文学的性格、及び各作品に固有の特徴についても学ぶことができるよう配慮する。各種資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の紹介や、読解の指導も行う。上記の目標達成のため、各学生が担当範囲の問題点・疑問点を整理して発表に臨み、それをもとに討論を重ねる。

## 222220 日本中世文学演習 A II

### 【到達目標】

- ・日本の中世文学を解釈するに必須な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に中世文学を、辞書・索引・注釈書などの文献を利用して解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに構築した自らの意見をわかりやすく提示し、議論のなかで自らの意見を再構築する力を養う。

**【概要】** 前期に引き続き、日本の中世文学の作品を精読し、その文学的性格について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化・歴史代背景に注意させつつ、各ジャンルに固有の文学的性格、及び各作品に固有の特徴についても学ぶことができるよう配慮する。各種資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の紹介や、読解の指導も行う。上記の目標達成のため、各学生が担当範囲の問題点・疑問点を整理して発表に臨み、それをもとに討論を重ねる。

## 222221 日本中世文学演習 B I

### 【到達目標】

- ・日本の中世文学を解釈するために必要不可欠な、基本的知見を身につける。
- ・日本の中世文学、和歌文学を解釈するのに必ず必要となる、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を身につける。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を組み立てて、他人にわかりやすいことばで提示し、他人との対話を通じて自らの意見を作り上げる力を養う。

**【概要】** 日本の中世文学について、「日本文学演習（中世）A」とは異なる角度から作品を精読し、文学的性格について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化・歴史代背景に注意させつつ、各ジャンルに固有の文学的性格、及び各作品に固有の特徴についても学ぶことができるよう配慮する。各種資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の紹介や、読解の指導も行う。上記の目標達成のため、各学生が担当範囲の問題点・疑問点を整理して発表に臨み、それをもとに討論を重ねる。

## 222222 日本中世文学演習 B II

### 【到達目標】

- ・日本の中世文学を解釈するに必要不可欠な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に中世文学について、辞書・索引・注釈書などの内容を咀嚼して自分のものとし、解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに作り上げた自らの意見を他者にわかりやすい形で提示し、対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

**【概要】** 前期に引き続き日本の中世文学について、「日本文学演習（中世）A」とは異なる角度から作品を精読し、文学的性格について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、

文化・歴史代背景に注意させつつ、各ジャンルに固有の文学的性格、及び各作品に固有の特徴についても学ぶことができるよう配慮する。各種資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の紹介や、読解の指導も行う。本演習でも各学生が担当範囲の問題点・疑問点を整理して発表に臨み、それをもとに討論を重ねる。

#### 222223 日本近世文学演習 A I

##### 【到達目標】

- ・日本の近世文学を解釈するに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の近世文学、韻文を解釈するに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築してわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を構築する力を養う。

**【概要】** 日本の近世文学の作品を精読し、あわせて江戸時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近世文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

#### 222224 日本近世文学演習 A II

##### 【到達目標】

- ・日本の近世文学を解釈するに必須な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に近世文学を、辞書・索引・注釈書などの文献を利用して解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに構築した自らの意見をわかりやすく提示し、議論のなかで自らの意見を再構築する力を養う。

**【概要】** 前期に引き続き、日本の近世文学の作品を精読し、あわせて江戸時代についての理解を深めさせる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近世文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

#### 222225 日本近世文学演習 B I

##### 【到達目標】

- ・日本の近世文学を解釈するために必要不可欠な、基本的知見を身につける。

- ・日本の近世文学、韻文を解釈するのに必ず必要となる、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を身につける。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を組み立てて、他人にわかりやすいことばで提示し、他人との対話を通じて自らの意見を作り上げる力を養う。

**【概要】** 日本の近世文学について、「日本文学演習（近世）A」とは違う角度から取り上げて精読し、あわせて江戸時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近世文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

## 222226 日本近世文学演習 B II

### 【到達目標】

- ・日本の近世文学を解釈するに必要な不可欠な知見を身につける。
- ・日本の古典文学、特に近世文学について、辞書・索引・注釈書などの内容を咀嚼して自分のものとし、解釈する力を習得する。
- ・種々の文献をもとに作り上げた自らの意見を他者にわかりやすい形で提示し、対話を通じて自らの意見を作り直す力を養う。

**【概要】** 前期に引き続き日本の近世文学について、「日本文学演習（近世）A」とは違う角度から取り上げて精読し、あわせて江戸時代についての理解を深める。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近世文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

## 222227 日本文化演習 A I

### 【到達目標】

- ・都市のエリアが積み重ねてきた歴史的記憶について理解する。
- ・研究分野がクロスする都市研究の方法を学び基礎力を養う。
- ・個々の文学作品が都市の記憶とどのようにリンクしているのかを分析する力を身につける。

**【概要】** 都市のなかには、さまざまな特徴を持ったエリアが存在する。ビジネスセンターもあれば、複数のターミナル駅を基盤に発展した新興地域もある。盛装して出かける華やかなトポスもあれば、大衆都市という性格を持つ盛り場もある。それぞれのエリアが蓄積して



きた歴史的記憶は、文学を中心とする言語表現に幅広く織り込まれている。都市文化が個々の文学作品と、どのようにリンクしているのかを、総合的に考察する。

#### 222228 日本文化演習 A II

##### 【到達目標】

- ・都市空間を構成する重要なスポットの歴史と変遷について理解する。
- ・研究分野がクロスする都市研究の方法を学び応用力を養う。
- ・スポットの特質や魅力が文学作品にどのように織り込まれているのかを分析する力を身につける。

**【概要】** 都市空間を構成する要素は多様である。デパートのように生活空間とリンクする消費のスポットもあれば、映画館や劇場のようなエンターテインメントのスポットもある。カフェやレストランのような食文化のスポットもあれば、競技場のように身体活動と結び付いたスポットもある。文学者は生活者として体験したそれらの要素を、文学作品に書き込んでいく。都市空間との関係性に焦点を当てて、作品を新たに読み直す。

#### 222229 日本文化演習 B I

##### 【到達目標】

- ・研究の方法によって、文学作品の異なる世界が開けてくることを理解する。
- ・文化のさまざまな問題系を調査する方法の基礎力を身につける。
- ・作品空間のなかで、文化と文学がどのような関係を有しているのかを分析する力を見につける。

**【概要】** 文学の読み方は多様である。作者によって統括された世界として読み解く方法は唯一のものではないし、ストーリーや主人公に沿って読む方法が正統的なわけでもない。風・光・雲などを通して組み立てられる自然観や、動物や植物などとの共生観、さらに宇宙観や死生観などの問題系から、文学を読み解くこともできる。文化的背景や社会的背景を参照しながら、作品空間で前景化する問題系を読み解いていく。

#### 222230 日本文化演習 B II

##### 【到達目標】

- ・文化が時代によって、また国によって大きく異なることを理解する。
- ・文化的コンテキストを調査する方法の応用力を身につける。
- ・文化的コンテキストが文学作品のなかでどのように機能しているのかを分析する力を身につける。

**【概要】** 日本の近現代文学は、さまざまな文化的コンテキストに支えられて成立している。恋愛と結婚はその一例だが、明治・大正・昭和と時代をたどれば、恋愛のあり方が大きく変容することが分かる。また海外を舞台とする恋愛小説と比較すれば、日本での恋愛が相対化

される。時間軸と空間軸を意識化することで、文化的コンテキストの意味を明らかにしていく。

#### 222231 日本近現代文学演習 A I

##### 【到達目標】

- ・近代文学における〈私〉というものの特性を明らかにし、その表現史を理解する。
- ・近代文学研究に必要な基礎知識と研究方法を実践的に学びとり、その応用力を養う。

【概要】 近代文学作品(演劇・舞踊・映画なども含む)を時系列に取り上げ、分析・解釈することによって、そこに現れた〈私〉の特質を明らかにしてゆく。分析にあたっては、〈私〉の置かれている歴史的社会的文化的及び個人的状況を明確化し、それとの相関関係を探る。また、語り分析、精神分析、身体論等を援用して心の深層領域に分け入り、総体としての〈私〉の解明に努める。

#### 222232 日本近現代文学演習 A II

##### 【到達目標】

- ・現代文学における〈私〉というものの特性を明らかにし、その表現史を理解する。
- ・現代文学研究に必要な基礎知識を学び、かつ方法論の充実をはかることで応用力を養う。

【概要】 現代文学作品(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を時系列に取り上げ、分析・解釈することによって、そこに現れた〈私〉の特質を明らかにしてゆく。分析にあたっては、〈私〉の置かれている歴史的社会的文化的及び個人的状況を明確化し、それとの相関関係を探る。また、語り分析、精神分析、身体論等を援用して心の深層領域に分け入り、総体としての〈私〉の解明に努める。

#### 222233 日本近現代文学演習 B I

##### 【到達目標】

- ・近代文学における、ジェンダー・セクシュアリティ規制のありようを学びとり、近代文学が社会制度や文化から影響を受けつつも、それらを批評的・創造的に乗り越えようとしてきたことを理解する。
- ・ジェンダー研究の発想と方法を学び理解する。

【概要】 近代文学作品(演劇・舞踊・映画なども含む)を時系列に取り上げ、女性学・ジェンダー的視点から分析・解釈することで、その読み直しを図る。考察に際しては、作品の背後に広がる歴史的社会的文化的事象、法制度や経済構造などの変化、メディアの影響等にも目を向け、文学との相関関係を探る。最終的には、近代文学が旧来のジェンダー・セクシュアリティ観に縛られつつも、そこからいかに脱却しようとして新たな表現を獲得していったかを明らかにする。

#### 222234 日本近現代文学演習 B II

### 【到達目標】

- ・現代文学における、脱ジェンダー・脱二分法的セクシュアリティ観の試みを理解し、新たな表現創出のプロセスを学び取る。
- ・ジェンダー批評やクイア批評の発想と方法を学び、それを応用する力を養う。

**【概要】** 現代文学作品(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を時系列に取り上げ、女性学・ジェンダー的視点から分析・解釈することで、その読み直しを図る。考察に際しては、作品の背後に広がる法制度や経済構造などの変化、メディアの影響等にも目を向け、文学との相関関係を探る。特に後期では、ジェンダー規制や男女二分法のセクシュアリティ観が、現代文学においてどのように組み換えられ、新たな表現を生み出してきたかを明らかにする。

### 222235 日本近現代文学演習 C I

#### 【到達目標】

- ・近代文学において、「生きもの」と「物語の構成要素」と「表現」がどのように結びつきながら総体としての作品(あるいはテキスト)を構成しているかを理解する。
- ・近代文学研究に必要な複数の研究方法を学び理解する。

**【概要】** 近代文学作品(演劇・舞踊・映画なども含む)を取り上げ、「生きもの(人間・動物・人形・想像上の生命体など)・物語・表現」という三つの観点から、具体的に分析し、それぞれの芸術的特性と文学的意義を明らかにする。また、それと共に該当期の表現史の編み上げを試みる。分析と考察にあたっては、日本古典文学・漢文学の文脈や海外文学の影響等を探ると共に、さまざまな理論と方法(イメージ論、表象文化論、精神分析学、言語学、レトリック論など)を有効に取り入れ、その援用をはかる。

### 222236 日本近現代文学演習 C II

#### 【到達目標】

- ・現代文学において、「生きもの」と「物語の構成要素」と「表現」がどのように結びつきながら総体としての作品(あるいはテキスト)を構成しているかを理解する。
- ・現代文学研究に必要な複数の文学理論や研究方法を学び、それを応用する力を養う。

**【概要】** 現代文学作品(演劇・舞踊・映画、文学と関わりのある漫画などのサブカルチャーも含む)を取り上げ、「生き物(人間・動物・人形・想像上の生命体など)・物語・表現」という三つの観点から、具体的に分析し、それぞれの芸術的特性と文学的意義を明らかにする。また、それと共に、該当期の表現史の編み上げを試みる。分析と考察にあたっては、海外文学や文化の影響も考え併せながら、さまざまな理論と方法(イメージ論、表象文化論、精神分析学、言語学、レトリック論など)を有効に取り入れ、その援用をはかる。

### 222237 日本近現代文学演習 D I

**【到達目標】**

- ・テーマティックな研究を時系列に行うことを通して、近現代文学史の再構築を図る。
- ・作品（あるいはテキスト）に織り込まれた社会的文化的事象を調べることで、解釈における多角的な視座を養う。
- ・近現代文学研究に必要な複数の研究方法を学び身につける。

**【概要】** 近現代文学を対象としたテーマ研究を行う。主要なテーマ、例えば「天体」「自然」「国家」「家族」「生命」「性」といったものの中から一つを選定し、それを軸に作品（演劇・映画・舞踊・サブカルチャーも含む）の分析と解釈を行う。又、その積み重ねによって、そのテーマの生成と変容、複雑化や消滅の歴史を辿ってゆく。考察に際しては、法制度や経済構造などの変化、メディアからの影響等にも目を向け、作品との相関関係を探る。また、必要に応じてさまざまな文学理論や研究方法を学び応用する。

**222238 日本近現代文学演習DⅡ****【到達目標】**

- ・特定のテーマ研究を通して、近代文学とは異なる現代文学ならではの世界観や表現方法を学び、理解する。
- ・作品（あるいはテキスト）に織り込まれた社会的文化的事象を調べ、それらとの相関関係を明らかにすることで、解釈を深めてゆく力を育成する。
- ・複数の文学理論や研究方法を学び、多角的視点から応用する力を養う。

**【概要】** 近現代文学を対象としたテーマ研究を行う。主要なテーマの中から、前期(DⅠ)とは異なる、もしくは関連する一つを選定し、それを軸に作品（演劇・映画・舞踊・サブカルチャーも含む）の分析と解釈を行う。又、その積み重ねによって、そのテーマの生成と変容、複雑化や消滅の歴史を辿ってゆく。考察に際しては、法制度や経済構造などの変化、メディアからの影響等にも目を向け、作品との相関関係を探る。また、必要に応じてさまざまな文学理論や研究方法を学び応用する。

**222239 漢文学演習AⅠ****【到達目標】**

- ・中国古典文学、または日本漢文を、原点に即して読解する力を身につける。
- ・日本漢文に大きく影響を与えた中国古典文学の特徴とその文化的・社会的背景を理解する。
- ・自己の見解をまとめ、発表し、討論する力及び文章化する力を身につける。

**【概要】** 中国古典文学または日本漢文の代表的な作品をとりあげ、精読する。中国古代・中世の独特な発想法や修辞について、作品に即して分析し、日本の古代文学などとも対比し

て考える。同時に時代背景についての理解を深め、中国独自の文化・社会構造をも理解できるようにする。作品を読む上で必要不可欠な語法・語彙について学び、資料の検索方法の知識を身につけ、先行論文を分析する力を養う。また、それらをふまえて自己の考えをまとめ、発表・討論を行う。更に、各自にレポート・小論文の課題を課し、実際に自己の研究を文章化できるよう指導する。

#### 222240 漢文学演習AⅡ

##### 【到達目標】

- ・中国古典文学、または日本漢文を、読解する力を身につける。
- ・日本漢文に大きく影響を与えた中国古典文学を、その文化的・社会的背景のなかに理解する。
- ・自己の見解を作品論としてまとめ、文章化するとともに、それに基づいて討論し、他者との対話を通じて自らの考えを再構築する力を身につける。

**【概要】** 中国古典文学または日本漢文の代表的な作品をとりあげ、精読した上で現代語に訳し分析する。中国古代・中世の独特な発想法や修辞について、作品に即して分析し、日本の古代文学などとも対比して考える。同時に時代背景についての理解を深め、中国独自の文化・社会構造をも理解できるようにする。作品を読む上で必要不可欠な語法・語彙について学び、資料の検索方法の知識を身につけ、先行論文を分析する力を養う。また、それらをふまえて自己の考えをまとめ、発表・討論を行う。更に、各自にレポート・小論文の課題を課し、実際に自己の研究を文章化できるよう指導する。

#### 222241 漢文学演習BⅠ

##### 【到達目標】

- ・中国古典文学、あるいは日本漢文について、原典に即して読解する力を身につける。
- ・日本漢文に大きく影響を与えた中国古典文学の特徴とその文化的・社会的背景を理解する。
- ・自己の見解をまとめ、発表し、討論する力、またそれを文章にする力を身につける。

**【概要】** 中国中世・近世文学、または日本漢文の中から代表的な作品をとりあげ、精読する。唐「詩」、宋「詞」等の韻文、文言小説、白話小説、日本漢文等の散文から題材を選択し、批判的な読解を行う。また日本文学との関連も検討する。同時に時代背景についての理解を深め、中国独自の文化・社会構造をも理解できるようにする。作品を読む上で必要不可欠な語法・語彙について学び、先行論文を分析する力を養う。更に、各自にレポート・小論文の課題を課し、実際に自己の研究を文章化できるよう指導する。

#### 222242 漢文学演習BⅡ

##### 【到達目標】

- ・中国古典文学、または日本漢文を、読解する力を身につける。

- ・日本漢文に大きく影響を与えた中国古典文学について、その文化や社会の文脈のなかに理解する。
- ・自己の見解を作品論としてまとめ、他者にわかりやすく提示するとともに、他者と討論し、討論を通じて自らの考えを構築する力を身につける。

**【概要】** 中国古典文学または日本漢文の中から代表的な作品をとりあげ、精読した上で正確に現代語に訳し分析する。日本漢文や、唐「詩」、宋「詞」等の韻文、文言小説、白話小説等の散文から題材を選択し、批判的な読解を行う。また日本文学との関連も検討する。同時に時代背景についての理解を深め、中国独自の文化・社会構造をも理解できるようにする。作品を読む上で必要不可欠な語法・語彙について学び、先行論文を分析する力を養う。更に、各自にレポート・小論文の課題を課し、実際に自己の研究を文章化できるよう指導する。

#### 222243 古典籍調査

##### 【到達目標】

- ・古典籍の原本調査を行う上でのノウハウを身につける。
- ・書誌学の方面からも古典作品が分析できるようになる。

**【概要】** 古典文学を真に専門的に研究するためには、他の研究者が翻刻した活字資料で済ませるのではなく、自ら作品の原本を確認、分析する必要があるのは言うまでも無い。本授業では、日本の古典籍を調査、研究するために必要となる書誌学等の専門的な知識や技術を身につけた上で、各自の研究テーマに合わせて自由に原本調査をしてもらい、古典文学をより深く理解するための力を養う。

#### 222244 言語調査 I

##### 【到達目標】

- ・社会言語学的な言語調査の方法を学ぶことで、言語実態を客観的に捉える力を養う。
- ・フィールドワークを通じて、言語調査の方法を実践的に身につける。

**【概要】** 現代日本語の状況の実態を把握するための言語調査の方法を学ばせる。日本各地方言の現状を調査するために方言をデータとして収集、分析、解釈する場合のフィールド調査の方法論を概観する。調査対象地点の先行研究の紹介、調査準備としての必須事項、臨地言語調査の企画・立案、調査票の作成（調査項目の設定、質問方法の検討、質問文のワーディング）、調査の実際における対処事項など面接調査の基盤となる知識と技法を習得させる。併せて、調査結果の整理、報告書のまとめ方にも触れる。

#### 222245 言語調査 II

##### 【到達目標】

- ・社会言語学的な言語調査の方法を学ぶことで、言語実態を客観的に捉える力を養う。
- ・フィールドワークを通じて、言語調査の方法を実践的に身につける。

**【概要】** 現代日本語の状況の実態を把握するための言語調査の方法を学ばせる。現代日本語の変異に着目し、言語使用の実態をデータとして収集、分析、解釈する場合の調査方法を概観する。特に、アンケートを中心とした数量的な言語調査の企画・立案、調査票の作成（調査項目の設定、質問方法の検討、質問文のワーディング）、調査の実際における対処事項など調査の基盤となる知識と技法を習得させる。言語行動や言語変化に関わる要因など言語に広く関わる事象の調査方法も検討する。

## 222246 言語情報処理 I

### 【到達目標】

- ・コンピュータで日本語表現を扱う基本的な技術を取得する。
- ・日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか考える力を養う。
- ・データマイニングの基礎的な考え方を身につける。

**【概要】** 日本語（一般に言語）表現をコンピュータで扱う技能や、データマイニングについて、その基礎となる考え方を学んでゆく。実際にコンピュータに向かいつつ、基礎的な技術を取得することをめざす。更には、授業時間外の実習によって、より深い理解をはかる。プログラミング言語（Perl や Python 等）によるプログラミングや、既存のツール（KHCoder 等）による実習を伴う。

## 222247 言語情報処理 II

### 【到達目標】

- ・コンピュータで日本語表現を扱う応用的な技術を取得する。
- ・日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか、自ら探る態度を身につける。
- ・データマイニングの応用的な技術を身につける。

**【概要】** 日本語（一般に言語）表現をコンピュータで扱う技能とともに、その基礎となる考え方を学んでゆく。実際にコンピュータに向かいつつ、その応用的な技術・考え方を取得することをめざす。更に授業時間外の実習によって、深い理解をはかる。言語表現・情報をコンピュータによって処理する方法を総合的に把握するとともに、先人が見出してきたものを習得するだけでなく、コンピュータの活用の可能性を自ら探る態度を身につけることを目標とする。

## 222248 創作と批評（創作） I

### 【到達目標】

- ・創作者の側に立った形での、プロットの着想、表現の創出、さらには先行創作物との向き合い方や享受者への訴え方などを理解する。

- ・物語の脚本をはじめ、言葉を用いた創作のスキルを身につける。
- ・創作者の立場に立って創作する力を養う。

**【概要】** 文学研究にとって、創作者の意識・方法を知ることは不可欠である。創作過程において、どのようにプロットが着想され、また表現する間にいかに変容してゆくのか。また自身の表現手法は、どのように自覚され、それが実際の表現の場に、いかに反映されてゆくのか。あるいは、創作者にとって、享受者はどのように意識されるのか。先行する作品は、創作する際に、いかに意識され、利用され、また乗り越えられるのか。以上のような事柄を、物語作りなどにおいて、実作を試みることによって確かめる。

## 222249 創作と批評（創作）Ⅱ

### 【到達目標】

- ・創作者の側に立った形での、プロットの着想、表現の創出、さらには先行創作物との向き合い方や享受者への訴え方などを理解する。
- ・日常をつづるエッセーから小説まで、多様な手法と目的を持った表現行為における創作のスキルを身につける。
- ・創作者の立場に立って創作する力を身につける。

**【概要】** 創作過程において、どのようにプロットが着想され、また表現している間にいかに変容してゆくのか。また自身の表現手法はどのように自覚され、それが実際の表現の場で、いかに反映されるのか。先行する作品は、創作の際にいかに意識され、利用され、また乗り越えられるのか。「創作と批評Ⅰ」で学習した事柄を、多様な表現ジャンルにおいて、実作を試みることによって確かめ、創作者の意識・方法に対する理解を深めることを目的とする。

## 222250 創作と批評（批評）Ⅰ

### 【到達目標】

- ・文学理論、文化論、社会批評など、批評や評論の分野における知の変遷と現代の潮流を理解する。
- ・〈女性〉が、現代の思想や批評においてどのような可能性を秘めた視点であるかを理解する。
- ・批評的に論評するためのスキルを身につけ、それを応用して実践的に発信する力を養う。

**【概要】** 具体的な文学作品、あるいは評論、論評的な記事（新聞・雑誌など）を取り上げて、それらがどのように読者を意識して書かれ、どのような文学理論、文化論など、その時代の知の影響を受け、あるいは時代を導く知を内包しているかを考える。具体的な文章を手がかりに、時代や思想の変遷、現代の知のありかについて考え、批評する力を養う。〈女性〉という視点が現代の知にもたらしているものを考える。こうした自らのなかの批評する知をもとに、わかりやすい文章で、他者に発信する力を養う。



## 222251 創作と批評（批評）Ⅱ

### 【到達目標】

- ・文学理論、文化論、社会批評など、批評や評論の分野における知の変遷と現代を理解する。
- ・〈女性〉が、現代の思想や批評においてどのような可能性を秘めた視点であるかを理解する。
- ・批評的に論評するためのスキルを身につけ、それを応用して実践的に発信する力を養う。

**【概要】** 「創作と批評（批評）Ⅰ」で身につけた力をさらに深める。具体的な文学作品、あるいは評論、論評的な記事（新聞・雑誌など）をもとに、それらが内包する読者意識、同時代の知や慣習、新しい知の萌芽などを論評するとともに、それらを手がかりとして、自らの批評的な文章、記事を実践的に書く。〈女性〉という視点の力を意識して論評する。また文章を書くばかりでなく、編集その他、全体としての構成について目配りしながら発信する力を養う。

## ■ 発展演習

## 222301 日本文学演習Ⅰ

### 【到達目標】

- ・専門とする分野を考究するための基礎的な知識や方法を身につけ、他者に発信する力を養う。
- ・専門とする分野の文献・資料・データを批評的に読み解く、あるいは分析するための、力や方法を身につける。
- ・専門とする分野を考究する基本的観点を理解する。

**【概要】** 日本のことば、文学、文化、あるいはそれらと関連の深い漢語や漢文学、中国の文学や文化などを対象とする研究分野において、卒業論文の作成に必要な基盤的力を養成することを目標とする。受講者の関心に合わせつつ、読解あるいはデータ分析のための基礎的なスキルを再確認するほか、対象とする学問分野の解釈・考究のために必要な基礎的な知識、文献調査法、発想、術語、研究史等を、演習形式で確認してゆく。他者に発信する力、先行研究などのほか、討議の場での他者の意見を取り入れて自らの意見を構築する力を養う。

## 222302 日本文学演習Ⅱ

### 【到達目標】

- ・専門とする分野を考究するための知識をふまえ、他者に発信する力を養う。
- ・専門とする分野の文献・資料・データを批評的に読み解く、あるいは分析するための、力や方法を身につける。
- ・専門とする分野を考究する観点を理解し、自らの観点を見出す。

**【概要】** 日本のことば、文学、文化、あるいはそれらと関連の深い漢語や漢文学、中国の文学や文化などを対象とする研究分野において、卒業論文の作成に必要な基盤的力を養成し、

各自が自身の卒論のテーマをつかむことを目標とする。受講者の関心に合わせつつ、読解あるいはデータ分析のための基礎的なスキルを再確認するほか、対象とする学問分野の解釈・考究のために必要な基礎的な知識、文献調査法、発想、術語、研究史等を、演習形式で確認してゆく。先行研究などは無論のこと、討議の場での他者の意見を取り入れて自らの意見を構築する力を養い、文章表現など、他者にわかりやすく発信する力を身につける。

## ■特殊演習

### 222401 人文学特殊演習（日本文学）Ⅰ

#### 【到達目標】

- ・研究テーマを確定する。
- ・先行研究や作品・資料を読み込む力を身につける。
- ・発表を通して、自分の論を人に伝える能力を身につける。

【概要】 日本文学演習ⅠⅡにおける各分野の研究法の習得をうけて、本格的な卒業論文制作を進めていくことを目標とする。人文学特殊演習（日本文学）Ⅰでは、春休みまでに暫定的に決めたテーマとその見通しを順に発表し、討論することで、自分のめざす論の位置づけを行う。ついで指導教員と相談した上で、最終的にテーマを確定し、資料を再検討する。夏休み中に、論の構成を具体的に固め、論理的な整合性を確かめるために、熟考するよう指導する。

### 222402 人文学特殊演習（日本文学）Ⅱ

#### 【到達目標】

- ・説得力のある形で自分の論を打ち立て、それを的確な文章表現にする能力を養う。

【概要】 人文学特殊演習（日本文学）Ⅰでの発表や討議、また夏休みの指導（ゼミ合宿など含む）を踏まえて、卒業論文の執筆、完成を目標とする。主体的な問題意識をもとにテーマを設定し、先行研究のなかにみずからの論を位置づけて、自らの思考がわかりやすかつ論理的に展開されるように、論の構成や文章表現に留意しながら執筆できるようにする。明確な作業行程にしたがい、目標にむかって着々と進むよう指導する。

## 歴史文化専攻

### ■ 基盤講義

#### 223001 日本史概論 I

##### 【到達目標】

- ・ 16 世紀までの日本前近代史に関する基礎的な歴史知識を、体系的に習得する。
- ・ 東アジアとの関連の中に日本列島の歴史を位置づけ、その特質や意義を理解する。
- ・ 社会体制の変化など、大きな歴史の動きをとらえる視点も養う。

**【概要】** 前近代を中心とした日本の歴史を通観し、日本史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目的を達成するため、日本列島における社会の歴史的变化について、とくに東アジアとの関係を重視しつつ、その特質を考察する。時期は紀元前の原始社会、および古代から中世末、近世初頭（紀元後 1 世紀から、16 世紀末）を対象とし、各時期の重要テーマやトピックを中心に、さらにそれらの問題に対する最近の論点・争点も踏まえて検討する。そして政治事件の推移だけでなく、社会体制の変化など、大きな歴史の動きをとらえる視点も養う。

#### 223002 日本史概論 II

##### 【到達目標】

- ・ 日本の近世・近現代史（17 世紀から 20 世紀まで）に関する基礎的な歴史知識を、体系的に習得する。
- ・ アジア・欧米諸外国との関連の中に日本列島の歴史を位置づけ、その特質や意義を理解する。
- ・ 社会体制の変化など、大きな歴史の動きをとらえる視点も養う。

**【概要】** 近世・近現代を中心とした日本の歴史を通観し、日本史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目的を達成するため、日本列島における社会の歴史的变化について、日本とアジア・欧米諸外国との関係を重視しつつ、その特質を考察する。時期は近世・近代・現代（17 世紀から 20 世紀）を対象とし、各時期の重要テーマやトピックを中心に、さらにそれらの問題に対する最近の論点・争点も踏まえて検討する。そして政治事件の推移だけでなく、社会体制の変化など、大きな歴史の動きをとらえる視点も養う。

#### 223003 アジア史概論 I

##### 【到達目標】

- ・ 東アジア世界の歴史について、基礎的な知見を獲得する。
- ・ 参考研究などの検索方法について習得する。

**【概要】** 東アジア地域の基礎的な歴史知識を学ぶことを目標とする。本講義では、中国史を中心として、東アジア地域の前近代から近現代に至る歴史を対象とし、理解を深めることを意図し、歴史上の重要な事項について基本的な学習をする。また、そのためにも講義の過程において史料を配布して、実証的に歴史を学ぶことの必要性を強調し、また、歴史研究が現在の諸問題と深く関係を有していることに注意を喚起する。さらに学生が講義の内容について、積極的に自ら学習できるように、関連する研究成果の紹介に努める。

#### 223004 アジア史概論Ⅱ

##### 【到達目標】

- ・東南アジア・南アジア・西アジアの歴史について、基礎的な知見を獲得する。
- ・参考研究などの検索方法について習得する。

**【概要】** 東南アジア・南アジア・西アジアの基礎的な歴史知識を学ぶことを目標とする。本講義では、南アジアにおけるヒンドゥー文明、および、西アジアにおけるペルシア文明とイスラーム文明の成立と展開、東南アジアにおけるこれら諸文明の流入と摂取、そして当該諸地域におけるヨーロッパ勢力の進出と植民地支配、各地域の独立など、歴史上の重要事項について基本的な学習をする。また本講義の狙いは、単にアジア史の概略的知識を習得することだけでなく、世界史あるいは人類史への視点を養うことにも置かれる。

#### 223005 西洋史概論Ⅰ

##### 【到達目標】

- ・西洋前近代史に関する基礎的な歴史知識を習得する。
- ・世界史全体の流れの中にヨーロッパ前近代史を位置づけ、その特質や意義を理解する。

**【概要】** ヨーロッパ前近代を中心とした西洋の歴史を通観し、西洋史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目標を達成するために、西洋史学上重要とされるトピックに焦点を当てつつ、西洋古代から西洋中世までの歴史を概ね時系列に沿って講述する。なお、取り上げるトピックは以下の通り。1. ギリシア世界の成立と展開、2. アレクサンドロスの東方遠征とヘレニズム世界、3. ローマ帝国の成立と展開、4. ヨーロッパ中世世界の成立、5. ヨーロッパ中世盛期とキリスト教、6. ヨーロッパ中世世界の崩壊。

#### 223006 西洋史概論Ⅱ

##### 【到達目標】

- ・近世以降の西洋史に関する基礎的な歴史知識を習得する。
- ・世界史全体の流れの中に近世以降のヨーロッパ史を位置づけ、その特質や意義を理解する。

**【概要】** 近世以降のヨーロッパを中心とした西洋の歴史を通観し、西洋史を学ぶ上で必要

となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目標を達成するために、西洋史学上重要とされるトピックに焦点を当てつつ、近世以降の西洋の歴史を、「ヨーロッパ世界の変質」、「外部世界との交流と摩擦」、「世界史への影響」という3つの視点を軸にたどっていく。なお、取り上げるトピックは以下の通り。1. 非ヨーロッパ世界との交流の拡大、2. 主権国家と世界経済、3. ヨーロッパ近代社会の成立、4. 国民国家の成立と帝国、5. 世界支配の確立、6. ヨーロッパの没落と復活、7. 日本における西洋史研究の歴史と特徴。

## 223007 日本史の理論と方法

### 【到達目標】

- ・「日本史」という枠組みの成り立ちを考察し、意義と限界を理解する。
- ・日本史を把握し説明するために提唱・実践されてきた見方や構成法について、基礎的な知識を修得する。

**【概要】** それぞれの時代状況との関わりによって、研究者の問題関心がどのように生み出され、史料の選択、叙述の構成を経ていかなる歴史像が語り出されてきたのかを講義する。とくに自国史として自明視しがちな「日本史」という考え方について再考し、そこへ向けられて来た多様な視線とその背景を論じる。また、前近代の知性が挑んだ日本史の把握・構成や、近代の歴史研究者たちが強い課題意識をもって適用を試みたグランド・セオリー、さらには、個々の史料解釈と事象説明の中で生み出されてきた学説などにも論及しながら、学史をたどる。

## 223008 アジア史の理論と方法

### 【到達目標】

- ・日本を足場としたアジア諸地域の歴史の研究について、意義と問題点を理解する。
- ・アジア諸地域の歴史やそれらをまたぐ展開をとらえるための視点や枠組みの設定について、基礎的な知識を修得する。

**【概要】** 日本の近隣に接し、長い歴史的な交渉をつづけてきた東アジア、そしてそのかなたの南アジア、西アジアへと至る広大な領域の歴史を、わたしたちは、どのように理解し、論じてきたのか。アジア地域の歴史に対する視線のあり方に留意しながら、諸地域の文明の興亡や諸勢力間の交渉・相克といった人類史的展開をとらえるために様々に編み出されてきた枠組みや、多様な資料のあり方などをめぐって、アジア史へのアプローチの取り組みをたどる。

## 223009 西洋史の理論と方法

### 【到達目標】

- ・「西洋史」という枠組みの成り立ちを考察し、意義と限界を理解する。
- ・西洋史を把握し説明するために提唱・実践されてきた理論や方法について、基礎的な知識

を習得する

**【概要】** それぞれの時代状況との関わりによって、研究者の問題関心がどのように生み出され、史料の選択、叙述の構成を経ていかなる歴史像が語り出されてきたのかを講義する。とくに歴史教育における「ヨーロッパ中心主義」について再考し、そこへ向けられて来たさまざまな批判とその背景を論じる。また、前近代の知性が挑んだ西洋史の把握・構成や、近代の歴史研究者たちが強い課題意識をもって適用を試みたグランド・セオリー、さらには、個々の史料解釈と事象説明の中で生み出されてきた学説などにも論及しながら、学史をたどる。

## ■特殊講義

### 223101 日本古代史料論

#### 【到達目標】

- ・ 日本古代の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・ 古代の文献史料について、具体的な読解の基礎を身につける。

**【概要】** 日本史上のほぼ7～11世紀の期間に相当する歴史段階を具体的に考察する際の素材となる諸史料について、その類型と特色を整理し、史料理解の前提となる基礎的事項に関する知識の修得を図るとともに、古代の文献史料を検討する上で欠かすことのできない、漢文体の読解法や公文書の様式、木簡・史書・法書の位置づけ、日記の性格などをめぐる基礎事項を解説して、具体例に即した史料理解の手法を提示する。

### 223102 日本中世史料論

#### 【到達目標】

- ・ 日本中世の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・ 中世の文献史料について、具体的な読解の基礎を身につける。

**【概要】** 日本史上のほぼ12～16世紀の期間に相当する歴史段階を具体的に考察する際の素材となる諸史料について、その類型と特色を整理し、史料理解の前提となる基礎的事項に関する知識の修得を図るとともに、中世の文献史料を検討する上で欠かすことのできない、「和製漢文体」の読解法、文書の様式や機能などをめぐる基礎事項を解説して、具体例に即した史料理解の手法を提示する。

### 223103 日本近世史料論

#### 【到達目標】

- ・ 日本近世の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・ 近世の文献史料について、具体的な読解の基礎を身につける。

**【概要】** 日本史上のほぼ16世紀末～19世紀半ばの期間に相当する歴史段階を具体的に考

察する際の素材となる諸史料について、その類型と特色を整理し、史料理解の前提となる基礎的事項に関する知識の修得を図るとともに、近世の文献史料を検討する上で欠かすことのできない、独特の「候文」の読解法や、各階層が残した文書・記録、あるいは著作・刊行物などをめぐる基礎事項を解説して、具体例に即した史料理解の手法を提示する。

#### 223104 日本近現代史料論

##### 【到達目標】

- ・日本近現代の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・近現代の文献史料について、具体的な読解の基礎を身につける。

**【概要】** 日本史上のほぼ19世紀後半～20世紀の期間に相当する歴史段階を具体的に考察する際の素材となる諸史料について、その類型と特色を整理し、史料理解の前提となる基礎的事項に関する知識の修得を図るとともに、近現代の文献史料を検討する上で欠かすことのできない公文書の読解や、各階層が残した文書・記録、あるいは著作・刊行物などをめぐる基礎事項を解説して、具体例に即した史料理解の手法を提示する。

#### 223105 日本古代史

##### 【到達目標】

- ・設定主題に関して言及された研究成果について、主要な論点を理解し、古代史の諸相をめぐり研究の達成と課題を知る。
- ・設定主題に関して提示された古代史料について、位置づけや様式、解釈の実践を理解する。

**【概要】** 日本史上のほぼ1世紀～11世紀の期間を対象に、列島内外の人々や文物の交渉・往来、支配の構造や政治過程、富の生産・分配の仕組み、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、人々にはたらきかける宗教の営みなどの諸側面から主題を設定して、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な古代史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

#### 223106 日本中世史

##### 【到達目標】

- ・設定主題に関して言及された研究成果について、主要な論点を理解し、中世史の諸相をめぐり研究の達成と課題を知る。
- ・設定主題に関して提示された中世史料について、位置づけや様式、解釈の実践を理解する。

**【概要】** 日本史上のほぼ12～16世紀の期間を対象に、列島内外の人々や文物の交渉・往来、支配の構造や政治過程、富の生産・分配の仕組み、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、人々にはたらきかける宗教の営みなどの諸側面から主題を設定して、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な中世史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

## 223107 日本近世史

### 【到達目標】

- ・設定主題に関して言及された研究成果について、主要な論点を理解し、近世史の諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。
- ・設定主題に関して提示された近世史料について、位置づけや様式、解釈の実践を理解する。

**【概要】** 日本史上のほぼ 16 世紀末～19 世紀半ばの期間を対象に、列島内外の人々や文物の交渉・往来、支配の構造や政治過程、富の生産・分配の仕組み、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、人々にはたらきかける宗教の営みなどの諸側面から主題を設定して、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な近世史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

## 223108 日本近現代史

### 【到達目標】

- ・設定主題に関して言及された研究成果について、主要な論点を理解し、近現代史の諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。
- ・設定主題に関して提示された近現代史料について、位置づけや様式、解釈の実践を理解する。

**【概要】** 日本史上のほぼ 19 世紀後半～20 世紀の期間を対象に、地域や諸集団のあり方、支配の構造や政治過程、富の生産・分配の仕組み、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、国家間の貿易や外交・戦争などの諸側面から主題を設定して、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な近現代史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

## 223109 オリент史

### 【到達目標】

- ・古代オリент史の流れについて基本的な理解を得る。
- ・古代オリент史を世界史の文脈のなかに位置づけて、その文化的意味・意義を理解する。

**【概要】** 古代オリент史は、メソポタミアを中心に、東はペルシア、西はエジプトに至る広大な地域を研究対象としている。この講義では、古代オリент史の重要なトピックに焦点をしばって最新の研究成果を紹介しながら、これらの地域の歴史の流れについて基本的な理解を得ることを目標とする。また、古代オリントの文化・文明は、同時期の周辺地域および後代の地中海世界に大きな影響を与えたが、こうした影響のありようを概観することによって、古代オリントの歴史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

## 223110 中国史



### 【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、中国史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

**【概要】** 中国を中心とする地域の長い歴史過程の中に、地域独自の展開や周辺地域との関係、近代欧米勢力の侵蝕、諸集団のあり方、皇帝支配と官僚制、富の生産・分配・交易、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、儒教や政治思想の展開といった諸側面についての主題を設定し、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的な中国史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

## 223111 インド史

### 【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、インド史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

**【概要】** インドを中心とする地域の長い歴史過程の中に、地域独自の展開や周辺地域との関係、近代ヨーロッパ世界からの接触・侵蝕、諸集団のあり方、支配の構造や政治過程、富の生産・分配・交易、あるいは、人と人との結びつき方や慣習、諸階層で生み出される多様な文化、人々にはたらきかけるヒन्दゥー教やイスラーム教などの営みといった諸側面についての主題を設定し、最新の研究成果や具体的な史料を提示しつつ論じ、受講者が専門的なインド史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

## 223112 イスラーム史

### 【到達目標】

- ・イスラーム史の流れについて基本的な理解を得る。
- ・イスラーム史を世界史の文脈のなかに位置づけて、その文化的意味・意義を理解する。

**【概要】** イスラーム教とそれを担った諸勢力は、7世紀前半のアラビア半島から始まって、西は北アフリカからイベリア半島へ、北はトルコからバルカン半島へ、東はイラン・中央アジアからインド、そしてペルシア商人によって東南アジアにまで、広大に浸透・展開する。この講義では、波及先における先行文化や王権・部族との相克や融合、あるいは、都市を拠点とする商人・修道団といったネットワークの作用など、イスラーム史の重要なトピックに焦点をしばって最新の研究成果を紹介しながら、イスラームの歴史の流れを世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

## 223113 ギリシア・ローマ史

### 【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、ギリシア・ローマ史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

**【概要】** ギリシア・ローマを中心に古代地中海世界の歴史を通観し、ギリシア・ローマ史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な修得をめざす。本講義では、上記の目標を達成するために、ギリシア・ローマ史研究における重要なトピックに焦点をあてつつ、ギリシア・ローマの歴史を概ね時系列に沿って講述する。また、古代地中海世界におけるギリシア・ローマの位置や役割に光をあてると共に、ギリシア・ローマが後代の西洋世界に与えた影響のありようを概観することによって、ギリシア・ローマ史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

## 223114 イギリス史

### 【到達目標】

- ・ 設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、イギリス史への理解を深める。
- ・ 設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

**【概要】** ブリテン諸島と海外に広がる帝国（植民地）からなる「ブリテン世界」の歴史を通観し、イギリス史を学ぶうえで必要となる基礎知識の体系的な修得を目指す。本講義では、上記の目的を達成するために、イギリス史研究における重要なトピックに焦点をあてつつ、イギリスの歴史を概ね時系列に沿って講述する。また、西洋世界におけるイギリスの位置や役割に光をあてると共に、イギリスが非西洋世界に与えた影響のありようを概観することによって、イギリス史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

## 223115 ドイツ史

### 【到達目標】

- ・ 設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、ドイツ史への理解を深める。
- ・ 設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

**【概要】** ドイツを中心に中欧の歴史を通観し、ドイツ史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な修得をめざす。本講義では、上記の目標を達成するために、ドイツ史研究における重要なトピックに焦点をあてつつ、ドイツの歴史を概ね時系列に沿って講述する。また、西洋世界におけるドイツの位置や役割に光をあてると共に、ドイツが非西洋世界に与えた影響のありようを概観することによって、ドイツ史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

## 223116 フランス史

### 【到達目標】

- ・ 設定された主題に関し、基礎的な知識を修得し、フランス史への理解を深める。
- ・ 設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

**【概要】** フランスの歴史を通観し、フランス史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な修得をめざす。本講義では、上記の目標を達成するために、フランス史研究における重要なトピックに焦点をあてつつ、フランスの歴史を概ね時系列に沿って講述する。また、西洋世界におけるフランスの位置や役割に光をあてると共に、フランスが非西洋世界にあたえた影響のありようを概観することによって、フランス史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

## 223117 西洋前近代史 A

### 【到達目標】

- ・対象とする時代・地域の政治や社会に対する歴史的理解を深める。
- ・関連する文献史料の概要を把握し、検索・読解・分析の方法を身につける。

**【概要】** 西洋前近代の特定の時代・地域に焦点をあてたミクロの視点から当該地域の歴史をより深く学ぶとともに、隣接諸科学の知見を援用したマクロの視点から当該の歴史をより立体的に理解する。この講義では、おもに西洋前近代の政治と社会にかかわる問題を対象にして、その歴史を理解するうえで重要となるトピックをいくつか取り上げ、研究史を批判的に整理しつつ最新の知見もまじえて講述する。また、関連文献史料の検索方法および内容紹介、史料の読解・分析の方法等を概観することによって、西洋前近代史を専門的に学んでいく際に基盤となる知識および技法を修得させる。

## 223118 西洋前近代史 B

### 【到達目標】

- ・対象とする時代・地域の文化や社会に対する歴史的理解を深める。
- ・関連する文献史料の概要を把握し、検索・読解・分析の方法を身につける。

**【概要】** 西洋前近代の特定の時代・地域に焦点をあてたミクロの視点から当該の歴史をより深く学ぶとともに、隣接諸科学の知見を援用したマクロの視点から当該の歴史をより立体的に理解する。この講義では、おもに西洋前近代の文化と社会とにかかわる問題を対象にして、その歴史を理解するうえで重要となるトピックをいくつか取り上げ、研究史を批判的に整理しつつ最新の知見もまじえて講述する。また、関連文献史料の検索方法および内容紹介、史料の読解・分析の方法等を概観することによって、西洋前近代史を専門的に学んでいく際に基盤となる知識および技法を修得させる。

## 223119 西洋近現代史 A

### 【到達目標】

- ・対象とする時代・地域の政治や社会に対する歴史的理解を深める。
- ・関連する文献史料の概要を把握し、検索・読解・分析の方法を身につける。

**【概要】** 西洋近現代の特定の時代・地域に焦点をあてたミクロの視点から当該地域の歴史をより深く学ぶとともに、隣接諸科学の知見を援用したマクロの視点から当該の歴史をより立体的に理解する。この講義では、おもに西洋近現代の政治と社会にかかわる問題を対象にして、その歴史を理解するうえで重要となるトピックをいくつか取り上げ、研究史を批判的に整理しつつ最新の知見もまじえて講述する。また、関連文献史料の検索方法および内容紹介、史料の読解・分析の方法等を概観することによって、西洋近現代史を専門的に学んでいく際に基盤となる知識および技法を修得させる。

## 223120 西洋近現代史B

### 【到達目標】

- ・対象とする時代・地域の文化や社会に対する歴史的理解を深める。
- ・関連する文献史料の概要を把握し、検索・読解・分析の方法を身につける。

**【概要】** 西洋近現代の特定の時代・地域に焦点をあてたミクロの視点から当該の歴史をより深く学ぶとともに、隣接諸科学の知見を援用したマクロの視点から当該の歴史をより立体的に理解する。この講義では、おもに西洋近現代の文化と社会とにかかわる問題を対象にして、その歴史を理解するうえで重要となるトピックをいくつか取り上げ、研究史を批判的に整理しつつ最新の知見もまじえて講述する。また、関連文献史料の検索方法および内容紹介、史料の読解・分析の方法等を概観することによって、西洋近現代史を専門的に学んでいく際に基盤となる知識および技法を修得させる。

## 223121 考古学（日本）

### 【到達目標】

- ・おもに日本列島での発掘調査と研究による成果や方法論を理解し、人類の歴史をより広い視野から考える基礎知識を修得する。
- ・遺跡や遺物の保存の重要性と考古学が果たす役割を理解し、文化財を尊重する姿勢を身につける。

**【概要】** 日本考古学の成果と方法論を学び、歴史学をより広い視野で研究するための基盤とする。この講義では、おもに日本列島での発掘調査と研究の成果を素材とし、旧石器・縄文・弥生の各時期、そして文献史料が存在する歴史時代をも対象に、設定主題に即した遺構・遺物を取り上げて、諸研究を批判的に検討し、最新の知見をまじえながら論じる。あわせて、遺跡・遺物や発掘調査報告書に関する情報の検索方法を教示し、考古資料の解読・分析の方法を具体的に提示する。

## 223122 考古学（アジア）

### 【到達目標】

- ・アジア各地での発掘調査と研究による成果や方法論を理解し、人類の歴史をより広い視野から考える基礎知識を修得する。

- ・遺跡や遺物の保存の重要性と考古学が果たす役割を理解し、異文化とその文化財を尊重する姿勢を身につける。

**【概要】** アジア各地における考古学の成果と方法論を学び、歴史学をより広い視野で研究するための基盤とする。この講義では、広大なアジアの各地で行なわれてきた発掘調査と研究の成果から、設定主題に即した遺構・遺物を取り上げて、海外を含めた諸研究を批判的に検討し、最新の知見をまじえながら当該地域の人類文明の成り立ちを論じる。あわせて、遺跡・遺物や発掘調査報告書に関する情報の検索方法を教示し、考古資料の解読・分析の方法を具体的に提示する。

### 223123 考古学（西洋）

#### 【到達目標】

- ・ヨーロッパとその周辺地域での発掘調査と研究による成果や方法論を理解し、人類の歴史をより広い視野から考える基礎知識を修得する。
- ・遺跡や遺物の保存の重要性と考古学が果たす役割を理解し、異文化とその文化財を尊重する姿勢を身につける。

**【概要】** ヨーロッパで古くから発展してきた考古学の成果と方法論を学び、歴史学をより広い視野で研究するための基盤とする。この講義では、ヨーロッパとその周辺地域での発掘調査と研究の成果から、設定主題に即した遺構・遺物を取り上げて、海外を含めた諸研究を批判的に検討し、最新の知見をまじえながら当該地域の人類文明の成り立ちを論じる。あわせて、遺跡・遺物や発掘調査報告書に関する情報の検索方法を教示し、考古資料の解読・分析の方法を具体的に提示する。

### 223124 美術史（日本）

#### 【到達目標】

- ・題材とされた歴史的美術作品について、特質と価値を理解し、日本美術史への関心を深める。
- ・題材とされた諸作品について、日本美術史上での位置づけと意義を知り、作品の背景となった当該期の社会との関連を理解する。

**【概要】** 日本史上に遺された歴史的な絵画や造形物などの諸作品について鑑賞・考察しながら、作品の製作・享受・流通などとその背景にある技術・技巧や社会的観念、信仰、政治的動向などについても理解を深める。講義では、いくつかの時代区分に基づいて主題を設定し、題材とする作品を選定して写真・図面などを提示しながら、作品理解へのアプローチを試みる。また、作品を生み出してきた各時代の文化について、理解と関心を促す。

### 223125 美術史（アジア）

#### 【到達目標】

- ・題材とされた歴史的美術作品について、特質と価値を理解し、アジア美術史への関心を深

める。

- ・題材とされた諸作品について、アジア美術史上での位置づけと意義を知り、作品の背景となった当該期・当該地域の社会との関連を理解する。

**【概要】** アジアの各地に伝存し、あるいは発見されてきた歴史的な絵画や造形物などの諸作品について鑑賞・考察しながら、作品の製作・享受・流通などとその背景にある技術・技巧や社会的観念、信仰、政治的動向などに関しても理解を深める。講義では、アジア美術史の大きな展開を視野に入れつつ、地域や時代に即した主題を設定し、題材とする作品を選定して写真・図面などを提示しながら、作品理解へのアプローチを試みる。また、作品を生み出してきたアジア諸地域の文化について、理解と関心を促す。

### 223126 美術史（西洋）

#### 【到達目標】

- ・題材とされた歴史的美術作品について、特質と価値を理解し、西洋美術史への関心を深める。
- ・題材とされた諸作品について、西洋美術史上での位置づけと意義を知り、作品の背景となったヨーロッパの当該期社会との関連を理解する。

**【概要】** 西洋史上に遺された歴史的な絵画や造形物などの諸作品について鑑賞・考察しながら、作品の製作・享受・流通などとその背景にある技術・技巧や社会的観念、信仰、政治的動向などに関しても理解を深める。講義では、西洋美術史の大きな展開を視野に入れつつ、地域や時代に即した主題を設定し、題材とする作品を選定して写真・図面などを提示しながら、作品理解へのアプローチを試みる。また、作品を生み出してきた西洋世界の文化について、理解と関心を促す。

### 223127 グローバル・ヒストリーA

#### 【到達目標】

- ・「グローバル・ヒストリー」という枠組みの成り立ちを知り、その意義と限界を理解する。
- ・設定主題に沿って提示された研究成果について、主要な論点を理解し、前近代の世界を対象とするグローバル・ヒストリーの諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。

**【概要】** 地域史や国民史の通史とは異なるものとして構想されたグローバル・ヒストリーの特徴についての基礎知識を修得することを目指す。また、地域に限定されないグローバル・ヒストリーの研究成果を提示し、その意義や限界について考える機会を提供する。この講義では、主に前近代の世界を対象とする事例を用いて講述する。

### 223128 グローバル・ヒストリーB

#### 【到達目標】

- ・「グローバル・ヒストリー」という枠組みの成り立ちを知り、その意義と限界を理解する。

・設定主題に沿って提示された研究成果について、主要な論点を理解し、近代以降の世界を対象とするグローバル・ヒストリーの諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。

**【概要】** 地域史や国民史の通史とは異なるものとして構想されたグローバル・ヒストリーの特徴についての基礎知識を修得することを目指す。また、地域に限定されないグローバル・ヒストリーの研究成果を提示し、その意義や限界について考える機会を提供する。この講義では、主に近代以降の世界を対象とする事例を用いて講述する。

#### 223129 カルチュラル・ヒストリーA

##### 【到達目標】

- ・「カルチュラル・ヒストリー」という枠組みの成り立ちを知り、その意義と限界を理解する。
- ・設定主題に沿って提示された研究成果について、主要な論点を理解し、非欧米世界を対象とするカルチュラル・ヒストリーの諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。

**【概要】** 文化を生きられた経験の総体としてとらえ、経済や政治と文化を切り離さずに、日常実践のなかで再生産されるものとして問題化するカルチュラル・ヒストリーの特徴についての基礎知識を修得することを目指す。また、時代に限定されないカルチュラル・ヒストリーの研究成果を提示し、その意義や限界について考える機会を提供する。この講義では、主に非欧米世界を対象とする事例を用いて講述する。

#### 223130 カルチュラル・ヒストリーB

##### 【到達目標】

- ・「カルチュラル・ヒストリー」という枠組みの成り立ちを知り、その意義と限界を理解する。
- ・設定主題に沿って提示された研究成果について、主要な論点を理解し、欧米世界を対象とするカルチュラル・ヒストリーの諸相をめぐる研究の達成と課題を知る。

**【概要】** 文化を生きられた経験の総体としてとらえ、経済や政治と文化を切り離さずに、日常実践のなかで再生産されるものとして問題化するカルチュラル・ヒストリーの特徴についての基礎知識を修得することを目指す。また、時代に限定されないカルチュラル・ヒストリーの研究成果を提示し、その意義や限界について考える機会を提供する。この講義では、主に欧米世界を対象とする事例を用いて講述する。

#### 223131 世界遺産学A

##### 【到達目標】

- ・講義でとりあげた日本・アジア圏の世界遺産の歴史的背景や文化的意義について基礎的な知識を習得する。

- ・講義でとりあげた世界遺産の保護と活用をめぐる諸問題について基礎的な知識を習得する。
- ・世界遺産学で用いられる多様なアプローチの方法を理解する。

**【概要】** 日本・アジア圏の世界遺産をいくつかとりあげて、それらの歴史的背景や文化的意義、保護と活用をめぐる諸問題について論じる。こうした論点から世界遺産の過去と現在を理解して将来を展望するためには、人文学・社会科学・自然科学にまたがる学際的な知見に加えて、異文化理解や国際協力といった国際的視野も求められる。この講義では、世界遺産を学ぶうえで必要となる多様なアプローチの方法について紹介しつつ、とくに歴史学とツーリズムを切り口にして、世界遺産をめぐる諸問題への理解を深める。

## 223132 世界遺産学 B

### 【到達目標】

- ・講義でとりあげた欧米圏の世界遺産の歴史的背景や文化的意義について基礎的な知識を習得する。
- ・講義でとりあげた世界遺産の保護と活用をめぐる諸問題について基礎的な知識を習得する。
- ・世界遺産学で用いられる多様なアプローチの方法を理解する。

**【概要】** 欧米圏の世界遺産をいくつかとりあげて、それらの歴史的背景や文化的意義、保護と活用をめぐる諸問題について論じる。こうした論点から世界遺産の過去と現在を理解して将来を展望するためには、人文学・社会科学・自然科学にまたがる学際的な知見に加えて、異文化理解や国際協力といった国際的視野も求められる。この講義では、世界遺産を学ぶうえで必要となる多様なアプローチの方法について紹介しつつ、とくに歴史学とツーリズムを切り口にして、世界遺産をめぐる諸問題への理解を深める。

## ■ 基盤演習

### 223201 文献・資料演習（日本古代）A I

#### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本古代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 日本古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を



重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223202 文献・資料演習（日本古代）AⅡ

##### 【到達目標】

- ・日本古代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 日本古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223203 文献・資料演習（日本古代）BⅠ

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本古代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 日本古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223204 文献・資料演習（日本古代）BⅡ

##### 【到達目標】

- ・日本古代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 日本古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着

と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223205 文献・資料演習（日本中世）A I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本中世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 日本中世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本中世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223206 文献・資料演習（日本中世）A II

##### 【到達目標】

- ・日本中世の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 日本中世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本中世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本中世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223207 文献・資料演習（日本中世）B I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本中世の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 日本中世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本中世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を

重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223208 文献・資料演習（日本中世）B II

##### 【到達目標】

- ・日本中世の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 日本中世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本中世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本中世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223209 文献・資料演習（日本近世）A I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 日本近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223210 文献・資料演習（日本近世）A II

##### 【到達目標】

- ・日本近世の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 日本近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着

と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223211 文献・資料演習（日本近世）B I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近世の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 日本近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223212 文献・資料演習（日本近世）B II

##### 【到達目標】

- ・日本近世の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 日本近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223213 文献・資料演習（日本近現代）A I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近現代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 日本近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討

論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223214 文献・資料演習（日本近現代）AⅡ

##### 【到達目標】

- ・日本近現代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 日本近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本近現代史上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスフェレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223215 文献・資料演習（日本近現代）BⅠ

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近現代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 日本近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223216 文献・資料演習（日本近現代）BⅡ

##### 【到達目標】

- ・日本近現代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 日本近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。日本近現代史上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスフェレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識

の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223217 文献・資料演習（アジア史）A I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・アジア史上の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** アジア史における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、アジア史に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223218 文献・資料演習（アジア史）A II

##### 【到達目標】

- ・アジア史上の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** アジア史における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、アジア史に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。アジア史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223219 文献・資料演習（アジア史）B I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・アジア史上の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** アジア史における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、アジア史に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を

重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223220 文献・資料演習（アジア史）BⅡ

##### 【到達目標】

- ・アジア史上の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** アジア史における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、アジア史に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。アジア史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223221 文献・資料演習（西洋古代）AⅠ

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋古代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 西洋古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223222 文献・資料演習（西洋古代）AⅡ

##### 【到達目標】

- ・西洋古代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 西洋古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着

と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223223 文献・資料演習（西洋古代）B I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋古代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 西洋古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223224 文献・資料演習（西洋古代）B II

##### 【到達目標】

- ・西洋古代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 西洋古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223225 文献・資料演習（西洋中世）A I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋中世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 西洋中世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋中世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を



重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223226 文献・資料演習（西洋中世）AⅡ

##### 【到達目標】

- ・西洋中世の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 西洋中世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋中世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋中世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223227 文献・資料演習（西洋中世）BⅠ

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋中世の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 西洋中世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋中世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223228 文献・資料演習（西洋中世）BⅡ

##### 【到達目標】

- ・西洋中世の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 西洋中世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋中世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋中世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着

と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223229 文献・資料演習（西洋近世）A I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 西洋近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223230 文献・資料演習（西洋近世）A II

##### 【到達目標】

- ・西洋近世の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 西洋近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223231 文献・資料演習（西洋近世）B I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近世の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 西洋近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を

重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223232 文献・資料演習（西洋近世）BⅡ

##### 【到達目標】

- ・西洋近世の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 西洋近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223233 文献・資料演習（西洋近現代）AⅠ

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近現代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 西洋近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223234 文献・資料演習（西洋近現代）AⅡ

##### 【到達目標】

- ・西洋近現代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 西洋近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋近現代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識

の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223235 文献・資料演習（西洋近現代）B I

##### 【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近現代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

**【概要】** 西洋近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 223236 文献・資料演習（西洋近現代）B II

##### 【到達目標】

- ・西洋近現代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

**【概要】** 西洋近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。西洋近現代史学上重要とされるトピックをいくつか選択して、それに関連する最新の研究文献や重要史料とのクロスレファレンス作業を繰り返し行なった上で、各学生に調査結果を報告させ、討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

#### 223237 オーラル・ヒストリー

##### 【到達目標】

- ・オーラル・ヒストリーの理論と方法に関する知識を習得する。
- ・インタビュー形式での調査や既存の口述史料の分析を実際に行い、さらにそれらの証言に批判的な検証を加えて歴史を叙述する力を、実践的に養う。

**【概要】** オーラル・ヒストリーは、文字史料では明らかになりにくい対象や領域について、当事者やその関係者にインタビュー形式などでの調査を行い、また既存の口述史料の分析を行うことで、その対象・領域にアプローチする研究方法である。授業では、オーラル・ヒストリーの理論と方法、可能性と課題を確認したうえで、課題の設定—対象の選定—調査項目の設定—調査の実施—分析・検証—データの保存・管理、という一連の流れを実際に体験し、

オーラル・ヒストリーによる歴史研究を実践的に学ぶ。

## ■発展演習

### 223301 歴史文化演習 I

#### 【到達目標】

- ・文献や史料を正確に理解し、口頭や論述で表現する力を、身につける。
- ・説明を正確に理解し、根拠を示して質疑・応答する力量を、身につける。
- ・当該領域における学説や歴史像、史料についての専門的な知識を習得する。
- ・当該領域に関する辞書・事典・史料集・データベース等について、利用法を習得する。]

【概要】 それぞれのクラスが対象とする地域や時代ごとの諸領域に即して、専門的な著作や研究論文、史料などを題材としながら、演習形式で授業を行ない、当該領域での知識と理解の深化を図る。履修者による当該領域に関する研究文献や史料の読解を行なう。また、必要な文献・史料の収集方法や、レファレンスブックの使い方を学ぶ。

### 223302 歴史文化演習 II

#### 【到達目標】

- ・文献や史料を正確に理解し、口頭や論述で表現する力を、高める。
- ・説明を正確に理解し、根拠を示して質疑・応答する力量を、高める。
- ・当該領域での研究テーマ設定を目指し、関連する文献や史料についての専門的な知識を習得する。
- ・先行研究や史料に関する情報を収集・整理する能力を、身につける。

【概要】 それぞれのクラスが対象とする地域や時代ごとの諸領域に即して、専門的な著作や研究論文、史料などを題材としながら、演習形式で授業を進め、当該領域での知識と問題関心の深化を図る。履修者による当該領域に関する研究文献や史料の読解を行なう。また、必要な文献・史料の収集方法や、レファレンスブックの使い方に習熟する。

## ■特殊演習

### 223401 人文学特殊演習（歴史文化） I

#### 【到達目標】

- ・履修分野での研究テーマについて、学習に必要な学術論文、史料などを収集する。
- ・史料や学術論文を理解するために必要な知見を獲得する。
- ・論文作成に向けて、蓄積した知識に基づき報告・発表する。

【概要】 履修者が各々の専門分野で修得してきた知識や技術の延長線上に卒業論文の主題を設定し、先行研究を踏まえて自分の論文のねらいを定める過程で、必要な指導を行なう。

上記の目標を達成するために、本演習では、研究文献や史料を取り上げ、それらの内容を整理して重要な論点を抽出する訓練をしたり、参加者がそれぞれの研究テーマを中心に研究発表を行ったりする。文献解読や研究発表のための準備作業、授業時における討論を通じて、史資料の探し方と使い方、それらを研究史上に位置づける方法を学び、卒業論文作成に不可欠なノーハウを身につけられるようにする。

## 223402 人文学特殊演習（歴史文化）Ⅱ

### 【到達目標】

- ・ 卒業論文作成に必要な学術論文、史料を収集し、読解する。
- ・ 卒業論文完成のための文章能力を高める。
- ・ 卒業論文完成のために必要な専門的、実践的知識を習得する。

**【概要】** 4年次前期に確定した卒業論文の題目に基づいて、学生自身が主体的に卒業論文を完成させることができるよう、指導する。本演習では、上記の目標を達成するために、まず、中間報告会を開催し、問題設定、篇別構成、分析手法、行論等に関する問題点を批判的に検討し合い、この中間報告会でのレビューを踏まえたうえで、さらに発表および討論を重ねることによって、卒業論文の内容の深化を図る。あわせて、論文執筆のための技法を具体的に指導していく。

# 国際社会学科

## ■入門

### 230001 国際社会論

#### 【到達目標】

- ・国際関係論、経済学、社会学、コミュニティ構想それぞれの視点を学び、国際社会研究のための基本的視点を獲得する。
- ・グローバル化によっていかなる問題が生じているか理解する。
- ・個々の問題の理解を通じて、グローバル化の全体像を理解するための能力を養う。

**【概要】** グローバル化する世界の諸問題を考察することを通じ、国際社会学科で学ぶ基礎作りを行う。一方でさまざまな知を駆使して学際的に学ぶことの重要性、他方でメジャーを持ち、学問分野別に学ぶことの重要性を確認しながら、国際社会研究のための基本的視点を概観する。(チェーン・レクチャー方式)

1. イントロダクション：具体例をあげるなどして主題提示をし、グローバルとローカルという視点、開発・協力という視点、公共政策という視点、日本社会という視点、社会比較という視点という柱を立てて、国際社会の問題を考察することの意味について講述し、導入とする。
2. グローバルとローカルという視点1 (アジア)：アジアの現代的諸問題を素材にしながから、グローバル化の中での地域研究の実際について概観する。
3. グローバルとローカルという視点2 (欧米)：欧米(含ラテンアメリカ)の現代的諸問題を素材にしながから、グローバル化の中での地域研究の実際について概観する。
4. 開発・協力という視点：国際開発、国際協力の実際を概観しながら、先進諸国と途上国の関係のあり方について考察する。
5. 公共政策という視点：多様な主体による社会問題への政策的対応の理論と実践について概観する。
6. 日本社会という視点：グローバルな視点から日本社会の社会問題について考える。
7. 社会比較という視点：グローバル化する現代社会の諸問題を比較考察する。
8. 国際社会研究の 이슈ー：コメントペーパーや中間提出物などを利用しつつ、国際社会研究の 이슈ーとなる論点を提示し、さらに受講者の質問も踏まえ、全体の整理を行い、国際社会研究のモチベーションづくりを行う。

## ■応用講義

### 230201 人文地理学

#### 【到達目標】

- ・人文地理学の研究対象を理解し、その研究方法を習得する。
- ・地図の活用法を習得する。

・将来、地理教育の現場に立った際、調べ学習などの教材になりうるテーマを習得する。

**【概要】** 人文地理学の主要分野である地理教育史・歴史地理学・社会文化地理学を取り上げる。まずは、地理教育と地理教科書の歴史を学ぶ。続いて、歴史地理学・社会文化地理学の視点から、日本ならびに世界各地の事例を用いて、都市・宗教・ジェンダー・エスニシティなどの問題を考察する。

## 230202 自然地理学

### 【到達目標】

- ・自然環境および自然災害を地理学的に捉え理解する。
- ・地球環境変動および地震災害の原因と実態について理解する。
- ・地形図と空中写真を用いた地形判読をする知識と技術を身につける。

**【概要】** 自然環境および自然災害を地理学的に解析することを目標とする。地球環境変動および地震・地震災害の原因と実態について理解するために、地球温暖化、ヒートアイランド現象、エルニーニョ現象とラニーニャ現象、プレート境界型地震、活断層型地震などのテーマを取り上げる。地形図と空中写真を用いた地形判読の実習を行う。

## 230203 地誌学

### 【到達目標】

- ・地理を担当する教師として、多様な地域の地誌を教えるための基礎的な理論と方法を身につける。
- ・目的に応じて統計データを選択、加工する方法を取得する。
- ・変化する世界情勢に関心を持ち、既存の社会認識に対する新たな視点を獲得する。

**【概要】** 地理学・人類学・民俗学・経済学・歴史学などの学問分野と複層的に関連する地誌を学ぶ。なじみの薄いと思われる地域も積極的に取り上げ、多角的な視野から日本と世界の地誌を理解する力を身につける。講義では、地誌学を学ぶために統計データを取得する方法や、必要な資料をデータから抽出・作成する方法、地図の読み方なども習得する。

## ■ 基盤演習

### 230301 国際社会基礎演習

#### 【到達目標】

- ・近現代における世界の政治・経済・社会の動きを理解する。
- ・現代の政治・経済・社会問題の歴史的要因を理解する。
- ・テキストを読み、内容を適切にまとめることができる。
- ・他の人が理解できるように報告することができる。
- ・他者の説明を理解して適切なコメントができるようにする。



**【概要】** 国際社会論の授業内容を前提にしながら、グローバル化する現代の社会問題、およびそれを考察する視点の基礎作りを行う。四専攻の学生と教員が少人数の混成クラスにわかれ、ゼミ形式で授業を行う。一方で、社会学、経済学、国際関係論、文化人類学、現代史など学問分野別の知を用いることの重要性、他方で、分野別の知を学際的に駆使することの重要性を、報告や討論などを通じて確認し合い、国際社会学科で学ぶことの意味はなにかを考える。

## ■卒業論文

### 230501 卒業論文

#### 【到達目標】

- ・研究テーマを設定し、資料・文献を正確に理解する能力を身につける。
- ・問題を提起し、資料・文献をもとに仮説を立て、これを調査・実習等により検証して、明確な根拠に基づいて文章、論文を書く力を養う。
- ・卒業論文の中間報告を通じて、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を養う。

**【概要】** 卒業論文は、学際的に視野を広げ、また学問分野の体系的な知を身につけた勉強の総決算である。国際社会学科において3年次までに学んだ講義、演習、社会調査実習などに基づいて、4年次当初に各々の研究主題を決める。4年次の演習とも連携しながら、個別の研究指導をくり返し、学生が自主的に研究計画を立て、それぞれの主題に見合った文献研究、調査研究を実施する。随時研究成果をまとめて中間的な報告を行い、その上で論文を執筆してゆく。卒業論文提出後は、副査1名を交えて口述試験を行う。



## 国際関係専攻

### ■入門

#### 231001 国際関係論Ⅰ

##### 【到達目標】

- ・国際関係論に関する基礎的な概念を理解する。
- ・国際関係の複雑さを歴史的に理解する。

**【概要】** 第一次世界大戦後に誕生した国際関係論とは、どのような学問であるのかを正しく理解することが第一の目標である。近代主権国家の誕生と戦争が果たす役割から始めて、勢力均衡政策が失敗し「世界大戦」に陥った過程を学ぶ。さらに、再び世界大戦を経験した国際社会が、いかに「冷戦」を戦ったかを講義する。国際関係の理解に不可欠な基本的な概念と理論の基礎を学んでから、リアリズムの立場に立って冷戦に焦点を当てて講義する。具体的な事例としては、「東欧」の成立過程とソ連型社会の特徴を検討し、キューバ・ミサイル危機では核戦略と危機管理を学び、ソ連のアフガニスタン侵略事件における外交と経済制裁の有効性を分析する。

#### 231002 国際関係論Ⅱ

##### 【到達目標】

- ・冷戦後、現代の国際関係の多面性を理解する。
- ・国際社会において生じた問題のいくつかについて、事例に即して具体的に理解する。

**【概要】** 冷戦終結後に一層複雑化している現代の国際関係を、冷静な視点で見つめ、分析出来る力をつけることが最大の目標である。冷戦後の世界では従来のように主権国家だけが国際政治の主役ではないことを、EU、国連、NGOなどが重層的に活動している状況から学ぶ。最初に冷戦構造の崩壊過程をソ連、ハンガリー、東独の事例を取り上げて講義し、現在の欧州における問題との関連を考察する。次いで核拡散、大量破壊兵器の規制レジーム、対地雷規制条約で活躍したNGO、湾岸戦争、コソボ紛争、難民問題などの様々な争点を取り上げて概観し、その動向を分析して出来れば解決策を考える。

#### 231003 文化人類学Ⅰ

##### 【到達目標】

- ・文化とは何かを考える姿勢を身につける。
- ・文化相対主義を理解する。
- ・文化人類学の研究手法と視点を習得する。
- ・文化の中で育った人間の文化から受けた影響について考える力を養う。

**【概要】** 社会と文化の相対性を理念として掲げ、個々の社会の文化的伝統や歴史的文脈を

視野に収めながら、総合的に人間研究を行ってきた文化人類学という学問に関する入門的な講義である。文化人類学の発展の歴史や、その研究手法であるフィールドワーク、比較文化的総合的な研究視点などを俯瞰し、それぞれの民族集団が環境に適応して創造した採集狩猟、牧畜、農業などの文化および産業文明を学習し、文化人類学や心理人類学の研究課題である文化について学ぶ。

## 231004 文化人類学Ⅱ

### 【到達目標】

- ・ 人類の有史以来の様々な生活様式を理解する。
- ・ 人間社会の経済活動を人間の環境への適応の角度から理解する。
- ・ 家族、親族集団、地域社会などを社会的協力のシステムとして理解する。
- ・ 宗教信仰と価値体系を理解する。

**【概要】** 環境への適応戦略としての経済システム、親族や年齢集団、地域共同体、政治組織などの社会的協力のシステム、宗教・神話・儀礼などの信仰と価値のシステム、民俗医療と医療人類学、文化とジェンダーなどについて理解する。文化や社会の多様性と多元性、その構成の仕組み、時代とともに変容する生成性、文化の人間に対する影響などを理解し、そして、文化的他者への理解を介して自己理解を深めることを目的とする。

## ■ 基礎講義

## 231101 政治学概論

### 【到達目標】

- ・ 政治学の基礎概念についての知識を習得する。
- ・ 政治の現状を政治学の基礎概念を用いて操作可能な形で批判的に理解する能力を養う。

**【概要】** 公の空間においてはすべての問題が政治的問題化となる。したがって環境問題や食品偽装問題も政治学の対象になる。また時代が変わっても政治的なるものの本質は変化しない。そのようなスタンダードな政治学を国際政治学まで含みながら講義する。政治思想、政治意識、政治指導者と大衆、官僚制、政党、マスメディアの政治的機能、政治体制論、更に、国際政治に関しても講義する。

## 231102 法学概論

### 【到達目標】

- ・ 法律・法制度に関する基本的な知識を習得する。
- ・ ものごとに対する法的な考え方を理解する。
- ・ 現代社会の諸問題を法的観点から分析する能力を獲得する。

**【概要】** 法律学の基礎を学ぶ。法とは何か、また社会と個人との関係を構築する法的な思

考を養う。現代社会において法律の果たす役割を学び、法的な考え方を理解させる。個人の人権や権利が侵害されたときに、いかにして法律を利用してその擁護を図るかが課題である。日本国憲法と民法の基礎部分、さらに社会との関連で行政法などにふれた後で、国際法の基礎的な要素も考察する。

### 231103 日本史概論

#### 【到達目標】

- ・ 原始・古代から現代までの日本歴史の概要について理解を深める。
- ・ 日本国家の形成、政治・社会のあり方、また日本人の思想等についての変遷に関する歴史的事実を習得する。
- ・ 日本の歴史を国際関係との関わりからみる視点を養う。

**【概要】** この授業では、原始・古代から近現代までの日本の歴史について概観する。日本列島における日本国家の形成や政治・社会等のあり方とその歴史的变化、及び諸外国との関係をみていくことにする。そこでは中央政治のみならず、地方政治のあり方、また朝廷や幕府などの武家政権のみならず、一般民衆の生活や思想、信仰などにも論が及ぶことになる。さらに国際関係、とりわけ東アジア世界や西洋諸国との関係が、日本の歴史を考える上では不可欠であるので、その点についても講義を進める。

### 231104 東洋史概論

#### 【到達目標】

- ・ アジアの歴史について大きな流れを理解する。
- ・ 日本にとってのアジアの意味とその理解の変化について理解する。
- ・ 今日のアジアにおいて顕在化している諸問題について、歴史的視点から考える姿勢を身につける。

**【概要】** 東アジアを中心とするアジアの歴史を古代から現代まで概観することにより、この地域において生起する諸問題を歴史的視点から理解する習慣を身につけるようにする。重要と思われるトピックをいくつかとりあげて、その歴史的背景について整理、紹介する。あわせて近代日本における東洋史学の成立や東洋史学上の重要な論争にかんする史学史を概観することにより、近代以降の日本が「東洋」を通じてどのような世界像を描こうとしてきたかを批判的に検討する。

### 231105 西洋史概論

#### 【到達目標】

- ・ 西洋史における時代区分の意味を理解する。
- ・ 西洋の地理的変遷を理解する。
- ・ 西洋人にとっての西洋観の変遷、および日本人にとっての西洋の意味とその変化を理解する。

**【概要】** 古代から現代までの「西洋」（米国を含む）の歴史を概観することにより、この地域において生起する諸問題を歴史的視点から理解する習慣を身につけるようにする。その際、古代・中世・近世・近代・現代という時代区分の意味や「西洋」の地理的範囲の時代による変化、また、西洋人にとっての「西洋」の意味や日本人にとっての「西洋」の意味とその変化にも注目する。

#### 231106 東アジア社会基礎論

##### 【到達目標】

- ・日本、中国、朝鮮半島など、東アジア諸地域の社会について、その特徴を理解する。
- ・社会や文化を理解する基礎的な方法を習得する。

**【概要】** 地域研究の基礎として、東アジア諸地域の社会を理解するための基礎知識の習得をはかる。日本、中国、朝鮮半島など、それぞれの地域の社会について、具体的な事例をとりあげつつ、基礎的な分析方法を紹介し、あわせてそれぞれの地域の比較や欧米社会等との比較を通じて、その特徴を理解することを試みる。それによって、東アジアの諸地域について、歴史、文化、思想、宗教、政治、経済などを総合的かつ多面的に理解するための基礎を身につける。

#### 231107 東南アジア社会基礎論

##### 【到達目標】

- ・東南アジアの風土・人間・社会・文化について、基礎知識を身につける。
- ・日本の社会・文化と比較しながら考える姿勢を身につける。

**【概要】** 東南アジアの諸社会を特徴づける自然風土、言語、民族、社会構造、宗教、政治、日常生活などについて、初学者に基礎的な知識と理解を持たせる。この授業では、とりわけ、東南アジアの伝統的社会の文化的多様性・多元性と統一性、ポストコロニアル国家による「国民の文化」「国民の歴史」の創出の手法、開発と人権、国家と部族、中間層の出現などのトピックからいくつかの事例を取り上げて、東南アジアの理解の土台を学ばせる。

#### 231108 アメリカ社会基礎論

##### 【到達目標】

- ・アメリカ社会の成り立ちを理解する。
- ・アメリカ社会の特徴を理解する。
- ・アメリカ社会の通時的变化を理解する。

**【概要】** この授業では、アメリカ社会を特徴付けてきた宗教的・思想的背景はどのようなものであったかを、植民地時代から現代に至るまでをいくつかの時期に分けて、トピック別に考えてみる。世界の超大国、デモクラシーの旗手としてイメージされるアメリカ合衆国の社会が、いかなる発想によって統合されてきたかを考えるきっかけを与える。

## 231109 国際関係史

### 【到達目標】

- ・ 20 世紀以降の国際関係史の概要について理解する。
- ・ 今日の国際社会において生起する諸問題について、それを歴史的視点から理解する能力を身につける。

**【概要】** 現代の国際関係を理解するために、主に 20 世紀からの国際関係史の知識を得ることを目標とする。急速に一体化していく現代世界は、国内政治の動きだけではなく、貿易や外交交渉を通じた国家間関係、国境を越えた国際的組織の動向に大きく影響される。このダイナミズムを把握させることとしたい。この授業では、20 世紀初めの 2 つの世界大戦と、この両大戦間の歴史的考察を行い、戦争と平和の問題について論じる。

## ■ 応用講義

### 231201 ジェンダー国際関係論 A

#### 【到達目標】

- ・ ジェンダーという概念を理解する。
- ・ 国際関係における女性の歴史的役割を理解する。

**【概要】** 女性は国家間外交においてどのような役割を果たしてきたのかを歴史的視座から考える。宮廷外交、19 世紀後半から 20 世紀前半にかけての帝国主義時代における国家間関係、19 世紀後半に始まる外交官の専門化といった局面において、女性はどのような立場で、どのような役割を果たしたのかを学ぶ。ジェンダーは国際関係においてどのような機能を付与されてきたかを考えてみる。

### 231202 ジェンダー国際関係論 B

#### 【到達目標】

- ・ ジェンダーの概念を理解する。
- ・ 多様なレベルで展開される国際関係の現状を理解する。

**【概要】** 現代の国際関係における女性の役割について考える。グローバル化が進む現代において、国際関係とは単に国家間で取り結ばれるだけではなく、民間レベル、個人レベル等で広く経験される事象になっている。この状況の中で、女性はどのように国際関係の舞台に登場しているのだろうか。外交のプロフェッショナルとしての女性はもとより、国際労働移動の女性化など、多角的な局面における女性の役割や経験について学ぶ。

## 231203 人間の安全保障

### 【到達目標】

- ・人間の安全保障概念の形成と発展について学ぶ。
- ・国連などの国際組織や NGO の人道的支援活動について学ぶことで、人間の安全保障の実際の理解を深める。
- ・将来国際社会において貢献するために必要な能力の基盤となる知識を身につける。

**【概要】** 国連開発計画で提唱された人間の安全保障概念が生まれた背景についてまず学び、従来の安全保障概念とは異なる人間の安全保障概念の内容について考察する。特に「保護する責任」「人道的介入」などについて深く考察する。そして国連などの国際組織や NGO が行っている緊急人道支援や難民支援等の具体的な活動を検討することで、人間の安全保障の現状の問題点と将来の課題について考える。また人間の安全保障とジェンダー的視点の連関についても考察する。

## 231204 日本政治外交史 A

### 【到達目標】

- ・戦前日本の外交が、江戸後期以降の国際関係の変動に応じて、どのように展開されたのかについての理解を深める。
- ・とくに国際関係の秩序原理と日本外交の国際認識の諸相についての基礎的理解を深める。
- ・総じて、幕末以降の東アジアの国際関係の変動が、西洋的国際関係とアジア的国際関係の衝突としての側面をもつということについての理解を深める。

**【概要】** 戦前日本の外交が、江戸後期以降の国際関係の変動に応じて、どのように展開されたのかを考察することにする。とくに国際関係の秩序原理と日本外交の国際認識の諸相についての基礎的理解をえることを目的とする。とくにこの講義では、ウェストファリア体制・華夷秩序・大君外交体制という三つの国際関係の内容を理解し、幕末以降の東アジアの国際関係の変動が、西洋的国際関係とアジア的国際関係の衝突としての側面をもつこと、それに対して徳川幕府がどのように対応しようとしたのか、それが日本近代にどのように影響したのかなどを考察し、理解を深めることにしたい。

## 231205 日本政治外交史 B

### 【到達目標】

- ・戦前日本の外交が、江戸後期以降の国際関係の変動に応じて、どのように展開されたのかについての理解を深める。
- ・とくに国際関係の秩序原理と日本外交の国際認識の諸相についての基礎的理解を深める。
- ・総じて、西洋的な国民国家をめざした明治日本が、華夷秩序と西欧国際体系が混在する東アジアの国際関係のなかで、いかなる外交を展開したのか、戦前日本の外交構想および政策に対する理解を深める。



**【概要】** 戦前日本の外交が、江戸後期以降の国際関係の変動に応じて、どのように展開されたのかを考察することにする。とくに国際関係の秩序原理と日本外交の国際認識の諸相についての基礎的理解をえることを目的とする。とくにこの講義では、西洋的な国民国家をめざした明治日本が、華夷秩序と西欧国際体系が混在する東アジアの国際関係のなかで、いかなる外交を展開したのか、日清・日露戦争後にいかにして西洋列強に並びたとうとしたのか等に焦点をあて、戦前日本の外交構想および政策に対する理解を深めることにしたい。

### 231206 朝鮮政治外交史 I

#### 【到達目標】

- ・朝鮮近代における日本による植民地化過程と植民地統治について基礎的知識を習得する。
- ・植民地からの解放後、独立した韓国と日本の国交正常化と正常化後の日韓関係についての基礎的知識を習得する。

**【概要】** 近現代における朝鮮（韓国）の政治外交を日本との関係に焦点をあてて深く理解することを目標とする。日本による植民地化の過程、植民地統治が具体的にどのようなものであったのか、そして植民地統治が終わってからの日韓関係において国交正常化をめぐる政治外交上、何が課題であったのか、正常化後における日韓関係が具体的にどう展開していったのかを考察していく。

### 231207 朝鮮政治外交史 II

#### 【到達目標】

- ・解放後の朝鮮半島における南北分断の過程とその後の南北関係について基礎的知識を習得する。
- ・解放後、独立した韓国における政治体制とその変容について基礎的知識を習得する。

**【概要】** 日本の植民地支配からの解放後、いかにして南北分断となり、分断後の南北関係がいかなるものであったのか、とくに朝鮮戦争がどういう意味を持ったのか、また韓国における長期にわたる権威主義的政治体制が具体的にどのようなものであったのか、この権威主義体制のもとで民主化運動がどのように展開し、民主化をどのように実現したのかを考察していく。

### 231208 中国政治外交史 I

#### 【到達目標】

- ・前近代の東アジア世界の秩序を理解する。
- ・東アジアにおける王朝国家と近代国家について理解する
- ・19世紀から20世紀前半の中国の対外関係を、中国国内の動向と関連させながら、その歴史の変遷を理解する。

**【概要】** 近代以前に中国を中心に成立していた東アジア世界が19世紀以降、西洋近代と対

峙しつつ、どのような変容を遂げたのか、中国とその周辺との関係を、中国内部の動向と関連させながら、20世紀前半までを概観する。清朝という王朝国家を倒して近代国家を建設し、近代的な外交に取り組むことによって亡国の危機を脱する試みのなかで、中国は何を、どのように考えて、行動したのかを中国に即して理解できるようにする。

## 231209 中国政治外交史Ⅱ

### 【到達目標】

- ・20世紀半ば以降の中国の対外関係を、国内の動向とも関連させながら、その歴史の変遷を理解する。
- ・近年の中国の「台頭」の歴史的背景を理解する。

**【概要】** 20世紀半ば、第二次世界大戦の戦勝国として戦後秩序の構築に参画した中国が、内戦や冷戦など、その後の大きな変動のなかで、どのような紆余曲折を経て、近年再び大国の地位に復帰しつつあるのかについて、内外情勢を関連させながら概観する。国民党と共産党の対立、中国にとって社会主義とは何だったのか、等について歴史的背景を踏まえて考えることで、現在の中国や東アジアについての理解を深めることを目指す。

## 231210 アメリカ史Ⅰ

### 【到達目標】

- ・多文化社会としてのアメリカ史の基本を理解する。
- ・グローバルな視野からアメリカ史を捉える力を養う。
- ・アメリカ史における歴史叙述の変動や争点を理解する。

**【概要】** アメリカ合衆国は、大陸内の諸地域あるいは大西洋や太平洋をへだてた他地域と政治的・経済的・文化的に深く関わりながらその歴史を生成させてきた。アメリカ史Ⅰでは、征服や海外展開をへながら多文化社会となったアメリカ合衆国の歴史を、グローバルかつローカルな視点を含めて概説する。また、アメリカ合衆国の歴史叙述のありかたがどのように変化してきたのかについての理解も深める。

## 231211 アメリカ史Ⅱ

### 【到達目標】

- ・アメリカ史の基本を政治的・経済的・文化的な側面から理解する。
- ・複数の観点を組み合わせてアメリカ史を捉える力を養う。
- ・アメリカ史における歴史叙述の変動や争点を理解する。

**【概要】** 自由や民主主義の理念と奴隷制や先住民征服との併存がよく示すように、アメリカ合衆国の歴史は、一見すると相反する理念や実践が複雑に絡み合いながら展開してきた。アメリカ史Ⅱでは、政治、経済、ジェンダー、文化など複数の側面を視野に入れてアメリカ史を概説し、それぞれの相互関連性を把握する力を養う。また、アメリカ合衆国の歴史叙

述のありかたがどのように変化してきたのかについての理解も深める。

#### 231212 国際関係法A

##### 【到達目標】

- ・ 国際法の基礎的概念を身に付ける。
- ・ 国際社会の諸問題に対する「法的な」見方・考え方を養う。
- ・ 国家と国際社会の関係について法的側面からの理解を深める。

**【概要】** 国際法の総論的部分を中心に学ぶ。国際法の総論的部分とは、国際社会において、紛争処理の基礎となる原則ともいえる。国際社会の具体的な事例に触れながら、国際社会の法構造を学んでいくことにする。より具体的には、国際法の基礎概念、法源、国際慣習法、条約の構造、国内法と国際法の関連などについて、国際法判例なども参照しながら講義する。

#### 231213 国際関係法B

##### 【到達目標】

- ・ 国際法概念の実際の側面について理解する。
- ・ 国際協力や国際的な紛争処理の現場で国際法がどのような機能を果たしているか理解する。

**【概要】** 国際法の総論的部分の理解を踏まえて、国際法の各論部分を学ぶ。現代の国際社会が抱える具体的な国際問題や紛争を理解し、国際法の実際の側面に習熟することを目指す。国際協力、紛争処理、国際的な人権保護などに果たす国際法の構造や機能などについて、国際法判例なども参照しながら講義する。そして、日々流動的な国際社会の様々な局面において、国際法がいかに機能しているのか（あるいはしていないのか）を考察する。

#### 231214 国際機構論

##### 【到達目標】

- ・ 国際連合をはじめとする国際機構の目的および活動についての理解を深める。
- ・ 国際機構の構造や機能における法的側面を理解する。

**【概要】** 国際連合などの国際機構を法的な観点から検討することによって、さまざまな国際機構の目的、任務、構造、活動などについて理解し、それらの機構が国際社会の組織化、国際紛争の平和的解決、人権や環境の保護に果たす機能について考察する国際組織法の基礎概念、国際機構の法主体性、国際機構の法的地位及び内部法などについて講義する。

## 231215 国際関係（日米）

### 【到達目標】

- ・国際情勢の中に日米関係を位置づけ、その特質や意義を理解する。
- ・時代ごとの日米関係の構造的特質について体系的に理解する。

**【概要】** 本講義では、日米関係を、世界の中の日米関係ととらえ、政治外交面を中心に概観する。特に日米関係の構造的特質を時代ごとに把握し、日米関係のより体系的な理解を目指す。また日米両国における国内政治や世論と日米関係との連関についても考察する。さらに日米関係のみにとどまらず、それを素材にして国際関係全般についても考察しうる力を養う。

## 231216 国際関係（日朝）

### 【到達目標】

- ・日米同盟と米韓同盟の基本的力学を理解する。
- ・朝鮮半島における正統性の問題、戦後の日韓関係を理解する。

**【概要】** 北東アジアの安全保障関係は、日米同盟と米韓同盟という2つの同盟関係から成立している。これらの同盟関係の基本的な力学を理解することを目標としながら、朝鮮半島をめぐるどのような相互作用をみせているのかを考える。朝鮮半島における正統性の問題、戦後の日韓関係、日韓国交正常化と国際政治力学などを取り上げる。

## 231217 国際関係（日中）

### 【到達目標】

- ・日中関係をめぐる近現代史に関する基礎的な知識を体系的に習得する。
- ・1972年の日中国交正常化以降の日中関係の展開を概観しつつ、現在の日中関係の政策課題について理解する。

**【概要】** 国際関係の中における日中関係という視点で、日中関係を理解させることを目標とする。日中関係は、米国、台湾、アジア諸国を巻き込んだ複雑な性格を持っている。満州事変等から始まる歴史問題、戦後のLT貿易・MT貿易、日中国交回復、対外開放政策に伴う日中経済関係、歴史問題・台湾問題によって影響を受ける日中外交関係、近年の多様化する摩擦などを論じる。いずれも、日本、中国、双方の視点から事象に分析を加える。

## 231218 日本政治思想史

### 【到達目標】

- ・日本の政治思想の内容と特質についての基礎的な教養を身につける。
- ・日本政治史に対する基本的な知識を習得する。

**【概要】** この授業では、基本的には幕末・維新时期から第二次世界大戦後までの時期における、日本の政治にかかわる思想や意識・認識等の歴史的展開を扱うことにする。対象とする

時期は必要に応じて、江戸期やその他の時代に及ぶこともある。また考察の対象となる人物や組織もさまざまである。さらに日本の思想を比較考察するために、西洋の政治思想や東洋の政治思想に論が及ぶこともある。日本の近現代の政治（やその根底をなす社会）を、とくに思想という視座から検討し、そのあり様を考察するものである。

### 231219 現代韓国論

#### 【到達目標】

- ・解放後の韓国現代史について基礎的知識を習得する。
- ・現代韓国社会における具体的諸問題について理解する。

**【概要】** 解放後の韓国の政治、経済、社会の歴史はたいへん波乱に満ちていた。現代韓国はこうした歴史を経てかたちづくられてきた。現代韓国社会を理解するにはどうしても歴史的理解が不可欠である。このため韓国現代史の基本を踏まえて、さらには現代韓国社会形成に影響を与えた韓国現代史における具体的な諸問題（例えば、朝鮮戦争、光州事件、民主化運動など）を取り上げていく。

### 231220 韓国政治・経済論

#### 【到達目標】

- ・韓国の政治と経済に焦点をあてて韓国現代史について基礎的知識を習得する。
- ・政治における民主化、経済における先進国化の諸要因について理解する。

**【概要】** 解放後の韓国は南北分断のために政治体制においては対北関係の安保問題から民主主義は制限され、長期間、権威主義体制にあった。また経済は朝鮮戦争を経験して世界的にも最貧国的状況にあった。韓国政治経済の課題は政治の民主化と経済の工業化による発展であった。この授業では政治経済それぞれの発展過程に即して時期区分して、それぞれの時期における政治と経済の特徴を整理し、その発展の意義を検討していく。

### 231221 現代中国論

#### 【到達目標】

- ・現代中国の政治・外交・社会の構造と、その機能を理解する。
- ・現代中国の政治や外交や社会問題が、どのような方向性を持ち、発展していくのかを予測する力を養う。

**【概要】** 日本の隣国であり、急速な経済、社会の変化を見せる現代中国を理解することを目標とする。中国は、広大な面積と巨大な人口を抱えている。また、2000年代に入ってから、急速な経済成長によって国際的な影響力を高めてきた。共産党の一元体制による政治、貧富の差が大きく、そのなかでの近代化が進む社会、平和発展を理念としながら、現実には強硬路線が目立つ外交、これらの現象の形成過程を理解し、今後の進路を見通す力を養っていく。

## 231222 香港・台湾論

### 【到達目標】

- ・香港や台湾が、東アジアにおいていかなる特徴を持った地域であるのかを理解する。
- ・香港・台湾と中国の関係について理解することで中国的世界の広がりを理解する。

**【概要】** 香港、台湾の現状と、国際政治の中における位置付けを理解させることを目標とする。大陸の中国と異なった政治・経済体制の香港、台湾を分析することによって、中国自体の政治、経済、外交の性格を浮き彫りにすることも出来る。香港の歴史、香港の経済的役割、香港返還、返還後の中国の対香港政策、台湾の歴史、外省人と本省人の矛盾、台湾の民主化、中国との台湾海峡問題などを中心に講義を行う。

## 231223 現代アメリカ政治論

### 【到達目標】

- ・現代アメリカの政治制度、イデオロギー、政治的争点などに関して基本的な知識を習得する。
- ・アメリカの政治の基礎知識を習得することで、アメリカ政治を含めた現代政治をより体系的に理解する力を養う。

**【概要】** 現代アメリカの政治制度、イデオロギー、政治的争点などに関して基本的な知識を習得することを目標とする。大統領制、権力とリーダーシップ、議会制度、選挙制度、政策決定システム、2大政党制、保守・リベラルの2大イデオロギー、連邦制、などについて、歴史的な視点を踏まえつつ解説する。そして、それらの知識をもとに、現代アメリカ政治が抱える諸問題についての総合的な理解を目指す。

## 231224 現代アメリカの動態

### 【到達目標】

- ・現代アメリカ社会に関する基礎的な知識を習得する。
- ・現代アメリカ社会で起こっている様々な出来事について構造面、現象面、歴史面から幅広く理解する。
- ・アメリカ社会の基礎知識を習得することにより、アメリカ社会並びに現代社会の問題をより体系的に理解する力を養うことを目指す。

**【概要】** 現代アメリカ社会に関する基礎的な知識を習得することを目標とする。人種とエスニシティ、貧困問題、教育問題、犯罪問題などの個別の争点について、歴史的な変容過程も踏まえつつ解説を行う。それと同時に、それら個別の問題をコミュニティ統合の基礎理論である、アングロコンフォーミティ、メルティングポット、多文化主義などの概念の文脈と照らし合わせて、多様性を特徴とするアメリカ社会のより体系的な理解を目指す。

## 231225 南アジア社会特論

### 【到達目標】

- ・南アジアの風土・人間・社会・文化について基礎知識を身につける。
- ・日本の社会・文化と比較しながら考える姿勢を身につける。

【概要】 南アジアの諸社会を特徴づける自然風土、人間集団、言語、社会構造、政治、宗教、芸術、日常生活などについて、初学者に基礎的な知識と理解を持たせる。この授業では、とりわけ、南アジアの歴史と文化を特徴づける多様性と統一の問題、その根柢にある宗教的意識の歴史的展開、近現代における宗教（ヒンドゥー教、イスラム教など）とナショナリズムの関係などのトピックからいくつかの事例を取り上げて、南アジア理解の土台を学ばせる。

## 231226 イスラム社会特論

### 【到達目標】

- ・イスラム教とイスラム世界について基礎知識を身につける。
- ・日本の社会・文化と比較しながら考える姿勢を身につける。

【概要】 西アジアに始まって多様な異文化との接触の中でアフリカ、中央アジア、南アジア、東南アジア、東アジア、欧米などに広く展開したイスラム世界について、初学者に基礎的な知識と理解を持たせる。この授業では、特にイスラム世界の地域的な多様性、非イスラム世界や資本主義との関わりなどに注意を払いながら、ムスリムの日常生活、宗派、思想・世界観、規範、祝祭、家族と婚姻、芸術、テロリズム、戦争などのトピックから事例を取り上げて講述する。

## 231227 民族誌特論A

### 【到達目標】

- ・民族誌の読み方を身につける。
- ・民族誌を通じて人類の存在諸様式を理解する。

【概要】 社会文化人類学の諸分野の知識を発展させ、より着実に包括的な人類学の基礎知識を身につけさせるために、社会文化人類学が蓄積してきた多様な民族誌を重点的に学ばせ、あわせて比較の視点を養う。古典と学史的背景に配慮しながら、今日的な調査報告も紹介し、21世紀の人類の存在様式を人類学的に捉えることの意味と方法を考えさせる。Aは特に民族誌の読み方に重点を置く。

## 231228 民族誌特論B

### 【到達目標】

- ・民族誌的知識を身につける。
- ・隣接諸科学との関係のなかで社会文化人類学の理論の変遷を理解する。

【概要】 社会文化人類学の諸分野の知識を発展させ、より着実に包括的な人類学の基礎知

識を身につけさせるために、社会文化人類学が蓄積してきた多様な民族誌を重点的に学ばせ、あわせて比較の視点を養う。古典と学史的背景に配慮しながら、今日的な調査報告も紹介し、21世紀の人類の存在様式を人類学的に捉えることの意味と方法を考えさせる。Bは特に学史的背景の理解に重点を置く。

### 231229 宗教人類学

#### 【到達目標】

- ・ 宗教人類学の基礎知識を身につける。
- ・ 習得した基礎知識によって個別の問題を考える力を養う。

**【概要】** 人類社会における宗教に関する民族学・人類学的な理解を深める。人類学・社会学・宗教学などによる宗教研究の歴史を批判的に概観したのち、人間の象徴活動、神話、儀礼、世界観、宇宙論、占い、呪い、治病、死、葬制、祖先崇拜、世界宗教（キリスト教やイスラム教など）への改宗、新興宗教運動など、宗教をめぐる多様なトピックのなかから事例を選んで講述する。

### 231230 政治人類学

#### 【到達目標】

- ・ 政治人類学の基礎知識を身につける。
- ・ 習得した基礎知識によって個別の問題を考える力を養う。

**【概要】** 人類社会における政治現象に関する民族学的・人類学的な理解を深める。政治学や法学など他の社会科学が国家の存在を前提にしているのと異なり、政治人類学は人類に知られているあらゆる種類の社会（採集狩猟民社会から現代国家まで）における政治現象を研究対象にしてきた。人類学者による政治研究の歴史を概観したのち、人類のさまざまな社会における政治的行為、社会秩序の維持、部族・王国・共和国など政治体制、暴力と非暴力、戦争、平和など、多様なトピックのなかから事例を選んで講述する。

### 231231 人種・民族・国民

#### 【到達目標】

- ・ 人種、エスニシティ、ネーションなどの概念と、これらのカテゴリーに関連する現代的な問題について基礎知識を身につける。
- ・ 習得した基礎知識によって個別の問題を考える力を養う。

**【概要】** 人種・民族・国民という今日の世界で最も大きな政治的問題性をはらむ三種の人間集団のカテゴリー・アイデンティティについて、人類学の視点から、より深く学ばせる。人種、エスニシティ、ネーションなどの基本的な概念をめぐる混乱を批判的に整理したのち、人種差別、国民統合、民族紛争、ジェノサイド、労働者輸入など現代的なトピックスから事例を選びながら講述する。



## 231232 人権・人道の人類学

### 【到達目標】

- ・文化相対主義とそのパラドクスを理解する。
- ・人権人道に対する人類学的アプローチを理解する。

**【概要】** 人類学は、その歴史の中で、種としての人類の単一性の認識に基づく普遍的な人権人道の理想を支持すると同時に、個々の社会の世界観や価値観に優劣はなく、人類の文化的多様性の維持は人類の存続にとって不可欠であると主張してきた。しかしこの普遍主義と相対主義は、現代世界の現実においてしばしば相克し、人類学者は学問的・倫理的に厳しい選択を迫られてきた。この授業では、人類学が人権・人道をどのようにとらえ、どのように関わってきたかを、多様な事例を通じて考察する。

## 231233 国際政治経済 I

### 【到達目標】

- ・国際政治経済について基礎的な知識を習得する。
- ・国家間の経済紛争を政治学の視点から学ぶ。

**【概要】** 政治・経済・技術・戦略などが複雑にからむ国際政治経済学の基本的理解を目指す。まず現代の国際政治経済の概論について論じ、そのうえで二国間の経済紛争を扱う。その際には日米経済紛争や米中経済紛争などを事例として取り上げ、圧力団体をめぐる国内政治力学、議会と行政府の対立、双方の国内法をめぐる摩擦、長期的な国家戦略などを分析し、国際政治の国内的起源に関する理解を深める。

## 231234 国際政治経済 II

### 【到達目標】

- ・国際政治経済学を十分に理解し、その方法論を用いて論理的に思考する能力を身につける。
- ・国際政治経済に関する具体的争点（例：農産物輸入問題や知的財産権問題など）のグローバル経済進展時代における特徴についての理解を深める。

**【概要】** 政治・経済・技術・戦略などが複雑にからむ国際政治経済学の多面的理解を目指す。GATT から WTO にいたる多国間秩序の変遷をまず講義する。そのうえでグローバル経済の進展によって生じた農産物輸入問題や知的財産権問題などの新たな特徴について考察する。また、グローバル化時代における国家と企業の関係や国家間の政策協調などについても射程を広げ、事例研究を通じて国内政治経済に関する抽象的思考能力の獲得を目指す。

## 231235 比較政治学 I

### 【到達目標】

- ・比較政治学の基礎的な概念を理解する。

・政治体制の理想型に関する議論を理解する。

**【概要】** グローバル化という現象は経済にとどまらず、政治の分野でも進行しており、その一つの結果がリベラル・デモクラシーというモデルの普及である。しかしリベラル・デモクラシーは常に別の思想の挑戦を受けてきており、その挑戦は現在でも続いている。人間社会をより良くするための意思決定はどのような政治体制で可能であるのか。これまでの主な政治思想を把握した上で、受講者が自分なりの意見を持てるようになることが本講義の目的である。

## 231236 比較政治学Ⅱ

### 【到達目標】

- ・主権国家体系の成立と変容を理解する。
- ・実際に出現した政治体制の多様性を理解する。
- ・世界の国々の主権国家成立過程と現在の問題との関連について理解する。

**【概要】** 現在の主権国家体系の元となった西欧国家体系は17世紀に西欧で出現したとされる。それが19世紀にラテンアメリカ諸国が独立するとともにインドや中国が西欧国家体系に組み込まれ、第一次世界大戦後に中欧と東欧諸国、第二次世界大戦後にはアジア・アフリカ諸国が独立することによって世界に広がった。主権国家の成立過程は各地域でどのようなものだったのか。主権国家成立の歴史的経緯を把握した上で、受講者が現在の国際問題について自分なりの意見を持てるようになることが本講義の目的である。

## 231237 アジア国際関係論Ⅰ

### 【到達目標】

- ・アジアにおける国際政治の基礎的概念を理解する。
- ・政治学的な視点によって、アジア諸国の関係を分析する能力を身につける。
- ・アジアにおける主要アクターである日中米の外交政策を理解する。

**【概要】** アジアにおける国際政治の基礎的概念を理解することを目標とする。アジアの国際政治を理解するために必要な、アジアに関連する国際政治の基礎的概念、すなわち外交、戦争、植民地、ナショナリズム、帝国主義、国際主義、核武装の問題などについて説明する。その上で、日本外交、中国外交の特徴、性格を論じ、戦後東アジア国際関係の現状と全体像を理解させる。また、アジアに大きな影響力を持つアメリカ外交の特徴についても触れる。

## 231238 アジア国際関係論Ⅱ

### 【到達目標】

- ・アジアにおける国際関係の歴史と構造を理解する。
- ・政治学的な視点によって、アジア諸国の関係を分析する能力を身につける。

**【概要】** 戦後アジアの国際関係の歴史を理解させることを目標とする。第2次世界大戦後、

ヨーロッパで確立した戦後冷戦構造が、「熱戦」という形でアジアに飛び火し、アジアの冷戦構造を形作っていったことを説明する。その後、朝鮮戦争、ベトナム戦争を経て、90年代のソ連崩壊、中国脅威論に至る東アジア国際関係を、中国外交、日本外交を中心に論じる。アセアンの設立など、アジアの国際機構の役割と機能などについても触れる。

#### 231239 近現代日本研究（政治・外交）A

##### 【到達目標】

- ・日本の近現代史を、政治・外交・軍事の視座から理解する。
- ・近現代日本の政治家たちの国際秩序認識の有り様と実際政治についての歴史的事実を習得する。
- ・日本内外の体制変動の歴史を理解する。

**【概要】** この授業では、日本の近現代史を、主として政治・外交・軍事の視座から考察する。近現代日本とそれをとりまく国際環境との関係に焦点をあて、近現代日本における政治家・外交官・軍人・官僚・知識人・思想家たちの国際秩序認識と国際関係とのかかわり方をとりあげる。またそうした彼らの認識が政策にどのように反映されたのかについても検討する。さらに国際秩序と国内体制との関連性や内外秩序の歴史の変遷とその意味についても考察することにする。

#### 231240 近現代日本研究（政治・外交）B

##### 【到達目標】

- ・戦後日本人の日本近代史認識を理解する。
- ・歴史認識の形成と時代状況の関係性についての理解を深める。
- ・歴史認識を巡る各国間の違いと和解に関する考察力を養う。

**【概要】** この授業では、歴史認識と和解の問題を考察する。とくに「太平洋戦争への道」もしくは昭和戦前期の歴史を、戦後の日本人が日本近代の歴史のなかでどのように理解してきたのかを、いくつかの代表的な歴史解釈を題材として取りあげて検討する。さらにそうした歴史認識を、それを生み出した時代との関係から考察し、戦後日本の道程の中に位置づけることを試みる。そうした時代状況は内外にわたるため、戦後日本を取り巻く国際関係のあり方についても言及し、近年みられる諸外国との歴史認識を巡る軋轢と和解の問題へと考察を深めることにする。

#### 231241 朝鮮研究 I

##### 【到達目標】

- 朝鮮半島の社会、文化、政治、経済、国際関係などに関して歴史的アプローチで理解する。
- 朝鮮半島の社会、文化、政治、経済、国際関係に関わる具体的諸問題を取り上げてそれを歴史的に理解する。

**【概要】** 地域研究としての朝鮮研究は、朝鮮半島（こんにちの朝鮮民主主義人民共和国と

大韓民国)の歴史、社会、文化、政治、経済、国際関係の諸問題をあらゆる学問的アプローチを動員して現地に密着した視点から深く理解しようとするものである。朝鮮研究Ⅰでは具体的諸問題、例えば韓国における「反日感情」という問題を取り上げ、それがどのようにして形成され、維持されているのか、主として歴史的アプローチからの論文やその他の文献、映像資料を利用して、深く理解できるようにしていく。

## 231242 朝鮮研究Ⅱ

### 【到達目標】

- 朝鮮半島の社会、文化、政治、経済、国際関係などの現代的課題を総合的に理解する。
- 朝鮮半島の社会、文化、政治、経済、国際関係に関わる具体的諸問題について社会科学・人文科学をはじめさまざまなアプローチから取り上げ、多角的に理解する。

**【概要】** 地域研究としての朝鮮研究は、朝鮮半島（こんにちの朝鮮民主主義人民共和国と大韓民国）の歴史、社会、文化、政治、経済、国際関係の諸問題をあらゆる学問的アプローチを動員して現地に密着した視点から深く理解しようとするものである。朝鮮研究Ⅱでは、例えば南北分断の問題を取り上げ、冷戦前後の南北関係の変化を国際政治学の観点から考えたり、南北社会の異質化を経済学や社会学の観点から考えたりして、深く理解できるようにしていく。

## 231243 中国研究Ⅰ

### 【到達目標】

- ・近現代の日本社会が中国をどう見てきたかを理解する。
- ・東アジア世界の変動のなかで中国を考える姿勢を身につける。

**【概要】** 地域研究として中国研究をする際の、中国を見る眼について注意を喚起することによって、中国研究の方法を習得することをめざす。前近代以来の歴史的背景をふまえて東アジア世界のなかで中国を位置づけ、そのなかで近現代の日本が中国をどのように見てきたかについて、具体的な資料や研究成果を提示する。これを学生自身に閲読、考察させることによって、改革開放政策やグローバリゼーションのなかで大きな構造変動に直面している中国および東アジアに対する眼を養う。

## 231244 中国研究Ⅱ

### 【到達目標】

- ・中国に関する多様な研究の成果を理解する。
- ・自分自身の問題意識に即して、自分なりの中国像を獲得する。

**【概要】** 受講者が自らの問題意識に即して、自分なりの中国像を獲得することをめざす。

中国の多様な側面を、歴史や思想、政治、経済、社会、文化などについて、資料や研究成果

をまじえつつ具体的に紹介しながら、それらを踏まえてどのような総合的な中国理解が可能かを提示する。紹介された具体的事例を理解することで中国の諸側面についての個別的理解を深めると同時に、講義を通じて個別の事例がどのように総合されるかに実際に触れるなかで、自分なりの総合的理解への導きとする。

#### 231245 アメリカ研究（政治・外交）Ⅰ

##### 【到達目標】

- ・植民地時代から第 2 次大戦までのアメリカ外交の歴史を、アメリカの政治的伝統や時代ごとの国際環境と関連付けながら理解する。
- ・植民地時代から第 2 次大戦までのアメリカ外交史の基礎知識を習得することにより、現代アメリカ外交を中心とする国際政治をより体系的に理解する力を養う。

**【概要】** アメリカの政治・外交の特質について、歴史、社会、経済、思想、国際関係など、さまざまな角度から論じ、総合的体系的に理解することを目標とする。特に、歴史的な視点、アメリカにおける国内政治と外交の連関、国際社会におけるアメリカの位置づけ、などを重視し、個別の事象の表面的な理解にとどまらない、立体的なアメリカ像の構築を目指す。本講義では、アメリカ政治・外交の成り立ちからその展開過程を中心に考察する。

#### 231246 アメリカ研究（政治・外交）Ⅱ

##### 【到達目標】

- ・冷戦史を軸に、第二次大戦以降現代までのアメリカ外交史を、アメリカの歴史的伝統や国際関係と関連させながら理解する。
- ・戦後アメリカ外交史の基礎知識を習得することにより、現代アメリカ外交を中心とする国際政治をより体系的に理解する力を養う。

**【概要】** アメリカの政治・外交の特質について、歴史、社会、経済、思想、国際関係など、さまざまな角度から論じ、総合的・体系的に理解することを目標とする。特に、歴史的な視点、アメリカにおける国内政治と外交の連関、国際社会におけるアメリカの位置づけ、などを重視し、個別の事象の表面的な理解にとどまらない、立体的なアメリカ像の構築を目指す。本講義では、「アメリカ研究(政治・外交)Ⅰ」を踏まえ、アメリカが覇権国となる過程での政治・外交の変容やアメリカ外交の現代的意義を中心に考察する。

#### 231247 アメリカ研究（社会史）Ⅰ

##### 【到達目標】

- ・ジェンダーの概念を理解する。
- ・ジェンダーの概念の歴史叙述への適用のありかたを理解する。
- ・南北戦争までのアメリカ史におけるジェンダーに基づく権力の振り分けの様態と変化を理解する。

**【概要】** 植民地時代から19世紀中葉までのアメリカの歴史を、ジェンダーという概念を基軸としながら概説する。アメリカ史で通常採りあげられる主要な出来事の中で、男女の差異はどのような意味をもったのか。女性たちはどのような役割を果たしていたのか。また、それらの出来事はジェンダーの構築をどのように変えたのだろうか。ジェンダーの視点から歴史をとらえることで、日常的、私的關係性の中にも権力関係が存在することに気づかせるとともに、日常の細部に歴史を見いだす目を養いたい。

## 231248 アメリカ研究（社会史）Ⅱ

### 【到達目標】

- ・ジェンダーの概念を理解する。
- ・ジェンダーの概念の歴史叙述への適用のありかたを理解する。
- ・南北戦争から現代までのアメリカ史におけるジェンダーに基づく権力の様態と変化を理解する。

**【概要】** 19世紀中葉から現代までのアメリカの歴史を、ジェンダーという概念を基軸としながら概説する。アメリカ史で通常採りあげられる主要な出来事の中で、男女の差異はどのような意味をもったのか。女性たちはどのような役割を果たしていたのか。また、それらの出来事はジェンダーの構築をどのように変えたのだろうか。ジェンダーの視点から歴史をとらえることで、日常的、私的關係性の中にも権力関係が存在することに気づかせるとともに、日常の細部に歴史を見いだす目を養いたい。

## 231249 日米比較研究Ⅰ

### 【到達目標】

- ・19世紀半ばから第二次世界大戦までの日米の社会・文化について、比較の視点から理解する。
- ・日米の社会・文化を、歴史的な変化をふまえ動的に捉える視座を身につける。
- ・日米の社会・文化を、グローバルな人・モノ・情報の移動と関連づけて多面的に理解する。

**【概要】** 米国の国土が太平洋岸にまで拡張し日本が幕末期を迎える19世紀半ばから、日米の両国が開戦する20世紀半ばまでの期間を中心に、日米の社会・文化を比較史的に概説する。産業革命と工業化・都市化、列強の帝国主義的な世界進出と植民地化、大規模な国内移動と国際移動といった文脈をふまえ、グローバルな視点から日米の社会・文化を捉える力を培い、文化的な混交やアメリカ化の多面的なプロセスを学ぶ。

## 231250 日米比較研究Ⅱ

### 【到達目標】

- ・第二次世界大戦後から現在までの日米の社会・文化について、比較の視点から理解する。
- ・日米の社会・文化を、歴史的な変化をふまえ動的に捉える視座を身につける。
- ・日米の社会・文化を、グローバルな人・モノ・情報の移動と関連づけて多面的に理解する。

**【概要】** 第二次世界大戦後から現在までの期間を中心に、日米の社会・文化を比較史的に概説する。戦後の冷戦体制下から 20 世紀末の冷戦体制崩壊後にかけて、日米は政治的・経済的・文化的に緊密に結びついた関係を構築してきた。日米双方の社会的・地域的な重層性に留意する問題意識を養いながら、占領から朝鮮戦争、ベトナム戦争、貿易摩擦をへて 21 世紀を迎えた日米の社会・文化について、両者の多面的な交流・接触・交渉・衝突の諸相を学ぶ。

### 231251 周縁世界とグローバル化 I

#### 【到達目標】

- ・植民地化以前・植民地支配期の周縁世界についての基礎知識を身につける。
- ・習得した基礎知識によって個別の問題を考える力を養う。

**【概要】** 周縁世界（特に東南アジア、オセアニア、南アジア、西アジア、中央アジア、アフリカ）と先進世界との関わりを長期的な観点から理解させる。主に植民地化以前および植民地支配期を中心に、周縁世界の伝統的な部族社会、首長国、王国の生活様式、社会構造、政治システム、生産様式、宗教を概観した後、イスラム世界やキリスト教世界からの交易・布教の働きかけ、奴隷交易、植民地化、現地社会からの対抗運動、資本主義の浸透など、多様なトピックから事例を選びながら講述する。

### 231252 周縁世界とグローバル化 II

#### 【到達目標】

- ・ポストコロニアル国家およびその元宗主国において生じている現代的問題について理解する。
- ・周辺世界を捉える視野を広げ、先進国中心の観点を脱し多様な観点を獲得する。

**【概要】** 周縁世界（特に東南アジア、オセアニア、南アジア、西アジア、中央アジア、アフリカ）と先進世界との関わりを長期的な観点から理解させる。主に第二次世界大戦後の植民地独立以降の時代を中心に、植民地の独立運動、ポストコロニアル国家の形成と失敗、国家の暴力、民族紛争、ジェノサイド、移民と難民、開発と貧困、新興宗教やカルト、疎外と格差、HIV/AIDS、人身売買など、多様な現代的トピックから事例を選びながら、可能な限り現地からの視点で講述する。

### 231253 東アジアの文化と社会

#### 【到達目標】

- ・世界観、親族集団、地域共同体、民衆の戦争記憶などに関する研究視点と知識を獲得する。

・上記視点の角度から東アジア諸社会や文化の類似点と相違点を理解する。

**【概要】** 文化人類学的視点と専門研究を援用しながら、東アジアにおける文化交流の様態や、社会と文化の相似性と相異性について考察する。中国、朝鮮、日本などの国や地域を「漢字文化圏」内として捉えながら、それぞれの文化の独自性と多元性も視野に入れ、儒教などの世界観、親族集団、地域共同体、戦争記憶などの角度からこの地域の文化と社会を理解する。

## 231254 民族と世界

### 【到達目標】

- ・人類の下位集団である民族を、歴史、政治、植民地、グローバリゼーション、そして、世界観、象徴、個人の心理など様々な角度から理解する。
- ・人間の社会集団の生成性、流動性、及びその存在の一貫性、個人との関係性などを考える力を養う。

**【概要】** 文化人類学における民族やエスニシティ、エスニックアイデンティティなどに関する視点や研究事例を紹介し、現代における「民族」問題を考える。民族とエスニシティの概念の転換、エスニックバウンダリー、民族共同体と象徴、移動・越境者とトランスナショナルリズム、在日、中国朝鮮族などのテーマを取りあげる予定である。

## ■基礎演習

### 231301 基礎演習（国際関係）

#### 【到達目標】

- ・スタディ・スキルの基礎を理解し、実践できるようにする。
- ・スチューデント・スキルを身につける。

**【概要】** 新入生が無理なく大学での学習に臨めるよう、大学での学習に必要なスタディ・スキル（レポート・小論文の書き方、口頭発表の仕方、図書館やインターネットを使った文献の探し方など）の教育、スチューデント・スキル（大学生に求められる一般常識や態度など）の教育を重点的に行うとともに、専攻を構成する複数のディシプリンのひとつについて初歩的な理解が得られるようにする。

### 231302 2年次演習（国際関係）I

#### 【到達目標】

- ・1年次に習得したスタディ・スキル、スチューデント・スキルを確かなものにする。
- ・専攻を構成する複数のディシプリンのひとつについて、その基礎を理解する。

**【概要】** 1年次の演習に引き続きスタディ・スキル、スチューデント・スキルを習得させ、専攻を構成する複数のディシプリンのひとつについてその基礎を理解し、学生各自が自分の個人的な問題意識を他人にも理解できる言葉で表現し議論ができるよう訓練する。隣接



する地域やディシプリンについても視野を広げるように指導することで、3年次における専門的研究への橋渡しを行う。

### 231303 2年次演習（国際関係）Ⅱ

#### 【到達目標】

- ・1年次に習得したスタディ・スキル、スチューデント・スキルを確実なものにする。
- ・専攻を構成する複数のディシプリンのひとつについて、その基礎を理解する。
- ・自身の問題意識に基づいて、ディシプリンの基礎をふまえた小論文を書くことができる。

【概要】 スチューデントスキル、スタディスキルを習得させ、学生各自が自分の個人的な問題意識を他人にも理解できる言葉で表現し議論ができるよう訓練する。3年次以降の専門研究において、学生がどのような専門分野に進むか自ら選択できるよう各自の問題意識を高め、その第一歩として年度末の小論文作成を指導する。

#### ■ 発展演習

### 231401 社会調査実習Ⅰ

#### 【到達目標】

- ・専攻領域に即した社会調査の意義を理解する。
- ・社会調査を計画立案する力をつける。
- ・社会調査の計画立案および実施の実際を体得する。

【概要】 社会学、経済学、国際関係という各々の専攻領域において社会調査を行う意義、各専攻領域で採用される調査方法の概要などについて、実習形式で学ぶ。それぞれの専攻領域における調査研究の方法論、調査報告書などの先行研究を読み解き、調査計画の立案、調査票の設計などをめぐる考え方を確認した上で、実際に調査を計画立案し、調査票等を設計する。

### 231402 社会調査実習Ⅱ

#### 【到達目標】

- ・（質的調査法について）聴き取り、観察、文書資料の解読などの実際を体得する。
- ・（量的調査法について）データ収集、集計、分析などの実際を体得する。
- ・調査結果を分析し、報告書を作成する力をつける。

【概要】 社会学、経済学、国際関係という各々の専攻領域における調査研究の理念、方法などの理解に基づき社会調査実習Ⅰで立案された調査計画、設計された調査票をもとに調査を実施し、データ整理・分析を行う。採用する調査方法（量的調査法、質的調査法など）の特徴を理解し、調査対象の選定、調査の実施、コード化と集計、結果の解釈、報告書の作成などの実際について実習形式で学ぶ。自ら質問紙調査、聞き取り調査などを経験することで、

社会調査の方法を卒業論文研究に用いるための準備とする。

### 231403 3年次演習(国際関係) I

#### 【到達目標】

- ・ 専門研究に必要な方法を習得する。
- ・ それを具体的なテーマに即して実践することで、学術研究の基礎的能力を身につける。
- ・ その成果をディシプリンの方法や用語を使って説明することができる。

**【概要】** 卒業論文を作成する前段階として、各自の専門研究を深めることを目的とする。指導教員によって担当される応用講義の科目を並行して受講し、専門分野についての知識を深めると同時に、演習では教員の指導を受けながら、方法論をマスターし、次年度に備えることがこの演習の主要な課題である。クラスによっては共通のテーマを設定して共同作業を行う場合もある。

### 231404 3年次演習(国際関係) II

#### 【到達目標】

- ・ 専門研究に必要な方法を習得する。
- ・ それを具体的なテーマに即して実践することで、学術研究の基礎的能力を身につける。
- ・ その成果をディシプリンの方法や用語を使って説明することができる。
- ・ 専門的な考察を経た短い論文を作成することができる。

**【概要】** 卒業論文を作成する前段階として、各自の専門研究をさらに深めることを目的とする。演習では先行研究の調査を行いつつ研究テーマを絞り込み、プレゼンテーションを通じて相互に議論をし、客観的に自分のテーマを見つめていく作業を行う。卒業論文の練習としてゼミ論文を作成することをこの演習の最終目的とする。

### 231405 4年次演習(国際関係) I

#### 【到達目標】

- ・ 自分自身の問題意識に即したテーマを見出す。
- ・ そのテーマに即して、3年次までに習得した方法を用いて、研究する能力を身につける。
- ・ 研究の成果を学術的な手続きを踏まえて報告し、討論できる能力を身につける。

**【概要】** 入学以来、3年次までの演習で習得した発表と討論の力を生かし、卒業論文の構成や準備状況を口頭で発表する。これらの報告や討論は、テーマに関する専門知識の交換の場となると同時に、自らの卒業論文作成の過程を客観的に見直し、専門分野への知的好奇心を深化させる機会となるだろう。あわせて卒論の目次立てを完成することがこの授業の目標となる。論文作成のためのガイドラインを確認し、論文作成準備を進めていく。

### 231406 4年次演習(国際関係) II

**【到達目標】**

- ・ 自分自身の問題意識に即したテーマを見出す。
- ・ そのテーマに即して、3 年次までに習得した方法を用いて、研究する能力を身につける。
- ・ 研究の成果を学術的な手続きを踏まえて報告し、討論できる能力を身につける。
- ・ 専門的な学術論文が作成できる。

**【概要】** 入学以来、3 年次までの演習で習得した発表と討論の力を生かし、卒業論文の構成や準備状況を口頭で発表する。これらの報告や討論は、テーマに関する専門知識の交換になると同時に、自らの卒業論文作成の過程を客観的に見直し、専門分野への知的好奇心を深化させる機会となるだろう。学術論文作成に必要な技術を確認するとともに、論文作成の過程で考察した内容について、学術的な議論をする訓練をおこなう。

## 経済学専攻

### ■入門

#### 232001 ミクロ経済学入門

##### 【到達目標】

- ・経済学的思考法を身につける。
- ・ミクロ経済学の基礎的な概念と理論を正確に理解する。
- ・市場メカニズムの機能と限界を理解する。
- ・概念や理論と現実の経済の動きを比較対照する姿勢を身につける。
- ・概念や理論を現実に応用しようとする姿勢を身につけ、経済に対する問題意識を持つ。

**【概要】** 経済全体の動きを大きく捉えようとするマクロ経済学に対して、ミクロ経済学は、消費者や企業による消費や生産という身近な経済活動を出発点として、希少な資源の有効活用という問題に対して市場がどのような働きをしているのかを分析するものである。「ミクロ経済学入門」では、経済学を専門としない学生も対象として、経済学的な考え方に慣れ親しむことから始める。その上で、基本的なミクロ経済学の知識を身に付け、現実の経済についての理解を深めることができるようにしてゆきたい。

#### 232002 マクロ経済学入門

##### 【到達目標】

- ・複雑な現象を「抽象化」して理解する方法に慣れていく。
- ・身近な経済現象をシステムとして捉えることができるようになる。
- ・マクロ経済学の基本的な用語、概念、理論を習得する。
- ・国境を越えて連関する日米の経済問題を理解する。

**【概要】** 経済がグローバル化した今日では、一国で発生したマクロ経済問題が、瞬時に他国に影響を及ぼすことになる。そうしたマクロショックは金融システムや景気や雇用を通じて私たちの生活に影響を及ぼす。この授業の主軸は、マクロ経済学の基礎的な概念と理論を学ぶことであるが、金融政策と財政政策の観点から日本経済が直面する諸問題と課題を理解することを旨とする。

#### 232003 初級ミクロ経済学

##### 【到達目標】

- ・ミクロ経済学の諸理論をグラフを用いて説明ができるようにする。
- ・ミクロ経済学の基礎を理解し、計算問題が出来るようにする。

**【概要】** 「初級ミクロ経済学」では、「ミクロ経済学入門」からの発展として、まず、消費者行動における無差別曲線分析、生産者行動における生産関数や費用関数の分析を詳しく説

明し、完全競争市場の特徴を考察する。つぎに、環境問題など、価格メカニズムがうまく働かない「市場の失敗」のケースを紹介し、これらの問題への対応としての市場への（政府）介入の意義と限界を検討する。最後に、現実の経済において多く見られる不完全競争の分析を概観する。

## 232004 初級マクロ経済学

### 【到達目標】

・ケインズ理論の基礎となる、初級レベルのマクロ経済学をマスターする。

【概要】 入門編ではマクロ経済学の概念に親しみながら、現実を展開する日本の財政、金融、国際収支などの諸問題を理解することを目指した。これは専攻を越えてひとりの大人として経済社会で生きて行くための基礎知識である。次の初級編では、ケインズの一般均衡理論から始まって、少し複雑な理論構築のおもしろさを理解することに挑戦する。具体的には、貨幣の需給と利子率、IS-LM 分析と財政金融政策、国際マクロ経済分析、経済成長理論などを扱う。

## 232005 経営学入門

### 【到達目標】

・経営学分野の全般的な基礎知識を獲得する。  
・事業計画書の作成を行うことを通じて、基礎的知識を活用し、より実用的な能力を身につける。

【概要】 この授業は、「経営学とは何か」を理解することを目的としている。まず、経営学の研究対象や学問領域における位置づけについて概説し、企業の特徴や株式会社の仕組みなどについて学ぶ。その後、様々な経営学の理論について、古典理論、新古典理論、近代理論、さらには、今日的経営課題に対応する理論など、歴史的変遷を概観し、個々の理論の特徴およびその後の研究成果への影響について検討する。

## ■基礎講義

## 232101 統計学

### 【到達目標】

・統計学の基礎をマスターし、統計処理の基本を身につける。

【概要】 近年、統計的分析はあらゆる学問分野で盛んに行われている。この講義では、入門レベルの統計学を、毎回練習問題を解きながら、分かりやすく解説していく。具体的には、①変数の区別、②度数分布、③中心傾向の測度、④散らばりの測度、⑤ローレンツ曲線やジニ係数などのその他の測度などを取りあげる。そして、社会科学分野の統計データを自分自身で分析したり、解説するために必要な基礎的統計学についての知識を習得することが目標となる。

## 232102 経済史

### 【到達目標】

- ・ 18 世紀からのイギリスを中心とした西ヨーロッパにおける市場経済の成立の検討を通じて市場経済の特徴を理解する。
- ・ 19 世紀末からのアメリカにおける市場経済の発展の検討を通じて現代経済の原型を理解する。
- ・ 生産構造の変化とともに消費構造が変化したことを理解する。

**【概要】** 現代経済の基盤である市場経済の成立と変容を、世界市場との関連を意識しながら概観する。講義内容は、1. イギリスを中心とした西ヨーロッパにおける市場経済の成立プロセスを、工業資本と商業資本双方の役割に焦点を当て解説する。 2. 現代経済の原型ともいえるアメリカにおける市場経済の発展を考察する。 3. 開港期から高度成長に至る日本経済の発展を、後発国の市場経済化の問題として、検討する、の3つの部分に別れる。いずれのケースでも、生産分野での変化が消費者の生活をどのように変化させたのかという点にも注意してゆく。

## 232103 経済学史

### 【到達目標】

- ・ 経済理論の発展のプロセスを理解する。
- ・ それぞれの経済学者の人間観・社会観と経済理論の関連を理解する。

**【概要】** 経済学は、経済現象を普遍的に説明しようとする時代を超えた側面と、その時々々の経済的課題や社会問題を解決しようとする時代に規定された側面とを併せ持っている。したがって、経済学の歴史を学ぶことによって、現代理論がより良く理解できるようになるだけでなく、現代に通じる問題に対する過去の経済学者たちの取り組みから多くの示唆を得ることが可能である。この観点から、代表的な経済学者を中心に経済理論の歴史的展開とともに、彼らの問題意識や人間観・社会観も講義することにした。

## 232104 経済数学

### 【到達目標】

- ・ 経済学で用いる基本的な数学を理解する。
- ・ 経済学を数学を使って理解するために必要な計算能力を身につける。

**【概要】** 経済学を皮相的にではなく、本格的に理解し、その本質を見極めようとするならば、数学の基礎をしっかりと固めて、ミクロ・マクロ経済学を数学的に理解することが必要である。そのため、この科目では、経済学を理解するために必要となる基本的な数学の手法を身につけることを目的とする。経済学の分析の面白さとその論理性を理解するための基礎として、この科目は開講される。本授業のスケジュールに従って数学的手法を身につければ、たいいていの経済学の論文は読みこなせるようになる。

## 232105 中級ミクロ経済学

### 【到達目標】

- ・ミクロ経済学の諸理論を数学的な表現を使うことによって理解できるようにする。
- ・現実社会における基本的な経済現象をミクロ経済学の考え方によって分析・理解ができるようにする。
- ・ミクロ経済学の基礎理論を十分に修得することにより、応用経済学への発展が容易にできるようにその環境を整えること。

**【概要】** ミクロ経済学の初級程度の知識を持つ学生を対象に、ミクロ経済学理論を数学的にとらえ直し、より多面的に、より深くミクロ経済学を理解しようとするを基本的な目的とする。この科目でいう「ミクロ経済学」とは、「マクロ経済学」と双璧をなす「理論経済学」であり、経済学を専攻する学生は必ず知っていなくてはならない基礎理論のことである。この基礎理論を習得することにより、経済学の方法論に基づいた社会問題の分析能力を養成する。オーソドックスなミクロ経済学の構成にしたがって講義は展開される。

## 232106 中級マクロ経済学

### 【到達目標】

- ・中級レベルのマクロ経済学の理論（数学モデルを中心とした展開）をマスターする。

**【概要】** 「初級マクロ経済学」を学んだ学生を対象に、中級レベルのマクロ経済学について、以下の順で講義をすすめる。①初級レベルのマクロ経済学の復習、②国民経済計算の考え方と方法、③GDPの決定理論、④IS-LM分析(生産物市場の均衡とIS曲線、貨幣市場の均衡とLM曲線)、⑤AD-AS分析(総需要・総供給モデル)、⑥経済成長理論、⑦国際マクロ経済、⑧環境経済学、⑨日本経済の分析、⑩経済学の諸問題。

## 232107 公共経済学

### 【到達目標】

- ・完全競争市場の理論だけでは分析できない現実の問題へのアプローチを可能にする。
- ・市場経済に対する公的介入の意義と限界について理解する。
- ・社会システム全体の分析・評価手法を習得する。

**【概要】** 経済学の基礎理論に立脚して、経済政策の分野に適用するために必要な経済学の応用理論を習得することを目的とする。経済政策の分野で必要とされる理論の1つに公共経済学があり、これは実際に行われている多様な経済政策の分析を行うにあたって必須の基礎的な経済理論である。実際の経済問題への適用はこの科目では行われないが、実際の経済問題の適用を考えると公共経済学の知識は不可欠である。この科目では、さまざまな政策の評価を行うための規範的分析について述べる。

## 232108 経済政策

### 【到達目標】

- ・交通問題・交通政策を題材として、より現実的な社会問題を経済学的に理解できるようにする。
- ・交通問題・交通政策に限らず、広く社会問題を評価・分析する能力を養成する。

**【概要】** これまでに習得した経済学（特にミクロ経済学）の基礎理論、ならびに政策分析の手法として有効な公共経済学の理論をもとに、それらを現実の経済問題に適用することを目的とする。経済政策の分野で必要とされる理論の1つに公共経済学があり、その理論に基づいて実際の経済問題を分析するが、ここでは最も身近な問題の1つである、交通問題を取り扱う交通経済学について取り上げる。交通経済学では、交通問題としていつも議論の対象となる運賃・料金、投資、補助、規制の問題などについて分析が行われる。

## 232109 経営管理論

### 【到達目標】

- ・企業活動の中心となるヒト・モノ・カネの管理の仕方を身につける
- ・経営資源の管理を通じて企業経営の基本的な考え方を習得する。

**【概要】** 企業経営においてはヒト・モノ・カネのマネジメント（管理）が重要になる。ヒトについては労務管理が、モノ・カネについては財務管理がその主流となる。この授業においては、労務管理関連では人材開発、雇用、報酬などの観点が、財務管理関連の分野では資金計画、キャッシュフロー管理などの観点が、生産管理といったモノのマネジメントの観点も含めて論じられる。さらにそれらを統合した企業内の組織ネットワーク管理や企業統治についても言及したい。

## 232110 経営組織論

### 【到達目標】

- ・企業の本質を見極めることができるようにする。
- ・組織というもののあり方がいかに企業の持続可能な発展に重要であるかを認識できるようにする。
- ・「組織の経済学」との関連性を理解できるようにする。

**【概要】** 企業が持続可能な発展を遂げていくためには、その組織を見直し絶えず組織に関するイノベーションを推進していかななくてはならない。この授業においては、企業とは何か、企業はなぜ存在するのかという基本的な問いかけから、組織への考察に踏み込んでいく。組織のあり方、組織の管理の方法、組織の変容などを考察しながら、企業の発展のために必要な組織のあり方を考えていきたい。経済学専攻に設置される科目でもあるため、R. コースや0. ウィリアムソンなどを始祖とする「組織の経済学」についても取り扱う予定である。



## ■応用講義

### 232201 国際経済学

#### 【到達目標】

- ・国際金融の理論、制度、歴史について理解する。
- ・金融危機と実態経済との関連を理解する。金融危機とマクロ経済政策との関連を理解する。
- ・国際経済の現状を把握する上で不可欠な統計指標を読み解く。
- ・国際経済学を学ぶことを通じて、日本経済について考えることが出来る。

**【概要】** 国境を越えるモノ、カネ、ヒト。私たちはいやおうなく進行する市場経済化とグローバル化のただ中にいる。この授業では、国際金融の基本的な概念、理論、制度を学びながら、戦後の国際金融史上に残る巨大なマクロ経済ショックの事例を分析し、現代的な経済危機への対策を考える。また、多様化するデリバティブ、巨大化するファンド、複雑化する証券化商品、会計基準の国際標準化、IMFの役割など、現代の国際金融を大きく揺さぶるアクターの動向に注目する。

### 232202 開発経済学

#### 【到達目標】

- ・Development（開発/発展）とは何か。その定義をめぐって展開された議論を習得し、その意義を理解する。
- ・開発/発展の現状を客観的に把握する指標を身につける。
- ・人間や企業の行動（ミクロ）及び一国経済の動き（マクロ）を読み解くための主要な理論を習得する。
- ・ジェンダーの視点を統合した分析を習得する。

**【概要】** 開発経済学は、人々の生活や人生に多大な影響を及ぼす貧困や経済格差の問題を扱い、その原因を一国及び地球規模で分析し、より良い経済発展の方法を探るための学問である。「開発経済学 I」では、貧困や格差の計測手法と開発理論の発展過程を学ぶ。適宜事例研究をもちこみ、実態の紹介も行う。また、ガバナンス（行政機構の規律と能力）の欠落、民主主義と法の支配、ジェンダー（社会的文化的性別）、環境破壊、紛争といった今日の問題との関連を検討する。

### 232203 計量経済学

#### 【到達目標】

- ・計量経済学の基礎となる推測統計学をマスターし、収集したデータに基づいて、母平均や母比率の区間推定、および仮説検定等ができるようになる。

**【概要】** 社会科学のための統計解析ソフトウェア「TSP」を用いて、統計分析を実践する方法を講義する。中心的傾向の測度、散らばりの測度から出発し、確率変数と確率分布、平均や比率などの推定とその検定、さまざまな種類の相関係数とその検定、回帰分析まで取り上げる。卒業論文の作成に役立つよう、毎回さまざまなデータを使用した分析を行う。なお、統計学、コンピュータを全く知らないものとして講義を始める。毎回、情報処理教室で講義を行う。

## 232204 環境経済学

### 【到達目標】

- ・環境問題を経済学の視点から理解する。
- ・環境問題、資源制約などの知識を得る。

**【概要】** 環境問題をミクロ経済学の枠組みにあてはめることにより、その問題の所在を理解し、解決法について考えることを目的とする。環境問題が市場の失敗の結果、生じるものであることを理解し、社会的余剰の最大化を達成するためには環境問題を市場の中に内部化する必要があることを示す。そのための政策的手法として、規制的手法、経済的手法についてそれぞれ学ぶ。また具体的に都市型の大気汚染の問題と地球環境問題について論じ、この問題に対して内外で実際に導入されている諸政策について学ぶ。

## 232205 労働経済学

### 【到達目標】

- ・労働経済学に関する基礎的な理論モデルを理解する。
- ・1990年代以降に発展した多様な新しい働き方を理解する。
- ・労働経済学の視点から、現実の労働問題を読み解き、評価できるようになる。

**【概要】** この講義は、「働くこと」とは何かに焦点を当て、その諸側面を家計・企業・一国の経済現象の中で包括的に捉えることを目的とする。基本的な理論枠組みを理解し検証するためには、それにふさわしい新しい資料や統計手法が求められる。そのため講義ではできるだけ、現実の社会に見られる労働の具体的な諸現象を題材にして、新しい資料や統計手法の紹介も含めて労働経済学のトピックスを取り上げていく。特に女性労働に焦点をあて、女性が労働者として直面する現状と課題を理論と実証研究の両面から講義する。

## 232206 金融論

### 【到達目標】

- ・政府のマクロ経済政策策定と実践に関する役割の理解。
- ・通貨、金融、財政政策の役割、補完性の理解。
- ・銀行、金融機関の機能の理解。

- ・金融機関、および経済全体に関するリスクマネジメントの理解。
- ・安定した金融システムが経済成長に貢献するメカニズムの理解。
- ・安定した金融システムを保つ中央銀行の政策の理解。
- ・金融危機のメカニズムの理解。・バブル、不良債権とデフレーションバブル崩壊の歴史を理解する。
- ・金融工学の発展とリスクテイキングの変化の理解。

**【概要】** この授業では、(1) 政府の役割と財政政策、通貨と日本銀行の金融政策など、金融の基礎から出発して、金融システム、金融機関行動と金融政策、市場メカニズムと金利形成、国際金融取引まで幅広く応用分野をカバーして、金融を理解する前提となる理論的なフレームワークを提供するとともに、(2) 現代の金融問題の中で、金融システム安定に向けたプルーデンス政策、金融システムにおけるイノベーションについて、実践的な検討を行うことを目指している。

## 232207 財政学

### 【到達目標】

- ・財政理論の基本を学ぶことにより、日本の財政が抱える諸課題を理解する。
- ・日本経済の発展において公共支出、租税制度、政府間財政関係などが果たしてきた役割を学ぶ一方で、今日の財政運営で残された課題を明らかにし、これからの財政のあり方について考える力を養う。
- ・日本の財政が抱える諸課題は、先進諸国のみならずアジア諸国などとも多くの共通点が見られることを理解する。

**【概要】** 財政学は、租税や公債などによる財源調達（どのような方法で、何を基準に、何の名目で）をもとに、国民生活をささえる多岐にわたる政府の経済活動と、そのためにそれらをどのように効果的に用いるかについてを考察する学問である。講義では、公共投資や社会保障などの政府支出の経済的役割とその効果、租税を中心とする資金調達のあり方、さらには地方財政や国と地方の財政関係の役割などについて経済学をベースとした財政の分析を試みる。

## 232208 日本経済論

### 【到達目標】

- ・戦後の日本経済の発展において、地域経済や地域政策の果たしてきた役割について理解する。
- ・効率的な地域政策を進めるにあたって、国および地方公共団体はいかなる形で公共サービスを提供し、政策的コミットメントをすべきなのかを理解する。
- ・地方財政および財政ガバナンスの学習を通して、地方公共団体の役割と「政府の失敗」の課題について理解する。

**【概要】** 日本経済のグローバル化が進む中で、地域経済や地方公共団体が行う地域政策や財政政策の果たすべき課題や役割に関して経済学的視点から考察を行う。まず、戦後の日本経済の発展において、地域経済や地域政策の果たしてきた役割について学習を行った後、地域政策のあり方を経済学的視点から考える。そこでは、都市規模の決定に関する経済理論や、地域独占、外部性、地方公共財等の「市場の失敗」理論などを学ぶことにより、開かれた経済活動における地域経済と経済政策のあり方を考える。続いて、こうした地域政策を効率的に進めるにあたって、国および地方公共団体（地方政府）はいかなる形で公共サービスの提供や政策的コミットメントをすべきなのか、地方財政および財政ガバナンスの学習を通して地方公共団体の役割や「政府の失敗」の課題を考える。

## 232209 ゲームの理論

### 【到達目標】

- ・ゲーム理論とは何か、概略を理解する。
- ・戦略形ゲームについて、解法を習得する。①支配される戦略の連続消去による支配戦略均衡、②最適反応戦略による純粋戦略ナッシュ均衡 ③混合戦略ナッシュ均衡 ④連続形ゲームのナッシュ均衡・展開形ゲームについて、後ろ向き帰納法による部分ゲーム完全均衡の解法を習得する。
- ・無限繰り返しゲームの長期的関係を理解する。
- ・不完備情報ゲームにおける、純粋戦略ベイジアン・ナッシュ均衡の解法を習得する。
- ・簡単なゲームをモデル化し、分析・考察できる。

**【概要】** ゲーム理論は、集団において、何らかのルールに従って行動する複数の主体の意思決定が戦略的に相互に影響を及ぼし合う状況を分析する。この主体間の相互依存関係を取り扱うゲーム理論は、経済学にとどまらず、経営学、政治学、社会学、さらに生物学等、広範な分野で有効な分析道具となっている。とりわけ、不完全競争市場における企業等の戦略的行動を分析するミクロ経済学の習得には必須であろう。この授業では、身近な経済の例を用いて、わかり易く解説する。

## 232210 産業組織論

### 【到達目標】

- ・市場構造の違いにより、企業の行動が異なり、その結果、価格と社会的厚生が異なることを理解する。
- ・寡占市場における企業行動がゲーム理論によって分析可能であることを理解し、解の求め方を習得する。
- ・コンテストブル市場の理論を理解する。

**【概要】** 産業組織論は反独占政策の基礎理論として発展した応用ミクロ経済学の一分野であり、市場構造と市場成果の関連をめぐって、ハーヴァード学派とシカゴ学派のあいだで激

しい論争が繰り広げられてきた。この講義では、第3の潮流として1970年代に一躍主流派に躍り出た、ゲーム理論の成果を取り入れた新しい産業組織論（New Industrial Organization Theory）の基本事項を学び、企業の戦略的参入阻止ゲームを考察する。さらに、コンテストブル市場の理論を概観し、インターネット経済について考えたい。

### 232211 都市・地域経済学

#### 【到達目標】

- ・日本の地域構造についての知識を得る。
- ・土地利用について経済学の視点から理解する。
- ・都市・地域の直面する諸問題について知識を得る。

**【概要】** 都市の空間的経済構造に対してミクロ経済学の分析手法を用いて理解することを目的とする。まず、都市の成立、発展の諸要因について知識を深め、経済活動の立地と土地利用に関する理論を学ぶ。さらに、現代社会が抱える土地問題、住宅問題、都市交通問題などの個別のテーマについて知識を深め、この諸問題に対する政府の役割について考える。必要に応じて地域分権化の流れを受けたまちづくりの現状や都市の設計等、日本の地域や都市の現状についても具体的に言及する。

### 232212 ジェンダーの経済学

#### 【到達目標】

- ・フェミニスト経済学の分析視覚と理論に対する理解を深める。
- ・ケア労働（家事、育児、介護など）に関する知識を深め、ケア労働とマクロ経済との関係を考察する能力を養う。
- ・予算のジェンダー分析枠組や分析方法を理解する。

**【概要】** この授業では、主流派経済学が構築した理論やそれに基づいて構築された諸制度に関して、ジェンダー視点から分析するための方法を学んでいく。まずフェミニスト経済学の分析視角や理論展開を学び、その理論を実証分析に活用する方法を検討する。具体的には、GDPや失業といった概念の見直し、統計の問題、家庭内における利害対立及び意思決定のゆがみ、性と生殖および結婚に関する行動、人口問題、政策の帰着分析などを取り上げる。

### 232213 女性起業論

#### 【到達目標】

- ・「女性」が起業するということがどういうことなのかをはっきりと答えられるようにする。
- ・通常の起業と女性の起業のどこが違うのかを認識できるようにする。
- ・女性が起業するにあたっての現実的な課題の整理とその克服の方法を習得する。

**【概要】** 起業に関する書籍は数多く存在するが、事例を取り上げるだけであったり、そうでなくてもケーススタディを行うだけで留まっていることが多く、明確な起業のための方針

や考え方の基準、方法論が示されていることはあまりない。さらにそれを女性の観点からとらえるものも非常に少ない。この授業では女性が起業するというテーマにしたがって、単なる事例紹介をするのではなく、その基本的な考え方や方法論を考察する。また実際に起業するにあたって克服すべき課題や技術的要素についても取り上げたい。

## 232214 福祉の経済学

### 【到達目標】

- ・人間にとっての福祉とは何か、幸せとは何かという本質的な問いかけに対する答えを見つけようとする姿勢を身につける。
- ・少子高齢化に伴う問題の本質を見極める。
- ・格差とは何かを考えることができるようにする。

**【概要】** 少子高齢化の進展による介護の問題や育児の問題、格差の問題、ワーキングプアの存在など、福祉に関わる問題はより深刻になりつつある。この授業では、経済学の考え方に基づいて、これらの問題を感情的にはなく、論理的に冷静にとらえることによって、問題の本質を分析し、政策提言に結びつけていくことを目的とする。そのためには市場の失敗や所得分配の公正の理論など、発展的な分野での経済学の学習が必要であるので、これらも合わせて考えていきたい。

## 232215 現代経済論

### 【到達目標】

- ・現実に見られる企業行動の現象を理解し、分析することができるようになる。
- ・市場経済がどのような場面で有効に機能し、そして有効に機能できないか、ということが判断できるようになる。
- ・実際の政策提案への展望ができるようになる。
- ・より現実的な経済問題に論理的（特に数学的）思考を的確に当てはめることができるようになる。

**【概要】** 現代日本を取り巻く経済問題はより一層複雑になってきている。こうした経済問題に対する処方箋として提案される主張は百家争鳴の感があり、正反対の主張がなされることもある。本授業においては、これらのさまざまに提案される主張を整理するために、経済学の考え方を活用し、経済学の観点からそれらの主張の本質を明らかにすることを目標としている。本授業を履修することによって、一見複雑に見える多くの提案の内容を解きほぐす能力を身につけることを目指す。

## 232216 アメリカ経済論

### 【到達目標】

- ・まず次の2つの点の理解を目標とする。① 現実の事象を経済学の視点で考えること、②

経済政策をマクロ経済学の考え方にもとづいて理解できること。そして、アメリカについて理解を深めると共に、アメリカ経済を題材にしてマクロ経済学の基本を理解する。

**【概要】** この授業では、1980年代以降の経済政策を中心に戦後のアメリカにおける経済政策を講述する。アメリカの経済政策は、主流派が需要サイド重視の経済学から供給サイド重視の経済学へと移行したマクロ経済学の影響を強く受けている。そのため、講義ではマクロ経済学の考え方を説明しながら、現実の経済政策を考えてゆく。具体的なトピックは、ニューエコノミクスとケネディ・ジョンソン期の経済政策、サプライサイド経済学とレーガノミクス、労働生産性の上昇とニューエコノミーなどである。また、経済政策には大統領制や連邦制というアメリカ独自の制度が色濃く反映されており、その点についても説明する。

### 232217 EU 経済論

#### 【到達目標】

- ・ヨーロッパが経済統合を行うことになった歴史的・思想的背景を理解する。
- ・EU 経済統合の諸側面について基本的知識を身につける。
- ・EU 経済統合の現状と直面している問題を理解し、今後の方向について見通しを持つ。

**【概要】** 欧州連合(EU)の成立とユーロの導入は、欧州の人々が50年越しの努力をした成果である。この講義では、まず、その背景を理解するために、成立の歴史的過程を辿り、EU 憲法条約を解説する。つぎに、EU 経済を理解するために、欧州の為替制度の変遷とユーロの導入、その経済効果、および経済の収斂と最適通貨論、安定成長協定を概観することにした。最後に、EUの拡大にともなう今後の課題を展望するとともに、その他の地域における経済ブロック化の動向との関連を検討する。

### 232218 アジア経済論

#### 【到達目標】

- ・東アジアの経済が発展をとげてきた要因を探り、今何が問題となっているのか考える力を養う。
- ・世界の動きに関心を持ち、現状から問題点を知り、受け身ではなく、自発的に調べ、考え、表現できるようになる。

**【概要】** 東南アジア諸国における経済と社会の変容を、植民地化、独立、国家統合、経済開発、政治体制、社会開発、地方分権、民主化、ガバナンスなどのテーマを通じて学ぶ。そのさい、東南アジアを第三世界やアジア全体との関連で、また、「開発過程」というものを政治と経済と社会が一体となったシステムとして分析する。さらに、開発経済学や比較政治学の基礎的概念も習得するようにつとめる。

## 232219 中国経済論

### 【到達目標】

- ・中国を理解するうえでの基礎となる現代史の基礎知識を身につける。
- ・経済の実態を分析するうえでの基本的な着眼点と手法を知る。
- ・主要な産業について基礎知識を身につける。

**【概要】** 中国の経済発展過程を歴史、成長と構造変化、開発戦略といった多様な角度から叙述し、計画経済から市場経済への移行過程にある現代中国経済の直面する課題と今後とを平易に解説する。また、中国の経済に関する新聞や雑誌の報道を理解する基礎的な能力をつけることも目標とする。中国経済に関する新聞・雑誌記事を題材にしなが、中国に関する知識をつけ、経済問題に対する見方を養う。

## 232220 日本経済史

### 【到達目標】

- ・市場が深化することによって経済が成長するメカニズムを理解する。
- ・そのメカニズムに基づいた経済成長の帰結は、各国の歴史的経緯によって様々に変化するということを、日本やヨーロッパ諸国との比較を通じて具体的に理解する。
- ・各国の経済成長のレベルを比較する方法を理解する。

**【概要】** この講義では、近世から近代の日本を対象に、経済成長とその源泉、成長のプロセスと帰結を、比較史的に検討する。日本経済の成長プロセスを追うことによって、経済発展論の基本概念を学ぶとともに、それらの概念を比較史の文脈で理解することがこの講義の目標である。具体的には、国際経済の枠組みの中での先進経済とのかかわり、政府の果たした役割、在来産業と近代産業および都市と農村との関連、資本・労働・スキルの変化などを検討する。

## 232221 経営史

### 【到達目標】

- ・経営の歴史的変遷を理解する。
- ・経営と社会環境の双方向の関連性を理解する。
- ・日米欧の経営の類似点と相違点を理解する。

**【概要】** 近年企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) 論が活発に展開されているが、この講義では、19 世紀後半から 20 世紀にかけての創業者企業家の社会活動と、「所有と経営の分離」以降の大企業における CSR の捉え方を比較検討することにした。まず、イギリス、フランス、ドイツと先進経済における CSR の原初的形態を観察し、つぎに、アメリカ、日本における現代の CSR を概観する。さらに、CSR の主張の背景にあるビジネスとモラルの関係についても、歴史的に検討する。



## 232222 保険論

### 【到達目標】

- ・保険の原理や意義・役割を学ぶことで、保険が私たちの身の回りにあるリスクから守るための有効な手段であることを理解する。
- ・金融危機や社会現象等が、いかに保険業の動向に影響するかを理解する。

**【概要】** 私たちの生活は、交通事故、火災、地震、疾病、高齢化など様々なリスクにさらされている。これらのリスクから私たちを守るために、保険は必要不可欠な存在である。この授業では、保険の意義と役割について、リスクマネジメントと保険、私保険と社会保険、保険料のしくみといった基礎から解説し、火災保険・自動車保険・第三分野の保険（医療・傷害・介護）・生命保険（年金を含む）の意義と役割を考察し、最近の保険業の動向と問題点を検討する。

## 232223 証券論

### 【到達目標】

- ・基本的な証券および証券市場の知識を習得できる。
- ・日本経済新聞の証券面をほぼ理解する。
- ・二種証券外務員資格試験に合格するための基礎知識を習得する。

**【概要】** 「貯蓄から投資へ」の流れの中で、証券市場を取り巻く環境は大きく変わってきている。この授業では、証券市場が私たちの生活・ライフプランにどのように関わっているのかを具体的に見てゆくことにしたい。まず、金融・証券の基礎知識を解説し、証券市場の役割とその歴史的変遷を概観する。ついで、証券関連規制の緩和が証券会社に及ぼした影響や、個人投資家の増大が証券市場に及ぼした影響など、最近の変化を踏まえた上で、証券投資の心構え、資産運用について学習する。

## 232224 中小企業論

### 【到達目標】

- ・中小企業の事例を通して商品開発と市場創造について理解し、その初歩的な知識とスキルを獲得する。

**【概要】** メディアは大企業に注目を集めがちだが、優れた中小企業も決して少なくない。とくに、商品企画や消費文化の開発において、創造的な中小企業が数多く観察される。この講義では、そのような創造的日本企業（主に中小企業だが理解のため大企業との比較検討を含む）について、商学・経営学の予備知識からじっくり考察を加え、実務に携わる企業人（経営者・実務家）を招いて実体験を伺う機会も設けながら、受講者の社会的活動の現場で活用可能な教養を深めることを目標とする。

## 232225 経済法

### 【到達目標】

- ・経済法の中でも国際経済法を中心に基礎的な知識を習得する。
- ・独力で社会に実在する利益の対立状況を把握できるようになる。
- ・独力で利益対立を調整する上で必要な法的思考方法を応用できるようになる。

**【概要】** この授業では、経済法の中でも、国際社会における国家や企業の経済活動から生じる利益調整問題を包括的に取り扱う国際経済法を主に論じる。競争法、金融法、租税法等、広範な主題に関わる国家法と国際法、私法と公法、実体法と手続法等につき法学初級者向けに基礎知識を説明する。個別のトピックスとしては、近年問題になってきている、国境を越える労働者を取り扱う国際労働法、知的財産権重視政策の基盤である国際知的財産法、国際的な環境対策のための国際環境法などを取り上げる。

## 232226 企業法

### 【到達目標】

- ・商法の重要分野について、ひとつおりの知識を体系的に習得する。
- ・会社法制度に関する基礎的な知識を習得する。
- ・経済学的観点を踏まえて「市場」や「法制度」の役割について理解し、説明することができるようになることを目指す。

**【概要】** この授業では、商法の重要分野について、ひとつおりの知識を体系的に習得することを目標にする。単に「法律がどうなっているか」だけではなく、「なぜそうなっているか」という点を理解できるようにしたい。もっとも、企業に関わる法は幅広く存在し、その全てを網羅的に学習することは不可能である。そのためこの授業では、特に重要と思われる分野、会社の運営に関する法（会社法）および証券市場に関する法（金融商品取引法）を中心に取り上げる。

## 232227 労働法

### 【到達目標】

- ・労働法に関する基礎的な知識を習得する。
- ・現実に雇用問題に直面したときに、労働者として自己にいかなる権利があり、どのように解決を図ったらよいかについて正しい知識を習得する。

**【概要】** この授業では、まず、国民の8割以上を占める雇用者に関する法制度である労働法の歴史と基本的仕組みを概説し、労働者の権利と義務といった労働法の基本的な考え方を明らかにする。その上で、労働契約、賃金、人事異動、労働時間、ハラスメント、解雇、団体交渉など、労働のあらゆる場面に対応する法知識の習得を目指す。また、女性と雇用社会に関する課題や近年大きな問題になっている非正規労働の問題を重視する。学生にとっても、アルバイトを通じて身近な問題である労働の問題を法律的に考えることができるようになることを目指す。

## 232228 経営戦略論

### 【到達目標】

- ・企業や市場、産業の違いによってどのような経営戦略の違いがあるのかを見極めることができるようにする。
- ・動的な社会環境の中であって、どのように経営戦略を対応させていくかを考えることができるようにする。
- ・非営利企業における戦略の立て方についても対応できるようにする。

**【概要】** 同じような規模であり、同じような製品やサービスを扱う企業であっても経営成績には大きな違いがあることがある。また企業によってもあるいは産業自体にも栄枯盛衰がある。これらにはマクロ経済的な影響もあるけれども、その本質は経営戦略の立て方にあるといえる。この授業では、競争市場における各企業の戦略の立て方がどのようなパフォーマンスをもたらすのか、あるいは企業規模（規模の経済）と戦略の関係、ネットワークを構成する産業における競争戦略などについて取り上げ、最適な経営戦略とは何かという問いに答えていきたい。

## 232229 マーケティング

### 【到達目標】

- ・マーケティングとはどんな学問か、その定義を理解する。
- ・マーケティングの基礎理論として4P (Product, Price, Place, Promotion) によるマネージメントを理解する。
- ・マーケティングの基礎理論を習得することで、日常生活で直面している商取引の事象がマーケティングの視点でどのような意味を持っているのか、自らの意見を述べることができるようになる。

**【概要】** マーケティングは、定義の進化と広い研究領域を持ち、経営での実践を併せ持つ、ダイナミックな学問である。近代マーケティングの構成は、マーケティング・マネージメントをコアに、マーケティング戦略、マーケティング・リサーチ、消費者行動論、プロダクト・マネージメント、広告論、流通論と、新しい展望領域（サービス、エコロジー等）に大別できる。本講では、近代マーケティング全体構成を把握し、マーケティングの中核であるマーケティング・マネージメント、マーケティング戦略、プロダクト・マネージメントの理論習得を目指す。

## 232230 簿記論

### 【到達目標】

- ・複式簿記の仕組みを体系的に理解する。
- ・会計の基礎的な考え方と基礎的な用語を理解する。
- ・取引を仕訳することから財務諸表（貸借対照表と損益計算書）の作成までできるように

する。

- ・日本商工会議所簿記検定試験 3 級(商業簿記) の合格レベルの実力をつける。

**【概要】** この科目でいう簿記とは複式簿記をいう。複式簿記とは企業の経営活動を貨幣という共通尺度を用いて、記録、計算、作表する世界共通の技術体系である。会計学関係のみならず経営学関係の科目を学ぶ際の基礎となる科目である。具体的には複式簿記原理の理解、勘定科目ごとの仕訳処理、帳簿の種類と記帳の理解、決算時の仕訳処理、試算表や精算表の作成、損益計算書や貸借対照表の作成等を学習する。企業形態としては個人商店を前提とし、複式簿記の基礎的理解と技術を修得することを目標とする。

### 232231 財務会計

#### 【到達目標】

- ・会計基準や会計制度について一定程度の説明ができるようになる。
- ・財務諸表を通じて企業の実態を見極めることができるようになる。

**【概要】** 「財務会計」とは、株式会社において株主にその会社の資産状況や経営状況を報告し、政府に対しては納税に関する報告をするために必要な会計上の方法である。この授業では、簿記の基本的な考え方を身につけているという前提で、会計制度や会計基準の説明からはじめて、財務会計の基本的な方法論、そして財務諸表等を通じて企業の実態を見極めるスキルを養成することにする。

### 232232 管理会計

#### 【到達目標】

- ・原価計算の技術を身につけることによって企業経営の方針を確立できる能力を身につける
- ・財務データを駆使して、企業の投資計画を考察できる能力を養成する。
- ・企業の経営成績を分析できるようにする。

**【概要】** 「管理会計」とは、企業がより良い成果を上げるために、会計データをどのように加工し、読みこなし、経営に活用するかを取り扱う「財務会計」に対応した分野である。経営上のデータを漫然と眺めることなく、企業経営に役立てるためのノウハウを修得する。具体的には原価計算の手法、投資計画の立て方、企業の各部門の経営パフォーマンスの測定手法などについて取り扱う。

### 232233 ロジスティクス論

#### 【到達目標】

- ・物流とはロジスティクス、SCMとは何か理解する。
- ・企業におけるロジスティクス概念の活用事例について知識を得る。
- ・物流に関連する政策について理解する。

**【概要】** 本講義では物流、ロジスティクス、さらにはSCMに至る歴史的流れを理解するとともに、経済活動における機能について理解を深めることを目的とする。物流とは流通の物理的側面を指し、生産と消費の空間的、時間的ギャップを埋めるものである。一方、ロジスティクスとは顧客の要求を満たすため、情報を効果的に用いながら、企業内の生産、販売、物流の最適化を目指すものであり、企業経営においてより戦略的に用いられる概念である。さらに企業間連携を伴うSCMの概念にも触れることで現代の企業活動をものの流れから理解する。

## 232234 経営ファイナンス論

### 【到達目標】

- ・資金調達の仕組みとその方法について理解できるようにする。
- ・最適ポートフォリオの選択が出来る技術を習得する。
- ・資産運用についてのリスクの考え方ができるようにする。

**【概要】** 企業が事業を始めるとき、どのように資金調達をするべきか、そして企業が資産を持っているときに、それをどのように運用するかは企業の発展を左右する重要な決定事項である。資金調達の仕組みや方法、そして資産運用の仕組み、リスクへの対応、その成果の把握などについて、この授業では取り扱う。ファイナンスを考える以上、数学的あるいは統計学的な考え方は必須である。特に動学的、動的な考え方は重要である。このことから数学、統計学に関する最低限の知識は身につけておいて欲しい。

## ■基礎演習

### 232301 基礎演習（経済学）

#### 【到達目標】

- ・経済学の考え方を身につける。
- ・経済学用語を理解する。
- ・議論の仕方を身につける。
- ・レポートの書き方を習得する。
- ・日本経済と世界経済の現状と課題について理解する。

**【概要】** これから経済学を学ぼうとするにあたって、そもそも経済がどのような仕組みで機能しているのかを知らなければ学習は意味をなさない。この科目では、経済の仕組みをまず理解し、どこに問題があり、それをどのように取り扱っていくのかについて関心を高め、社会問題について経済学の立場から取り組む姿勢を確立することにする。またそれと同時に、これから経済学を学ぶための学術的な技法も習得することにも重点を置く。具体的には、レポートの書き方や議論の仕方について学習する。

## 232302 2年次演習（経済学）Ⅰ

### 【到達目標】

- ・ 経済学理論の説明を、英語で読解する能力を身につける。
- ・ 英語での図や表の見方を習得する。
- ・ プレゼンテーションの能力を身につける。

【概要】 この演習では、英文テキストの読解を通じて、1年次に学んだ経済学の基本に対する理解を深めることを目標としている。英文テキストをじっくり読むことによって、専門用語の定義をしっかりと習得することができるだけでなく、論理的な思考方法と経済学的な考え方を身につける。

## 232303 2年次演習（経済学）Ⅱ

### 【到達目標】

- ・ 英文テキストの精読を通じて経済学理論の理解を深める。
- ・ 論理的な思考方法と経済学的な考え方を身につける。
- ・ プレゼンテーションの能力を養う。

【概要】 「2年次演習（経済学）Ⅱ」では、「2年次演習（経済学）Ⅰ」に引き続き、英文テキストの精読を通じて、経済学の基本に対する理解を深める。英文テキストをじっくり読むことによって、専門用語の定義をしっかりと習得するとともに、論理的な思考方法と経済学的な考え方を身につける。そして、この演習を通じ、3年次からの応用演習への導入として、経済の各分野における理論と現実との対応関係を自分自身で考えることができるようになることを目指す。

## ■ 発展演習

## 232401 社会調査実習Ⅰ

### 【到達目標】

- ・ 専攻領域に即した社会調査の意義を理解する。
- ・ 社会調査を計画立案する力をつける。
- ・ 社会調査の計画立案および実施の実際を体得する。

【概要】 社会学、経済学、国際関係という各々の専攻領域において社会調査を行う意義、各専攻領域で採用される調査方法の概要などについて、実習形式で学ぶ。それぞれの専攻領域における調査研究の方法論、調査報告書などの先行研究を読み解き、調査計画の立案、調査票の設計などをめぐる考え方を確認した上で、実際に調査を計画立案し、調査票等を設計する。

## 232402 社会調査実習Ⅱ

### 【到達目標】

- ・(質的調査法について) 聴き取り、観察、文書資料の解読などの実際を体得する。
- ・(量的調査法について) データ収集、集計、分析などの実際を体得する。
- ・調査結果を分析し、報告書を作成する力をつける。

**【概要】** 社会学、経済学、国際関係という各々の専攻領域における調査研究の理念、方法などの理解に基づき社会調査実習Ⅰで立案された調査計画、設計された調査票をもとに調査を実施し、データ整理・分析を行う。採用する調査方法(量的調査法、質的調査法など)の特徴を理解し、調査対象の選定、調査の実施、コード化と集計、結果の解釈、報告書の作成などの実際について実習形式で学ぶ。自ら質問紙調査、聞き取り調査などを経験することで、社会調査の方法を卒業論文研究に用いるための準備とする。

## 232403 3年次演習(経済学)Ⅰ

### 【到達目標】

- ・テキスト・文献・資料の内容を正確に理解する能力を養う。
- ・さまざまな社会問題、経済学的な思考方法によって捉える力を身につける。
- ・報告・討論を通じて、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を養う。

**【概要】** 「3年次演習(経済学)Ⅰ」は、1・2年次の基礎演習で獲得した理論をそれぞれの経済学分野に応用し、現実経済の動きを自分自身で分析できるようにする。公共経済学、環境経済学や開発経済学などの分野による区分、中国やアジア、あるいはヨーロッパやアメリカなど対象国・地域による区分、計量的アプローチや理論的アプローチあるいは歴史的アプローチとアプローチごとによる区分の3種類を組み合わせ、学生は自らの関心にしたがって演習を選択する。

## 232404 3年次演習(経済学)Ⅱ

### 【到達目標】

- ・前期に引き続き、テキスト・文献・資料の内容を正確に理解する能力をさらに向上させる。
- ・さまざまな社会問題、国際問題を経済学的な思考方法によって捉える能力をさらに高めることを目指す。

**【概要】** 「3年次演習(経済学)Ⅱ」は、1・2年次の基礎演習や「3年次演習(経済学)Ⅰ」で習得した理論や分析ツールをそれぞれの経済学分野に応用し、現実経済の動きやさまざまな社会問題を自分自身で分析できるようにする。

## 232405 4年次演習(経済学)Ⅰ

**【到達目標】**

- ・卒業論文のテーマに関する専門的知識を習得する。
- ・必要な文献や統計データを収集する力を身につける。
- ・卒業論文の作成に必要な、経済学に基づく論理構成力を養う。
- ・報告・討論を通じて、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を養う。

**【概要】** 「4年次演習（経済学）Ⅰ」では、各分野の知識を深化させ、各自がテーマを絞ってより専門的な学習を行うとともに、相互の議論を通じて、主体的に研究を進展させる能力を養う。卒業論文の作成とも連動させながら、先行研究のリサーチ、必要な資料・文献やデータの収集と整理、論文の構成の立て方など、論理的・客観的な学術論文を執筆できるようにする。

**232406 4年次演習（経済学）Ⅱ****【到達目標】**

- ・前期に引き続き、卒業論文に関する専門的知識を習得する。
- ・必要な文献や統計データを収集する力を身につけると共に、統計処理の方法についても習得する。
- ・卒業論文の作成に必要な、経済学に基づく論理構成力を養う。
- ・前期に引き続き、報告・討論を通じて、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を養う。

**【概要】** 「4年次演習（経済学）Ⅱ」では、「4年次演習（経済学）Ⅰ」に引き続き、各自が決定した卒業論文テーマに沿って、その分野の知識をさらに深化させるとともに、相互の議論を通じて、主体的に研究を進展させる能力を養う。卒業論文の作成とも連動させながら、先行研究のリサーチ、必要な資料・文献やデータの収集と整理、論文の構成の立て方など、論理的・客観的な学術論文を執筆できるようにする。



## 社会学専攻

### ■入門

#### 233001 社会学概論Ⅰ

##### 【到達目標】

- ・社会学の対象と方法を理解する。
- ・社会学のキーテーマを把握する。
- ・社会学的なものの見方の特徴をつかむ。

【概要】 社会学の対象と方法を明確化し、社会学とはどういう学問かをしっかりと理解することを目標とする。人々のあいだから生み出されるさまざまな事象、たとえば行為、集団、組織、規範、儀礼、役割、自我、支配／服従、「個人と社会」など、多種多様なものごとを社会学の観点から見ていくために必要な基礎的手続きや方法を学ぶ。

#### 233002 社会学概論Ⅱ

##### 【到達目標】

- ・社会学の主要な研究領域を把握する。
- ・各研究領域における代表的な社会学知を理解する。

【概要】 社会学の代表的な研究領域、たとえば生産と消費、監視、リスク、国民国家、共同体、ネットワーク、世論、メディア、近代家族、親密性、ジェンダー、学校、医療、労働、文化、階層などについて、何が問題とされ、何が発見されてきたのかを理解することを目標とする。社会学という道具を用いて今ある「社会」を、またその「社会」とかかわり合って暮らす自分自身を捉えなおす作業を通じて、具体的な研究領域に分け入り学習を進めていくための基礎を固める。

### ■基礎講義

#### 233101 社会学史Ⅰ

##### 【到達目標】

- ・社会学の成立過程を理解し、社会学的発想の特徴をつかむ。
- ・成立期から 20 世紀初頭にかけての社会学のキーテーマ、キー概念を把握する。

【概要】 社会学理論がいかに同時代の具体的社会状況とかかわって発展してきたかを学び、社会学という学問の輪郭を把握する。社会学の黎明期から 20 世紀初頭までの社会学の歴史を、労働、社会分化、宗教、都市などのキーワードから複合的に理解する。社会学的発想の成立からはじめ、社会学の洗練に向けた一般社会学への志向、社会学の対象と方法の確定、理念型、分業と行為、宗教と社会統合、形式社会学といった代表的トピックを概観する。

## 233102 社会学史Ⅱ

### 【到達目標】

- ・ 20 世紀以降の社会の変動にともなう社会学の変容過程を理解する。
- ・ 20 世紀以降の社会学の諸潮流およびキーテーマ、キー概念を把握する。

**【概要】** これまでの社会学理論がいかに関時代の具体的社会状況とかがわって発展してきたかを学び、社会学という学問の輪郭を把握する。1930 年代前後から現在までの社会状況を背景とした社会学的知のありようを理解する。フランクフルト学派と批判理論、タルコット・パーソンズ、西欧社会学の危機と再生、構造主義とその影響、社会理論とコミュニケーション論、社会秩序と日常生活、グローバル化と世界社会などの観点から社会学史の流れを整理する。

## 233103 社会調査法 A

### 【到達目標】

- ・ 社会調査の意義と概要を理解する。
- ・ 社会調査リテラシーの基礎を身につける。
- ・ リテラシーに基づいた基礎的調査能力を養う。

**【概要】** 社会学の特徴は、社会に対する研究者の問題関心、社会を説明する理論、社会を把握する調査方法の三者が密接に関係している点にある。具体的な研究事例に即して、問題関心と社会調査法の関係および社会調査の実施方法について理解を深める。社会学における社会調査の歴史、計量的社会調査と非計量的社会調査、フィールドワークの可能性と限界、調査者と被調査者の関係、個人の歴史と社会の歴史、価値関心に導かれた社会調査、政策形成に貢献する社会調査、調査倫理などのキーテーマを扱う。

## ■応用講義

## 233201 社会調査法 B

### 【到達目標】

- ・ 計量的社会調査の意義と概要を理解する。
- ・ 計量的社会調査の基礎を身につける。
- ・ 調査結果の基本的分析力を養う。

**【概要】** 社会学的社会調査の方法のうち、調査票を用い、サンプリングを施した計量的社会調査の方法と実施上の諸問題について解説する。調査の構想、設計、実施、分析までの一連のプロセスを学んでいくことを通して、受講者が卒論などで自ら計量的社会調査を行うための基礎とする。調査の構想と調査票の作成、サンプリングと調査実施の手順、調査実施の諸方法と諸問題、コーディングとデータクリーニング、集計結果の解析の基礎などのキーテーマを扱うほか、代表的研究事例について解説する。

## 233202 社会調査法 C

### 【到達目標】

- ・ 質的社会調査の意義と概要を理解する。
- ・ 質的社会調査実施の基礎を身につける。
- ・ 調査結果の基本的分析力を養う。

**【概要】** 社会学的社会調査の方法のうち、インタビューや参与観察、フィールドワークなど質的調査法の基本を解説し、受講者が卒論などで自ら質的社会調査を行うための基礎とする。問題関心や研究対象に応じた質的調査法の選択、質的調査の準備と実施、調査結果の分析の基礎、調査倫理などのキーテーマを扱うほか、代表的研究事例について解説する。

## 233203 社会統計学 I

### 【到達目標】

- ・ 社会学的研究における統計分析の意義を理解する。
- ・ 統計的データの分析に必要な推測統計学の基礎を養う。

**【概要】** 統計的データの分析（データによる記述、推論、検証、予測）のために必要な、推測統計学の基礎知識を学ぶ。確率論の基礎、基本統計量、検定・推定理論とその応用（平均や比率の差の検定、独立性の検定）、サンプリング理論、属性相関係数（クロス表の統計量）、相関係数、偏相関係数、変数のコントロール、回帰分析の基礎などを扱う。これらを社会学および社会調査の問題意識のなかに位置づけて理解することにも力点を置く。

## 233204 社会統計学 II

### 【到達目標】

- ・ 社会学的研究における多変量解析の意義を理解する。
- ・ 基礎的な多変量解析法について、基本となる考え方と主要な計量モデルを理解する。

**【概要】** 社会調査データの分析（データによる記述、推論、検証、予測）に用いられる基礎的な多変量解析法について、基本となる考え方と主要な計量モデルについて学ぶ。重回帰分析を基本としながら、他の計量モデル（たとえば、分散分析、パス解析、ログリニア分析、ロジスティック回帰分析、因子分析、数量化理論、マルチレベル分析、イベントヒストリー分析など）の中から若干のものをとりあげる。具体的な社会学的研究事例の紹介を通して、問題意識に適した統計分析の活用法を理解することにも力点を置く。

## 233205 家族社会学 I

### 【到達目標】

- ・ 家族社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。

- ・家族への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・家族をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 家族をめぐるキーテーマを取り上げ、家族社会学の対象と方法を概説するとともに、代表的な知見を紹介する。家族の多様性を視野に入れながら家族の歴史および現在を考える。家族の文化的多様性、法などの社会制度や社会政策との関連、地域社会・職場社会・学校教育など他の社会領域との関連、個々の家族成員のライフコースやネットワークとの観点からみた家族、疑似家族としての共同性など、社会の中の家族を多様な文脈において理解する視点を提供する。

## 233206 家族社会学Ⅱ

### 【到達目標】

- ・家族社会学の特定のテーマについて理解を深める。
- ・家族をめぐる諸問題につき独自の社会的考察ができる力を養う。

**【概要】** 家族の形成、夫婦間関係、世代間関係、家族の機能、家族に関する諸制度、家族をめぐる社会問題、新たな家族形態などの各論的テーマを取り上げ、代表的な知見を紹介する。他の社会領域との関連も含めて、各論的な視点から家族の歴史と現状を理解することを通して、社会の中の家族のよりよいあり方を考えるとともに、現代家族をめぐる諸問題と求められる対応についても考察する。

## 233207 地域社会学

### 【到達目標】

- ・地域社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・地域への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・地域をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 現代日本の地域社会（都市と村落の両方を含む）を社会的視点から分析することの有効性を、情報、コミュニティ形成、生活文化、伝統と現代、地域計画とまちづくり、地域の安全性など地域社会学のキーテーマに即して考える。グローバル社会の結節点としての地域をめぐる諸問題、地域の生活世界と危機管理など、現代の変わりゆく地域の諸相についても学ぶ。

## 233208 都市社会学

### 【到達目標】

- ・都市社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・都市への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・都市をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 都市という独特な世界に対する社会学の代表的なアプローチ法を学ぶ。特に大都

市について、多種多様な人々が都市のなかでいかに生き、また都市をつくり出しているかを動的に理解する視点を、具体的トピック（暮らし、文化、社会問題など）に関する研究事例や調査データを取り上げて提示する。

### 233209 現代社会論

#### 【到達目標】

- ・ 社会学的現代社会論の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・ 現代社会への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・ 現代社会の諸問題を社会学的に究明する力を養う。

**【概要】** 現代社会をとらえる社会学的アプローチについて考える。現代社会を分析するために構築された理論・学説の紹介を中心に、現代社会を特徴づけるいくつかのトピックを取り上げる。たんに社会学理論・学説に関する知識を身につけるだけでなく、それらを用いて実際に現代社会において生起しているさまざまな現象や問題に切り込んでいく力をつけることを目指す。

### 233210 日本社会論

#### 【到達目標】

- ・ 社会学的日本社会論の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・ 日本社会への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・ 日本社会の諸問題を社会学的に究明する力を養う。

**【概要】** とくに日本社会に焦点を当て、社会学的アプローチによりその特質や諸問題を考察する。日本社会の分析例を紹介しながら、いくつかの具体的な問題を取り上げ、実態や問題の生成メカニズム、問題解決のための理念や方策などに関して、社会学の観点から検討を加える。現代日本社会におけるさまざまな具体的問題に切り込んでいく力をつけることを目指す。

### 233211 政治社会学

#### 【到達目標】

- ・ 政治社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・ 政治への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・ 政治をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 社会学でいう「政治」とは、「政治家」の行為や行政に限られない多面的な要素をもつ。政治学とは異なる政治社会学の視点について概説したうえで、官僚制と行政、社会運動と政治、国家と日常生活、監獄の誕生、性と権力、新しい政治参加などのキーテーマを考察し、現代社会における広い意味での政治について考える。

## 233212 公共社会学

### 【到達目標】

- ・公共社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・公共性への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・公共性をめぐる諸問題を社会学的に究明する力を養う。

【概要】 現代社会の社会問題から事例をいくつか採り上げ、そこで生じている幸福／不幸の現状を社会学的に考察する。とりわけ、現代社会のさまざまなディバイドに着目しつつ、マイノリティの文化について現況を説明し、バリアフリーな社会のあり方について各論的に考察する。そうした事例的な考察を踏まえながら、現代文化はどのような問題を抱えているか、それをとらえる視点はどのようなものであるべきか、といったことについて具体的に考察をくわえてゆく。

## 233213 労働社会学Ⅰ

### 【到達目標】

- ・労働社会学の視点およびキートピック、キー概念を把握する。
- ・労働への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・労働をめぐる諸問題を社会学に究明する力を養う。

【概要】 労働・仕事をめぐるキーテーマを取り上げ、労働社会学の対象と方法を概説するとともに、代表的な知見を紹介する。労働・仕事をめぐる文化、法などの社会制度や社会政策との関連、家族や学校教育、地域社会など他の社会領域との関連、働く人々にとっての働くことやキャリアの意味など、労働・仕事・職場世界の歴史と現在を考察する多様な社会学的視点を紹介する。

## 233214 労働社会学Ⅱ

### 【到達目標】

- ・労働社会学の特定のテーマについて理解を深める。
- ・労働をめぐる諸問題につき独自の社会学的考察ができる力を養う。

【概要】 働くことをめぐる企業内制度、職業生涯、ライフスタイルと就業意識、雇用形態の多様化、学校教育との関係、労働組合、アンペイドワークなどの各論的テーマを取り上げ、代表的な知見を紹介しつつ労働への社会学的アプローチについて考える。家族など他の社会領域との関連も含め、労働・仕事・職場の歴史と現状を理解することを通して、現代の労働世界が直面する諸問題と、求められる社会的対応を考察する。

## 233215 産業社会学

### 【到達目標】

- ・産業社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。

- ・産業への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・産業をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 現代の産業について社会学的視点から考えていくことによって、産業活動への理解を深めることを目標とする。経済学など隣接社会諸科学のアプローチと産業社会学のアプローチの違い、産業社会学の諸理論、産業と技術革新、産業と市場、産業と資本、産業と社会などのキーテーマを扱う。

## 233216 組織社会学

### 【到達目標】

- ・組織社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・組織への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・組織をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 企業組織を中心とするさまざまな組織について社会学的視点から考えていくことによって、組織への理解を深めることを目標とする。隣接分野のアプローチとの違い、組織社会学の諸理論、組織と成員、組織とコミュニティ、組織管理と管理者、組織戦略、組織と資本、組織と環境・社会などのキーテーマを扱う。

## 233217 ライフコースの社会学

### 【到達目標】

- ・ライフコースの社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・ライフコースへの社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・ライフコースをめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 個々人や世代のライフコースを社会学的視点から考える。ライフコースをめぐる社会学の成立と展開について概観したあと、ライフステージや性別などに応じたライフコース上の具体的な諸問題とその変容、社会的背景やマクロ的影響について概説する。少子化と高齢化、晩婚化と非婚化、エイジング、ライフコースと職業・経済生活、ライフコースと家族、多様なライフコース、多様なライフコースを支える社会的仕組み、世代間関係などのキーテーマを扱う。

## 233218 福祉社会学

### 【到達目標】

- ・福祉社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・福祉への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・福祉をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 社会保障や社会福祉政策の諸問題を社会学的視点から考える。福祉社会学の成立および展開について概観したあと、社会福祉政策と制度、家族・労働、児童福祉、母子・父

子福祉、高齢者福祉、障害者（児）福祉、社会福祉のヒューマン・パワー、社会福祉と人権などの各論的キーテーマを扱う。

### 233219 臨床社会学

#### 【到達目標】

- ・臨床社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・社会的事象への臨床社会的アプローチの意義を理解する。
- ・社会の諸問題を臨床社会的に究明する力を養う。

【概要】 社会の中の営みである社会学は、たんなる社会の考察にとどまらず、社会の生成や再生の現場に立ち会うことも課題の一部としてきた。臨床社会学の視点を概説したうえで、生と死をめぐる人間の脆弱さ、病や障害、さまざまな生きづらさや困難を抱える人々の経験、および医療や福祉、共助などによる支援と支え合いの現場をめぐる諸問題を扱う。

### 233220 文化社会学

#### 【到達目標】

- ・文化社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・文化への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・文化をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

【概要】 人と人とを結びつけ、一定の社会秩序をもたらす規範としての文化という社会的な文化の定義を基本にしながら、文化と社会の関係、文化の階層構造、特定の文化のもとでの生きられた経験、マイノリティ文化などのキーテーマの検討を通じて、現代社会の文化について批判的に考察する目を養う。

### 233221 比較社会学

#### 【到達目標】

- ・比較社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・社会的アプローチによる社会間比較の意義を理解する。
- ・異なる社会を社会的に比較考察する力を養う。

【概要】 深刻な経済格差や社会的差別、環境問題など、現代社会を特徴付けるいくつかの問題現象について、先進国、途上国などの複数の社会をとりあげて比較考察することを通じ、比較社会学の視点を概説するとともに、比較の眼を養う。開発理論、社会構造論、システム論、歴史的視点など、比較社会学の諸理論を概観するとともに、貧困、開発、環境、平和、ジェンダーなどに関する各論的問題を扱う。



## 233222 多文化の社会学

### 【到達目標】

- ・多文化の社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・多文化状況への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・多文化状況をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 文化を超えた人の移動の活発化や文化意識の高まりにともない、多様な文化や文化的アイデンティティの存在がますます意識されてきている。このことは、さまざまな積極的な可能性とともに、一層深刻な問題ももたらしている。異文化接触・交流、多文化政策、文化の輸出入、文化摩擦、社会的隔離・排除などのキーテーマを、国際的・国内的ないくつかの具体的トピックに沿って扱いながら、現代社会の多文化状況をめぐる動きを社会的に考察する。

## 233223 国際社会学

### 【到達目標】

- ・国際社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・国民国家を超える事象への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・国を国家を超える事象を社会的に究明する力を養う。

**【概要】** 現代社会の社会変動により、先進国と開発途上国の格差、先進諸国内での格差、地球的規模での環境問題、文化摩擦や民族紛争の問題、冷戦構造の崩壊と資本主義の世界化の問題などが生じている。こうした問題状況をとらえる視点として、国民国家を超えた社会のありようを考察する国際社会学について総論的に説明する。国民社会、国民国家、ナショナリズム、世界システム、サブ・ナショナルな単位と関わるエスニシティ、地域主義などの論点をめぐり、自明性としての国民国家の相対化、新しい分析ユニットの登場について論じる。

## 233224 グローバル化の社会学

### 【到達目標】

- ・グローバル化の社会学の視点およびキーテーマ、キー概念を把握する。
- ・グローバル化への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・グローバル化をめぐる諸問題を社会的に考察する力を養う。

**【概要】** 現代社会の重要な徴候としてのグローバル化について、様々な領域で進行する世界的な統合と再編成を検討しながら考える。労働力、企業組織、コミュニケーション、消費、都市などのグローバル化を例に、国民社会、国民国家、ナショナリズム、世界システム、サブ・ナショナルな単位と関わるエスニシティ、地域主義などの現況を考察する。先進国と開発途上国の格差、先進諸国内での格差、地球的規模での環境問題、文化摩擦や民族紛争、冷戦構造の崩壊と資本主義の世界化の問題等のキーテーマを扱う。

## ■基礎演習

### 233301 基礎演習（社会学）

#### 【到達目標】

- ・社会学的な問いと回答の試みとはどのようなものかについて入門レベルの理解を固める。
- ・社会学を学ぶために必要な基礎的アカデミックスキルを身につける。

【概要】 社会学という学問の基礎的な概念枠組みについて、入門レベルの学習を進める。社会学の諸領域と関わる社会問題と、社会学のさまざまな考え方、方法などを照らし合わせることで、社会学的視点を演習形式で学ぶ。あわせて、自主的な学習を前提とした報告や討論による演習形式での講義を通じて、大学で社会学を学んでいくために必要な学習の技法（研究発表の仕方、質疑・応答や討論の行い方、文献や資料などの集め方、調べ方など）を習得する。

### 233302 2年次演習（社会学）Ⅰ

#### 【到達目標】

- ・社会学的な問いと回答の試みとはどのようなものかについて基礎レベルの理解を固める。
- ・学びを深めるとともに演習メンバーとして役割を果たすために必要なアカデミックスキルを伸ばす。

【概要】 社会学的なものの見方・考え方について、1年次に学んだ社会学の基礎知識を前提とし、また2年次に学ぶ社会学史の知識と照らし合わせながら、自主的な発表、討論などによる演習形式で学習する。演習では、社会学的な発想法の特徴を実例を交えつつ理解し、個人の行為から社会の構造に至るさまざまな社会学の基礎概念および理論枠組、方法論などを総合的に身につけることを目指す。あわせて、学びを深めるとともに演習メンバーとして役割を果たしていくために必要なアカデミックスキル（効果的なプレゼンテーションのしかた、学術的な文章の書き方、討論の進め方（聴きかた、話しかた、とりまとめかた））を伸ばす。

### 233303 2年次演習（社会学）Ⅱ

#### 【到達目標】

- ・社会学のさまざまな領域における問いと回答の試みについて理解を深める。
- ・学びを深めるとともに十全な演習メンバーとなるために必要なアカデミックスキルを伸ばす。

【概要】 総論的な社会学の知識を前提にし、社会学的なものの見方、考え方について、社会学の各論領域のさまざまなテーマを取り上げながら、自主的な発表、討論などによる演習形式で学習する。現代社会の具体的な諸現象、社会問題を題材とし、家族、都市・地域、学校・教育、経営・労働、福祉、社会意識・文化・メディア、国際社会といった社会学の各論的な広がり学ぶ。あわせて、学びを深めるとともに演習メンバーとして十全な役割を果たし

ていくために必要なアカデミックスキル（口頭発表、論文、討論などにおける理論構成・展開、論証などに関するスキル）を伸ばす。

## ■ 発展演習

### 233401 社会調査実習 I

#### 【到達目標】

- ・ 専攻領域に即した社会調査の意義を理解する。
- ・ 社会調査を計画立案する力をつける。
- ・ 社会調査の計画立案および実施の実際を体得する。

**【概要】** 社会学、経済学、国際関係という各々の専攻領域において社会調査を行う意義、各専攻領域で採用される調査方法の概要などについて、実習形式で学ぶ。それぞれの専攻領域における調査研究の方法論、調査報告書などの先行研究を読み解き、調査計画の立案、調査票の設計などをめぐる考え方を確認した上で、実際に調査を計画立案し、調査票等を設計する。

### 233402 社会調査実習 II

#### 【到達目標】

- ・ (質的調査法について) 聴き取り、観察、文書資料の解読などの実際を体得する。
- ・ (量的調査法について) データ収集、集計、分析などの実際を体得する。
- ・ 調査結果を分析し、報告書を作成する力をつける。

**【概要】** 社会学、経済学、国際関係という各々の専攻領域における調査研究の理念、方法などの理解に基づき社会調査実習 I で立案された調査計画、設計された調査票をもとに調査を実施し、データ整理・分析を行う。採用する調査方法（量的調査法、質的調査法など）の特徴を理解し、調査対象の選定、調査の実施、コード化と集計、結果の解釈、報告書の作成などの実際について実習形式で学ぶ。自ら質問紙調査、聞き取り調査などを経験することで、社会調査の方法を卒業論文研究に用いるための準備とする。

### 233403 3年次演習（社会学） I

#### 【到達目標】

- ・ 特定領域の主要論点および研究状況、これまでの知見を理解する。
- ・ 学びを深め、演習の効果を一層高めるために必要なアカデミックスキルを伸ばす。

**【概要】** 「3年次演習（社会学） I」では、2年次までの「社会学概論」「社会学史」「社会調査法」などを通じて身につけた社会学の研究を進めるにあたって必須となる基礎知識を踏まえ、さらなる展開をはかる。社会学の多種多様な研究分野の中から自らの専攻領域を決め、その領域における特徴的な社会学的思考法について、テキストの精読や自主的な研究発

表、およびそれをめぐる討論などの演習形式で学ぶ。あわせて、学びを深めるとともに演習の効果を一層高めるために必要なアカデミックスキルを伸ばす。

#### 233404 3年次演習(社会学)Ⅱ

##### 【到達目標】

- ・ 特定領域の主要論点および研究状況、これまでの知見を理解する。
- ・ 卒業研究に必要な準備を整える。
- ・ 学びを深め、演習の効果を一層高めるために必要なアカデミックスキルを伸ばす。

**【概要】** 「3年次演習(社会学)Ⅰ」で選択した専攻領域の概要を踏まえながら、それぞれの領域における代表的な先行研究の展開、基本的な研究主題、研究方法などについて、テキストの精読や自主的な研究発表、およびそれをめぐる討論などによる演習形式で学習する。さらに、4年次における卒業論文制作を視野に入れて、基礎知識の習得に加え、専攻領域で卒業研究をすることの意味という理念的側面、および社会調査法・文献研究法など方法的側面の双方について学びながら、卒業論文制作の準備を行う。あわせて、学びを深めるとともに演習の効果を一層高めるために必要なアカデミックスキルを伸ばす。

#### 233405 4年次演習(社会学)Ⅰ

##### 【到達目標】

- ・ 独自の研究を計画立案する力、および計画に基づき研究を進める力を養う。
- ・ 相互の研究報告に対してコメントする力を伸ばす。
- ・ フィードバックを受けながら計画を調整し遂行する力を養う。

**【概要】** 3年次に選択した専攻領域の基礎知識を踏まえながら、同一の専攻領域における各々の研究課題の設定、および研究設計の手がかりとなる応用的知識について学ぶ。4年次前期に確定した卒業論文の題目に基づいて学生自身が主体的に卒業論文を完成させるために必要な知識と方法を、自主的な発表、討論などの演習形式で学ぶ。

#### 233406 4年次演習(社会学)Ⅱ

##### 【到達目標】

- ・ 研究の知見を論文としてまとめる力を養う。
- ・ 相互の研究に対してコメントする力を伸ばす。
- ・ 研究を総括し今後の課題を考える力を養う。

**【概要】** 「4年次演習(社会学)Ⅰ」で計画立案した研究課題・研究設計を踏まえて、各自の研究主題に沿った研究発表を行う。研究の構想、問題の設定、先行研究レビュー、理論構成や理論展開、目次立て、分析方法、行論などについて、よりよい論文となるよう相互にフィードバックを行う。発表や討論を重ねることで、卒業論文の内容の深化をはかるとともに、あわせて論文執筆のための技法を具体的に学ぶ。

## コミュニティ構想専攻

### ■入門

#### 234001 コミュニティ構想論

##### 【到達目標】

- ・グローバル化時代の社会問題の概要をつかむ。
- ・社会問題の解決にコミュニティ構想論を活かす方法を学ぶ。
- ・学際的に社会科学の考え方を運用できる。

**【概要】** 人と人とのよき結びつきとしての well-being の形成という広義コミュニティ創造の課題と向かい合い、一人一人の生活圏の問題を基礎にして、社会諸科学の知識を学際的に運用しながら、新しい社会の構想を社会科学的に考察する。家族、地域、学校、職場、国民国家、国際社会などさまざまな文脈のなかで、グローバル化という変動を踏まえて、人生においてできること、なれるものの選択肢をひろげるための人的能力の育成を可能にするようなコミュニティ構想を行うための基礎を学ぶ。

#### 234002 コミュニティ政策論

##### 【到達目標】

- ・グローバル化時代の社会問題の概要をつかむ。
- ・問題解決に社会科学の政策論を運用する方法を学ぶ。
- ・政策的な問題解決の現状について、事例的な理解を得る。

**【概要】** 人と人とのよき結びつきとしての well-being の形成という広義のコミュニティ創造の課題と向かい合い、解決してゆくための政策論的な知識を学ぶ。社会科学の知識と方法に基づき社会問題を認識し、その解決のため地球市民として社会参加を行い、リーダーシップを発揮し、コミュニティという理念を政策的に実現してゆくためにはどうしたらよいか、人生においてできること、なれるものの選択肢をひろげるための人的能力の育成はどのように可能か、それにはどのような社会科学的な知識が必要かを学ぶ。

#### 234003 コミュニティとジェンダー

##### 【到達目標】

- ・広義のコミュニティ概念が社会科学的に理解できる。
- ・コミュニティとの関わりでジェンダーの基本問題が理解できる。
- ・問題解決のためにジェンダーの視点を導入する意義について理解できる。

**【概要】** 人と人とのよき結びつきとしての well-being という広義のコミュニティを創造すること（よき人生を創造すること、よき知識を獲得すること、よき暮らしを保つために必要な資源を入手すること、そして地域社会における活動に参加すること）に、ジェンダー論の

知識と方法を生かすための基礎を学ぶ。自己のアイデンティティ、家族、地域、学校、職場、国民国家、国際社会などさまざまな生の文脈のなかで、女性が直面する諸問題、それを社会科学的方法で分析するためのジェンダー論的な視点を学ぶ。

#### 234004 グローバル共生とコミュニティ

##### 【到達目標】

- ・グローバル共生と関わるキートピックを理解できる。
- ・キートピックを解明するための基本用語が理解できる。
- ・基本用語を手がかりに、社会科学の考え方を学際的に動員して事例考察ができる。

**【概要】** グローバル化という変動のなかにあるコミュニティについて学ぶことを課題とする。共生、平和、福祉などの理念をめぐる現代的な諸問題について、国際関係、国際交流をめぐるさまざまな視点を動員して学ぶ。ツーリズム、余暇、レジャー、消費、ホスピタリティなどの社会科学的知見に学びながら、ジェンダー論、環境問題論、共生学などが扱ってきた主題を考察することで、グローバル化するコミュニティのあり方について総論的に考察し、コミュニティ創造にグローバル共生の視点を生かす方法を学ぶ。

### ■基礎講義

#### 234101 コミュニティと文化

##### 【到達目標】

- ・グローバル化による社会の再編、文化の再編にかかわる社会科学的な知見を理解する。
- ・社会文化論のキートピックについて知識を得る。
- ・文化変動の現況について事例的な考察ができる。

**【概要】** 人と人とのよき結びつきとしての well-being の形成という広義のコミュニティ創造の課題と向かい合い、解決してゆくための社会文化論的な知識を学ぶ。グローバル化という変動のなかで、人間の信頼や安心、親密性など、コミュニティの道徳や倫理と関わる価値が再編されつつある。こうした文化変動の概要はどのようなものか、ポピュラー文化、メディア文化、消費文化、ビジネス文化、経営文化など具体的な事例を取り上げながら、社会科学的方法で考察を行う。

#### 234102 コミュニティと情報メディア

##### 【到達目標】

- ・グローバル化による社会の再編、文化の再編にかかわる情報メディア論的な知見を理解する。
- ・情報メディア論のキートピックについて知識を得る。
- ・地域メディアの現況について事例的な考察ができる。

**【概要】** 人と人とのよき結びつきとしての well-being の形成という広義のコミュニティ創造の課題と向かい合い、解決してゆくための情報メディア的な知識を学ぶ。グローバル化と情報化という変動のなかで、コミュニティと情報メディアのあり方も変化している。テレビ、ラジオその他の地域メディア、インターネットの発達にともなう SNS などのコミュニケーション手段、コミュニティ紙などなどの現状と問題、そして可能性について例解し、コミュニティ創造に情報メディア論の視点を生かす方法を学ぶ。

### 234103 ジェンダーと法

#### 【到達目標】

- ・法におけるジェンダー・バイアスが理解できる。
- ・女性に対する人権保障の発展とその到達点を理解する。
- ・現代の女性にとって必要な法およびジェンダー平等に関する法の基礎知識を得る

**【概要】** ジェンダーをめぐる法状況について、具体的事例を通して考察する。ジェンダーの視点からみた法制度の偏りを理論的に理解した上で、家庭、財産、教育、労働、犯罪など市民生活の諸領域をめぐる法制度の現況について、事例を挙げながら概観する。中立・公正であるべき法にジェンダーをめぐる偏りがあり、法の立法・解釈・運用がジェンダー・バイアスに基づいて行われてきたことを学び、そして差別的取扱いを是正する方法について考えることを通じて、コミュニティ構想と法の関連について理解を深める。

### 234104 市民参加と法

#### 【到達目標】

- ・市民参加と関わる関連法規の概要を知る。
- ・市民参加と関わる法律問題のキートピックを理解する。
- ・市民参加におけるリーガルマインドについて理解する。

**【概要】** ひとつづくり、ものづくり、まちづくり、暮らしづくり、職場づくり、政治参加、国際協力、平和貢献など、現代人が市民参加の現場において出会う法律的な諸問題の概要を学ぶ。グローバル化という社会変動なども視野に入れながら、市民参加と関わる法制度の成立、展開、今後の見直しなどの社会的な背景を、コミュニティ構想の観点から学んでゆく。条文や法解釈の方法に特化するのではなく、コミュニティ実践のなかで出会う法的な問題を知り、法律的な知識を参照する方法について学ぶ。

### 234105 余暇ツーリズム論

#### 【到達目標】

- ・ツーリズム概念が理解できる。
- ・余暇ツーリズムの問題の拡がり、キートピックが理解できる。
- ・分析のキーワード、そこにおける社会科学の連携状況についての知識を得る。

**【概要】** 経営学、観光学、社会学など社会科学の諸領域と関わるツーリズムの概念を確認したあと、余暇、消費、観光、まちづくり、地域共生、開発、国際協力など、社会科学的なキーワードを概観する。グローバル化する地域社会に存在するさまざまな固有のコミュニティ資源を動員し、地域コミュニティを主体として展開されるツーリズムとコミュニティ構想との関連を考察する。こうした基本視点に照らしながら、余暇ツーリズムと関わるキーワードを概観する。

#### 234106 ツーリズムとジェンダー

##### 【到達目標】

- ・ジェンダーの観点から問題になるツーリズムのキーワードを理解する。
- ・ツーリズムにおける女性の視点について社会科学的に理解する。
- ・ジェンダーとツーリズムについてのキーワードを理解する。

**【概要】** ツーリズム、観光開発などによる、地域資源の動員の影響、エンパワーメントなどに男女差があること、ツーリズムをめぐる利益配分などにおいてもジェンダー格差があること、さらにツーリスト側の行動にもジェンダー差があることなど、ツーリズムにおけるジェンダーの問題を理解する。そして、ツーリズムと女性の視点の関わり、観光の問題に女性の視点を活かすということの意味などについて考察する。グローバル化が、女性の暮らし、家族、仕事、人生などにおよぼす影響などに注目しながら、ツーリズムのキーワードを概観する。

#### 234107 コミュニティ計測法基礎

##### 【到達目標】

- ・統計学の基本的な考え方を理解できる。
- ・統計データをまとめたり分析したりすることができる。
- ・統計を扱うための基本的なリテラシーを理解できる。

**【概要】** コミュニティ構想と関わる統計データを用いながら、入門レベルの統計学を、統計データを整理し、実際に統計のとりあつかいができるように解説する。公的統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文が読めるための基本的知識を得る。単純集計、度数分布、代表値、散布度、クロス集計などの記述統計データの読み方や、グラフの読み方、また、それらの計算や作成のしかた。さまざまな質的データの読み方と基本的なまとめ方、相関係数など基礎的統計概念、因果関係と相関関係の区別、擬似相関の概念などを学ぶ。

#### 234108 実践的研究計画法(研究計画)

##### 【到達目標】

- ・各種科目の概要を知り、体系的な学びを計画することができる。
- ・専門外の科目なども交えた学びを計画することができる。



・学びのリテラシーを理解することができる。

**【概要】** 専門科目の履修、主題化の方法、勉学の進め方などについて、ワークショップ形式で学ぶことで、教養の知と実践の知を結びつけるための手がかりとする。実践的研究計画法（研究計画）では、研究計画の立て方、その総括のしかたについて学ぶ。

1年生は、1年前期の学びの上に、2年次以降の学びをどう構成するか、について計画を練る。互いの学びを確認し合い、学びの現状をチェックする。さらに上級生や教員などへのヒアリングなどをもとに、学びの計画をたてる。

4年生は、これまでの学びを総括し、省察する。

### 234109 実践的研究計画法(研究構想)

#### 【到達目標】

- ・各種科目の概要を知り、体系的な履修計画を構想することができる。
- ・専門外の科目なども交えた学びを計画することができる。
- ・学びのリテラシーを理解することができる。

**【概要】** 専門科目の履修、主題化の方法、勉学の進め方などについて、ワークショップ形式で学ぶことで、教養の知と実践の知を結びつけるための手がかりとする。実践的研究計画法（研究構想）では、研究構想の立て方、その総括のしかたについて学ぶ。

1年生は、1年前期の学びの上に、2年次以降の学びをどう構成するか、について計画を練る。互いの学びを確認し合い、学びの現状をチェックする。さらに上級生や教員などへのヒアリングなどをもとに、学びの構想を練る。

4年生は、これまでの学びを総括し、省察する。

## ■応用講義

### 234201 コミュニティと心理学

#### 【到達目標】

- ・コミュニティ心理学のキー概念の知識を得る。
- ・コミュニティ心理学のキートピックの知識を得る。
- ・コミュニティ心理学の方法を使って事例的な分析ができる。

**【概要】** 人と人とのよき結びつきとしての well-being の形成という広義のコミュニティ形成の問題を、「人間と環境との適合性」など心理学的な観点から捉え直し、公衆衛生学、産業組織心理学や社会システム論、臨床心理学などに見られるコミュニティ援助の成果にも触れながら、コミュニティ心理学を学ぶ。コミュニティで直面する問題とその解決の実践例を取り上げながら、コミュニティで生活し、そのコミュニティに適応するためにどのような援助や支援が必要なのかを学ぶ。さらに、予防、コンサルテーション、危機介入といったコミュニティ心理学のキートピックについても言及する。

## 234202 コミュニティとリーダーシップ

### 【到達目標】

- ・組織・集団・ネットワークとリーダーシップをめぐる社会科学的なキーワードを理解できる。
- ・組織・集団・ネットワークとリーダーシップをめぐるキートピックを理解できる。
- ・コミュニティ論の観点から、組織・集団・ネットワークとリーダーシップの議論を考えることができる。

**【概要】** 心理学、社会学、政治学、経営学の領域において蓄積されてきたリーダーシップ研究の成果を用いて、多様な人々を包摂するよりよい共生社会を目指したコミュニティを形成するために求められるリーダーシップについて学ぶ。コミュニティ内には多様なアクターが存在するが、その間に豊かなソーシャル・キャピタルを形成するために必要なモチベーション、マネジメント、意思決定、グループダイナミクス、イノベーション、ネットワーク形成、情報発信について考察していく。

## 234203 ソーシャル・キャピタル論

### 【到達目標】

- ・ソーシャル・キャピタル概念の社会科学的な意義を理解できる。
- ・考え方の主要な応用例についての概説的知識をもつ
- ・具体的な事例について、ソーシャル・キャピタルの視点から分析できる。

**【概要】** 信頼、道徳、規範、習慣、ネットワークなどのさまざまな人と人とのつながりをあらわすソーシャル・キャピタル概念を、コミュニティ構想、コミュニティ資源という観点から考える。資源動員の実践の現況について概観し、福祉、教育、政治、企業経営など、さまざまな社会科学の問題との関わりで論じられているソーシャル・キャピタルの主要キートピックを理解する。さらに、コミュニティ実践、国際比較の視点を踏まえつつ、事例的な分析、考察を行う。

## 234204 ソーシャル・サポート

### 【到達目標】

- ・ソーシャル・サポートと関わるキーワードを理解する。
- ・ソーシャル・サポートと関わるキートピックを理解する。
- ・地域実践としてのケア、サポートをするためのリテラシーを体得する。

**【概要】** ソーシャル・サポートの制度やシステムについて概説し、人が生まれ、育ち、生活し、高齢となって人生の終わりを迎えるコミュニティにおいてどのようなサポートが必要か、また当事者としてどのようなサポートに参画することができるのか、その理念と方法を実践的に学んでいく。特に地域社会におけるケアやサポートの現状と課題、住民ネットワークや共同活動の重要性、資源開発、エンパワーメントなどについて学ぶ。そして、一人一

人が地域社会の一員として、職業やボランティアを通し、地域において活動を主体的に展開していくための基礎的な力を身につける。

#### 234205 公共生活と法

##### 【到達目標】

- ・公共生活と関わる関連法規の概要を知る。
- ・公共生活と関わる法律問題のキーワードを理解する。
- ・公共コミュニティにおけるリーガルマインドについて理解する。

**【概要】** 現代人が生活圏で直面する法的な問題、その背景にある社会構造の問題、公共社会におけるその解決の方法などについて学ぶ。家族、地域、人権、職業、余暇や消費、ビジネス、子育てや教育、非行や犯罪、福祉、社会参加などの生活諸領域における法律的なキーワードを概観し、公共社会における問題の解決に法制度がどう関わるか、グローバル化という社会変動にともなうコミュニティ形成の再検討のなかで、どのような法制度の修正、拡充が求められているかなどを例解する。それを通じて公共コミュニティにおいて必須の教養としてのリーガルマインドを実践的に育む。

#### 234206 まちづくりと法

##### 【到達目標】

- ・まちづくりと関わる関連法規の概要を知る。
- ・まちづくりと関わる法律問題のキーワードを理解する。
- ・まちづくりにおけるリーガルマインドについて理解する。

**【概要】** まちづくりの基本となる「中心市街地活性化法」「大店立地法」「都市計画法」といういわゆる「まちづくり三法」をはじめとする、関連法規の体系について学ぶ。関連する暮らし、産業、市民参加などに関わる法制度との関連を重視しながら、まちづくりと関わる法制度の成立、展開、今後の見直しなどの社会的な背景を、コミュニティ構想の観点から学んでゆく。条文解釈、法解釈の方法に特化するのではなく、コミュニティ実践のなかで出会う法的な問題を知り、法律的な知識を参照する方法について学ぶ。

#### 234207 地域共生とツーリズム

##### 【到達目標】

- ・共生社会から問題になるツーリズムのキーワードを理解する。
- ・ツーリズムにおける地域共生という視点について社会科学的に理解する。
- ・公正性、経済性、戦略性などといった考え方を地域共生に活かすことができる。

**【概要】** 自然環境をはじめとする地域資源の活用をめぐる見解の対立、そしてエコツーリズム、コミュニティ・ツーリズム、格差とツーリズム、サステイナブル・ツーリズムなど、ツーリズムと地域共生をめぐる諸概念を整理したうえで、地域共生とツーリズムについての

キートピックを概観する。一方で環境共生をはじめ、エスニシティ、ジェンダーやセクシャリティ、社会格差をめぐる地域共生、コミュニティ創造とツーリズムの関わりについて理解する。他方で自然資源の動員、ツーリズムにおける商業性、経済性、戦略性、イノベーション、ブランディングなどのトピックを考察する。

#### 234208 地域共生とイノベーション

##### 【到達目標】

- ・共生社会形成、コミュニティ形成と関わるイノベーションのキートピックを理解する。
- ・イノベーションと地域共生という視点について社会科学的に理解する。
- ・イノベーションの精神を地域実践に活かすための方法を知る。

**【概要】** グローバル化という変動のなかで、人間の暮らしや生活を支える社会制度がゆらぐことで、問い直されている「つながり」のあり方、そこにおける人と人、人と自然などの共生の問題、well-being としての福祉、平和の問題など、よき状態としてのコミュニティの問題について、イノベーションの観点から考察する。ひとづくり、ものづくり、まちづくり、暮らしづくり、職場づくりなどコミュニティ実践において、人生においてできること、なれるものの選択肢をひろげるための人間開発、コミュニティ形成におけるイノベーションの問題を考察する。

#### 234209 コミュニティとリスク

##### 【到達目標】

- ・災害など現代社会のリスクと関わるキートピックを理解できる。
- ・キートピックを解明するための基本用語が理解できる。
- ・基本用語を手がかりに、社会科学の考え方を学際的に動員して事例考察ができる。

**【概要】** グローバル化という変動のなかにあるコミュニティが直面する災害をはじめとするさまざまなリスクという問題について社会科学的に考察する。共生、平和、福祉などの理念をめぐる現代的な諸問題について考える場合、リスクという考え方は非常に重要なものとなっている。都市防災論、都市計画論、リスク社会論、さらにはジェンダー論、環境問題論、共生学などが扱ってきたキートピックの例解を通して、リスクの考え方についての基礎を学ぶ。

#### 234210 ホスピタリティ論

##### 【到達目標】

- ・共生社会形成、コミュニティ形成と関わるホスピタリティ論のキートピックを理解する。
- ・ホスピタリティと地域共生という視点について社会科学的に理解する。
- ・ホスピタリティの精神を地域実践に活かすための方法を知る。

**【概要】** 多様なひろがりを見せるホスピタリティ概念の語源や実践的な展開の理解の上に

立ち、キートピックを概観する。グローバル化する社会のなかのさまざまな固有のコミュニティ資源に着目しながら、ホスピタリティ実践の現状について、代表的な実践事例により理解する。それを通じて、地域社会におけるケアやサポート、住民ネットワークや共同活動、サービス産業、観光、国際支援などの事例を取り上げ、コミュニティ形成の実践との関わりを考える。またそれぞれのキャリア形成、エンパワーメント、地域貢献、国際貢献などとの関わりにおけるホスピタリティの問題を考える。

#### 234211 コミュニティ・デザイン論

##### 【到達目標】

- ・コミュニティ・デザイン論のキートピックを理解する。
- ・コミュニティ・デザインという視点について社会科学的に理解する。
- ・コミュニティ・デザインの考え方を地域実践に活かすための方法を知る。

**【概要】** グローバル化という変動のなかで、人間の暮らしや生活を支える社会制度がゆらぐことで、問い直されている「つながり」のあり方の構想、デザインの問題を総論的に考察する。ひととひとの「つながり」がどのように形成され、変化してきたのかをたどり、現代における新たな「つながり」の可能性を考えてきた社会科学の歴史と現状を概観する。その上でひとづくり、ものづくり、まちづくり、暮らしづくり、職場づくりなどコミュニティ実践の問題を、「つながりのデザイン」の問題として捉え、事例的に考察してゆく。

#### 234212 グローバル化とまちづくり

##### 【到達目標】

- ・世界都市論の考え方を理解する。
- ・グローバル化のなかの地域変動について理解する。
- ・さまざまな社会問題とまちづくりの関連を理解する。

**【概要】** グローバル化という変動のなかで、人間の暮らしや生活を支える社会制度がゆらぐことで、問い直されている「つながり」のあり方の構想、デザインの問題を考察する。ひととひとの「つながり」がどのように形成され、変化してきたのかをめぐる社会科学的な知見を手がかりとして、世界都市や地方都市を舞台としたまちづくりといの問題を、「つながりのデザイン」というコミュニティ実践の問題として捉え、事例的に考察してゆく。

#### 234213 世界遺産学 A

##### 【到達目標】

- ・講義でとりあげた日本・アジア圏の世界遺産の歴史的背景や文化的意義について基礎的な知識を習得する。
- ・講義でとりあげた世界遺産の保護と活用をめぐる諸問題について基礎的な知識を習得する。

・世界遺産学で用いられる多様なアプローチの方法を理解する。

**【概要】** 日本・アジア圏の世界遺産をいくつかとりあげて、それらの歴史的背景や文化的意義、保護と活用をめぐる諸問題について論じる。こうした論点から世界遺産の過去と現在を理解して将来を展望するためには、人文学・社会科学・自然科学にまたがる学際的な知見に加えて、異文化理解や国際協力といった国際的視野も求められる。この講義では、世界遺産を学ぶうえで必要となる多様なアプローチの方法について紹介しつつ、とくに歴史学とツーリズムを切り口にして、世界遺産をめぐる諸問題への理解を深める。

#### 234214 世界遺産学 B

##### 【到達目標】

- ・講義でとりあげた欧米圏の世界遺産の歴史的背景や文化的意義について基礎的な知識を習得する。
- ・講義でとりあげた世界遺産の保護と活用をめぐる諸問題について基礎的な知識を習得する。
- ・世界遺産学で用いられる多様なアプローチの方法を理解する。

**【概要】** 欧米圏の世界遺産をいくつかとりあげて、それらの歴史的背景や文化的意義、保護と活用をめぐる諸問題について論じる。こうした論点から世界遺産の過去と現在を理解して将来を展望するためには、人文学・社会科学・自然科学にまたがる学際的な知見に加えて、異文化理解や国際協力といった国際的視野も求められる。この講義では、世界遺産を学ぶうえで必要となる多様なアプローチの方法について紹介しつつ、とくに歴史学とツーリズムを切り口にして、世界遺産をめぐる諸問題への理解を深める。

#### 234215 コミュニティ調査法 A

##### 【到達目標】

- ・社会調査リテラシーの基礎を身につける。
- ・リテラシーに基づいた調査能力の基礎を養う。
- ・社会調査の方法と実施の概要を知る。

**【概要】** コミュニティ構想のための社会科学の特徴は、コミュニティに対する研究者の価値関心、コミュニティを説明する理論、コミュニティを把握する調査方法の三者が密接に関係している点にある。この講義では、コミュニティ調査の古典的なモノグラフィをいくつか紹介しながら、そうした関係について理解を深めることを目的とする。社会科学と社会調査の関係について、学説史的に概説した後、計量的社会調査と非計量的社会調査、フィールドワークの可能性と限界、調査者と被調査者の関係、個人の歴史と社会の歴史を重ね合わせること、価値関心に導かれた社会調査、政策形成に貢献する社会調査などについて概説する。

## 234216 コミュニティ調査法B

### 【到達目標】

- ・コミュニティ調査の計画立案方法を理解する。
- ・実査の概略を理解する。
- ・調査票を作成できる。
- ・調査結果の基本的な分析ができる。

**【概要】** コミュニティに関わる社会科学的な社会調査の方法のうち、調査票を用い、サンプリングを施した計量的社会調査の方法と実施上の諸問題について解説する。実際の調査の構想、設計、実施、分析までの一連のプロセスにそって学んでいくことを通して、受講者が卒論などで自ら計量的社会調査を実施できるようになることをめざす。調査の構想と調査票の作成、サンプリングと調査実施の手順、調査実施の諸方法と諸問題、コーディングとデータクリーニング、集計結果の解析の基礎などを概説したあと、計量的社会調査の代表的先行研究を読むことで総括を行う。

## 234217 コミュニティ計測法A

### 【到達目標】

- ・推測統計学の基本的な考え方を理解できる。
- ・統計データをまとめたり分析したりすることができる。
- ・統計を扱うための基本的なリテラシーを理解できる。

**【概要】** 統計的データをまとめたり分析したりするために必要な、推測統計学の基礎的な知識を学ぶ。コミュニティ構想と関わる統計データを用いながら、推測統計学の基礎を用いて、統計データを整理し、実際に統計処理ができるよう、演習問題を解きながら解説する。確率論の基礎、基本統計量、検定・推定理論とその応用（平均や比率の差の検定、独立性の検定）、サンプリングの理論、属性相関係数（クロス表の統計量）、相関係数、偏相関係数、変数のコントロール、回帰分析の基礎などを学ぶ。

## 234218 コミュニティ計測法B

### 【到達目標】

- ・多変量解析の基本的な考え方を理解できる。
- ・多変量解析の手法によりデータをまとめたり分析したりすることができる。
- ・統計を扱うための基本的なリテラシーを理解できる。

**【概要】** コミュニティ構想と関わる統計データを用いながら、多変量解析の方法によって、統計データを整理し、実際に統計処理ができるよう、演習問題を解きながら解説する。重回帰分析を基本としながら、他の計量モデル（たとえば、分散分析、パス解析、ログリニア分析、ロジスティック回帰分析、因子分析、数量化理論、マルチレベル分析など）の中から若干のものをとりあげる。

## 234219 都市フィールドワーク

### 【到達目標】

- ・都市フィールドワークと関わる質的調査方法の概要を理解する。
- ・研究課題と研究方法の関係を適切に判断し、選択することができる。
- ・既存の研究論文を批判的に検討し、自らの研究計画を立てられる。

**【概要】** 都市フィールドワークの学問的位置づけ、コミュニティ研究との関わり、現代のまちづくりなどとの関わりにおける学問的な意義などについて学ぶ。都市フィールドワークを中心としながらも、参与観察法、ライフヒストリー分析などの質的データの分析法（質的データ分析ソフトの使用法を含む）などの活用も視野に入れ、都市フィールドワークへの応用を考える。社会調査の一般的類型とされている「量的調査と質的調査」の特徴を理解したうえで、(1)データの性質、(2)データの収集方法、(3)データの分析方法といった側面から、質的調査法の特性と課題を解説する。

## ■基礎演習

### 234301 基礎演習（コミュニティ構想）

#### 【到達目標】

- ・コミュニティ構想をめぐる学際的、実践的問いと、それに答える試みとは何を核とし、どのようなひろがりをもつかを理解する。
- ・文献講読、資料収集、報告、ディスカッション、レポート作成の基礎的スキルを習得する。

**【概要】** コミュニティ構想専攻の基礎的な学びの枠組みについて、入門レベルの学習を進める。社会科学の諸領域と関わるコミュニティ創造の実践的課題と、社会科学のさまざまな考え方、方法などを照らし合わせ、事例的な考察をすることで、入門的な演習を行う。同時に、自主的な学習を前提とした報告や討論による演習形式での講義を通じて、大学で社会科学を学んでいくために必要な学習の技法を習得する。たとえば、研究発表の仕方、質疑・応答や討論の行い方、文献や資料などの集め方、調べ方などである。

### 234302 2年次演習（コミュニティ構想）Ⅰ

#### 【到達目標】

- ・コミュニティ構想と関わる社会科学的なキー概念を理解する。
- ・キー概念とコミュニティ構想のキートピックの関わりを理解する。
- ・ゼミを通して、討論やレポートのスキルを高める。

**【概要】** 社会科学的なものの見方・考え方について、1年次に学んだコミュニティ構想をめぐる社会科学の基礎知識を前提とし、また2年次に学ぶ専門科目の知識と照らし合わせながら、自主的な発表、討論などによる演習形式で学習する。演習では、学際的、実践的な発想法の特徴を実例を交えつつ理解し、社会学、心理学、政治学、法学などに渡るさまざまな



社会科学の基礎知識を総合的に身につけることを目指す。同時に、効果的な口頭発表（プレゼンテーション）のやり方、学術的な文章の書き方、討論の進め方（聴きかた、話しかた、とりまとめかた）について訓練を行う。

### 234303 2年次演習（コミュニティ構想）Ⅱ

#### 【到達目標】

- ・コミュニティ構想と関わるキートピックを理解する。
- ・社会科学の各領域におけるコミュニティ構想研究の概況を理解する。
- ・さまざまな事例について、社会科学の知識を運用し、学際的、実践的に討論することができる。

**【概要】** コミュニティ構想と関わる総論的な知識を前提にし、社会科学的なものの見方、考え方を学際的に運用し、コミュニティ構想各論領域のさまざまなテーマを取り上げながら、自主的な発表、討論などによる演習形式で学習する。現代社会のキートピックを題材とし、自己形成、キャリア開発、市民参加、ケアやサポート、経営とイノベーション、行政法制度、共生とツーリズムなどの各論的な広がり学ぶ。同時に、口頭発表、論文、討論などにおける理論構成、理論展開、論証方法などをめぐる各論領域ごとの特徴を概観する。

## ■ 発展演習

### 234401 社会調査実習Ⅰ

#### 【到達目標】

- ・専攻領域に即した社会調査の意義を理解する。
- ・社会調査を計画立案する力をつける。
- ・社会調査の計画立案および実施の実際を体得する。

**【概要】** 社会学、経済学、国際関係という各々の専攻領域において社会調査を行う意義、各専攻領域で採用される調査方法の概要などについて、実習形式で学ぶ。それぞれの専攻領域における調査研究の方法論、調査報告書などの先行研究を読み解き、調査計画の立案、調査票の設計などをめぐる考え方を確認した上で、実際に調査を計画立案し、調査票等を設計する。

### 234402 社会調査実習Ⅱ

#### 【到達目標】

- ・（質的調査法について）聞き取り、観察、文書資料の解読などの実際を体得する。
- ・（量的調査法について）データ収集、集計、分析などの実際を体得する。
- ・調査結果を分析し、報告書を作成する力をつける。

**【概要】** 社会学、経済学、国際関係という各々の専攻領域における調査研究の理念、方法

などの理解に基づき社会調査実習Ⅰで立案された調査計画、設計された調査票をもとに調査を実施し、データ整理・分析を行う。採用する調査方法（量的調査法、質的調査法など）の特徴を理解し、調査対象の選定、調査の実施、コード化と集計、結果の解釈、報告書の作成などの実際について実習形式で学ぶ。自ら質問紙調査、聞き取り調査などを経験することで、社会調査の方法を卒業論文研究に用いるための準備とする。

#### 234403 コミュニティ拠点実習（キャリア構想）

##### 【到達目標】

- ・キャリア構想、キャリアデザインとかかわる基本的な知識を踏まえ、それを課題解決型の学習課題として組み立てることができる。
- ・研究主題についての報告、討論をすることができる。
- ・課題解決型学習を行った成果を、報告書にまとめることができる。

**【概要】** これまで履修したコミュニティ構想専門科目などを通じて身につけた社会科学的な知識に基づき、学際的、実践的な知識を深め、能動的な問題解決型の授業も取り入れ、勉学のさらなる展開をはかる。この授業では、人生設計、キャリアデザイン、エンパワーメントなどに関わるキャリア実践について検討を行う。さらに、より発展的な拠点実習科目（キャリア実践、地域実践）の履修内容を視野に入れて、基礎知識の習得に加え、専攻領域で卒業研究をすることの意味という理念的側面、実践のリテラシーについて学ぶ。

#### 234404 コミュニティ拠点実習（キャリア実践）

##### 【到達目標】

- ・キャリア構想とかかわる実践的知識を踏まえ、それを課題解決型の学習課題をよりスペシフィックなものに錬成することができる。
- ・キャリア構想と関わる授業外学習のための学習計画を立てることができる
- ・課題解決型学習を行った成果を、報告書にまとめることができる。

**【概要】** これまで履修したコミュニティ構想専門科目などを通じて身につけた社会科学的な知識に基づき、学際的、実践的な知識を深め、勉学のさらなる展開をはかる。この授業では、人生設計、キャリアデザイン、エンパワーメントなどに関わるキャリア実践について、時間外に独自に行ったインターンシップなどの自発的な学習成果も採り入れながら、ワークショップ形式の授業なども取り入れ成果をまとめる。さらに、卒業論文や就職活動なども視野に入れて、基礎知識の習得に加え、専攻領域で卒業研究をすることの意味という理念的側面、実践のリテラシーについて学ぶ。

#### 234405 コミュニティ拠点実習（地域構想）

**【到達目標】**

- ・地域構想、地域デザインとかかわる基本的な知識を踏まえ、それを課題解決型の学習課題として組み立てることができる。
- ・研究主題についての報告、討論をすることができる。
- ・課題解決型学習を行った成果を、報告書にまとめることができる。

**【概要】** これまで履修したコミュニティ構想専門科目などを通じて身につけた社会科学的な知識に基づき、学際的、実践的な知識を深め、勉学のさらなる展開をはかる。この授業では、地域参加、まちづくり、ケアやサポート、ホスピタリティ、国際協力などに関わるキャリア実践について、問題の立て方、解決の仕方などを学ぶ。さらに、より発展的な拠点実習科目（キャリア実践、地域実践）の履修内容を視野に入れて、基礎知識の習得に加え、専攻領域で卒業研究をすることの意味という理念的側面、実践のリテラシーについて学ぶ。

**234406 コミュニティ拠点実習（地域実践）****【到達目標】**

- ・地域構想とかかわる実践的な知識を踏まえ、それを課題解決型の学習課題をよりスペシフィックなものに錬成することができる。
- ・地域構想と関わる授業外学習のための学習計画を立てることができる。
- ・課題解決型学習を行った成果を、報告書にまとめることができる。

**【概要】** これまで履修したコミュニティ構想専門科目などを通じて身につけた社会科学的な知識に基づき、学際的、実践的な知識を深め、勉学のさらなる展開をはかる。この授業では、地域参加、まちづくり、ケアやサポート、ホスピタリティ、国際協力などに関わるキャリア実践についてワークショップ形式なども採り入れて学ぶ。さらに、卒業論文や就職活動なども視野に入れて、基礎知識の習得に加え、専攻領域で卒業研究をすることの意味という理念的側面、実践のリテラシーについて学ぶ。

**234407 コミュニティ調査実習（企画・立案・設計）****【到達目標】**

- ・コミュニティ社会調査のリテラシーを再確認する。
- ・コミュニティ社会調査という学問的な方法を身につける。
- ・コミュニティ社会調査法の知識を得る。
- ・コミュニティ社会調査の企画立案ができる。

**【概要】** 自己形成、キャリア開発、市民参加、ケアやサポート、経営とイノベーション、行政法制度、共生とツーリズムなどコミュニティ構想の学際実践領域において社会調査を行うことの意味と何かという理念的側面、各領域で採用される調査方法の概要などについて学ぶ。それぞれの専攻領域における調査研究の方法論、調査報告書などの先行研究を読み解き、調査計画の立案、調査票の設計などをめぐる考え方を理解する。その上で、調査を実際に計画立案し、実際に用いる調査方法を決定し、調査票等を設計する。

**234408 コミュニティ調査実習（実査と分析）**

**【到達目標】**

- ・事例研究を中心とする質的調査法について、聴き取り、観察、文書資料の解読などを実際に実施しながら理解する。
- ・質問紙によるアンケートを中心とする量的調査法について、データ収集、集計、分析の共同作業を実際に実施しながら理解する。
- ・調査結果を分析し、報告書を作成できる。

**【概要】** 自己形成、キャリア開発、市民参加、ケアやサポート、経営とイノベーション、行政法制度、共生とツーリズムなどコミュニティ構想の学際実践領域における調査研究の理念、方法などの理解に基づきコミュニティ調査実習（企画・立案・設計）で立案された調査計画、設計された調査票をもとに、調査を実施し、データを整理し、分析を行う。採用する調査方法（量的調査法、質的調査法など）の特徴を理解し、調査対象の選定、調査の実施、コード化と集計、結果の解釈、報告書の作成などの実際について実習を通して学ぶ。自ら質問紙調査、聞き取り調査などを行うことを学ぶことで、社会調査の方法を卒業論文研究にもちいるための準備とする。

**234409 3年次演習（コミュニティ構想）Ⅰ****【到達目標】**

- ・ゼミで扱う特定領域の主要論点の概要を理解する。
- ・それらをめぐる研究状況、考え方などを理解する。
- ・討論を通し、高度なコミュニケーションスキルを身につける。

**【概要】** 「3年次演習（コミュニティ構想）Ⅰ」では、2年次までの専攻必修科目などを通じて身につけた社会科学的な知識に基づき、学際的、実践的な研究を進めるにあたって必須となる知識を深め、勉学のさらなる展開をはかる。コミュニティ構想の多種多様な研究分野の中から自らの専攻領域を決め、その領域における特徴的な思考法について、テキストの精読や自主的な研究発表、およびそれをめぐる討論などによる演習形式で学習する。

**234410 3年次演習（コミュニティ構想）Ⅱ****【到達目標】**

- ・特定の研究主題についての先行研究を読解する。
- ・研究主題についての報告、討論できる。
- ・それに基づき、レポートを作成する能力を養う。

**【概要】** 「3年次演習（コミュニティ構想）Ⅰ」で選択した専攻学際実践領域の概要を踏まえながら、それぞれの領域における代表的な先行研究の展開、基本的な研究主題、研究方法などについて、テキストの精読や自主的な研究発表、およびそれをめぐる討論などによる演習形式で学習する。さらに、4年次における卒業論文制作を視野に入れて、基礎知識の習得に加え、専攻領域で卒業研究をすることの意味という理念的側面、および社会調査法・文

献研究法など方法的側面の双方について学びながら、卒業論文制作の前段階となる基礎を作る。

#### 234411 4年次演習(コミュニティ構想)Ⅰ

##### 【到達目標】

- ・ 研究主題を確定する能力を身につける。
- ・ 研究の計画立案ができるようになる。
- ・ 理論構成、理論展開のための能力を養う。

【概要】 3年次に選択した専攻学際実践領域の基礎知識を踏まえながら、同一の専攻領域における各々の研究課題の設定、および研究設計の手がかりとなる応用的知識について学ぶ。4年次前期に確定した卒業論文の題目に基づいて、学生自身が主体的に卒業論文を完成させるのに必要な知見、方法などについて、自主的な発表、討論などによる演習形式で学習する。

#### 234412 4年次演習(コミュニティ構想)Ⅱ

##### 【到達目標】

- ・ 論文のまとめ方についての基礎知識を得る。
- ・ 報告を通じて、問題構成や展開、論証について、討論できるようになる。
- ・ 卒業研究を総括し、反省点をまとめる能力を養う。

【概要】 「4年次演習(コミュニティ構想)Ⅰ」で計画立案した研究課題・研究設計を踏まえて、各自の研究主題に沿ったかたちでの研究発表を行う。そして、研究の構想、問題の設定、先行研究のレビュー、理論構成や理論展開から、目次立て、分析方法、行論などに至るまで、各自の研究の問題点を批判的に検討し合う。そして、さらに発表や討論を重ねることにより、卒業論文の内容の深化をはかる。あわせて、卒業論文執筆のための技法を具体的に指導していく。

# 心理・コミュニケーション学科

## 入門

### 240001 心理・コミュニケーション概論

#### 【到達目標】

- ・人間という生物種とその営みの特質について、「心理」「コミュニケーション」の観点から理解する。
- ・所属専攻での専門的な考究に向けて、他領域との関連を踏まえたうえで、今後4年間の学びの展望を得る。
- ・人間を科学するための基礎となる研究テーマや研究方法などについて理解する。

【概要】 人間を見つめ直し自分を発見する学科の営みの第一歩として、心理学・コミュニケーションの2つの領域のチェーンレクチャーを通して、人間の心と行動を科学する。

心という捉えにくい対象をいかにして科学的に捉えるのかという理論や方法論を紹介する。それを踏まえて、心理学が明らかにしてきた人間の心の特性について概括する。

また、人間は、社会の中でどのような情報をどのように発信・受信し、社会を構成する他者と関わり、共生していくのかについて、考察していく。さらに、言語、文化、宗教など、さまざまな背景をもつ他者との関わり、多文化共生社会の中で、生きる人間について、論じる。

< オムニバス方式 >

### 240002 心理学概論

#### 【到達目標】

- ・心理学とはどのような学問なのか、その考え方、ものの見方などを理解する。
- ・心理学の成り立ちを理解する。
- ・心理学の各領域について学び、心理学の全体像をつかむ。
- ・心理学の基本的知識を身につけ、どのような方法で研究されているのかを理解する。
- ・人の心の基本的な仕組みと働きを理解する。

【概要】 この講義では、初めて心理学に触れることになる1年次の学生を対象に、心理学の4分野を網羅的に概観し、心理学全体にわたる基本的な知識を身に付けることを目標とする。心理学の全体像をつかんだうえで、心理学の考え方やものの見方を理解することも目標とする。講義の範囲は、知覚・記憶・学習・思考・感情・動機づけ・発達・社会・知能・パーソナリティ・臨床などの領域をできるだけ広く網羅する。領域ごとに異なる研究手法についても学ぶ。

## 240003 コミュニケーション概論Ⅰ

### 【到達目標】

- ・コミュニケーションを研究する意義を理解する。
- ・コミュニケーションの基礎知識を身につける。
- ・コミュニケーション研究の各領域について学び、全体像を理解する。

【概要】 コミュニケーション研究の全体像を概観し、基本的知識を学ぶ。多様化・情報化が進む社会におけるコミュニケーションについて理解を深め、他者とメディアによって伝えられる情報の特徴、それらが自己と他者理解、人間行動、社会認識にどのように関わっているかを考える。そのための基礎的内容として、言語と非言語コミュニケーション、対人コミュニケーション、コミュニケーションと社会的認知・社会的影響、多文化社会とコミュニケーション、メディアの送り手、内容、効果、インターネットにおけるコミュニケーションなどについて学ぶ。

## 卒業論文

### 240601 卒業論文

### 【到達目標】

- ・学科・専攻での学びをもとに、研究テーマおよび問題提起を設定することができる。
- ・設定した問題について資料・文献等をもとにして仮説をたてることができる。
- ・仮説を検証するための適切な研究方法(調査や実験等)を計画・実施することができる。
- ・データを分析・考察し、得られた知見を研究論文として論述することができる。

【概要】 学生が自らの知的関心に沿って研究テーマおよび問題提起を設定し、資料・文献をもとに仮説を立て、これを調査・実験・実習等により検証して、明確な根拠とともに提示するという一連の営みを通じて、学士課程での集大成として論文を作成する。それまでに得た知見・能力を統合してこの営みにつなげるために発展演習において考察・議論に必要な力を養い、担当教員の個別指導と授業内外の討論を活かして各自論文執筆を進める。卒業論文提出後、複数の教員による口述試験を実施し、論文の審査を行う。

## 心理学専攻

### 基盤講義

#### 341101 知覚・認知心理学概論

##### 【到達目標】

- ・知覚・認知心理学とはどのような学問領域なのか、その考え方、ものの見方などを理解する。
- ・知覚・認知心理学の各領域について学び、知覚・認知心理学の全体像をつかむ。
- ・知覚・認知心理学の基本的知識を身につけ、どのような方法で研究されているのかを理解する。

【概要】 この講義では、心理学を4分野に大別したうちの知覚・認知心理学に焦点を当て、その基本的な知見を学ぶことを目的とする。講義の範囲は、感覚・知覚・認知・思考等の機序及びその障害など、知覚・認知心理学の領域をできるだけ広く網羅する。研究により明らかになった知見を体系的に身に付け、トピックごとに異なる研究手法についても学ぶ。授業で学んだ心の働きが、現実場面とどのように結びつくのかを理解し説明する力を身につけること、心理学の他の領域や他の学問とどのように関連づけられるのかを考える力を養うことも目標とする。

#### 241102 社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）

##### 【到達目標】

- ・社会心理学とはどのような学問なのか、その考え方、ものの見方を理解する。
- ・対人関係や集団における人の意識・行動について基本的な知識を身につける。
- ・人の態度や行動に影響する要因について基本的な知識を身につける。
- ・家族・集団・文化が個人に及ぼす影響について基本的な知識を身につける。
- ・社会心理学がどのような方法で研究対象にアプローチしているか、その研究手法を理解する。

【概要】 この講義では、心理学を4分野に大別したうちの社会心理学に焦点を当て、その基本的な知見を学ぶことを目的とする。さまざまに異なる個人が関係を結ぶことで成り立つ社会において、その構成員である個々の人間は複雑な相互作用のもとに行動している。「社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）」では、他者がいる場面での人の心理過程および態度・行動、個人間の相互作用過程、さまざまな対人関係、家族を含めた集団、文化、さらには個々人の行動の帰結として生じるマクロな現象まで幅広い領域を扱う。



#### 241103 発達心理学概論

##### 【到達目標】

- ・発達心理学の基本的な知識を身につける。
- ・誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達について理解する。
- ・認知機能の発達および感情・社会性の発達について理解する。
- ・自己と他者の関係のあり方と心理的発達について理解する。
- ・発達障害等非定型発達についての基礎的な知識および考え方を理解する。
- ・高齢者の心理について理解する。
- ・発達心理学の研究方法を理解する。

【概要】 この講義では、心理学を4分野に大別したうちの発達心理学に焦点を当て、その基本的な知見を学ぶことを目的とする。人間の発達とは何かを考え、発達のメカニズムおよび発達を支える社会・文化的要因も含めて検討する。生涯発達心理学の視点から、乳幼児期・児童期・青年期・老年期について学んでいく。また、対人関係の発達・自己の発達・情動発達・道徳性の発達などの社会性の発達の側面と、知覚の発達・言語発達・コミュニケーションの発達などの認知発達の側面の両面から扱う。さらに、非定型発達についての基礎も取り上げる。

#### 241104 臨床心理学概論

##### 【到達目標】

- ・臨床心理学の全般的・基本的な知識を身につける。
- ・臨床心理学の歴史を振り返ることで、研究・実践（臨床）面での実証科学としての心理学からの発展の経緯を理解する。
- ・臨床心理学におけるアセスメント論・心理面接論・地域援助論に関する理論・技法の要点を習得する。

【概要】 この講義では、心理学を4分野に大別したうちの臨床心理学に焦点を当て、その基本的な知見を学ぶことを目的とする。まず、臨床心理学はいかにして、悩みや心の病、人生での困難への支援という実践的な科学という側面をもちながら、現在のような研究・実践（臨床）面での発展を遂げてきたのか、歴史的に振り返る。その上で、臨床心理学の3本柱である、アセスメント論・心理面接論・地域援助論について、代表的な理論・技法を取り上げ、学生が重要なエッセンスを習得できるように講義を行う。

#### 241105 心理学統計法1

##### 【到達目標】

- ・統計分析を用いた心理学研究法の意義について理解する。
- ・心理統計（記述統計、推測統計の基礎）を正しく理解する。
- ・学習した心理統計の知識を利用して、数値例を分析できる。

【概要】 心理学の実証研究に不可欠な統計的知識、データ整理および統計分析を学ぶ。実

証研究のさまざまな手法を習得し、心理学研究におけるデータの扱い方について理解することを目指す。この講義においては、心理統計の考え方について触れた後、記述統計および推測統計について、統計的な内容を実際の心理学研究に結びつけ、数値例を用いながら学んでいく。具体的には、「心理学実験演習 A・B」で求められるデータの扱いができるようになることを目標とする。

#### 241106 心理学統計法 2

##### 【到達目標】

- ・ 統計的仮説検定の考え方について理解する。
- ・ 学習した心理統計の知識を利用して、自力でデータを分析できる。
- ・ 分析結果を正しく読み取り、報告書にまとめる力をつける。

【概要】 心理学の実証研究に不可欠な統計的知識、データ整理および統計分析を学ぶ。実証研究のさまざまな手法を習得し、心理学研究におけるデータの扱い方、さらに、それを論文という形でまとめる方法について理解することを目指す。この講義においては、データ整理、統計分析の実際を学ぶ。さらに、分析結果のまとめ方、論文での結果の書き方について解説し、ルールに則って正しくかつ分かりやすく記述する力を養う。

#### 特殊講義

#### 241201 思考心理学

##### 【到達目標】

- ・ 高次の認知過程に関する認知心理学的研究について体系的に理解する。
- ・ 高次の認知過程に関する認知心理学的研究の方法を理解する。
- ・ 授業で学んだ認知の働きが、現実場面とどのように結びつくのかを理解し、説明する力を身につける。
- ・ 高次の認知過程に関する認知心理学的研究が、心理学の他の領域や他の学問とどのように関連づけられるのかを考える力を養う。

【概要】 「知覚・認知心理学概論」で学んだ認知心理学に関する基本的理解をもとに、高次の認知過程（思考、あるいはその基盤としての言語）を取り上げて解説する。研究により明らかになった知見を体系的に身に付け、トピックごとに異なる研究手法についても学ぶ。授業で学んだ認知の働きが、現実場面とどのように結びつくのかを理解し説明する力を身につけること、心理学の他の領域や他の学問とどのように関連づけられるのかを考える力を養うことも目標とする。

#### 341202 知覚心理学

##### 【到達目標】

- ・人の感覚・知覚等の機序及びその障害について体系的に理解する。
- ・知覚に関する心理物理学的研究の方法を理解する。
- ・授業で学んだ知覚の働きが、現実場面とどのように結びつくのかを理解し、説明する力を身につける。
- ・知覚に関する心理物理学的研究が、心理学の他の領域や他の学問とどのように関連づけられるのかを考える力を養う。

【概要】 「知覚・認知心理学概論」の学習内容に関する基本的理解をもとに、知覚心理学の主要領域における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。感覚・知覚の機序及びその障害について学ぶとともに、領域ごとに異なる研究手法についても学ぶ。講義内容の理解を深めるために、視聴覚教材やデモンストレーションなどを利用する。授業で学んだ知覚の働きが、現実場面とどのように結びつくのかを理解し説明する力を身につけること、心理学の他の領域や他の学問とどのように関連づけられるのかを考える力を養うことも目標とする。

#### 241203 神経・生理心理学

##### 【到達目標】

- ・脳神経系の構造及び機能、記憶・感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能障害の概要について理解する。
- ・神経・生理心理学的研究の方法を理解する。
- ・心と脳の関係、心と身体の関係について理解し、説明する力を身につける。
- ・神経・生理心理学的研究が、心理学の他の領域や他の学問とどのように関連づけられるのかを考える力を養う。

【概要】 「知覚・認知心理学概論」で学んだ生理心理学に関する基本的理解をもとに、心と脳および身体の間に関わり合いについて正常・異常の両面から迫る神経・生理心理学の主要テーマについて解説する。具体的には、中枢神経系、自律神経系、内分泌系の構造及び機能、心の働き（感覚・知覚・運動・学習・記憶・感情・動機づけ）の生理学的反応の機序、高次脳機能障害・発達障害・精神疾患と脳などのトピックについて概説する。

#### 341204 認知心理学

##### 【到達目標】

- ・人の認知・思考等の機序及びその障害に関する認知心理学的研究および学際的研究について体系的に理解する。
- ・認知心理学的研究および学際的研究の方法を理解する。
- ・授業で学んだ認知の働きが、現実場面とどのように結びつくのかを理解し、説明する力を

身につける。

・認知心理学的研究および学際的研究が、心理学の他の領域や他の学問とどのように関連づけられるのかを考える力を養う。

【概要】 「知覚・認知心理学概論」の学習内容に関する基本的理解をもとに、認知心理学の主要領域における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。記憶・認知の機序及びその障害について学ぶとともに、領域ごとに異なる研究手法についても学ぶ。認知科学や認知神経科学など、関連諸領域と融合した学際的な内容にも焦点を当てる。授業で学んだ認知の働きが、現実場面とどのように結びつくのかを理解し説明する力を身につけること、心理学の他の領域や他の学問とどのように関連づけられるのかを考える力を養うことも目標とする。

#### 241205 学習・言語心理学

##### 【到達目標】

- ・人の行動が変化する過程について理解する。
- ・言語の習得・理解における機序について理解する。
- ・学習・言語心理学の教育、福祉、臨床、職能開発などの実際場面への適用について考える力を養う。

【概要】 経験を通して人の行動が変化する過程と、その行動の変化の背後にある認知との関連が深い言語の習得における機序について理解することを目指す。具体的には、行動の変化に関しては、条件づけ、問題解決学習、技能学習、社会的学習などについて学び、言語の習得に関しては、話しことば、文学、語彙、文章の理解力や産出力、文法の獲得などについて学ぶ。学習・言語心理学の教育、福祉、臨床、職能開発などの実際場面への適用について取り扱うこともある。

#### 241206 感情・人格心理学

##### 【到達目標】

- ・感情に関する理論及び感情喚起の機序について理解する。
- ・感情が行動に及ぼす影響について理解する。
- ・人格の概念及び形成過程について理解する。
- ・人格の類型、特性等について説明することができる。

【概要】 感情に関する理論及び感情喚起の機序と、感情が行動に及ぼす影響についての理解、さらに、人格の概念及び形成過程、人格の類型、特性等についての理解を目指す。具体的には、感情喚起の背景にあるメカニズムや表出された感情がその後の個人間や集団間の関係性にもたらす影響などについて学び、さらに、人格形成に関与する遺伝要因と種々の環境要因や、人格の理解や記述の方法として用いられる類型論と特性論などについても学ぶ。

#### 241207 社会心理学（個人内過程）

##### 【到達目標】

- ・社会的認知研究の知見を理解する。
- ・社会的認知の研究手法を理解する。
- ・自分が日常行っている判断・推論・評価について授業で説明された社会心理学の知識を用いて自ら考えることができる。

【概要】 「社会心理学概論」において学習した社会心理学の基礎的理解をもとに、社会心理学の主要領域における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。研究により明らかになった知見を学ぶだけでなく、領域ごとに異なる研究手法についての理解も深めることを目指す。本講義では、私たちを取り巻く社会や他の人々あるいは、自分について私たちがどのような理解するのかその認知過程を解説する。その認知過程に影響を与えるさまざまな要因についても取り上げる。

#### 241208 社会心理学（対人過程）

##### 【到達目標】

- ・対人関係や社会的影響過程に関わる社会心理学の知見を理解する。
- ・対人関係や社会的影響過程に関する社会心理学の研究手法を理解する。
- ・自分が経験する対人関係や社会的影響過程について授業で説明された社会心理学の知識を用いて自ら考えることができる。

【概要】 「社会心理学概論」において学習した社会心理学全般にわたる基礎的理解をもとに、社会心理学の主要領域における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。研究により明らかになった知見を学ぶだけでなく、領域ごとに異なる研究手法についての理解を深めることを目指す。本講義では、対人関係に関わる心理や社会的影響過程など、周囲の他者や環境との関わりのなかで生まれる心理について、主要なトピックを取り上げ、解説する。

#### 241209 社会心理学（マクロ・集団）

##### 【到達目標】

- ・社会心理学のマクロなものを見方を身につける。
- ・個人が社会あるいは集団からどのように影響を受けるかとともに、個人と個人の相互作用からどのように社会の諸相が形作られるかを理解する。
- ・授業で学んだ知見を現実の社会と結びつけ、世の中の出来事について社会心理学的に解釈する力を身につける。

【概要】 「社会心理学概論」において学習した社会心理学全般にわたる基礎的理解をもとに、社会心理学の主要領域における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。研究により明らかになった知見を学ぶだけでなく、領域ごとに異なる研究手法についての理解を深めることを目指す。本講義では、個人と社会の関係をマイクロ・マクロ関係という視点から捉え、集合行動、社会規範、文化などのマクロ現象を取り上げる。集団・集団過程を取り上げることもある。

#### 241210 社会心理学（応用）

##### 【到達目標】

- ・授業で取り上げた応用研究の知見を理解する。
- ・授業で取り上げた応用研究の研究手法を理解する。
- ・現実の社会問題に対して、社会心理学の知見の応用可能性について自ら考えることができる。

【概要】 「社会心理学概論」において学習した社会心理学の基礎的理解をもとに、社会心理学における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。研究により明らかになった知見を学ぶだけでなく、領域ごとに異なる研究手法についての理解も深めることを目指す。本講義では、社会心理学の基礎研究に立脚した現実的な問題に焦点を当てた応用的な研究テーマに焦点を当てる。隣接する社会科学の学問において社会心理学研究が応用されている例を取り上げることもある。

#### 241211 発達心理学（情動発達）

##### 【到達目標】

- ・情動発達のプロセスを理解する。
- ・情動発達に関する理論を理解する。
- ・情動発達に関する研究方法について理解し、この領域の特徴や意義を考えることができる。

【概要】 「発達心理学概論」において学習した発達心理学全般にわたる基礎的理解をもとに、発達心理学の主要領域における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。発達心理学の研究により明らかになった知見を学ぶだけでなく、その研究手法についての理解を深めることを目指す。この講義では、情動発達（情動理解の発達、情動制御の発達、共感性の発達、心の理論の発達などの中からトピックを選ぶ）を中心に解説し、発達心理学の発展的な内容を学習する。

#### 241212 発達心理学（社会発達）

##### 【到達目標】

- ・社会発達のプロセスを理解する。
- ・社会発達に関する理論を理解する。
- ・社会発達に関する研究方法について理解し、この領域の特徴や意義を考えることができる。

【概要】 「発達心理学概論」において学習した発達心理学全般にわたる基礎的理解をもとに、発達心理学の主要領域における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。発達心理学の研究により明らかになった知見を学ぶだけでなく、その研究手法についての理解を深める

ことを目指す。この講義では、社会発達（対人関係の発達、自己の発達、社会性の発達などの中からトピックを選ぶ）を中心に解説し、発達心理学の発展的な内容を学習する。

#### 241213 発達心理学（認知発達）

##### 【到達目標】

- ・認知発達のプロセスを理解する。
- ・認知発達に関する理論を理解する。
- ・認知発達に関する研究方法について理解し、この領域の特徴や意義を考えることができる。

【概要】 「発達心理学概論」において学習した発達心理学全般にわたる基礎的理解をもとに、発達心理学の主要領域における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。発達心理学の研究により明らかになった知見を学ぶだけでなく、その研究手法についての理解を深めることを目指す。この講義では、認知発達（言語発達・概念発達・推論の発達・記憶の発達・論理的思考の発達などの中からトピックを選ぶ）を中心に解説し、発達心理学の発展的な内容を学習する。

#### 241214 教育心理学

##### 【到達目標】

- ・教育心理学に関する理論を理解する。
- ・教育心理学に関する研究方法について理解し、この領域の特徴や意義を考えることができる。
- ・教育心理学の視点から、教育現場への支援について理解する。

【概要】 「発達心理学概論」において学習した子どもの発達および学習の基礎的理解をもとに、教育心理学の主要領域における重要テーマを取り上げ、それらを解説する。教育心理学の研究により明らかになった知見を学ぶだけでなく、その研究手法についての理解を深めるとともに、教育現場への支援について理解することを目指す。この講義では、学校教育と心理学を中心に解説し、教育心理学の発展的な内容を学習する。

#### 241215 心理学的支援法

##### 【到達目標】

- ・代表的な心理療法とカウンセリングの歴史及び理論と方法、適応と限界やその意義について理解する。
- ・関係者の支援や地域支援、心の健康教育などの実践的な介入方法の特徴と課題、また、支援や介入の際のコミュニケーションの方法について理解する。
- ・心理療法における倫理的原則について考える力を養う。

【概要】 「臨床心理学概論」での理解をもとにして、心理的援助の基本となる心理療法の

方法について深く学ぶ。心理療法の成り立ちを概観した上で、パーソンセンタード・アプローチ、精神分析、認知行動療法を中心に代表的な学派をとりあげ、各理論の歴史と背景、技法と適用範囲等の実際的な問題について論じる。心理療法という特殊な対人援助場面における基本的な留意事項、プライバシーへの配慮など倫理的問題を扱うとともに、関係者への支援、地域支援、心の健康教育などの幅広い支援法についても講義を行なう。

#### 241216 教育・学校心理学

##### 【到達目標】

- ・学校教育現場で生じる心理学的援助介入が必要となる心理社会的課題について理解する。
- ・学校教育現場における心理学的援助介入の理論とスキルを身につける。
- ・学校教育現場を中心とした多職種との協働的支援のあり方や倫理的配慮の原則について理解する。

【概要】 「臨床心理学概論」の基礎的理解をもとに、学校教育に関係する場に特有の臨床心理学的援助介入について重要テーマをとりあげ、それらを解説する。また、現場で生じている具体的な心理学的問題とその対応について背景にある理論とその実践について学ぶ。スクールカウンセラーをはじめとする専門家による支援の概要、学校および地域で展開する多職種協働による支援、社会からの要請や果たす役割、さらには倫理的問題等についても講義する。

#### 241217 家族心理学

##### 【到達目標】

- ・家族心理学の基本概念および背景となる理論を身につける。
- ・問題が起こっている個人ではなく、取り巻く環境としての家族等に働きかけるとはどういうことかについて理解する。
- ・家庭・学校・地域・職場等に対する介入や支援や協働における家族心理学の理論と技法を理解する。

【概要】 「臨床心理学概論」の基礎的理解をもとに家族心理学の歴史と内外の動向を概観し、それらの基本概念および背景となる理論について理解を深める。まず、問題が起こっている個人ではなく、取り巻く環境としての家族等に働きかける視点を学ぶ。その上で、家庭・学校・地域・職場等に対して、どのような介入や支援や協働を行うかについて、具体的な事例や視聴覚教材等を通して、家族心理学を実践的に学べるように講義を行う。

#### 241218 産業・組織心理学

##### 【到達目標】

- ・現代社会における心理臨床的支援や心理学的援助介入について理解を深める。



- ・臨床心理学や精神保健学の知見を活用した新しい視点で、現代社会における心理学的問題をとらえなおす力を養う。
- ・職場における問題（キャリア形成に関することを含む。）に対して必要な心理に関する支援、組織における人の行動について理解を深める。

【概要】 「臨床心理学概論」の講義において学んだ知識を前提に、現代社会における問題への支援や介入に焦点をあて、臨床心理学、精神保健学の知見がどのように活かされているかを学ぶ。本講義では、個人のキャリア発達や産業・組織心理学の視点から現代社会をとらえ、現代に働く人びと、あるいは、働こうとしている人びとの抱える心理的問題（職業選択、仕事への動機づけ、職場におけるストレスやメンタルヘルスなどの中からトピックを選ぶ）について、その実態から支援や介入まで解説する。

#### 241219 健康・医療心理学

##### 【到達目標】

- ・ストレスと心身の疾病との関連性について理解する。
- ・医療現場における心理社会的課題とそれに対する支援について考える力を養う。
- ・保健活動の現場における心理社会的課題とそれに対する支援について考える力を養う。
- ・災害時などに必要な心理的支援について考えることができる。

【概要】 健康について、生物、心理、社会といった3つの側面から理解をすすめ、ストレスと心身の疾病との関連性について学ぶ。また、保健・医療現場におけるメンタルヘルスへの支援について、観察や投影法、質問紙法といったテストバッテリーの活用、心理相談、心理療法やSST、多職種間の連携、地域連携の理論ならびにスキル、職業倫理について解説をする。災害時などに必要な支援の在り方や心的状態への理解についても取り上げる。

#### 241220 障害者・障害児心理学

##### 【到達目標】

- ・身体障害、知的障害、精神障害について基本的な理解を深める。
- ・障害を抱える子どもや成人が体験している心理社会的課題について説明することができる。
- ・障害者・障害児に対して必要な支援について考える力を養う。

【概要】 身体障害、知的障害、精神障害といった障害に関する基本的理解をもとに、障害を抱える子どもや成人が体験している多様な心理社会的課題について具体的な例を通して学ぶ。さらに、障害児や障害者ならびに保護者やともに生きている人たちへの支援の在り方、例えばアセスメントのありかた、合理的配慮、発達の視点をもった介入法などについて解説する。

#### 241221 精神保健学

##### 【到達目標】

- ・心の健康に影響を与える現代社会の諸問題について精神保健の観点から理解する。
- ・心の健康を破綻させるプロセスやそこからの回復プロセスについて学ぶ。
- ・心の健康の予防について精神保健の観点から理解する。

【概要】 精神保健の諸相について全体的に学ぶ。現代における自己や共同体などの変容、現代社会が直面しているさまざまな現象を取り上げ、それらが人の心に与える影響について理解する。とりわけライフサイクル、性差、文化、時代といった切り口から理解を深めることを目標とする。また、人の心が健康であるとはどのようなことか、人の心はどのように破綻し、またどのように回復していくのか、さらに破綻を予防するにはどのようなことが可能であるのか、などといった点について具体的な事例を通して学習する。

#### 241222 精神疾患とその治療

##### 【到達目標】

- ・精神医学の全体像(症状、診断、治療など)について、広い観点から体系的に理解する。
- ・現代に多い精神疾患についての精神医学的知識を習得する。
- ・向精神薬をはじめとする薬物療法による心身の変化について理解する。
- ・医療機関との連携について考えることができる。

【概要】 精神病理学、生物学、脳科学などさまざまな領域における最近の成果にふれつつ、発達障害、解離性障害、パーソナリティ障害、気分障害、摂食障害、心的外傷後ストレス障害など、現代に特徴的な病態を取り上げ、その成因・症状・診断・治療・支援などについて学ぶ。またストレスやトラウマなどに関する生物学的、精神医学的研究についても広く解説し、人間、生命、社会についての理解を深めることを目標とする。向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、および医療機関との連携についても触れる。

#### 241223 福祉心理学

##### 【到達目標】

- ・福祉現場において生じる問題及びその背景について理解する。
- ・福祉現場において子どもや成人・老人が体験している心理社会的課題及び必要な支援方法について説明することができる。
- ・発達障害や虐待や認知症について基本的な知識を身につける。

【概要】 福祉現場において生じる問題及びその背景、心理社会的課題及び必要な支援方法、虐待、認知症に関する必要な支援方法について学ぶ。特に、児童福祉施設等において、子どもの発達に関する知識や各種心理検査等の技術をもって、子どもの状態、家族像、今の問題点等を包括的に理解評価することや、子ども虐待や認知症に対する十分な理解のうえ、幅広く関係を構築し支援を行う力を身につける。

#### 241224 司法・犯罪心理学

##### 【到達目標】

- ・ 犯罪・非行、犯罪被害について基本的な知識を身につける。
- ・ 家事事件の特徴や課題について理解する。
- ・ 司法・犯罪分野における心理的支援について考える力を養う。

【概要】 犯罪・非行に法律を適用する国の機関を中心に、犯罪心理学がどのように活かされるのかを学ぶ。犯罪・非行の理解と対応について解説するとともに、特に、警察、家庭裁判所、少年鑑別所、少年院・刑事施設、保護観察所、犯罪被害者等の諸機関を取り上げ、それぞれの役割や特徴、その実際や現状、抱えている課題等について深める。

241225 心理学特論

【到達目標】

- ・ 講義で取り上げた先端的または応用的な心理学研究の知見を理解する。
- ・ 講義で取り上げた先端的または応用的な心理学研究の手法を理解する。
- ・ 現代社会において問題となっている心理学的テーマを多面的にとらえる力を習得する。
- ・ 講義で取り上げた先端的または応用的な心理学研究の知見を理解する。
- ・ 講義で取り上げた先端的または応用的な心理学研究の手法を理解する。
- ・ 現代社会において問題となっている心理学的テーマを多面的にとらえる力を習得する。

【概要】 本講義では、「知覚・認知心理学概論」「社会心理学概論」「発達心理学概論」「臨床心理学概論」の講義において学んだ知識を前提に、現代社会において問題となっているテーマに焦点を当てる。あるいは、心理学の先端の知見を取り上げ、新しい視点を提供することを目指す。場合によっては、心理学の隣接領域を主たるフィールドとするようなテーマを取り上げることもある。

## 基盤演習

241301 1年次演習（心理学）

【到達目標】

- ・ 心理学の入門的なテキストを通じて、文献を批判的に読む力や論理的思考力を身につける。
- ・ 文献や資料の探し方を身につけ、自分で分からないことを調べる力を身につける。
- ・ 大学での学びに必要なアカデミックスキルを身につける。

【概要】 心理学の導入教育としての位置づけで、入門的な内容のテーマで演習を行う。具体的にはこれから4年間に渡る学びの基礎となるアカデミックスキル、例えば、文献を探したり講読したりといった図書館の利用、資料を調べてレジュメを作る技能、プレゼンテーションや意見交換を行うスキル、論理的思考力などの全般的な習得を目指す。少人数による緻密な演習を展開する。

241302 2年次演習（心理学）A

【到達目標】

- ・心理学の専門領域のテキストや論文を通じて、文献を批判的に読む力や論理的思考力を身につける。
- ・専門領域の文献や資料の探し方を身につけ、自分で分からないことを調べる力を身につける。
- ・専門領域の文献をレジュメにまとめ、発表し、討論するという演習形式の授業に必要な技能を習得する。

**【概要】** 「1年次演習(心理学)」を踏まえ、この授業では、心理学の基礎的な内容を題材とした演習を行う。担当教員の専門領域をテーマとし、その分野の入門的なテキストや文献などを共通の材料として、テキストや文献の講読、資料作り、また、少人数という場を活用した発表と討論・質疑応答などを行う。論理的思考力や発表時の表現力を養うとともに、取り上げた心理学のテーマについて深く理解することを目指す。

#### 241303 2年次演習(心理学)B

##### 【到達目標】

- ・心理学専門領域のテキストや論文を理解したうえで自分の考えを深める力を養う。
- ・専門領域の内外の文献や資料の探し方を身につけ、自分で分からないことを調べる力を身につける。
- ・発表や討論を通して、お互いの意見に耳を傾け、理解し、自分の考えを発展させることができる。

**【概要】** 「1年次演習(心理学)」を踏まえ、この授業では、心理学の基礎的な内容を題材とした演習を行う。担当教員の専門領域をテーマとし、その分野の入門的なテキストや文献などを共通の材料として、テキストや文献の講読、資料作り、発表と質疑応答などを行う。取り上げた心理学のテーマについて深く理解することを目指すことはもちろん、より進んだ「3年次演習(心理学)」で必要となるスキルを身につけることも目標とする。一部の演習で英語による授業をおこなう。

#### 341304 心理学実験入門(心理学研究法)

##### 【到達目標】

- ・心理学における実証研究の意義を理解する。
- ・実験法の基礎を理解する。
- ・測定方法の基礎を理解する。

**【概要】** 初めて心理学に触れることになる1年次の学生が、心理学の方法論を初歩的な実験などの体験を通して理解することを目指す。人のこころに対して実証的にアプローチすることの意味を解説し、こころを測定するということは何か、その長所と限界について考える。特に本講義では、実験法と質問紙法に焦点を当て、初歩的な実験や尺度構成を体験

し、それらを通じて心理学の研究方法について基礎的な理解を目指す。

## 発展演習

241401 3年次演習（心理学）

### 【到達目標】

- ・心理学の専門領域の内外の論文を通じて、文献を批判的に読む力を身につける。
- ・専門領域の内外の文献や資料の探し方を身につけ、自分で分からないことを調べる力を身につける。
- ・専門領域の内外の文献をレジュメにまとめ、発表し、討論することを通して、発展的な内容を深く理解する。

【概要】 「1年次演習（心理学）」および「2年次演習（心理学）A・B」を踏まえ、この授業では、心理学の発展的な内容を題材とした演習を行う。それぞれの分野の発展的なテキストや文献などを共通の材料として、テキストや文献の講読、資料作り、発表と質疑応答などを行う。取り上げた発展的な内容について深く理解することを目指すことはもちろん、卒業論文研究に主体的に取り組むことができるよう準備をすすめ、自立した学習者となることを目標とする。

241402 4年次演習（心理学）A

### 【到達目標】

- ・心理学の研究論文を批判的に読み、研究計画に活かすことができる。
- ・心理学の各領域における研究の進め方ならびに、倫理的配慮への理解を深める。
- ・独自の関心にもとづいて、心理学的研究をデザインし、実行する力を習得する。

【概要】 4年間にわたる学習の総仕上げとなる演習であり、学生各々の卒業論文研究の遂行に必要な知識や技能の習得を目指す。この演習では、主として研究の前段階に必要な技能、例えば、文献の検索、文献の批判的な講読、先行研究を踏まえた研究の立案、予備実験や予備調査の実施、などを学ぶ。それぞれのテーマで卒業論文に取り組むための発展的な内容とし、卒業論文研究の遂行と両輪をなすような内容とする。

241403 4年次演習（心理学）B

### 【到達目標】

- ・心理学各領域における研究を、独自の計画・デザインにもとづき実際に行うことができる。
- ・データ収集、適切な方法での分析、結果の表示、結果の考察を行う力を身に付ける。
- ・研究論文としてまとめ、それを発表する力を習得する。

【概要】 4年間にわたる学習の総仕上げとなる演習であり、学生各々の卒業論文研究の遂

行に必要な知識や技能の習得を目指す。この演習では、主として、データの分析、統計解析や検定の実施、得られた結果の表示と解釈、先行研究なども踏まえた考察、論文執筆の技法、などを学ぶ。また、研究発表と質的応答のための力を習得する。それぞれのテーマで卒業論文に取り組むための発展的な内容とし、卒業論文研究の遂行と両輪をなすような内容とする。

#### 241404 心理学特殊演習(先端)

##### 【到達目標】

- ・演習で取り上げた心理学のトピックについて理解する。
- ・演習で取り上げた心理学の研究手法を理解し身につける。
- ・発展的な内容について自ら学ぶ力を養う。

【概要】 本演習では、入門，基盤講義，基盤演習のさまざまな授業において学んだ基礎的な知識を前提に、「2年次演習(心理学)A・B」で取り上げる4つの分野(基礎心理学・社会心理学・発達心理学・臨床心理学)のオーソドックスな内容を越えた先端的なトピックや、隣接領域との接点にあるトピックなどを取り上げる。また、上記演習では扱うことのない、統計技法、実験技法などを取り上げることもある。

#### 341405 心理学特殊演習(応用)

##### 【到達目標】

- ・演習で取り上げた心理学のトピックについて理解する。
- ・演習で取り上げた心理学の研究手法を理解し身につける。
- ・応用的な内容について自ら学ぶ力を養う。
- ・心理学における実証的研究法(量的研究及び質的研究)、データを用いた実証的な思考方法、研究における倫理について理解を深める。

【概要】 本演習では、入門，基盤講義，基盤演習のさまざまな授業において学んだ基礎的な知識を前提に、「2年次演習(心理学)A・B」で取り上げる4つの分野(認知心理学・社会心理学・発達心理学・臨床心理学)のオーソドックスな内容を越えた応用的なトピックや、現代社会における諸問題に対して心理学が貢献しうる課題について取り上げる。また、応用的な研究手法や質的分析法などを取り上げる。研究倫理についても理解を深める。

## 実験・実習

#### 341501 発達臨床基礎実習(心理学研究法)

##### 【到達目標】

- ・データを用いた実証的な思考方法や心理学における実証的研究法(量的研究及び質的研究)に基づき観察法、面接法、投影法、質問紙による検査法、発達検査法に関する理論や目的について理解をする。
- ・観察法、面接法、投影法、質問紙による検査法の方法や実践や研究における倫理、分析や

結果の記載のしかたについて理解をする。

【概要】 はじめて心理学に触れる1年次の学生が、データを用いた実証的な思考方法や心理学における実証的研究法（量的研究及び質的研究）に基づき調査や研究において用いられる方法について体験を通して理解することを目指す。観察法、面接法、投影法、そして、質問紙検査法や発達検査法の基礎的な理論と方法、実践や研究における倫理、分析のしかたや結果の記述のしかたを概説する。実際にそれら研究法を用いた先行研究を理解し、自分たちでも体験学習を通して主体的具体的に学ぶ。

#### 341502 心理的アセスメント

##### 【到達目標】

- ・心理的アセスメントの目的と方法（観察、面接、心理検査） 観点及び展開、倫理について理解する。
- ・知能、パーソナリティ、認知機能等を査定する個別のアセスメント方法の概要を理解し、検査の実施、結果の整理と報告ができる。
- ・テスト・バッテリーの組み方について理解をし、クライアントに役立つ所見作成の力を身につける。

【概要】 心理的アセスメントの目的、方法（観察、面接及び心理検査） 観点及び展開、適切な記録及び報告のしかた、倫理について理解を深める。質問紙法、描画法、知能検査、神経心理学的検査について、各検査法の特徴や実施・整理における留意点を学ぶ。被検者体験、またはロールプレイによる実習体験を振り返ることにより、アセスメント過程における倫理的な諸問題について体験的に理解する。最終的には所見の作成をおこない、支援に結びつく記述やフィードバックのしかたを考える力を養うことを目標とする。

#### 241503 心理学実験演習 A

##### 【到達目標】

- ・心理学の各領域におけるさまざまな研究法（実験法・観察法）を実践し、その方法論を身につけることができる。
- ・定量的なデータの統計解析を、必要に応じてコンピュータを用いながら、適切に行う力を養う。
- ・数値データの統計解析を伴った心理学研究のレポートの書き方を理解し、適切なレポートを執筆する力を養う。

【概要】 心理学の基本的な研究方法の理解と研究技法の習得を目指す。心理学の代表的な研究方法のうち、本実験演習では、特に実験法、観察法に焦点を当て、それぞれ実習を通じてその技法を習得する。

（実験法）「心理学実験入門」に続き、心理学における実験法の基礎を学ぶ。主に知覚心理学、認知心理学の領域における基礎的な実験を体験することで、心理学実験における統制、

測定について理解を深める。分析、報告書のまとめにあたっては「心理学統計法1」の学習内容を踏まえて、具体的なデータを用いてデータの整理と記述の仕方を習得する。

(観察法)心理学における観察法の基礎を学ぶ。さまざまな事態や形態の観察法があることを学んだ上で、DVD等を利用して観察を実施し、記録の仕方・データのまとめ方についての実験演習を行う。観察法を実施する際の留意点や観察の信頼性についても学習する。<オムニバス方式>

#### 241504 心理学実験演習 B

##### 【到達目標】

- ・認知心理学、社会心理学の実験法とその意義を理解し、計画を立案して適切に実践する力を養う。
- ・質問紙調査法の基本について理解した上で、適切に実践する力を養う。
- ・定量的なデータの統計解析を、必要に応じてコンピュータを用いながら、適切に行う力を養う。
- ・数値データの統計解析を伴った心理学研究のレポートの書き方を理解し、適切なレポートを執筆する力を養う。
- ・心理学研究にまつわるさまざまな問題(研究倫理など)を理解し、それらに配慮した研究を行う能力を身につける。

【概要】 基本的な研究方法の理解と研究技法の習得を目指す。心理学の代表的な研究方法のうち、本実験演習では、特に実験法と質問紙調査法に焦点を当て、それぞれ実習を通じてその技法を習得を目指すとともに、実験の計画立案についても学ぶ。

実験法については、「心理学実験入門(心理学研究法I)」および「心理学実験演習IA」に続き、実験法の基礎を学ぶ。主に認知心理学、社会心理学の領域における基礎的な実験を体験することで、心理学実験における統制、測定について理解を深める。質問紙法については、質問紙調査法の基礎を学ぶ。本実験演習全体を通じ、具体的なデータを用い、「心理学統計法1・2」の学習内容を踏まえて、データの整理、分析と記述の仕方、報告書のまとめかたを学ぶ。<オムニバス方式>

#### 241505 心理学実験演習 (実験法)

##### 【到達目標】

- ・心理学の実験方法について、実際に実験を計画・準備し、実施することで理解を深める。
- ・実験データの分析方法について主体的に考えながら分析を進めることを通して、実践的な統計的分析方法を習得し、レポートとしてまとめる力を養う。
- ・実験者と実験参加者の立場を経験することを通して、心理学研究にまつわるさまざまな問題(研究倫理など)を理解し、それらに配慮した研究を行う能力を身につける。

【概要】 「心理学実験演習 A・B」および「心理学統計法1・2」において習得した基本



的な研究方法についての技能と理解を前提に、より発展的な研究技法を習得する。小グループに分かれ、それぞれ実験を計画し、実験者として、また実験参加者として実験を体験し、その技法を理解する。実験実施にあたって配慮すべき様々な事柄についても学ぶ。データ分析に必要な統計処理についても学習する。これらによって、実験法を用いて卒業論文を書くための基本的な技法を身につける。

#### 241506 心理学実験演習（調査法）

##### 【到達目標】

- ・心理学の調査方法について、実際に調査を計画・準備し、実施することで理解を深める。
- ・収集したデータに対して統計的分析を行うことを通して、調査データの分析方法を習得し、レポートとしてまとめる力を養う。
- ・調査の実践を通して、調査研究に関わるさまざまな問題（研究倫理など）を理解し、それらに配慮した研究を行う能力を身につける。

【概要】 「心理学実験演習 A・B」および「心理学統計法1・2」において習得した基本的な研究方法についての技能と理解を前提に、より発展的な研究技法の習得を目指す。本実験演習では、調査法を取り上げる。グループに分かれて、調査計画を立て、調査を実施し、収集したデータを分析して、レポートにまとめるという過程を通して、その技法を習得する。また、調査実施にあたって配慮すべき様々な事柄についても学ぶ。これらによって、調査法を用いて卒業論文を書くための基本的な技法を身につける。

#### 241507 心理学実験演習（質的アプローチ）

##### 【到達目標】

- ・臨床心理学や発達心理学の領域における調査研究のあり方、倫理的配慮についての理解を深める。
- ・質的データの集めかた、分析のしかた、結果のまとめかた、考察のしかたを具体的に習得する。
- ・質的アプローチの理論とスキルを習得する。

【概要】 「心理学実験演習 A・B」および「心理学統計法1・2」において習得した基本的な研究方法についての技能と理解を前提に、より発展的な研究技法のひとつである質的アプローチの習得を目指す。分析においては自由記述やプロトコルという質的データの分析のための理論と方法を具体的に学ぶ（たとえばKJ法やGTAなど）。データ収集にあたっての倫理的配慮や、ガイドの作成、分析の方法、結果考察のしかたを小グループによる実習を通じて学ぶ。これらによって、質的アプローチを用いて卒業論文を書くための基本的な技法を身につける。

#### 241508 心理学実験演習（実験法）

#### 【到達目標】

- ・生理心理学の実験方法について、実際に実験の準備と実施を通して理解を深める。
- ・実験データの分析方法の学習と実践を通して、生理心理学実験のレポートをまとめる力を養う。
- ・実験者と実験参加者の立場を経験することを通して、心理学研究にまつわるさまざまな問題（研究倫理など）を理解し、それらに配慮した研究を行う能力を身につける。

【概要】 「心理学実験演習Ⅱ」および「生理心理学」において習得した基本的な研究方法についての技能と理解を前提に、生理心理学に関する実践的研究技法を習得する。小グループに分かれ、それぞれ実験を準備し、実験者として、また実験参加者として実験を体験し、その技法を理解する。実験実施にあたって配慮すべき様々な事柄についても学ぶ。データ分析に必要な統計処理についても学習する。

#### 241509 心理学特殊実験演習

#### 【到達目標】

- ・心理学各領域での研究を行う際に必要な知見・理論，研究動向，方法論などについての知識を身につける。
- ・各領域での発展的な研究方法を実践する力を習得する。
- ・より専門的な研究レポートの執筆に習熟する。

【概要】 「心理学実験演習」の次の段階であり、「4年次演習(心理学)」や卒業論文研究への準備段階として位置づけられている実験演習である。学生は、自分の卒業論文研究のテーマと内容を想定して、実験演習の内容を自分で選択する。心理学の領域ごとの必要性に応じて、卒業論文研究への前提として必要となる専門的な知識や技能の習得を目指す。具体的には、文献の検索、専門的な文献の講読、実験や調査等の研究計画の立案、研究の実施、データ分析と考察、プレゼンテーションやレポート執筆、などである。

### 公認心理師特設科目

#### 241701 公認心理師の職責

#### 【到達目標】

- ・公認心理師の役割について理解する。
- ・公認心理師の法的義務及び倫理について、社会の実情に基づいて考えることができる。
- ・心理に関する支援を要する者等の安全の確保、情報の適切な取り扱いについて理解する。

【概要】 公認心理師の職責に関する事項について理解することを目指す。具体的には、公認心理師の役割や公認心理師の法的義務及び倫理を、法律や社会の現状に基づいて学ぶ。さらに、心理に関する支援を要する者等の安全の確保、情報の適切な取扱い、保健医療、福祉、

教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務、公認心理師自身の自己課題発見・解決能力の向上、生涯学習への準備、多職種連携及び地域連携のあり方について学ぶ。

#### 241702 人体の構造と機能及び疾病

##### 【到達目標】

- ・心身機能と身体構造について基本的な理解をする。
- ・代表的な疾病や障害について基本的な知識を習得する。
- ・がんや難病など心理的支援が必要な疾病とその心理的ケアの基本について理解する。

【概要】 細胞、組織、器官によって構成されている人間の体の基本的構造について学ぶ。さらに炎症、感染、免疫、腫瘍など、病気の成立に関係する病態生理について学習する。その上で代表的な疾病や障害（運動器、呼吸器、循環器、消化器、内分泌・代謝疾患など）の基本的知識について理解する。また心理的支援が必要な疾患（過敏性腸症候群、気管支喘息、摂食障害、慢性疼痛、がん、パーキンソン病、終末期患者など）の心理的ケアの基本についても取り上げる。

#### 241703 関係行政論

##### 【到達目標】

- ・保健医療分野に関連する制度を理解する。
- ・福祉分野に関連する制度を理解する。
- ・教育分野に関連する制度を理解する。
- ・司法・犯罪分野に関連する制度を理解する。
- ・産業・労働分野に関連する制度を理解する。

【概要】 国民の心の健康を保持推進するための社会全体の制度や法律について広く学び、さらに心の支援に関する法律の全体像と援助者としての役割について理解する。具体的には、保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野など、主要な五分野の法律や制度について、事例を紹介しながら解説する。また行政による住民サービスにおける心理業務の内容や課題についても知識を深める。

#### 241704 心理演習

##### 【到達目標】

- ・心理支援を要する者に対するコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援について、具体的な知識と技能を習得する。
- ・心理的支援を必要とする子どもや成人のニーズや心理的状态を把握し、支援計画を作成することができる。
- ・心理的支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチについて考えることができる。

- ・多職種連携と地域連携について実際的に考えることができる。

【概要】 知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）を行い、事例検討で取り上げる。（ア）心理に関する支援を要する者等に関する、コミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等の知識御酔い技能の修得。（イ）心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成。（ウ）心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ。（エ）多職種連携及び地域連携。（オ）公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解。

241705 心理実習

【到達目標】

- ・保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5つの分野について、心理的支援を要する者へのチームアプローチの実際を理解する。
- ・各分野の施設における多職種連携及び地域連携について理解する。
- ・公認心理師としての職業倫理及び法的義務について臨床現場の特質・実情をふまえて考えることができる。

【概要】 次に掲げる事項について、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5つの分野の施設において、見学等による実習を行いながら、当該施設の実習指導者または教員による指導を受け、基本的な水準の修得をはかる。（ア）心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ。（イ）多職種連携及び地域連携。（ウ）公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解。

## コミュニケーション専攻

### 入門

#### 242001 コミュニケーション概論 II (メディア)

##### 【到達目標】

- ・これまでのマス・コミュニケーション研究の展開について理解する。
- ・マス・コミュニケーションの効果・影響に関する理論を理解する。
- ・マス・コミュニケーションが持つ効果・影響を踏まえ、マス・コミュニケーションの使命・役割について検討することができる。

【概要】 マス・コミュニケーションという研究領域は学際的な研究分野であり、他の学問分野よりも歴史が浅い。この授業では、マス・コミュニケーション研究がどのように発展してきたかを理論的変遷と共に学ぶ。また、マス・コミュニケーションの効果・影響に関する古典的研究から新しい研究までを学ぶことで、マス・コミュニケーションとオーディエンス・社会との関係について考える。そうした知識を踏まえ、マス・コミュニケーションの使命・役割について多角的な視点から検討する。

#### 242002 コミュニケーション概論 II (情報デザイン)

##### 【到達目標】

- ・情報デザインの重要性を理解する。
- ・デザイン思考の考え方を理解する。
- ・現代社会の問題点を発見し、ICTを活用して解決することで人間を幸せにするというテーマに関して、コミュニケーション専攻で学ぶにはどうすればよいかを考えることができる。

【概要】 コミュニケーション専攻1年生の入門科目として、前提知識を必要とせず、情報デザインの基本を学ぶ科目である。情報デザインはICTが不可欠な現代社会をより良くデザインすることであり、イノベーションを生む発想法としてデザイン思考が注目されている。そのような背景を念頭に置いて、情報デザインとデザイン思考の基本をグループワークやワークショップなどの実践的内容を交えて学ぶ。この授業を、人間を幸せにするICTの使い方を考える出発点とすることを目的とする。

#### 242003 コミュニケーション概論 II (多文化)

##### 【到達目標】

- ・多文化コミュニケーションに関する基本的知識を習得する。
- ・異文化体験、多文化共生について考える力を養う。
- ・多文化共生時代における人間の変化と発達を理解する力を養う。

【概要】 現代世界において、人は多様な文化に出会う。自文化との接触にはじまり、他の文化と出会い、他の文化と自分の文化を比較することにより、個人の意識や行動パターンは変化していく。ここでは、多様なルートによる異文化接触の具体的事例を通して、個人が新しい文化や他者との出会いを通してどのように成長し、変化していくかを学ぶ。具体的には「文化とコミュニケーション」に関する研究の流れ、異文化適応・文化人類学・異文化教育・文化心理学などに関する理論について学んでいく。

## 基盤講義

### 242101 コミュニケーション統計法 1

#### 【到達目標】

- ・記述統計を中心とした統計学の基礎的な概念を理解した上で、データを客観的に整理し、分析できる力を身につける。
- ・統計的な記述の含まれる論文を正確に読むことができる力を身につける。
- ・統計ソフト SPSS の基本的な使い方を習得する。

【概要】 本講義はコミュニケーション専攻の2年生全員を対象にした必修科目である。専攻の専門科目の学習や卒業研究においては、統計的記述の含まれる論文を読む力と、自分で統計資料を整理し、データを分析する力が求められる。本講義では、そのために必要な統計学の基礎を習得する。また、統計分析ソフト「SPSS」を使って自分でデータを扱える力も養う。

### 242102 コミュニケーション統計法 2

#### 【到達目標】

- ・推測統計を中心とした統計学の概念を理解し、統計的知識を活用してデータを分析できる力を身につける。
- ・データ分析、検定の結果を、正しく解釈する力を身につける。
- ・目的とする分析のためには、どのようなデータを集め、どのような統計分析が望ましいかを、自らが適切に判断できる力を身につける。

【概要】 統計の基礎知識を活用し、自分でデータ分析ができる力を身につけることを目標とする。具体的には、記述統計の基礎的な理解をふまえたうえで、度数分布表、相関散布図、正規分布、クロス表などの記述統計をベースとして、確率論の基礎、母集団と標本・標本抽出法のサンプリングの概念、検定・推定の理論とその応用(平均と比率の差の検定、相関係数の検定、クロス表の独立性の検定など)に加え、分散分析、回帰分析、重回帰分析などの一般的な回帰分析の基礎などを扱う。

#### 242103 先端トピック概論（コミュニケーション）A

##### 【到達目標】

- ・ 講義で取り上げた先端的なコミュニケーション研究の知見を理解する。
- ・ 講義で取り上げた先端的な研究の手法を理解する。
- ・ 講義で取り上げたコミュニケーション研究の新しい視点を理解する。

【概要】 本講義では、メディア環境が多様化し、多文化、情報化が進む現代社会において、多文化、メディア、情報デザインと関連するオーソドックスなテーマには収まりきらない、コミュニケーションに関する先端的な研究テーマを扱う。特に、各領域における最新の知見を中心に取り上げ、尚かつ、学際的な、領域横断的な新しい視点を提供することを目指す。コミュニケーションの枠組みを広げ、深めるようなテーマに取り組む。

#### 242104 先端トピック概論（コミュニケーション）B

##### 【到達目標】

- ・ 講義で取り上げた先端的なコミュニケーション研究の知見を理解する。
- ・ 講義で取り上げた先端的な研究の手法を理解する。
- ・ 講義で取り上げたコミュニケーション研究の隣接領域における新しい研究視点を理解する。

【概要】 本講義では、メディア環境が多様化し、多文化、情報化が進む現代社会において、多文化、メディア、情報デザインと関連するオーソドックスなテーマには収まりきらない、コミュニケーションに関する先端的な研究テーマを扱う。特に、これまで通りのオーソドックスなコミュニケーション研究の枠組みにとらわれない、新しい視点を提供することを目指す。例えば、医療、福祉、教育、芸術などコミュニケーション研究の隣接領域を主たるフィールドとするようなテーマを取り上げることもある。

### 特殊講義

#### 242201 メディア心理学

##### 【到達目標】

- ・ メディアの利用行動と心理の特徴を理解する。
- ・ メディアの社会的影響に関する理論を習得する。
- ・ 情報行動と心理に関する専門知識と理論を身につける。

【概要】 私たちは、現代社会の重要な情報源であるメディアとのかかわりにおいて社会を認識し、様々な生活場面における意思決定や価値判断においてメディアの影響を受けている。メディアの発達と情報化が人々の行動と心理に及ぼす影響について、メディア環境の変化とメディア利用状況、ニュースやエンターテイメントなどのメディアコンテンツの利用行動と心理、消費者、生活者、有権者などの様々なオーディエンスとメディア、モバイルとオンライン上のコミュニケーションと情報行動などを中心に講義する。

242202 コミュニケーション心理学 A

【到達目標】

- ・コミュニケーション心理学の基礎知識を習得する。
- ・コミュニケーション心理学の中で、対人レベルに関する諸説の重要性を理解する。
- ・コミュニケーション心理学の中で用いられる主な研究方法を理解する。

【概要】 コミュニケーション心理学が扱う領域の中から、特に対人レベルのコミュニケーションと関連するテーマを中心に講義する。例えば、社会的認知とコミュニケーション、経済心理学[行動経済学]と判断・意思決定、非言語コミュニケーション、恋愛の科学などを取り上げる。また、それぞれのトピックに関する調査・実験研究の事例紹介を通じて、コミュニケーション心理学で用いられる主な研究方法に対する理解も深めてもらう。

242203 コミュニケーション心理学 B

【到達目標】

- ・コミュニケーション心理学の基礎知識を習得する。
- ・コミュニケーション心理学の中で、集合現象に関する諸説の重要性を理解する。
- ・コミュニケーション心理学の中で用いられる主な研究方法を理解する。

【概要】 コミュニケーション心理学が扱う領域の中から、特に集合現象と関連するテーマを中心に講義する。例えば、うわさ・流言の心理学、群衆行動と群衆心理、流行現象とメディア、イノベーションの普及過程などを取り上げる。また、それぞれのトピックに関する調査・実験研究の事例紹介を通じて、コミュニケーション心理学で用いられる主な研究方法に対する理解も深めてもらう。

242204 メディアとことば

【到達目標】

- ・メディアにおける言語情報・言語使用の特徴について理解する。
- ・言語とメディアの関わりについて様々な視点から検討する力を養う。
- ・発信力、表現力を高める文章作成法を習得する。

【概要】 メディアにおける言語情報・言語使用の持つ意味と特徴を考え、様々なメディアを駆使し、ことばで伝える能力を高める。活字メディア、放送メディアなどのマスメディアのニュースや広告など、送り手によって発信される言語情報の内容や形態を分析し、その社会的影響について理解を深める。また、ソーシャルメディアにおいては、ユーザーが自由に発信・共有することで、言語情報が拡散されている。多様化するメディア社会における情報発信の担い手として、様々なメディアのことばに触れて分析し、発信力、表現力を高める文章作成についても学んでいく。



## 242205 メディア社会論

### 【到達目標】

- ・メディアの影響に関する基本的な知識を習得する。
- ・現代社会におけるメディアの重要性を理解する。

【概要】 メディア社会論の中からいくつか重要なテーマを選んで講義する。特に、テレビや新聞などのマスメディアあるいはインターネットや携帯電話・スマートフォンなどの新しいメディアが、現代社会においてどのような社会的影響力を持っているのかについて、社会学や社会心理学の視点から詳しく解説していく。また、メディアが伝える情報の内容分析などについても講義する。

## 242206 メディア文化論

### 【到達目標】

- ・メディアと我々の生活様式や行動様式、我々のアイデンティティ、集合的記憶などの文化的側面との関係について理解する。
- ・メディアが文化に及ぼす影響を多面的に検討するための視点を習得する。
- ・メディアの社会的・文化的影響を批判的に検討するための視点を習得する。

【概要】 テレビやケータイなどのメディアは、今日我々の生活の一部となっている。我々の生活様式や行動様式は、メディアの影響により変容し、アイデンティティはメディアへの接触を通して強化され、集合的記憶もメディアへの接触により構築されている。そのため、メディアは文化的側面への影響を持つと考えられる。この講義では、実証研究や事例などの学習と理論的検討を通して、そうしたメディアの社会的・文化的影響を理解する。同時に、メディアの社会的・文化的影響を、多面的かつ批判的に検討する視点を習得する。

## 242207 メディア産業論

### 【到達目標】

- ・日本のメディア産業を市場規模、産業構造といった産業的側面から理解する。
- ・メディア産業の変化と情報技術の発達との関係について理解する。
- ・産業的視点からメディアを検討する専門的知識を習得する。

【概要】 日本をはじめ世界中のメディア産業が、情報技術の発達によって急速に変化してきている。この講義では、新聞、出版、放送、通信、インターネット、音楽、映画、広告などのメディア産業について、その市場規模、産業構造が情報技術の発達によってどのように変化したかについて理解を深める。また、新聞社のインターネットの活用、音楽コンテンツや放送コンテンツのインターネット配信などにみられるように、情報産業とメディア産業の融合が進んでいる。そうした融合がもたらす、新しいメディア産業のあり方についても検討する。

## 242208 メディア史

### 【到達目標】

- ・メディアの発展史と現状に関する基礎知識を習得する。
- ・メディア・コミュニケーションの社会的影響に関する基礎知識を習得する。

【概要】 文明を発明して以来、人間のコミュニケーションの形態はいくつかの点で重要な変化をとげてきた。本講義では、様々な情報メディアの発展史と現状を概観しながら、人間コミュニケーション、特にメディアを通じたコミュニケーションの変化とその社会的影響について詳しく解説する。具体的には、文字の発明とその社会的影響、印刷術の完成とその社会的影響、新聞メディアの誕生とその社会的影響、映画の登場とその社会的影響、放送メディアの社会的影響と現状などについて取り上げる。

## 242209 ジャーナリズムと現代社会

### 【到達目標】

- ・ジャーナリズムについての基礎的な知識を習得する。
- ・ジャーナリズムの意義・役割への理解を深め、現代社会で必須の「情報を読み解く力」を身につけることを目標とする。

【概要】 新聞、テレビ、インターネットを通じて流される政治、経済、災害、紛争・戦争などに関する今日のニュースを題材に、現代社会においてメディア・ジャーナリズムが果たしている役割を理解し、ジャーナリストの使命と一般市民の「知る権利」の関係について学ぶ。また、ジャーナリズムの発展過程とその過程におけるジャーナリズムの問題(戦争報道、原発報道、虚偽報道など)についても学ぶことで、ニュースを的確に理解し情報を読み解く力、情報を発信する立場になった際に必要な倫理意識を学ぶ。

## 242210 広告と消費者心理

### 【到達目標】

- ・広告、メディア、社会の関係について理解する。
- ・広告研究に関する専門知識と理論を身につける。
- ・消費者行動と心理に関する専門知識と理論を身につける。

【概要】 多様化・複雑化するメディア環境と企業環境に注目し、広告・消費・マーケティングの諸問題について理解を深める。広告の社会的、経済的意義を理解し、変化する情報空間・都市空間・消費空間で展開される広告の諸問題について講義する。広告の社会的・経済的意義を理解し、広告が伝える情報とイメージの分析、広告の効果、広告と消費者行動、社会や時代と広告との関わり、社会的・文化的表象としての広告、社会的メッセージとしての広告とその影響、インターネットにおける広告の新しい展開と消費者行動について考える。

## 242211 ジェンダーとメディア

### 【到達目標】

- ・メディアに表象されるジェンダーを分析・検討する理論について理解する。
- ・ジェンダーの視点からメディアに描かれる男女像や男女関係について批判的に検討する視点を養う。
- ・メディアにおけるジェンダー表象の分析・検討を通して、自分自身や社会の中にあるジェンダー意識を再考する。

【概要】 ジェンダーの問題は、ドラマや映画などの映像メディア、ニュース番組や新聞記事などの報道、小説や漫画などの娯楽メディアなどに顕著に表れていることが多い。この授業では、そうしたメディアに表象されるジェンダーを分析・検討する理論について理解を深める。さらに、メディアに描かれるジェンダーを批判的に検討する視点を養う。そうしたことを通じて、自分自身や社会の中にあるジェンダー意識を再考し、メディアにおけるジェンダーがオーディエンスに与える影響について考える。

## 242212 グローバルメディア

### 【到達目標】

- ・情報と社会の関係を理解する。
- ・グローバル社会とメディアとの関わりについて様々な視点から検討する力を養う。
- ・グローバル社会におけるメディアの影響に関する専門知識と理論を身につける。

【概要】 伝統的なマスメディア時代においては、外国の情報やメディア・コンテンツへの接触はかなり限定されていたが、衛星放送やインターネットなど、新しいメディアテクノロジーの発達と普及によって、メディア・コンテンツは国を超え、グローバルに利用され、消費されている。本講義では、情報と社会変動の関連を概観し、益々デジタル化、モバイル化が進んでいく情報化社会の特徴とメディアの社会的影響について、グローバルな視点から検討する。

## 242213 デザイン思考

### 【到達目標】

- ・デザインとは何かを理解する。
- ・人間中心設計の取り組み方を理解する。
- ・情報デザインやデザイン思考のプロセスと各プロセスの手法を演習を交えて理解する。

【概要】 情報デザインとデザイン思考、両者に共通する思想である人間中心設計の基本を学ぶ科目である。デザインとは何か、情報デザインとは何か、情報デザインのプロセス、ユーザ調査のための手法（ユーザ調査・インタビュー・フィールドワークなど）、コンセプト化のための手法（コンセプトデザイン・ペルソナ手法・シナリオ手法・発想法など）、視覚化のための手法（構造の視覚化・情報の構造化・アイデアスケッチなど）を、グループワークや実体験を積み重ねながら学ぶ。

#### 242214 デザイン思考

##### 【到達目標】

- ・情報デザインの各プロセスの手法、特にプロトタイプと評価の手法を、演習を交えて理解する。
- ・感性を科学する手法を理解する。
- ・情報デザインを実践する取り組みができる。

【概要】 人間中心設計の考えに立って情報デザインを自分の活動で実践できるようになるために、「デザイン思考Ⅰ」と合わせて、情報デザイン、デザイン思考、人間中心設計の手法を学ぶ科目である。この科目では特に、プロトタイプを制作して、ユーザや専門家が評価する手法、感性を科学する方法などを、グループワークや実体験を積み重ねながら学ぶ。主観的要素である人の感覚（感性）を評価することで、それ以外の手法とは異なるアプローチで人間を理解することができる。

#### 242215 ユニバーサルデザイン（人間中心設計）

##### 【到達目標】

- ・情報デザインの基本である人間中心設計の重要性を理解する。
- ・ユニバーサルデザインを実践できる。
- ・ユーザビリティ、多様なユーザ、アクセシビリティ、ユーザ体験の基本を理解する。
- ・人間中心設計の考え方に沿って情報デザインを実践できる。

【概要】 情報デザインコースの中軸となる「人間中心設計」の考え方を学ぶ科目である。できるだけ多くの人々が利用できるように設計段階で検討するユニバーサルデザインを例にとって、自分たちでデザインを考えて評価する体験を交えてこの分野の考え方を学ぶ。ユーザビリティ（使いやすさ）、アクセシビリティ（障害者や高齢者が使えること）、ユーザ体験（嬉しい利用体験）やこれらの評価手法も経験し、この科目との関連を議論する。

#### 242216 ユニバーサルデザイン（心理物理）

##### 【到達目標】

- ・ユニバーサルデザインの基本的な考え方と態度が身につく。
- ・心理物理という方法論を理解し、デザインする場面で応用できるようになる。
- ・実際に効果が出るようにするには、環境や生活をどうデザインすべきかを自律的に考え、行動できる。

【概要】 ユニバーサルデザインは、より多くの人々が効果的に楽に利用できる環境や仕組みを求めるポリシーである。そのポリシーを実効性のあるデザインに結びつけるためには、実証性が求められる。本講義では、実効性のあるデザインにたかめていくデザイン心理学的アプローチの中でも、特に心理物理を用いる方法論を講義する。実例をあげ、シミュレーションや実測を折り込みながら体験的に学習ができるよう工夫する。

#### 242217 デザイン心理(視覚)

##### 【到達目標】

- ・さまざまな AV 機器やコンテンツのデザインが、人間の視覚のしくみや視覚メッセージのあり方と密接に関わっていることを理解する。
- ・人間の視覚のしくみ、視覚的メッセージ--視線や色、表情、文字--のしくみやことばを理解するしくみについて体系的に理解する。
- ・高齢だったり視覚障害があったりする場合の問題と、その解決方法の原理を理解する。

【概要】 情報技術が進歩し、映像や音声データがデジタル化され、さまざまな通信メディアを通じて人間のコミュニケーションを豊かにしている。AV 機器やコンテンツのデザインは、人間の視覚・聴覚の特性に適合するように発展してきた。この講義では、人間の非常に優れた感覚の特性と、その特性が AV 機器やコンテンツにどう反映されているのかを学ぶとともに、高齢・障害のある人の特性とユニバーサルデザインについても触れる。この科目については視覚を中心に扱う。

#### 242218 デザイン心理(聴覚)

##### 【到達目標】

- ・さまざまな AV 機器やコンテンツのデザインが、人間の聴覚のしくみや発話のしくみと密接に関わっていることを理解する。
- ・人間の聴覚のしくみ、発話のしくみ、ことばを聞き取るしくみについて体系的に理解する。
- ・高齢だったり難聴があったりする場合の問題と、その解決方法の原理を理解する。

【概要】 情報技術が進歩し、映像や音声データがデジタル化され、さまざまな通信メディアを通じて人間のコミュニケーションを豊かにしている。AV 機器やコンテンツのデザインは、人間の視覚・聴覚の特性に適合するように発展してきた。この講義では、人間の非常に優れた感覚の特性と、その特性が AV 機器やコンテンツにどう反映されているのかを学ぶとともに、高齢・障害のある人の特性とユニバーサルデザインについても触れる。この科目については聴覚を中心に扱う。

#### 242219 ICT リテラシー

##### 【到達目標】

- ・情報システムの基礎を理解し、社会の情報化の進展に主体的に対応することができる。
- ・情報システムを扱う職業人に必要な知識を、演習を含めて習得する。

【概要】 コンピュータの発達と普及が目覚ましい現代社会において、情報システムの基本

を学ぶことが重要である。この科目は、情報システムの中でも重要な表計算、リレーショナ

ルデータベース、ネットワークなどを取り上げる。情報システムを扱う職業人として必要なレベルの基礎知識を、実際にコンピュータを操作する機会を提供しながら初心者にもわかりやすいように学習する。この科目を学ぶことにより、ICT分野への就職に役立つ力を養うことができる。

#### 242220 ICTリテラシー

##### 【到達目標】

- ・情報システムの基礎を理解し、社会の情報化の進展に主体的に対応することができる。
- ・「ICTリテラシーI」と合わせて、エントリーレベルの情報処理技術者試験に合格するために必要な知識を学習する。
- ・現代社会で大きな役割を果たしている情報システムにおいて重要な、セキュリティと知的財産権に関して特に詳しく学ぶ。

【概要】 情報システムの基本分野の中からより広く視野を広げて、職業人として必要となる基礎知識を学ぶ科目である。この科目では、ストラテジー系、マネジメント系、テクノロジー系など、現代社会のICTとその使い方を理解するために重要なテーマを、エントリーレベルの情報処理技術者試験に合格できるレベルで学ぶ。特に現代社会で重要なテーマであるセキュリティと知的財産権に関して詳しく扱う。この科目を学ぶことにより、ICT分野への就職に役立つ力を養うことができる。

#### 242221 インターネット・バイ・デザイン I

##### 【到達目標】

- ・インターネットの原理について、その考え方と仕組みについて理解する。
- ・インターネットがデザインされている原理と、その基本的役割について理解する。
- ・インターネットが前提となった社会において、新しい社会をデザインしていく可能性について考えることができる。

【概要】 普段何気なく使っているインターネットであるが、それが人間同士のコミュニケーションや社会に与えている影響は大きく、現代社会にはなくてはならないインフラにまで成長した。本講義では、インターネットが一体どうデザインされているのか、その仕組みを述べ、どのような役割を担っているのかを紹介しながら、インターネットとはどのようなものなのかについて講義する。そこから、インターネットを前提とした社会をデザインしなおす可能性について展望する。

#### 242222 インターネット・バイ・デザイン II

##### 【到達目標】

- ・インターネットの利点と問題点について理解する。
- ・インターネットが前提となったときに、社会にどのように影響を与えどのような役割を担

っているか理解を深める。

- ・インターネットが前提となった社会において、自分の活動・生活をどうデザインすべきかを自律的に考え行動できる。

**【概要】** 今やさまざまな局面でインターネットが利用されている。必要な情報を容易に取得できる利点もあるが、ウィルス被害や個人情報流出といった問題点も存在する。本講義では、社会においてインターネットがどのように利用されているかを見ながら、インターネットに求められていること、インターネットの可能性について考える。特に、社会基盤としてのインターネットに求められている、セキュリティに関する問題や新しいコミュニケーションのデザイン、新しい社会の仕組みの創出について学ぶ。

#### 242223 Web デザイン

##### **【到達目標】**

- ・現代 ICT 社会の中核をなす Web 技術を、開発側とユーザ側の両方の視点で理解する。
- ・モバイルを始めとした Web デザインを理解する。
- ・卒業研究で使用できるようなプロトタイプを制作することができる。

**【概要】** Web は現代の ICT 社会の中核をなす技術とメディアになっている。このような背景を念頭に置いて、Web 技術 (HTML と CSS) の基本を取得した学生を対象に、情報アーキテクチャ、Web 開発のフレームワーク、モバイルデザインなどを紹介しながら、卒論で使うプロトタイプや外部発表できるような Web 作品を制作することを目標とする科目である。ユーザビリティとアクセシビリティに配慮した Web の開発と評価についても、実践的体験によって学ぶ。

#### 242224 SNS コミュニティデザイン

##### **【到達目標】**

- ・様々な SNS の特徴を体系的にまとめることができる。
- ・SNS でのコミュニケーション行動を理解できる。
- ・SNS コミュニティデザインの事例を知り、その評価方法を考えられる。
- ・SNS コミュニティデザインの可能性について考えられる。

**【概要】** 本科目は、インターネットを用いたコミュニケーションであるソーシャル・ネットワークワーキング・サービス (SNS) を取り上げる。まず、現在の主流の SNS を中心にその特徴を体系的に学ぶ。また SNS でのコミュニケーション行動、コミュニティを様々な角度から理解する。そして、学校や企業、地域での SNS の活用例をもとにして、より深く SNS の特徴やコミュニティデザインについて学ぶ。さらに、授業の中で SNS コミュニティデザインの実践を体験し、その評価方法を検討し評価することで、SNS コミュニティデザインの可能性を考える。

#### 242225 ユーザニーズ分析

#### 【到達目標】

- ・ユーザ要求の分析の重要性を理解する。
- ・講義内で扱った各種手法の適用場面と適用方法を習得する。
- ・ユーザの要求を的確に理解し、適切に文書として記述することができる。

【概要】 開発したいものがあつたとき、それをどのようなものとして開発するかを決定すること、つまり開発したいものに対する要求を分析することは、ものづくりの最初のステップである。このときに行うことは、開発するものに対する関係者(ステークホルダ)をリストアップし、ステークホルダからの要求を引き出す。その要求について、ステークホルダ同士の意見の衝突を調整し、実現可能な形にまとめ、最終的に文書として記述することである。本講義では、まず、適切にユーザ要求の分析がなされることの重要性について学ぶ。そして、ステークホルダの中でも特にユーザからの要求を中心に、各段階で利用できる手法を学習する。

#### 242226 コミュニケーションと女性のキャリア

#### 【到達目標】

- ・情報化によるビジネス環境の変化や女性の働き方に及ぼす影響を理解する。
- ・企業における ICT の活用方法を理解し、職業倫理を養う。
- ・ダイバーシティやワークライフバランスの重要性を認識する。

【概要】 現在、私たちにとって ICT の活用は必要不可欠なものになりつつある。このことによって働き方も変化している。本授業では、社会の情報化の進展や情報システムについて理解し、その上で、情報化によってビジネス環境がどのように変化しているのか、企業において ICT がどのように活用されているのかを学ぶ。また、ICT によって労働観がどのように変化したのか、また将来どのように変化していくのかについても議論する。ユニバーサルデザイン視点などに立って、女性の視点での働き方を考える。

#### 242227 多文化コミュニケーション

#### 【到達目標】

- ・多文化とコミュニケーションに関連する学問知識(理論、用語)を習得する。
- ・異文化体験、多文化共生について考える力を養う。
- ・多文化共生時代において、知識を応用する力を養う

【概要】 多文化が共生する現代世界において、人は文化に出会う。自文化との接触にはじまり、他の文化との出会い、他の文化と自分の文化を比較することにより、個人の意識や行動パターンは変化していく。ここでは、多様なルートによる異文化接触の具体的事例を通して、個人が新しい文化や他者との出会いを通してどのように成長し、変化していくかを学ぶ。具体的には「文化とコミュニケーション」に関する研究の流れ、異文化適応・文化人類学・異文化教育・文化心理学などに関する理論について学び、子どもの異文化体験や日本にいる



移民の異文化体験など異文化接触の具体例を紹介し、それについての議論・発表などもおこなう。

#### 242228 対人コミュニケーション（家族）

##### 【到達目標】

- ・対人コミュニケーションのはじまりとなる親子関係・家族関係について、基礎的知識を得る。
- ・家族におけるコミュニケーションの困難が及ぼし得る影響について理解する。

【概要】 人間は、社会的動物である。言い換えれば、人と人との関係を通して自己を形成していく存在である。生まれた直後にはじまる第一養育者との関係と自己理解、さらにそれが対人認知の枠組みを広げていくと考えられる。日常生活における他者とのインタラクションが、他者の認識と自己理解に影響していく。この講義では、発達心理学的視点と社会心理学的視点から、対人関係の基盤となる家族とのコミュニケーションを通しての人間の成長を、生まれてから青年期、老年期まで包括的に検証していく。

#### 242229 対人コミュニケーション（社会）

##### 【到達目標】

- ・対人コミュニケーションの場としての社会、特にビジネス場面でのコミュニケーションについて、基礎的知識を得る。
- ・家族におけるコミュニケーションの困難が及ぼし得る影響について理解する。

【概要】 人間は、社会的動物である。人が生活する場は、家庭から社会へと年齢と共に拡大し、またより多くの他者を相手とすることとなる。ここでは、社会、特にビジネス場面でのコミュニケーションの特徴を学び、葛藤場面でのコミュニケーション、相手を説得するためのコミュニケーションについて分析、理解し、その上で Well-being の高まるコミュニケーションとは何か、を検討していくことを目的とする。

#### 242230 対人コミュニケーション（ジェンダー）

##### 【到達目標】

- ・対人コミュニケーション（言語行動、ポライトネス使用、他者の発話の解釈・推論など）における男女差について基礎知識を得る。
- ・コミュニケーション・パターンの違いが対人コミュニケーションに及ぼし得る影響について理解する。

【概要】 対人コミュニケーションの仕方は、話者の属性によって異なる傾向があり、属性差の主要な例としてジェンダーによる違いがあげられる。コミュニケーション行動の特に言語的な部分を中心に、男女差が、言語形式（男ことば、女ことばなど）にとどまらず、言語行動の選択、フェイス保持やポライトネス使用、含意や推論の仕方など、語用論的行動の多

岐にわたること、そしてそれが異性間コミュニケーションに影響を及ぼし得ることを、日米の調査研究をもとに議論する。また、行動の違いと社会的に期待されるジェンダー像との関わりについても考察する。

#### 242231 ダイバーシティとコミュニケーション

##### 【到達目標】

- ・ダイバーシティとは何かを理解する。
- ・コミュニケーション障害についての、基礎的知識を身につける。
- ・コミュニケーションの違いを通して、障害を持つことを理解し、違いをこえたコミュニケーションの方略を体得する。

【概要】 ダイバーシティとは人間の多様性を表すことばである。国籍、人種や男女といった違いだけでなく、機能的損傷などによるコミュニケーションの相違も含まれる。コミュニケーションの違いを通して、障害を持つことを理解し、違いをこえたコミュニケーションの方略を体得する。この講義では、社会の中でのダイバーシティを理解し、その上でコミュニケーション障害をもつ人をインクルージョンしていく方法について、様々な方策を検討、議論していく。

#### 242232 文化心理学(文化と自己)

##### 【到達目標】

- ・文化心理学(文化と自己について)の基本的知識を習得する。
- ・こころのあり方の多様性を考える力を養う。
- ・文化心理学におけるさまざまな研究手法を理解し、データを読み解く力を養う。

The goal of course will 1)Understanding the concept of cultural self, 2)Understanding the various process of mind, 3)Achieing and understanding the various method

【概要】 異文化に出会うことは、言葉や社会システム、習慣の違いに驚くことでもある。そのような違いは、行動ばかりでなく心理プロセスにも表される。本講義では、心の社会的構造に着目する文化心理学を学ぶ。基本的概念である、文化的自己観と相互構成過程について実証研究から検証していく。特に、東洋で優勢な相互協調的自己観と西洋で優勢な相互独立的自己観に基づく心の違いをながめながら、文化に生きる人を理解することが目標である。 This course reviews the field of cultural psychology. Cultural psychology is centered on several overarching questions such as: Do people in different cultures think, feel, and act differently? How can we begin to understand the cultural variation in psychological processes, and what are the origins of this variation? In the last decade a number of psychologists have used empirical methods of psychology to address these questions. This course reviews and critically examines

this literature. A main focus will be on some Asian countries and cultures, but we will cover different ethnic groups within the United States.

#### 242233 文化心理学(文化と認知)

##### 【到達目標】

- ・文化心理学(文化と認知について)の基本的知識を習得する。
- ・文化の違いがこころのどのレベルで生じるのかを分析する力を養う。
- ・文化心理学におけるさまざまな研究手法を理解し、データを読み解く力を養う。

【概要】 日常生活の中で、ふつうに考え、感じ、行動しながら、"心"は作られていく。本講義では、心の社会的構造に着目し、心と文化について実証研究から検討する。近年の文化心理学的研究の中では、自動処理過程やオンライン過程といった、認知実験研究の文化差が展開されている。西洋では、文化的認知様式として分析的思考が、東洋では、包括的思考がそれぞれ優位となっていることが指摘されてきている。最新の知見を学びながら、文化の中での"心"について理解することを目標とする。

#### 242234 文化心理学(グローバル社会)

##### 【到達目標】

- ・多様な違いをみせる文化の軸、地域、ジェンダー、人種、経済性、社会階級についての基礎的知識を身につける。
- ・さまざまな文化差がこころにどのように変化をもたらすのか、文化心理学におけるさまざまな研究手法から分析する力を養う。
- ・多文化の対立から、多文化共生を導くアイデアを身につける。

【概要】 多文化に出会う現代社会の中では、共生よりもその違いに関心が集まり、それが摩擦を生んでいくことになる。この講義では、こうした多文化社会における地域、ジェンダー、人種、経済性、社会階級における対立の様子を理解し、それらを生むプロセスについて心理学的に分析し、理解した上で、多文化共生を導くアイデアについて、発表、議論していく。

#### 242235 多文化教育

##### 【到達目標】

- ・多文化教育・多文化主義について、基礎知識を身につける。
- ・多文化教育や多文化主義が、多文化共生にどのように関わっているのかを理解する。

【概要】 日本、また多くの国々で、多様な文化の人々が共によりよく生きることのできる社会をめざす多文化共生が、課題となっている。本講義では、多文化主義、多文化教育とは何か、多文化主義・多文化教育はどのように発展し、どう受けとめられてきたのか、多文化共生社会の担い手としてふさわしい基礎知識を身につける。そして、文化の違い者同士が互いに適応し、自分たちが住む社会を共に作っていくために必要なことは何かを考える。

#### 242236 日本語教育研究概論

##### 【到達目標】

- ・日本語教育とはどのような分野であるのか具体的なイメージを身につける。
- ・日本語を客観的に捉えられる力を養う。
- ・社会の中で言語教育が果たしている役割、果たすべき役割を理解する。

【概要】 日本語教育について、関連領域も含めた広い視野から概観し、国内および海外のさまざまな学習者に対して行われる日本語教育の多様性を捉え、日本語教師となるために持つべき資質と能力についての見通しを持つことを目標とする。「日本語教育のための教員養成について」(文化庁、2000)に示された教育内容を踏まえ、「社会・文化・地域」、「言語と社会」、「言語と心理」、「言語と教育」、「言語」の5領域から日本語教育の対象、環境、内容、方法等について考察する。

#### 242237 日本語教育研究概論

##### 【到達目標】

- ・日本語による説明能力を高める。
- ・日本語教育の多様性と関連していることに対する理解を深める。
- ・教室活動の準備や実践方法などを理解し、身につける。

【概要】 日本語教育について、関連領域も含めた広い視野から概観し、国内および海外のさまざまな学習者に対して行われる日本語教育の多様性を捉え、日本語教師となるために持つべき資質と能力についての見通しを持つことを目標とする。多様な日本語学習者の個々について理解するための観点、学習支援の基本である日本語説明能力、日本語教育能力、教室活動を中心に、日本語教師として必要となる知識・能力に重点をおいて考察する。

#### 242238 日本語教育研究

##### 【到達目標】

- ・日本語教育のニーズや学習者の動向について、社会の出来事と関連付けてとらえる視点を身につける。
- ・日本語教育の内容・方法について、社会的要因と学習者個人の要因の両面から考えることができる。
- ・日本語教育が育成すべき能力について、多角的な見方ができる。
- ・自身の日本語に関する知識・運用能力について内省し、課題を見つけることができる。

【概要】 日本語教育について、社会的行為としての言語教育という視点と、個人の認知活動としての言語習得という視点の両面からみることにより、言語教育を動的に捉える力を養う。この講義では、社会的視点を中心に取り上げ、外国語としての日本語教育(JFL)と第二

言語としての日本語教育(JSL)の相違、各国の言語政策や言語教育政策と日本語教育の目標設定の関係を理解することによって、教室での実践事例を広く社会的文脈から分析的に捉える、また、コミュニケーション能力、社会文化能力など日本語教育が育成すべき能力について、諸理論を踏まえて考察する。

#### 242239 日本語教育研究

##### 【到達目標】

- ・日本語教育の内容と方法について、学習者特性や環境等の要因を考慮して考えることができる。
- ・日本語非母語話者とのコミュニケーション場面で必要となる配慮についての知識を得て、実践での様々な工夫を試みることができる。
- ・学習/教育に関する多様な理論や考え方を学び、自身の学習観、教育観を内省し、他者との相違を検討することができる。

【概要】 日本語教育について、社会的行為としての言語教育という視点と、個人の認知活動としての言語習得という視点の両面からみることにより、言語教育を動的に捉える力を養う。この講義では、学習者の認知や学習行動など、個々の言語習得における多様性や個別性について、認知心理学や教育心理学、異文化間教育学など、関連諸領域の研究にも触れつつ学んでいく。諸理論の日本語教育への応用事例を学ぶことによって、4年次の「日本語教育実習」につながる準備とする。

#### 242240 多文化コミュニケーション・デザイン

##### 【到達目標】

- ・コミュニケーションデザインに関する基礎知識を身につけること。
- ・ファシリテーションに関する基礎知識と基礎的实践力を得ること。

【概要】 日本、また多くの国々で多文化化が進む中、社会には様々な複雑な問題が存在している。社会生活に深くかかわる問題の解決には、利害や立場の異なる人々、文化的背景や言語的背景、アイデンティティが異なる人々が当事者として話し合い、協働することが大切である。そのために、人と人、人とモノとのあいだのコミュニケーションをデザインするという視点からのアプローチが求められている。本講義においては、コミュニケーションデザインに関する基礎知識を身につけた上で、実践力を養うために、ファシリテーションに関する基礎知識と基礎的实践力を得ることを目標とする。

#### 242241 ことばと文化

##### 【到達目標】

- ・文化とことばはどのように関連するのか、基礎的知識を体得する。
- ・言語の語彙体系や言語構造、コミュニケーション・パターンと文化の関係を理解する。

・言語と文化の関係について、言語間の相違点ならびに共通点（普遍性）から分析し、理解する。

・異言語および異文化に対する観察力・分析力を身につける。

【概要】 言語の体系（語彙体系など）は、その言語が用いられる社会の文化や習慣と深く関係している。また、表現様式やコミュニケーション・パターンは、社会的な価値観や対人関係のありよう、行動基準となる発想（いわゆる「ものの考え方」）の影響を色濃く受けている。ここでは、言語使用や言語表現のさまざまな事例をもとに、言語とその母語話者の文化的発想との相互関係について学び、異なる言語間に見られる共通性と個別性についても考察する。

#### 242242 言語コミュニケーション能力の発達

##### 【到達目標】

・言語コミュニケーション能力に関する主要な理論的枠組みについての知識を得る。

・言語コミュニケーション能力の発達について、認知や情動、社会性など人間の諸側面の発達や社会文化的環境の影響との関係から理解する。

【概要】 文法的に正しい文を生成する力、目的や場面状況に合わせて適切に談話や文章を構成する力、言語能力の不足やコミュニケーションに問題が生じたときにそれを修復するストラテジー能力など、言語を使用してコミュニケーションを円滑に進める際に必要とされる能力について、主だったモデルを学び、実際のコミュニケーション経験の内省や、第二言語でのコミュニケーションの事例などの考察等を通して、理解を深める。また、言語コミュニケーション能力の発達と認知や情動、社会性等、人間の諸側面の発達との関係を考察していく。

#### 242243 言語の多様性と普遍性 A

##### 【到達目標】

・言語データを分析し、背後にある構造や言語能力のしくみを考える基礎と分析能力を身につける。

・日本語、英語とは異なるタイプの言語に触れ、言語間の共通性や相違点に注目し、言語を相対化して見る視点を身につける。

・人間の言語能力の普遍的特徴が、どのように個別言語の言語現象に反映されているかを理解する。

【概要】 日本語・英語・その他の音声言語や手話言語には、非常に異なって見える現象の背後に共通のシステムを見出すことがある。そのような発見を通して、自然言語において基本要素を組み合わせて複雑な表現を作るしくみや、こどもが周囲の会話を手がかりに母語を獲得する上で必要となる生物学的な基盤と環境との関わりを考える思考法を身につける。履修者の多くにとって、自覚する間もなく習得した日本語、学ぶべき外国語とされている英語を、他の言語と並べて分析する体験を通して、自分が持つ枠組みを相対化して見る姿勢を身につける。

#### 242244 言語の多様性と普遍性 B

##### 【到達目標】

- ・言語の多様性が、人間という種の特性を考える上で、他の認知能力の研究では得がたい手がかりを与えてくれることを理解する。
- ・言語知識の中で、経験を通して学習されるとは考えられない部分について、(1) 仮説を立てて検証し、(2) その仮説が帰結として得られるようなさらに深い仮説を考え、検証するというプロセスにより、演繹的な深さを求める考え方を身につける。

【概要】 世界の言語には、語や形態素の組合せ方、格表示や一致現象の有無、語順やアクセント、省略の可否など様々な違いが見られる一方、全く親族関係のない言語間に同じ規則性が観察されることもある。20 世紀後半以降の言語研究は、個別言語の記述的妥当性を超え、世界の言語の多様性と普遍性に注目してその原因を追求している。このような言語研究の例に出会い、科学的思考を支える考え方を学ぶとともに、言語を通して人間を理解しようとする人間の営みを体験する。

#### 242245 第二言語習得基礎論 A

##### 【到達目標】

- ・第二言語習得の一般的なメカニズムに関する基本的な知識を習得する。
- ・第二言語習得の一般的なメカニズムを踏まえて第二言語の学習や教育について分析する力を養う。
- ・第二言語習得の一般的なメカニズムを踏まえて第二言語の学習や教育について考察する力を養う。

【概要】 本講義では第二言語習得に関する主要な理論や仮説を概観しながら、学習者に共通した第二言語習得の一般的なメカニズムについて理論的に解説する。これらの基礎的な知識の理解をもとに、第二言語学習や第二言語教育の現状を分析する能力を高める活動を実施する。さらに、この分析能力を活用して、第二言語習得の一般的なメカニズムの観点から、第二言語学習のさらなる効率化や既存の第二言語教育の改善のための考察ができるようになることを目指す。

#### 242246 第二言語習得基礎論 B

##### 【到達目標】

- ・第二言語習得の個人差を生じさせる様々な要因に関する、基本的な知識を習得する。
- ・第二言語習得の個人差を生じさせる様々な要因を踏まえて、第二言語の学習や教育について分析する力を養う。
- ・第二言語の習得の個人差を生じさせる様々な要因を踏まえて、第二言語の学習や教育について考察する力を養う。

【概要】 第二言語習得には、学習者に共通した一般的なメカニズムと共に学習者ごとに異なる個人差を引き起こすメカニズムがある。本講義では、後者のメカニズムに関連するさまざまな要因を概観しながら、第二言語習得に見られる個人差について理論的に詳説する。これらの知識の理解を踏まえ、各種の事例を使って第二言語学習や第二言語教育の現状を分析する能力を養う。最終的には、第二言語習得の個人差を引き起こすメカニズムの観点から、第二言語学習の効率化や第二言語教育の改善のための方法が提案できるようになることを目指す。

#### 242247 社会言語学 A

##### 【到達目標】

- ・ 日常的にげなく使っている「ことば」に対する問題意識を持つ姿勢を身につける。
- ・ 「ことば」の多様性を客観的に捉え、探究する力を培う。

【概要】 社会生活の中での言語の諸相とそのとらえ方について、主に日本語の具体事例を取り上げながら学ばせる。日本語の地理的変異に着目し、貴重な言語資料である全国に広がる様々な語の分布から、ことばの生成・発展・衰滅のプロセスをたどっていく。小方言から中核方言への統合現象や衰退する伝統方言に代わる新しい方言の発生・浸透などの実態もふまえ、共通語との接触による方言の変容、それに伴う方言の運用や意識の問題についても考えていく。

#### 242248 社会言語学 B

##### 【到達目標】

- ・ 日常生活における「ことば」の実態や変容を理解する。
- ・ 社会や文化とのかかわりの中で、「ことば」が運用される様子を客観的に捉える力を養う。

【概要】 社会生活の中での言語の諸相とそのとらえ方について、主に日本語の具体事例を取り上げながら学ばせる。日本語の変種を年齢差、性差、場面差などの多角的な視点からとらえ、表現形式や談話構造のバラエティを探っていく。ことばの規範、アイデンティティとことばとの関係を言語意識の側面からとらえ、コードスイッチング、コミュニケーションストラテジー、敬語選択などの言語運用に具現されていく状況を、背後で作用している様々な社会文化的要因を視野に入れながら考えていく。

#### 242249 日本語学（表記・語彙）A

##### 【到達目標】

- ・ 普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を養う。
- ・ 表記・語彙の分野について、共時的通時的観点から捉える力を身につける。



【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。特に現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるように導く。本講義では、表記・語彙の分野のトピックを中心に扱う。共時的観点のみならず通時的観点からの考察も重視し、研究史を踏まえた見方ができるようにする。

242250 日本語学（表記・語彙）B

【到達目標】

- ・ 普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を身につける。
- ・ 表記・語彙の分野について、応用分野も視野に入れながら、自ら考察する力を身につける。

【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。本講義では、表記・語彙の分野のトピックを中心に扱う。対照言語学的視点や、国語教育・日本語教育・コンピュータによる日本語処理等への応用も視野に入れた分析を行う。

242251 日本語学（文法・談話）A

【到達目標】

- ・ 普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を身につける。
- ・ 文法・談話の分野について、共時的通時的観点から捉える力を身につける。

【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。本講義では、主に文法・談話の分野のトピックを扱う。文-文法のみでなく、談話・文章の文法も視野に入れて考察する。共時的観点のみならず通時的観点からの考察も重視し、研究史を踏まえた見方ができるようにする。

242252 日本語学（文法・談話）B

【到達目標】

- ・ 普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を身につける。
- ・ 文法・談話の分野について、応用分野も視野に入れながら、自ら考察する力を身につける。

【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。本講義では、主に文法・談話の分野のトピックを扱う。文-文法のみでな

く、談話・文章の文法も視野に入れて考察する。対照言語学的視点や、国語教育・日本語教育・コンピュータによる日本語処理等への応用も視野に入れた分析を行う。

## 基盤演習

### 242301 1年次演習（コミュニケーション）

#### 【到達目標】

- ・コミュニケーション研究の概説書等を題材として、要約、発表、ディスカッションなどの能力を身につける。
- ・適切な文献・資料・情報の検索方法を身につける。
- ・主体的な研究につながるレポートの決まりごとについて知り、レポート執筆の能力を身につける。

【概要】 学生は「1年次演習（コミュニケーション）」で、演習という授業形式に初めて参加する。演習では、教員だけでなく、受講生も主体的に、授業の内容を構成していく。高校までの、どちらかというとならざる無批判的な吸収一方の学習スタイルから、批判的で主体的・探索的な学習スタイルへ変わる訓練をする。本演習では、コミュニケーション学への入り口として、適切な文献・資料・情報の検索方法を身につけ、関連文献や資料を読み、内容を吟味し、発表し、討論する。主体的学習の方法を学ぶ過程で、自分の意見をまとめ、レポートを執筆し、プレゼンテーション能力も養う。

### 242302 2年次演習（コミュニケーション）

#### 【到達目標】

- ・コミュニケーション研究の基本概念、専門用語を理解する。
- ・文献検索を行い、学術文献を読解し、正確に要約する力を身につける。
- ・論旨を発表し、ディスカッションするスキルを身につける。

【概要】 「2年次演習（コミュニケーション）」では、コミュニケーション学について「1年次演習（コミュニケーション）」よりも深い学習と議論ができるようにする。そこで2つの工夫をしている。一つは、コミュニケーションのさまざまな分野に視野を広げる目的で、「2年次演習（コミュニケーション）」では学生に少し自分の中心的な関心分野を離れて他の分野について勉強することを奨励する。もう一つは、研究や学習のために必要となった際、困らないように、コミュニケーションに関する英語の文献を教材にするという工夫である。研究分野についての視野とともに、海外での研究にまで視野を広げることができる。学術的な文献を読解し、要約したうえで論旨を発表しディスカッションする能力を身につける。

### 242303 コミュニケーション研究法入門

#### 【到達目標】

- ・質問紙調査、実験、内容分析、質的研究、談話分析を、講義と実習を交えて習得する。
- ・卒論作成に向けて基礎的な研究方法を習得する。
- ・前期で学んだ「コミュニケーション統計法1」を前提に、基本的なデータ分析方法を習得する。

【概要】 コミュニケーション研究は学際的であり、社会学や心理学などさまざまな学問分野で発達してきた多様な研究方法が用いられている。本講義ではその中で最も重要な5つ（質問紙調査、実験、内容分析、質的研究、談話分析）の研究方法を、講義と実習を交えて学んでいく。また、「コミュニケーション統計法1」を前提に、基本的なデータ分析方法も学ぶ。この授業を通して、各自の興味に合わせて、どのような方法が可能であるかを知り、3年次に選択する上級コースの「コミュニケーション研究法実習」、「社会調査法実習」、「多変量解析」につなげ、さらには卒業研究へと結びつけていく。週2コマの授業。

#### 242304 アプリ作成入門

##### 【到達目標】

- ・プログラムで成り立つソフトウェアを操作して行われる、人間とコンピュータとのコミュニケーションの原理を演習を交えて理解する。
- ・文法の詳細にとらわれることなく、論理的な思考や解決策を明確に記述する能力を身につける。
- ・自分でプログラムを制作して発表する楽しさを体験することができる。

【概要】 前提知識のない初心者でも、プログラミングの基本と楽しさを学ぶことができる演習科目である。GUI プログラム開発環境を用いて、プログラミングに触れたことがない初心者でも文法エラーなどに悩まされることなく、プログラムを制作する。アルゴリズムとデータ構造の初歩、フローチャート、関数、テストの方法を、講師や受講生仲間と協力して、ゲームを制作して発表する過程を楽しみながら学ぶ。

#### 242305 Web プログラミング

##### 【到達目標】

- ・JavaScript を用いたプログラミングの方法を習得する。
- ・アルゴリズムとデータ構造を理解する。
- ・Web 技術（HTML と CSS）の基本を習得する。

【概要】 初心者でも開発しやすいプラットフォームなどを利用して、JavaScript を用いた簡単なプログラミングを制作できるようになる演習科目である。自分でコードを書く練習をしながら、分岐と反復を含んだ基本的なアルゴリズムのパターンと基本的なデータ構造を理解する。また、テストの仕方やデバッグの方法も学ぶ。JavaScript を用いた Web プログラミングで必要となる Web 技術である HTML と CSS の基本も理解する。

#### 242306 Web プログラミング

**【到達目標】**

- ・ JavaScript のプログラム制作ができる。
- ・ オブジェクト指向プログラミングを理解する。
- ・ 計算機科学の考え方を身につける。
- ・ Web 技術 (HTML と CSS) の資格試験に合格することができる。

**【概要】** 「Web プログラミング I」と合わせて、自分が必要とする Web プログラミングを制作できるようになる演習科目である。オブジェクト指向言語としての JavaScript の文法を理解することを目指す。JavaScript を使って、論理的な思考やアルゴリズム考案が身につくような例題を演習する。実践的な課題や練習を多く経験して技術を習得する。自作のプログラムが動く楽しさを経験し、Web 技術の資格試験合格にも挑戦してもらいたい。

## 242307 オーラルコミュニケーションスキルズ

**【到達目標】**

- ・ コミュニケーションを実現するスキルとは何かを理解する。
- ・ インパクトのあるプレゼンテーションを分析し、長所を理解する。
- ・ 自らのコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を身につける。

**【概要】** コミュニケーションスキルとは、ことばの熟達だけでなく、伝える相手の立場や特徴といった背景の理解、分かりやすい資料の作成、相手の心情に訴える表現、発表技能の習得といった、総合的な力を意味する。ここでは、印象的なスピーチ、インパクトのあるプレゼンテーションの分析を通して、その長所を理解する。実践的なコミュニケーション能力を養っていく演習を行う。

## 242308 言語情報処理

**【到達目標】**

- ・ コンピュータで日本語表現を扱う基本的な技術を取得する。
- ・ 日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか考える力を養う。
- ・ データマイニングの基礎的な考え方を身につける。

**【概要】** 日本語 (一般に言語) 表現をコンピュータで扱う技能や、データマイニングについて、その基礎となる考え方を学んでゆく。実際にコンピュータに向かいつつ、基礎的な技術を取得することをめざす。更には、授業時間外の実習によって、より深い理解をはかる。プログラミング言語 (Perl や Python 等) によるプログラミングや、既存のツール (KHCoder 等) による実習を伴う。

## 242309 言語情報処理

**【到達目標】**

- ・コンピュータで日本語表現を扱う応用的な技術を取得する。
- ・日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか、自ら探る態度を身につける。
- ・データマイニングの応用的な技術を身につける。

【概要】 日本語（一般に言語）表現をコンピュータで扱う技能とともに、その基礎となる考え方を学んでゆく。実際にコンピュータに向かいつつ、その応用的な技術・考え方を取得することをめざす。更に授業時間外の実習によって、深い理解をはかる。言語表現・情報をコンピュータによって処理する方法を総合的に把握するとともに、先人が見出してきたものを習得するだけではなく、コンピュータの活用の可能性を自ら探る態度を身につけることを目標とする。

## 発展演習

### 242401 3年次演習（コミュニケーション）

#### 【到達目標】

- ・コミュニケーション研究の専門的知識を身につける。
- ・コミュニケーション研究に関する文献を講読し、理解する。
- ・コミュニケーション研究法についてのスキルを身につける。

【概要】 「3年次演習（コミュニケーション）」では、学生が自らの関心に基づいて演習担当者を選び、その指導のもとに専門領域の知見を増やしなが、次第に自分の研究テーマを深く掘り下げ、自己の問題意識を明らかにし、研究の方法論を確立していく。演習の形式は「2年次演習（コミュニケーション）」までと変わらないが、内容はより専門的で、読む文献も学術雑誌の論文などが中心となる。本演習では文献研究によって問題意識を深めつつ、自分の関心に合ったテーマを探していくことが中心となる。

### 242402 3年次演習（コミュニケーション）

#### 【到達目標】

- ・具体的な研究テーマに関連する学術論文を講読し、理解する。
- ・具体的に研究を遂行するために必要な方法を身につける。
- ・発表とディスカッションを通じて論理的、分析的思考法を身につける。

【概要】 「3年次演習（コミュニケーション）」では、学生が自らの関心に基づいて演習担当者を選び、その指導のもとに専門領域の知見を増やしなが、次第に自分の研究テーマを深く掘り下げ、自己の問題意識を明らかにし、研究の方法論を確立していく。演習の形式は「2年次演習（コミュニケーション）」までと変わらないが、内容はより専門的で、読む文献も学術雑誌の論文などが中心となる。本演習では「3年次演習（コミュニケーション）」よりも具体的に研究を遂行するために必要な方法や概念について議論を深め、4年次に行う

卒業研究の準備を行う。

#### 242403 4年次演習(コミュニケーション)

##### 【到達目標】

- ・卒業研究を遂行するための専門知識を身につける。
- ・卒業研究のデータ収集とデータ分析の具体的方法を習得する。

【概要】 「4年次演習(コミュニケーション)」では、個々の学生の卒業研究と連動させながら、演習が行われる。卒業研究とは、より専門的な知識をもとに、各自のテーマに沿った先行研究のレビューや研究の問題意識の明確化、仮説の設定、実証データの収集、分析、結果の考察、論文執筆にいたる一連の課程である。それらを担当教員の支援を受けながら遂行していく。多くの授業時間外の学習や努力が学生に要求される。

#### 242404 4年次演習(コミュニケーション)

##### 【到達目標】

- ・学術論文の論理的構成と型式を理解し、執筆の方法を身につける。
- ・研究成果のまとめとプレゼンテーションの技法を身につける。

【概要】 「4年次演習(コミュニケーション)」では、個々の学生の卒業研究と連動させながら、演習が行われる。「4年次演習(コミュニケーション)」の期間に、実証データの収集の後、分析、結果の考察、論文執筆、繰り返し加筆修正を行うという一連の過程が行われる。これらを担当教員の支援を受けながら遂行していく。多くの授業時間外の学習や努力が学生に要求される。学術論文の論理的構成と型式を理解し、研究成果をまとめ、説得的にプレゼンテーションする表現技法も身につける。

#### 242405 コミュニケーション研究法実習(実験法)

##### 【到達目標】

- ・人間のコミュニケーションを研究するための方法として、実験法の概要と特徴を理解する。
- ・検証可能な仮説の設定、仮説を検証するための検定方法と、実施可能性を視野にいたった現実的な実験計画の立案ができる。
- ・実験の実施とデータの収集、データ集計・クリーニングから、分散分析や多変量解析を含む統計検定とその解釈をすることができる。

【概要】 人間のコミュニケーションを実証的に研究する上で、仮説を検証するためには最も強力とも言える研究方法である、実験法について実習を通して学ぶ。人間を実験対象(被験者)にする実験のパイオニアである、心理学の領域において蓄積されてきた実験の手法を、研究目的の設定、検証可能な操作的仮説への落としこみ、実験計画の立案、実施、データの整理、統計分析、考察と結論、報告書の作成まで全手順を複数回体験しながら、分析方法に

ついて、単純な差の検定から分散分析、多重比較、重回帰分析、因子分析を実験方法と対にして学ぶ。

#### 242406 コミュニケーション研究法実習（内容分析）

##### 【到達目標】

- ・実習を通じて内容分析を習得する。
- ・実習を通じて基本的な量的データの解析方法を習得する。

【概要】 量的内容分析の方法とそれによって得られたデータの解析方法について、実習を交えて解説する。内容分析とは何か、内容分析にできることとできないこと、内容分析の一般的手続き（サンプルの選び方、コーディングシートの作り方・作成上の注意事項、データの集計方法、データの分析方法、結果のまとめ方）などを、質問紙調査との比較を通じながら詳しく学んでいく。内容分析の基本的な解析方法として、単純集計、クロス集計、 $\chi^2$ 検定、相関係数、t検定などを学ぶ。

#### 242407 コミュニケーション研究法実習（質的研究）

##### 【到達目標】

- ・質的調査の概要と特徴についての理解を深める。
- ・質的調査の多様な方法と分析法について、その違いと特性、目的に応じた手法の選択ができる。
- ・調査計画をたてる際に実行可能性（調査の対象との関係性の構築、匿名性の確保など）を考慮に入れた計画の立案ができる。

【概要】 さまざまな質的データの収集方法（インタビュー＝構造化面接・焦点面接または半構造化面接・非構造化面接、観察、参与観察など）や分析方法について解説する。データを整理、分析し、まとめる作業を行う。テープ起こし、写真等の映像データを、正確に整理し、調査テーマに則して分析する。既存の調査データや先行研究などを活用し、各自の関心を生かしたフィールドワークも織り込みながら、卒業論文で実際にこれらの方法を応用した調査研究を行うことができるよう、事例研究、観察、参与観察などの手法を習得する。

#### 242408 社会調査法実習（質問紙調査）

##### 【到達目標】

- ・社会調査の目的と方法に関する専門知識を習得する。
- ・社会調査を行う上で必要なスキルのうち、先行研究の整理、調査仮説の構築、質問紙の作成、実査の準備、データ入力のコーディングを体得する。
- ・質問紙調査の実査に関わる手続きを体得する。

【概要】 この授業では、社会調査に関する講義を通して、社会調査の目的と方法について理解する。そうした知識を踏まえ、先行研究の整理、調査の企画、調査仮説の構築、質問紙

の作成、サンプリングなどの実査の準備、データ入力のコーディングを、グループを単位とした実習活動によって体得する。さらに、調査の実施に関わるスキル、すなわち調査協力者への協力依頼、調査趣旨の説明、同意の取得、質問紙の配布と回収についても実習を通じて体得する。

#### 242409 社会調査法実習（質問紙調査）II

##### 【到達目標】

- ・社会調査のデータ分析と報告書執筆に必要な知識を習得する。
- ・データ入力とデータ・クリーニングのスキルを体得する。
- ・統計ソフト SPSS を用いてデータの加工とデータの分析を行うスキルを体得する。
- ・社会調査の結果を報告書にまとめるスキルを体得する。

【概要】 この授業では、量的なデータを扱う社会調査においてなぜデータの統計分析が必要であるのか、そのためにはどのようなスキルが必要であるか、調査結果を報告書にまとめる際に必要となる形式的な決まり事についての知識を講義を通して学ぶ。また、実習を通して、データ入力とデータ・クリーニングのスキル、統計ソフト SPSS を用いてのデータの加工と分析に必要なスキルを実習を通して体得する。さらに、グループ単位で調査結果を報告書にまとめる。

#### 242410 多変量解析

##### 【到達目標】

- ・調査や実験データの主な分析方法を理解する。
- ・統計ソフト SPSS を用いて実際のデータ分析を行いながら、主要な多変量解析法を駆使できることを目的とする。

【概要】 この実習では、重回帰分析を中心に多変量解析を用いた調査データの分析法を学ぶ。最初に基本的な分析方法（クロス集計、カイ二乗検定、相関係数、t検定、一元配置分散分析など）の復習や調整変数、媒介変数などの解説をしたのち、重回帰分析、パス解析、ロジスティック回帰分析、二元配置分散分析、主成分分析、因子分析、クラスター分析などを取り上げる。それぞれの分析方法の基本的な解説を加えながら、SPSS を用いて実際に調査データを分析しながら、主要な多変量解析法の習得を目指す。

## 実験・実習



**【到達目標】**

- ・日本語教育の実践を行う教育機関・教室・学習者について理解し、教育実践に関わるための必要な準備を行うことができる。
- ・学習活動の目的を理解し、自分の役割を明確に把握して主体的に行動することができる。
- ・実践を分析的に振り返り、改善の方法を考えることができる。
- ・日本語教育の目的、日本語教師の役割や求められる資質・能力について、自分の経験と他者との共有を通してより深い理解を得る。

**【概要】** 日本語学習支援を行うために必要な「事前準備」「実践」「振り返り（実践に関する評価）」という教育の全体を体験する。

授業ではコースデザイン、授業の設計、教材作成、評価など実践のための重要なポイントの理解と整理を行い、また実践で得た知見や疑問等についてのフィードバックを行う。さらに、実践の評価・改善のために、各自が実践の目標とその評価の観点・方法の設定、評価のためのデータ収集と記録という各ステップを踏んで、振り返りを行う。そのうえで、実習報告会での口頭発表と報告書作成を通して、実践とその振り返りを全員で共有し、経験と得られた知見の共有と、理解の深化を図る。

# 数 理 科 学 科

## 数学基礎

### 250001 微分積分学

#### 【到達目標】

- ・初等関数の定義と性質（定義域、値域、増減など）について正確に理解する。
- ・関数の微分係数と導関数について意味を正確に理解し、計算法に習熟する。
- ・関数の不定積分について定義を正確に理解して種々の計算法に習熟する。
- ・微分や不定積分を種々の具体的な問題に適用できるような応用力を身につける。

【概要】 微分積分学の基本事項について講義する。多項式、有理関数、無理関数、指数関数、対数関数、三角関数、逆三角関数などの初等関数を中心とした1変数関数の微分と積分について体系的かつ確実に理解して応用力を身につけることを目標とする。特に、初等関数の正確な定義とその性質、微分と不定積分の概念とその計算法、微分積分学の種々の曲線や物体の運動などへの応用について基礎からていねいに解説する。本科目は微分積分学の導入授業であり、今後の数学、自然科学、情報学の学習のための基礎となるものである。

### 250002 微分積分学

#### 【到達目標】

- ・定積分の定義とその性質について正確に理解する。
- ・定積分の種々の計算法に習熟する。
- ・テイラー展開の考え方について正確に理解する。
- ・種々の関数のテイラー展開の計算法を身につける。
- ・定積分やテイラー展開を種々の具体的な問題に適用できるような応用力を身につける。

【概要】 「微分積分学」に引き続き微分積分学の基本事項について講義し、2年次以降の数学、情報学、自然科学の学習で必要になる微分積分学の基礎学力を養成することを目標とする。「微分積分学」における初等関数の微積分についての基本的な理解をもとに、1変数関数の微積分とその応用についてさらに深く学ぶ。たとえば微分の平均値の定理の拡張としてのテイラーの定理や、区分求積法などについて詳しく学習する。その過程で関数の近似と微分積分学の深い関連について理解を深める。

### 250003 微分積分学演習

#### 【到達目標】

- ・演習により初等関数の定義と性質（定義域、値域、増減など）について正確な理解力を身につける。
- ・演習により関数の微分係数と導関数について意味を正確に理解し、計算法を身につける。

- ・演習により関数の不定積分について定義を正確に理解して種々の計算法を身につける。
- ・演習により微分や不定積分を種々の具体的な問題に適用できるような応用力を身につける。

**【概要】** 「微分積分学」の講義内容および関連した話題に関する問題演習を行い、微分積分学の基礎事項に習熟すると共に、計算力を養うことを目標とする。各自が自力で演習問題を解くことによって、初等関数の微分積分に対する理解を確実なものにし、正確に計算が行えるようになることをめざす。「微分積分学」の講義では微分積分学の体系的な理解が主眼であるが、ここではその理解を確実にするための基本的な問題演習と、講義では十分に触れられない微分積分の種々の応用に関する問題演習を交えて行う。

#### 250004 微分積分学演習

##### 【到達目標】

- ・演習により定積分の定義とその性質について正確に理解する。
- ・演習により定積分の種々の計算法に習熟する。
- ・演習によりテイラー展開の考え方について正確に理解する。
- ・演習により種々の関数のテイラー展開の計算法に習熟する。
- ・演習により定積分やテイラー展開を種々の具体的な問題に適用できるような応用力を身につける。

**【概要】** 「微分積分学」の講義内容および関連した話題に関する問題演習を行い、微分積分学についての理解を深めると共に、応用力を養うことを目標とする。各自が自力で演習問題を解くことによって、微分積分学の発展的な内容についての理解を確実なものにし、正確に計算が行えるようになることをめざす。「微分積分学」の講義では微分積分学の体系的な理解が主眼であるが、ここではその理解を確実にするための基本的な問題演習と、講義では十分に触れられない微分積分の種々の応用に関する問題演習を交えて行う。

#### 250005 線形代数学

##### 【到達目標】

- ・行列の和・スカラー倍・積を理解する。
- ・行列の基本変形を用いた連立一次方程式の解法を理解する。
- ・多重線形性・交代性を用いた行列式の計算法を理解する。

**【概要】** 線形代数学の基本事項のうち、連立一次方程式や行列式など、計算が求められる部分に対して、その解法に対する理解と計算力の育成を目標とする。行列の和・スカラー倍・積や転置などの基本的な演算を学ぶ。高校までに学んだ数とは異なり、積が可換とは限らないことなどに注意を促す。行列の基本変形や行列式の計算などの技法を解説し、行列を用いた連立一次方程式の解法や、逆行列の計算方法を学ぶ。平面及び空間の幾何ベクトルに対する復習も行い、行列式と体積の関係など、その幾何学的解釈も示す。

## 250006 線形代数学

### 【到達目標】

- ・種々の例を通じて一次独立の概念を理解する。
- ・ベクトル空間の基底と次元の概念を理解する。
- ・線形写像の概念を理解する。
- ・行列の対角化判定定理について知る。

【概要】 線形代数の基本事項のうち、ベクトル空間と線形写像という抽象的概念に馴染みを深め、その応用として行列を対角化する方法を理解することを目標とする。幾何ベクトルを全体として考えることの重要性を強調して、ベクトル空間という概念を導入し、一次独立性や基底、次元の概念について解説する。また、数ベクトル空間上の線形変換が行列による積で表現されることから行列の意味を示す。行列の対角化判定定理を解説し、対角化の実践方法に対する詳しい説明を与える。

## 250007 線形代数学演習

### 【到達目標】

- ・行列の和・スカラー倍・積を計算できる。
- ・行列の基本変形を用いて連立一次方程式が解ける。
- ・多重線形性・交代性を用いて行列式を計算できる。

【概要】 「線形代数学」の講義内容に対する補足説明及び問題演習を通じて、理解の定着と計算力を養うことを目標とする。目標達成のため、基本的な演習問題を与え、学生各自がそれを自力で解くことを求める。この訓練を通じて、連立一次方程式の解の構造を正しく把握し、行列の階数や行列式が正確に計算できるようになることを目指す。時には、基本レベルから多少進んだ演習問題を提出して、意欲ある学生が理解と応用力を向上させるための手助けとする。

## 250008 線形代数学演習

### 【到達目標】

- ・数ベクトルや多項式などの具体例について、一次独立性や基底かどうかの判定ができる。
- ・具体的な部分空間の次元が計算できる。
- ・写像が線形かどうか判定ができる。
- ・具体的な行列について、その固有値と固有ベクトルを計算できる。
- ・行列の対角化判定定理を用いて対角化ができる。

【概要】 「線形代数学 II」の講義内容に対する補足説明（特に実例）及び問題演習を通じて、抽象概念に対する理解と計算力を養うことを目標とする。目標達成のため、学生各自に、定義を繰り返し述べること、定義に基づいた確認を自力で行うこと、行列の対角化に関しては演習問題として与えられた実例を解くことを求める。この訓練により、ベクトル空間

と線形変換、ベクトルの一次独立性、基底などの抽象概念を体得させる。対角化判定定理を用いた対角化の実践について十分に習熟させる。

## 関連科目

### 250901 経済数学

#### 【到達目標】

- ・経済学で用いる基本的な数学を理解する。
- ・経済学を数学を使って理解するために必要な計算能力を身につける。

【概要】 経済学を皮相的ではなく、本格的に理解し、その本質を見極めようとするならば、数学の基礎をしっかりと固めて、ミクロ・マクロ経済学を数学的に理解することが必要である。そのため、この科目では、経済学を理解するために必要となる基本的な数学の手法を身につけることを目的とする。経済学の分析の面白さとその論理性を理解するための基礎として、この科目は開講される。本授業のスケジュールに従って数学的手法を身につければ、たいいていの経済学の論文は読みこなせるようになる。

### 250902 ゲームの理論

#### 【到達目標】

- ・ゲーム理論とは何か、概略を理解する。
- ・戦略形ゲームについて、解法を習得する。 支配される戦略の連続消去による支配戦略均衡、最適反応戦略による純粋戦略ナッシュ均衡 混合戦略ナッシュ均衡 連続形ゲームのナッシュ均衡・展開形ゲームについて、後ろ向き帰納法による部分ゲーム完全均衡の解法を習得する。
- ・無限繰り返しゲームの長期的関係を理解する。
- ・不完備情報ゲームにおける、純粋戦略ベイジアン・ナッシュ均衡の解法を習得する。
- ・簡単なゲームをモデル化し、分析・考察できる。

【概要】 ゲーム理論は、集団において、何らかのルールに従って行動する複数の主体の意思決定が戦略的に相互に影響を及ぼし合う状況を分析する。この主体間の相互依存関係を取り扱うゲーム理論は、経済学にとどまらず、経営学、政治学、社会学、さらに生物学等、広範な分野で有効な分析道具となっている。とりわけ、不完全競争市場における企業等の戦略的行動を分析するミクロ経済学の習得には必須であろう。この授業では、身近な経済の例を用いて、わかり易く解説する。

#### 250903 経営ファイナンス論

##### 【到達目標】

- ・資金調達の仕事とその方法について理解できるようにする。
- ・最適ポートフォリオの選択が出来る技術を習得する。
- ・資産運用についてのリスクの考え方ができるようにする。

【概要】 企業が事業を始めるとき、どのように資金調達をするべきか、そして企業が資産を持っているときに、それをどのように運用するかは企業の発展を左右する重要な決定事項である。資金調達の仕組みや方法、そして資産運用の仕組み、リスクへの対応、その成果の把握などについて、この授業では取り扱う。ファイナンスを考える以上、数学的あるいは統計学的な考え方は必須である。特に動学的、動態的な考え方は重要である。このことから数学、統計学に関する最低限の知識は身につけておいて欲しい。

#### 250904 文理融合演習 A

##### 【到達目標】

- ・人文学、哲学、自然科学、社会科学の融合領域の文献を精確に読解する力を身につける。
- ・自分の専門領域とは異なる方法論がどのようなものであるかを理解し、それによって自身の専門領域の方法論を相対化した上で、自身の方法論の意義をより深く理解する。
- ・共通の問題を異なる学問領域からの視点で考察することを通じて、その問題の多様性を理解する。
- ・異なる学問領域を学ぶ他の参加者に、自身の専門領域での議論の仕方とその成果を明確かつ論理的に説明する能力を養う。
- ・異なる学問領域での方法論や成果を自分の専門領域で活かす力を身

【概要】 人文学、哲学、自然科学、社会科学という異なる学問の融合領域での文献を読み、異なる専門の学生同士での討論を通じ、そこで論じられている問題の多角的かつ重層的な理解を目指す演習である。具体的には、「科学史」「数学史」「数学の哲学」(確率論や、近代数学と近代哲学との関係など)「物理学の哲学」「生物学の哲学」「意思決定の哲学」(ゲーム理論を考察するもので、哲学、数学専攻、情報理学専攻の学生の他、経済学、社会学専攻の学生も参加可能)などを論じた文献を読み、異なる学問領域の方法論を学びながら、自身の専門領域での議論にそれを活かすことを試みる。その過程で、異なる専門の学生に、自分の専門領域での方法論や成果を明確に説明する能力を身につけると同時に、自身の方法論のより深い理解につなげることを目指す。

#### 250905 文理融合演習 B

##### 【到達目標】

- ・人文学、哲学、自然科学、社会科学の融合領域の文献を精確に読解する力を身につける。
- ・自分の専門領域とは異なる方法論がどのようなものであるかを理解し、それによって自身

の専門領域の方法論を相対化した上で、自身の方法論の意義をより深く理解する。

- ・共通の問題を異なる学問領域からの視点で考察することを通じて、その問題の多様性を理解する。
- ・異なる学問領域を学ぶ他の参加者に、自身の専門領域での議論の仕方とその成果を明確かつ論理的に説明する能力を養う。
- ・異なる学問領域での方法論や成果を自分の専門領域で活かす力を身

**【概要】** 人文学、哲学、自然科学、社会科学という異なる学問の融合領域での文献を読み、異なる専門の学生同士での討論を通じ、そこで論じられている問題の多角的かつ重層的な理解を目指す演習である。具体的には、「科学史」「数学史」「数学の哲学」(確率論や、近代数学と近代哲学との関係など)「物理学の哲学」「生物学の哲学」「意思決定の哲学」(ゲーム理論を考察するもので、哲学、数学専攻、情報理学専攻の学生の他、経済学、社会学専攻の学生も参加可能)などを論じた文献を読み、異なる学問領域の方法論を学びながら、自身の専門領域での議論にそれを活かすことを試みる。その過程で、異なる専門の学生に、自分の専門領域での方法論や成果を明確に説明する能力を身につけると同時に、自身の方法論のより深い理解につなげることを目指す。

## 数 学 専 攻

### 解析学

#### 251101 解析学概論

##### 【到達目標】

- ・多変数関数の偏微分と全微分の概念を理解する。
- ・多変数関数の偏微分の計算に習熟する。
- ・多変数関数の偏微分を極値問題等に応用できるようになる。

【概要】 「微分積分学Ⅰ」および「微分積分学Ⅱ」の続きとして、多変数関数についての微分と積分の理論について、適宜問題演習を行いながら体系的に学ぶ。ここでは、主として多変数の関数の微分の理論を学ぶ。多変数の関数に対する微分の本質は、関数を1次関数で近似することにあることを認識し、関数のグラフに対する接平面や法ベクトルなどの幾何学的な対象に関連付けて微分の意味を理解して、微分概念と方法を自由に使いこなせるようにする。また、多変数の関数のテイラー展開を使って、関数の極大極小などの局所的な性質を調べる方法を学ぶ。

#### 251102 解析学概論

##### 【到達目標】

- ・多変数関数の重積分の概念を理解する。
- ・多変数関数の重積分の計算方法に習熟する。
- ・多変数関数の微分と積分を種々の解析学の問題に応用する力を身につける。

【概要】 「解析学概論Ⅰ」に引き続いて多変数関数の微分と積分の理論を体系的に学ぶ。多変数関数の陰関数や逆関数とその存在条件、重積分の定義と計算法およびその応用など。特に重積分の概念を確実に理解することに重点を置く。さらにベクトル値の関数の微分や線積分・面積分などのベクトル解析の入門的な事項、あるいは、関数列の収束と逐次近似法などにも触れる。講義を主体とするが適宜問題演習を行い、基本事項の理解を確実にすると共に計算法に習熟することを目標とする。

#### 251103 解析学の応用

##### 【到達目標】

- ・常微分方程式の意味を理解する。
- ・簡単な常微分方程式の解法に習熟する。
- ・自然現象や社会現象を微分方程式を用いてモデル化する方法を理解する。

【概要】 微分方程式の初歩的な理論とその応用について学ぶ。微分方程式とは、未知関数とその導関数の間に成り立つ関係式のことである。自然現象や社会現象の裏に潜む法則は、



しばしば微分方程式の形に定式化される。ここでは、微分方程式のうち主に常微分方程式、すなわち独立変数が 1 個の微分方程式を扱い、その数学的理論と解法の初歩的部分について、多くの具体例や問題演習を交えながら解説する。具体例として自然現象や社会現象の数理モデルを取り上げ、解析学の応用の一端に触れる。

#### 251104 連続と極限

##### 【到達目標】

- ・数列や級数の極限に関する基本的な事項を理解する。
- ・連続関数の基本的な性質を理解する。
- ・集合と論理に関する正確な表現を理解し使いこなせるようになる。

【概要】 解析学の理論的な基礎付けとして、極限と連続性についての理論を体系的に学ぶ。まず実数の連続性を厳密に表現することを学び、それに基づいて定義される数列や級数の収束や実変数関数の連続性に関して基本的な事項を学ぶ。高校数学や「微分積分学Ⅰ」「微分積分学Ⅱ」などにおいては素朴な意味で展開されてきた収束や連続の概念を、厳密な仕方で理論付けることを学び、解析学のみならず現代数学の幅広い分野で現れる極限を用いた議論を正確に展開する方法を身に付ける。

#### 251105 複素関数論

##### 【到達目標】

- ・複素数とその平面上の表示について理解し、平面幾何への応用力を身につける。
- ・正則関数の定義とその判定法について理解し、種々の関数に適用する力を身につける。
- ・複素数を変数とする初等関数の写像としての性質について理解し、運用能力を身につける。
- ・複素数を変数とするべき級数について正確に理解し、運用能力を身につける。

【概要】 複素数の世界での微分と積分についての基礎的な事項について講義する。まず複素数と複素平面についての基本事項を述べ、複素数の数式による表現とその幾何学的な意味について学ぶ。それを基礎として、今まで実数の世界で考えてきた多項式、指数関数、三角関数などの初等関数を複素数の世界へ拡張する。これらの関数は複素数の世界でも微分可能な関数、すなわち正則関数になっていることを理解する。さらに正則性の判定法、正則関数による写像、べき級数で定義される正則関数などについて学ぶ。

#### 251106 複素関数論

##### 【到達目標】

- ・コーシーの定理や留数定理など複素関数論の基礎となる定理の証明と意味を正確に理解する。
- ・コーシーの積分公式や留数定理などを種々の具体的な問題に適用できるような応用力を

身につける。

- ・正則関数のテイラー展開やローラン展開の意味を正確に理解し計算法に習熟する。
- ・数学を含む理工学の諸分野に複素関数論を応用できる力を身につける。

【概要】 「複素関数論」に引き続き複素関数の微分と積分について学ぶ。複素関数論を体系的に理解して数学を含む理工学への応用力を身につけることを目標とする。まず正則関数の線積分に関して最も基本的なコーシーの定理を証明し、それを基礎として正則関数の諸性質を導く。たとえば線積分と正則関数の定義域の幾何学的な性質との関連、正則関数のテイラー級数展開、特異点のまわりでのローラン級数展開と留数など。さらにコーシーの定理を定積分の計算に応用する。また代数学の基本定理の証明などの理論的な応用にも触れる。

#### 251107 関数解析学

##### 【到達目標】

- ・バナッハ空間の基本的な性質を理解する。
- ・ヒルベルト空間の基本的な性質を理解する。
- ・関数解析の理論を解析学の問題に応用する方法を身につける。

【概要】 解析学を数理学へ応用する際に重要な関数解析学の基本的な事項について講義する。関数解析とは、線形代数や距離空間を始めとする様々な幾何学的な考え方を、適当な条件を満たす関数全体の作る集合(関数空間)において展開する理論である。この授業では、バナッハ空間やヒルベルト空間などの関数解析の基本概念を導入して、基本的な理論を解説し、更にその理論を簡単な関数方程式の解の解析に応用するなど、具体例を通して関数解析の考え方に親しむ。

#### 251108 数理モデルと微分方程式

##### 【到達目標】

- ・自然現象や社会現象をモデル化して微分方程式を導く能力を身につける。
- ・定数係数の線形微分方程式の解法に習熟する。
- ・微分方程式の解の性質など理論的な側面、特に線形代数との関連について理解を深める。

【概要】 「解析学の応用」に引き続き、常微分方程式の基礎理論を、各種の数理モデルを題材として現実の問題と関連付けながら解説する。「解析学の応用」で扱った微分方程式や数理モデルよりやや複雑な数理モデルを取扱い、その過程で、行列の標準形と指数関数、定数変化法、関数の作る空間などの考え方を解説する。特に2個以上の未知関数に関する線形微分方程式について詳しく述べ、線形微分方程式と線形代数学との深い関連について理解を深める。余裕があれば解の存在と一意性や解の性質などの理論的な側面にも触れる。

## 251109 数理解析学

### 【到達目標】

- ・関数の近似法、関数のノルム、種々の関数空間などを、簡単な具体例について理解する。
- ・関数解析を関数方程式の解析に応用する方法の基本を理解する。
- ・関数の作る具体的な関数空間の性質を理解する。

【概要】 関数解析の理論と、関数解析の理論を微分方程式や積分方程式などの解析に応用するための具体的な手法とを、講義する。関数解析は、線形代数や幾何学の考え方を無限次元の空間において展開し、種々の関数方程式の解の存在や一意性の問題などを解決しようとする理論である。関数解析を理解するためには、その抽象的な理論とともに、具体的な関数のつくる無限次元空間の様々な性質を理解することが不可欠である。この授業では、関数のつくる種々の空間の性質を解説し、その関数方程式への応用について講義する。

## 251110 情報解析学

### 【到達目標】

- ・周期関数のフーリエ級数展開について正確に理解し計算できる力を身につける。
- ・デジタル信号の離散フーリエ変換について正確に理解し計算法を身につける。
- ・フーリエ級数や離散フーリエ変換を音声信号などの具体的な現象に適用できるような数理的能力を身につける。

【概要】 フーリエ解析の基本的事項について、特に情報学への応用を目標に解説する。フーリエ解析は、音や電磁波などの波動現象を数学的に解明する道具である。三角関数から出発して、フーリエ級数、フーリエ変換、離散フーリエ変換などのフーリエ解析の基本的手法について解説した後、その音声信号、電波による通信、信号処理、画像処理などへの応用に言及する。フーリエ解析を通して、解析学の手法が情報学をはじめとする理工学分野で不可欠の言語としての役割を担っていることを認識させる。

## 代数学

## 251201 線形代数学

### 【到達目標】

- ・抽象ベクトル空間の公理を理解し、具体例について公理の確認ができる。
- ・数ベクトル空間とは限らないベクトル空間の例について、その基底を求め、次元を計算できる。
- ・線形写像を表現する行列を求め、その核と像が計算できる。
- ・シュミットの直交化法を用いて正規直交基底を計算できる。

【概要】 「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」で学んだ知識をもとに、抽象的なベクトル空間の公理から出発して、線形代数学の一般論を展開する。線形写像が基底を通じて行列表示できること、線形写像の階数や単射性が像と核で決まることを理解する。特に次元公式は今後学ぶ準同型定理の一端であることを紹介する。行列の標準形、最小多項式、双対空間、商空間など更に深

い内容についても簡単な解説を行う。ベクトル空間における計量として内積を導入し、応用上重要となる実対称行列、実直交行列などについて学ぶ。

#### 251202 代数学 A

##### 【到達目標】

- ・ 代表的な群の例について、その扱い方の基本を身につける。
- ・ 群論における基本的概念の意味を、具体例を通じて理解する。
- ・ 群論における基本的定理が述べていることを、具体例への応用を通じて理解する。

【概要】 最も基本的な代数構造である群について、実例を通じた入門を行う。主に、整数の剰余群、整数の剰余環の単数群、置換群、行列群などの代表的な群を取り上げ、これらの群を通じて、部分群、元の位数、コセット、準同型写像をはじめとする群論の基本的な概念の意味を説明し、ラグランジュの定理や準同型定理などの基本的定理が何を述べているのか解説する。「線形代数学 III」および「情報代数学」を履修していることが望ましい。

#### 251203 代数学 B

##### 【到達目標】

- ・ 環・群・体の概念を理解する。
- ・ イデアル、剰余環、準同型の概念を理解する。
- ・ 環の準同型定理が述べていることを、具体例を通じて理解する。

【概要】 環論からの代数学入門を図る。身近な代数構造である整数を一般化・抽象化することで環の概念を導入し、その基本的な性質を説明する。環の可逆元を考えることで環の単数群が得られ、これにより自然に群の概念へと辿り着く。また、逆元による積として除法を定めることで体の概念を理解できるようになる。イデアル、剰余環、環の準同型写像といった環の基本事項を整数の剰余環などの実例を通じて解説し、環の準同型定理の理解を目標として代数系の理論を学んでいく。

#### 251204 情報代数学

##### 【到達目標】

- ・ 拡張ユークリッドの互除法を理解し、実行できる。
- ・ 整数の剰余環を理解し、具体的な計算ができる。
- ・ 可逆元を理解し、オイラー関数が計算できる。
- ・ 素数位数の有限体とフェルマーの定理を理解する。

【概要】 情報科学に活用されている代数学について学ぶ。現在のコンピュータネットワークの時代では、データセキュリティやデータの完全性が基本的な重要性を持つ。その要請に答えるべく、暗号理論、符号理論が展開されてきたが、それらは線形代数学、数論、群論などに基づいている。この授業では初等整数論を通じて整数の剰余環や素数位数の有限体の基

本的な性質を説明するとともに、実践的な計算方法についても詳しく解説する。続いて、暗号や誤り訂正符号の基本を解説し、実社会に応用されている代数学の結果について触れる。

#### 251205 代数学 C

##### 【到達目標】

- ・ 抽象代数学における基本的概念を用いた厳密な論理展開の作法を身につける。
- ・ 軌道分解や類方程式など、群の作用に関する基本事項を理解する。
- ・ 有限群および連続群の構造について基本的知識を身につける。

【概要】 これまでに学んだ代数学に基づいて、抽象的な代数理論を学ぶ。主として群の理論を体系的に展開する。基本概念の意味を丁寧に解説し、基本概念の理解に基づいて行われる厳密な群論の展開を示す。「代数学 A」で触れたラグランジュの定理や準同型定理などを厳密に扱ったのち、群の作用及び有限群や連続群の構造に関する基本的結果とその応用の一端を示す。「代数学 A」および「代数学 B」を履修していることが望ましい。

#### 251206 代数学 C

##### 【到達目標】

- ・ 剰余群や剰余環を通じて剰余構造について抽象的なレベルで理解する。
- ・ 環および加群の準同型定理の応用や体の拡大など、環と体に関する基本的知識を身につける。

【概要】 これまでに学んだ代数学に基づいて、抽象的な代数理論を学ぶ。主として環と体の理論を体系的に展開する。基本概念の意味を丁寧に解説し、基本概念の理解に基づいて行われる厳密な環論および体論の展開を示す。とりわけ、「代数学 A」で登場した剰余群、「代数学 B」で登場した剰余環など、代数系の剰余構造について詳述する。多項式環や行列環など種々の環とその上の加群、体の拡大、特に代数拡大など、環と体に関する基本的結果とその応用の一端を示す。「代数学 A」および「代数学 B」を履修していることが望ましい。

#### 251207 代数学特論 A

##### 【到達目標】

- ・ 数学分野のトピックにおいて、抽象代数学(主に群論に関連する)がどのように応用されるか理解する。
- ・ 抽象代数学(主に群論に関連する)に関する、より進んだ知識を身につける

【概要】 数学の様々な分野において、主に抽象代数学の応用として得られている理論のうち、群論や数論に関係するものを選んで解説する。ガロア理論と方程式の可解性など古典的なものから、群の構造論、有限幾何など純粋数学に属するもの、情報科学など実用面への関連が深い(代数的)符号理論や有限体の理論、代数的組合せ論などからトピックを選んで解説し、いくつかの応用例を紹介する。

#### 251208 代数学特論 A

##### 【到達目標】

- ・ 数学分野のトピックにおいて、抽象代数学(主に群論に関連する)がどのように発展し、応用されるか理解する。
- ・ 代数学分野(主に群論に関連する)における専門性の高い理論を学び、その理論展開を理解する。

【概要】 数学の様々な分野において、主に抽象代数学の応用として得られている理論のうち、群論や数論に関係するものを選んで解説する。トピックは「代数学特論 A1」に引き続く場合が多いが、その場合には「代数学特論 A1」の内容の理解を前提として、更に深い理論展開や進んだ応用について触れる。幾何構造や解析構造など代数学以外の数学領域との関連に触れ、応用数学や情報科学など他分野との関連も解説する。

#### 251209 代数学特論 B

##### 【到達目標】

- ・ 数学分野のトピックにおいて、抽象代数学(主に環論に関連する)がどのように応用されるか理解する。
- ・ 抽象代数学(主に環論に関連する)に関する、より進んだ知識を身につける。

【概要】 数学の様々な分野において、主に抽象代数学の発展理論のうち、環論や表現論に関係するものを選んで解説する。環とイデアルの理論、多元環の構造論と表現論、リー群とリー代数の関係等、純粋数学および数理論理学に関係した理論からトピックを選んで解説する。

#### 251210 代数学特論 B

##### 【到達目標】

- ・ 数学分野のトピックにおいて、抽象代数学(主に環論に関連する)がどのように発展し、応用されるか理解する。
- ・ 代数学分野(主に環論に関連する)における専門性の高い理論を学び、その理論展開を理解する。

【概要】 数学の様々な分野において、主に抽象代数学の応用として得られている理論のうち、環論や表現論に関係するものを選んで解説する。トピックは「代数学特論 B1」のものに引き続く場合が多いが、その場合には「代数学特論 B1」の内容の理解を前提として、更に深い理論展開や進んだ応用について触れる。担当講師と学生の興味に応じて、代数学だけでなく物理学など関連する分野における数学領域の話題や、最先端の研究状況を論ずることもある。抽象的な内容が多くなるため、一般理論だけではなく、具体例の計算も多く取り上げ、実例を通じた理解を図る。

## 幾何学

### 251301 位相数学

#### 【到達目標】

- ・幾何学の基礎となる距離空間の概念を把握し、数学における抽象化、一般化の意味を理解する。
- ・位相空間につながる距離空間の連続写像やコンパクトの概念を具体例とともに習得する。

【概要】 一般の距離空間について講義する。距離関数が定義された集合を距離空間という。高校時代からなじみの深いユークリッド空間も距離空間の一例である。ユークリッド空間を拡張、一般化することを目標に、距離関数の定義、距離空間の例からはじめて、距離空間上の写像の連続性などの事柄について説明していく。また、距離空間は「位相数学Ⅱ」で講義する位相空間とみることもできる。位相空間であるという観点から、距離空間で成立する性質についても詳しく説明していく。

### 251302 位相数学

#### 【到達目標】

- ・距離空間の一般化である位相空間の概念を習得し、距離のない空間の開集合の役割を理解する。
- ・位相空間における連続写像やコンパクト性の概念を理解する。

【概要】 位相空間について講義する。「位相数学Ⅰ」で講義した距離空間を更に一般化し、抽象化したものが位相空間である。幾何学には二種類あり、距離や面積、体積が計算できる微分幾何学と、距離の概念がなく「やわらかな幾何学」と呼ばれている位相幾何学がある。位相幾何学の対象となる位相空間について、位相空間上の写像の連続性やコンパクト性などの性質を説明していく。今までに学習した数学にはない抽象化された概念が登場する。本質的なものを取り出し、一般化するという数学の本質に触れることになる。

### 251303 グラフ理論

#### 【到達目標】

- ・グラフの概念及びその離散数学的な取り扱いを習得し、グラフ理論における標準的な専門知識を習得する。
- ・グラフ理論の典型的な応用例とそのアイデアを理解する。

【概要】 ある2つの集合において、一方の集合から他方の集合の適当な2元部分集合族への写像が定める組み合わせ構造をグラフと呼び、グラフ理論とは、グラフを特に離散数学の立場から調べる研究領域である。グラフ理論は、現代数学のみならず自然科学全般にわたりその離散構造の基幹を成し、幅広く応用されている。この講義では、グラフ理論の基礎事項について解説するとともに、幾つかの応用例を紹介する。

251304 幾何学 A

【到達目標】

- ・位相空間の同相関係を通して、トポロジーの考え方を理解する。
- ・トポロジーの数学的理論を通して、柔軟な思考力と論理的な考察力の双方を身につける。
- ・様々な幾何学的対象を通して、図形の把握力及び数理的空間認識力を身に付ける。

【概要】 トポロジー(位相幾何学)とは、図形を連続的に変形させて形や大きさをまるで変えてしまっても、なお保たれている性質を調べる幾何学である。長さや角度といった図形の「形」や「大きさ」に関わる目に見える情報を無視し、目に見えない情報を調べることでその図形の性質を明らかにする。この講義では、我々のまわりに満ち溢れている様々な図形を通して、トポロジーの発想及びその数学的理論の初歩について解説する。

251305 幾何学 B

【到達目標】

- ・曲面の分類定理を理解する。
- ・基本群を幾何学的なイメージとともに理解する。
- ・基本群の計算ができるようになる。

【概要】 基本群について講義する。代数的位相幾何学において、2つの代表的な位相不変量がある。基本群とホモロジー群である。この授業では、イメージがつかみ易い基本群を取り上げる。位相幾何学では、位相同型なものは同じものとみなす。三角形と円盤の区別がない世界で図形の本質的性質を研究するのが位相幾何学である。ある点から進んで行き、その点にもどる道全体を考える。そこに群の構造を入れたものが基本群である。基本群の基本的な性質やその計算例等について解説する。

251306 幾何学 B

【到達目標】

- ・ホモロジー群を幾何学的なイメージとともに理解する。
- ・簡単なホモロジー群の計算ができるようになる。

【概要】 この授業ではホモロジー群について講義する。位相不変量には、図形そのものから定義するものと図形間の写像から定義するものがある。ホモロジー群は后者であり、まず図形を基本的な図形の集まりとみなす。その基本的な図形の間には写像をつくり、その写像の像と核からホモロジー群が定義される。代数的な要素が強い位相不変量であるが、位相幾何学において最も基本的なものである。ホモロジー群の基本的性質、そして具体的な計算法について講義する。



#### 251307 結び目理論

##### 【到達目標】

- ・結び目の描画を通して、図形の創造力と空間認識力を身に付ける。
- ・結び目の数学的取り扱いと、基本的な研究手法を通して、数理的思考力を養う。
- ・結び目の基本的な不変量を計算でき、また、それを分類問題に応用できる。

【概要】 結び目理論とは、3次元空間内の紐の結び具合や絡み具合を、主に位相幾何学(トポロジー)の立場から研究する学問である。この授業では、結び目理論への入門講義として、結び目の数学的取り扱い、結び目の基本的な研究方法、結び目の不変量の考え方、結び目の不変量の具体的な例とその導出方法について、それぞれ解説する

#### 251308 結び目理論

##### 【到達目標】

- ・結び目と Seifert 曲面の描画を通して、図形の創造力と空間認識力を身に付ける。
- ・結び目の数学的取り扱いと、基本的な研究手法を通して、数理的思考力を養う。
- ・結び目の高度な不変量を計算でき、また、それを分類問題に応用できる。

【概要】 結び目理論とは、3次元空間内の紐の結び具合や絡み具合を、主に位相幾何学(トポロジー)の立場から研究する学問である。この授業では、結び目理論Ⅰに引き続き、結び目理論への入門講義として、結び目の Seifert 曲面、結び目の Seifert 行列と基本同値、結び目の多項式不変量、結び目の局所変形について、それぞれ解説する。

#### 251309 幾何学特論 A

##### 【到達目標】

- ・古典的な結び目不変量と多項式不変量を理解し、多項式不変量について実際の計算が出来るようになる。
- ・有限型不変量とその他の結び目不変量との関係を理解する。

【概要】 位相幾何学のうち、結び目理論の最近の話題について解説する。結び目不変量には、自然数の値をとるものや多項式の形をとるものなどがある。多項式不変量は、量子群不変量に一般化され、更に有限型不変量としても特徴付けられている。まず、多項式不変量について解説し、量子不変量にふれる。有限型不変量の解説を行い、有限型不変量と他の不変量との関係について説明する。

#### 251310 幾何学特論 A

##### 【到達目標】

- ・有限型不変量と局所変形との関係を適切に理解する。
- ・仮想結び目の概念を理解する。
- ・仮想結び目や空間グラフの有限型不変量を理解する。

【概要】 「位相幾何学 A」に引き続き、結び目理論の最近の結果について解説する。結び目の射影図において、結び目の一部分が変形される操作を局所変形とよぶ。ある局所変形と

有限型不変量が密接な関係をもっている。その関係について説明していく。また、仮想結び目や空間グラフを説明し、結び目理論において多くの関心を得ている最近の話題を選び、解説していく。

#### 251311 幾何学特論 B

##### 【到達目標】

- ・位相多様体の概念を理解し、多様体の理論における標準的な専門知識を習得する。
- ・多様体のホモロジー理論を通して、多様体の向きの概念を数学的に正しく理解する。

【概要】 多様体のホモロジー理論について講義する。多様体とは、大雑把に言うと局所的には Euclid 空間であるような空間のことであり、球面や球体、我々が住む宇宙などは全て多様体の例である。この講義では、これら多様体に共通する基本的な性質が、ホモロジー群と呼ばれる代数的な道具を用いて美しく捉えられることを解説する。余裕があれば多様体のコホモロジー、及び双対定理についても触れる。

#### 251312 幾何学特論 B

##### 【到達目標】

- ・可微分多様体の概念及びそのアイデアを理解し、その標準的な基礎知識を習得する。
- ・可微分多様体の微分同相の概念を理解する。

【概要】 位相多様体には、その各点の近傍が Euclid 空間であることから局所的に座標を描くことができ、そのことを利用して可微分多様体の概念が得られる。可微分多様体は現代の数学、特に微分幾何学、微分位相幾何学における主要な対象である。この講義では、可微分多様体の標準的内容について、具体例を豊富に織り交ぜながら詳しく解説する。また、微分位相幾何学における中心的な概念である可微分多様体の微分同相についても説明する。

## 確率論・統計学

#### 251401 確率統計

##### 【到達目標】

- ・確率空間とその上に定義された確率変数およびその分布の数学的な定義と意味を理解する。
- ・期待値、分散、共分散の計算が自由にできる。
- ・大数の法則と中心極限定理の意味をきちんと理解する。

【概要】 数学の一分野としての確率論の基礎を理解することを目的とする。まず確率空間の公理をルベーグ式の測度論を持ち出さない範囲で出来るだけ厳密に述べた後、ランダムな現象をモデル化するために確率変数を導入する必要性を解説する。次に確率変数の分布の定義とその意義を説明し、分布の特性量としての期待値、分散、共分散等の定義とその計算方

法を解説する。またチェビシェフの不等式とその応用としての大数の法則を説明し、最後に中心極限定理まで解説する。

#### 251402 確率統計

##### 【到達目標】

- ・ ランダムサンプリングを確率論的にモデル化するとどうなるかを理解する。
- ・ 統計的推定とは何かを具体例に即して理解する。
- ・ 統計的検定とは何かを具体例に即して理解する。

【概要】 統計学の基本的手法である推定論と検定論の初歩について講義する。数理統計学の立場から、その基礎となる理論の根拠やその具体的手法について、具体的な例を使いながら解説をする。最初に独立同分布確率変数列によってランダムサンプリングがモデル化されることを詳しく説明した後、推定論や検定論が確率論的には何を意味するかを解説することによって、統計学的分析から得られた結論について正確に理解できることを目指す。

#### 251403 数理モデルと確率論

##### 【到達目標】

- ・ 1次元ランダムウォークについての具体的な計算ができる。
- ・ 一般のマルコフ連鎖の定義と基本的な性質を理解する。

【概要】 数理モデルとして用いられる確率過程の中で基本的なマルコフ連鎖について講義をする。まず最も簡単なマルコフ連鎖である1次元対称ランダムウォークについて組み合わせ論的な計算によって導かれる結果を解説する。次により一般のマルコフ連鎖に対する状態空間の再帰的同値類と非再帰的集合への分解等について解説した後、その応用として出生死亡過程、待ち行列、分枝過程等についての解説をする。

#### 251404 数理モデルと確率論

##### 【到達目標】

- ・ マルコフ連鎖の収束定理の内容を理解しかつ具体例についての計算ができる。

【概要】 「数理モデルと確率論」に続いてマルコフ連鎖についてより詳しく論じる。特にマルコフ連鎖の分布に関する収束定理について論じる。まず定常分布と状態の周期に関して、その定義と関連する定理について解説する。次に非周期的な状態の遷移確率の収束に関しての基本定理を詳しく解説する。最後に周期的な状態についての収束定理について解説後、周期的な状態を含む一般的な場合の収束定理について解説する。

#### 251405 確率統計特論 A

##### 【到達目標】

- ・ ポートフォリオ選択理論とは何かを理解する。

- ・さらに 2 項モデルを用いたデリバティブの価格付け理論を数学的に正しく理解するとともに、得られた結果の意味を正しく理解する。

【概要】 数理ファイナンスの入門についての解説を行う。「確率統計特論 A」ではまず必要な確率論の知識を整理して簡潔に解説する。次にポートフォリオ選択理論に関する一般論の解説を行う。さらにデリバティブの価格付け理論を離散時間モデルを用いて解説し、2 項多期間モデルの極限としてブラックショールズの価格公式が得られることを簡単に紹介する。

#### 251406 確率統計特論 A

##### 【到達目標】

- ・離散時間マルチンゲールを正しく理解し具体例について計算できる。
- ・離散時間モデルを使ったデリバティブの価格付け理論を正しく理解する。

【概要】 「確率統計特論 A」に続いて数理ファイナンスの入門についての解説を行う。まずルベグ積分論に基づく確率論の中で使われる定理や定義の中で講義に使う必要のあるものについて簡単にまとめて解説する。さらに条件付期待値の概念を例を交えて解説し、それを使ってマルチンゲールの概念を解説する。離散時間モデルの極限として連続時間モデルが得られること、また、伊藤の公式やブラックショールズの公式について簡単に紹介する。

#### 251407 確率統計特論 B

##### 【到達目標】

- ・多変量解析の種々の手法を正しく理解する。
- ・PC を使って実際の観測データに多変量解析を行う実習を行うとともに、その結論の意味と限界を理解する。

【概要】 多変量解析の基本的な手法とその理論についての解説を行う。講義内容は重回帰分析、主成分分析、判別分析、数量化分析である。単なる計算手法の解説や統計パッケージの使い方の説明だけではなく、それらの解析手法が依って立つ数理統計学に基づく理論的背景についても詳しい解説を行う。講義と並行してパソコン用のソフトを使って模擬データや実際のデータについて計算を行い、その出力結果の意味について解説する。

#### 251408 確率統計特論 B

##### 【到達目標】

- ・時系列解析の目的とその基礎となっている数学的理論を正しく理解する。
- ・実際のデータを解析して得られた結果の意味を正しく理解できるようになる。

【概要】 時系列解析の基本的な手法とその理論についての解説を行う。まず時系列の基本的モデルである、(トレンド) + (季節変動) + (定常過程) のモデルについての解説を行い、次にトレンドと季節変動についてのいくつかの推定法について解説を行う。ついで定常

過程の一般論について説明した後、いくつかの代表的な定常過程モデルについて、その性質と予測についての理論を解説する。最後にトレンドと季節変動の推定値を合わせた時系列全体の予測についての解説を行う。講義と並行してパソコンソフトによる計算も行う。

## 情報科学

### 251501 情報学概論

#### 【到達目標】

- ・ 情報科学の各分野を勉強していくための基礎知識を身につける。
- ・ コンピュータで扱われている数値の表現方法を理解する。
- ・ 論理演算のしくみを理解する。

【概要】 情報科学とは何か、人間の歴史における情報活動の変化やコンピュータの歴史など一般的な事柄、コンピュータの基本構成（アーキテクチャ）について概説し、何気なく使っているコンピュータについて理解を深める。次に、情報の大きさについての尺度となる情報量について学ぶ。さらにコンピュータでの情報の表現方法（補数表現、文字コード）、コンピュータの言語と考え方（プログラミング、アルゴリズム）について解説し、演習問題を通して理解を深める。

### 251504 プログラミング

#### 【到達目標】

- ・ コンピュータ言語の仕組みを理解する。
- ・ 簡単なプログラムを作成する知識・技能を習得する。
- ・ プログラムに用いられるアルゴリズムについての知識を習得する。

【概要】 コンピュータに作業させるには、プログラムを書いて実行させる必要がある。プログラムとは何か、プログラムを実行させるとはどういうことかを、実際にプログラムを作成し、結果を確認することで理解する。どのような処理を行うプログラムを作成したいか、そのためにはどのような順序で何を書けばよいか、アルゴリズムを考えながら作成する。なお、取り上げるプログラミング言語は Python, C, Java など一般的によく用いられる言語の中から1つを指定する。

### 251505 数値計算

#### 【到達目標】

- ・ 数値計算のアルゴリズムを理解する。
- ・ アルゴリズムに基づき、電卓などを用いて数値計算ができる。
- ・ 数値計算のプログラムを読んで理解する。
- ・ 数値計算のアルゴリズムの性質や誤差を理解する。

- ・数値計算のプログラムを作成する。

【概要】 自然科学、社会科学、工学などの問題をモデル化し数学の問題として定式化した後、場合によっては数値計算により近似解を求めたり、数値計算を用いた可視化を行う。本講義では問題解決のために数値計算を利用する上での初歩的な事項や数値計算法を理解し修得することを目的とする。各項目に対し数学的背景を述べた上で、アルゴリズムは素朴なものと標準的なものを取り上げる。それぞれのアルゴリズムに対し、電卓やコンピュータを用いた実習を行う。

#### 251508 情報と職業

##### 【到達目標】

- ・教職課程にこの科目が設置されたことの重要性や意義を理解する。
- ・情報社会に関するさまざまな調査資料や白書などを見て、職業や労働の状況についての理解を深める。
- ・情報社会での働き方、職業人としての生き方に対して、自分なりの心構えを持つことができる。

【概要】 情報を学ぶ生徒・学生が情報関連の職種へ就職する場合に必要な進路指導のあり方について学ぶ。情報社会における産業構造と職業構造の変化、情報関連職種への就業に必要な基礎知識、および、情報関連分野の業務内容について解説する。その上で、情報関連職種に就業することの実情を多面的に理解させることを通じて、職業適性について考え、職業人としての役割や責任を自覚することの重要性を説く。さらに、職業意識や倫理観、情報関連職種のキャリアパス、専門性の習得など、情報社会における人材育成のあり方について説く。

#### 251514 計算幾何学

##### 【到達目標】

- ・計算幾何学における代表的な問題を理解する。
- ・問題を解くために使われるアルゴリズムを理解する。

【概要】 計算幾何学の基礎について講義する。幾何学的な問題を解くために効率の良いアルゴリズムやデータ構造を見つけ問題を解くのが計算幾何学である。この分野で扱われている様々な問題のうち、凸包問題、ドローネ三角形分割問題、線分交差問題、ポロノイ図、美術館監視問題、最短路問題、ナップサック問題、巡回セールスマン問題など良く知られた問題を取り上げ、基本的な概念を解説し、最適解を得るための様々なアルゴリズムについて説明する。理解を深めるため、実習を行うこともある。

## 応用数理学

### 251616 現代物理学 A

#### 【到達目標】

- ・量子力学の基礎的な理解に基づき、現実的な系にこれを応用する仕方を習得する。
- ・熱力学の基本的概念を習得する
- ・基礎的な量子力学の知識に基づき、統計力学の基本的概念を理解し、その応用の仕方を習得する。

【概要】 まず、量子力学に関する基礎的事項を代表的な現実的力学系（水素原子等）に適用する手法について解説する。次に、物理学の重要な分野である熱力学、統計力学について、その基本的な概念や事柄を、量子力学の基礎的事項を踏まえて紹介する。現実の物質は非常にたくさんの原子、分子の集合体であるために統計的性質が現れる。統計的手法を用いて、例えば温度、圧力、磁荷等の物質の持つ様々な性質（物性）について議論する。

### 251617 現代物理学 B

#### 【到達目標】

- ・物理学、特に現代物理学の法則が数学的にどのように簡潔に表されるのかについて理解する。
- ・現代物理学において、数学的手法によりどのような重要な物理的帰結が得られるかを理解する。

【概要】 特に現代物理学において、物理学の法則がどのように数学的に表現されるか、また逆に、数学的な手法を適用することで、どの様に重要な物理学的帰結がもたらされるのかについて解説する。採り上げるトピックの例としては、弦の振動を用いた波動方程式の導出、固有振動の重ね合わせとしてのフーリエ級数、相対論的量子力学におけるクライン・ゴルドン方程式、シュレディンガー方程式の持つゲージ対称性、対称性と群論、余裕があれば局所ゲージ対称性と素粒子の相互作用、といったものが挙げられる。

## 数理科学シミュレーション

### 251701 シミュレーション A

#### 【到達目標】

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について理解する。
- ・数値シミュレーションに必要な数値計算法の基礎を習得する。

【概要】 数理モデルとシミュレーションの基礎について理解することを目標とする。自然現象などをモデル化して現れる方程式を数値計算によって解き、その現象のシミュレーションを行うことを数値シミュレーションという。数値シミュレーションは、コンピュータの発

展に伴い様々な分野でその重要性を増し、実験とともに理論を検証するための非常に重要な位置を占めるに至っている。この授業では、数理モデルやシミュレーションの基本について、できるだけコンピュータを用いた実習を取り入れながら学習する。

#### 251702 シミュレーション A

##### 【到達目標】

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について十分に理解する。
- ・基礎的な数値シミュレーションのプログラムを作成できる。

【概要】 「シミュレーション AI」に引き続き、数理モデルとシミュレーションの基礎について理解することを目標とする。数値シミュレーションは、(1) 解析対象となる現象をモデル化し、微分方程式で表現する、(2) 微分方程式を有限差分法や有限要素法によって離散化し、コンピュータで計算可能な線形方程式で近似する、(3) 線形方程式をコンピュータで解く、といったプロセスで実行される。この授業では、これらのプロセスの基本について、コンピュータによる実習も含めて学習する。

#### 251703 シミュレーション B

##### 【到達目標】

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について理解する。
- ・様々な不確かさを持つ実現象を対象に、確率論的モデルの有用性を理解する。
- ・基礎的な数値シミュレーションのプログラムを作成できる。

【概要】 不確かさを持つ実現象を確率的な数理モデルとして表現し、コンピュータシミュレーションにより解析を行うための手法を学習する。バスの待ち時間、事故の発生確率など具体的な問題をいくつか取り上げ、数理モデルとシミュレーションプログラムの構築を通して、その重要性を理解する。主に、擬似乱数を用いたモンテカルロ法、ベイズ推定などの手法を学ぶ。数値シミュレーションを行うための計算機科学に関する知識を習得するために、コンピュータを利用した実習を取り入れながら講義を進める。

#### 251704 シミュレーション B

##### 【到達目標】

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について十分に理解する。
- ・様々な不確かさを持つ実現象を対象に、確率論的モデルを構築できる。
- ・基礎的な数値シミュレーションのプログラムを作成し、その結果を解析することにより、現象を理解する能力を身につける。

【概要】 「シミュレーション BI」に引き続き、確率現象のモデル化とシミュレーションについて講義する。待ち行列モデル、一般線形モデル、ベイズフィルターなどの中からいくつかを取り上げて解説し、それらをコンピュータに実装するためのアルゴリズムとプログラミ



ングの方法を学ぶ。コンピュータネットワークの性能解析、センシングデータからの状態推定など具体的な問題をいくつか取り上げて数理モデルとシミュレーションプログラムを作り、それを用いたシミュレーションの結果を解析することにより、モデル化とシミュレーションの有用性を学ぶ。

## 基盤演習

251801 1年次演習（数学）

### 【到達目標】

- ・大学において現代の数学を学ぶために不可欠である、論理記号の取り扱い、及び数学的内容の簡潔な表現方法を身につける。
- ・現代の数学を記述するための全ての基本である、集合と写像に関する標準的な専門知識を習得する。
- ・レポート作成のマナー、文献調査方法、著作権等の扱い、プレゼンテーションなど、知的思考活動における基本的能力を身に付ける。
- ・プログラミングの基本的な概念を理解する。

【概要】 数理科学科数学専攻において現代の数学を深く学んでいくための初年度教育として、数学において抽象概念を簡潔かつ的確に記述するために欠かせない論理記号及びその使用法、並びに現代の数学における基礎的な言語である集合と写像の概念及びその数学的取り扱いについて解説を行なう。また、数理科学の教養を幅広く身に付けるため、応用数学・情報数学等の予備知識として、プログラミングの基本的な概念を理解し、簡単なプログラムを作成する。さらに、レポートの作成におけるマナー、文献調査方法と著作権等の扱い、数学的内容に関するプレゼンテーション、数学関連ソフトウェアの基本的な使用法についても触れる。

## 数理科学演習

251803 3年次演習（数学）

### 【到達目標】

- ・数学のテキストを読み、正確に内容を理解する能力を身につける。
- ・数学の内容を正確に表現する能力を身につける。

【概要】 代数学、幾何学、解析学、応用数理学分野から担当教員と履修者が相談の上でテーマを選び、テキストの輪読、問題演習、討論などを通して、理解を深める。学生が、学習内容をゼミにおいて説明し、討論を通して数学の内容を正確に理解する。

## 講究

251804 数学講究

### 【到達目標】

- ・自主的に内容を丹念に確かめながら数学のテキストを読み、内容を正確に理解する能力を身につける。
- ・数学の内容を正確に表現し、わかりやすく解説するプレゼンテーション能力を身につける。
- ・数理科学の諸問題に対する数学の応用について理解する。

【概要】 3年次までの数学の各分野の学習の集大成として、代数学、幾何学、解析学、応用数理学分野から担当教員と履修者が相談の上でテーマを選び、テキストの輪読、問題演習、討論などを通して、理解を深める。学生が主体的に学習を進め、学習内容をゼミにおいて説明し、討論を通して理解を深める。最後に研究成果を卒業研究としてまとめる。これらの学習を通して、数学に対する理解を深めると共に、数理科学的な問題解決能力を養い、またプレゼンテーションの能力を養う。

## 情報理学専攻

### 解析学

#### 252103 解析学の応用

##### 【到達目標】

- ・常微分方程式の意味を理解する。
- ・簡単な常微分方程式の解法に習熟する。
- ・自然現象や社会現象を微分方程式を用いてモデル化する方法を理解する。

【概要】 微分方程式の初歩的な理論とその応用について学ぶ。微分方程式とは、未知関数とその導関数の間に成り立つ関係式のことである。自然現象や社会現象の裏に潜む法則は、しばしば微分方程式の形に定式化される。ここでは、微分方程式のうち主に常微分方程式、すなわち独立変数が 1 個の微分方程式を扱い、その数学的理論と解法の初歩的部分について、多くの具体例や問題演習を交えながら解説する。具体例として自然現象や社会現象の数理モデルを取り上げ、解析学の応用の一端に触れる。

#### 252110 情報解析学

##### 【到達目標】

- ・周期関数のフーリエ級数展開について正確に理解し計算できる力を身につける。
- ・デジタル信号の離散フーリエ変換について正確に理解し計算法を身につける。
- ・フーリエ級数や離散フーリエ変換を音声信号などの具体的な現象に適用できるような数理的能力を身につける。

【概要】 フーリエ解析の基本的事項について、特に情報学への応用を目標に解説する。フーリエ解析は、音や電磁波などの波動現象を数学的に解明する道具である。三角関数から出発して、フーリエ級数、フーリエ変換、離散フーリエ変換などのフーリエ解析の基本的手法について解説した後、その音声信号、電波による通信、信号処理、画像処理などへの応用に言及する。フーリエ解析を通して、解析学の手法が情報学をはじめとする理工学分野で不可欠の言語としての役割を担っていることを認識させる。

### 代数学

#### 252203 代数学 B

##### 【到達目標】

- ・環・群・体の概念を理解する。
- ・イデアル、剰余環、準同型の概念を理解する。
- ・環の準同型定理が述べていることを、具体例を通じて理解する。

【概要】 環論からの代数学入門を図る。身近な代数構造である整数を一般化・抽象化することで環の概念を導入し、その基本的な性質を説明する。環の可逆元を考えることで環の単数群が得られ、これにより自然に群の概念へと辿り着く。また、逆元による積として除法を定めることで体の概念を理解できるようになる。イデアル、剰余環、環の準同型写像といった環の基本事項を整数の剰余環などの実例を通じて解説し、環の準同型定理の理解を目標として代数系の理論を学んでいく。

## 252204 情報代数学

### 【到達目標】

- ・ 拡張ユークリッドの互除法を理解し、実行できる。
- ・ 整数の剰余環を理解し、具体的な計算ができる。
- ・ 可逆元概念を理解し、オイラー関数が計算できる。
- ・ 素数位数の有限体とフェルマーの定理を理解する。

【概要】 情報科学に活用されている代数学について学ぶ。現在のコンピュータネットワークの時代では、データセキュリティやデータの完全性が基本的な重要性を持つ。その要請に答えるべく、暗号理論、符号理論が展開されてきたが、それらは線形代数学、数論、群論などに基いている。この授業では初等整数論を通じて整数の剰余環や素数位数の有限体の基本的な性質を説明するとともに、実践的な計算方法についても詳しく解説する。続いて、暗号や誤り訂正符号の基本を解説し、実社会に活用されている代数学の結果について触れる。

## 幾何学

## 252303 グラフ理論

### 【到達目標】

- ・ グラフの概念及びその離散数学的な取り扱いを習得し、グラフ理論における標準的な専門知識を習得する。
- ・ グラフ理論の典型的な応用例とそのアイデアを理解する。

【概要】 ある2つの集合において、一方の集合から他方の集合の適当な2元部分集合族への写像が定める組み合わせ構造をグラフと呼び、グラフ理論とは、グラフを特に離散数学の立場から調べる研究領域である。グラフ理論は、現代数学のみならず自然科学全般にわたりその離散構造の基幹を成し、幅広く活用されている。この講義では、グラフ理論の基礎事項について解説するとともに、幾つかの応用例を紹介する。

## 252304 幾何学 A

### 【到達目標】

- ・ 位相空間の同相関係を通して、トポロジーの考え方を理解する。
- ・ トポロジーの数学的理論を通して、柔軟な思考力と論理的な考察力の双方を身につける。
- ・ 様々な幾何学的対象を通して、図形の把握力及び数理的空間認識力を身に付ける。

【概要】 トポロジー(位相幾何学)とは、図形を連続的に変形させて形や大きさをまるで変えてしまっても、なお保たれている性質を調べる幾何学である。長さや角度といった図形の「形」や「大きさ」に関わる目に見える情報を無視し、目に見えない情報を調べることでその図形の性質を明らかにする。この講義では、我々のまわりに満ち溢れている様々な図形を通して、トポロジーの発想及びその数学的理論の初歩について解説する。

## 情報科学

### 252501 情報学概論

#### 【到達目標】

- ・ 情報科学の各分野を勉強していくための基礎知識を身につける。
- ・ コンピュータで扱われている数値の表現方法を理解する。
- ・ 論理演算のしくみを理解する。

【概要】 情報科学とは何か、人間の歴史における情報活動の変化やコンピュータの歴史など一般的な事柄、コンピュータの基本構成（アーキテクチャ）について概説し、何気なく使っているコンピュータについて理解を深める。次に、情報の大きさについての尺度となる情報量について学ぶ。さらにコンピュータでの情報の表現方法（補数表現、文字コード）、コンピュータの言語と考え方（プログラミング、アルゴリズム）について解説し、演習問題を通して理解を深める。

### 252502 アルゴリズムとデータ構造

#### 【到達目標】

- ・ アルゴリズムとデータ構造を理解する。
- ・ アルゴリズムを具体例に適用できる。
- ・ アルゴリズムの時間計算量を理解する。
- ・ データ構造を用いて記述したアルゴリズムのプログラムを読んで理解できる。
- ・ データ構造を用いてアルゴリズムのプログラムを作成できる。

【概要】 情報処理科目の「情報処理技法(Cプログラミング)II」,「情報処理技法(Javaプログラミング)II」, および学科科目の「プログラミング」に続く科目である。良いプログラムを作成するためには、適切なアルゴリズムとデータ構造を選択する必要がある。そのため、リストや木などを用いた基本的データ構造、整列や探索などの基本的アルゴリズムとその計算量などについて、コンピュータを用いた演習を交えながら講義する。基本事項の習熟に重点を置く。

### 252503 ネットワーク

#### 【到達目標】

- ・ 情報通信ネットワークの基礎を理解する。
- ・ 情報通信ネットワークの具体的な利用法を習得する。

【概要】 情報通信ネットワークについて理解することを目標とする。普段、何気なく使っているコンピュータがネットワークで結ばれることにより、どのようなことができるようになるか、メールはどのような方法で送受信されるのか、Web ページはどのようにして表示されるのか、ということも含めて、ネットワークシステム(ネットワークの基礎・構築・運用)

について学習する。さらに、コンピュータを用いた実習を通して、TCP/IP 等によるネットワークシステムの具体的な利用法を体得する。

#### 252504 プログラミング

##### 【到達目標】

- ・コンピュータ言語の仕組みを理解する。
- ・簡単なプログラムを作成する知識・技能を習得する。
- ・プログラムに用いられるアルゴリズムについての知識を習得する。

【概要】 コンピュータに作業させるには、プログラムを書いて実行させる必要がある。プログラムとは何か、プログラムを実行させるとはどのようなことかを、実際にプログラムを作成し、結果を確認することで理解する。どのような処理を行うプログラムを作成したいか、そのためにはどのような順序で何を書けばよいか、アルゴリズムを考えながら作成する。なお、取り上げるプログラミング言語は Python, C, Java など一般的によく用いられる言語の中から 1 つを指定する。

#### 252505 数値計算

##### 【到達目標】

- ・数値計算のアルゴリズムを理解する。
- ・アルゴリズムに基づき、電卓などを用いて数値計算ができる。
- ・数値計算のプログラムを読んで理解する。
- ・数値計算のアルゴリズムの性質や誤差を理解する。
- ・数値計算のプログラムを作成する。

【概要】 自然科学、社会科学、工学などの問題をモデル化し数学の問題として定式化した後、場合によっては数値計算により近似解を求めたり、数値計算を用いた可視化を行う。本講義では問題解決のために数値計算を利用する上での初歩的な事項や数値計算法を理解し修得することを目的とする。各項目に対し数学的背景を述べた上で、アルゴリズムは素朴なものと標準的なものを取り上げる。それぞれのアルゴリズムに対し、電卓やコンピュータを用いた実習を行う。

#### 252506 マルチメディア概論

##### 【到達目標】

- ・アナログとデジタルの違い、原理を理解する。
- ・文字、画像、音声などのマルチメディアについての原理とコンピュータでの加工技術について理解する。

【概要】 マルチメディアの学習・体得をめざし、デジタル化の原理、および、そこから派生するさまざまな応用について講義を行う。コンピュータはアナログデータを処理するこ

とはできない。そのため長い間、人間とのインターフェースには文字をその媒体としてきた。近年、コンピュータが高性能になりアナログをデジタル化することによりコンピュータ処理が可能になった。文字に限らず画像、音声など、多彩な情報伝達手段がマルチメディアである。このような原理を理解した上で、加工技術などのコンピュータ処理をする実習を行う。

#### 252507 ソフトウェア工学

##### 【到達目標】

- ・ソフトウェア開発の全体について、基本的な考え方を理解する
- ・ソフトウェアの様々な側面について適切な記述方法で記述する方法を理解する。
- ・簡単な例題について、ソフトウェアの設計を記述できる。

【概要】 現代社会において、ソフトウェアは社会の活動を支えるインフラのひとつになっている。このような重要なソフトウェアを高品質に、計画的かつ効率的に開発するための理論とその実践的技術がソフトウェア工学である。本講義では、ソフトウェア開発とは何か、どのような問題があり解決のためにはどんな技術があるのかという観点から、ソフトウェア工学の基礎を広く学ぶ。特に、ソフトウェアの設計に関する技術について重点的に学ぶ。

#### 252508 情報と職業

##### 【到達目標】

- ・教職課程にこの科目が設置されたことの重要性や意義を理解する。
- ・情報社会に関するさまざまな調査資料や白書などを見て、職業や労働の状況についての理解を深める。
- ・情報社会での働き方、職業人としての生き方に対して、自分なりの心構えを持つことができる。

【概要】 情報を学ぶ生徒・学生が情報関連の職種へ就職する場合に必要な進路指導のあり方について学ぶ。情報社会における産業構造と職業構造の変化、情報関連職種への就業に必要な基礎知識、および、情報関連分野の業務内容について解説する。その上で、情報関連職種に就業することの実情を多面的に理解させることを通じて、職業適性について考え、職業人としての役割や責任を自覚することの重要性を説く。さらに、職業意識や倫理観、情報関連職種のキャリアパス、専門性の習得など、情報社会における人材育成のあり方について説く。

#### 252509 ネットワーク

#### 【到達目標】

- ・情報通信ネットワークの原理・制御法を理解する。
- ・設計、制御のための基礎理論である待ち行列理論を理解する。
- ・設計、制御のための基礎理論であるグラフ理論を理解する。

【概要】 「ネットワークⅠ」に引き続き、情報通信ネットワークについて講義する。コンピュータの通信システムの基礎となる TCP/IP を中心に、どのような原理で通信パケットが流れていくのか、情報通信ネットワークの原理と構築、運用について、具体的な実習を交えながら講義を行う。ネットワークの構成、アーキテクチャについて学んだ後、設計・制御のための基礎理論である、待ち行列理論、グラフ理論について学習する。

#### 252510 オペレーティングシステム

##### 【到達目標】

- ・オペレーティングシステムとは何かを理解する。
- ・オペレーティングシステムの役割を理解する。

【概要】 オペレーティングシステムについて、プログラムや CLI (コマンドラインインターフェース) の実習を交えながら講義を行う。コンピュータのソフトウェアの根幹をなすのがオペレーティングシステム (OS) である。OS はさまざまな役割をもっている。これらの役割を理解させることを目標とする。すべてのプログラムは OS の補助無くしては動かない。また、OS は、たくさんのタスクを効率よく処理していくためのサポーターとしての役割も担う。さらに、マン・マシンインタフェースとしての役割もある。他にも計測・制御の分野でも OS の力が必要になる。

#### 252511 データベース A

##### 【到達目標】

- ・リレーショナルデータベースの基礎について、体系的に理解する。
- ・リレーショナルデータベースの設計方法について理解し、適切に設計できる。
- ・SQL を用いて、リレーショナルデータベースへの問合せを行うことができる。

【概要】 現代社会においては、社会活動から生み出される "情報" が大きな価値を持つが、この情報を有意義に活用するための鍵を握る要素のひとつがデータベースシステムである。本講義ではデータベースシステムの基礎について、主に実践面から習熟することを目的とする。リレーショナルデータベースを中心に、データモデル、DBMS の基礎を学び、実習を交えながら実際にデータベース設計等を行う。

#### 252512 データベース B

##### 【到達目標】

- ・リレーショナルデータベース管理システムについて、そのアーキテクチャや機能の基礎を理解する。
- ・リレーショナルデータモデルについて理解する。



- ・リレーショナルデータベースの設計について、正規化の理論を理解し、適切な正規化ができる。

【概要】 現代社会において重要な"情報"を有意義に活用するためにはデータベースシステムが不可欠であるが、単に利用方法がわかるだけではなく、理論面からも正しく理解していることが大切である。本講義ではデータベースシステムの基礎について、理論面から理解することを目的とする。リレーショナルデータベースを中心に、データモデル、正規化の理論、DBMS のアーキテクチャ、トランザクション管理等を学ぶ。

#### 252513 オートマトン

##### 【到達目標】

- ・オートマトン理論について理解する。
- ・コンピュータにおける計算の原理を論理的に理解する。

【概要】 オートマトンとは、コンピュータの動作をモデル化したもので、ある入力に対し、定められた処理を実行し、結果を出力するシステムである。これを状態遷移図と呼ばれる図を用いて表現する。オートマトンが受理する形式言語には、正規言語や文脈自由言語がある。この講義では、有限オートマトンとプッシュダウンオートマトンを取りあげ、その仕組みや動作、受理する言語との関係について解説する。また、計算機で解くことのできる問題とできない問題についても触れる。

#### 252514 計算幾何学

##### 【到達目標】

- ・計算幾何学における代表的な問題を理解する。
- ・問題を解くために使われるアルゴリズムを理解する。

【概要】 計算幾何学の基礎について講義する。幾何学的な問題を解くために効率の良いアルゴリズムやデータ構造を見つけ問題を解くのが計算幾何学である。この分野で扱われている様々な問題のうち、凸包問題、ドロネー三角形分割問題、線分交差問題、ポロノイ図、美術館監視問題、最短路問題、ナップサック問題、巡回セールスマン問題など良く知られた問題を取り上げ、基本的な概念を解説し、最適解を得るための様々なアルゴリズムについて説明する。理解を深めるため、実習を行うこともある。

#### 252515 情報学特論

##### 【到達目標】

- ・トピックとして取り上げられたテーマを通して、情報学の考え方を理解する。
- ・テーマに関する数理科学的知識を習得する。
- ・科学的、論理的な思考力を身につける。

【概要】 情報学に関する話題について、その時々最新のテーマを取り上げ解説を行うこ

とにより、情報学の考え方についての理解を深めることを目的とする。また、取り上げられたテーマに関する数理科学的知識の習得も合わせて行う。具体的なテーマは開講年度によって異なるが、コンピュータを利用したデモンストレーションや実習を行うことにより理解を深め、その過程で科学的、論理的思考力を身に付ける。

## 応用数理学

### 252601 物理学概論

#### 【到達目標】

- ・物理学という科学的方法を用いた自然の理解の全体像を理解する。
- ・物体の運動を記述する力学的記述、波の現象と熱現象、電磁気現象について理解する。
- ・実験を通じて、楽しみながら実際の現象について理解する。

【概要】 自然現象を客観的に基本法則に基づいて理解しようとする物理学の考え方をできるだけ平易に解説する。力を受けた物体がどのように運動するか、波動の基本的な性質、熱・温度とは何かなどについて解説する。次に、電気や磁気に関わる現象を考える。日常的な現象から、極微の世界、広大な宇宙の果てまでを記述する物理学の基本的事項になじむことを目標とする。

### 252602 化学概論

#### 【到達目標】

- ・化学の初歩的な基礎概念を理解する。
- ・ものごとを化学的に捉えるための素養を身につける。

【概要】 原子の構造、電子の挙動、元素の性質と周期表、化合結合の形態、化合物の性質、化学反応とエネルギー、化学反応と速度などについて学ぶ。また、物質の気体、液体、固体、溶液の状態と性質を理解する。これらの基礎を踏まえて、化学の領域全体を対象として化学の視点からの理解を深める。更に、現代化学の潮流にも触れながら、日常生活に於ける身近な化学現象の重要性を認識する。尚、授業の一部として化学実験室での実験を行なう場合がある。

### 252603 生物学概論

#### 【到達目標】

- ・生命現象に関する基礎的知識を体系的に習得する。
- ・生物学の視点から生命現象を統一的に理解する。
- ・実験を通して知識を実感の伴ったものとして身につける。

【概要】 生命現象について、さまざまな生物に共通する側面に重点をおいて、基礎的知識の習得をめざす。そのことにより関連科目の理解を容易にする。講義内容としては、細胞、

物質代謝、呼吸と光合成、生殖と発生、環境に対する反応と調節、遺伝など、広範な話題をとりあげるが、他の専門科目でとりあげる内容については簡潔な解説にとどめる。講義に加えて数回の実験を行う。

#### 252604 力学

##### 【到達目標】

- ・ 先ず単純化された 1 次元的な運動について、運動の基本法則を理解する。
- ・ 次に、実際の 3 次元空間における運動に一般化し、保存則とはどのようなものか理解する。
- ・ 実験を通じて、楽しみながら実際の力学現象について学ぶ。

【概要】 物理学のみならず自然科学全分野の基礎といえる力学について解説する。特に、力学の諸法則が微積分を用いて簡潔に記述されることを解説する。まず単純化された 1 次元的な運動に関して、運動方程式、エネルギー保存則を説明し、次にベクトルを用いて 3 次元の問題に一般化し、運動量保存則、角運動量保存則とその応用について解説する。見かけの力である慣性力の話題について取り上げることもある。

#### 252605 電磁気学

##### 【到達目標】

- ・ 先ず、静止している電荷、すなわち静電気によるクーロン力と電場（電界）、電位、静電エネルギー等について理解する。
- ・ 次に電流によって生じる磁気の様々な性質について理解する。
- ・ 実験を通じて、楽しみながら実際の電磁気現象に親しみ、理解する。

【概要】 電磁気学の基礎について講義する。静止している電荷の間に働くクーロン力は、電荷が作る電場から他の電荷が力を受けることによって生じる、ととらえることができる。この電場により生じる位置エネルギーである電位、静電エネルギー、等に関して解説する。さらに電荷の運動、すなわち電流が磁場を作り出すことを議論する。余裕があれば、これら全ての電磁気学の法則を集大成したマクスウェル方程式から電磁波（光）の存在が帰結されることを簡単に解説する。

#### 252606 物理化学

##### 【到達目標】

- ・ 気体の状態方程式、気体の分子運動論、熱力学などの原理と法則を理解する。
- ・ 自然現象を科学的に捉える基礎力を身につける。

【概要】 自然現象の解明から最新の科学と技術に至るまで、多くの分野に重要な物理化学の基礎を学ぶ。その中でも特に重要な、気体の状態方程式、気体の分子運動論、熱力学の各法則に注目し、目に見えない分子の挙動などのミクロな現象をマクロ的に捉えた理論的解釈

とその実験的検証を経て法則の確立へと導かれる過程を解き明かす。物理化学特有のアプローチを学びながら自然現象の理解を深めて行く。尚、授業の一部として化学実験室での実験を行う場合がある。

#### 252607 相対性理論

##### 【到達目標】

- ・相対性理論の考え方に触れ、走ると物体の長さが縮み、時計が遅れる等の、相対性理論特有の現象がいかんして導かれるのか理解する。
- ・もう一つの帰結として、物質がエネルギーに変わり得ること、それが太陽の発する莫大なエネルギーの起源であることを理解する。

【概要】 相対性理論について講義する。相対性理論によると光速度は観測者によらず一定である。この光速不変性から、運動すると時計が遅れるといった、一見不思議な結論が得られることを解説する。その際、観測者に依り時間・空間座標がどう変換されるかを記述する「ロ - レンツ変換」を導出する。また、質量とエネルギーの等価性とその帰結についても議論する。 余裕があれば一般相対性理論にも簡単に触れたい。

#### 252608 量子力学

##### 【到達目標】

- ・現代物理学の大きな柱のひとつである量子力学の考え方を身につける。
- ・最も基本的な方程式であるシュレディンガー方程式の意味とその応用法を理解する。
- ・実験を通じて日常生活における量子力学的現象を楽しむ。

【概要】 現代物理学の柱のひとつである量子力学を入門から平易に解説する。原子・分子のミクロの世界では、光の様に古典的には波だと思われていたものが粒子性を示し、逆に電子の様な粒子だと思われていたものが波の性質を示すことを解説する。量子力学における基本的な運動方程式であるシュレディンガー方程式を導出し、これを用いて、束縛状態においてはエネルギーが離散的になること、またトンネル効果といった量子力学特有の現象が起きること等を解説する。

#### 252609 数理化学

##### 【到達目標】

- ・理論化学による化学結合、分子構造、化学反応などの理解。
- ・化学現象を論理的に捉える基礎力を身につける。

【概要】 理論化学の観点から化学結合、分子構造、化学反応を解明するための基礎を学ぶ。量子化学の発展過程を辿りながら、電子の波動としての挙動を取り入れた原子や分子の構造を理解する。その上で、電子の授受の仕方によって決まる化学結合とそれによって作られる分子の形についての理解を深める。また、化学反応に特有の数学的手法を用いる化学反応学の基礎

を理解することによって、各種素反応から成り立っている複雑な化学反応の速度式を導く方法を理解する。それらを体系的に学ぶことから化学現象を総合的に捉えることができるようになる。

#### 252610 生物学特論 A

##### 【到達目標】

- ・生物学の特定分野について基礎的知識を習得する。
- ・特定分野を深く知ることにより生物学の考え方を理解する。
- ・具体的な研究方法を知ることにより生物学における結論の導き方を学ぶ。

【概要】 この科目では、分子、細胞、個体、生物群集など生物の異なるレベルを対象とする分子生物学、遺伝学、生理学、生態学、進化生物学など生物学のさまざまな分野から特定の分野を選び、その分野について深く学ぶ。講義では、基礎的な概念から最先端の研究成果までを解説する。また、研究に必要なデータを得るための研究法、データの分析法などについても、具体的事例を用いて解説する。

#### 252611 生物学特論 B

##### 【到達目標】

- ・生物学と情報との関わりについて基礎的知識を習得する。
- ・生物学における情報の整理・分析の方法や考え方を学ぶ。
- ・生物にとっての情報のもつ重要性を理解する。

【概要】 この科目では、データベースなどに蓄積された大量の情報を整理・分析することによって研究が進められる生物分類学や保全生物学などの分野、あるいは生物個体の体内や個体間における情報伝達について研究する脳科学や行動生態学などの分野を取り上げ、生物学において、情報を活用して得られる成果や生物にとって情報のもつ意味について解説する。

#### 252612 現代化学 A

##### 【到達目標】

- ・生命化学についての初歩的な基礎を理解する。
- ・生命現象を化学の視点から理解できる素養を身につける。

【概要】 化学の最新分野についてわかり易く説明し、その根底にある基礎的な概念や理論を学ぶ。ここでは主に生命現象を化学の視点で捉える生命化学をとりあげる。人体内の生体分子や酵素などによる生命を維持するための機能について理解し、それらが連携して生命全体を支える仕組みについて学ぶ。また、従来 of 生化学に加えて、基礎化学を応用して生命現象を理解する新しい分野である化学生物学にも注目しながら最新の研究成果についても学ぶ。

#### 252613 現代化学 B

**【到達目標】**

- ・現代の最新化学の動向を理解する。
- ・様々な分野に於ける化学の役割について理解し、その価値について自分なりの判断ができる素養を身につける。

**【概要】** 化学が関わる最新の分野についてわかり易く説明し、その概念や理論を学ぶ。ここでは、最近の研究動向から、私達にとって重要な化学的現象で初めて解明されたものや、新しい機能をもたらすことができる化合物について幅広くとりあげる。例えば、環境・エネルギー問題の対策に寄与する化合物、医療に貢献する新材料、医薬品の開発、食品や化粧品などの日常生活に関わるものなどである。それらの基盤を成す新しい化学の研究と開発の進展に注目すると同時に、その有効性、安全性、問題点についても考える。

## 252614 現代生物学 A

**【到達目標】**

- ・生態学に関する基礎的知識を習得する。
- ・生命現象を個体レベル以上で捉える考え方を理解する。
- ・生態学研究で用いられる基本的な計算ができる。

**【概要】** この科目では、マクロ生物学の分野から生態学を学ぶ。生態学は、生命現象を個体群、群集、生態系など、個体レベル以上で捉え、研究する分野である。講義内容としては、個体群（個体群構造、個体数変動とそのメカニズムなど）、種間関係（競争と共存、捕食・被捕食、寄生など）、生物群集（ニッチ、群集構成、群集多様性など）、生態系（構造、食物網、エネルギー流、物質循環、地球上にみられる多様な生態系の特徴と分布）などの話題をとりあげる。

## 252615 現代生物学 B

**【到達目標】**

- ・生命現象を化学の視点から理解する。
- ・核酸やタンパク質などの情報高分子の構造と機能等、分子生物学の基礎を習得する。
- ・遺伝子工学の成果の適用などについて科学的に理解する。

**【概要】** この科目では、ミクロ生物学の分野から分子生物学を学ぶ。生命現象を分子レベルで解明しようとする分子生物学について、基礎的な内容の解説を行う。多くの生体分子は、比較的単純な単位の分子が長くつながって組み立てられた高分子である。核酸やタンパク質などの情報高分子について、化学の視点からその構造や特性について学ぶ。さらに、それらを介した遺伝情報の複製や伝達機構等について学ぶ。また、分子生物学の進歩により発達してきた遺伝子工学など、最新の研究成果にも触れる。

## 252616 現代物理学 A

### 【到達目標】

- ・量子力学の基礎的な理解に基づき、現実的な系にこれを応用する仕方を習得する。
- ・熱力学の基本的概念を習得する
- ・基礎的な量子力学の知識に基づき、統計力学の基本的概念を理解し、その応用の仕方を習得する。

【概要】 まず、量子力学に関する基礎的事項を代表的な現実的力学系（水素原子等）に応用する手法について解説する。次に、物理学の重要な分野である熱力学、統計力学について、その基本的な概念や事柄を、量子力学の基礎的事項を踏まえて紹介する。現実の物質は非常にたくさんの原子、分子の集合体であるために統計的性質が現れる。統計的手法を用いて、例えば温度、圧力、磁荷等の物質の持つ様々な性質（物性）について議論する。

### 252617 現代物理学 B

#### 【到達目標】

- ・物理学、特に現代物理学の法則が数学的にどのように簡潔に表されるのかについて理解する。
- ・現代物理学において、数学的手法によりどのような重要な物理的帰結が得られるかを理解する。

【概要】 特に現代物理学において、物理学の法則がどのように数学的に表現されるか、また逆に、数学的な手法を適用することで、どの様に重要な物理学的帰結がもたらされるのかについて解説する。採り上げるトピックの例としては、弦の振動を用いた波動方程式の導出、固有振動の重ね合わせとしてのフーリエ級数、相対論的量子力学におけるクライン・ゴルドン方程式、シュレディンガー方程式の持つゲージ対称性、対称性と群論、余裕があれば局所ゲージ対称性と素粒子の相互作用、といったものが挙げられる。

### 252618 数理生物学

#### 【到達目標】

- ・生物学における数理的手法の考え方を理解する。
- ・基礎的・代表的な数理モデルを理解する。
- ・数理モデルを用いた基本的な計算ができる。

【概要】 数理生物学は、数理モデルの構築、解析、計算機シミュレーションなどによって生命現象を研究する分野である。講義内容は、動植物の行動や分布、個体数変動、種間関係、生物群集・生態系の挙動、進化過程などのマクロ生物学の分野、および生物個体内部で起きる生化学的反応の分子機構、個体発生の機構、神経ネットワークの機能などのミクロ生物学の分野から取り上げ、数理モデルおよびモデル構築に必要な数学について講義および演習を行う。

#### 数理科学シミュレーション

#### 252701 シミュレーション A

##### 【到達目標】

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について理解する。
- ・数値シミュレーションに必要な数値計算法の基礎を習得する。

【概要】 数理モデルとシミュレーションの基礎について理解することを目標とする。自然現象などをモデル化して現れる方程式を数値計算によって解き、その現象のシミュレーションを行うことを数値シミュレーションという。数値シミュレーションは、コンピュータの発展に伴い様々な分野でその重要性を増し、実験とともに理論を検証するための非常に重要な位置を占めるに至っている。この授業では、数理モデルやシミュレーションの基本について、できるだけコンピュータを用いた実習を取り入れながら学習する。

#### 252702 シミュレーション A

##### 【到達目標】

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について十分に理解する。
- ・基礎的な数値シミュレーションのプログラムを作成できる。

【概要】 「シミュレーション AI」に引き続き、数理モデルとシミュレーションの基礎について理解することを目標とする。数値シミュレーションは、(1) 解析対象となる現象をモデル化し、微分方程式で表現する、(2) 微分方程式を有限差分法や有限要素法によって離散化し、コンピュータで計算可能な線形方程式で近似する、(3) 線形方程式をコンピュータで解く、といったプロセスで実行される。この授業では、これらのプロセスの基本について、コンピュータによる実習も含めて学習する。

#### 252703 シミュレーション B

##### 【到達目標】

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について理解する。
- ・様々な不確かを持つ実現象を対象に、確率論的モデルの有用性を理解する。
- ・基礎的な数値シミュレーションのプログラムを作成できる。

【概要】 不確かさを持つ実現象を確率的な数理モデルとして表現し、コンピュータシミュレーションにより解析を行うための手法を学習する。バスの待ち時間、事故の発生確率など具体的な問題をいくつか取り上げ、数理モデルとシミュレーションプログラムの構築を通して、その重要性を理解する。主に、擬似乱数を用いたモンテカルロ法、ベイズ推定などの手法を学ぶ。数値シミュレーションを行うための計算機科学に関する知識を習得するために、コンピュータを利用した実習を取り入れながら講義を進める。

#### 252704 シミュレーション B



**【到達目標】**

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について十分に理解する。
- ・様々な不確かさを持つ実現象を対象に、確率論的モデルを構築できる。
- ・基礎的な数値シミュレーションのプログラムを作成し、その結果を解析することにより、現象を理解する能力を身につける。

**【概要】** 「シミュレーションBI」に引き続き、確率現象のモデル化とシミュレーションについて講義する。待ち行列モデル、一般線形モデル、ベイズフィルターなどの中からいくつかを取り上げて解説し、それらをコンピュータに実装するためのアルゴリズムとプログラミングの方法を学ぶ。コンピュータネットワークの性能解析、センシングデータからの状態推定など具体的な問題をいくつか取り上げて数理モデルとシミュレーションプログラムを作り、それをを用いたシミュレーションの結果を解析することにより、モデル化とシミュレーションの有用性を学ぶ。

## 252705 シミュレーションC

**【到達目標】**

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について理解する。
- ・基礎的な数値シミュレーションのプログラムを作成できる。
- ・化学に関する各種現象の数理モデルを理解する。

**【概要】** 化学に関するテーマを対象に、各種現象を数理モデルとして表現し、コンピュータシミュレーションにより解析を行うための手法を学習する。化学反応、分子動力学、量子化学、計算化学、理論化学などのうちから具体的な問題をいくつか取り上げ、数理モデルとシミュレーションプログラムの構築を通して、その重要性を理解する。数値シミュレーションを行うための計算機科学に関する知識を習得するために、コンピュータを利用した実習を取り入れながら講義を進める。

## 252706 シミュレーションD

**【到達目標】**

- ・数理モデルとシミュレーションの基礎について理解する。
- ・基礎的な数値シミュレーションのプログラムを作成できる。
- ・生物学に関する各種現象の数理モデルを理解する。

**【概要】** 生物学に関するテーマを対象に、各種現象を数理モデルとして表現し、コンピュータシミュレーションにより解析を行うための手法を学習する。分子生物学、生体計測学、生命科学、人工生命、生態学などのうちから具体的な問題をいくつか取り上げ、数理モデルとシミュレーションプログラムの構築を通して、その重要性を理解する。数値シミュレーションを行うための計算機科学に関する知識を習得するために、コンピュータを利用した実習を取り入れながら講義を進める。

## 基盤演習

252801 1年次演習（情報理学）

### 【到達目標】

- ・プログラミングの基本的な概念を理解する。
- ・数学に関連するソフトウェアの基本的な使用法を習得する。
- ・大学において現代の数学を学ぶために不可欠である、論理記号の取り扱い、及び数学的内容の簡潔な表現方法を身に付ける。
- ・レポート作成のマナー、文献調査方法、著作権等の扱い、プレゼンテーションなど、知的思考活動における基本的能力を身に付ける。

【概要】 数理科学科情報理学専攻において情報学を深く学んでいくための初年度教育として、プログラミングの基本的な概念を理解し、簡単なプログラムを作成する。また、数理科学の教養を幅広く身に付けるため、数学において抽象概念を簡潔かつ的確に記述するために欠かせない論理記号及びその使用法、並びに現代の数学における基礎的な言語である集合と写像の概念及びその数学的取り扱いについての解説を行なう。さらに、レポートの作成におけるマナー、文献調査方法と著作権等の扱い、数学的内容に関するプレゼンテーション、数学関連ソフトウェアの基本的な使用法についても触れる。

## 数理科学演習

252802 2年次演習（情報理学）

### 【到達目標】

- ・情報学の学びにおいて必要となる基礎的な数学の知識を習得する。
- ・情報学の学びにおいて必要となる基礎的なプログラミングスキルを習得する。
- ・演習を通して、情報学における数理科学的手法の特質を理解する。

【概要】 「1年次演習（情報理学）」に引き続き、数理科学科情報理学専攻で情報学を深く学んでいくために必要となる数理的手法、およびプログラミングの方法について解説と演習を行う。特に、数理科学シミュレーション科目である「シミュレーションA~D」を履修する上で必要となる数学の知識およびプログラミングに関する解説に重点を置き、コンピュータを利用した実習を取り入れながら講義を進める。「3年次演習」の準備となることも意図する。

252803 3年次演習（情報理学）

### 【到達目標】

- ・情報科学、自然科学のテキストを読み、正確に内容を理解する能力を身につける。
- ・情報科学、自然科学の内容を正確に表現する能力を身につける。

**【概要】** 情報科学、自然科学の分野から担当教員と履修者が相談の上でテーマを選び、テキストの輪読、問題演習、プログラム作成、実験、討論などを通して、理解を深める。学生が、学習内容をゼミにおいて説明し、討論を通して内容の理解を深める。

## 講究

252804 情報理学講究

### 【到達目標】

- ・テキストの内容を丹念に確かめながら正確に読む能力を身につける。
- ・テキストや課題の内容を正確に表現し、分かりやすく解説するプレゼンテーション能力を身につける。
- ・情報科学、自然科学の特定のテーマについて深く理解し、問題解決力、応用力を身につける。

**【概要】** 3年次までの情報理学の各分野の学習の集大成として、情報科学、自然科学の分野から担当教員と履修者が相談の上でテーマを選び、テキストの輪講、演習、プログラム作成、実験、討論などにより理解を深める。学生が主体的に学習を進め、最後に1年間の学習成果をまとめる。これらの学習を通じて、計画立案、問題解決、プレゼンテーションの能力を養う。

## (8) 教職課程科目

### 3WW101 英語科教育法 A

#### 【到達目標】

- ・教室で教育活動を展開するのに必要な指導法と技術を身につける。
- ・生徒の能力を十分に引き出すには、どのような言語活動がよいかを理解する。
- ・学習指導要領の内容を踏まえた教材の研究、学習指導案の作成、模擬授業の実施を目指す。

【概要】 中学校や高等学校の英語教師が知っていなければならない英語知識の体系化を踏まえて、教室で教育活動を展開するのに必要な指導法と技術を学び、その上で教材研究や学習指導案を作成して、模擬授業の場で実践を試みる。特に以下のことに重点を置く。  
中学校や高等学校の英語の授業において生徒の能力を十分に引き出すための言語活動。  
実際に授業で英語の指導をする際に効果的な指導法。 有機的に相互に関連した教材の研究、学習指導案の作成、模擬授業の実施。

### 3WW102 英語科教育法 B

#### 【到達目標】

- ・主要な外国語教授法の特色を考察・検討し、それぞれの長所と短所を理解する。
- ・主要な教授法を踏まえた教材研究や学習指導案の作成、模擬授業を行い、それぞれの教授法を身につける。

【概要】 これまでに提案された主要な外国語教授法を概観し、それぞれの特色を考察・検討する。これらの教授法を理解した上で、教授法を念頭に置いた教材研究や学習指導案の作成をして模擬授業に臨むことで教員として教授法を実践する。更に、生徒の役にもなり、その授業を受けることによって、個々の教授法を体験的に習得し、その長所と短所を考察する。この活動を通して、中学校や高等学校における効果的な望ましい外国語(英語)の教授法を探る。

### 3WW103 英語科教育法 A

#### 【到達目標】

- ・中学校や高等学校における「英語の4技能を統合した授業」の理念と目的を知る。
- ・実際の教科書や英語の4技能を統合した授業の様態を写したビデオの分析等を通して英語の4技能を統合した授業が具体的にどのように展開されているかを理解する。
- ・英語の4技能を統合した授業実践のためのさまざまな指導法を学び、教材研究、学習指導案作成、模擬授業実施を通して英語の4技能を統合した授業を実践する資質能力を養う。

【概要】 英語の4技能を統合した授業の実践のために必要な知識や実践力を修得させる。そのために、学習指導要領の理解を深め、教科書や授業ビデオの分析により英語の4技能を統合した授業の特徴を把握する。さらに、実際に教科書や副教材等の教材研究をした上で、学習指導案を作成後、模擬授業を行い、自己評価やピア・フィードバックによる振り返りを行うことで、英語の4技能を統合した授業を実践する資質能力を体得する。

### 3WW104 英語科教育法 B

#### 【到達目標】

- ・中学校や高等学校における「英語で行う英語の授業」の理念と目的を知る。
- ・実際の教科書や英語で行う英語の授業の様態を写したビデオの分析等を通して、英語で行う英語の授業が具体的にどのように展開されているかを理解する。
- ・英語で行う英語の授業実践のためのさまざまな指導法を学び、教材の研究、学習指導案の作成、模擬授業の実施を通して英語で行う英語の授業を実践する資質能力を養う。

【概要】 英語で行う英語の授業の実践のために必要な知識や実践力を修得させる。そのために、学習指導要領の理解を深め、教科書や授業ビデオの分析により英語で行う英語の授業の特徴を把握する。さらに、実際に学習指導案を作成後、英語で行う英語の授業の模擬授業を行い、自己評価やピア・フィードバックによる振り返りを行うことで、英語で行う英語の授業を実践する資質能力を体得する。

### 3WW111 宗教科教育法 A

#### 【到達目標】

- ・学習指導要領の理念をふまえて宗教教育の意義について理解を深める。
- ・日本のキリスト教主義学校において宗教科(聖書科)の教師となるために必要とされるキリスト教の基礎知識を身につける。
- ・キリスト教の正典である旧・新約聖書の内容を理解し、その上でキリスト教史、キリスト教倫理・キリスト教思想の特質を理解する。
- ・聖書の内容とキリスト教の特質を実際の授業としてどのように展開できるかを考察、研究する力を養う。

【概要】 日本のキリスト教主義学校において宗教科(聖書科)の教師となるために必要とされるキリスト教の基礎知識を身につけることを目標とする。キリスト教の世界観、旧約聖書と新約聖書の内容と相互の関係、イエス・キリストの存在の意味、教会史、キリスト教倫理などの要点を確認し、その上で、それらを聖書科の授業としてどのように展開し、指導するのかを考察する。

### 3WW112 宗教科教育法 B

#### 【到達目標】

- ・日本のキリスト教主義学校において宗教科(聖書科)の教師となるために必要とされる日本の宗教史に関する基礎的知識を身につける。
- ・日本人の宗教観について理解、考察する力を養う。
- ・日本におけるキリスト教教育の歴史を辿ることを通して、キリスト教主義学校が日本の教育に果たした役割を歴史的に考察するとともに現状と課題を理解する。

【概要】 日本のキリスト教主義学校において宗教科(聖書科)の教師となるために必要な、日本の宗教史に関する知識・理解と現代日本人の宗教観について考察することを目標とする。それらに関する理解を深めるとともに、日本社会におけるキリスト教教育の歴史をたどることを通して、キリスト教主義学校の日本史上における役割、現状と課題、宗教科教員に求められていることについて考察する。

### 3WW113 宗教科教育法 A

#### 【到達目標】

- ・中学校における宗教科(聖書科)の授業の組み立て方を習得する。
- ・学習指導案の作成の仕方、教科書と聖書の用い方、教材の選び方などを習得する。
- ・中学校における聖書科の授業で取り上げられる項目について模擬授業を行い、授業の方法を習得する。
- ・中学校の対象年齢に即した情報機器及び教材の活用(選び方、用い方)を実際に使用されているものを参考にしながら習得する。

【概要】 中学校における宗教科(聖書科)授業をどのように組み立て、展開するのかを学ぶことを目標とする。学習指導案の作成の仕方、教科書と聖書の用い方、視聴覚教材を含めた教材の選び方について、実際に使用されているものを参考にしながら実践に即して研究していく。キリスト教主義の中学校において、聖書科の授業で取り上げられる項目について研究した後、それらの中からいくつかのテーマを選んで模擬授業を行い、授業の方法を考察する。

### 3WW114 宗教科教育法 B

#### 【到達目標】

- ・高等学校における宗教科(聖書科)の授業の組み立て方を習得する。
- ・学習指導案の作成の仕方、教科書と聖書の用い方、教材の選び方を習得する。
- ・高等学校における聖書科の授業で取り上げられる項目について模擬授業を行い、授業の方法を習得する。
- ・高等学校の対象年齢に即した情報機器及び教材の活用(選び方、用い方)を実際に使用されているものを参考にしながら習得する。

【概要】 高等学校の宗教科（聖書科）授業をどのように組み立て、展開するのかを学ぶことを目標とする。学習指導案の作成の仕方、教科書と聖書の使い方、視聴覚教材を含めた教材の選び方と使い方を、実際に使用されているものを参考にしながら実践に即して研究していく。キリスト教主義の高等学校において、聖書科の授業で取り上げられる項目について研究した後、それらの中からいくつかのテーマを選んで模擬授業を行い、授業の方法を考察する。

### 3WW121 国語科教育法 A

#### 【到達目標】

- ・国語科の授業を担当するために必要な、国語科の歴史と国語科指導法に関する基礎知識とアクティブ・ラーニングなどを取り入れた新しい授業方法を習得する。
- ・古典（古文・漢文）の定番教材を用いて、文法や有識故実の指導法から、ものの見方・感じ方・考え方を古典作品から読み取り、味わうための指導法の理論を身につける。
- ・中学・高校における新たな古典教育法、具体的には授業案の開発を目指す。

【概要】 国語科の授業を担当するために必要な、国語科の歴史と国語科指導法に関する基礎知識、ディベート、アクティブ・ラーニングなどを取り入れた新しい授業方法を習得することを目標とする。古典（古文・漢文）の定番教材を用いて、文法や有識故実の指導法から、ものの見方・感じ方・考え方を古典作品から読み取り、味わうための指導法の理論と実際を検討する。

### 3WW122 国語科教育法 B

#### 【到達目標】

- ・国語科で育成を目指す言語能力と思考力の実質を学習指導要領に即して的確に理解し、国語科の授業実践に反映させる視点を習得する。
- ・国語科の学習指導理論と教材研究の方法を習得する。
- ・アクティブラーニングの視点や ICT 機器を活用した授業づくりといった授業方法を的確に理解する。

【概要】 国語科の授業を担当するために必要な、国語科の歴史と国語科指導法に関する基礎知識、ディベートなどを取り入れた新しい授業方法を習得することを目標とする。社会の変化の中で、言語能力と思考力の育成が国語科に一層求められている現状を考察し、その上で、道徳教育や文学的感性の教育に流れがちであった国語科教育を、現代文の定番教材（『走れメロス』『故郷』など）を用いて検討し、これらの作品の教材としての新しい可能性についても考える。

### 3WW123 国語科教育法 A

#### 【到達目標】

- ・古文教材と漢文教材について、中学生・高校生それぞれに対する授業を展開するにあたり、教材研究、授業展開計画、授業実践の方法、試験作成、評価方法を習得する。
- ・さらにこれらの探求をとおして、授業の内容と方法を適切に組み立てることができ、学習指導要領に示れている国語科(おもに古典)の目標を達成できるようにする。

【概要】 学校現場と生徒の今をふまえて、教育と学校のあり方を探りつつ、それらをもとに、古典教育の意味と方法を、中学・高校それぞれの場合について考察することを目標とする。教科書の教材を用いて、学生が模擬授業を行う。その際、意味調べ、文法、口語訳だけで終わってしまうことがないよう、ことばのニュアンスや古典の基礎知識、時代背景、文学史、作中人物の心情などに注意し、古典を身近に感じられる授業を行えるようにする。学生間の討論を重ねることで、発表者の学生がよりよい授業を作り上げて行くよう心がける。

### 3WW124 国語科教育法 B

#### 【到達目標】

- ・文学教材と評論教材について、中学生・高校生それぞれに対する授業を展開するにあたり、教材研究、授業展開計画、授業実践の方法、試験作成、評価方法を習得する。
- ・さらにこれらの探求をとおして授業の内容と方法を適切に組み立てることができ、学習指導要領に示されている国語科(おもに現代文)の目標を達成できるようにする。

【概要】 学校現場と生徒の今をふまえて、教育と学校のあり方を探りつつ、それらをもとに、国語教育(現代文の読解と表現)の意味と方法を、中学・高校それぞれの場合について考察することを目標とする。教科書の教材を用いて、学生が模擬授業を行う。その際、一つのジャンルに偏らないよう、随想・小説・評論・詩や実用的文章に至るまで幅広く扱い、話すこと・聞くことの言語活動も、積極的に取り入れるようにする。学生間の討論を重ねることで、発表者の学生がよりよい授業を作り上げて行くよう心がける。国語科の授業を担当するために必要な、国語科の歴史と国語科指導法に関する基礎知識、ディベートやコンピュータによる検索などを取り入れた新しい授業方法を習得することを目標とする。

### 3WW131 社会・地理歴史科教育法

#### 【到達目標】

- ・社会科・地理歴史科の歴史の変遷(学習指導要領の変遷)を理解する。
- ・学習指導要領の読み方を学び、指導要領の理念と方法を理解する。
- ・教科書をはじめとする教材の分析と構成の方法を身につける。
- ・単元の指導過程や授業構成(導入・展開・まとめ)の方法を習得する。

【概要】 中学社会科(地理的分野・歴史的分野)と高校地理歴史科の授業を作るうえで必



要な基礎的知識と理解を習得することを目標とする。社会科・地理歴史科の歴史の変遷を学習指導要領に即して学習するとともに、指導要領の読み方を学ぶ。教科書をもとにして、教材の分析と構成の方法を学ぶ。すぐれた授業実践例をビデオなども用いながら検討する。単元の指導過程や授業構成（導入・展開・まとめ）をグループごとに作成・発表し、全員で討論・検討する。

### 3WW132 社会・地理歴史科教育法

#### 【到達目標】

- ・学習指導要領に示されている社会科（地・歴）・地歴科の目標を達成できるように、授業の内容と方法を適切に組み立てることができる。
- ・授業を効果的に展開できるような教材を適切に選び開発することができる。
- ・学習指導案を正しく作成することができる。
- ・実際に教壇に立っていることを想定した模擬授業を行うことができる。
- ・他の授業者の授業を観察し、適切な批評と学びあいに基づくアクティブ・ラーニングをおこなうことができる。

【概要】 中学社会科（地理的分野・歴史的分野）と高校地理歴史科の授業を実践するために必要な技術・視点を身につけ、すべての受講者が、社会科・地理歴史科の授業を実際につくることができるようになることを目標とする。実際の教育現場での事例の紹介、教科書や具体的実物の分析と教材化の試み、学習指導案の作成、受講者全員による模擬授業の実施などを実践的に行う。模擬授業に際しては、授業者の授業に対する討論やリアクションペーパーの作成を全員で行うアクティブ・ラーニングを実施し、授業者はそれらを踏まえて反省レポートを作成することとする。

### 3WW133 社会・公民科教育法

#### 【到達目標】

- ・社会科・公民科の歴史の変遷（学習指導要領の変遷）を理解する。
- ・学習指導要領の読み方を学び、指導要領の理念と方法を理解する。
- ・教科書をはじめとする教材の分析と構成の方法を身につける。
- ・単元の指導過程や授業構成（導入・展開・まとめ）の方法を習得する。

【概要】 中学社会科（公民的分野）と高校公民科の授業を作るうえで必要な基礎的知識と理解を習得することを目標とする。社会科・公民科の歴史の変遷を学習指導要領に即して学習するとともに、指導要領の読み方を学ぶ。教科書をもとにして、教材の分析と構成の方法を学ぶ。すぐれた授業実践例を検討する。単元の指導過程や授業構成（導入・展開・まとめ）をグループごとに作成・発表し、全員で討論・検討する。

### 3WW134 社会・公民科教育法

#### 【到達目標】

- ・学習指導要領に示されている社会科（公民）・公民科の目標を達成できるように、授業の内容と方法を適切に組み立てることができる。
- ・授業を効果的に展開できるような教材を適切に選び開発することができる。
- ・学習指導案を正しく作成することができる。
- ・実際に教壇に立っていることを想定した模擬授業を行うことができる。
- ・他の授業者の授業を観察し、適切な批評と学びあいに基づくアクティブ・ラーニングをおこなうことができる。

【概要】 中学社会科（公民的分野）と高校公民科の授業を実践するために必要な技術・視点を身につけ、すべての受講者が、社会科・公民科の授業を実際につくることができるようになることを目標とする。実際の教育現場での事例の紹介、教科書や具体的実物の分析と教材化の試み、学習指導案の作成、受講者全員による模擬授業の実施などを実践的に行う。模擬授業に際しては、授業者の授業に対する討論やリアクションペーパーの作成を全員で行うアクティブ・ラーニングを実施し、授業者はそれらを踏まえて反省レポートを作成することとする。

#### 3WW141 情報科教育法

##### 【到達目標】

- ・情報科教育における基礎概念を学び、身につける。
- ・情報科教育における基本的な教育内容を学び、理解する。

【概要】 情報科の授業を担当するに当たって必要なことから、特にその基礎となる概念や基本的な教育内容を学習し、また、情報教育で生徒ひとりひとりの個性を活かし、その力を伸ばすにはどのような教育が必要か学ぶことを目標とする。具体的な内容としては、学習指導要領の変遷、および後期中等教育における情報科の位置づけ、情報教育で扱う学習内容の整理とその評価を学習する。また、他教科との協力や関連なども考察し、コミュニケーションやプレゼンテーションの役割、情報発信における倫理教育などを学習する。

#### 3WW142 情報科教育法

##### 【到達目標】

- ・実践教育で活用できる指導方法を学び、情報科の授業で必要となる応用力を高める。
- ・模擬授業を通じて授業能力およびプレゼンテーション能力を身につける。

【概要】 情報科の授業を担当するに当たって必要なことから、特に学校現場において、情報教育を実践するときに必要な応用力を養成し、また学校現場で活用できる情報教育の指導方法を検討し、実際に使える力を養うことを目標とする。具体的な内容としては、情報をメディアリテラシーの視点から分析し、高度情報通信社会の特徴や、その社会の「光」と「影」の認識、そこに潜む情報格差などについて考える。さらに、総合実習として教育

実習に必要な授業能力やプレゼンテーション能力を養う。そのために、実際に使われている授業教材などを積極的に研究する。また、情報社会におけるビッグデータやプログラミング的思考についても学ぶ。

### 3WW151 数学科教育法 A

#### 【到達目標】

- ・ 中学校学習指導要領における各領域の目標と内容を理解する。
- ・ 中学校数学科における教材と指導法について理解する。

【概要】 平成 29 年 3 月公示の学習指導要領で資質・能力の三本柱として整理されている数学科の目標と、各領域に関わる教材及び指導法についての理解を深めることを目標とする。具体的には、『中学校学習指導要領解説 数学編』をもとに、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の 4 領域と〔数学的活動〕に関わり、内容の構成と取扱いについて説明し、理解を深める。

### 3WW152 数学科教育法 B

#### 【到達目標】

- ・ 高等学校学習指導要領について学び、基本概念を理解する。
- ・ 高等学校の数学科における各科目の構成を学び、その役割と目標を理解する。
- ・ 高等学校数学科における教材と指導法について理解する。

【概要】 改訂される学習指導要領で資質・能力の三本柱として整理されている数学科の目標について、高等学校数学科における学びの本質と学習指導の過程を踏まえて、数学の各領域に関わる教材及び指導法についての理解を深めることを目標とする。また、高等学校数学科における〔課題学習〕やテクノロジーを利活用といった、活用型数学教材の取扱いについても取り上げる。

### 3WW153 数学科教育法 A

#### 【到達目標】

- ・ 実際の授業を視聴し、効果的な授業運営について理解する。
- ・ 模擬授業を行い、実践的な数学科目の教育力を身につける。
- ・ 中学校数学科もしくは高等学校数学科教師としての実践的授業力を身に付ける。

【概要】 数学教育を実践的に学ぶことを目標とする。数学のすぐれた授業実践を視聴し、それらの授業のよさについて全員で話し合い、さらに、授業開発、模擬授業を実施する。また、教育用デジタルテクノロジーを利活用した授業を行う能力を身に付けるために、実際にそれらの使用法、授業での活用法などについて、実習・実践を行う。おもに、中学校数学科の「数と式」「関数」の領域とそれに関連する内容に力点を置く。

### 3WW154 数学科教育法 B

#### 【到達目標】

- ・実際の授業を視聴し、効果的な授業運営について理解する。
- ・模擬授業を行い、実践的な数学科目の教育力を身につける。
- ・中学校数学科もしくは高等学校数学科教師としての実践的授業力を身に付ける。

【概要】 数学教育を実践的に学ぶことを目標とする。数学のすぐれた授業実践を視聴し、それらの授業のよさについて全員で話し合い、さらに、授業開発、模擬授業を実施する。また、教育用デジタルテクノロジーを活用した授業を行う能力を身に付けるために、実際にそれらの使用法、授業での活用法などについて、実習・実践を行う。おもに、中学校数学科の「図形」「データの活用」の領域とそれに関連する内容に力点を置く。

### 3WW201 教育原論

#### 【到達目標】

- ・教育についての原理的な考え方や概念を理解する。
- ・教育の理念・思想・歴史を理解し、教育の本質に関わる「問いの仕方」を理解する。
- ・これらの基礎を理解した上で、現在の教育現象や教育問題を論理的に分析し記述できる力を身につける。

【概要】 教育に関する歴史と思想を概観することで教育の本質と理念を探り、現代社会における教育現象や教育問題に対する新たな視点や視角を得、理解を深めることができるようになることを目標とする。日本と西欧の教育史や様々な教育思潮の歴史の変遷をたどることで、近代公教育の理念と原則や、国家と教育の関係に関わる多様な捉え方を理解する。さらにそうした理解を踏まえて、今日の具体的な教育問題の事例に触れながら、それらを表層的にではなく本源的に分析・考察するための基礎的知識・理解と方法を示す。

### 3WW202 教職論

#### 【到達目標】

- ・教職の意義及び教員の役割、教員養成の歴史、今日の教育の現状を知る。
- ・自主的、自発的な学習が促されるような教育課程・授業の作り方を知る。
- ・特別活動・生徒指導・教育相談など教科外指導の概要を知る。
- ・学級経営・学校経営・校務分掌のあり方を知る。
- ・教員の服務規程と研修のあり方を知る。
- ・教職に就くための方法に関する情報を積極的に収集し、自らの教職へ向けての進路を意欲的に切り開いていく。
- ・チーム学校運営への対応：学校の担う役割が拡大・多様化する中で学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解する。

【概要】 教職を志す学生を対象に、教員の役割と職務内容の学習・考察を通して、教職の

意義に対する理解を深めることを目標とする。特に、今日の学校教育がおかれている現状と課題、チーム学校運営への対応など、自主的、自発的な学習が促されるような授業計画および内容、特別活動・生徒指導・教育相談など教科外指導の概要、学級経営・学校経営・校務分掌、教員の服務規程と研修のあり方といった項目を中心に講義し、教員の多様な仕事を知ることで、教職の意義に対する各自の考えを深める。また、教職に就くために必要な情報や機会の提供も随時行い、教師になるためのキャリア構築を学生自らが遂行できるように支援する。

### 3WW203 教育社会学

#### 【到達目標】

- ・教育の組織や制度や経営の歴史と現在を理解するための教育学的および教育社会学的な概念を理解する。
- ・教育学的および教育社会学的な概念を用いて教育問題を発見し、分析し、記述できる力を習得する。
- ・学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する。
- ・学校管理の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解する。

【概要】 家族や地域社会や学校などにおける教育を、組織や制度や経営などの観点から捉え、それぞれの社会的な役割と機能および相互の構造的な連関を考察する。主として戦後日本の教育行政と学校経営の理念と組織・制度の歴史と現在、教育改革の動向、とくに近年、取り組まれている学校と地域との連携や学校安全への様々な対応の成果と課題などを扱う。また、近代学校の役割と機能について、近代社会の原理とされる競争の原理との関連で捉え、ひとり一人の成長・発達と社会統制・存続の両面から理解できるよう、内外の教育を参照しながら考察し、併せて、教育問題への多面的なアプローチの仕方を習得する。

### 3WW204 教育心理学

#### 【到達目標】

- ・発達と教育に求められる心理学の基礎的知識を身につける。
- ・実際に学校内外の教育現場で生ずる様々な心理的諸問題を概観する。
- ・子どもの心の発達についての教育心理学分野の様々な概念や理論についての知識を深め、学校教育における教師の役割を問い直す。

【概要】 子どもの発達や学習、動機づけなどの教育に関わる心理学的なテーマについて学ぶ。学校内外の児童・生徒の成長を理解するために必要な教育心理学の基礎分野 - 発達、教授・学習、人格、社会性、測定・評価、思考・認知、臨床 - を概観することによって、現代の教育現場における諸問題についても考える。また、現代社会の中で生じている教育

心理学的な諸問題について学び、対策と改善点を考察する。

### 3WW205 特別支援教育

#### 【到達目標】

- ・発達障害や軽度知的障害をはじめとする障害のある生徒の教育的ニーズを理解する。
- ・特別の支援を必要とする生徒のための教育課程と支援の方法を理解する。
- ・障害はないが特別の教育的ニーズのある生徒の生活上の困難とチームとして学校が支援する必要性を理解する。

【概要】 通常の学級に在籍する様々な障害等があるために、適切な指導や支援を必要とする生徒の特性や発達について理解を深める。また、障害がなくとも特別の支援を必要とする生徒を把握し、一人一人の教育的ニーズに応え、学習や行動を支援するための方法および指導の在り方について理解を深める。

### 3WW206 教育課程論

#### 【到達目標】

- ・教育課程の意義及び編成の方法に関する知識を習得し理解を深める。
- ・学習指導要領の意義と歴史に関する知識を習得し理解を深める。

【概要】 「教育課程の意義と編成の方法」に関する諸課題を学ぶことで、自らカリキュラムを創造していくことのできる自立した教員になるための基礎的な資質を培うことを目標とする。学習指導要領に即して次の点を取り上げる。 教育課程の役割・機能・意義を理解する、 教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する、 教科等横断的な視点に立つカリキュラム・マネジメントを理解する。

### 3WW302 道徳教育の理論と方法

#### 【到達目標】

- ・学校での道徳教育の可能性と限界について理解を深める。
- ・道徳教育の歴史と思想について基本的な理解が出来る。
- ・道徳性の発達についての基本的な考え方を理解する。
- ・道徳教育の実践について必要な知識と技術を身につける。

【概要】 道徳教育の理論的背景に関する理解を深めるとともに、「道徳の時間」の指導を行う上で必要な指導案の作成と指導方法に関する基礎的な知識を習得することを目標とする。「道徳性」に関する様々な議論・理論を整理し、道徳教育の歴史的変遷と理論的背景を紹介する。ここでは、教育思想・哲学的アプローチと心理学的アプローチ（認知発達理論、役割取得理論など）を柱として構成する。次いで、具体的な道徳指導実践の事例と指導案作成作業を通じて理論と授業実践の関連を検討する。

### 3WW303 総合的な学習の時間の指導法

#### 【到達目標】

- ・総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。
- ・総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。
- ・総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解する。

【概要】 「総合的な学習の時間」の意義と原理、実践の蓄積を講義で理解し、学校現場でのカリキュラム的位置づけや組織的対応の在り方を知る。自己の学習体験から旧課程での実情や改善点を振り返る。その上で、直接指導を担当する場合を想定して、指導計画の作成、指導手段や指導形態、評価を各自で考え、相互に検討し、見落としがちな点に気づく。講義による伝授のほかに体験的学習も加えることによって、履修者は実践に向かうための要点や留意点、精神を自覚し、身に付ける。

### 3WW304 特別活動論

#### 【到達目標】

- ・中学校・高等学校の特別活動の目標・内容について理解する
- ・中学校・高等学校の特別活動の指導法に関して基礎的な知識・技能を習得する
- ・「集団を通して、経験を通して学ぶ特別活動」をテーマとする

【概要】 特別活動は、集団活動を通して人間形成を行うという点で教育課程上不可欠な内容である。そこで本授業では中学校・高等学校教員を目指す学生に対して、特別活動の意義、目標、内容、方法等について体験的に理解させ、教員としての力量形成を図る。演習形式（模擬学級活動、班討議、模擬学校行事）を中心にし、講義で知識を補う。特別活動が自主的・実践的な活動であることから、本授業も経験を通して学ぶ視点を重視し、学生による参加・参画を促進して行う形式とする。

### 3WW305 生徒・進路指導論

#### 【到達目標】

- ・生徒指導の教育課程上の位置付け、各教科等との関係、集団指導・個別指導の方法、生徒指導体制と教育相談体制のそれぞれ特徴を理解する。
- ・生徒指導に関わる校務分掌と組織的な取組みの意義、日常の生徒指導の在り方を理解したうえで、自己肯定感を高める指導方法を例示することができる。
- ・生徒指導関連法令、いじめ・不登校やインターネット・性に関する問題などへの対応の仕方を理解するとともに、児童虐待等の今日的な課題について専門家・関係機関との連携の在り方を例示することができる。
- ・進路指導の教育課程上の位置付け、組織的な指導体制や家庭・関係諸機関との連携の在

り方を理解したうえで、具体的な指導の在り方を例示することができる。

- ・職業体験活動などのキャリア教育に関するカリキュラム・マネジメントの意義やガイダンスの機能を生かした指導の要点を理解する。
- ・生涯にわたるキャリア形成を見据えた自己評価の意義を理解したうえでポートフォリオの活用法を例示することができたり、キャリア・カウンセリングの基本を説明することができる。

【概要】 今日、生徒指導を論じるとき、枕詞でもあるかのように「いじめ」「不登校」「援助交際」「学級崩壊」という表現が繰り返される。しかし、はたしてこのような枕詞とともに語られる生徒指導論がこうした諸問題の分析と整合的に結びついているのであろうか。本講義では、徹底してこれらの諸問題にこだわり、そこから現代の生徒指導のあり方を問い直していきたい。また、生徒指導は「今」や「その場」に関わることのみを守備範囲とするのではない。未来の自分の姿を描くことが偏狭的な視野から子どもたちを解放する役割を担う。学習への動機を調達することにもつながる。こうした視点から、進路指導のあり方も問い直したい。

### 3WW306 教育相談

#### 【到達目標】

- ・教育相談の基礎となる心理学理論とカウンセリングの姿勢・技法を習得する。
- ・学校教育に必要なカウンセリングマインドを身につける。
- ・学校で実践的に用いられるカウンセリングの実際についてロールプレイ、事例に関するディスカッションなどアクティブ・ラーニングを取り入れることによって体得し、教育実践に役立つ知識とスキルを体得する。
- ・教育相談に必要な基礎的なカウンセリングの知識を身につけるとともに、教師 - 生徒関係のあり方を洞察し、学校として組織的に対応する姿勢を身につける。

【概要】 不登校、いじめ、非行等の問題行動の背景にある諸問題について考察する。また、カウンセリングの基礎的な理論と技法を理解し、学校に不適応な生徒の理解と支援、保護者との連携を具体的に学ぶ。児童期から青年期への移行期にある子どもの問題行動の原因と社会的適応についての知識を習得し、どのような指導や援助が求められているのかを事例およびロールプレイなどのアクティブ・ラーニングを取り入れることによって習得する。

### 3WW307 教育方法論（ICTの活用を含む）

#### 【到達目標】

- ・教育の方法及び技術に関する知識を習得し理解を深める。
- ・情報機器及び教材の活用に関する知識と技術を身につける。

【概要】 「教育の方法と技術」「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」に関する諸課題を学ぶことで、自ら教育方法を創造することができる教員になるための基礎的な資



質を培うことを目標とする。学習指導要領に即して次の点を取り上げる。 これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。教育の目的に適した指導技術を理解し身に付ける。 情報通信技術の活用の意義と理論を理解し、それらを効果的に活用した学習指導や校務の推進を理解する。 生徒に情報活用能力を育成するための基礎的な指導方法を身に付ける。

### 3WW401 教育実習事前事後指導

#### 【到達目標】

- ・「事前指導」では、教育実習に必要な基礎的知識・技能や心構えを身に付ける。
- ・「事後指導」では、教育実習の成果を教師としての力量形成につなげる。

【概要】 教育実習に必要な知識・技能や心構えを身に付け、また、実習の成果を教師としての力量形成につなげることを目標とする。実習の前に、教師としての諸活動に必要な実地的な知識・技能(教育法規、教具、発声など)あるいは心構えを学ぶ。実習終了後には、少人数のゼミ形式で、各自の報告と相互検討を行い、今度の課題を確認する。

### 3WW402 教育実習

#### 【到達目標】

- ・教育実践の実習を行なうことで、教育の理論、教科指導と教科外指導の方法や意義、学校経営と学校管理、教師のあり方等を実践的に習得し、それらの知識と記述を身につける。

【概要】 学校現場で、教員として必要な知識・技能を習得することを目標とする。3~4週間、中学あるいは高校の現場で教育実践の実習を行う。そこでは、教育の理論、教科指導と教科外指導の方法や意義、学校経営と学校管理、教師のあり方等を実践的に習得する。

### 3WW403 教職実践演習(中・高)

#### 【到達目標】

- ・教育基本法をふまえ、教職の使命と責任及び教職の意義を正しく理解し確認する。
- ・子ども・同僚・保護者等との対人関係能力を身につけ、学校が抱える諸問題を適切に解決する力を獲得する。
- ・学級経営の理念と方法に関する理解と技術を習得する。
- ・教科の適切な指導法(教科等の知識や技能など)を身につける。
- ・教育実習をはじめとする教職課程で学んだことを振り返り、各自が到達しきれていない点を適切に把握し補う。

【概要】 地域の公立中学校管理職から「教職の現状と課題」「これからの教員にとって必要な資質」について学ぶとともに、教育基本法をふまえ、教育実習を含めて教職課程で学んだことを報告、討論する。また「ソーシャルスキルの技法と実践」では学校が保護者や、

大学を含む地域と連携して地域運営型学校（コミュニティスクール）を積極的に運営している事例を紹介し、ロールプレイを通して地域連携のあり方を体験的に学ぶ。「学級経営のあり方を振り返る」では学校目標や学級目標、学年目標等をふまえて学級経営のあり方を改めて問い直す。「教科の指導法を振り返る」では、教職課程の履修や教育実習を通して体得した教科の指導法を、模擬授業を通して検証する。報告・討論・レポート作成を中心とする演習で、各自が到達しきれない点を適切に把握し補う。

## (9) 学芸員課程科目

### 2VV101 博物館概論

#### 【到達目標】

- ・現在の博物館を取り巻く諸事情・経緯などに関する基礎的知識について理解する。
- ・博物館に関する専門事項を学ぶ上での基礎となる能力を習得する。

【概要】 博物館は、人間と人間を取り巻く環境に関する様々な「もの」を収集し、保存・調査・研究して、公開・活用している。こうした博物館に関する基礎知識、すなわち、博物館の意義と役割について学ぶ。博物館の定義・種類・歴史、さらに博物館関係法令や博物館学の役割などを順を追って学んでゆく。

### 2VV102 博物館資料論

#### 【到達目標】

- ・博物館資料に関する基礎的知識について理解する。
- ・博物館資料の収集、整理、調査・研究、展示、情報発信について、博物館運営全体の中でのそれぞれの役割を理解する。

【概要】 博物館はさまざまな資料を収集し、整理・分類・調査・研究し、保存・活用している。資料の収集では、購入・寄贈・借用・採集など具体的方法を学ぶ。資料の分類・整理では、多様な資料の分類と整理、そして調査・研究を経て、目録や図録の作成と情報発信に至るまでを学ぶ。なお、資料の保存は「博物館資料保存論」で、資料の活用は「博物館展示論」で主に展開される。

### 2VV103 博物館経営論

#### 【到達目標】

- ・博物館経営の基本的な仕組みについて理解する。
- ・社会と博物館との関係の築き方について、博物館経営の視点からその現状と課題について理解する。

【概要】 博物館を運営するための基本的な仕組みを学ぶ。博物館運営の枠組は大きくは予算、組織（人事）、施設などからなり、その運営にあたっては、会社や学校などとは異なる博物館特有の問題がある。こうした点を踏まえながら博物館運営の特質を学ぶ。社会と博物館との関係の築き方については、展示はもとより、様々な関連イベント、利用者との関係づくりなど、様々な事業活動がある。博物館経営の視点からそれら事業活動の現状と課題について学ぶ。

## 2VV104 博物館資料保存論

### 【到達目標】

- ・博物館における資料保存及びその保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識について理解する。
- ・博物館の資料保存・管理活動に関する専門事項を学ぶ上での基礎となる能力を習得する。

【概要】 温度・湿度・照明・大気などが資料の保存にどのような影響を与えるかを学び、同時に対策を考える。同じく生物が資料に与える害と対策を学ぶ。そして、資料保存の歴史と意義、さらに資料の修復や複製品の製作、屋外の文化財の保存や災害の防止と対策などを学ぶ。

## 2VV105 博物館展示論

### 【到達目標】

- ・博物館の展示活動に関し、その理論や実際の事業の流れ等を踏まえながら、体系的に博物館展示の基礎知識について理解する。
- ・展示を実施するという視点に立ち、情報発信を行うにあたって自分なりに持つべき見解を養う。

【概要】 博物館のもつ外的事業の軸となる展示活動について、企画・立案、資料の選択、展示案の確定、解説プレート・図録の作成、会場の設営、展示の実行、関連事業、広報、後片付けなど、一つの展示達成のための作業を逐一詳しく学ぶ。同時に関連事業やイベントの在り方、ボランティアの活用など、市民参加の展示活動の実態についても学ぶ。

## 2VV106 博物館教育論

### 【到達目標】

- ・博物館における「学び」や学芸員の教育活動について、その理論や実践に関する知識と方法を理解する。
- ・教育一般と学校教育の在り様を踏まえながら、博物館の教育機能に関する基礎的知識を理解する。

【概要】 博物館における教育の意義と理念を学ぶ。学びの場としての博物館は、実物を見ることができると、体験できることという利点をもっている。学校教育との連携や多様化しつつある教育のあり方の中で、博物館が担うべき部分の工夫と創造を模索する。

## 2VV107 生涯学習論

### 【到達目標】

- ・生涯学習社会・社会教育が果たす意義とその構築に向けての課題について理解する。
- ・生涯学習社会が実現していくための法制度・行政・施策の実際を踏まえながら、家庭教育・

学校教育・社会教育等との関連、専門的職員の役割、学習活動への支援等を理解するための基礎的な認識と能力を習得する。

【概要】 生涯学習の意義を考えつつ、老人・主婦・サラリーマン・学生など全ての人々の学習の場のあり方を、国内外の具体例を検証し、学ぶ。また、公民館職員・図書館司書・博物館学芸員など社会教育に携わる人々の役割と使命を考える。

#### 2VV108 博物館情報・メディア論

##### 【到達目標】

- ・博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解する。
- ・博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を習得する。

【概要】 博物館における情報・メディアの意義および情報発信の課題を学ぶ。併せて、さまざまな情報を掴みとること、および、視覚をはじめ人間のもつ五感に訴える効果的・効率的な情報機器の活用法を学ぶ。これらの学習をとおして博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的な能力を養う。

#### 2VV201 博物館実習 1

##### 【到達目標】

- ・資料の取り扱い方の基本を中心として学び、学芸員の行う諸業務について体験的に習得する。
- ・様々な館種の博物館見学を通し、現在の博物館の実態と課題について体験的に習得する。

【概要】 資料の取り扱い方に関する基本的知識・技術の習得を目標として、巻物や掛け軸遂行力を実習をとおして養う。これら個々の作業や実務は一見独立しているかに見えるが、実際には博物館活動の中では相互に関連している。こうした博物館実務の一端と相互の関連性を実習を通じて学ぶ。また、博物館運営の現状についてより深く理解するために、様々な館種の博物館見学を行い、博物館の諸業務の実態と課題を学ぶ。

#### 2VV202 博物館実習 2

##### 【到達目標】

- ・博物館実習 1 を踏まえ、資料の取り扱いをとおした博物館の諸事業について学び、学芸員の行う諸業務を体験的に習得する。
- ・様々な館種の博物館見学を通し、現在の博物館の実態と課題について体験的に習得する。

【概要】 博物館実習 1 の授業内容を踏まえ、資料の取り扱いをとおした博物館の諸事業、たとえば展示の企画立案・広報・関連事業などの諸業務の遂行力を実習をとおして養う。これら個々の作業や実務は一見独立しているかに見えるが、実際には博物館活動の中では相互に関連している。こうした博物館実務の一端と相互の関連性を実習を通じて学ぶ。また、博物館運営の現状についてより深く理解するために、様々な館種の博物館見学を行い、博物館の諸業務の実態と課題を学ぶ。

## 2W203 博物館実習 3

### 【到達目標】

- ・館園実習により、博物館学芸員の業務の実際を現場体験し、職務遂行にあたっての実践的能力を習得する。
- ・館園実習での現場体験を通し、現在の博物館の置かれた諸問題を体験的に習得する。

【概要】 本授業は、実際の博物館現場における 7～10 日程度の博物館実務実習（館園実習）、学内における事前・事後指導の授業、個別の指導によって構成される。博物館実務の一端は「博物館実習 1・2」で習得しており、この授業では実際の博物館の現場において、諸業務の実際を現場体験することで、運営実務の実践的能力を習得する。実習期間中は担当学芸員の指導を受けつつ実務を学び、実習ノートを作成して担当学芸員に提出し、その指導を受け、翌日には改善するなど積極的に学ぶようにする。学内においても実習効果を高めるため事前・事後指導の授業、個別指導を行う。

2023 年 4 月